道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事）

NO	ITEMS	NO	ITEMS	NO	ITEMS
建築意匠	改修				
Ａ－００１	建築工事特記仕様書(1)	Ａ－０３０	外廊下階段詳細図（現況）	Ａ－０５９	遊具詳細図・すべり台 平面レイアウト
Ａ－００２	建築工事特記仕様書(2)	Ａ－０３１	外廊下階段詳細図（改修）	Ａ－０６０	遊具詳細図・すべり台 平面図・立面図
Ａ－００３	建築工事特記仕様書(3)	Ａ－０３２	店舗 展開図（現況）	Ａ－０６１	遊具詳細図・すべり台 基礎図
Ａ－００４	建築工事特記仕様書(4)	Ａ－０３３	店舗 展開図（改修）		
Ａ－００５	建築工事特記仕様書(5)	Ａ－０３４	事務所 展開図（現況）		
Ａ－００６	建築工事特記仕様書(6)	Ａ－０３５	事務所 展開図（改修）	建築意匠	新築
Ａ－００７	建築工事特記仕様書(7)	Ａ－０３６	店舗・レストラン棟屋根改修詳細図（カバー工法）	Ａ－１０１	仕上表
Ａ－００８	建築工事特記仕様書(8)	Ａ－０３７	建具案内図（既存）	Ａ－１０２	飲食テラス、回廊平面図
Ａ－００９	建築材料等品質性能表(1)	Ａ－０３８	建具表(AD・SD)（既存）	Ａ－１０３	飲食テラス、回廊立面図
Ａ－０１０	建築材料等品質性能表(2)	Ａ－０３９	建具表(AW)（既存）	Ａ－１０４	飲食テラス、矩計図
Ａ－０１１	案内図	Ａ－０４０	建具案内図（改修）	Ａ－１０５	飲食テラス廻り平面詳細図
Ａ－０１２	配置図（現況）	Ａ－０４１	建具表(AD・SD)（改修）	Ａ－１０６	風除室,回廊・平面図、断面立面図
Ａ－０１３	配置図（改修）	Ａ－０４２	建具表(AW)（改修）	Ａ－１０７	回廊・基礎伏図
Ａ－０１４	仮設計画図１（案）	Ａ－０４３	トップライト詳細図（TL1）	Ａ－１０８	回廊・梁伏図
Ａ－１５	仮設計画図２（案）	Ａ－０４４	トップライト詳細図（TL2）	Ａ－１０９	倉庫・１階・２階平面図
Ａ－０１６	１階平面図（現況）	Ａ－０４５	トップライト詳細図（TL1・2）	Ａ－１１０	倉庫・立面図
Ａ－０１７	２階平面図（現況）	Ａ－０４６	ゴミ置場 平面図･立面図･断面図･小屋伏図･詳細図（現況）	Ａ－１１１	倉庫・断面図
Ａ－０１８	RF階平面図（現況）	Ａ－０４７	ゴミ置場 平面図･立面図･断面図･小屋伏図･詳細図（改修）	Ａ－１１２	倉庫・階段詳細図,木製棚詳細図
Ａ－０１９	１階平面図（改修）	Ａ－０４８	キュービクル庫 平面図・立面図（現況）	Ａ－１１３	倉庫・建具表
Ａ－０２０	２階平面図（改修）	Ａ－０４９	キュービクル庫 平面図・立面図（改修）	Ａ－１１４	身障者用駐車場上屋 詳細図
Ａ－０２１	RF階平面図（改修）	Ａ－０５０	海水汲み上げ施設 平面図（現況・改修）	Ａ－１１５	回廊２ 詳細図
Ａ－０２２	立面図（現況）	Ａ－０５１	プール・屋外トイレ他（現況）	Ａ－１１６	喫煙所 詳細図
Ａ－０２３	立面図（改修）	Ａ－０５２	プール・屋外トイレ他（改修）	Ａ－１１７	冷凍庫 平面図・立面図
Ａ－０２４	市場棟 矩計図（現況）	Ａ－０５３	駐車場（改修）		
Ａ－０２５	市場棟 矩計図（改修）	Ａ－０５４	じゃぶじゃぶ池・展示物船（改修）		
Ａ－０２６	レストラン棟 矩計図（現況）	Ａ－０５５	ドッグラン（新設）		
Ａ－０２７	レストラン棟 矩計図（改修）	Ａ－０５６	構造物詳細図１		
Ａ－０２８	外廊下平面図、屋根伏図、断面	Ａ－０５７	構造物詳細図２		
Ａ－０２９	梁伏図、小屋伏図、断面詳細図	Ａ－０５８	遊具詳細図・迷路		

BIKEN 株式会社 美建設計

道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事）

NO	ＩTEMS	NO	ＩTEMS	NO	ＩTEMS
建築構造	飲食テラス			昇降機設備	
Ｓ－０１	飲食テラス　構造設計標準仕様書	Ｓ－１４	倉庫　RCリスト・鉄骨リスト	ELV－０１	昇降機設備特記仕様書（１）
Ｓ－０２	飲食テラス　鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	Ｓ－１５	倉庫　雑詳細図	ELV－０２	平面図（改修）
Ｓ－０３	飲食テラス　鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	Ｓ－１６	倉庫　架構詳細図	ELV－０３	小荷物昇降機設置場所　平面詳細図
Ｓ－０４	飲食テラス　鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	Ｓ－１７	倉庫　地盤断面図・調査位置図	ELV－０４	小荷物昇降機設置場所　断面詳細図
Ｓ－０５	飲食テラス　鉄骨構造標準図(1)			ELV－０５	小荷物昇降機　平面詳細図
Ｓ－０６	飲食テラス　鉄骨構造標準図(2)			ELV－０６	小荷物昇降機　断面詳細図
Ｓ－０７	飲食テラス　ベースパック柱脚工法設計・施工標準図(1)	建築意匠			
Ｓ－０８	飲食テラス　ベースパック柱脚工法設計・施工標準図(1)	Ａ－２０１	仮設店舗平面図		
Ｓ－０９	飲食テラス　基礎地中梁伏図	Ａ－２０２	仮設店舗平面図（消防設備）		
Ｓ－１０	飲食テラス　R階梁伏図	Ａ－２０３	仮設店舗平面図（電気設備参考）		
Ｓ－１１	飲食テラス　軸組図	Ａ－２０４	仮設店舗平面図（機械設備参考）		
Ｓ－１２	飲食テラス　リスト	Ａ－２０５	仮設店舗立面図・断面図		
Ｓ－１３	飲食テラス　雑詳細図	Ａ－２０６	仮設店舗断面詳細図		
建築構造	倉庫	建築構造	仮設店舗		
Ｓ－０１	倉庫　構造設計標準仕様書	ＳＳ－０１	仮設店舗　構造特記仕様書(1)		
Ｓ－０２	倉庫　鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	ＳＳ－０２	仮設店舗　構造特記仕様書(2)		
Ｓ－０３	倉庫　鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	ＳＳ－０３	仮設店舗　断面リスト		
Ｓ－０４	倉庫　鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	ＳＳ－０４	仮設店舗　断面リスト・接合部詳細図		
Ｓ－０５	倉庫　鉄骨構造標準図(1)	ＳＳ－０５	仮設店舗　仮設基礎・柱脚固定詳細図		
Ｓ－０６	倉庫　鉄骨構造標準図(2)	Ｓ－０１	仮設店舗　基礎伏図		
Ｓ－０７	倉庫　ベースパック柱脚工法設計・施工標準図(1)	Ｓ－０２	仮設店舗　床伏図		
Ｓ－０８	倉庫　ベースパック柱脚工法設計・施工標準図(1)	Ｓ－０３	仮設店舗　小屋伏図		
Ｓ－０９	倉庫　ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	Ｓ－０４	仮設店舗　X軸組図		
Ｓ－１０	倉庫　地中梁伏図・2階梁伏図	Ｓ－０５	仮設店舗　Y軸組図		
Ｓ－１１	倉庫　R階梁伏図				
Ｓ－１２	倉庫　A・B通り軸組図				
Ｓ－１３	倉庫　1～5通り軸組図				

BIKEN 株式会社 美建設計

工事名称：道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事）

フレックス工期契約制度

○適用する（工事の着手期限日 令和　年　月　日 、工事の終期日 令和　年　月　日）、 ● 適用しない

留意事項
・受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後７日以内に工事着手日通知書を発注者に届け出なければならない。
・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設業法第26条に基づく主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第11条に基づく現場代理人の設置を要しない。
・工事着手日までの間は、工事の施工（現場事務所等の設置、資機材等の発注及び工場製作等を含む）を行ってはならない。
・前金払は、工事着手日の10日前までは請求できない。
・工事実績情報システムへの登録に際しては、主任（監理）技術者及び現場代理人の従事期間は、工事着手日をもって登録するものとする。（工事契約日から工事着手日の前日までを除くこととする。）

猛暑による作業不能日数

●本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

ⅰ）作業不能日数：　6日間（工期の始期は令和8年4月1日【着手期限】で算定）
ⅱ）上記ⅰ）は、環境省が公表する関東地方_千葉県_勝浦地点における WBGT値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去５年分（2020年～2024年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（３日）を除く。）において、８時から１７時の間にWBGT値が３１以上となった時間を算定し、日数に換算したもの５年分を平均したもの。
ⅲ）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する関東地方_千葉県_勝浦地点におけるWBGT値が３１以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））がⅰ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所　千葉県南房総市千倉町千田1051
2. 敷地面積　15,879.96㎡
3. 主要用途　店舗・飲食店
4. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	備考
店舗・飲食店	RC	2	1,401.66	1,635.71	既存改修
倉庫	S	2	105.00	210.00	新築
飲食テラス	S	1	100.32	100.32	新築
身障者用駐車場上屋	ｱﾙﾐ	1	21.45	21.45	新築　他14棟

5. 工作物、外構等　駐輪場、フェンス、遊具、屋外家具　ほか

Ⅱ. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書による。
「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下、「標仕」という。）

2. 提出様式

本工事で用いる提出書類の様式は、「県発注・営繕工事関連提出書類一覧」（下記URL）によるほか、
監督職員の指示による。　https://www.pref.chiba.lg.jp/eizen/jigyousha/kenchiku/teishutsu.html

3. 特記仕様

1）項目は、●のついたものを適用する。
2）特記事項は、●のついたものを適用する。（●印が付かない場合は⊠印の付いたものを適用する）
3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12 年法律第100 号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準を満たすものを示す。
5）建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項については、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（令和3年版）一般社団法人　公共建築協会」による。

章	項　目	特　記　事　項
1 各章共通事項	● 1. 適用基準等	● 建築工事標準詳細図　（令和4年版） ● 営繕工事写真撮影要領　（令和5年版） ● 建築工事安全施工技術指針　（平成27年） ● 建設工事公衆災害防止対策要綱　（令和元年） ● 千葉県福祉のまちづくり条例　施設整備マニュアル　（平成30年） ● 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　（令和7年度版） ● 建築物解体工事共通仕様書　（令和4年版） ○ 公共建築木造工事標準仕様書　（令和7年版） ● デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（国営建技第14号　令和5年3月1日） ○（　　）
	● 2. 工事実績情報の登録	本工事の最終請負代金（消費税込）が、500万以上となる場合には、工事実績情報システム（テリンズ）に、基づき工事実績データを作成する。また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センターに所定の手続きにより登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。　(1.1.4) 1）　工事受注時　　契約締結後10日以内 2）　登録内容の変更時　　契約事項の確定日から10日以内 3）　工事完成時　　工事完成後10日以内
	● 3. 電気保安技術者	事業用電気工作物（自家用電気工作物）、　○　一般電気工作物　(1.3.3) ただし、自家用電気工作物の場合は1.3.3の他、次によるものとする。 工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者（　　）の任命する監督職員の指示に従い保安業務を行う。
	● 4. 工事電力設備の保安責任者	工事用電力設備の保安責任者は千葉県自家用電気工作物保安規程第二十六条第３項により使用区域を変更しようとする場合において保安監督者（電気監督職員）に「自家用電気工作物使用区域変更届書」を提出すること。　(1.3.4)
	● 5. 保険	本工事の完成引渡までに工事目的物及び工事材料を火災保険、建設工事保険その他の保険に附すること。 1）　被保険者　　発注者、受注者及びその全下請負人 2）　保険金額　　請負代金全額 3）　保険期間　　工事着手のときから工事引渡しまでの期間 なお、保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものの写しを直ちに監督職員に提出する。
	● 6. 設計GL	※ 図示、　● 設計GL = 現状GL　(1.3.5)
	● 7. 施工条件（仮設店舗）	・床、壁、天井への開口については事前に監督員と協議を行い その復旧費用は請負者の負担とする ・ ・
	● 8. 環境への配慮	(1.4.1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の 1）から 4）を満たすものとする。 1）　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗装、仕上塗材は、アセビアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項		2）　接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3）　接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 4）　i）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の 1）又は 2）に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3）又は4）に該当する材料を指す。 1）　建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 2）　建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 3）　建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 4）　建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	● 9. 材料の品質等	(1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③安定的な供給が可能であること ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた
	○ 10. 技能士	現場常駐報告書を提出すること。　(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定作業 ○ 仮設工事 ／ ○ とび作業 ○ 鉄筋工事 ／ ○ 鉄筋組立作業 ○ コンクリート工事 ／ ○ 型枠施工　○ コンクリート圧送工事作業 ○ 鉄骨工事 ／ ○ 構造物鉄工事作業　○ とび作業 ○ コンクリートブロック、ALCパネル、押出成形セメント板工事 ／ ○ コンクリートブロック工事作業 ○ ALCパネル工事作業 ○ 防水工事 ／ ○ アスファルト防水工事作業 ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業 ○ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ○ FRP防水工事作業　○ シーリング防水工事作業 ○ 石工事 ／ ○ 石張り作業 ○ タイル工事 ／ ○ タイル張り作業 ○ 木工事 ／ ○ 大工工事作業 ○ 屋根及びとい工事 ／ ○ 内外装板金作業 ○ 金属工事 ／ ○ 鋼製下地工事作業　○ 内外装板金作業 ○ 左官工事 ／ ○ 左官作業 ○ 建具工事 ／ ○ ビル用サッシ施工作業　○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業 ○ カーテンウォール工事 ／ ○ 金属製カーテンウォール工事作業 ○ ビル用サッシ施工作業　○ ガラス工事作業 ○ 塗装工事 ／ ○ 建築塗装作業 ○ 内装工事 ／ ○ カーペット系床仕上工事 ○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業　○ 壁装作業 ○ 排水工事 ／ ○ 建築配管作業 ○ 舗装工事 ／ ○ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ○ 加熱ペイントハンドマーカー工事作業 ○ 植栽工事 ／ ○ 造園工事作業
	○ 11. 総合試運転調整	○ 行う（適用箇所：　○ 火災報知設備と連動する防火設備等、　○　　）(1.5.7) ○ 行わない 総合試運転調整を行う場合は、関連工事等に協力すること。
	○ 12. 化学物質の濃度測定	・施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、報告すること。　(1.5.10) ※ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ○パラジクロロベンゼン（用途が学校の場合、上記項目に追加する。） 測定はパッシブ型採集機器により行う。 着工前の測定　○ 行わない、　○ 行う 測定対象室　　○ 図示、　　○ （　　） 測定箇所数　　○ 図示、　　○ （　　） 測定数値が厚生労働省指針値を超えた場合は、換気後再測定し報告書を提出すること。
	○ 13. ワンデーレスポンス	本工事は、ワンデーレスポンス対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議への回答は、基本的に、「その日のうち（24時間以内）」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者に確認の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 1）　受注者は、施工計画に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら施工すること。 2）　受注者は工事施行中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じる恐れがある場合は、原因を究明するとともに速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
	● 14. 材料試験	コンクリート圧縮試験及び鉄筋の引張等試験については、公益財団法人千葉県建設技術センター等の試験機関で実施すること。
	● 15. 発生材の処理	別記-1による。　(1.3.11)
	● 16. 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 施工範囲は別記-2（工事区分表）による。
	● 17. 安全対策	・受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 ・発注者で組織する安全対策委員会が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。
	● 18. 過積載による違法運行の防止	工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1）　積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 2）　さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3）　過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。 4）　取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5）　建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請事業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。 6）　以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	● 19. 環境対策	・受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と、円滑な工事施工を図ること。 ・建設機械は、排ガス対策車及び、低騒音型を使用すること。 ・特定粉じん排出等作業（法定外建築物・作業を含む）は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施行する。 ・本工事で使用する軽油については、ＪＩＳ規格軽油を使用すること。 ・受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。 ・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄物の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。
	● 20. 工事現場管理	受注者は、工事の施工にあたっては、不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
	● 21. 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	○ 22. 中間検査	・回数　：（　　）回 ・実施時期：（　　）
	○ 23. 中間検査の指定対象工事	本工事は、低入札価格調査制度調査対象工事（以下「調査対象工事」という）に該当した場合は、千葉県建設工事検査要綱（検査の区分を規定）及び中間検査実施細則（中間検査実施区分を規定）の定めに関わらず中間検査の指定対象工事として、中間検査を実施する。 1）　調査対象工事の中間検査の実施は、「中間検査実施細則」に関わらず原則として2ケ月に1回、及び主要工種を考慮し施工上の変化点等で行うが、実施時期は監督職員が指定する。なお、検査日及び検査監氏名は別途通知する。 2）　中間検査は、通知日までに完了した出来形部分の出来形確認及び技術的確認等を行うが、給付の対象としない。
	● 24. 創意工夫等	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
	● 25. 設計図CADデータ	・設計図CADデータ　：●　貸与する、○　貸与しない 貸与する設計図CADデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。
	● 26. 電子納品	(1) 本工事は、電子納品の対象工事である。 電子納品は、「千葉県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】令和4年1月」（以下、「ガイドライン」という。）に基づいて行う。 ~~(2) 工事完成検査時には、（公財）千葉県建設技術センター（以下、センターという。）から発行される「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」を、センターに提出すること。~~ ~~(3) 工事完成検査後は、速やかに、電子媒体1部と「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」をセンターに送付すること。またその後、センターから発行される「千葉県電子媒体（副本）受領書」を監督職員に提出すること。なお、電子成果品は工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合は、受注者は修正作業を行わなければならない。</~~ (4) 「ガイドライン」の解釈に疑義がある場合は、監督職員と協議の上で決定すること。
	● 27. 完成時の提出図書等	工事完成時の提出図書等は以下のものとする。　(1.8.1～3) 提出図書等 ／ 仕様 ／ 部数 ● 完成図面 ／ ○ 図面（A1版）折りたたみ製本　サイズ　● A4 版　○ 部 ● 図面（A3版）見開き製本　○ A1 版　○ 部 ● 工事関係図書 ／ 本工事中に作成した工事関係書類等をまとめたもの ／ ● 1 部　○ 部 ● 完成写真 ／ ● キャビネ判　撮影箇所　● 2 箇所　○ 箇所 ／ ● 1 部　○ 部 ● 保全に関する資料 ／ ● 建築物の利用に関する説明書　● 機器取扱い説明書 ／ ● 2 部 ● 機器性能試験成績書　● 官公署届出書類 ／ ○ 部 ○ 総合試運転調整報告書 建築物等の利用に関する説明書は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」に基づき作成すること。 ● 電子成果品 ／ 電子納品による ／ ● 2 部　○ 部 ※請負者は完成図を作成すること。
	○ 28. 施設点検	本工事完成（「工事目的物の引渡し」を行った日）後、1年目及び2年目に関係者（教育施設課、工事監理事務所、施設管理者、受注者）による施設点検（不具合の有無を確認し、その処理について協議）を行うので、当課からの依頼により施設点検に立会い協力するものとする。
2 仮設工事	○ 1. 監督職員事務所	(2.3.1) ・監督職員用のスペース　： 規模(㎡)　：　○ 10程度、○ 20程度、○ 35程度、○ 65程度、○ 100程度、　○（　　）程度 ・備品等の種類及び数量 ○　書棚、○　図面架、　○ 見本棚、○　机及びいす、　○　更衣ロッカー（　）、 ○　ゴム長靴（　）、　○ 雨合羽（　）、○ ヘルメット（　）、○　筆落制止用器具（　）
	● 2. 工事用水	構内既存の施設　⊠ 利用できない、● 利用できる（■　有償、　○ 無償）
	● 3. 工事用電力	構内既存の施設　■ 利用できない、○ 利用できる（⊠　有償、　○ 無償）
	● 4. 仮囲い等	仮囲い　■ 成型鋼板（H= 3.0　m、L= 514 m（前半）・L= 452 m（後半）） 出入口　○ シャッターゲート　（W=　m、H=　m） ●　シャッターゲート（W= 6.0 m、H= 2.0 m） ○（　　）
	● 5. 仮設通路	●　鋼板敷き（長さ6.0m、幅1.5m、厚さ22mm、　96枚(前半)・　56枚(後半)） ○（　　）
	● 6. 交通誘導員	配置人数　：（ 840 ）人 配置期間　：（　工事の期間　） 配置場所　：（　図示　）
	● 7. 仮設足場	(2.2.4) 枠組足場の設置に当たっては、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省令和5年 12月）により、手すり先行工法の種類は、別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2(1)手すり据置き方式、又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。手すり先送り方式は不可とする。 また、別紙2「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とすること。 なお、別契約の関係業者がある場合は、当該業者に無償で使用させること。
	● 1 騒音 粉じん等の対策	改修[2.1.3] ○防音パネル　●防音シート 防音パネルを取り付ける足場等の設置範囲 ●図示　○（　　）

章	項　目	特　記　事　項
	● 3　既存部分の養生	改修[2.3.1] 1 養生の方法等 ●既存部分　養生方法　●ビニールシート　合板等　○（　　） ●既存家具、既存設備等　養生方法　●ビニールシート等　○（　　） ○既存ブラインド、カーテン等 養生方法　○ビニールシート等　○（　　） 保管場所等　○指定場所に保管、再取付け　○撤去、処分 備品、机、ロッカー等の移動　●行わない　○行う（図示） 2 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	○ 4　仮設間仕切り	改修[2.3.2][表2.3.1] 1 仮設間仕切り及び仮設扉の設置場所　○図示　○（　　） 2 仮設間仕切りの種別と材質 種別 ／ 下地 ／ 仕上材（厚さ mm） ／ 塗装 ／ 充填材 ○A種 ／ ○木 ／ ○せっこうボード（⊠ 9.5 ○（　　）） ／ ○片面 ／ ⊠あり ○軽量鉄骨 ／ 種類（○（　　）） ／ ○なし ○B種 ／ ／ ○合板（⊠ 9.0 ○両面（　　）） ／ ／ 材種（　　） ／ ／ ⊠C種 ／ 単管 ／ 防炎シート ／ ／ 充填材　⊠グラスウール　32ｋ（厚：50mm以上） 3 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 材質 ／ 仕上材（厚さ mm） ／ 塗装 ／ 設置場所 ／ 充填材 ⊠木扉 ／ ⊠合板張り程度 ／ ⊠なし ／ ⊠図示　○（　　）か所 ／ ○あり ○鋼扉 ／ ○（　　） ／ ○片面 ／ ／ ○なし 充填材　⊠グラスウール　32ｋ（厚：50mm以上）
3 土工事	● 1. 埋め戻し及び盛り土	(3.2.3) ・材料及び工法　： ■　標準仕様書表3.2.1による ● A 種　適用場所（　図示　） ■ B 種　適用場所（　基礎廻り・電気工事掘削に伴う埋戻し　） ○ C 種　適用場所（　　）、土質（　　）、受渡場所（　　） ○ D 種　適用場所（　　） ○ 材料（　　）、工法（　　）
	● 2. 建設発生土の処理	(3.2.5) ○　構内指示の場所に堆積、○　構内指示の場所に散き均し、○（　　） ●　構外搬出適切処理（別記-1による）
4 ～ 7		「4　地業工事」、「5　鉄筋工事」、「6　コンクリート工事」、「7　鉄骨工事」は、構造関係特記仕様書による。
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	○ 1. 補強コンクリートブロック造	(8.2.2,3,5,7,8) ・ブロックの種類　： 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ(mm) ／ モデュール呼び寸法(mm) 長さ ／ 高さ ／ 化粧の有無 ／ 適用箇所 ／ 備考 ○ ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ○ ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ・モルタルの調合（容積比）： ⊠　標準仕様書表8.2.1による　○ セメント（　　）：砂（　　） ・各部の配筋　：⊠　図示、○（　　） ・目地仕上げ　：○　押し目地仕上げ、　○ 化粧目地仕上げ ・まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する ・範囲　：⊠ 図示、○（　　）
	○ 2. コンクリートブロック帳壁及び塀	(8.3.2～4) ・ブロックの種類　： 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ(mm) ／ モデュール呼び寸法(mm) 長さ ／ 高さ ／ 化粧の有無 ／ 表8.3.1以外の適用箇所 ／ 備考 ⊠空洞ブロックC(16) ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ○ 型枠状ブロック 20 ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ○ ／ ／ ／ ／ ⊠ 無、○有 ／ ／ ／ ・モルタルの調合（容積比）： ⊠　標準仕様書表8.2.1による、　○ セメント（　　）：砂（　　） ・塀の厚さ(mm)　： 壁の高さが2m以下　⊠120、○（　　） 壁の高さが2m超え　⊠150、○（　　） ・壁筋筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　：⊠ 図示、○（　　） ・各部の配筋　：⊠　図示、○（　　）
	○ 3. ALCパネル	(8.4.2～5) ・ALCパネルの区分等　： 区分 ／ 単位荷重(N/㎡) 正荷重 ／ 単位荷重(N/㎡) 負荷重 ／ 厚さ(mm) ／ 幅及び長さ ／ 耐火性能(時間) ／ 構法の種別 ○ 外壁用 ／ ○ 一般 ／ ○ 平 ／ 2,300 ／ 2,300 ／ 100 ／ 図示による ／ ○ なし ／ ○ A種 ○ コーナー ／ ○ 意匠 ／ 150 ／ ○ 1 ／ ○ B種 ○ 間仕切壁用 ／ ○ 一般 ／ ○ 平 ／ — ／ — ／ 100 ／ 図示による ／ ○ なし ／ ○ C種 ○ コーナー ／ ○ 意匠 ／ ○ 1 ／ ○ D種 ○ E種 ○ 屋根用 ／ — ／ — ／ 100 ／ 図示による ／ 0.5 ○ 床用 ／ — ／ — ／ 100 ／ 図示による ／ ○ 1 ／ ⊠ F種 ○ 2 ・パネルの相互の接合部に充填する耐火目地材　：○（耐火目地用シリコン系シーリング） ・外壁、屋根パネルの構法における耐風圧性能　： 建築基準法に基づき定める風圧力の（○ 1、○1.15、 ○ 1.3）倍の耐風圧性能 ・外壁パネル、間仕切りパネルにおける耐震性能　： 地震力に対する安全性 設計用震度 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 設計用水平震度（K_h） ／ ⊠ 1.0 ○ ／ 設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。 設計用鉛直震度（K_v） ／ ⊠ 0.5 ○ ／ なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 ○ 1/100 ／ 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと ○ 1/200 ・パネル幅の最小限度を300㎜未満とする場合：　⊠ 図示、○（　　） ・パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(㎜)　：⊠ 10～20、○（　　） ・外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填　：○ 適用する、○ 適用しない

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045　TEL. 0470－22－3764
千葉県館山市北条1355－45　FAX. 0470－22－3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1－2310－9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	A － 001
図　名	建築工事特記仕様書（１）　R7.11　製図年月日　・・	

章	項目	特記事項
9 防水工事	○ 1.アスファルト防水	(9.2.2～5)(表 9.2.3～9) 屋根保護防水 ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 / 断熱材 Ⓖ / 絶縁用シート ○ A-1 / ○ A-2 / ○ A-3 / ○ B-1 / ○ B-2 / ○ AI-1 / ○ AI-2 / ○ AI-3 / ○ BI-1 / ○ BI-2 JIS A 9521に基づく押出ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) 厚さ mm ※ ポリスチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度 ○ ※ フラットヤーンクロス70g/㎡程度 ○ ・改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ： ※ 標準仕様書表9.2.3から表9.2.4による ○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ○(　　) mm以上 ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ： ※ 標準仕様書表9.2.5から表9.2.6による ○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ○(　　) mm以上 ・立上り部への断熱材及び絶縁用シート ： ※ 設置しない、○ 設置する ・平場の保護コンクリートの厚さ ： こて仕上げ ※ 水下 80mm以上、○(　　) 床タイル張り ※ 水下 60mm以上、○(　　) ・立上り部の保護方法 ： ○ 乾式保護材（品質・性能及び試験方法は、建築材料等品質性能表による） 窯業系パネルⅠ類 厚さ(　　) mm、幅(　　) mm ○ れんが押え（※ JIS R 1250、○　　） ○ コンクリート押え ○ モルタル押え(施工範囲：　　)
	● 2.改質アスファルトシート防水	(9.3.2,3)(表 9.3.1～3) 屋根露出防水　厚(mm)： ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 / 断熱材 Ⓖ / 防湿用シート / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量 / 高日射反射率防水 Ⓖ ● AS-T1 / ○ AS-T2 / ○ AS-T3 / ○ AS-T4 / ○ AS-J1 / ○ ASI-T1 / ○ ASI-J1 標準仕様書 9.3.2(3)ｲ 種類： 厚(mm)： ○ 設ける 改質アスファルトシートの製造所の仕様 ○ 設けない ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 ○ ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 ○ ○ 適用する ・改質アスファルトシートの種類及び厚さ ： ● 標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による ○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ○(　　) mm以上 ・粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ： ※ 標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による ○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (　　) mm以上 ・部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ： ※ 標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による ○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (　　) mm以上 ・立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ： ※ アルミニウム製 L-30*15*2.0mm程度、○(　　)
9 防水工事	○ 3.合成高分子系ルーフィングシート防水	・絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 ： 種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定、○(　　) 設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定、○(　　個) (9.4.2～4)(表 9.4.1～3) 屋外防水 ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 / 可塑剤移行防止シートの材質 / 断熱材 Ⓖ / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量 / 高日射反射率防水 Ⓖ ○ S-F1 / ○ S-F2 / ○ S-M1 / ○ S-M2 / ○ SI-F1 / ○ SI-F2 / ○ SI-M1 / ○ SI-M2 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ○ ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ○ ○ 適用する 標準仕様書 9.4.2(3)ｴb 種類： 厚(mm)： ※ 発泡ポリエチレンシート ○ ・SI-F1、SI-F2、SI-M1及びSI-M2の仕様置 ： ※ 非歩行仕様、○ 軽歩行仕様 ・SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ： ○ 設置する、○ 設置しない 屋内防水 ・防水層の種類 ： 種別 / 施工箇所 / 保護層 平場のモルタル塗り厚 / 保護層 立上り部の保護モルタル塗り厚さ ○ S-CI　　mm　※ 7mm以下、○ 平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 ： 目地割 ※ 目地割2㎡程度、最大目地間隔3mm程度、○(　　) 目地の種類 ※ 押し目地、○(　　) 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ： ※ 標準仕様書表9.4.1、表9.4.2、及び表9.4.3による ○ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類(　　)、厚さ(　　) mm以上 固定金具の材質及び寸法形状 ： ※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼鈑又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ○(　　) 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 ： ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ○ 種類(　　)、設置装置(　　個) 接着工法の場合のPCコンクリート部材下地の目地処理 ： ○ 行う(　○ 図示、○　　)、○ 行わない PCコンクリート下地の入隅部の増張り(種別 S-F1、SI-F1の場合) ： ○ 行う(　○ 図示、○　　)、○ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け ： 建築基準法に基づき定まる風圧力の ◎1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
	○ 4.塗膜防水	・防水層の種別 ：　(9.5.3)(表 9.5.1、2) 種別 / 施工箇所 / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量 / 保護層 / 高日射反射率防水 Ⓖ ○ X-1 / ○ X-2 / ○ Y-1 / ○ Y-2 ○ 主材料の製造所の仕様 ○ ※ 主材料の製造所の仕様 ○ ※ 地下外壁防水 ○ ※ 屋内防水 ○ ※ 適用する ○ 適用しない ○ 適用する ・ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 ： 種類 ※ 主材料の製造所の指定、○(　　) 設置数量 ※ 主材料の製造所の指定、○(　　個)
	○ 5.ケイ酸質系塗布防水	・防水層の種別 ：　(9.6.1、3、4)(表9.6.1) 種別 / 施工箇所 / 備考 ※ C-SUI / ○ C-SUP ・防水層の下地 ： 壁 ：※ コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種）、○(　　) 天井部 ：※ コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種）、○(　　) ・下地処理 ： コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ： ※ 打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。 ○ 図示、○(　　) 標準仕様書9.6.4(2)の(ｲ)、(ﾛ) 以外の下地処理 ○ 図示、○(
	● 6.シーリング	・シーリングの種類　(9.7.2～5)(表 9.7.1) 下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による。 ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。 施工箇所 / シーリング材の種類（記号） 外壁・コンクリート・防水 / ＰＵ－２ EXP.J目地、壁、ボード取合部 / ＭＳ－２ ・仕上げを行わない施工箇所 ：※図示、　○(　　) ・シーリング材の目地寸法 ： ● 標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ﾛ)による、○図示、○(　　) ・接着試験 ：※ 簡易接着性試験、○ 引張接着性試験
	● 7.保証年限	○ アスファルト防水　10年 ○ 合成高分子系ルーフィングシート防水　○10年、　○15年 ○ 塗膜防水　5年　(X-1工法は、10年) ※ 受注者は、防水施工業者及び材料メーカーと連名で年限保証する。

章	項目	特記事項
10 石工事	○ 1.施工	(10.1.3) ・石材の割付け ：※図示、○(　　)
	○ 2.石材等	(10.2.1、3)(表10.2.1、2) ・天然石 ： 施工箇所 / 岩石の種類 / 形状及び寸法(mm) / 表面仕上げの種類 / バフ仕上げの有無 / 備考 ○ 床石 / ※ 図示 ・テラゾブロック ： 施工箇所 / 種石の種類 / 種石の大きさ(mm) / 形状による区分 / 仕上げ面による区分 / 寸法(mm) / 表面仕上げの種類 / 備考 ※ 大理石 ○ 花こう岩 / ※ 1.5～12 ○ / ○ 平もの ○ 役もの / ○ 片面 ○ 両面 ・テラゾタイル ： 施工箇所 / 種石の種類 / 種石の大きさ(mm) / 寸法による区分 / 表面仕上げの種類 / 備考 ※ 大理石 ○ 花こう岩 / ※ 1.5～12 ○ / ○ 300型 ○ 400型 ・取付け用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料等 ： ※ 専門工事業者の指定する製品、○(　　)
	○ 3.外壁湿式工法	(10.2.2、3)(10.3.2、3) ・石材の厚さ ※図示　○(　　mm) ・受金物 材質 ：※ SUS304、○(　　) 形状及び寸法 ：○ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ○ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm ・アンカーの材質及び径 ：※ SS400 M12、○(　　) ・あと施工アンカーの材質、寸法等 ：○(　　) ・ドレインパイプの材質 ：○ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ ○(　　) ・石裏面処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・裏打ち処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・下地ごしらえ ：※ あと施工アンカー 横筋横渡し工法 ○ あと施工アンカー工法 ○ 流し筋工法 ・目地 ： 一般目地 目地幅(mm) ※ 6mm以上、○(　　) シーリング材 ○ 適用する、○ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による、○ 図示 シーリング材の種類 ※ 標準仕様書表9.7.1による、○ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 幅・深さとも10mm以上、○ 図示
	○ 4.内壁空積工法	(10.2.2)(10.4.2、3) ・石材の厚さ ※図示　○(　　mm) ・受金物 材質 ※ SUS304、○(　　) 形状及び寸法 ○ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ○ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm ・あと施工アンカーの材質、寸法等 ：○(　　) ・石裏面処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・裏打ち処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・下地ごしらえ ：※ あと施工アンカー・横筋流し工法 ○ あと施工アンカー工法 ・目地 ： 一般目地 目地幅(mm) ※ 6mm以上、○(　　) シーリング材 ○ 適用する、○ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 6m程度ごと、○ 図示 シーリング材の種類 ※ 標準仕様書表9.7.1による、○ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 幅・深さとも10mm以上、○ 図示
	○ 5.外壁乾式工法	(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4) ・石材の厚さ ※図示　○(　　mm) ・乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 ： ※ 標準仕様書 表10.2.4による（方式 ○スライド方式、 ○ ロッキング方式） ○ 図示 ・あと施工アンカーの材質及び寸法等 ：(　　) ・だぼ用の穴の位置 ：※標準仕様書10.5.2(2)(7)による、○(　　) ・裏打ち処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・外壁の工法 ： 建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 ・目地 ：目地幅(mm) ※ 8mm以上、○(　　) シーリング材の種類 ※ 標準仕様書表9.7.1による、○ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 幅・深さとも8mm以上、○ 図示
	○ 6.床及び階段の石張り	(10.6.2、3) ・石材の厚さ ※図示　○(　床　mm、階段　mm　) ・浸透性吸収防水剤 (床石張り) ○ 適用する　○ 適用しない ・石裏面処理 (床石張り) ○ 適用する　○ 適用しない (階段張り) ○ 適用する　○ 適用しない ・裏打ち処理 (床石張り) ○ 適用する　○ 適用しない ・一般目地 目地幅(mm) 屋外 ※ 4以上、○(　　) 屋内 ※ 3～6 、○(　　) シーリング材 ○ 適用する、○ 適用しない ・伸縮調整目地 位置 ○ 図示、　○ 標準仕様書10.6.2(5)(ｲ) シーリング材の種類 ※ 標準仕様書表9.7.1による、○ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 幅・深さとも10mm以上、○ 図示

章	項目	特記事項
10 石工事	○ 7.笠木、甲板等の石張り	(10.2.2)(10.7.1、3) ・石材の厚さ ※図示　○(　　mm) ・取付け工法 ：○ 外壁湿式工法、○ 乾式工法 ・特殊部位用金物 ： 材質 ※ ステンレス(SUS304)、○(　　) 寸法等 引金物 ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○(　　) だぼ ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○(　　) かすがい ※ 標準仕様書10.2.2(3)による、○(　　) 受け金物 ※ 図示による、○(　　) ・乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 ： ※ 標準仕様書表10.2.4に準ずる（方式 ○スライド方式、○ ロッキング方式）、○ 図示 ・あと施工アンカーの材質、寸法等 ：○(　　) ・石裏面処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・乾式工法の場合の取付け代 ：○ 70mm程度、○(　　) ・石材裏面の補強用モルタル ：○ 適用する、○ 適用しない ・目地 ： 湿式工法の場合 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上、○(　　) シーリング材 ○ 適用する、○ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による、○ 図示 シーリング材の種類 ※ 標準仕様書表9.7.1による、○ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 幅、深さとも10mm以上、○ 図示 乾式工法の場合 目地材 ※ 8mm以上、○(　　) シーリング材の種類 ※ 標準仕様書表9.7.1による、○ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 幅・深さとも8mm以上、○図示
11 タイル工事	● 1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	(11.1.3)(表11.1.1) ・位置 ：※ 標準仕様書表11.1.1による、● 図示 ・目地寸法 ：● 標準仕様書9.7.3による、○(　　)
	○ 2.見本焼き試験施工	(11.1.4) 見本焼き： ○ 行う（施工箇所：　　）　○行わない 試験張り： ○ 行う（ 範囲、仕様等は図示 ）　○行わない
	● 3.セメントモルタルによるタイル張り	(11.2.2、6) ・タイルの形状、寸法等 ：標準的な曲がりの役物は一体成形とする 施工箇所 / 飲食テラス床 / / / 種類 / 磁器タイル / / / 形状寸法(mm) / 300角 / / / 再生材料 Ⓖ / ○適用する / ○適用する / ○適用する / ○適用する 吸水率による区分 / ● Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ / ○ Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ / ○ Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ / ○ Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ うわぐすり / ●有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 役物 / ●有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 色 / ●標準 ○特注 / ○標準 ○特注 / ○標準 ○特注 / ○標準 ○特注 耐凍害性 / ○有 ●無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 耐滑り性 / ● / ○ / ○ / ○ 備考 ・既調合モルタル ： モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 （品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による） ・既調合目地材 ： （品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による） ・下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ： ※ 目荒し工法（高圧水洗処理）、○ WCR工法、○(　　) ・壁タイル張りの工法 ： 内装タイル ○ 密着張り、○ 改良圧着張り 外装タイル ○ 密着張り、○ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ○マスク張り、 ○ モザイクタイル張り
	○ 4.有機系接着剤によるタイル張り	(11.3.2～5) ・タイルの形状、寸法等 ：標準的な曲がりの役物は一体成形とする 施工箇所 / / / / 種類 / / / / 形状寸法(mm) / / / / 再生材料 Ⓖ / ○適用する / ○適用する / ○適用する / ○適用する 吸水率による区分 / ○ Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ / ○ Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ / ○ Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ / ○ Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ うわぐすり / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 役物 / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 色 / ○標準 ○特注 / ○標準 ○特注 / ○標準 ○特注 / ○標準 ○特注 耐凍害性 / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 / ○有 ○無 耐滑り性 / ○ / ○ / ○ / ○ 備考 ・内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ：※ F☆☆☆☆ ○ (　　) ・下地調整塗りを行うコンクリート素地面の処理 ： ○ WCR工法、 ○目荒し工法（高圧水洗処理）、○ (　　) ・目地のシーリング材 ： 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 、○(　　) ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 、○(　　) 伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材、○(　　) その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材、○(　　) ・外装タイルの目地詰め ※ 行う ○ 行わない

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第246699号
TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785 第1－2310－9001号 岩崎 一博

工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	A － 002
図名	建築工事特記仕様書（２） R7.11	製図年月日 ・ ・

12 木工事

● 1.表面仕上げ　(12.1.4)

見え掛り面の表面仕上げの程度
● プレーナー加工仕上げ
適用箇所　：○ 図示による、○（　　）
○ 超自動機械かんな
適用箇所　：○ 図示による、○（　　）
○ サンダー
適用箇所　：○ 図示による、○（　　）

● 2.施工一般　(12.2.1)

材料のホルムアルデヒド放散量　：● F☆☆☆☆　○（　　）

● 3.製材 G　(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材：

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級(材料の品質)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※ 2級 ○	※ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
			※ 2級 ○	※ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級(材料の品質)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			※ 上小節 ○	※ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
見え掛り面以外			※ 小節以上 ○	※ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
				※ A種 ○ B種 ○		

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級(材料の品質)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※ 1等 ○	※ 10%以下 ○ A種 ○ B種		○ する ○ しない
			※ 1等 ○	※ 10%以下 ○ A種 ○ B種		○ する ○ しない

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		○ ○ 造作材 （※ A種、○ B種）	※ A種 ○ B種 ○	○ する ○ しない	○ する ○ しない
		○ ○ 造作材 （※ A種、○ B種）	※ A種 ○ B種 ○	○ する ○ しない	○ する ○ しない

○ 4.造作用集成材 G　(12.2.1)

・JAS 1152（集成材）に基づく造作用集成材　：

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない
					※ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない

・JAS 1152（集成材）に基づく化粧ばり造作用集成材　：

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない
		化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない

・JAS 1152（集成材）以外の造作用集成材　：

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※ 15%以下 ○	○ する ○ しない
				※ 15%以下 ○	○ する ○ しない

・JAS 1152（集成材）以外の化粧ばり造作用集成材　：

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※ 15%以下 ○	○ する ○ しない
	化粧薄板： 芯材：				※ 15%以下 ○	○ する ○ しない

○ 5.造作用単板積層材 G　(12.2.1)

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材　：

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			○ 有り（加工 ○ 天然木加工 ○ 塗装加工 ） ○ 無し（等級 ○ 1等、○ 2等、○ 3等）	○ する ○ しない	○ する ○ しない
			○ 有り（加工 ○ 天然木加工 ○ 塗装加工 ） ○ 無し（等級 ○ 1等、○ 2等、○ 3等）	○ する ○ しない	○ する ○ しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材　：

施工箇所	寸法(mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		○ 有り（加工 ○ 天然木加工、○ 塗装加工 ） ○ 無し（　　）	※ 14%以下 ○	○ する ○ しない	○ する ○ しない
		○ 有り（加工 ○ 天然木加工、○ 塗装加工 ） ○ 無し（　　）	※ 14%以下 ○	○ する ○ しない	○ する ○ しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板 G　：

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							○ する ○ しない
							○ する ○ しない

● 6.合板等　(12.2.1)

・JAS 0233（合板）に基づく普通合板 G　：

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	※ 5.5 ○		※ 1類 ○ 2類	広葉樹※ 2等以上、○ 1等 針葉樹※ C-D以上、○	○ する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ○ しない ○ する ○ しない

・JAS 0233（合板）に基づく構造用合板 G　：

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	保存処理	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	※ 12 ○	※ 2級以上 ○ 1級		※ 1類 ○ 特類	※ C-D以上 ○		○ する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ○ しない ○ する ○ しない

・JAS 0233（合板）に基づく化粧ばり構造用合板 G　：

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			※ 1類 ○ 特類	○ する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ○ しない ○ する ○ しない

・JAS 0233（合板）に基づく天然木化粧用合板 G　：

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
回廊	12	杉羽目板	● 1類 ○ 2類	● する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ● しない ○ する ○ しない

・JAS 0233（合板）に基づく特殊加工化粧合板 G　：

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の方法	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
					※ 1類 ○ 2類	○ する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ○ しない ○ する ○ しない

・JIS A 5908（パーティクルボード）に基づくパーティクルボード G　：

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
	※ 15 ○		※ 13タイプ ○	※ PフはM ○		○ する ○ しない ○ する ○ しない

・JAS 0360 に基づく構造用パネル　：

施工箇所	品名	寸法(mm)

・JIS A 5905（繊維板）に基づくMDF G　：

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						○ する ○ しない ○ する ○ しない

○ 7.接合具等　(12.2.2)

・造作材の化粧面の釘打ち
※ 適用する（※隠し釘打ち　○　　）　○ 適用しない
・諸金物の形状、寸法及び材質　(12.2.2)（表12.2.3～表12.2.5）
※ 標準仕様書12.2.2(2)(7)による
・接着剤（木れんが用接着を含む）のホルムアルデヒド放散量　：　(12.2.2、3)
※F☆☆☆☆

○ 8.防腐・防蟻処理　(12.3.1、2)

・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材　：
適用部位　○（　　）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　：

適用部材	保存処理性能区分
	○ K2、○ K3、○ K4
	○ K2、○ K3、○ K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理　：

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※ 薬剤の製造所の仕様による ○	※ JIS K 1571に適合又は同等品 ○

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位　○（　　）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位　○（　　）

○ 9.不燃処理木材等　(12.3.3)

・不燃材料
適用箇所　：○ 図示による、○（　　）
・準不燃材料
適用箇所　：○ 図示による、○（　　）
・難燃材料
適用箇所　：○ 図示による、○（　　）

○ 10.内部間仕切軸組及び床組　(12.4.1)

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　○
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　○

○ 11.窓、出入口その他　(12.5.1)

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
○

○ 12.床板張り　(12.6.1)

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※ひのき　○

○ 13.壁及び天井下地　(12.7.1)

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　○

13 屋根及びとい工事

● 1.長尺金属板葺　(13.2.2、3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	※ JIS G 3322の屋根用コイル ● ｶﾗｰ亜鉛鉄板	● 5類（AZ150）	0.4	○ 心木なし瓦棒葺 ○ 立平葺 ○ 蟻掛葺 ● 横葺 ○ 波板葺	

・下葺材料　：○ アスファルトルーフィング 940
● 改質アスファルトルーフィング下葺材
（ ● 一般タイプ、○ 複層基材タイプ、　○ 粘着層付タイプ）
・横葺きの場合のけらば納め
○つかみ込み納め　● けらば包み納め
・工法　：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、● 1.3）倍の風圧力に対応した工法
・雪止め　：○ 設置する（設置箇所：※ 図示、○　　）
● 設置しない

● 2.折板葺　(13.2.2)(13.3.2、3)(表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ピッチ					
	○ 重ね形 ○ はぜ締め形 ● かん合形	88	455	（ ）種	● 鋼板製 ○ アルミニウム合金板製	0.4	● 有り ○ 無し	○ 30分 ● 無し

・材料　：　板及びコイルの種類　※JIS G 3322の屋根用、　●（ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　）
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量　○（メーカー仕様による）
・断熱材張り ● 行う（種別.　　、厚さ(mm).　、防火　性能.　　時間）
○ 行わない
・工法　：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、● 1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
○　適用する　　● 適用しない
折板のけらば納め
● けらば包みによる方法、○　（　　）

○ 3.粘土瓦葺　(13.4.2、3)

施工箇所	種類 製法による区分	種類 形状による区分	種類 寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の採用
							○ する ○ しない
							○ する ○ しない

・JIS A 5208に基づく凍害試験等　：　※ 行わない、● 行う
・瓦桟木　：　材質 ※ 杉、○ ひのき、○（　　）
寸法 ※ 幅21×高さ15(mm)、○（　　）
・棟補強用心材　：　材質 ※ 杉、○ ひのき、○（　　）
寸法 ※ 幅40×高さ30(mm)、○（　　）
・瓦緊結用釘及びねじ
種類（　　）径（　　）長さ（　　）
・棟補強等に使用する金物等　：
材質 ○ステンレス製、　○ 亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法、留め付け等 ※ 図示、○（　　）
・工法　：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
・瓦桟木の留付け工法　※ 図示、○（　　）
・棟の工法　　標準仕様書13.4.3(4)による、　○ 7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
○ のし積み棟
・面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
○モルタル　　○ 瓦葺き用しっくい

● 4.とい　(13.5.2、3)(表 13.5.1～4)

・といその他の材種　：
○ 配管用鋼管、● 硬質ポリ塩化ビニル管、○ ルーフドレイン、
○ 表面処理鋼板（ ○ 表面及び裏面の塗膜の種類：　　○ 耐酸被覆鋼板　）
・とい受金物　：
材種　　● 表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）、○（　　）
形状　　● 表13.5.2による、○（　　）
取付け間隔 ● 表13.5.2による、○（　　）
・足金物　：
材種　　● 表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）、○（　　）
形状　　● 表13.5.2による、○（　　）
取付け間隔 ● 表13.5.2による、○（　　）
・多雪地域の場合の軒どいの取付間隔　：※ 0.5m以下　、○（　　）
・防露材のホルムアルデヒド放散量　：※ F☆☆☆☆、○（　　）
・鋼管製といの防露巻き　：
※ 適用する（工法 ※ 標準仕様書表13.5.4による、○　　）
○ 適用しない
・ルーフドレン

種別		呼び	施工箇所
● ろく屋根用（○ 縦型、● 横型）	● ねじ込み式 ○	100φ	R階
○ バルコニー用	○ ねじ込み式 ○ 差し込み式		
○ バルコニー中継用	○ ねじ込み式 ○ 差し込み式		

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎 一博

工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)		
図名	建築工事特記仕様書（3）　R7.11	製図年月日	・・

章	項目	特記事項
14 金属工事	○ 1.アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.1)(表14.2.1) 種別 / 色合い等 / 施工箇所（成形板、笠木、建具以外） ○ AB-1種 ○ AB-2種 ○ AC-1種 ○ AC-2種 ○ BA-1種 ○ BA-2種 ○ BB-1種 ○ BB-2種 ○ BC-1種 ○ BC-2種 ○ C種 色合い等（シルバー、アンバー、ブロンズ、ブラック系、ステンカラー、特注色） ・陽極酸化皮膜の着色方法 ：※ 二次電解着色、○ 三次電解着色
	○ 2.鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.2)（表14.2.2） 表面処理方法 / 種別 / 施工箇所（手すり、タラップ以外） ○ 溶融亜鉛めっき：○ A種 / ○ B種 / ○ C種 ○ 電気亜鉛めっき：○ D種 / ○ E種 / ○ F種
	● 3.軽量鉄骨天井下地	(14.4.2～4)(表14.4.1) ・野縁等の種類 ： 屋外（● 25形、○ 19形） 屋内（● 19形、○ 25形） ・屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法 ： 建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1、○1.15、●1.3）倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ○ 図示、○（ ） 周辺部の端からの間隔 ○ 図示、○（ ） 野縁の間隔 ○ 図示、○（ ） ・吊りボルトの間隔が900㎜を超える場合 ： 補強方法 ※ 図示、 ○（ ） ・天井のふところが3.0mを超える場合 ： 補強方法 ※ 図示、 ○（ ） ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 ： 補強箇所 ※ 図示、 ○（ ） 補強方法 ※ 図示、 ○（ ） ・特定天井 ： 範囲 ○ 図示、 ○（ ） 特定天井の設計用震度及びクリアランス 特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）による特定天井の設計用震度 検証ルート（ ） 室名 / 階 / 設計用水平震度（K_h） / 設計用鉛直震度（K_v） / クリアランス（㎜） ・特定天井以外の在来工法による吊り天井のうち天井材の落下により著しい影響がある室のもの（緊結吊天井） ： 範囲 ○ 図示、○（ ） 補強方法 標準仕様書14.4.2～14.4.4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1)～4)のとおりとする。 1) 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。 2) 野縁や野縁受けの隣り合うジョイントの位置は、互いに 1m 以上離し、千鳥状に配置。 3) 野縁受けと吊ボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置（開き止め）を講じる。 4) 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示第3第3項に適合する天井に用いられるもの、または、耐風圧クリップ相当の緊結度合を「新たな特定天井の技術基準（天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様の追加）の解説（平成28年7月版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所他）の「付録1 クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。 なお、当該クリップは、JIS A 6517によらなくてもよいものとする。 ・システム天井 ： 範囲 ○ 図示、 ○（ ） 種別 ※ グリッドタイプ 耐震性 以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度（K_h） ※ 1.0 、○（ ） 設計用鉛直震度（K_v） ※ 0.5 、○（ ） 層間変形角 ○ 1/100、○ 1/200、 ○（ ）
	● 4.軽量鉄骨壁下地	(14.5.3,4)(表14.5.1) ・スタッド、ランナーの種類 ： ● 標準仕様書14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類、 ○ 図示 ・スタッドの高さが5.0mを超える場合 ：※ 図示、○（ ） ・出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ： ● 標準仕様書14.5.4(5)による、 ○（ ）
	○ 5.金属成形板張り	(14.6.2,3) ・種別 ：※図示、○（ ） ・表面処理 ：○図示、○（ ） ・取付け用下地 ：○標準仕様書14.4による、 ○ 図示 ・伸縮調整継手 ：○設ける（施工箇所 ○ 図示、○（ ）） ○設けない
	○ 6.アルミニウム製笠木	(14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1) ・種類 ：○ 250形、 ○ 300形、 ○ 350形 ・表面処理 ：○ 種別 （ ）種 色合等 ○ 標準色（○ アンバー、○ ブロンズ、○ ブラック系、○ ステンカラー） ○ 特注色（ ） ・笠木の固定金具の工法等 ： 建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1、○1.15、 ○1.3）倍の風圧力に対応した工法
15 左官工事	○ 1.ラス系下地	(15.2.4) ・下地の種類 ○ 通気構法 （ ○二層下地 ○ 単層下地 ） ○ 直張り構法（ ○ラスモルタル下地 ○ ラスシートモルタル下地 ） ○ 図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合） ・材料 ラス材及び補強用平ラス 種類記号（ ※K ○ ） 種類及び単位面積当たりの質量 ○ 二層下地通気構法 ○ 波形ラス（W700） ○ こぶラス（K800） ○ 力骨付きラス（ＢＰ700） ○ 単層下地通気構法 ○ リブラスＣ（ＲＣ800）にターポン紙などの裏打ち材と一体化したラス ○（ ） ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ※ＬＳ４（耐力壁の場合） ○（ ） ステープルの形状及び寸法 ○ L925ＴＳ以上（リブラスＣ（ＲＣ800）の場合） ○ L1019ＪＳ以上（波型ラス（W700）の場合）

章	項目	特記事項
15 左官工事	○ 2.せっこうボードその他のボード下地	(15.2.5) ・せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ 種類（○GB-R ○GB-L ○ ） 厚さ（ ㎜） ・木質系セメント板の種類及び厚さ 種類（○ ） 厚さ（ ㎜）
	○ 3.こまい下地	(15.2.6) ・建築基準法に基づく耐力壁の指定 ○なし ○あり
	○ 4.木ずり下地	(15.2.7) ・材料 木ずり用小幅板の材種 ※ 杉（心去り材） ○（ ）
	● 5.モルタル塗り	(15.3.2、5) ・モルタル ：● 現場調合材料、○ 既調合材料（ ） ・既製目地材 ：○ 設ける（施工箇所（ ）、形状（※図示、 ○ 設けない ・床の目地 ：● 設ける（目地割り ※ 2㎡程度（最大目地間隔3m程度）、○（種類 ※ 押し目地、○ ） ○ 設けない ・外装タイル張り下地等の下地モルタル等塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ：○ 適用する、○ 適用しない ・防水剤 ： 品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による
	○ 6.仕上塗材仕上げ	(15.6.2) ・建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ：※ Ｆ☆☆☆☆、○（ ） ・仕上塗材の種類 ： 薄付け仕上塗材 種類（呼び名） / 防火材料 / 仕上げの形状及び工法等 ○ 外装薄塗材 Si / ○ / 仕上げの形状 ○ 可とう形外装薄塗材 Si / ○ / ○ 砂壁状 ○ 外装薄塗材 E / ○ / ○ ゆず肌状（ ○ 吹付け、○ ローラー塗り） ○ 可とう形外装薄塗材 E / ○ / ○ さざ波状 ○ 防水形外装薄塗材 E / ○ / ○ 平たん状 ○ 外装薄塗材 S / ○ / ○ 凹凸状（ ○ 吹付け、○ こて塗り） ○ 内装薄塗材 C / ○ / ○ 着色骨材砂壁状（ ○ 吹付け、○こて塗り） ○ 内装薄塗材 L / ○ / ○ 砂壁状じゅらく ○ 内装薄塗材 Si / ○ / ○ 京壁状じゅらく ○ 内装薄塗材 E / ○ / 工法 ○ 内装薄塗材 Ⅱ / ○ / 吸放湿性 ○ 適用する、○ 適用しない 厚付け仕上塗材 種類（呼び名） / 防火材料 / 仕上げの形状及び工法等 ○ 外装厚塗材 C / ○ / 仕上げの形状 ○ 外装厚塗材 Si / ○ / ○ 吹放し、 ○ 凸部処理、 ○ 平たん状 ○ 外装厚塗材 E / ○ / ○ 凹凸状、 ○ ひき起こし、○ かき落とし ○ 内装厚塗材 C / ○ / ○ 内装厚塗材 L / ○ / 工法等 ○ 内装厚塗材 G / ○ / 吸放湿性 ○適用する、 ○ 適用しない ○ 内装厚塗材 Si / ○ / 上塗材 ○適用する、 ○ 適用しない ○ 内装厚塗材 E / ○ 複層仕上塗材 種類（呼び名） / 防火材料 / 仕上げの形状及び工法等 ○ 複層塗材 CE / ○ / 仕上げの形状 ○ 可とう形複層塗材 CE / ○ / ○ ゆず肌状、○ 凸部処理、 ○ 凹凸状 ○ 複層塗材 Si / ○ / 工法等 ○ 複層塗材 E / ○ / 耐候性 ● 耐候形３種、 ○ ○ 複層塗材 RE / ○ / 上塗材 ○ 防水形複層塗材 CE / ○ / 溶媒 ● 水系、 ○ 溶剤系、○ 弱溶剤系 ○ 防水形複層塗材 E / ○ / 樹脂 ○ アクリル系、●ウッ素系 ○ 防水形複層塗材 RE / ○ / 外観 ● つやあり、○ つやなし、 ○ 防水形複層塗材 RS / ○ / ○ メタリック 軽量骨材仕上塗材 種類（呼び名） / 防火材料 ○ 吹付用軽量塗材 / ○ ○ こて塗用軽量塗材 / ○
	○ 7.マスチック塗料塗り	(15.7.2) ・標準仕様書15.7.2による
	○ 8.しっくい塗り	(15.10.1～4) ・下地の種類 ○（ ） ○ 標準仕様書15.10.1による場合以外の下地への適用（ ） ・材料 ○ 標準仕様書15.10.2(1)(ｱ)、(ｲ)による 色しっくい ：○ 適用する ○ 適用しない ○（ ） ・調合及び塗厚 既調合しっくい ※標準仕様書15.10.3(1)による ○（ ） 現場調合しっくい ※標準仕様書15.10.3(2)による ○（ ） ・既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 ○なで切り仕上げ、 ○パターン仕上げ、 ○ 押え仕上げ
	○ 9.ロックウール吹付け	(15.12.2、3) ・ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ：● Ｆ☆☆☆☆、○（ ） ・接着剤のホルムアルデヒド放散量 ：● Ｆ☆☆☆☆、○（ ） ・吹付け厚さ（㎜） ：○図示、● 25、○（ ）
16 建具工事	○ 1.防火戸	(16.1.3) ○ 建具表による、 ○（ ）
	○ 2.見本の製作等	・建具見本の製作 ：○ 行う（建具符号： ）、○ 行わない ・建具見本の程度 ：○ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ○ 納まり等が分かる程度のもの ・特殊な建具の仮組 ：○ 行う（建具符号：図示） ○ 行わない
	○ 3.防犯建物部品	(16.1.6) ○ 適用する（ ○ 建具表による、 ○ 図示）、 ○ 適用しない
	● 4.アルミニウム製建具	(16.2.2、4、5)（表14.2.1)(表16.2.1、2) ・性能値等 ： 耐風圧性の等級（● S-2 ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） 気密性の等級 （● A-2 ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） 水密性の等級 （● W-5 ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） 外部に面する建具の種別 ○ A種（建具符号 ○建具表による、○ ） ○ B種（建具符号 ○建具表による、○ ） ○ C種（建具符号 ○建具表による、○ ） ○ D種（建具符号 ○建具表による、○ ） ○ E種（建具符号 ○建具表による、○ ）

章	項目	特記事項
16 建具工事	● 4.アルミニウム製建具	防音ドア、防音サッシとする場合 ○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） 断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合 ○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ・耐震性能（特定室等及び避難経路の扉） ： RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ）） 重量がある扉 以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度（K_h） ※ 1.0、 ○（ ） 設計用鉛直震度（K_v） ※ 0.5、 ○（ ） 建具符号（○ 建具表による、○ ） ・材料、形状及び仕上げ、工法 ： ステンレス鋼板（※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1、○ ） 枠の見込み寸法 ● 建具表による、 ○（ ） アルミニウムの表面処理 外部に面する建具 種別 ○ BB-1種、 ○ BB-2種（標準仕様書 表14.2.1） 着色 ● 標準色、 ○ 特注色 屋内の建具 種別 ○ BC-1種、 ○ BC-2種（標準仕様書 表14.2.1） 着色 ● 標準色、 ○ 特注色 ステンレス製のくつずりの仕上げ ● 旧程度、○ No.2B程度、○（ ） 結露水の処理方法 ※ 排水式、 ○（ ） 水切り板、ぜんだ板 ※ 図示、 ○（ ） 木下地の場合の内付け建具 ○ 適用する ○ 適用しない
	● 5.網戸等	(16.2.3) 種類 / 材質 / 線径 / 網目 ● 防虫網 / ※ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ ステンレス(SUS316)製 / ※ 0.25㎜以上 ○ / ※ 16～18メッシュ ○ ○ 防鳥網 / ステンレス(SUS304)線材 / 1.5㎜ / 網目寸法15㎜
	○ 6.樹脂製建具	(16.3.2～5)(表16.3.1～3) ・性能値等 ： 耐風圧性の等級（○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） 気密性の等級 （○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） 水密性の等級 （○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） 外部に面する建具の種別 ： ○ A種（建具符号 ○ 建具表による、○ ） ○ B種（建具符号 ○ 建具表による、○ ） ○ C種（建具符号 ○ 建具表による、○ ） ○ D種（建具符号 ○ 建具表による、○ ） ○ E種（建具符号 ○ 建具表による、○ ） 防音ドア、防音サッシ ○ 遮音性の等級 ○ T-1種、 ○ T-2種 建具符号（ ○ 建具表による、○ ） 断熱ドア、断熱サッシ[G] 断熱性の等級 ○ H-4種、 ○ H-5種、 ○ H-6種、 ○ H-7種、 ○H-8種 建具符号（ ○ 建具表による、○ ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ○ N-1種、 ○ N-2種、 ○ N-3種 ・材料、形状及び仕上げ、工法 ： ガラス ※ 複層ガラス、 ○（ ） 枠の見込み寸法 ○ 建具表による、○（ ） 表面色 ○ 標準色、 ○ 特注色 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ 旧程度、○ No.2B程度、○（ ） 水切り板、ぜんだ板 ※ 図示、 ○（ ） 木下地の場合の内付け建具 ○ 適用する ○ 適用しない
	● 7.鋼製建具	(16.2.2)（16.4.2～4）(表16.4.2) ・性能値等 ： 簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ○ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ● S-4、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ○ S-5、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ○ S-6、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ・耐震性能 RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ）） 重量がある扉 以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度（K_h） ※ 1.0、 ○（ ） 設計用鉛直震度（K_v） ※ 0.5、 ○（ ） 建具符号（ ○ 建具表による、○ ） 防音ドア、防音サッシとする場合 ○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） 断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合 ○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） ・大型建具 ：※ 適用しない（表16.4.2による） ○ 適用する（建具符号、枠の見込み寸法：建具表による） ・材料、形状及び仕上げ ： ステンレス鋼板 ※SUS304・SUS430JIL・SUS443J1、○（ ） 鋼板の厚さ ※ 標準仕様書16.4.2による、 ○ （使用箇所 ）） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※旧程度、 ○No.2B程度、 ○（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による、 ○（ ）
	○ 8.鋼製軽量建具	(16.2.2)(16.5.2～4)(16.5.6)(表16.5.1) ・性能値等 ： 簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ○ 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 ○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） 防音性能を求める場合 建具符号 ○ 建具表による、 ○（ ） 防音充填材 ○ グラスウール、 ○ ロックウール 断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合 ○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ・耐震性能 RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ）） 重量がある扉 以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度（K_h） ※ 1.0、 ○（ ） 設計用鉛直震度（K_v） ※ 0.5、 ○（ ） 建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ・材料、形状及び仕上げ ： 鋼板 ○ 亜鉛めっき鋼板、 ○ ピール被膜鋼板、○ カラー鋼板、 ○ ステンレス鋼鋲（※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1、○ ） 召合せ、縦小口勾み板の材質 ○ 鋼板、 ○ 建具表による 鋼板の厚さ ※ 標準仕様書表16.5.1による ○ （使用箇所 ）） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※旧程度、 ○No.2B程度、 ○（ ） 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による、 ○（ ）

章	項目	特記事項
16 建具工事	○ 9.ステンレス製建具	(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5) ・性能値等 ： 簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ○ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ○ S-5、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ○ S-6、建具符号（ ○ 建具表による、○ ） 防音ドア、防音サッシとする場合 ○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） 断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合 ○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、 ○ ） ・耐震性能 RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ）） 重量がある扉 以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度（K_h） ※ 1.0、 ○（ ） 設計用鉛直震度（K_v） ※ 0.5、 ○（ ） 建具符号（ ○ 建具表による、○ ） ・材料、形状及び仕上げ、工法 ： 鋼板 ※ SUS304・SUS430JIL・SUS443J1、 ○（ ） 表面仕上げ ※ Ⅱ仕上げ、 ○ 鏡面仕上げ、○（ ） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※Ⅱ程度、 ○No.2B程度、 ○（ ） ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ、 ○ 角出し曲げ
	○ 10.木製建具	(16.7.2～4) ・建具材の加工、組立時の含水率 ：※A種、 ○（ ） ・建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ： ※ Ｆ☆☆☆☆、○（ ） ・フラッシュ戸 ： 表面材の合板の種類 合板の種類 / 表面材の品質等 / 備考 ○ 普通合板[G] / 板面の品質（ ※広葉樹1等 ） 接着の程度（ ○ 1類、 ○ 2類） / ○ 天然木化粧合板[G] / 樹種名（ ） 接着の程度（ ○ 1類、 ○ 2類） / ○ 特殊加工化粧合板[G] / 化粧加工の方法 （ ○ オーバーレイ、 ○プリント、○ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ○ 1類、 ○ 2類） / ○ ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（MDF） / 表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） 耐水性による区分（ ） / 表面板の厚さ ：※ 表16.7.6による、○（ ） ・かまち戸 ： かまち樹種 ○（ ）、鏡板樹種○（ ） 見込み寸法 ※ 36㎜、 ○ 建具表による、 ○（ ） ・ふすま ： 張りの種別（ ○ Ⅰ型、○ Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ○ 鳥の子、 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度 上張り（押入等の裏側） 雲花紙程度 縁仕上 ○ 塗り縁、 ○生地縁（素地）、 ○ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※ 19.5㎜、 ○ 建具表による、 ○（ ） ・戸ぶすま ： 見込み寸法 ※ 30.0㎜、 ○ 建具表による、 ○（ ） ・紙張り障子 ： 見込み寸法 ※ 30.0㎜、 ○ 建具表による、 ○（ ） ・枠、くつずりの材料 ：○ 建具表による、 ○（ ）
	● 11.建具用金物	(16.8.2,3)（表16.8.1～5） ・金物の種類・見え掛り部の材質等 ： ※ 標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による、○（ ） ・金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ： ※ 標準仕様書表16.8.2及び適用は建具表による、○（ ） ・樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ： ※ 標準仕様書表16.8.3による、○ 建具表による ・木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ： ※ 標準仕様書 表16.8.4による、 ○ 建具表による ・木製建具に使用する戸車及びレール ： ※ 標準仕様書 表16.8.5による、 ○ 建具表による ・握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ： ○ 建具表による、○ 図示 ・錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠） ： （品質・性能及び試験方法）建築材料等品質性能表による ・クローザ類 ： （品質・性能及び試験方法）建築材料等品質性能表による
	● 12.鍵	(16.8.4) ・マスターキー ：○ 製作する（ ）、○ 製作しない ・その他の鍵 ：※ 各室 3本 1組（室名名札付き）、○（ ） ・鍵箱 ：※ 有り、 ○ 無し
	● 13.自動ドア開閉装置	(16.9.2、3) ・性能 ： 引き戸用駆動装置 性能等 ※ 標準仕様書表16.9.1による、○ 以下による 種類・開閉方式 / / 耐電圧 / 温度上昇 / / 耐久性（サイクル） / 防錆 / ○ 適用する ○適用しない / 電源 / 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 ： 性能等 ※ 標準仕様書表16.9.2による、○ 以下による 耐電圧 / / 温度上昇 / 耐久性（サイクル） / / 防錆 / ○ 適用する ○適用しない 電源 / / / 引き戸用検出装置 性能等 ※ 標準仕様書表16.9.3による、○ 以下による 放射無線周波電磁界耐性 / / / 耐電圧 / / 防錆 / ○ 適用する ○適用しない 防滴 / / 電源 / ・機構 ： 戸の開閉方式 / ○ 図示、 ○（ ） 引き戸検出装置の種類 / ○ 光線(反射)センター、 ○ 熱線センサー、 ○ 音波センサー、 ○ 光電センサー、 ○ 電波センサー、 ○ タッチスイッチ（○無線式 ○ 光電式 ） ○ 押しボタンスイッチ、 ○ 車椅子使用者用便房スイッチ（○ 大形押しボタン ○ 非接触 ） 凍結防止装置 / ○ 適用する（建具表による）、 ○ 適用しない
	○ 14.自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3)(表16.10.1) ・引戸装置 性能等 ※ 表16.10.1による、○ 以下による 手動開き力 / / 手動閉じ力 / 閉じ速度の調整 / / 制動区間 / 開閉繰返し / / 耐衝撃性 /

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785

工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	A－004
図名	建築工事特記仕様書（4） R7.11	製図年月日 ・・

16 建具工事

○ 15.重量シャッター (16.11.2、3)

・シャッターの種類 :
○ 管理用シャッター（耐風圧強度（)N/㎡ ）
○ 外壁用防火シャッター（耐風圧強度（ ）N/㎡ ）
○ 屋内用防火シャッター
○ 防煙シャッター
・外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 : ○（ ）N/㎡
・開閉方式による種類 : ※ 電動式（手動併用）、 ○ 手動式

・急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 :
○ 建具表による、○（ ）
・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 :
○ 建具表による、○（ ）
・危害防止機構を設けた屋内用防火シャッターもしくは防煙シャッターの設置箇所
○ 建具表による、○（ ）
機構 a) 危害防止装置
b) 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
・管理用シャッターのシャッターケース : ※ 設ける、 ○ 設けない
ただし、外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッター及び防炎シャッターには設けること
・スラット及びシャッターケース用鋼板 :
鋼板の種類 ○ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
○ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※ Z12またはF12、○（ ）
・ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質 :
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1、○（ ）

● 16.軽量シャッター (16.12.2～4)

・開閉方式による種類 : ● 手動式、 ○ 電動式（手動併用）
・耐風圧強度 : ○（ ）N/㎡
・急降下停止装置を設けた電動式シャッターの設置個所 :
○ 建具表による、○（ ）
・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置個所 :
○ 建具表による、○（ ）
・スラットの材質 :○JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（ ※ Z06又はF06、 ○ ）
○JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（ ※ AZ90 、 ○ ）
・スラットの形状 :○インターロッキング形、 ○オーバーラッピング形

○ 17.オーバーヘッドドア (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能の区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ	○ 125	※ バランス式	○ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板
○ アルミニウムタイプ	○ 100	○ チェーン式	○ ローヘッド形	
○ ファイバーグラスタイプ	○ 75	○ 電動式	○ ハイリフト形	○ ステンレス鋼板
	○ 50		○ バーチカル形	

ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1、○（ ）
・障害物感知装置を設けた電動式オーバーヘッドドアの設置場所 :
※ 建具表による、○（ ）

● 18.ガラス (9.7)（16.14.2～4）(図16.14.1)

・適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類 ※ 建具表による、 ○ 図示
・型板ガラスの厚さによる種類 ※ 建具表による、 ○ 図示
・網入板ガラス、線入板ガラスの鋼、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
※ 建具表による、 ○ 図示
・合わせガラス :

材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類	※ 建具表による、 ○ 図示
形状による種類	○ 平面合わせガラス、 ○ 曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	○ Ⅰ類、○ Ⅱ-1類、 ○Ⅱ-2類、 ○ Ⅲ類

・強化ガラス :

形状による種類、材料板ガラスの種類 厚さの呼びによる種類、特性による種類	※ 建具表による、 ○ 図示
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	○ Ⅰ類、○ Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス :

板ガラスの種類、厚さによる種類	※ 建具表による、 ○ 図示
性能による種類	○ 1類、 ○ 2類

・複層ガラス :

材料板ガラスによる種類及び厚さの組合せ 複層ガラスの厚さ	※ 建具表による、 ○ 図示
断熱性による区分	○ T1、○ T2、○ T3、○ T4、○ T5、○ T6
日射取得性、日射遮蔽性	○ G、 ○ S
封入気体の種類	○ 空気 、○アルゴン

・熱線反射ガラス :

材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類	※ 建具表による、○ 図示
日射熱遮へい性による区分	○ 1種、 ○2種、 ○ 3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性が2種の場合）	○ A種、 ○B種

・倍強度ガラス :

材料板ガラスの種類、厚さによる種類	※ 建具表による、○ 図示

・ガラスの留め材及び溝の大きさ :

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(㎜)
○ アルミニウム製	※ グレイジングチャンネル ○ シーリング材	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示
○ 樹脂製	○ グレイジングガスケット ○ グレイジングチャンネル	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示
○ 鋼製及び鋼製軽量	○ シーリング材 ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示
○ ステンレス製	○ シーリング材 ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示

・構造体の層間変形角に対する追従性 :
以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。
○ 1/100、○ 1/200、○（ ）

16 建具工事

○ 19.ガラスブロック (16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(㎜) 平積み	目地幅(㎜) 曲面積み	伸縮調整目地(㎜)	防火性能
○ 正方形	○ 125×125	80	○ クリア ○ 乳白	※ 8 ～15	外側 ※ 標準仕様書表16.4.5(2)(ｳ)(a)② ○ 内側 ※ 標準仕様書表16.4.5(2)(ｳ)(a)② ○	※ 6m以下ごとに幅10～25 ○ 図示 ○	※ 無し ○ 有り
	○ 160×160	95	○ クリア ○ 乳白				
	○ 200×200	95	○ クリア ○ 乳白				
	○ 320×320	95	○ クリア ○ 乳白	○ 15 ～25			
○ 長方形	○ 250×125	80	○ クリア ○ 乳白				
	○ 320×160	95	○ クリア ○ 乳白				

・壁用金属枠及び補強材の材料、形状 : ※ 図示、○（ ）
・力骨 : 材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)、○（ ）
寸法 ※ 径5.5㎜、○（ ）
形状 ※ はしご形状複筋及び単筋、 ○（ ）
・化粧目地モルタルの色 ○（ ）
・シーリングの種類 （ ○ ＳＲ－１ ○ ＰＳ－１）
・金属製化粧カバー : 材質 ○ ステンレス製、 ○ アルミニウム製
寸法 ※ 図示、○（ ）
形状 ※ 図示、○（ ）
・木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ※図示 、○（ ）
・工法 :
建築基準法に基づき定まる風圧力の ○1、○1.15、 ○1.3）倍の風圧力に対応した工法
・目地部の横力骨の納まり :
※ ガラスブロック製造所の仕様による、 ○ 図示

17 カーテンウォール工事

○ 1.取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
・取付方法 : ○ 層間方式、 ○ 柱・梁方式、 ○ 方立方式、 ○ スパンドレル方式、
○ （ ）
・性能 :

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)
				○ 30分 ○ 1時間	○ 80 ○ 70 ○ 60

・耐風圧性能 :
建築基準法に基づき定まる風圧力の ○1、○1.15、 ○1.3）倍の風圧力に対応した工法
・主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く） :

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	○ たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20㎜以下であること
	○
4mを超える	○

・地震力に対する安全性 :

設計用震度	帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能
設計用水平震度（Ks） ※ 1.0 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。
設計用鉛直震度（Kv） ※ 0.5 ○	なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。

構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能
○ 1/100 ○ 1/200	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと 層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。

・性能の確認方法及び判定方法 :
※ 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

○ 2.メタルカーテンウォール (17.2.2、3、5)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
・金属系材料の種類 :
○ アルミニウム材 規格等 標準仕様書16.2.3による
種別 標準仕様書 表14.2.1による
着色 ○標準色、 ○特注色
映像調整 ○行う、 ○ 行わない
○ 鋼材
○ ステンレス鋼材
・形状及び仕上げ :
製品の寸法許容差 ※ 標準仕様書 表17.2.1.による、○（ ）
見え掛かり部の仕上げ ○（ ）
ガラス溝の寸法、形状等 ※ カーテンウォールの製造所の仕様、○（ ）
・取付け :
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向 ※ ±10㎜、 ○（ ）
水平方向 ※ ±25㎜、 ○（ ）
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅 ※ ±3㎜、 ○（ ）
目地の芯の通り ※ 0～＋2㎜、○（ ）
目地両側の段差 ※ 0～＋2㎜、○（ ）
各階の基準墨から各部材までの距離 ※ ±3㎜、 ○（ ）
・シーリング材の種類（目地） :○（ ）
・ガラスの取付け材料 :○ シーリング 種類（ ）
○ 構造ガスケット 材質・形状・寸法等 ※ 図示、 ○（ ）
・断熱材 ◫ の種類 :○（ ）
・ガラスの取付け方法 :
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法
※ ４辺支持 ○（ ）

17 カーテンウォール工事

○ 3.PCカーテンウォール (17.3.2～5)(表17.3.1.2)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
・材料 :
コンクリート 種類 ○（ ）
品質 設計基準強度(Fc) ※ 30N/㎟、○（ ）
スランプ ※ 12cm 、○（ ）
気乾単位容積質量
○ 普通コンクリートの場合 2.1t/㎥ を超え2.5t/㎥ 未満
○（ ）
単位水量の最大値 ※ 185kg/㎥、○（ ）
鉄筋 種類記号 ※ SD295A（ ）、○（ ）
補強鉄線 径(㎜) ○ 3.2、 ○ 4.0、 ○ 5.0、○ 6.0
網目寸法 ○（ ）
・シーリング材の種類（目地） :○（ ）
・耐火目地材の種類 :○（ ）
・断熱材 ◫ の種類 :○（ ）
・ガラスの取付け材料 :○ シーリング 種類（ ）
○ 構造ガスケット 形状・寸法等 ※ 図示、 ○（ ）
・先付けの材料 :
○ 表面仕上げ材 ○ セラミックタイル
○ 石材（ ○ 花こう岩、 ○ 大理石、 ○ ）
○ 建具枠（ ）
○ ゴンドラ用ガイドレール（ ）
○ 図示による
・形状及び仕上げ :
製品の見え掛り部の寸法許容値

辺長	※ ±3㎜ 、○	対角線長の差	※ 0～+5㎜、○
版厚	※ ±2㎜ 、○	開口部内法寸法	※ ±2㎜ 、○
ねじれ、反り	※ 0～+5㎜、○	曲がり	※ 0～+3㎜、○
面の凹凸	※ 0～+3㎜、○	先付け金物の位置	※ 0～+5㎜、○

・PCカーテンウォールの仕上げ（ ）
・構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(㎜)（ ）
・製作 :
PC版の配筋 ※図示による
・取付け :
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向 ※ ±10㎜、 ○（ ）
水平方向 ※ ±25㎜、 ○（ ）
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅 ※ ±5㎜、 ○（ ）
目地の芯の通り ※ 0～＋3㎜、○（ ）
目地両側の段差 ※ 0～＋4㎜、○（ ）
各階の基準墨から各部材までの距離 ※ ±5㎜、 ○（ ）
ガラスの取付け方法
ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18 塗装工事

● 1.材料 (18.1.3)

・屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 : ● Ｆ☆☆☆、○（ ）
・防火材料 : ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
○ 仕上げ表による

● 2.素地ごしらえ（下地調整） (18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種、○ B種
	透明塗りの場合	※ B種、○ A種
鉄鋼面	DP以外	● RB種
	DPのみ	※ B種、○ A種、 ○C種
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等以外）		○ A種、○ B種
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）		※ B種
モルタル面及びプラスター面		※ B種、○ A種
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面		● B種、○ A種
コンクリート面（DPのみ）		※ A種、○ B種
押出成形セメント板面		○ A種、○ B種
せっこうボード面	目地：継目処理工法	● A種、○ B種
及びその他ボード面	目地：継目処理工法以外	※ B種、○ A種

● 3.錆止め塗料塗り (18.3.2、3)

下地面等			さび止め塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	ＳＯＰ	As種	※ A種、○ B種
		ＤＰ	1回目 Cs種 2、3回目 Ds種	標準仕様書表18.3.4
		ＥＰ－Ｇ	● Bs種、○ As種	● A種、○ B種
	見え隠れ部分	ＳＯＰ	As種	※ B種、○ A種
		ＤＰ	1回目 Cs種 2、3回目 Ds種	標準仕様書表18.3.4
		ＥＰ－Ｇ	● Bs種、○ As種	● B種、○ A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	ＳＯＰ	※ Az種、○ Bz種	※ A種、○ B種
		ＤＰ	Bz種	標準仕様書表18.3.6
		ＥＰ－Ｇ	Cz種	※ A種、○ B種
	鋼製建具以外	ＳＯＰ	※ Bz種、○ Az種	※ B種、○ A種
		ＤＰ	Bz種	標準仕様書表18.3.6
		ＥＰ－Ｇ	Cz種	※ B種、○ A種

● 4.塗装 (18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）	木部屋外	※ A種、○ B種	－
	木部屋内	※ B種、○ A種	－
	鉄鋼面	● B種、○ A種	－
	亜鉛めっき鋼面	（表18.4.3）	－
クリヤラッカー塗り(CL)		※ B種、○ A種	－
アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※ B種、○ A種	－
耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	（表18.7.1）	○ 上塗り等級(3)級
	亜鉛めっき鋼面	（表18.7.2）	○ 上塗り等級(　)級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	○ A種、○ B種、 ○ C種	－
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	※ B種、○ A種	－
	屋内の鉄鋼面	※ B種、○ A種	－
	木部	（表18.8.2）	－
	亜鉛メッキ鋼面	（表18.8.4）	－
合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		● B種、○ A種	－
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※ B種、○ A種	－
ステイン塗り		○ ﾋﾟｸﾞﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り ○ ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り	－
木材保護塗料塗り(WP)		※ B種、○ A種	－

・クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 :
○ 適用する(着色剤： ○ 溶剤系着色剤 ○油性染料着色剤)
○ 適用しない
・ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 :
○ 適用する
○ 適用しない
・オイルステン塗りの工程等 :
※製造所の仕様による

19 内装工事

● 1.接着剤 (19.2.2)

・接着剤のホルムアルデヒド放散量 : ● Ｆ☆☆☆ 、○（ ）
・接着剤の可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く） : 添付されていないものとする。
・施工箇所の下地セメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 :
○ 図示、○（ ）

● 2.下地の工法 (19.2.3)

・標準仕様書19.2.3(1)(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法 : ● 図示 、○（ ）

● 3.ビニル床シート ◫ (19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(㎜)	備考
※ FS（複層ビニル床シート） ○	● 無地 ○ マーブル柄 ○ 柄物	※ 2.0 ○	

・目地処理をする場合の工法 : ○ 熱溶接工法、○（ ）

○ 4.ビニル床タイル ◫ (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法(㎜)	厚さ(㎜)	備考
※ KT（コンポジションビニル床タイル） ○ TT（単層ビニル床タイル） ○ FT（複層ビニル床タイル） ○ FOA（置敷きビニル床タイル） ○ FOB（薄型置敷きビニル床タイル）	○ 無地 ○ 柄物	○ 300×300 ○ 450×450 ○ 500×500 ○	※ 2.0 ○ 2.5 ○ 3.0 ○	

○ 5.特殊機能床材 (19.2.2)

シートの種類	厚さ・寸法(㎜)、形状	性能	種類
○ 帯電防止床シート			
○ 帯電防止床タイル			
○ 視聴覚障害者用床タイル		ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による	
○ 耐動荷重性床シート			
○ 防滑性床シート			
○ 防滑性床タイル			

○ 6.ビニル幅木 (19.2.2)

・材質の種類：○ 軟質、 ○ 硬質
・高さ(㎜) : ※ 60、○75、○ 100、 ○（ ）
・厚さ(㎜) : ※ 1.5以上、○（ ）

○ 7.ゴム床タイル (19.2.2)

・種類 : ○ 単層、 ○ 積層
・色柄 : ○（ ）
・厚さ(㎜) : ○ 3.0、 ○ 4.5、 ○ 6.0、 ○ 9.0
・寸法(㎜) : ○（ ）

○ 8.カーペット敷き ◫ (19.3.2、3)(表 19.3.1)

・じゅうたん :

織り方	パイル形状	備考
○ ウェルトンカーペット	○ カットパイル	
○ ダブルフェースカーペット	○ ループパイル	
○ アキスミンスターカーペット	○ カット、ループ併用	

色柄 ※ 模様のない無地、○（ ）
パイル糸の種類 ※ 標準仕様書表19.3.1による（ ○A種、○ B種、 ○ C種）
○（ ）
帯電性 ○ 適用する、 ○ 適用しない
縦じゅうたんの接合方法 ○ ヒートボンド工法、○（つづりぬい ）
下敷き材 ※ 反毛フェルト（JIS L 3204第2種2号、呼び厚さ8㎜）、○（ ）
・タフテッドカーペット :

パイル形状	パイル長さ(㎜)	工法	帯電性の適用	備考
○ カットパイル		○ 全面接着工法 ○ グリッパー工法	○ する （ ） ○ しない	
○ ループパイル				
○ カット、ループ併用				

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※ 反毛フェルト（JIS L 3204第2種2号、呼び厚さ8㎜）、○（ ）
・タイルカーペット :

パイル形状	種別	施工箇所	寸法(㎜)	総厚さ(㎜)	備考
※ ループパイル	※ 第一種 ○ 第二種		※ 500×500 ○	※ 6.5 ○	
○ カットパイル	○ 第一種 ○ 第二種		※ 500×500 ○	※ 6.5 ○	
○ カット・ループ併用	○ 第一種 ○ 第二種		※ 500×500 ○	※ 6.5 ○	

タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き、 ○ 模様流し、 ○（ ）
階段部分 ※ 模様流し、 ○ 市松敷き、 ○（ ）
見切り、押え金物 材質（ ）
種類（ ）
形状等 ※ 図示、○（ ）

● 9.合成樹脂塗床 (19.4.2、3)(表 19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
● 厚膜型塗床材（弾性ウレタン樹脂系塗床）	じゃぶじゃぶ池		※ 平滑仕上げ ● 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ
○ 厚膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）		○ 薄膜流しのべ工法 ○ 厚膜流しのべ工法 ○ 樹脂モルタル工法	○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ
○ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）			※ 平滑仕上げ
○ アクリル樹脂塗床（JIS K 5970）（防塵塗料塗り）		※ 製造所の指定による	工程 塗布量(kg/㎡) ※ 0.25kg/㎡以上表面仕上げ ※ 平滑、 ○ 防滑 溶剤 ※ 水性、 ○ 溶剤系、 ○ 無溶剤系 仕上げ色 ※ 標準色、○

・塗料のホルムアルデヒド放散量 : ※ Ｆ☆☆☆☆ 、○（ ）

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470－22－3764
FAX. 0470－22－3785

工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)		A－005
図 名	建築工事特記仕様書（５） R7.11	製図年月日 ・ ・	

19 内装工事

○ 10.フローリング張り [G]

(19.5.2～6)(表 19.5.1～6)

・単層フローリング　：
○ フローリングボード1等

工法	○ 釘止め工法（ ○ 根太張り、 ○ 直張り）、 ○ 接着工法
樹種	※ なら　○
厚さ、大きさ	※ 標準仕様書表19.5.1による、 ○
仕上塗装	※ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

○ フローリングブロック 1等

工法	※ 接着工法
樹種	※ なら　○
厚さ、大きさ	※ 標準仕様書表19.5.1による、 ○
仕上塗装	※ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

・複合フローリング　：
○ 天然木化粧複合フローリング

工法	○ 釘留め工法（ ○ 根太張り、 ○ 直張り）、 ○ 接着工法
樹種	※ なら　○
種別（表19.5.2）	○ A種、 ○ B種、 ○ C種
仕上塗装	※ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

・フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　：　※ F☆☆☆☆、 ○(　　)
・接着工法の場合の裏面緩衝材　：　※合成樹脂発泡シート、 ○(　　)
・現場塗装仕上げ　：　施工箇所（　　）
※ウレタン樹脂ワニス塗り
○ピグメントステインの上、ワックス塗り
○生地のままワックス塗り

○ 11.畳敷き

(19.6.2)(表 19.6.1)

・種別　：
○ A種（畳表：○ JS、 ○ J1　）
○ B種
○ C種（畳床：○ PS-C20、 ○ PS-C25、 ○ PS-30　）
○ D種（畳床：○ KT-Ⅰ、 ○ KT-Ⅱ、 ○ KT-Ⅲ、 ○ KT-K、 ○ KT-N　）
・下地の種類　：　○ 標準仕様書表12.6.1による床組
○ ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン [G] ）
○ (　　)
・畳表及び畳床　：　ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
・衝撃緩和型畳　（畳表：　○C1、○ C2）

● 12.せっこうボードその他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

・適用　：　以下によるほか、図示による。
・合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド発散量　：
※ F☆☆☆☆、 ○(　　)
・合板の防虫処理の適用　：
○ 行う、　○ 行わない
・木質系セメント板　：

種類	厚さ(㎜)、規格等
○ 硬質木毛セメント板 [G]	○ 15、 ○ 20、 ○ 25、 ○
○ 中質木毛セメント板 [G]	○ 15、 ○ 20、 ○ 25、 ○
○ 普通木毛セメント板 [G]	○ 15、 ○ 20、 ○ 25、 ○
○ 硬質木片セメント板 [G]	○ 12、 ○ 15、 ○ 18、 ○ 21、 ○
○ 普通木片セメント板 [G]	○ 30、 ○

・繊維強化セメント板　：

種類	厚さ(㎜)、規格等
○ けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ 2（無石綿）○ 6、 ○ 8
○ 化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ 2（無石綿）○ 6、 ○ 8 表面への化粧張り等の加工　○ アクリル樹脂系焼付け ○

・火山性ガラス質複層板　：

種類	厚さ(㎜)、規格等
○ 火山性ガラス質複層板	○ 図示による　○

・繊維板　：

種類	厚さ(㎜)、規格等
○ ハードボード（素地）[G]	○ 無研磨板（ ○ スタンダード、 ○ テンパード） RN ○ 研磨板　（ ○ スタンダード、 ○ テンパード） RS ○ 2.5、 ○3.5、 ○ 5、 ○7
○ ハードボード（化粧）[G]	○ 内装用、　○外装用 ○ 2.5、 ○3.5、 ○ 5、 ○7
○ ミディアムデンシティファイバーボード [G]	○ 3 、 ○7 、○ 9、 ○12
○ インシュレーションボード [G]	A級（ ○ 天井仕上、 ○ 内装仕上、○　　） ○ 9 、 ○12、 ○15、 ○18

・パーティクルボード　：

種類	厚さ(㎜)、規格等
○ 単板張りパーティクルボード [G]	○ 無研磨板 VN、 ○研磨板 VS ○ 10、 ○ 12、 ○ 15、○ 18、 ○
○ 化粧パーティクルボード [G]	○ 単板オーバーレイ DN ○ プラスチックオーバーレイ DO ※ 塗装 DC ○ 10（難燃）、 ○12（難燃）、○

・吸音材料　：

種類	厚さ(㎜)、規格等
○ ロックウール化粧吸音板	○ フラットタイプ（ ○ 9（不燃）、○ 12(不燃)、○　　） ○ 凹凸タイプ　（ ○ 12(不燃)、○ 15(不燃)、○　　）
○ ロックウール吸音ボード1号	○ 25、○
○ グラスウール吸音ボード32K	○ 25(ガラスクロス包) 、 ○

・せっこうボード製品　：

種類	厚さ(㎜)、規格等
● せっこうボード	● 12.5（不燃）、○15（不燃）、 ○
○ 不燃積層せっこうボード	○ 9.5（不燃）　○ ○ 化粧無（下地張り用）、○ 化粧有（トラバーチン模様）
○ シージングせっこうボード	○ 12.5 （ ※ 不燃、 ○ 準不燃　）
○ 強化せっこうボード	○ 12.5（不燃）、 ○ 15（不燃）
○ せっこうラスボード	○ 9.5
○ 化粧せっこうボード（木目）	○ 12.5（不燃）幅440㎜程度 模様（ ○ 柾目、 ○ 板目）　専用下地材有り
● 化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	● 9.5（準不燃） ○

・合板、化粧板　：

種類	厚さ(㎜)、規格等
○ 普通合板 [G]	表面の樹種 生地　透明塗料塗り　（ ※ ラワン合板程度、 ○　　） 不透明塗料塗り（ ※ しな合板程度　、 ○　　） 板面の品質（　　） 厚さ(㎜)　（ ※ 図示による　○　　） 防虫処理　（ ○ する、○ しない　　）
● 天然木化粧合板 [G]	化粧板の樹種名（　　杉　　） 厚さ(㎜)　（ ● 図示による　○　　） 防虫処理　（ ● する、○ しない　　）
○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法（ ○オーバーレイ、 ○プリント、 ○塗装） 表面性能　（　　）タイプ 厚さ(㎜)　（ ※ 図示による　○　　） 防虫処理　（ ○ する、○ しない　　）
○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による厚さ（ ※ 1.2、○　　）
○ ポリエステル樹脂化粧板	

○ 13.壁紙張り

(19.8.2、3)(表19.8.1～3)

・ホルムアルデヒド放散量　：※　F☆☆☆☆、 ○　(　　)

施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考
	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、 ○ 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、　○準不燃 ○ 難燃	
	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、 ○ 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、　○準不燃 ○ 難燃	
	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、 ○ 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、　○準不燃 ○ 難燃	

・モルタル、プラスター面の素地ごしらえ　：※　B種、 ○ A種
・コンクリート面の素地ごしらえ　：※　B種、 ○ A種
・せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ　：※　B種、 ○ A種

○ 14.断熱材 [G]

(19.9.2～4)

・フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　：
※　F☆☆☆☆、○ (　　)
・断熱材打込み工法　：

種類	厚さ(㎜)	施工箇所
○ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
○ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) （ ○ 2種bA　○ 3種bA　○ 3種bC　○ 3種bD ）		
○ 硬質ウレタンフォーム断熱材		
○ フェノールフォーム断熱材		

・断熱材現場発泡工法　：
断熱材の種類　○ A種1、 ○ A種1H
厚さ（㎜）　○ 25、 ○ 30、 ○ (　　)
施工箇所　　○ 図示、○ (　　)
・現場発泡断熱材　：
（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

20 ユニット及びその他の工事

○ 1.フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所			
構法	○ 置敷式 ○ 支柱調整式 ○	○ 置敷式 ○ 支柱調整式 ○	○ 置敷式 ○ 支柱調整式 ○
寸法(㎜)	○ 500×500 ○	○ 500×500 ○	○ 500×500 ○
高さ(㎜)			
耐震性能	○ 1.0G、　○ 0.6G	○ 1.0G、　○ 0.6G	○ 1.0G、　○ 0.6G
所定荷重	○ 3,000N、 ○ 5,000N	○ 3,000N、 ○ 5,000N	○ 3,000N、 ○ 5,000N
表面仕上材	○ 帯電防止床タイル ○ タイルカーペット ○	○ 帯電防止床タイル ○ タイルカーペット ○	○ 帯電防止床タイル ○ タイルカーペット ○
備考			

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・寸法精度　：
※ 標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による
○ 以下による
パネルの長さ　(　　)
パネルの平面形状（精度）　(　　)
フリーアクセスフロアの高さ　(　　)
・帯電防止性能　：○ 評価値（U値）≧0.6以上　○ 評価値（U値）≧1.2以上
・感電防止性能　：※　漏えい抵抗（R）≧1×10^6Ω

○ 2.可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	○ スタッド式（内蔵）、 ○スタッド式(露出)、 ○ パネル式 ○ スタッドパネル式
構成基材の種類	スタッド パネル
表面仕上げ材 (パネル表面仕上げ)	○ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付、 ○ 壁紙張り ○
遮音性(dB/500Hz)	○ 0、 ○ 12、○ 20、 ○ 28、 ○ 36
防火性能	○ 不燃、○

・パネル内に取付ける建具　：　○ あり（※ 図示、 ○　　）、 ○ なし
・ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし　：
※ 標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質
・表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能　：
※ 標準仕様書19章による
・パネル材のホルムアルデヒド放散量　：※　F☆☆☆☆
○ (　　)

○ 3.移動間仕切

(20.2.4)

走行方法		○ 平行方向移動式、 ○ 二方向移動式
操作方法による種別		○ 手動式、　○ 電動式、 ○ 部分電動式
圧接装置の操作方法		○ プッシュ式、○ ハンドル式、○
総厚さ(㎜)		
パネル表面材	材質	○ 鋼板、　○
	仕上げ	○ 焼付塗装、 ○ 壁紙張り、 ○
遮音性(dB/500Hz)		○ 36未満、　○ 36以上

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能　：　標準仕様書19章による
・ハンガーレールの取付け下地の補強　：
※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
○ 図示
・パネルをランナーに取り付ける部品　：
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
○ (　　)
・ハンガーレール　：
※ ランナーを取り付けた状態で、パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする
○ (　　)
・ランナー　：
※ パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする
○ (　　)

○ 4.トイレブース

(20.2.5)

表面材の種類		○ メラミン樹脂系化粧板、 ○ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部	形状	※ 幅木タイプ、　○
ドアエッジ	材質	○ アルミニウム製、 ○ ステンレス製、 ○ 表面材と同材　、※　製造所の仕様
	形状	○ 標準、 ○ Rタイプ

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・パネル材のホルムアルデヒド放散量　：※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上
○ (　　)

● 5.手すり

(20.2.6、12)

材料の種類及び仕上
：○ ステンレス製　SUS304（表面処理　※ HL程度、○ (　　)）
○ 鋼製　　（表面処理　○ 溶融亜鉛めっき種別（　　））
● アルミニウム　表面処理（ ※標準仕様書 表14.2.1による種別（　　種）
色合等　● 標準色（　　）　　○ 特注色（　　）
・手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(㎜)	取付箇所	備考
○ 集成材 （材種：　　）	○ クリアラッカー ○	○ 30、 ○ 35、 ○ 45		
● ビニル製ハンドレール		○ 30、 ○ 35、 ○ 45　● 48		
○				

● 6.階段滑り止め

(20.2.7)

材種		● ステンレス製、 ○ 黄銅製押出型材、 ○ アルミニウム製押出型材、 ○ (　　)
滑り止め材	形状	※ タイヤ型、 ○タイヤレス型
	材質	○ ゴム　、 ○ 合成樹脂、 ○ (　　)
取付け	工法	※ 接着工法、 ○ 埋込み工法
	寸法(幅)(㎜)	○ 35　○ 40　○ 50
	端部フラットエンド	○ あり、 ○なし

○ 7.黒板及びホワイトボード [G]

(20.2.9)

○ 黒板	区分	※ 焼付け　、 ○ (　　)
	種類	※ ほうろう黒板、 ○ (　鋼製黒板
	色	※ 緑　　、 ○ (　　)
○ ホワイトボード		

○ 8.鏡

(20.2.10)

取付箇所	
寸法(㎜)	○ 図示、○
厚さ(㎜)	※ 5　、○

● 9.表示

(20.2.11)

・衝突防止表示　：
設置場所　※ 図示　　○ (　　)
形状、寸法　○ 30φ　　、○ (　　)
材質　　● ステンレス製、○ (　　)
・案内用図記号　：　JIS Z 8210による
・誘導標識、非常用進入口等の表示　：　※ 消防法に適合する市販品、○ (　　)
・室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)：※ 図示による
・その他の表示　：　図示による

○ 10.タラップ

(20.2.12)

・材質及び仕上げ　：※ステンレス製　SUS304（スリップ止め加工　※ あり、○ なし）
○鋼製　　（表面処理　○ 溶融亜鉛めっき種別（　　））

○ 11.煙突ライニング

(20.2.13)

・適用安全使用温度　：○ 400℃、○ 650℃、　○ (　　)
・工法
※ 鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
○ (　　)

○ 12.ブラインド

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	スラット幅(㎜)	ボックスレールの材種
○ 横形	○ 手動	※ ギヤ式 ○ コード式 ○ 操作棹式	※ アルミニウム合金製 [G] ○	※ 25 ○	※ 鋼製 ○
	○ 電動	—	—		
縦形	○ 手動	※ 2本操作コード式 ○ 1本操作コード式	○ アルミスラット ○ クロススラット ○	○ 80 ○ 100 ○	※ アルミニウム合金製
	○ 電動	—	—		

・縦型ブラインドのスラットの材質　：
○ アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
○クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
・ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、[G]とする
・寸法、取り付け箇所　：※ 図示、○ (　　)
・幅・高さ　：※　図示　　○ (　　)

○ 13.ロールスクリーン [G]

(20.2.15)

操作方式	○ スプリング式、 ○ コード式、 ○ 電動式
幅、高さ	○ 図示、○
材種	○ ガラス繊維製、 ○ 合成・天然繊維製、 ○
品質等	
その他の材料	※ ロールスクリーンの製造所の仕様、○

・スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする

○ 14.カーテン

(20.2.16)

形式	○ シングル、 ○ ダブル	
	○ 片引き　、 ○ 引分け	
開閉操作	○ 手引き　、 ○ ひも引き ○ 電動	
ひだの種類	○ つまみひだ ○ 箱ひだ、片ひだ ○ プレーンひだ	
生地の種別、品質、特殊加工等		
取付箇所	○ 図示　、 ○	○ 図示　、 ○
備考		（暗幕）

・生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
・ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、[G]とする
・暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　：
※ 300㎜以上、 ○(　　)
・カーテン付属物　フック（ひるかん）
※ 鋼製　○樹脂製

○ 15.カーテンレール

(20.2.16)

材料による区分	※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ○ ステンレス製
強さによる区分	※ 10-90　、 ○
仕上げ	※ アルマイト、 ○
形状	※ 角形　、 ○

○ 16.ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（㎜）	○ 90×150、 ○ 120×80、 ○120×150、 ○ 150×80、 ○ 図示
材質	○ 集成材（仕上げ：　　） ○ アルミニウム製　押出し型材（市販品） 種別（標準仕様書 表14.2.1）○ BC-1種、 ○ BC-2種 色合い　○ 標準色（　　）、○ 特注色（　　） ○ 鋼製　（仕上げ：　　）

● 17.天井点検口

材種	寸法	形式	外枠	内枠
● アルミニウム製 ○	● 450×450 ○ 600×600 ○	● 一般形　○ 屋内外用 ● 屋内用 ○ 気密形	● 額縁タイプ ○ 目地タイプ	● 額縁タイプ ○ 目地タイプ

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

○ 18.床点検口

材種	寸法	形式	備考
○ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ○ 鋼製	○ 450×450 ○ 600×600 ○	○ 一般形　○ 屋内外用 ○ 密閉形　○ 屋内用	○ 鍵付き ○

密閉形とはボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする
（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

○ 19.耐震スリット

方向	幅(㎜)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
○ 垂直方向 ○ 水平方向	※ 図示 ○	○ 完全（全貫通型） ○	○ 耐火型 ○ 非耐火型	○ 有り ○ 無し	

・目地　：

目地	内壁	外壁
目地材	○ シーリング材(見え掛かりのみ) ○	○ シーリング材(見え掛かりのみ) ○ シーリング材（内外とも）
目地寸法（幅㎜×深さ㎜）	○ スリット幅×10 ○	○ スリット幅×10 ○

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

○ 20.止水板

形状	● 差込式、 ○ 据置式、 ○ 壁張り式
施工箇所	● 図示　、 ○

● 21.エキスパンションジョイント金物

● 施工箇所	EVホール床
材質	○ アルミニウム製、 ● ステンレス製
建築物間のクリアランス(㎜)	○ 50、 ○100、 ○150、 ● 300
変位追従量(㎜)	エキスパンションジョイントカバー ±150㎜
耐火性能	● 有り、（　　）、○ 無し
断熱性能	● 有り、（　　）、○ 無し
備考	
● 施工箇所	EVホール壁・天井
材質	● アルミニウム製、 ○ ステンレス製
建築物間のクリアランス(㎜)	○ 50、 ○100、 ○150、 ● 300
変位追従量(㎜)	エキスパンションジョイントカバー ±150㎜
耐火性能	● 有り、（　　）、○ 無し
断熱性能	● 有り、（　　）、○ 無し
備考	

外部に設置するものは防水型とする
エキスパンションジョイントカバーには脱落防止措置を講ずる

○ 22.くつふきマット

材種	受け枠	備考
○ 塩化ビニル又はゴム製 ○ 硬質アルミニウム合金製 ○ ステンレス鋼（SUS304）製 ○	○ ステンレス鋼（SUS304） ○ 硬質アルミニウム合金 ○	

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎 一博

工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)		A － 006
図 名	建築工事特記仕様書（6） R7.11	製図年月日	・・

20 ユニット及びその他の工事

○ 23.流し台ユニット

ユニット分類	寸法(mm) W	寸法(mm) D	寸法(mm) H	備考
○ 流し台	○ 1,200 ○ 1,500 ○ 1,800 ○ 3,880	○ 550 ○ 600 ○ 650 ○ 500	○ 800 ○ 850 ○	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
○ コンロ台	○ 600 ○	○ 550 ○ 600 ○ 650 ○	○ 620 ○ 670 ○	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
○ つり戸棚	○ 1,200 ○ 900 ○	○ 450 ○	○ 500 ○ 700 ○	市販品
○ 水切り	○ 1,200 ○ 900 ○ 600 ○	—	—	市販品 ステンレス製 ○ 1段式、○

・品質・性能　：　JIS A 4420による
・形状　　：※ 図示、○(　　)

○ 24.旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
○ アルミニウム合金製 ○	○ テーパー式 ○ 同一断面式		○ ハンドル式 ○ ロープ式	○ 埋込式 ○ ベース式 ○ バンド式	

○ 25.旗竿受金物

・材種　：○ ステンレス製（SUS 304）、○(　　)

○ 26.車止め支柱

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
○ 上下式鎖内蔵式	○ 標準品 ○ スプリング式	○ ステンレス製 ○	
○			

● 27.フェンス

フェンスの種類	○ ビニル被覆エキスパンドフェンス、● 樹脂塗装メッシュフェンス ○ 鋼管フェンス、○ アルミフェンス、○ (　　)
高さ	○ 図示、○

○ 28.プレキャストコンクリート　(20.3.3、4)

・コンクリートの設計基準強度　：
※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調合強度
○ 図示
・配筋　：
※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する、○ 図示
・取付け方法　：
※ 図示、○(　　)

○ 29.間知石及びコンクリート間知ブロック積み　(20.4.2、3)

材種	種類	質量区分	備考
○ 間知石	○ 花こう岩 ○ 凝灰岩	—	—	
○ コンクリート間知ブロック	—	○ A ○ B	

・積み方　：※ 谷積み、○ 布積み
・目地　　：○ 図示　、○ (　　)
・伸縮調整目地　：　材種　○ 図示、○ (　　)
　　厚さ　○ 図示、○ (　　)

○ 30.鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
○ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	○ 1種、○ 2種、○ 3種
○ 鋼製物品棚		○ 4種、○ 5種、○ 6種、○
○		

● 31.屋内掲示板

・枠の材質　　：※ アルミニウム製　、○(　　)
・表面の材質　：※ 塩ビ発泡シート張り、○(　　)

○ 32.洗面カウンター

・材種　　：○ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）、○ 人工大理石
・奥行き(mm)　：○ 約 450、○ 約 600

○ 33.防煙垂れ壁

・固定式　：

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨板ガラス ○ 線入り磨板ガラス	※ 6.8 ○	※ 500 ○	アルミ製枠付き

・可動式　：

種類	材質	高さ(mm)	備考
○ 垂直降下式（巻取り型）	不燃布（不燃認定品）	※ 500 ○ 800 ○	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ○ 可動式（天井収納型）
○ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ※ 天井材張り ○

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

○ 34.屋外掲示板

・照明器具　：※ 有り、○ 無し
・施錠　　：※ 有り、○ 無し

○ 35.収納家具

・材質、形状、寸法　：
※ 図示、○(　　)
・合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　：
※ F☆☆☆、○(　　)
・壁等に固定する家具　：※ 固定方法、寸法は家具表による　○下表による

家具名称	設置場所	固定方法	備考
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	

軽量鉄骨壁下地等への補強 ※ 図示、○ (　　)
収納物の散乱防止措置（ラッチ機構、ロック機構等）　講ずる
地震力に対する安全性

設計用震度	性能
設計用水平震度（K_h） ※ 1.0 ○	設計用震度の地震による引抜き力に対して、固定金具に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。
設計用鉛直震度（K_v） ※ 0.5 ○	なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。

21 排水工事

○ 1.屋外雨水排水　(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

・排水管用材料　：

材種	管の種類	形状	呼び径	備考
○ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	○ 卵形 ○	※ 図示、○	
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ RF-VP Ⓖ		※ 図示、○	
	○ RS-VU Ⓖ		※ 図示、○	
	○ VP		※ 図示、○	
	○ VU		※ 図示、○	

・基床の厚さ及び種類　：○ 図示、○ (　　)
・硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　：※ 接着剤、○ ゴム輪
・側塊の形状及び寸法　：○ 図示、○ (　　)
・排水桝、ふたの種類　：○ 図示、○ (　　)
・砂地業に用いる材料（6.4.2(2)）　：
○ シルト、○ 山砂、○ 川砂、○ 砕砂
・砂利地業に用いる材料（6.4.2(1)）　：
○ 再生クラッシャラン Ⓖ、○ 切込砂利、○ 切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート　：
種類　※ 普通コンクリート、○ (　　)
設計基準強度 ※ 18N/mm²、○(　　)
スランプ　※ 15cm又は18cm、○ (　　)
・現場打ちの場合の鉄筋　：
種類の記号　※ SD295A、○(　　)
・排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物　：
材料　○ ステンレス製（幅400mm、径22mm）
○ 防錆処理を行った鋼製（径22mm）
○ 合成樹脂被覆加工されたもの（径19mm）
・凍上抑制層の厚さ　：○ 図示、○ (　　)
・凍上抑制層に用いる材料　：○(　　)
（砂を用いる場合の砂の粒度試験　○行う、○ 行わない）

○ 2.鋳鉄製ふた　(21.2.1)

・鋳鉄製マンホールふた　：

種類	適用荷重	鍵	備考
○ 水封形 ○ 簡易密閉形（パッキン式） ○ 密閉形（テーパ・パッキン式） ○ 中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ○	○ T-2 用 ○ T-6 用 ○ T-20用 ○	○ 有り ○ 無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

○ 3.グレーチング　(21.2.1)

・鋼製　：

形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
○ 受枠付き、ボルト固定 ○	○ 溝ふた（横断用） ○ 溝ふた（側溝用） ○ 桝ふた用 ○ U 字溝用	○ 歩行用 ○ ○ T- 2用 ○ T- 6用 ○ T-14用 ○ T-20用	○ 細目 ○ ○ 普通目 ○ 細目		○ 凹凸形 ○ ○ 平形 ○

・ステンレス製　：

形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
○ 受枠付き、ボルト固定 ○	○ 溝ふた（横断用） ○ 溝ふた（側溝用） ○ 桝ふた用 ○ U 字溝用	○ 歩行用 ○ ○ T- 2用 ○ T- 6用 ○ T-14用 ○ T-20用	— — 	— — 	○ 凹凸形 ○ ○ 平形 ○

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

● 4.街きょ、縁石、側溝　(21.3.1、2)(表21.3.1)

・街きょ、縁石、側溝　：

種類	形状、寸法
● 縁石	● 図示、○
○ L 形側溝	※ 図示、○
○ U 形側溝	※ 図示、○
○ U 形側溝ふた	※ 図示、○
○ 現場打ち側溝	※ 図示、○

・砂地業の材料　：
○ シルト、○ 山砂、○ 川砂、○ 砕砂
・砂利地業に用いる材料　：
○ 再生クラッシャラン Ⓖ、○ 切込砂利、○ 切込砕石
・砂利地業の厚さ　：
● 100（mm）、○ 図示
・現場打ちの場合のコンクリート　：
種類　● 普通コンクリート、○ (　　)
設計基準強度 ● 18N/mm²、○(　　)
スランプ　● 15cm又は18cm、○ (　　)
・現場打ちの場合の鉄筋　：
種類の記号　● SD295A、○(　　)
・凍上抑制層の厚さ　：○ 図示、○ (　　)
・凍上抑制層に用いる材料　：○(　　)
（砂を用いる場合の砂の粒度試験　○行う、○ 行わない）

● 5.埋戻し土　(21.2.1)

・埋戻し土　：● B種、○ (　　)

22 舗装工事

○ 1.路床　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

・路床の材料　：

種別	材料	厚さ(mm)
○ 盛土	○ A種、○ B種、○ C種、○ D種 ○ 建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ	○ 図示 ○
○ 凍上抑制層	○ 再生クラッシャラン Ⓖ、○ クラッシャラン ○ 切込み砂利 ○ 砂（標準仕様書表21.2.2による） ○	○ 図示 ○
○ フィルター層	○ 砂（標準仕様書表22.2.3(3)による） ○	○ 図示 ○

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
・行う
・行わない
・路床安定処理　：
安定処理の方法　○ 置き換え工法、○ 安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類　○ 普通ポルトランドセメント、○ 高炉セメントB種 Ⓖ
○ フライアッシュセメントB種
○ 生石灰（ ○ 特号、 ○1号 ）、○ 消石灰（ ○ 特号、 ○1号）
○ 固化剤（ ○ セメント系、 ○ 石灰系）
添加量　（　　kg/m³（目標CBR ○3以上、 ○　　））
安定処理工法に関する試験
安定処理土のCBR試験（配合試験含む）　○行う、 ○行わない
（安定処理のCBR試験、配合試験は「舗装調査・試験法便覧」（安定処理土のCBR試験方法（JGS 0811準拠））、「舗装施工便覧」（5-1-4(1)）による）
六価クロム溶出試験　○行う、 ○行わない
・路床置換処理　：
置換厚　※ 図示、○ (　　)
置換材料の種類、品質　※ 図示、○ (　　)
・不織布（ジオテキスタイル）　：
単位面積質量　○ 60g/m²以上　、○ (　　)
厚さ(mm)　○ 0.5～1.0　、○ (　　)
引張強さ　○ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上、○ (　　)
透水係数　○ 1.5×10⁻¹cm/sec以上　、○ (　　)
・試験　：
路床上の支持力比（CBR）試験　○ 行う（　　箇所）、○ 行わない
現場CBR試験（現場密度）　○ 行う（　　箇所）、○ 行わない
路床締固め度の試験　○ 行う（　　箇所）、○ 行わない

● 2.路盤　(22.3.2、3、5)(表 22.3.1)

・路盤の構成及び厚さ　：● 図示、○ (　　)
・路盤材料の種類（標準仕様書表22.3.1による種別）　：

砕石	● クラッシャラン ○ 粒度調整砕石
再生材	○ 再生クラッシャラン Ⓖ ○ 再生粒度調整砕石 Ⓖ
鉄鋼スラグ	クラッシャラン鉄鋼スラグ Ⓖ ○ 粒度調整鉄鋼スラグ Ⓖ ○ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ Ⓖ

● 3.アスファルト舗装　(22.4.2～6)(表22.4.4)

・アスファルト舗装の構成及び厚さ　：● 図示、○ (　　)
・舗装の平たん性　：※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度、○ (　　)
・材料　：
アスファルト○ 再生アスファルト Ⓖ
（標準仕様書表22.4.1による種類 ○ 60～80、 ○ 80～100）
○ ストレートアスファルト
骨材　○ 道路用砕石
○ アスファルトコンクリート再生骨材 Ⓖ
・加熱アスファルト混合物等の種類（配合は標準仕様書表22.4.4による）　：
○ 密粒度アスファルト混合物(13)
○ 細粒度アスファルト混合物(13)
○ 密粒度アスファルト混合物(13F)
・試験　：
アスファルト混合物等の抽出試験　○ 行う、○ 行わない

● 4.コンクリート舗装　(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

・コンクリート舗装の構成及び厚さ　：

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	● 車路、駐車場	● 図示、○	● 図示　○
	○ 歩行者用通路	※ 図示、○	※ 70、 ○ 120

・舗装の平たん性　：● 通行の支障となる水たまりを生じない程度、○ (　　)
・材料　：
コンクリート ● 普通コンクリートで標準仕様書表22.5.1による
○ 以下による
コンクリートの種類　(　　)
設計基準強度(N/mm²)　(　　)
所定スランプ(cm)　※ 8、○ (　　)
粗骨材の最大寸法(mm)　(　　)
早強ポルトランドセメント　○ 使用する、　○使用しない
注入目地材料　● 低弾性タイプ、　○高弾性タイプ
アスファルト乳剤　プライムコート(1.5L/m²)
目地　● 標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による
○ 以下による
種類　(　　)
間隔　(　　m程度ごと)
構造　○ 図示による、○ (　　)

○ 5.カラー舗装　(22.6.2～4)

○ 加熱系カラー舗装
構成及び厚さ　※ 図示、○ (　　)
加熱系混合物結合材　○ アスファルト混合物
○ 石油樹脂系混合物（顔料添加量　　%）
添加材
着色骨材　(　　)
自然石　(　　)
○ 常温系カラー舗装
工法　○ ニート工法、　○ 塗布工法
着色部の下部　○ アスファルト舗装、○ コンクリート舗装
・舗装の平たん性　：※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度、○ (　　)

22 舗装工事

○ 6.透水性アスファルト舗装　(22.7.2、3、6)

・舗装の構成　　：※ 図示、○ (　　)
・舗装の平たん性　：※ 著しい不陸がないもの、○ (　　)
・材料　：　骨材　○ 道路用砕石
○ アスファルトコンクリート再生骨材 Ⓖ
（標準仕様書表22.4.1による種類 ○ 60～80、○ 80～100）
・試験　：　開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　○ 行う、○ 行わない
砂の粒度試験　○ 行う、○ 行わない
○ 透水性コンクリート舗装　：　(22.5.2～4,6)
コンクリート舗装に対する基準値

項目	基準値
最大粒径　(mm)	13
空隙率　(%)	20以上
透水係数　(cm/s)	0.01以上
目地の間隔	版厚の20倍程度

構成、厚さはコンクリート舗装による
不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置　※ フィルター層と路床の間に敷設、○ 図示
○ 透水性コンクリート平板舗装舗装　(22.8.2、3)
透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による
○ 透水性インターロッキングブロック舗装　(22.8.2、3)
透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による

○ 7.半たわみ性舗装

区分	種類	厚さ(mm)
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)	40
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40

・試験　：
半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験　○ 行う、 ○行わない
・材料　：
浸透用セメントミルクの標準的な性状

項目	性状	試験方法
フロー値（Pロート）秒	10　～　14	舗装調査・試験法便覧（C041）
圧縮強度（7日養生）MPa	9.8　～　29.4	JIS R 5201
曲げ強度（7日養生）MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧（C042）

・配合　：
半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合

ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率（%）
19　mm	100
13.2　mm	95　～　100
4.75　mm	10　～　35
2.36　mm	5　～　22
600　μm	4　～　15
300　μm	3　～　12
75　μm	1　～　6
アスファルト量（%）	3.0　～　4.5

半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値

項目	基準値
密度　(g/cm3)	1.90以上
安定度　(kN)	2.94以上
フロー値　(1/100cm)	20～40
空隙率　(%)	20～28
突き固め回数　(回)	50

・施工　：
アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。
浸透用セメントミルクの施工は、(1) から (5) による。
(1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。
(2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。
浸透作業は、一般に振動ローラー等により行う。
(3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、硅砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。
(4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下記に示すとおりである。

セメントミルクの種類	養生期間
普通タイプ	約3日
早強タイプ	約1日
超速硬タイプ	約3時間

(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的に注入前に交通解放は行わないようにする。
締固め度　　標準仕様書22.4.2(2)による
舗装厚さの許容差　標準仕様書22.4.2(3)による
舗装の平たん性　　通行の支障となる水たまりを生じない程度

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号　岩崎 一博

22 環境配慮改修工事

● 1 石綿含有建材の除去工事

改修[9.1.1、3～6]

○石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
○	測定 1	処理作業前	処理作業室内	○計＿＿点
○	測定 2		○調査対象室外部の付近 ○敷地境界	○計＿＿点
○	測定 3	処理作業中	処理作業室内	○計＿＿点
○	測定 4		ｾｷｭﾘﾃｨｰﾂ入口	○計＿＿点
○	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/s以下の位置 ○計＿＿点
○	測定 6		処理作業室内 ○施工区画周辺 ○敷地境界	○計＿＿点
○ ○	測定 7	処理作業後（ｼｰﾄ養生中）	処理作業室内	○計＿＿点
○	測定 8	処理作業後	処理作業室内	○計＿＿点
○	測定 9	（ｼｰﾄ撤去後）	○調査対象室外部の付近 ○敷地境界	○計＿＿点

測定方法
○自動測定器による測定

測定名称	測定方法
○測定 4 ○測定 5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

○JIS K 3850-1 に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径（㎜）	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
○測定 4 ○測定 5 ○＿＿	25	5	30
○測定 ○＿＿	47	10	120
○測定 ○＿＿	47	10	240
○測定 ○＿＿			

石綿含有建材の処理
○石綿含有吹付け材（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）の除去
除去対象範囲　○図示　○＿＿＿＿＿
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3（2）(7)による　○＿＿＿＿＿
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　○固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
○埋立処分(管理型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

●石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲　●図示　○＿＿＿＿＿
除去工法　※手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止　※湿潤化　○固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
●埋立処分(管理型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲　○図示　○＿＿＿＿＿
隔離養生（負圧不要）方法　○図示　○＿＿＿＿＿
足場　○図示　○＿＿＿＿＿
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
○埋立処分(安定型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

●石綿含有成形板の除去

除去対象範囲　●図示　○仕上表による
除去した石綿含有成形板の処分
○石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
●石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
●埋立処分(安定型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
○＿＿＿＿＿

○石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲　○図示　○＿＿＿＿＿
着工前の試験施工　※行う　○行わない
除去工法　○集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
○集じん装置併用手工具ケレン工法
○集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）
○集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）
○剥離剤併用超音波ケレン工法
○剥離剤併用手工具ケレン工法
○剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）
○剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）
○超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）
養生方法　○＿＿＿＿＿
石綿含有仕上塗材又は石綿含有形成（下地調整材）の除去
（1）剥離剤を使用する工法では、ジクロロメタン等の有害性の高い化学物質を使用しない。
剥離剤使用量　0．6～1．0kg/㎡
（2）水を使って除去する工事の場合には、未処理の廃水が流出・地下浸透しないようすべて回収しなければならない。回収した廃水は、凝集沈殿後に上澄み水をろ過処理する等により、適切に処理した上で放流すること。
除去した石綿含有仕上塗材の処分　○埋立処分（安定型最終処分場）
○埋立処分（管理型最終処分場）
○中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
石綿含有建材除去後の仕上げ工事　●図示　○＿＿＿＿＿

◆ 特記事項

設計変更に関する事項

「中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更」に関する特記仕様書

本工事は、ナフサを由来とする建設資材について、中東情勢の変化等により供給の偏りや 流通の目詰まりにより、入手が困難となっている資材（以下、「調達検討資材」）について、 調達変更により必要となる経費（以下、「別途調達経費」）について、設計変更により計上をする工事である。

（1）調達検討資材は塗料（さび止め塗料、塗料用シンナー等を含む）、防水材（シーリングを含む）、断熱材（押出法ポリスチレンフォーム等）、硬質ポリ塩化ビニル管、構造用合板などの資材を想定している。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

（2）受注者は、次の①、②のとおり、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員に「調達検討資材に関する協議書（様式１）」を提出し、協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

① 調達検討資材の代替資材を調達した場合

② 設計図書どおりの調達検討資材を調達するために、流通状況を踏まえた調達経費が別途必要となる場合（受注者が流通経路を見直して調達した場合も含む）

（3）設計変更に際し、受注者は、「調達検討資材に関する実施報告書（様式２）」、調達時期、購入数量、購入単価が記載された実際の取引伝票、見積書、請求書等（以下「証明書類」という）の資料を監督職員に提出する。

（4）妥当性が確認された別途調達経費について設計変更の対象とする。受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

（5）本運用による設計変更内容は、工事請負契約書第 26 条（スライド条項）の対象外とする。

（6）疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

別記1 建設副産物の処理

1.共通事項
1）「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）により作成し、施工計画書に含め、各1 部提出すること。
また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「建設副産物情報交換システム登録証明書」を同システムにより作成し、各 1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後 1年間保存しておくこと。
・作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100 万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

2）「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基き、建設副産物の処理に先立ち「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を１部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約書を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。
建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するととともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し確認を受けること。

3）建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票の D票及び E票を提示すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を提示すること。

4）以下の項目の数量については、積算のための参考数量を示す。

2.建設発生土
○ 指定(A)(工事間流用)の場合
本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間流用を図るものとし、下記指定場に搬出すること。

搬出先（相手先工事名、場所等）	工事（　　市　　町地先）
土質及び処理量	第　種建設発生土　㎥
搬出時期	年　月　～　年　月

なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。
○ 指定(A)(その他)の場合
建設発生土（　　㎥）は、（　　）地先に搬出するものとする。
なお、詳細については監督職員の指示によること。
● 指定(B)の場合
建設発生土（ 99.2 ㎥）は、（ 富津市 ）地先に搬出するものとする。
1） 上記、指定(A)及び指定(B)については、「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」による。
2） 建設発生土を搬出又は搬入する場合は「建設発生土管理基準」に基づき「建設発生土の管理調書」を作成・保管する。
3） 建設発生土に係る留意事項
・利用先の確保
他の工事現場での利用を促進するため、ストックヤード、土質改良プラント及び「建設発生土情報交換システム（コブリス・プラス）」を積極的に活用し、利用先の確保に努める。
・中間処理施設の選定
中間処理施設の選定に当たっては、利用先の品質要件にあう発生処理土を確保するため、他の残土と混ざらないようにいかに再生処理できるかが大きな要素となる。このため、経済性を含めて、総合的に判断する必要がある。
また、リサイクル原則化ルールに基づき、「建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）」の登録処理業者を活用して、50㎞範囲で検索する。
・品質・安全性の確保
処理土の品質・安全性を確認するため、土質試験、土壌分析試験などを行う。
・一時保管
利用先との工程調整のため一時保管する場合には廃棄物処理法等の手続きが必要となるので注意する。

3.路盤廃材

	数量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備考
○ 路盤廃材	t	郡市 町	㎞	※ 中間処理場 ○ 最終処分場	

4.建設廃棄物等

	数量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備考
○ コンクリート塊（無筋）	t	郡市 町地先	㎞	※ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● コンクリート塊（有筋）	377 t	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● アスファルト塊	57.7 t	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● その他がれき類	28.4 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 廃プラスチック	1.2 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 金属くず	295 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ その他くず類	㎥	郡市 町地先	㎞	※ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 廃石膏ボード	1.2 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 混合廃棄物	3 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ 建設汚泥	㎥	郡市 町地先	㎞	※ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 石綿含有廃プラ	1.8 ㎥	南房総市地先	㎞	※ 中間処理場 ● 最終処分場	
● カッター汚泥	0.1 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● ガラスくず	256 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 木くず	240 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 繊維くず	1.2 ㎥	南房総市地先	28.6 ㎞	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● スクラップ控除	2.9 t		28.6 ㎞	● 有価物処理	

工事発注後、事情により上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。
なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。

別記2 工事区分

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	●	○	○
		スリーブ、型枠	○	●	●
	埋込形（分電盤、端子盤、プルボックス）	鉄筋補強	●	○	○
	風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口、換気扇、大便器等	スリーブ、型枠	○	●	●
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切込み	補強とも	●	○	○
		補強のない場合	○	●	●
	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		●	※	※
	鉄骨、PC板等への穴開け、補強、スリーブ入れ（工場加工）		●	○	○
基礎	屋内 配電盤、制御盤、発電機、キュービクル、	躯体と一体のもの	●	○	○
	屋内 受水槽、サービスタンク	上記以外	○	●	●
	屋外 配電盤、制御盤、キュービクル、	鉄筋基礎	○	●	●
	屋外 受水槽、消火水槽	無筋基礎	○	○	○
	屋上 テレビアンテナ、避雷針、	躯体と一体のもの	※	○	○
	屋上 高架水槽、クーリングタワー、消化栓補給水槽	上記以外	○	●	●
	架台、アンカーボルト		○	●	●
点検口	床、壁、天井		●	○	○
	配線ピット、トレンチピット		※	○	○
	その他		○	○	○
配管配線	機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	○	●	○
		二次側	※	●	※
	制御盤と動力盤の間（接地とも）	電源供給	○	●	○
		操作 配管	○	○	○
		回路 配線（　）	○	○	○
	天井吊り型FCU 及び全熱交換形換気扇（接地とも）	電源供給	○	※	○
		操作 配管	○	○	○
		回路 配線（　）	○	○	○
	煙感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配線配管		○	○	○
			○	○	○
防油堤			※	○	○
インサート、吊りボルト（設備機器、器具、背反、ダクト用）			○	※	※
インサート、吊りボルト（天井）			●	○	○
換気扇枠			○	○	○
外部取り付けガラリ（ダクト、チャンバー接続用フランジを含む）			●	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785

工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	
図名	建築工事特記仕様書（8） R7.11	製図年月日 ・・

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
9 防水工事	1 アスファルト防水	乾式保護材	・乾式保護材　： 窯業系パネル　無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの 金属合板　金属板と樹脂を積層一体化したもの ・品質・性能　： 分類・規格 / 窯業系パネルⅠ類（耐衝撃性に優れ、また寒冷地仕様） / 窯業系パネルⅡ類（一般地仕様） / 金属複合板 寸法の許容差：厚さ　+10%、-5%、幅　±1% 外観：割れ、貫通、き裂がない。欠け、ねじれ、そり、異物の混入、汚れ、はく離など使用上支障がない。 含水率：出荷時において10%以下 / — / — 曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)（スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント）：標準時 / 550N・cm以上 / 450N・cm以上 / 300N・cm以上 凍結融解 完了時（試験サイクル数） / 400N・cm以上 (300) / 320N・cm以上 (200) / 250N・cm以上 (300) 吸水率(%)：20以下 / 20以下 / 1以下 吸水による長さ変化率(%)：0.07以下 / 0.07以下 / 0.01以下 難燃性：不燃 / 不燃 / 表面材は不燃 耐凍結融解性能：300 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 / 200 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 / 300 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。（明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。） 耐衝撃性能：質量1,000gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。 / 質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。 / 質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下 剛性(E×I)（スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性）：— / — / 80,000N・cm²以上 ・試験方法　： 1)寸法の測定方法 厚さ　供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 幅　供試体を平らなに置き、供試体のほぼ中央 1箇所の幅寸法を、JIS B 7512 「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516 「金属性直尺」に規定する目量が 1mmの1級直尺を用いて測定する。 2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前と、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。） なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。 5)吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出して[JIS R 8123 「塩化カルシウム（試薬）」に規定する塩化カルシウムまたはJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。 その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。 次に試験片の長さ方向を水平にこば立てて、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。 24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率　(ΔL)は、次式によって求める。 (ΔL) = (L2 - L1) / L1 * 100 ΔL　吸水による長さ変化率(%)、L1　乾燥時の標線間の長さ(mm)、L2　吸水時の標線間の長さ(mm) 6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。 100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。） 凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。 7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。 試験体の支持装置は、記号S2対 辺単純支持方法による。 試験体の大きさは、4号（長さ400mm、幅300mm）とする。おもりは、鋼製のなす形おもり又は球形おもりとし、記号（W₁-1000）、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。
11 タイル工事	2 セメントモルタルによるタイル張り	既調合モルタル	・既調合モルタル　： モルタルを下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 ・品質・性能　： 項目 / 品質・性能 保水率 / 70.0　%以上 単位容積質量 / 1.80 kg/L以上 接着強さ　標準時 / 0.60 N/mm²以上 接着強さ　温冷繰り返し後 / 0.40 N/mm²以上 長さ変化率 / 0.20 %以下 曲げ強さ / 4.0　N/mm²以上 ・試験方法　： 1)試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 2)保水率の試験方法 JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 ろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ 3mm）を設置し、1)で調製した試料を金ベらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50/平均値*100　　（注）50 リング型わくの内径(mm) 3)単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 4)接着強さ（標準時）の試験方法 イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1 規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル（外のり寸法約 300mm*300mm）」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T　タイルの母材破断 TM　既調合モルタルとタイルの界面破断 M　既調合モルタルの母材破断 MG　既調合モルタルと下地板の界面破断 G　下地板の母材破断 (なお、標準時の接着強さは、抜き取った試験片5箇所とも全て0.6N/mm²以上を確保していること。) ロ)適用タイルが「小口タイル、二丁掛けタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1 規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形のⅠ類(施ゆう)「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 5)接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々「4)接着強さ（標準時）の試験方法」の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに－20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間をⅠサイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。 なお、温水繰返し後の接着強さは、抜き取った試験片5か所とも全て0.4N/mm²以上を確保していること。 6)長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 7)曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 （試験室の状態　試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。）
既調合目地材			・品質・性能　： 項目 / 品質・性能 保水率 / 30.0　%以上 単位容積質量 / 1.80 kg/L以上 長さ変化率 / 0.20 %以下（収縮） 吸水量 / 50　g以下 ・試験方法　： 1)試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。 2)試料の調整 正味質量と標準練り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。 3)保水性（ろ紙法） JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦200mm、横200mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 ろ紙（直径18.5cm）をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、2)で練り混ぜた試料を金ベらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率(%) = 50/平均値*100　　（注）50 リング型わくの内径(mm) 4)単位容積質量 2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。 5)長さ変化率 2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。 6)吸水量 2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。
15 左官工事	1 モルタル塗り	防水剤	・品質・性能　： 項目 / 品質・性能 防水剤の種別 / 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合割合 / セメント重量の5%以下 凝結及び安定性 / 凝結時間　始発：1時間以上　終結：10時間以内 / 安定性　収縮性、膨張性のひび割れ及びそりがない 曲げ及び圧縮強度比 / 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比　70%以上 吸水比 / 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比　95%以下 透水比 / 防水剤を混入したもの、しないものの透水比　80%以下 ・試験方法　： JIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10⁵Paとし1時間行う。
16 建具工事	11 建具用金物	錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠）	・品質　： デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 ・性能　： 使用頻度による性能：1)（シリンダ箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。 2)キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。（シリンダ本締り錠のみ）シリンダ単体の施解錠繰り返しの評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。 3)キーによる施錠機構の施解錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。 4)キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする。） 外力に対する性能：1)デッドボルトの押込み強度試験(10kN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上 であること。 2)デッドボルトの側圧強度試験(10kN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。 3)デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。 4)デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。 5)（シリンダ本締り錠はグレード3以上の彫込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm 以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 （枠類の厚さが1.5mm以上の場合は適用しない） 使用扉の質量に対する性能（シリンダ箱錠のみ）：1)ラッチボルトの側圧強度試験(4kN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。 2)レバーハンドルのねじり強度試験(3.5kN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 3)握り玉のねじり強度試験(3kN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 4)ハンドルの引張強度試験(2kN以上)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 5)ハンドルの垂直荷重強度試験(2kN以上)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 鍵違い：1)鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。 2)同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。 ・試験方法　： JIS A 1541-1（建築金物-錠-第1部：試験方法）による。
16 建具工事	11 クローザ類		・品質・性能　： 性能試験項目 / 区分 / ドアクローザ 閉じモーメント(N・m) / ドアクローザ 効率(%) / ヒンジクローザ 閉じモーメント(N・m) / ヒンジクローザ 効率(%) / フロアヒンジ 閉じモーメント(N・m) / フロアヒンジ 効率(%) 初期値 閉じ力及び効率による区分(注1)(注2) Grade2 1 / 5以上 / 30以上 / 5以上 / 30以上 / 5以上 / 30以上 Grade2 2 / 10以上 / 30以上 / 10以上 / 30以上 / 10以上 / 30以上 Grade2 3 / 15以上 / 35以上 / 15以上 / 35以上 / 15以上 / 35以上 Grade2 4 / 25以上 / 40以上 / 25以上 / 40以上 / 25以上 / 40以上 Grade2 5 / 35以上 / 45以上 / 35以上 / 45以上 / 35以上 / 45以上 Grade2 6 / 45以上 / 45以上 / 45以上 / 45以上 / 45以上 / 45以上 閉じ速度(秒)：常温(5～35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5～8秒に調整できること。 温度依存性(℃)：緩衝油の流動点は、JIS K 2269（原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法）により測定し、-15℃以下であること。 ストップ力　ストップ入力：60 N・m以下 但しコンシールド型は 200 N・m以下 / 100 N・m以下 / 100 N・m以下 ストップ解放力：8 N・m以上 / 3 N・m以上 / 10 N・m以上 バックチェック性能(秒)（バックチェック機能を有する機種のみ適用）：ドア開扉方向に荷重60 N/mを開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度（70～85°）から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。 / - / - / - ディレードアクション性能(秒)（ディレードアクション解除角度（60～75°）（ディレードアクション機能を有する機種のみ適用）：開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10 秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。 / - / - / - 戸の閉鎖位置（中心吊り込み両自由のみに適用） / - / - / ±3mm以内 耐久性 繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m) Grade2 / 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後の効率(%) Grade2 / 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後の閉じ速度(秒) Grade2 / 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後のバックチェック性能(秒) Grade2 / 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 / - / - / - 繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒) Grade2 / 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 / - / - / - 繰り返し開閉後の戸閉鎖位置(mm) Grade2 / - / - / 耐久試験後±6mm以内 耐久性の試験回数（繰り返し開閉回数） Grade2 / 20万回 / 10万回 / 30万回 Grade1を選定する場合は、図示による。 注1.　パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2.　コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 ・試験方法　： 1)性能試験は、JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法-第3部　フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ）に規定する試験方法による。 2)温度依存性（流動点試験）は、JIS K 2269による。 3)試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。
14 自閉式上吊り引戸装置	自閉式上吊り引戸装置		・試験方法　： (1)耐久性（開閉繰り返し）試験 JIS A 5545(2011)「サッシ用金物」の7.1(戸車の試験)開閉繰り返しに準じる。ただし、閉については、外力によらず、試験体の自閉制装置及び御装置のみにより扉を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。 1)同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。 2)適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとする。 3)その他の制御装置については、メーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認できるものとする。 (2)耐衝撃性試験 JIS A 1518(1996)「ドアセットの砂袋による耐衝撃性試験方法」に準じ、重量30kgの砂袋を用い落下高さ17cmで、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3)気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。
19 内装工事	13 断熱材	現場発泡断熱材	・品質・性能　： 項目 / 品質・性能 吹付け硬質ウレタンフォーム / JIS A 9526 によるA種またはA種1H 密度（kg/m³） / 25　以上 難燃性 / 次のいずれかにあること。 1)難燃2級又は難燃3級 2)準不燃相当品又は難燃材料相当品 ・試験方法　： 1)原液試験（原液粘度試験） JIS A 9526「6.1吹付け硬質ウレタンフォーム原液の試験」による。 2)発泡品試験 イ)試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 ロ)試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。 ハ)試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 ニ)試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 ホ)密度の測定は、JIS A 9526の6.2.5による。 ヘ)熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 ト)透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 チ)圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 リ)接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.9による。 3)難燃性試験 下記に規定する表面試験及び発熱性試験による。 イ)表面試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 ロ)発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。 4)難燃2級又は難燃3級の判定は、次による。 試験の結果、次のイ～ホに適合していること イ)試験体の全厚にわたる溶融、試験体の表面に対する亀裂（表面における亀裂の幅が全厚の1/10以上であるものに限る。）その他防火上著しく有害な変形などのないこと。 ロ)加熱終了後30秒以上残炎がないこと。 ハ)試験結果の排気温度曲線は、加熱試験中、標準温度曲線を超えないこと。ただし、難燃2級又は難燃3級については、試験を開始して3分を経過した後は、次のニ.の条件の範囲内で超えることができる。 ニ)排気温度曲線が標準温度曲線を超えている部分の排気温度曲線と標準温度曲線で囲まれた部分との面積（単位×分）が、難燃2級にあっては100以下、難燃3級にあっては350以下であること。 ホ)単位面積当たりの発煙係数が、難燃2級で60、難燃3級で120を超えないこと。 5)準不燃材料相当品又は難燃材料相当品の判定は、次による。 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法を使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）による試験で、準不燃材料相当品においては加熱時間10分、難燃材料相当品において加熱時間は5分の結果、次のイ～ハに適合していること。 イ)総発熱量が8MJ/m²以下であること。 ロ)防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 ハ)最高発熱温度が10秒以上継続して200kW/m²を超えないこと。

		工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	A － 009
		図　名	建築材料等品質性能表(１)　R7.11	製図年月日　・　・

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
20 ユニット及びその他の工事	1 フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	標準仕様書20.2.2によるほか以下とする。 ・性能　： 1)耐震性能 ｲ)固定台試験による耐震性能（設計床高さH=300㎜超え、600㎜以下の場合） 項目 / 性能 ① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき / 水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上 ② 上記①以外の部分が耐力に達したとき / 水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上 ③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位 / 構造床面からの高さの1/50以下 ＜適用地震時水平力＞ ・3,000N 0.6Gタイプ　支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数}×0.6 ・3,000N 1.0Gタイプ　支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数}×1.0 ・5,000N 0.6Gタイプ　支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数}×0.6 ・5,000N 1.0Gタイプ　支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数}×1.0 ﾛ)振動台試験による耐震性能（設計床高さ≦300㎜の場合のみ） パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。 2)歩行感 通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない 3)メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている ・試験方法　： 1)耐震性能 ｲ)設計床高さ≦300㎜の場合 試験体ユニット1000㎜×2500㎜程度 所定の重りの質量　3000N 200kg、5000N 350kg 加振　0.6G：所定加速度600㎝/S²、1.0G：所定加速度1000㎝/S² ﾛ)300㎜＜設計床高さ≦600㎜の場合 ①固定台による耐震性能試験 a.支柱調整式－支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1　又は、試験方法-2による。 b.原則として、試験方法-1はパネル単体設置（Aタイプ）に適用し、試験方法-2はパネル連結設置（Bタイプ）に適用するものとする。 ②試験方法-1 a.試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品　種類 N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 b.加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③試験方法-2 a.試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品　種類 N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 b.最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。また、800㎜×800㎜に荷重板荷重相3,200 N（5,000 N/㎡相当）を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④零点補正及び測定記録 試験体と試験機の限間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程の水平力を加力した後、速やかに除荷して"0"にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 ﾊ)共通事項 試験に使用する表面仕上材 種類：タイルカーペット、　繊維素材：ナイロン100%、　パイル携帯：ループパイル、 パイル長：3.0㎜～4.0m、　パッキング素材：塩化ビニル樹脂、全厚：6.0㎜～7.0㎜、 単位質量：4.0kg/㎡～6.0kg/㎡、人体耐電圧：2KV以下
	3 移動間仕切	移動間仕切	標準仕様書表20.2.4によるほか以下とする。 ・品質　： 1)パネル（表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材）及びハンガーレール JIS A 6512「可動間仕切」の表9材料又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこさないもの又は防食処理を施したものとする。 2)パネルの外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5.a）～ c）による。 ・性能及び試験方法　： 1)パネルの操作性 パネル操作の初動力は98N以下とする。 2)パネル圧接装置の耐久性 パネル圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。 3)耐衝撃性 質量50Kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。 4)レールの耐久性 レールは普通パネルで吊り車2個が通過する部分を1mとし、吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。 5)吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 6)ランナーの引張強度 引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。 7)吊りボルトの引張強度 一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。 8)遮音性能 遮音性試験はJIS A 6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。 遮音性能試験は、JIS S 1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」に規定する試験方法又はJIS A 1441-1「音響-音響インテンシティ法による建築物及び建築部材の空気音遮断性能の測定方法-第1部：実験室における測定」による。 9)ホルムアルデヒド等 JIS等の材料規格において放散量が規定されているものについては、F☆☆☆☆とする。

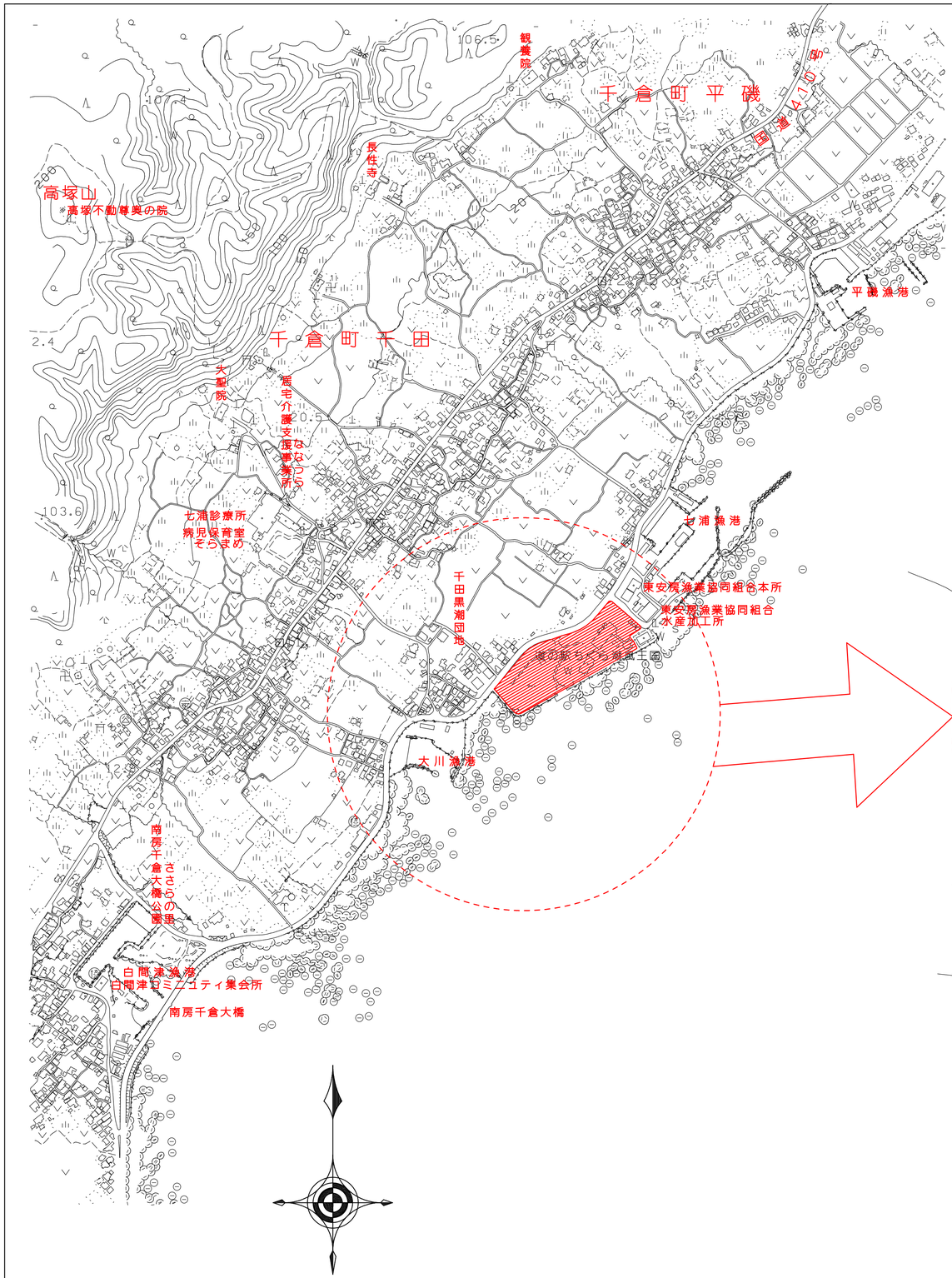
章	項目	特記	品質・性能、試験方法
20 ユニット及びその他の工事	4 トイレブース	トイレブース	標準仕様書表20.2.5によるほか以下とする。 ・品質・性能　： 1)付属金物 項目 / 品質・性能 ヒンジ ラッチセット / 耐蝕性のあるものとする。 戸当り / 腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。 2)外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。 3)パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐じっかき性・開閉耐久性 項目 / 品質・性能 耐薬品性及び耐汚染性 / 耐引っかき性 / 開閉耐久性 メラミン樹脂系化粧板　及びメラミン樹脂系単一材 / JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性（B法）の規定を満足していること。 / - / JIS A 4702「ドアセット」9.4 開閉繰り返し試験によるスイングドア（開閉回数10万回）を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に緩みのないこと。 低圧メラミン樹脂系化粧板 / 下記項目のポリエステル樹脂系加工化粧合板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系加工化粧合板 / JAS「合板の日本農林規格」第9条（特殊加工化粧合板の規格）に定された耐汚染性B試験を満足していること。 / JAS「合板の日本農林規格」第9条（特殊加工化粧合板の規格）に定された耐引っかき硬度試験を満足していること。 ポリエステル樹脂系化粧MDF / JIS A 5905「繊維板」に規定する表18の化粧MDFの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード / JIS A 5908「パーティクルボード」に規定する表11の化粧パーティクルボードの品質に適合していること。 ・試験方法　： 1)ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法－第2部：ドア用金物」の規定による。 2)戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2の規定による。
	11 標示用成形ライニング材	標示ライニング	・品質・性能　： 種類 / ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 加熱線収縮率 / 2.0%以下 曲げ強度 / 0.8N/㎜²以上 圧縮強度 / 1.0N/㎜²以上 スポーリング性 / 試験体に亀裂の発生、剥離あるいは脱落等がないものとする。 透水性 / 試験体裏面に水滴が生じないものとする。 耐酸性 / 試験体に形状変化が見られず、崩壊する危険性がないものとする。 石綿 / 使用不可。 ライニング材とコンクリートの境界温度 / 100℃以下とする。 加熱線収縮率、曲げ強度、圧縮強度の確認は、社内試験成績書によることができる。 ・試験方法　： 1)スポーリング性試験 適用安全使用温度（300℃）から適用安全使用温度まで100℃間隔で30分間加熱冷却を繰り返し、各温度設定時の加熱後及び冷却時の試験体亀裂、剥離、脱落の状況を観察する。（試験体は完成品とし、サイズは内径600㎜×長さ1000㎜程度とする。） 2)透水性試験 JIS A 5430「繊維強化セメント板」8.6透水性試験による。 3)耐酸性試験 1.0%濃度の硝酸及び硫酸水溶液に下記の方法で浸せきした後、試験体の外観を調べる。試験は、試験体を温度20℃、湿度60%の試験室に24時間以上静置した後、酸水溶液に1週間（168時間）浸せきする。（ただし、酸水溶液は48時間毎に交換する。）その後、48時間以上温度20℃、湿度60%の試験室に静置した後に外観観察を行う。（試験体のサイズは、100㎜×50㎜とする。） 4)熱伝導率測定 JIS R 2616「耐火断熱れんがの熱伝導率の試験方法」による。試験設定温度は100℃、150℃、300 ℃、450℃、600℃とする。
	17 天井点検口	天井点検口	・品質・性能　： 1)内外枠の材質は、アルミニウム製とする。 ｲ)JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063St5 又は同等の性能を有するものとする。 ﾛ)表面処理は、JIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜」に規定するAA6又は同等の性能を有するものとする。 2)内枠及び外枠のコーナーピース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 3)外枠の取付け金物 ｲ)吊り金具 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 ﾛ)吊り金具取付けボルト 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 4)内枠の仕上材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき鋼板の類い又は同等以上の品質並びに仕上げ材を固定する性能を有するものとする。 5)寸法許容差（枠の許容差） 枠の寸法許容差　±0.5㎜ 外枠と内枠のクリアランス　片側2.0㎜以内 6)耐久性能（繰り返し開閉試験） ｲ)300回の繰返し開閉試験後の内蓋の垂れ下がりが、0.5㎜以内とする。 ﾛ)開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 ・試験方法　： 内蓋（内枠）の繰り返し開閉試験 1)試験体は、枠見込み40㎜程度のものとする。 2)吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式（天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450㎜×450㎜を吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。 3)野縁の種類は、19形とし仕上材は、せっこうボード厚さ9.5㎜（JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上）二重張りとする。 4)試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 5)測定は、上記繰り返し試験を300回行い、試験後の内蓋の垂れ下がり状態を測定する。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
20 ユニット及びその他の工事	18 床点検口	床点検口	・品質・性能　：　以下のものの又は同等のものとする。 部材名 / 材質 / 屋内外用 / 屋内用 受枠材 蓋枠材 / アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材 / （材質）JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S-T5 （表面処理）JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」に規定するB種又はJIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被膜」に規定するAA15 / - ステンレス製 / （材質）JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS SUS304、SUS430J1L、SUS443J1（表面処理）BL又は2B仕上げ程度 / - 鋼製 / - / （材質）鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定するメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの（防錆処理）JIS G 3313又は鋼板に標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの 鋳鉄 / （材質）JIS G 5501「ねずみ鋳鉄品」に規定するFC150、FC200 / - 二重蓋の中蓋 / その他 / （材質）塩化ビニル樹脂製等 / - 目地材（材質） / アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、ステンレス鋼板、鋼板の場合は、受枠材・蓋枠材と同じ 黄銅 / JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定するC2600、C2720、C2801 JIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC3602、C3604 / - ステンレス / JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定するSUS304 / - 底板材、コーナーピース、底板補強材 / ステンレス鋼板 / （材質）JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308に規定するSUS304 / （材質）JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 / - アルミニウム板 / （材質）JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P H24 （表面処理）JIS H 8602に規定するB、JIS H 8601に規定するAA15 / - 鋼材 / - / （材質）鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理たもの、理を行ったもの（防錆処理）JIS G 3313、標準仕様書表8.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの / - パッキン材 / 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等外枠と蓋枠の材質、形状に適した弾力性及び密着性を有するもの。 アンカー材 / 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの。 取手 / 黄銅鋳鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳鉄製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス鋼材製等の堅牢な材質のもの。ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないもの。 鍵 / 黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製（クロムめっき）の類。 / 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式 1)製品の許容差 ｲ)受け枠基準寸法　600角程度まで ﾛ)受け枠寸法の許容差　±0.5㎜ ﾊ)蓋付き寸法の許容差　±0.5㎜ ﾆ)受け枠と蓋枠のクリアランス　片側2㎜以内 2)蓋の耐荷重性能 ｲ)加圧する荷重値Pn=1,000N ﾛ)蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内 ﾊ)受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと ﾆ)破壊荷重が、加圧荷重値Pnの2倍以上 ・試験方法（耐荷重試験）　： 1)試験体 ｲ)貼物用とし、600㎜角程度とする。 ﾛ)枠見込みは、40㎜以下とする。 2)試験 ｲ)試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50㎜の加圧板を設置し、加圧する。 ﾛ)本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 ﾊ)本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する（終局荷重）まで加圧する。 3)測定 蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返し、荷重ごとに記録。また、終局荷重を記録する。
	21 排水工事	グレーチング	・品質・性能　：　以下のものの又は同等のものとする。 鋼製グレーチング 項目 / 品質・性能 メインバー、サイドバー及びエンドプレート / JIS G 3101「一般用構造用圧延鋼材」に規定するSS400 クロスバー / JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRM 受け枠用アングル材 / JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」に規定するSPHT 溶融亜鉛めっきの膜厚 / JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定する溶融亜鉛めっきの付着量がHDZT 56以上又はHDZT 70以上のもの 受け枠用アングル材 / 塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料 ステンレス製グレーチング（表面仕上げは2B程度） メインバー、クロスバー / JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間仕上ステンレス鋼棒」に規定するSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L サイドバー、エンドバー / JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318に規定するSUS304、又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L及びJIS G 4317「熱間成形ステンレス鋼形鋼」、JIS G 4320「冷間成形ステンレス鋼形鋼」に規定するSUS304 受け枠用アングル材 / JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定するSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L アンカー / JIS G 3101に規定するSS400の類いとし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの 1)組み立て加工 ｲ)溶接は、融合不良、溶込み不良、スラグ巻き込み、ピット、ブローホール等の有害な欠陥がないものとする。 ﾛ)アンカーの間隔は、側溝の場合500㎜内外とする。 ﾊ)平担性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ﾆ)ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0㎜とする。 2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。 ・試験方法（荷重試験）　： 1)設計荷重は以下の通りとする。 歩車道区分 / 荷重種別 / 後輪一輪荷重(KN) / 衝撃を考慮した荷重(KN) / 後輪設置面積(cm) 車道 / T-20 / 78.5 / 109.8 / 20×50 T-14 / 54.9 / 76.9 / 20×50 T- 6 / 23.5 / 33.0 / 20×24 T- 2 / 7.8 / 11.0 / 20×16 歩道 / 4,903N/㎡の等分布荷重 2)許容曲げ応力度 許容曲げ応力度は、実施する試験体のメインバー材と同じ材で行った材料強度試験耐力N/㎜²(kgf/㎝²)データにより設定する。 3)試験方法（試験体への加力） ｲ)設計荷重を基準として一方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4,903N/s（0.5tf/秒）とする。 ﾛ)繰り返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。

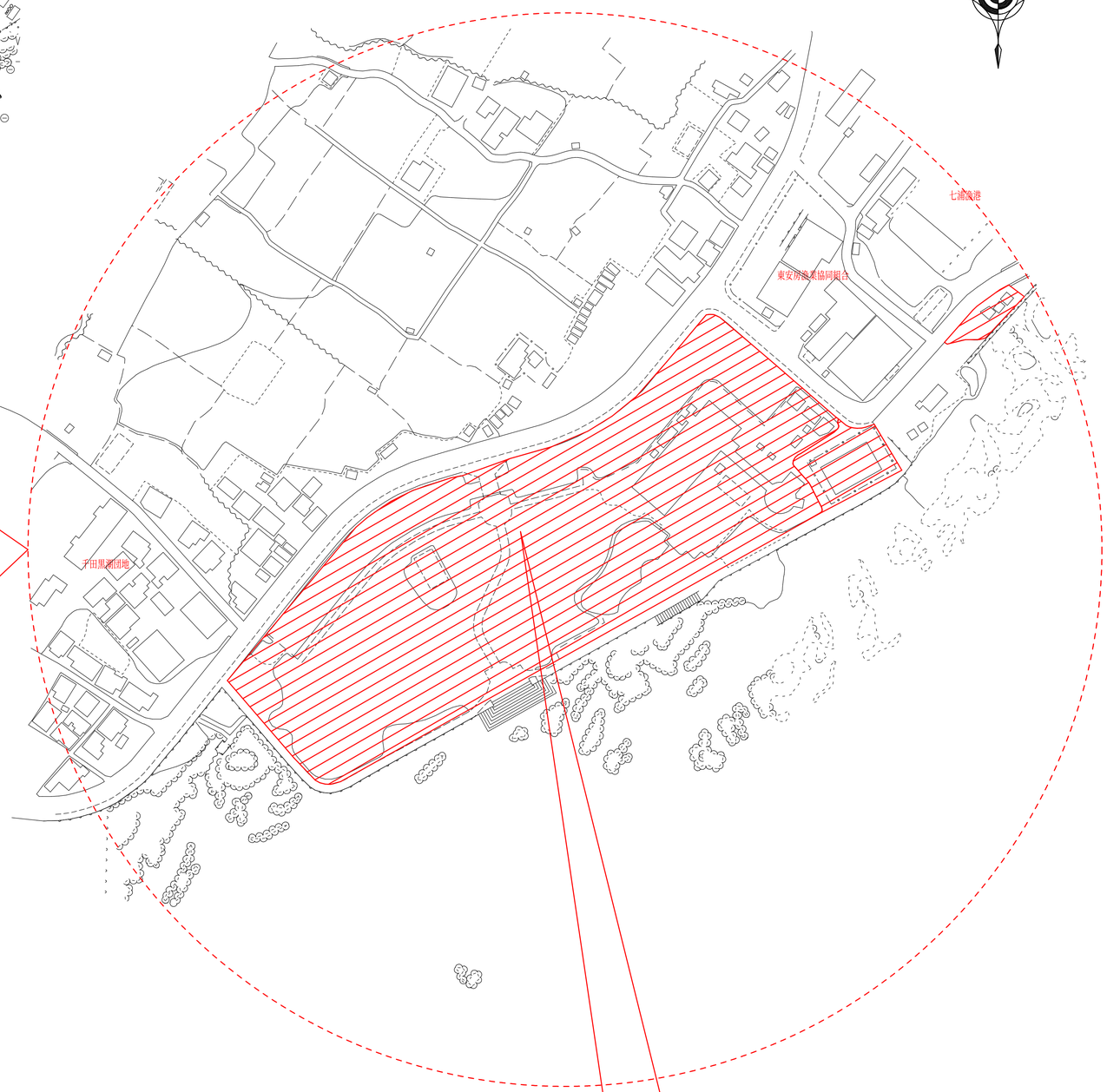
章	項目	特記	品質・性能、試験方法
23 植栽及び屋上緑化工事	10 屋上緑化システム	屋上緑化システム	・品質・性能　： 項目 / 品質・性能 透水フィルターの材質及び透水性能 / 材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 透水性能は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。 透水、排水層等 / 合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 構成材の主要材質 / （保水層を有する場合は、保水層共） 排水層 / 植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 排水層の鉛直方向の排水性能 / 240L/㎡･h以上 耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度） / 最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、3×10⁴N/㎡の載荷重で破損・有害なひずみなど異常のないこと。また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。（保水層を有する場合は保水層共） 耐根層 / 重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能（貫通防止能力）を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 耐根層保護層 / 材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。 ・試験方法　： 1)透水フィルタの透水性能 ｲ)JIS A 1218「土の透水試験方法」の定水位透水試験に準じたインターロッキングブロックの透水性試験装置の下面に試験体(透水フィルタ)をセットし、その上に砂（JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書1に規定する砂）及びシルト#250を容積比9：1の割合で混合し、高さ80㎜の試験容器に加圧せずに均一に充填する。（試験体1体） ﾛ)常温で1日置いた後、上部より給水する。給水5日間連続後取り出して自然水切り2日とした給水サイクルを繰り返す。週2回を下回らない測定回数で圧力差の水頭差110㎜を保持したまま、1分間の透水量を計量し、透水係数を算出する。なお、乾燥工程の試験室は室温20±3℃、湿度60±5%とする。 ﾊ)水切り工程は、試験体の入った試験装置を取り出し、試験室内に水が切れる状態で保管する。 ﾆ)各サイクルごとの透水係数の推移をグラフ化し、6週間を過ぎるまでにその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できれば目詰まりが解消方向にあると判断し、合格とする。 ﾎ)試験開始後6週間、流水時間合計が30日を越えた時点で透水係数がまだ上昇に転じない場合は、その後も透水量が増加する方向へ向かうまで流水時間を延長して確認することも可とする。 2)排水層の耐荷重性能 ｲ)最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍かつ3×10⁴ N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） ﾛ)試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10㎜/min以下とする。
屋上緑化軽量システム			・品質・性能　： 項目 / 品質・性能 透水、排水層等 / 合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 構成材の主要材質 / （保水層を有する場合は、保水層共） 透水層 / 目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。 排水層 / 植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 排水層の鉛直方向の排水性能 / 240L/㎡･h以上 耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度） / 3×10⁴N/㎡以上の載荷重で破損・有害なひずみなど異常のないこと。 また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 耐根層 / 重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能（貫通防止能力）を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 耐根層保護層 / 材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。 ・試験方法　： 排水基盤の耐荷重性能 ｲ)3×10⁴N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） ﾛ)試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10㎜/min以下とする。

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

工事名	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)		
図名	建築材料等品質性能表(2)　R7.11	製図年月日	・・



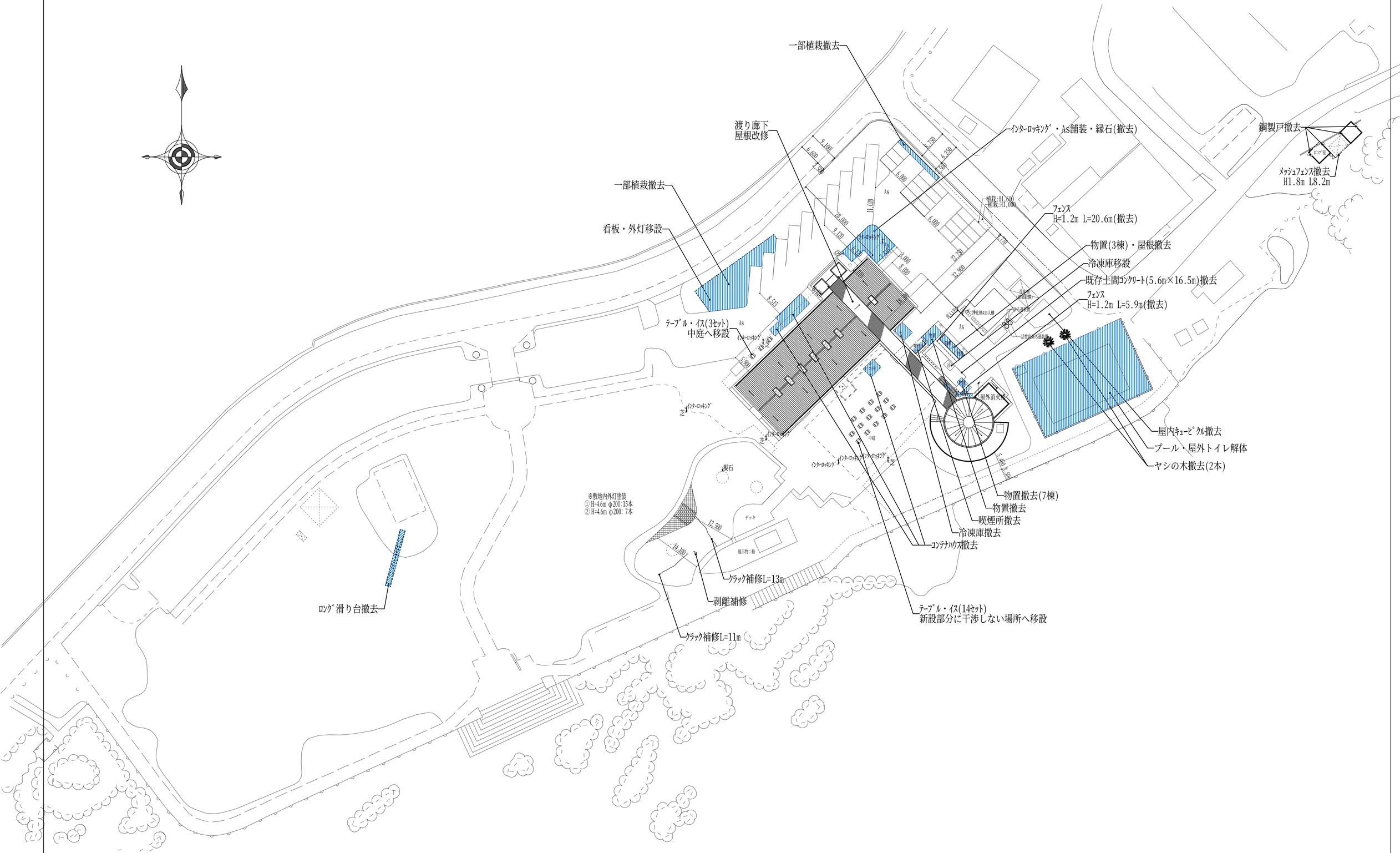
案　内　図　A1：S=1/5000，A3：S=1/10000



案　内　図　A1：S=1/1250，A3：S=1/2500

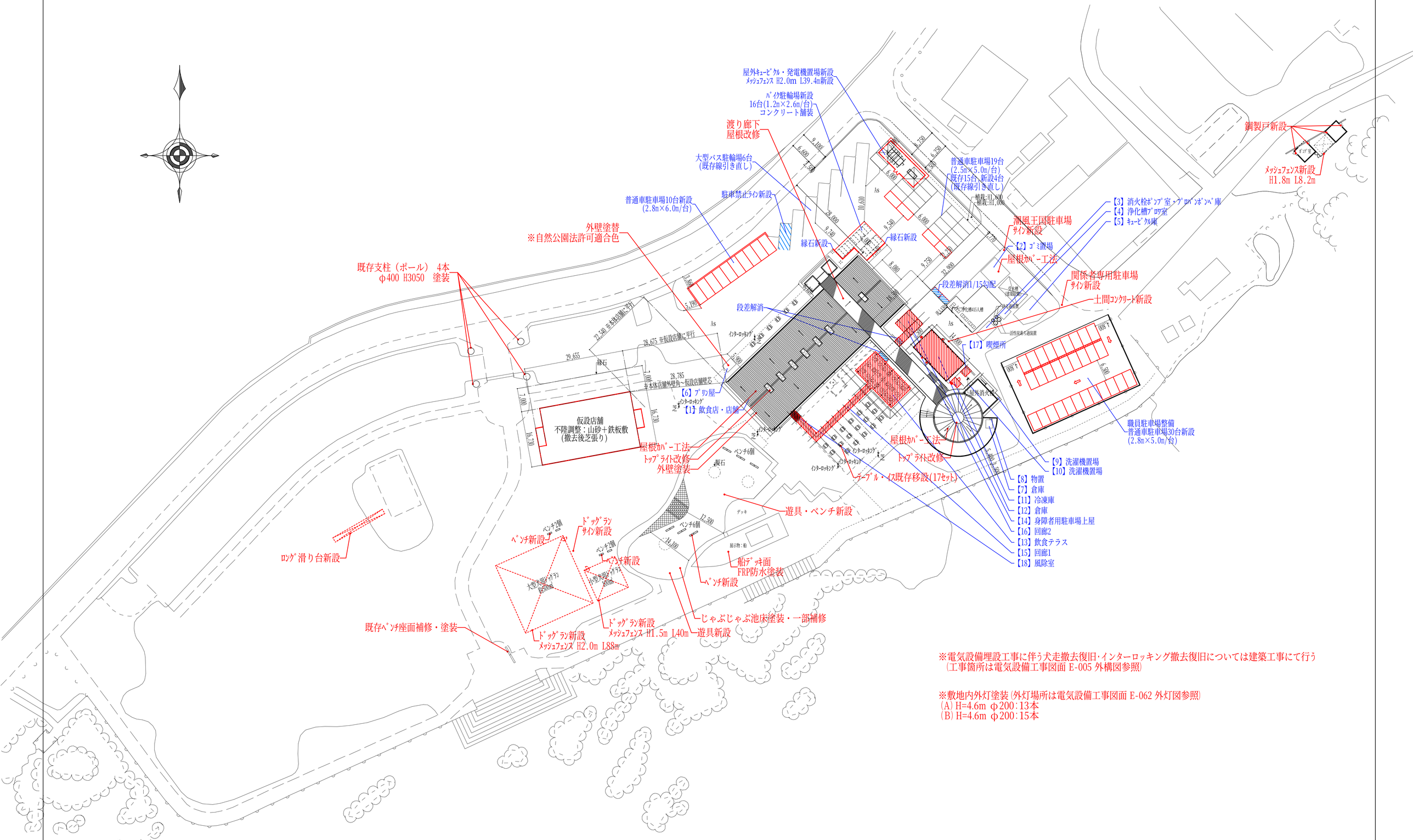
工事場所：南房総市千倉町千田1，051番地

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 案内図	DATE ■ SCALE ■ A1：1/5000，A3：1/10000 A1：1/1250，A3：1/2500	NO ■ A－011



配 置 図（改修）

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 配置図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1／500, A3：1／1000	NO ■ A —012



※電気設備埋設工事に伴う犬走撤去復旧・インターロッキング撤去復旧については建築工事にて行う
（工事箇所は電気設備工事図面 E-005 外構図参照）

※敷地内外灯塗装（外灯場所は電気設備工事図面 E-062 外灯図参照）
（A）H=4.6m φ200：13本
（B）H=4.6m φ200：15本

配 置 図（改修）

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 美建設計 株式会社 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 配置図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/500, A3：1/1000	NO ■ A－013

仮設店舗（予定地）
不陸調整：山砂＋鉄板敷
（撤去後芝張り）

縁石
芝
インターロッキング
屋外消火栓
植栽：H1,600
植栽：H1,000
浄化槽
砂ろ過装置
活性炭素ろ過装置
デッキ
展示物：船
As

仮囲い：鋼板H=3.0m　延長 191m	
仮囲い：ガードフェンスH=1.8m　延長 334m	
ゲート：キャスターゲートH=1.89m 延長 6m(5.4 m) 4箇所	
外部足場：枠組本足場 W=900（H=6.4m）	
外部足場：枠組本足場 W=600（H=6.4m）	
交通誘導員　延べ 300人（約5ヶ月）	
敷き鉄板：1524×6096×22 96枚	
工事動線	
一般動線	

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎 一博

CHECKED DRAWN ■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 仮設計画図1（案）

DATE ■
SCALE ■ A1：1／300, A3：1／600

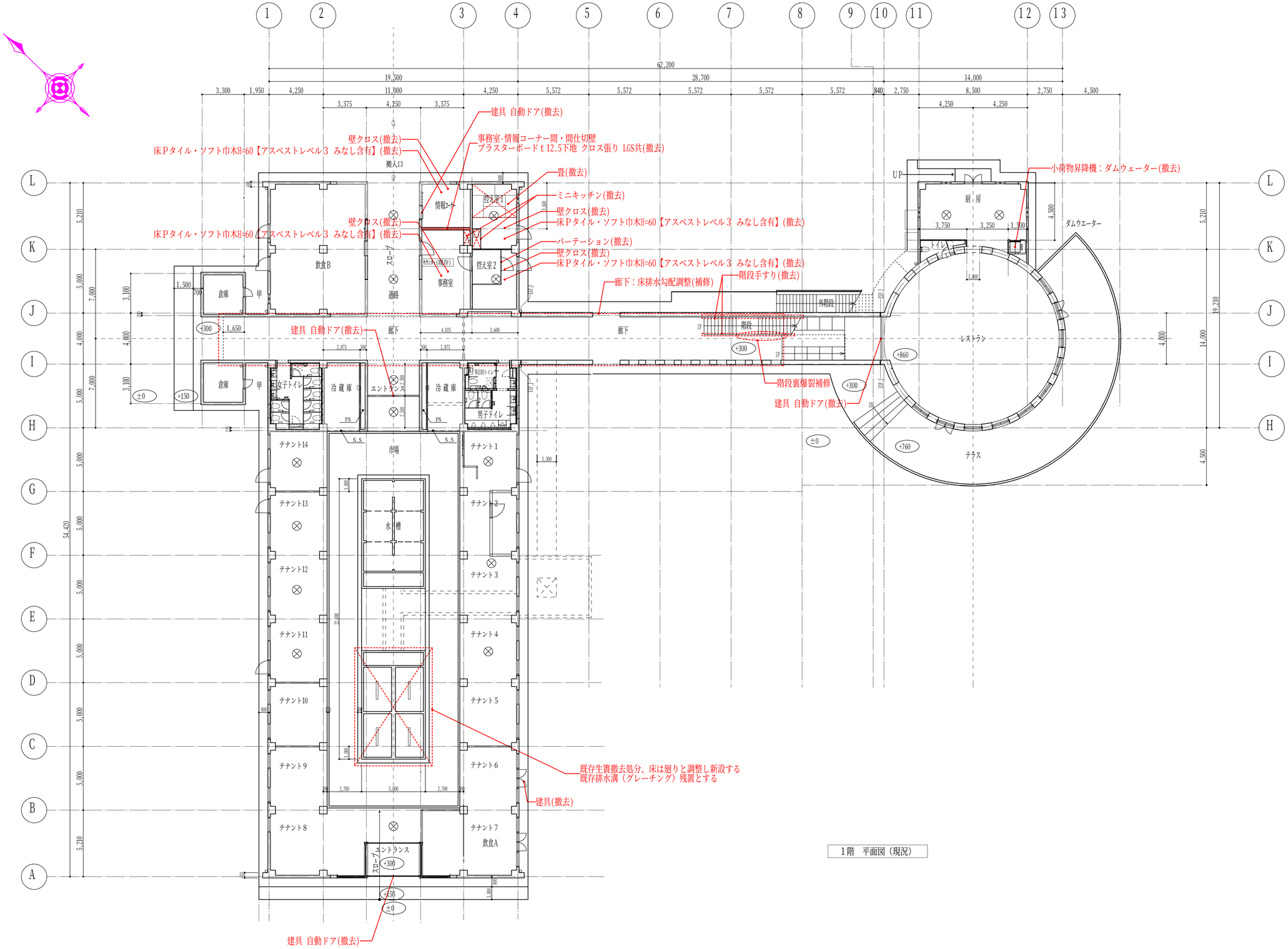
NO ■ A－014

仮設店舗
不陸調整（山砂＋鉄板敷）
（撤去後芝張り）

屋根足場

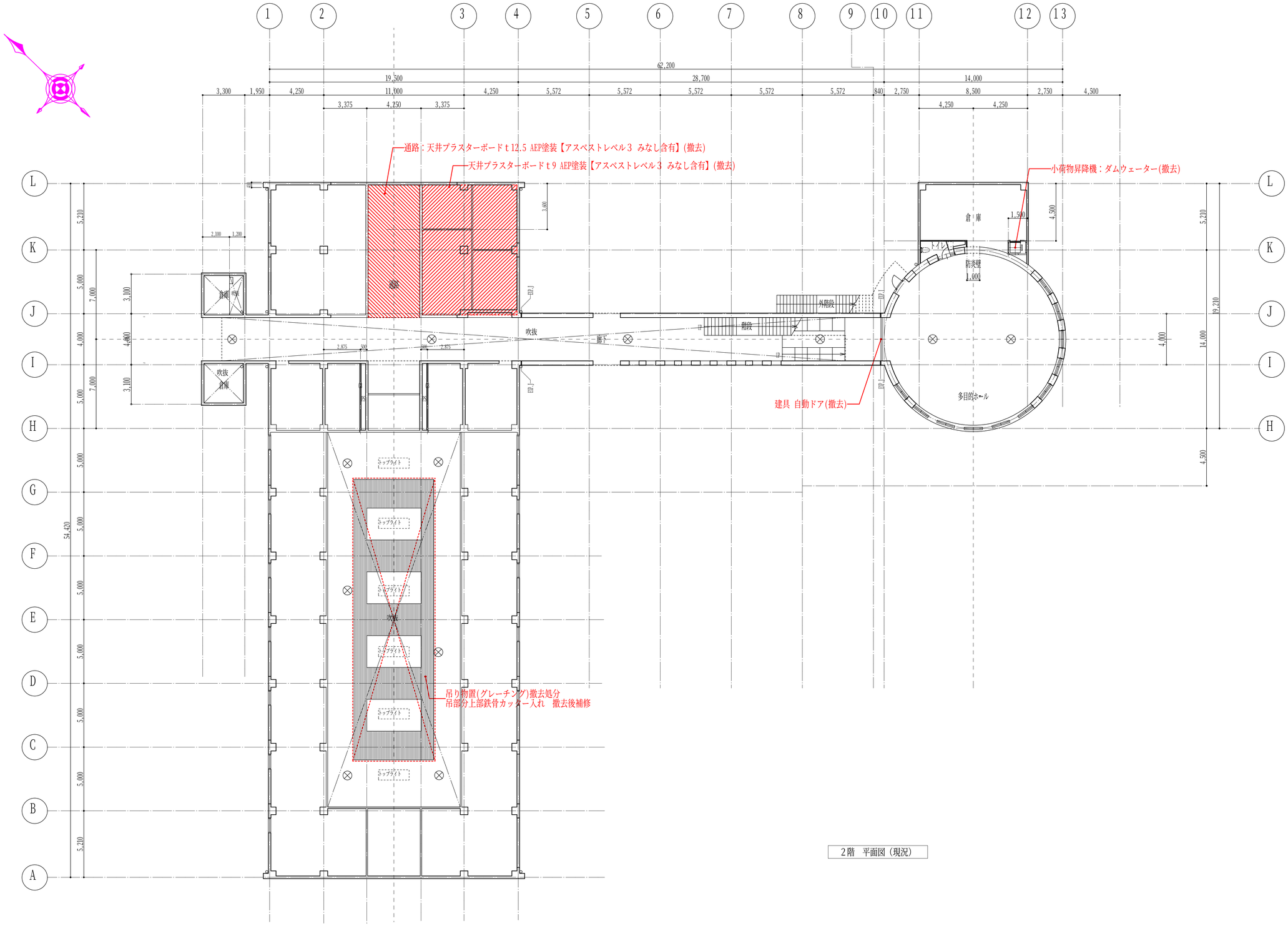
■ 凡 例	
仮囲い：鋼板H=3.0m　延長 186m	
仮囲い：ガードフェンスH=1.8m　延長 275m	
ゲート：キャスターゲートH=1.89m 延長 6m(5.4 m) 2箇所	
外部足場：枠組本足場 W=900（H=6.4m）	
外部足場：枠組本足場 W=600（H=6.4m）	
交通誘導員　延べ 540人（約9ヶ月）	
敷き鉄板：1524×6096×22 56枚	
工事動線	
一般動線	

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ A－015
		〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博		ITEMS ■ 仮設計画図2（案）	SCALE ■ A1：1／300, A3：1／600	



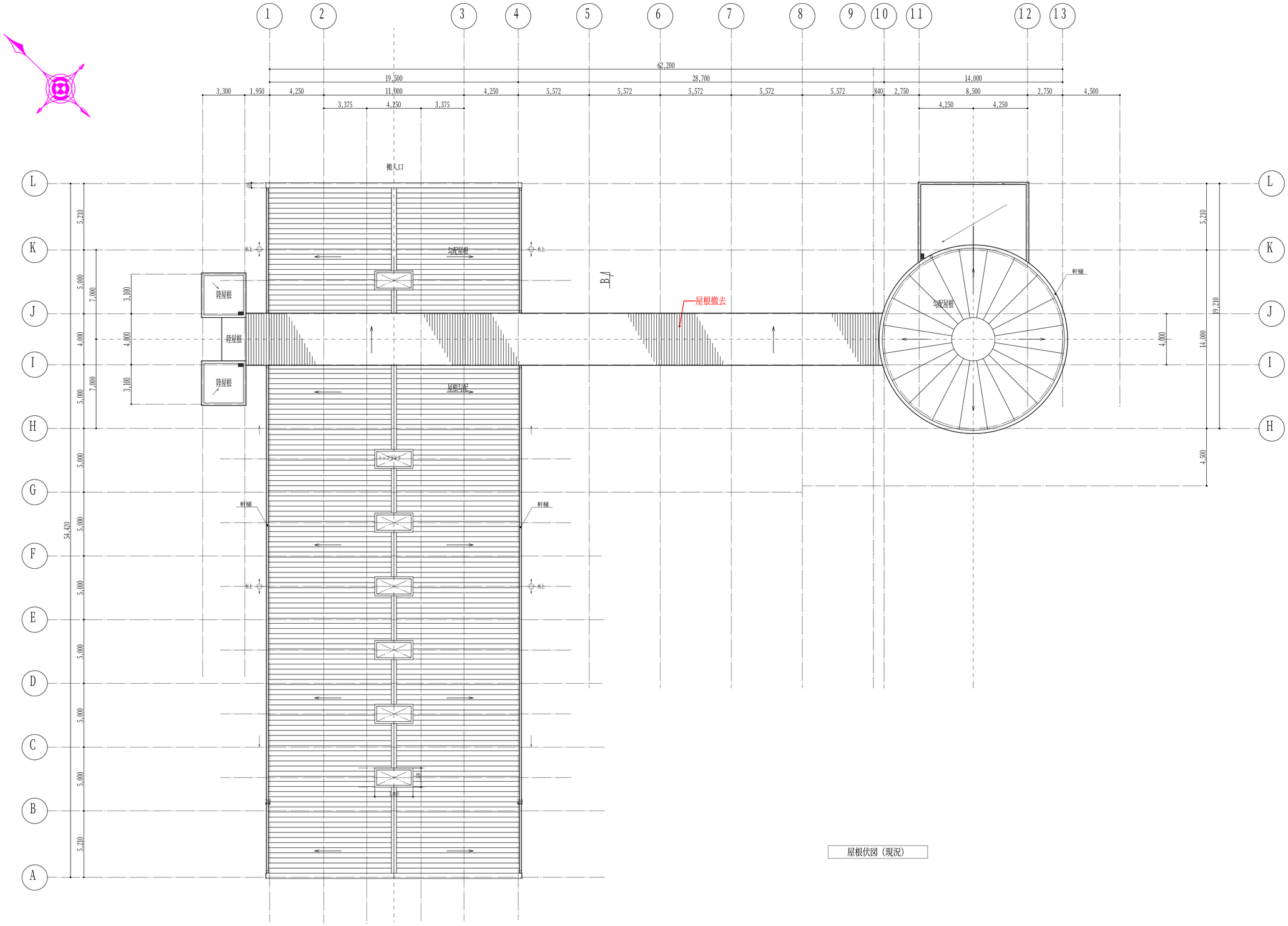
1階　平面図（現況）

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■
						ITEMS ■ 店舗 1階平面図（現況）	SCALE ■ A1：1/150, A3：1/300
							NO ■ A－016



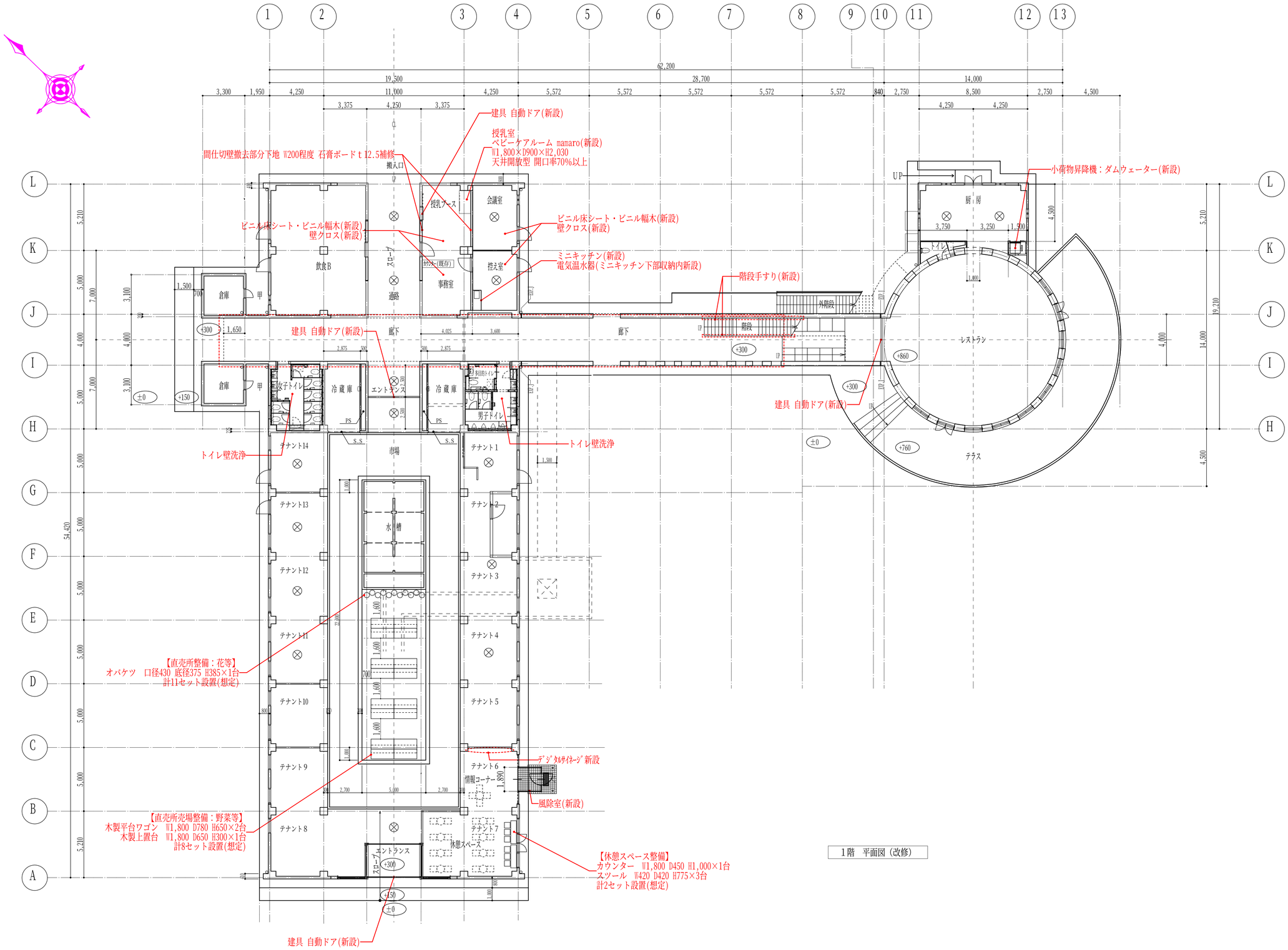
2階 平面図（現況）

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗 2階平面図（現況）	DATE ■ SCALE ■ A1：1／150, A3：1／300	NO ■ A－017



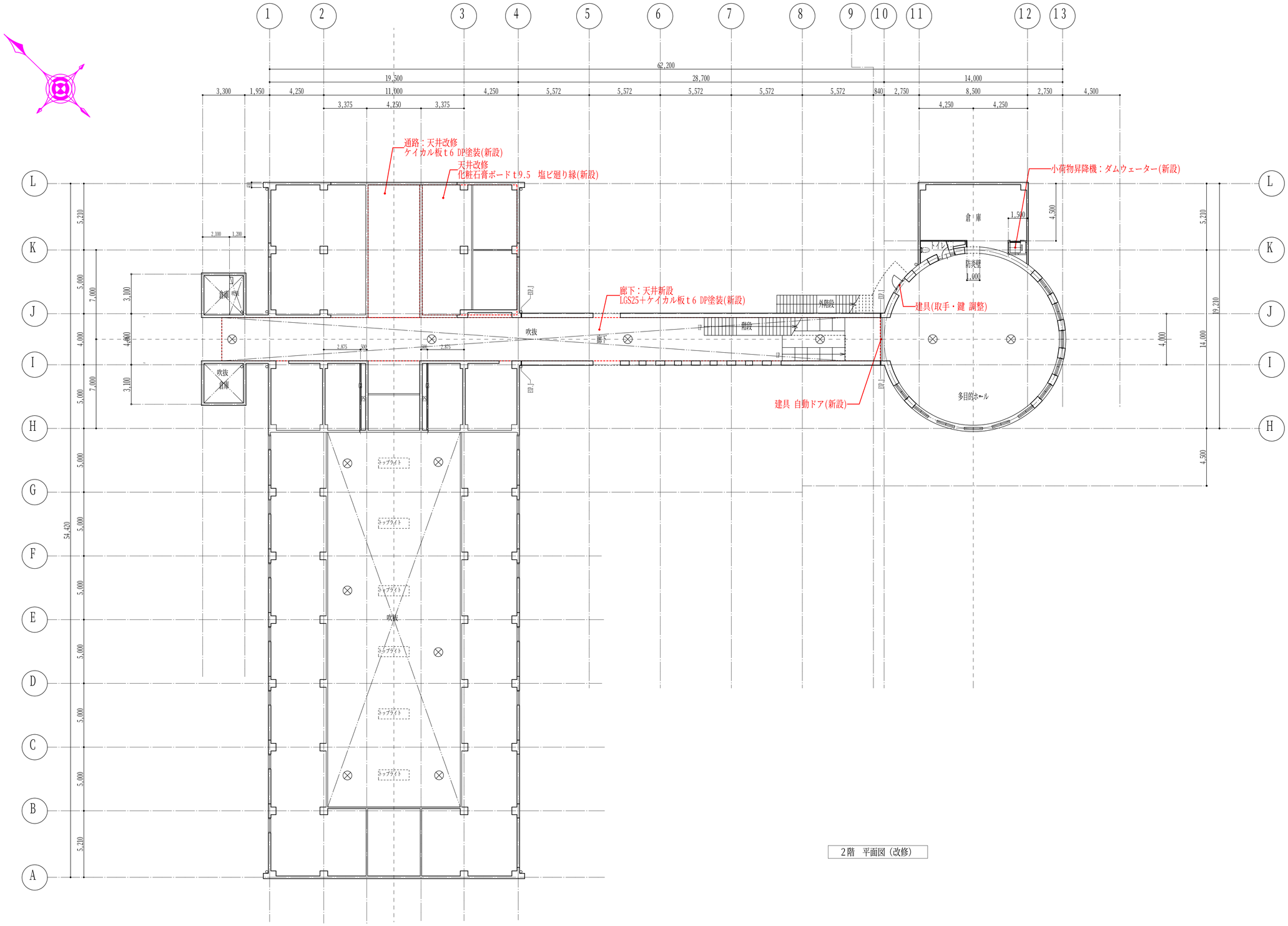
屋根伏図（現況）

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗 屋根伏図（現況）	DATE ■ SCALE ■ A1：1／150, A3：1／300	NO ■ A－018



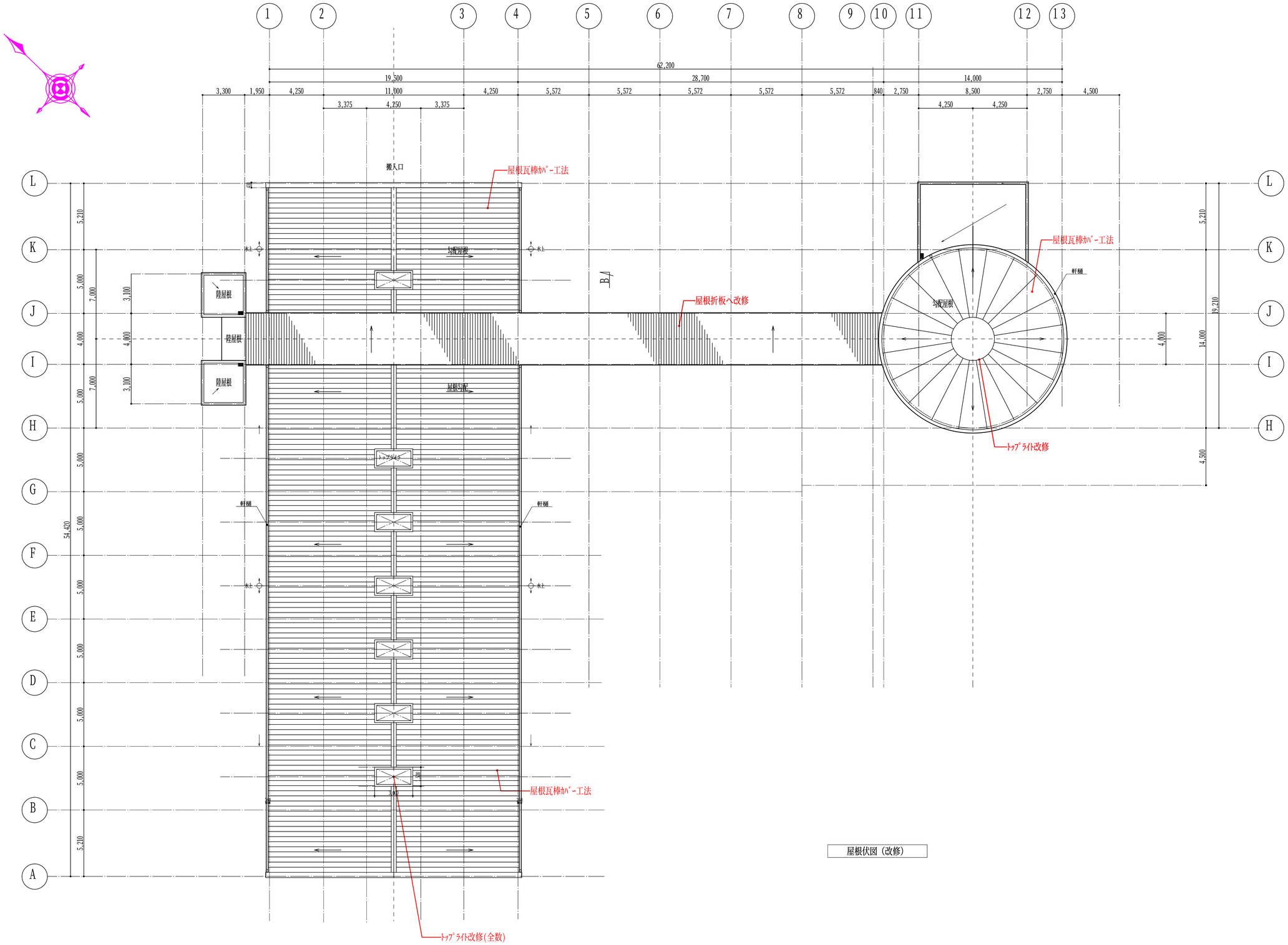
1階　平面図（改修）

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗　1階平面図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/150, A3：1/300	NO ■ A－019



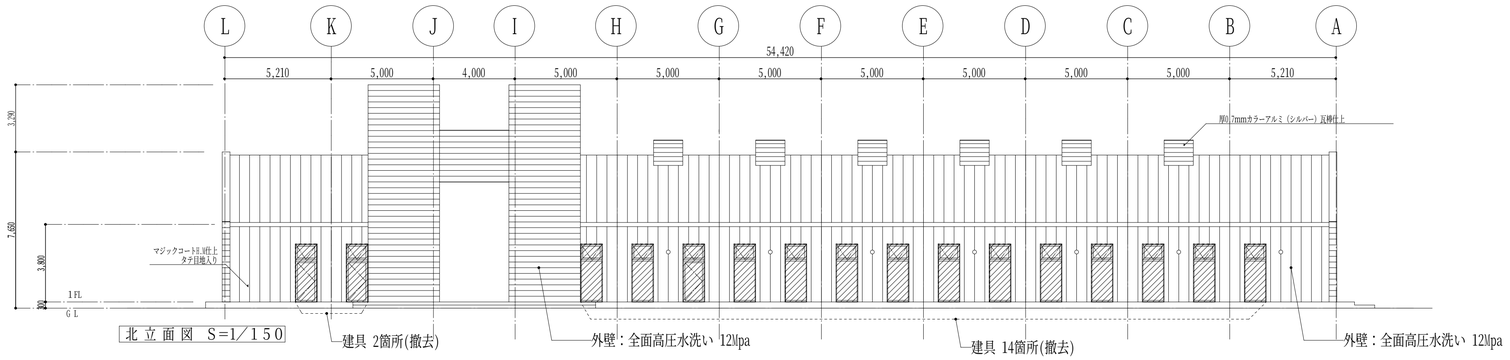
2階　平面図（改修）

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1−2310−9001号 一級建築士大臣登録 第246699号　岩崎　一博	〒294−0045 千葉県館山市北条1355−45 TEL. 0470−22−3764 FAX. 0470−22−3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗　2階平面図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1／150, A3：1／300	NO ■ A −020

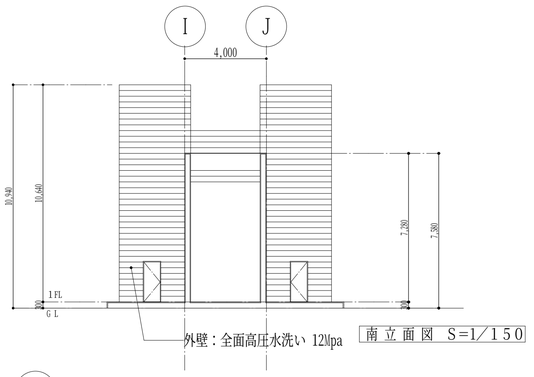


屋根伏図（改修）

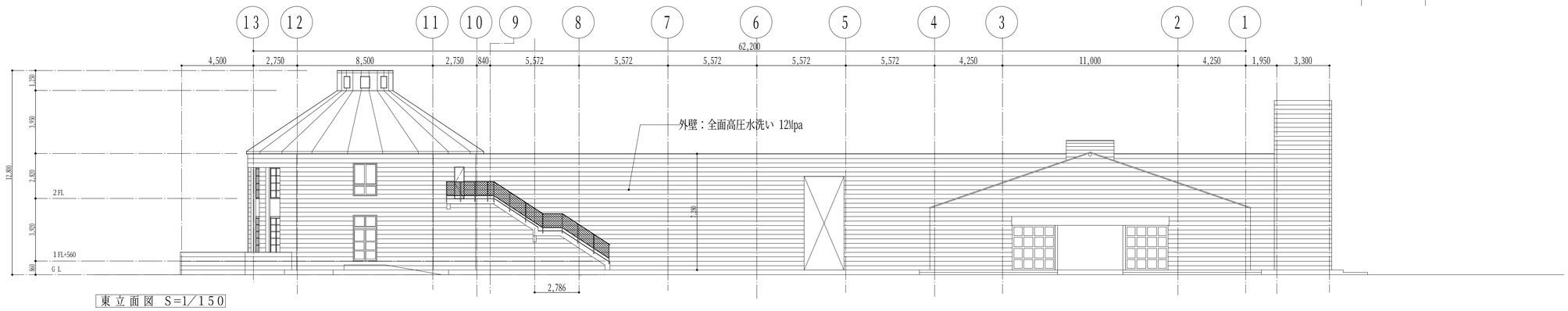
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗 屋根伏図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1／150, A3：1／300	NO ■ A－021



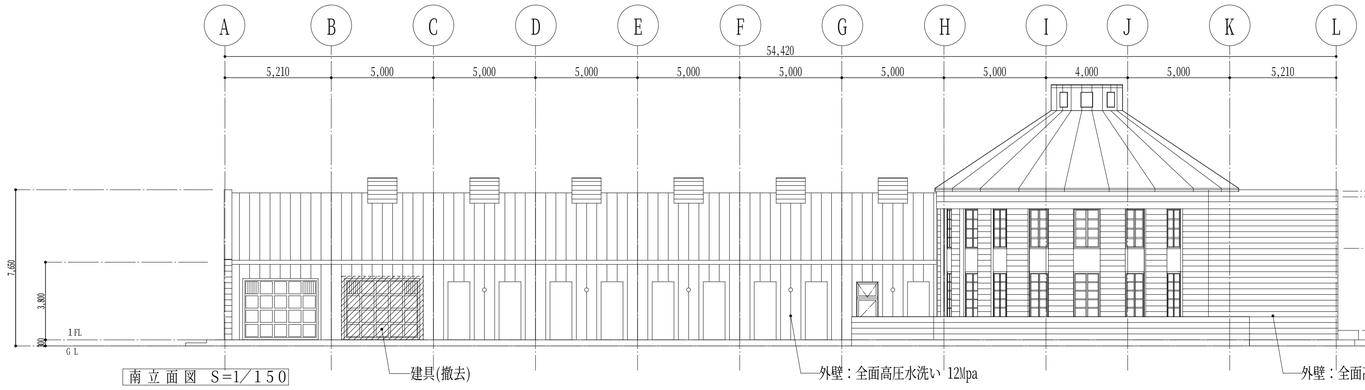
北 立 面 図 S=1／150



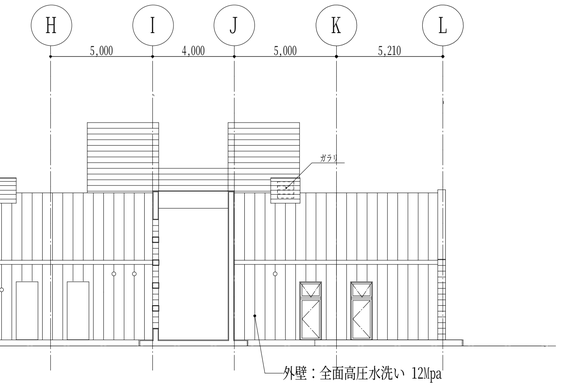
南 立 面 図 S=1／150



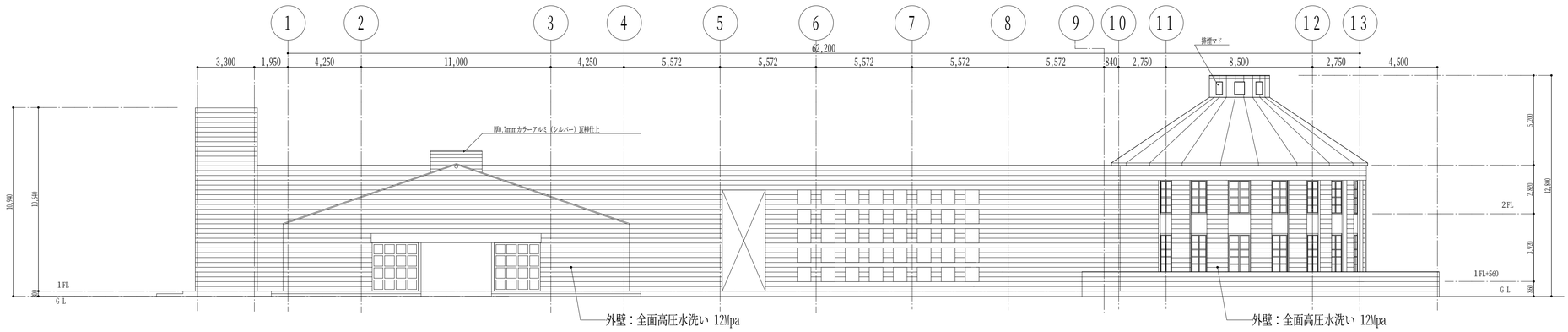
東 立 面 図 S=1／150



南 立 面 図 S=1／150

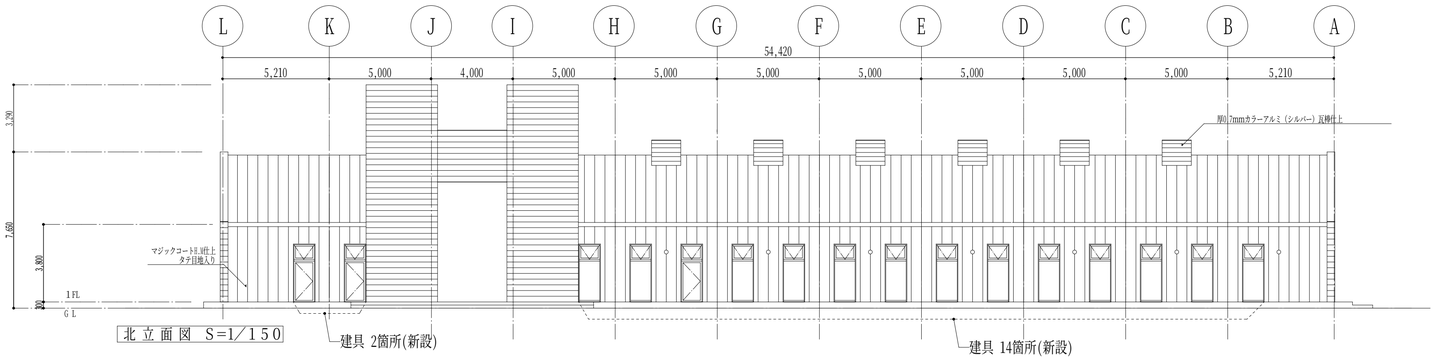


南 立 面 図 S=1／150

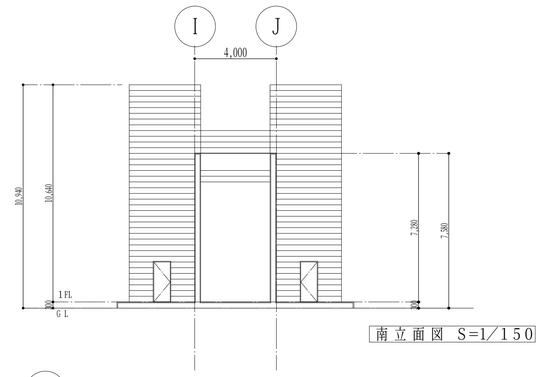


西 立 面 図 S=1／150

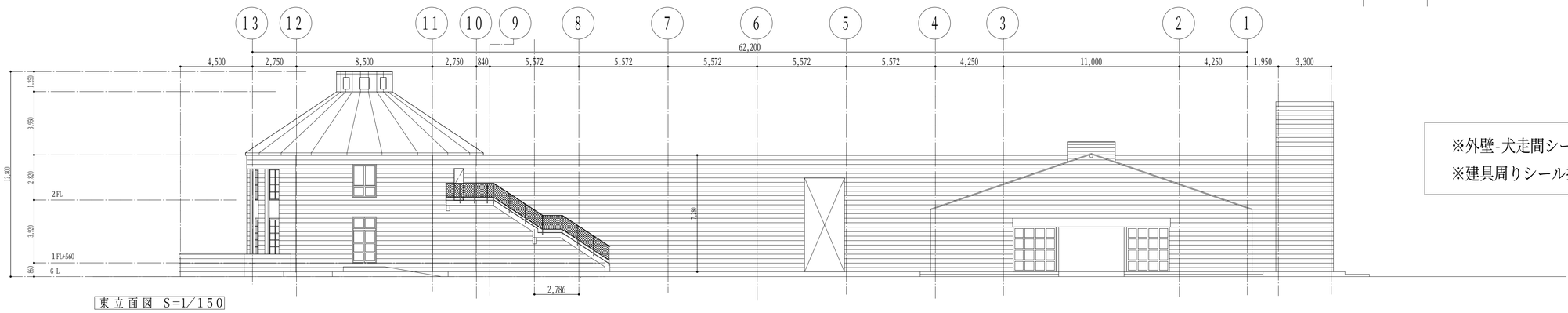
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294−0045 千葉県館山市北条1355−45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1−2310−9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470−22−3764 FAX. 0470−22−3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 立 面 図（現況）	DATE ■ SCALE ■ A1:1/150, A3:1/300	NO ■ A −022



北 立 面 図 S=1／150

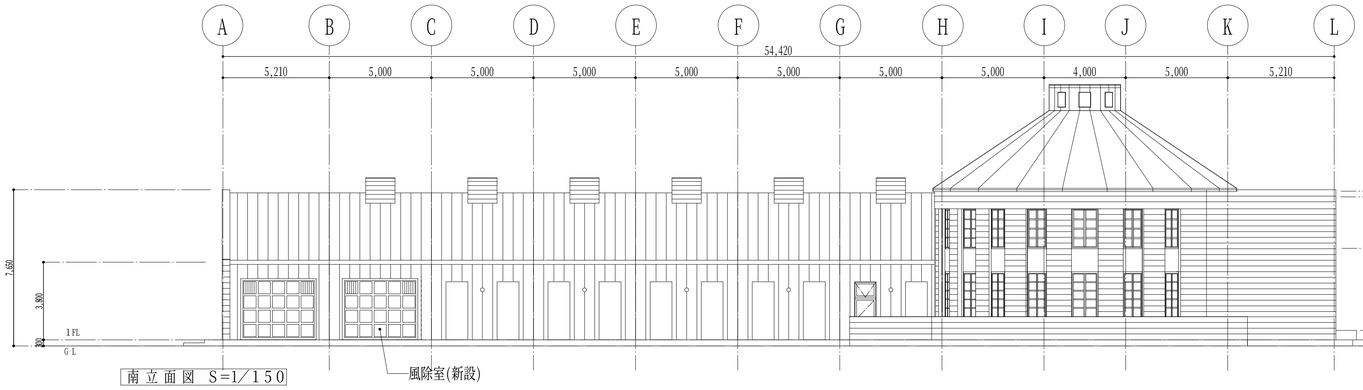


南 立 面 図 S=1／150

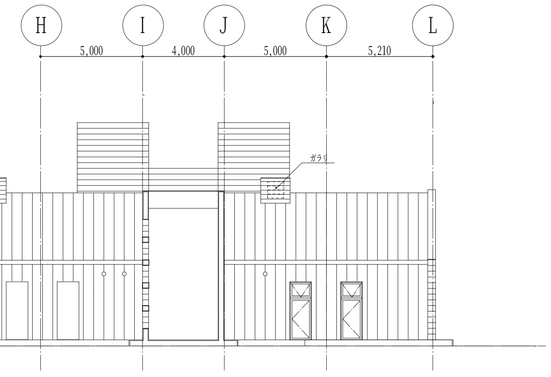


東 立 面 図 S=1／150

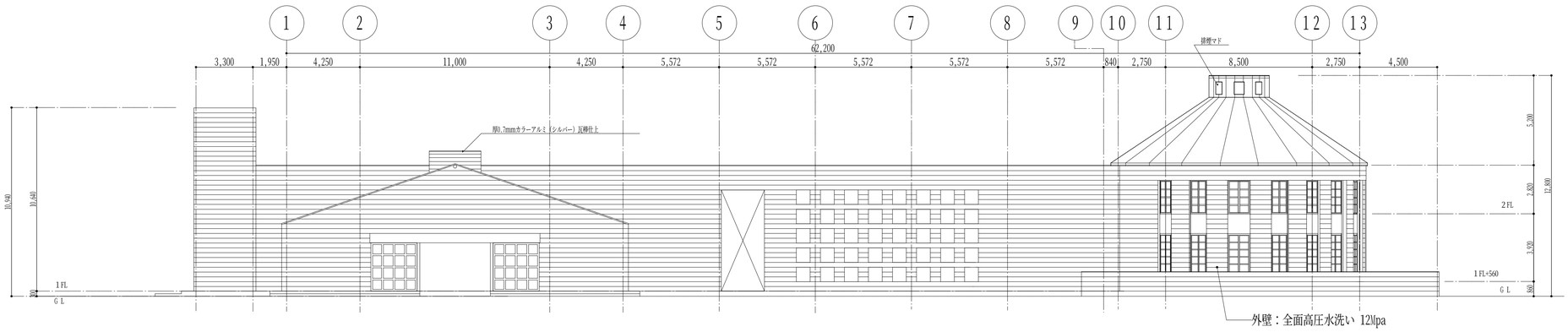
※外壁-犬走間シール打替え(全面)
※建具周りシール打替え(建具未改修箇所)



南 立 面 図 S=1／150

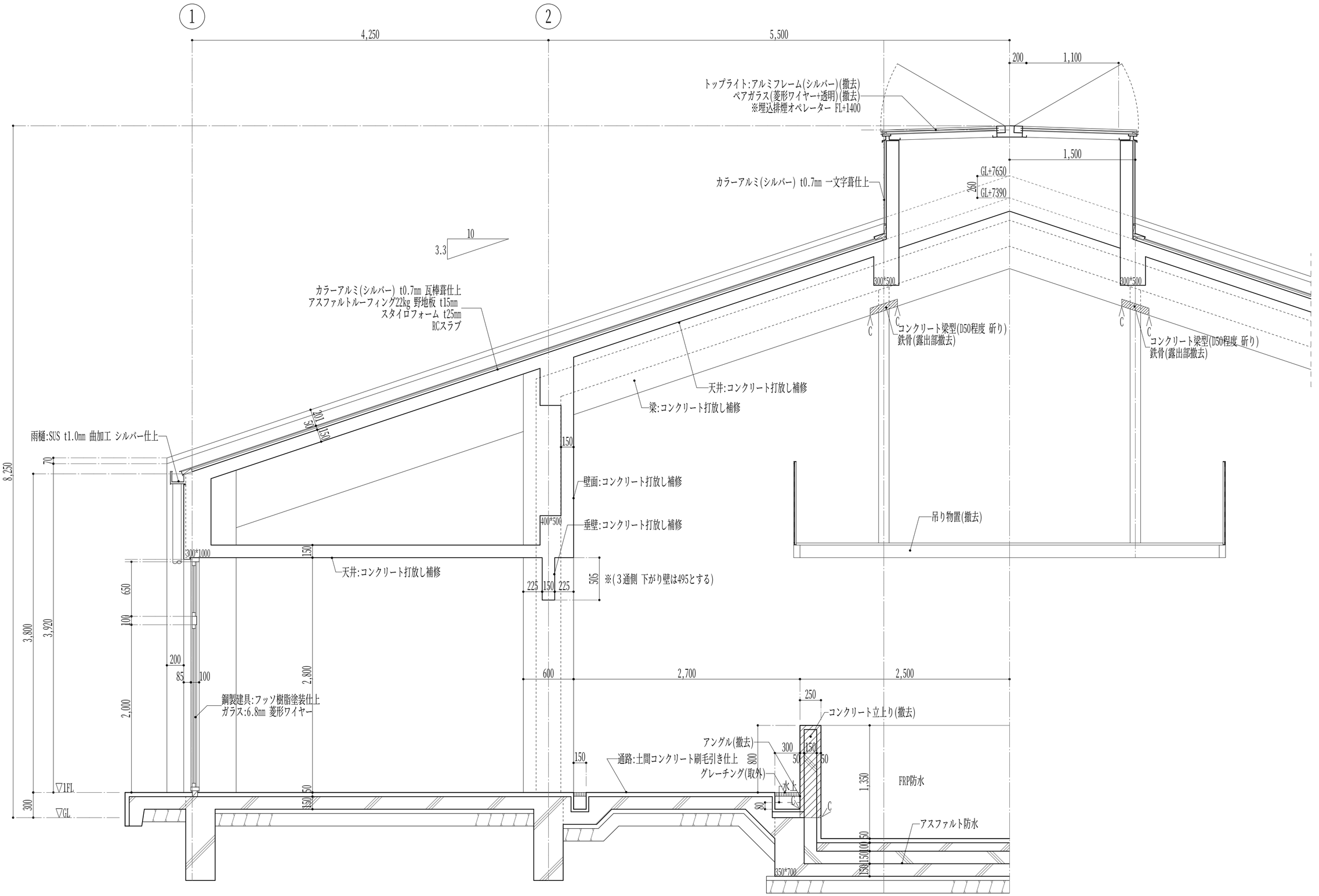


南 立 面 図 S=1／150

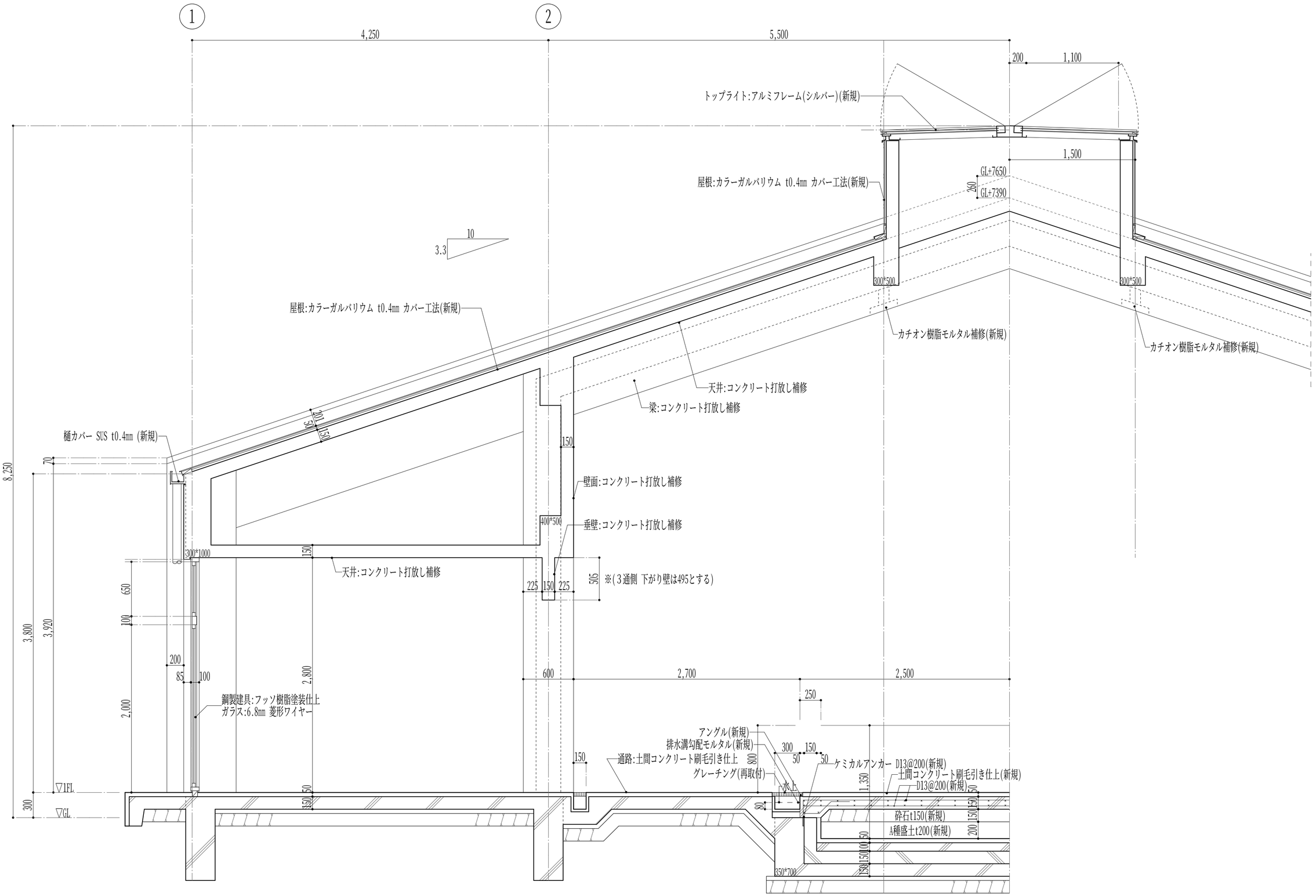


西 立 面 図 S=1／150

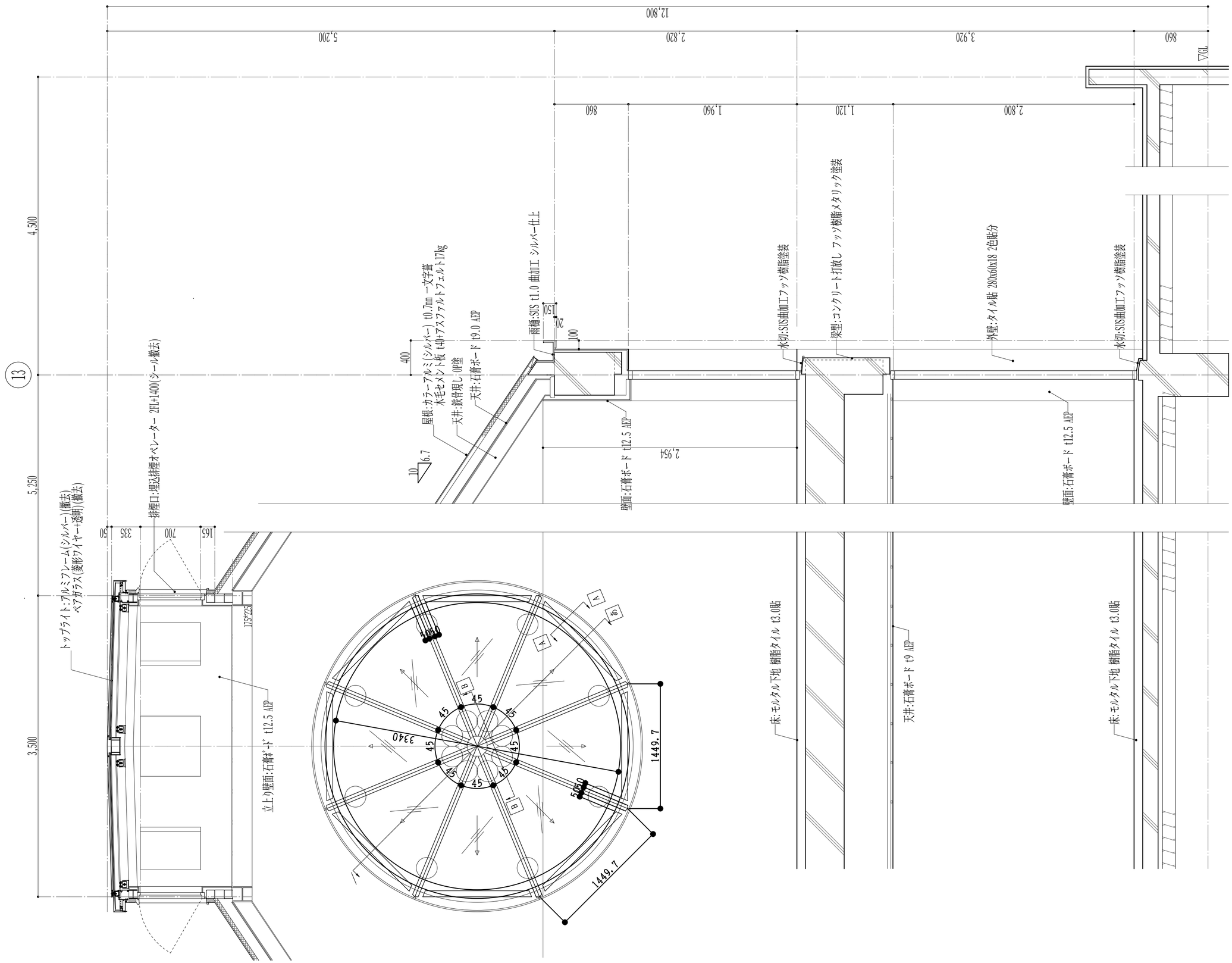
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 立 面 図 (改修)	DATE ■ SCALE ■ A1:1/150, A3:1/300	NO ■ A —023



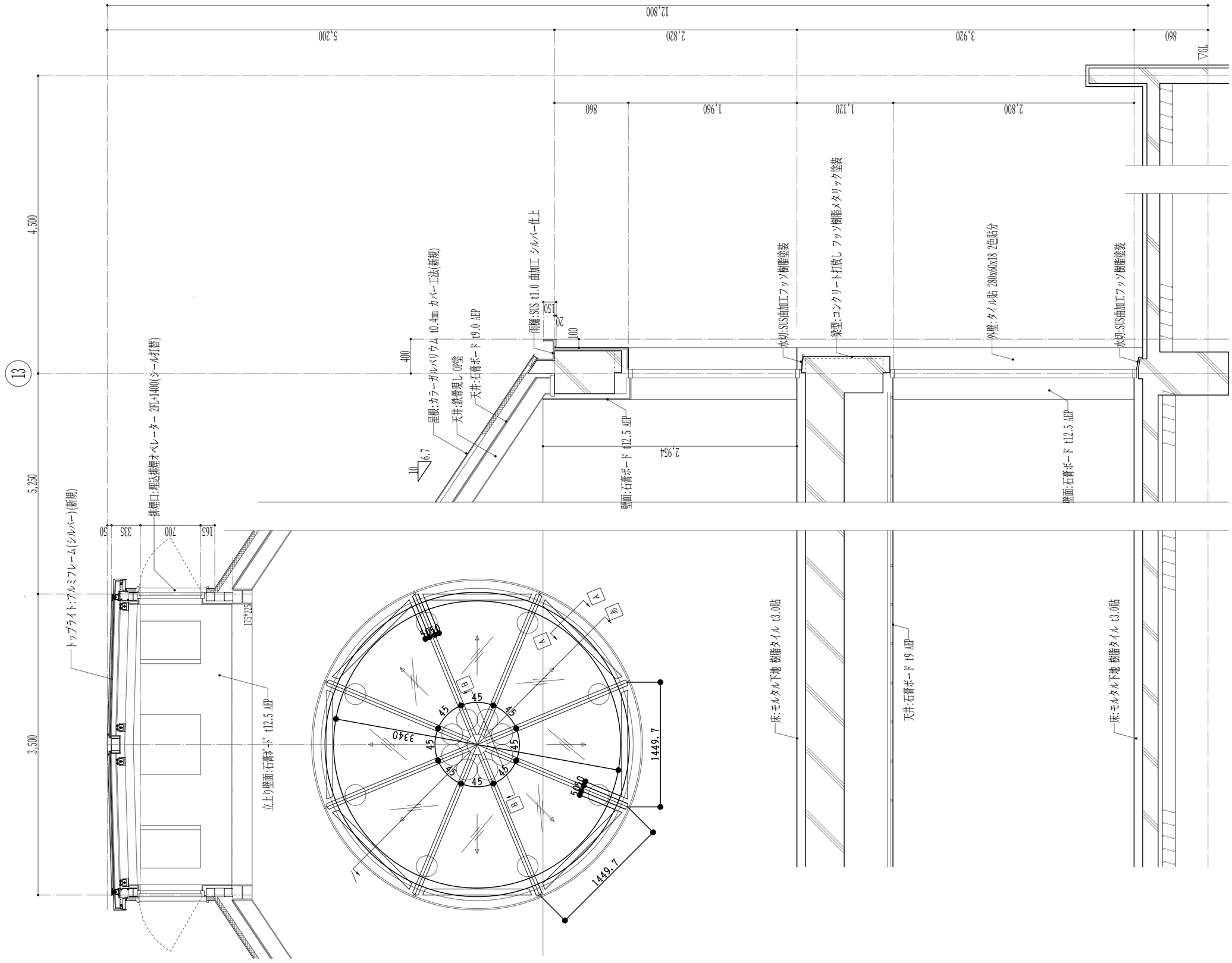
特記事項	＜C・・・コンクリートカッターを示す 本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 TEL. 0470-22-3764 (代) 千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第 246699号 岩崎一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 市場棟 矩計図(現況)	DATE ■ SCALE■ S=1/200	NO■ A－024



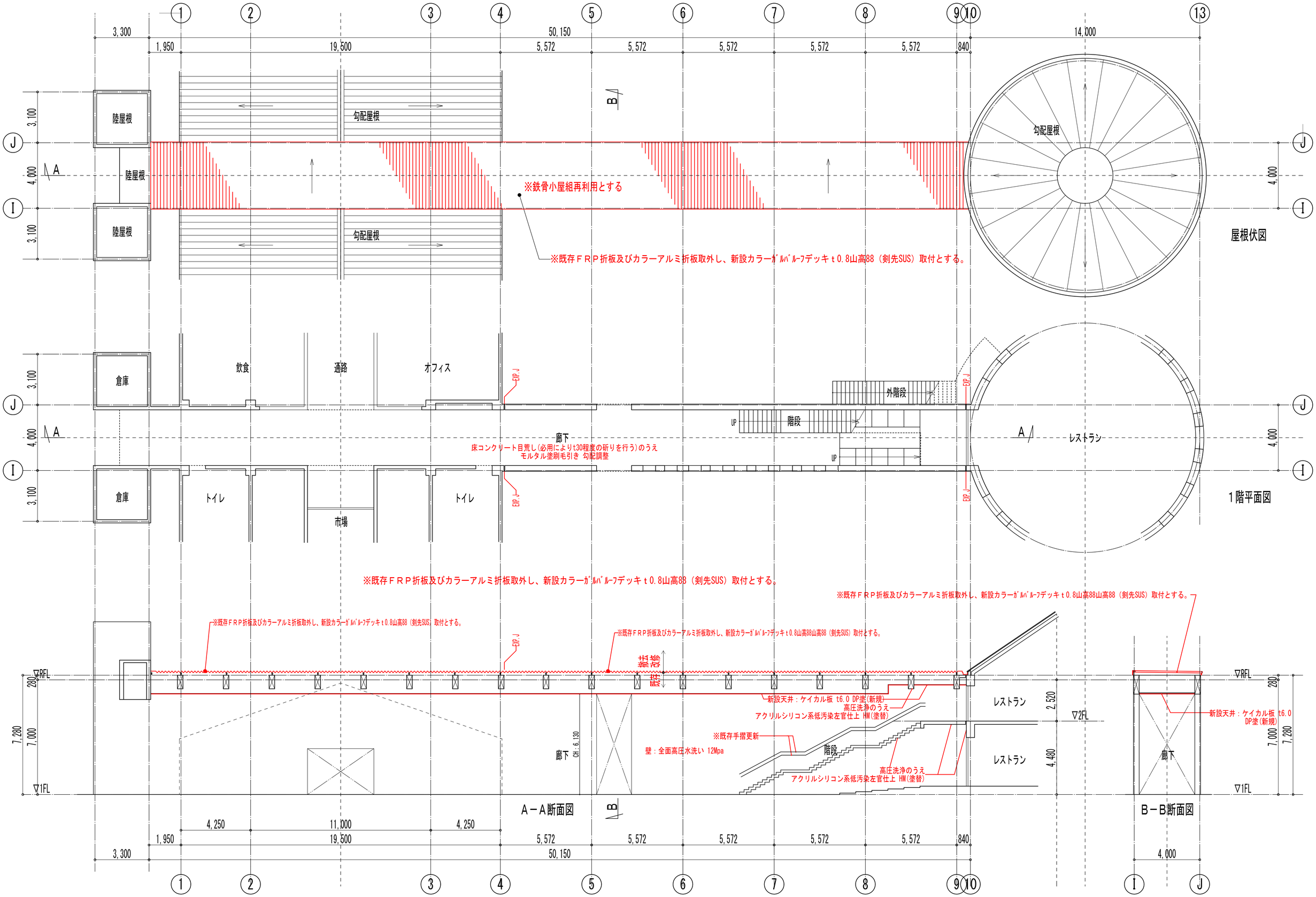
特記事項	＜C・・・コンクリートカッターを示す 本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 TEL. 0470-22-3764 (代) 千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第 246699号 岩崎一博	CHECKED ■ DRAWN ■	PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 市場棟 矩計図(改修)	DATE ■ SCALE■ S=1/200	NO■ A－025



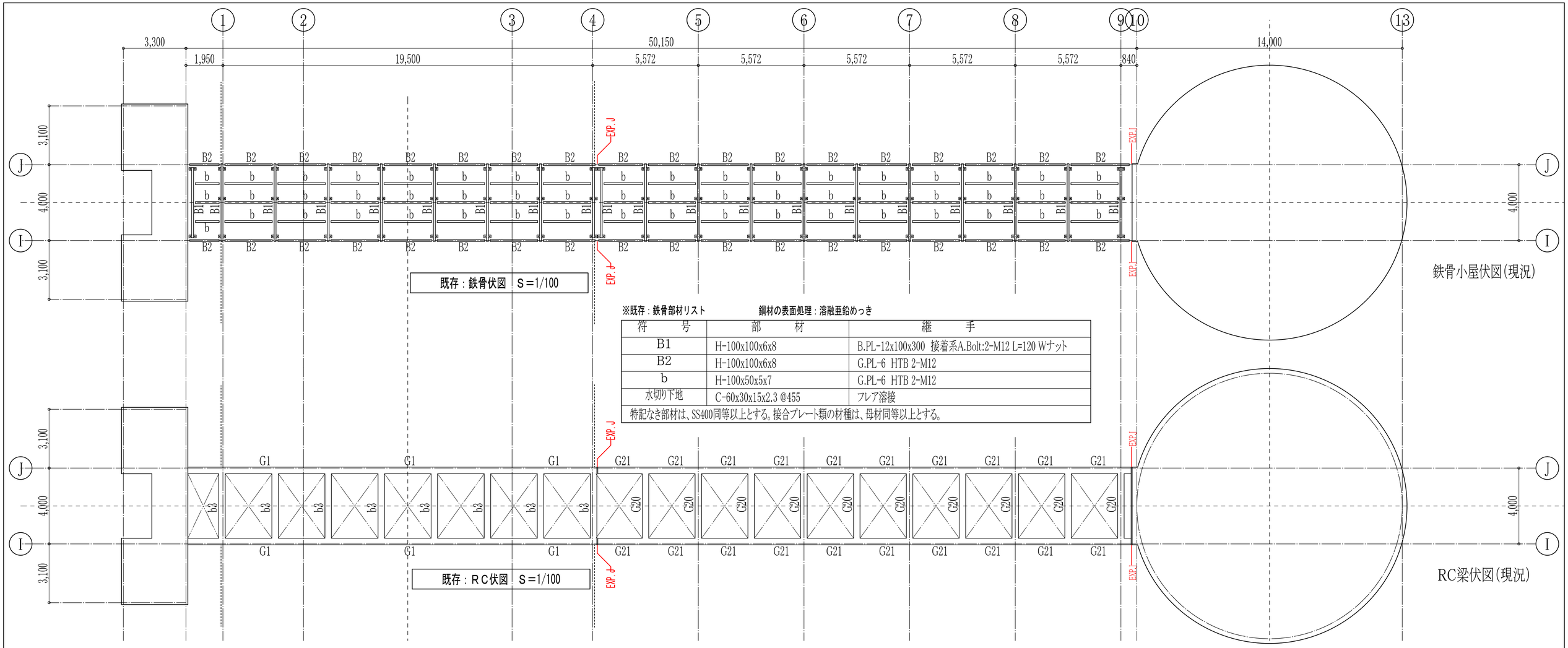
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ A－026
	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	〒294-0045 TEL. 0470-22-3764 (代) 千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第 246699号 岩崎一博	DRAWN ■	ITEMS ■ レストラン棟 矩計図(現況)	SCALE ■ S=1/200	



特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 TEL. 0470-22-3764 (代) 千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第 246699号 岩崎一博	CHECKED ■	DRAWN ■	PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ レストラン棟 矩計図(改修)	DATE ■ SCALE■ S=1/200	NO■ A－027



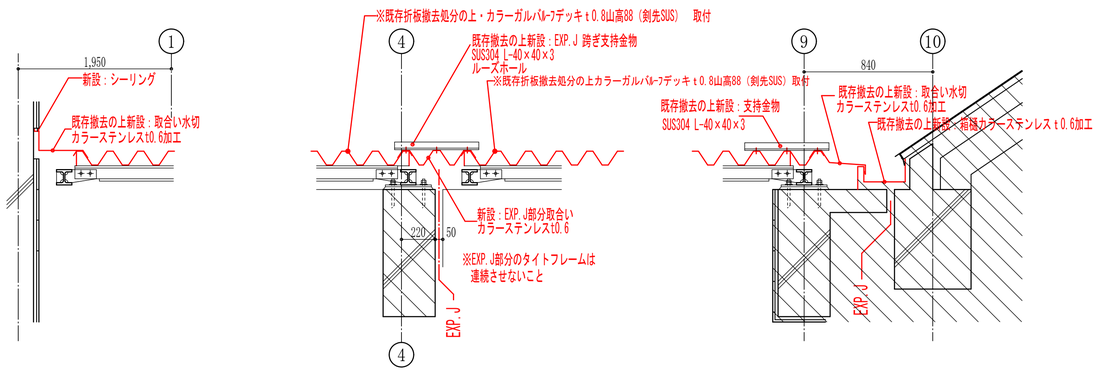
特記事項	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録 TEL.0470-22-3764 FAX.0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED ■	DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 外廊下平面図、屋根伏図、断面図	DATE ■ SCALE ■ A1：S=1/100 A3：1/200 NO■ A－028



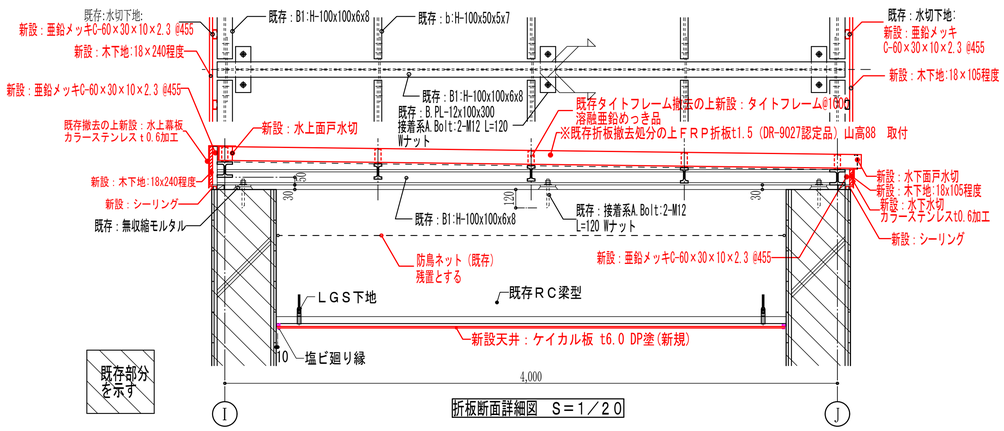
※既存：鉄骨部材リスト　　鋼材の表面処理：溶融亜鉛めっき

符　号	部　材	継　手
B1	H-100x100x6x8	B.PL-12x100x300　接着系A.Bolt:2-M12 L=120 Wナット
B2	H-100x100x6x8	G.PL-6　HTB 2-M12
b	H-100x50x5x7	G.PL-6　HTB 2-M12
水切り下地	C-60x30x15x2.3 @455	フレア溶接

特記なき部材は、SS400同等以上とする。接合プレート類の材種は、母材同等以上とする。



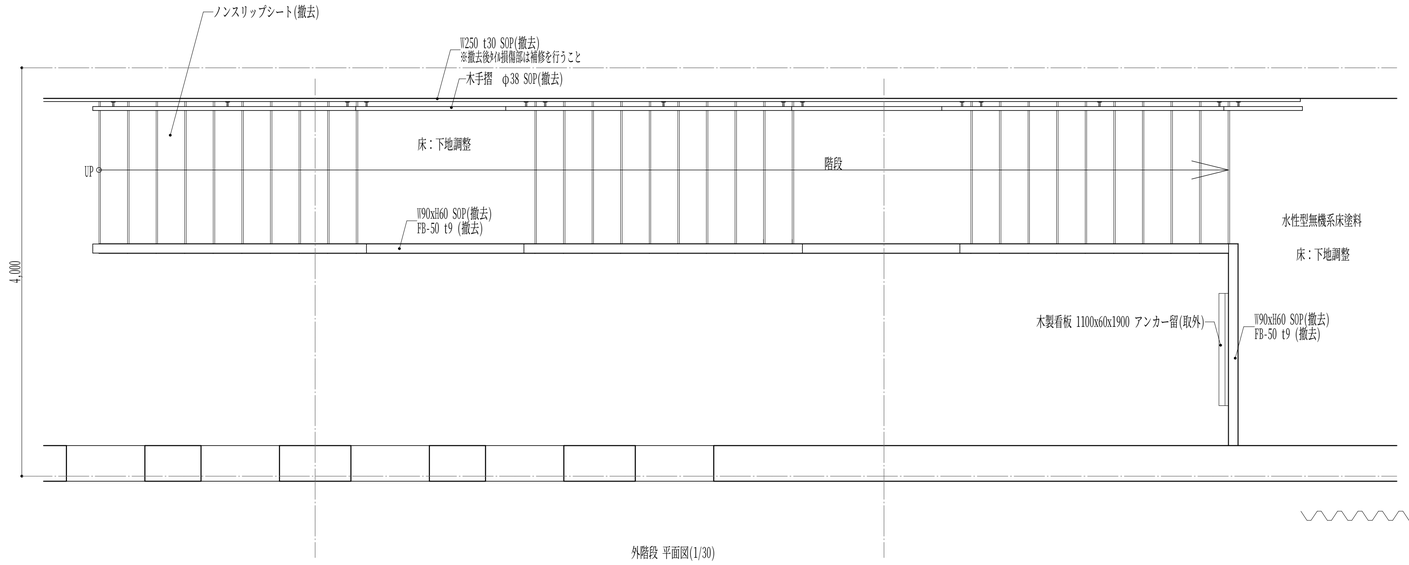
折板各部詳細図　S＝1／20



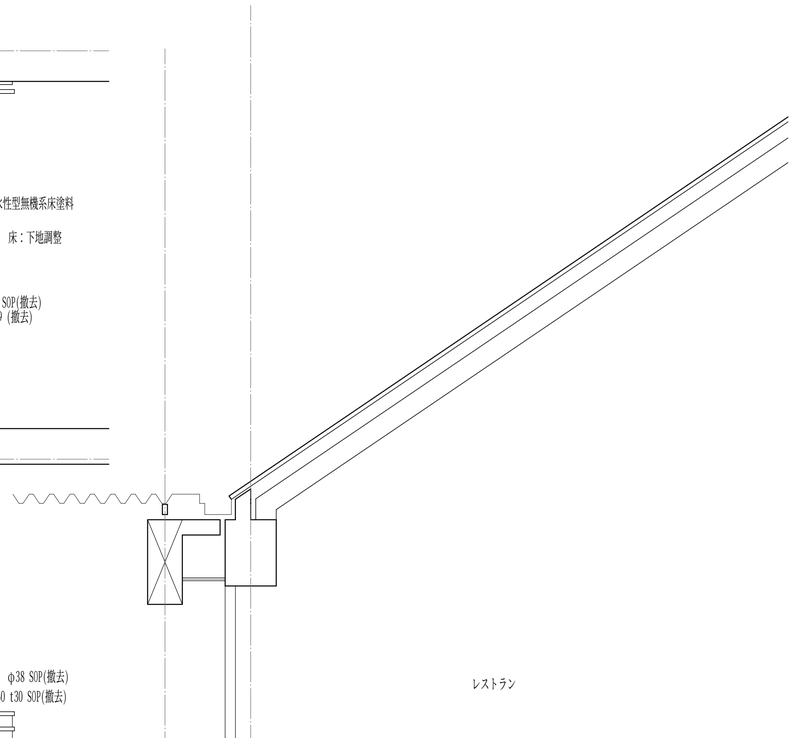
既存部分を示す

折板断面詳細図　S＝1／20

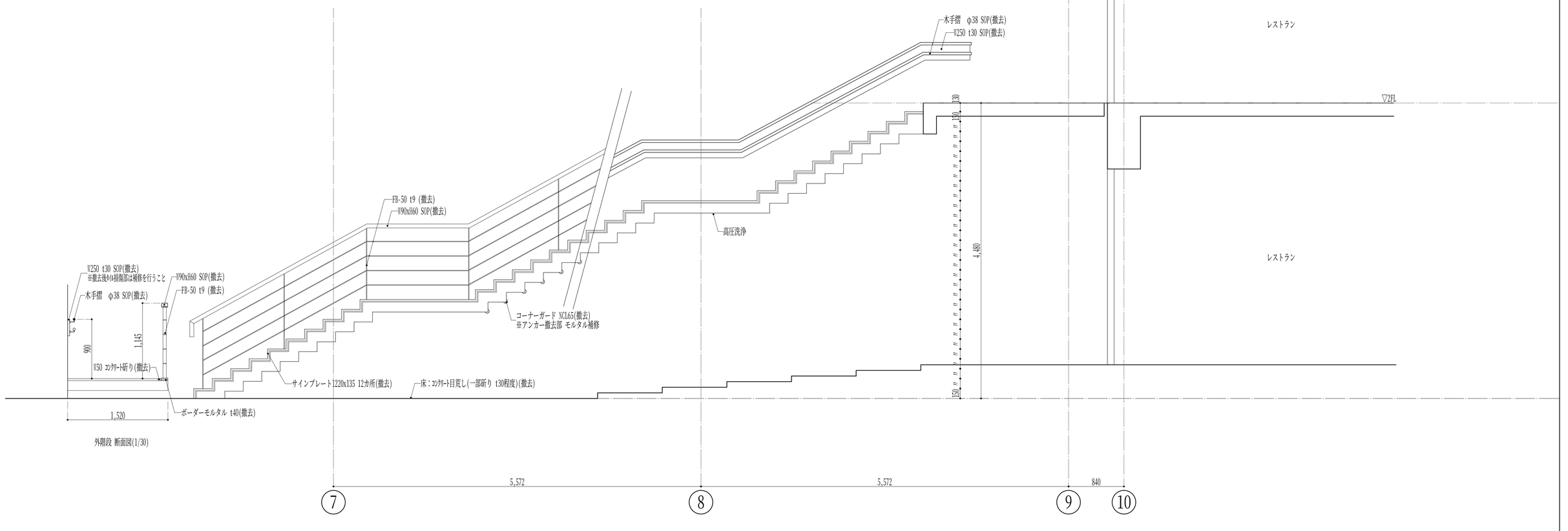
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED　DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO■ A－029
		〒294－0045 TEL. 0470－22－3764 千葉県館山市北条1355－45 FAX. 0470－22－3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号　岩崎　一博		ITEMS ■ 梁伏図、小屋伏図、断面詳細図	SCALE ■ A1：S=1/100 A3：1/200	



外階段 平面図(1/30)

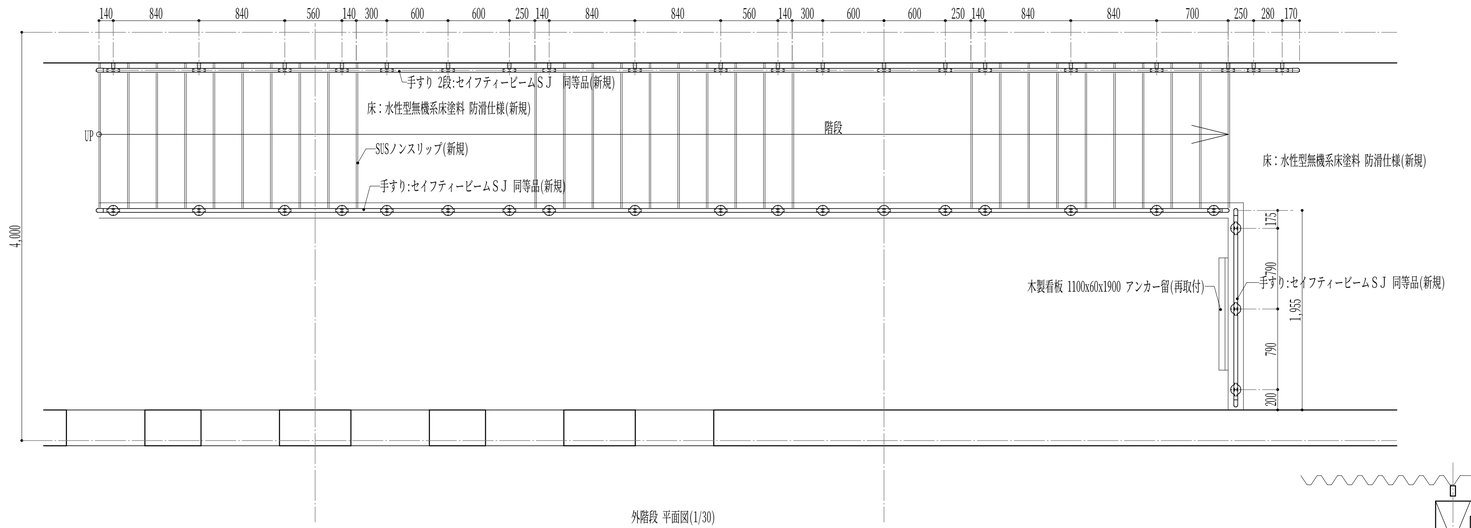


外階段 断面図(1/30)

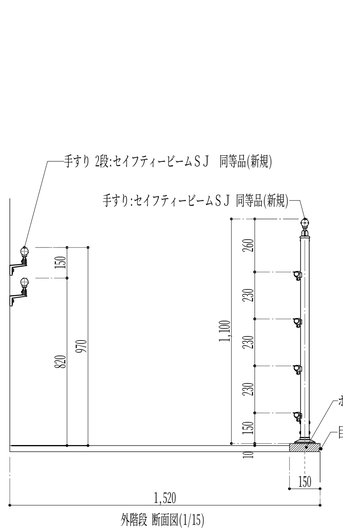


外階段 立面図(1/30)

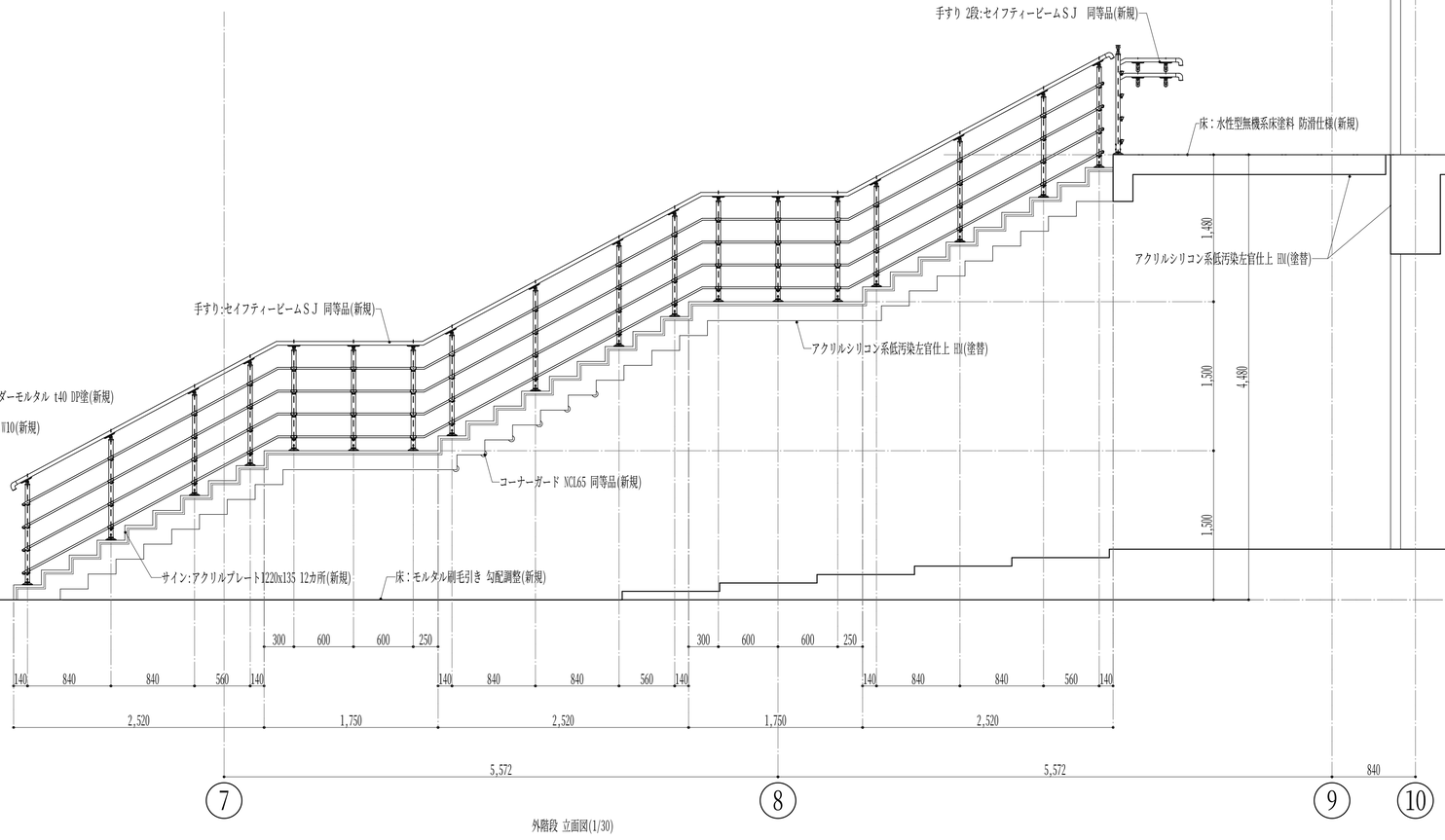
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ A-030
					ITEMS ■ 外廊下階段詳細図(現況)	SCALE ■ A1：S=1/30 A3：1/60	



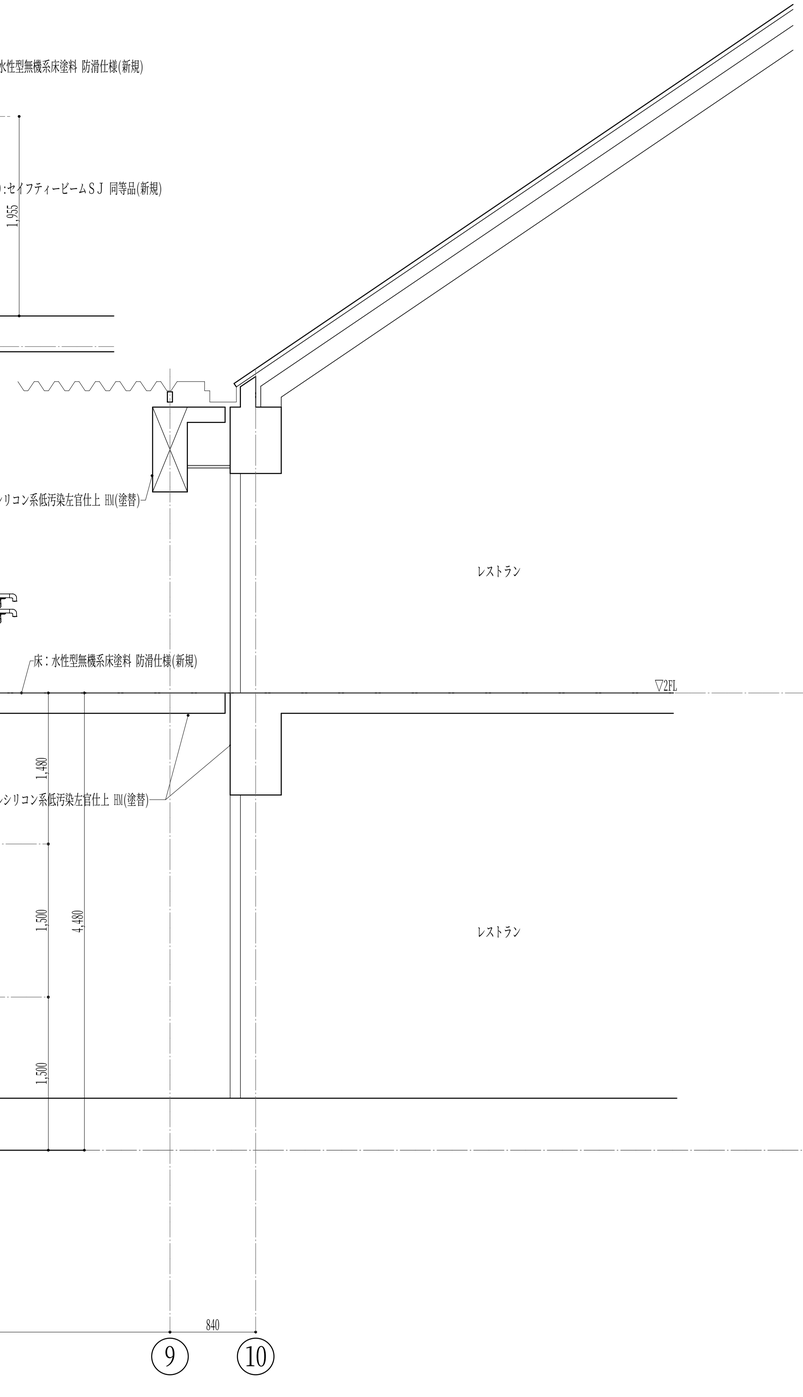
外階段 平面図(1/30)



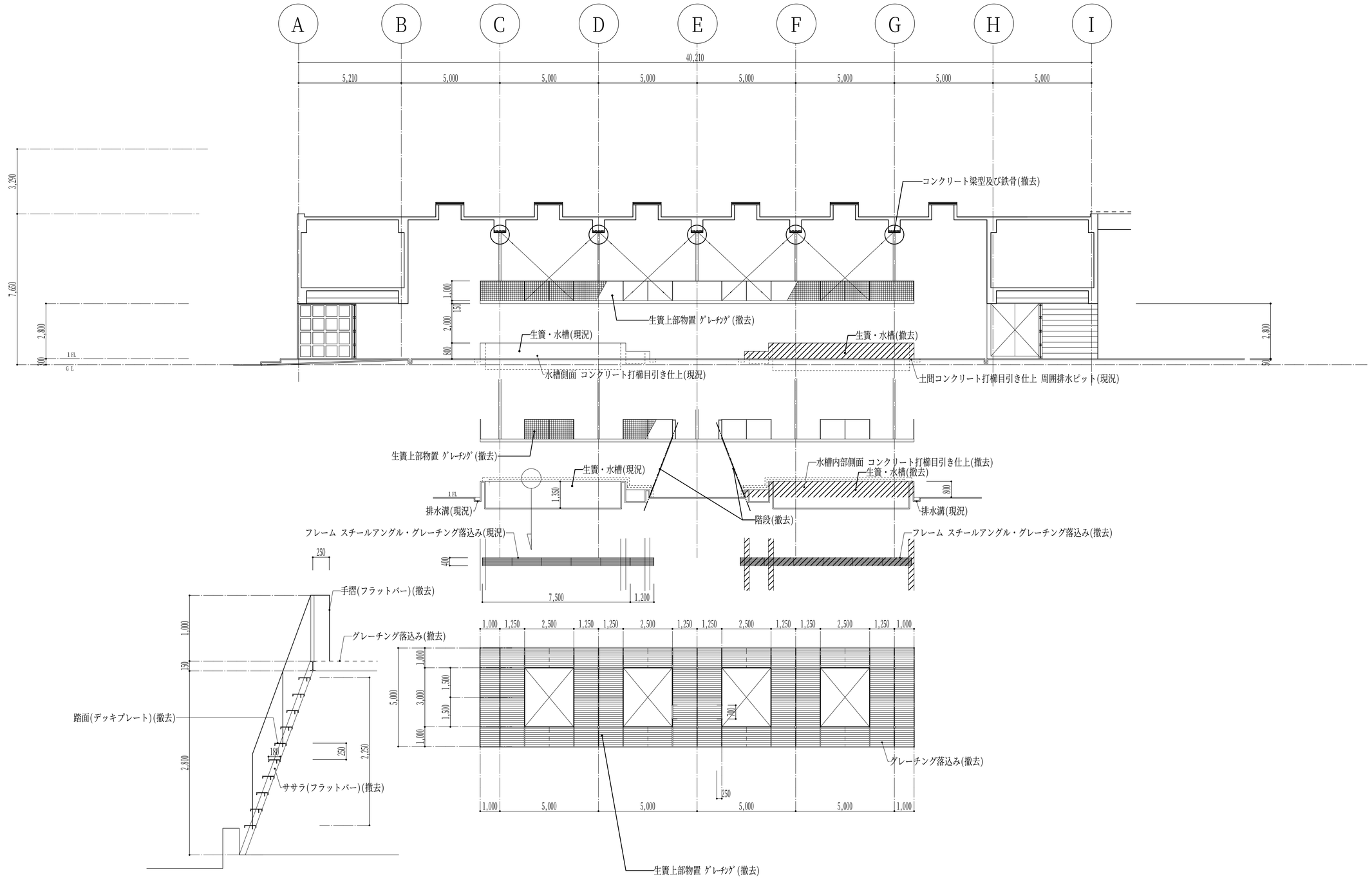
外階段 断面図(1/15)



外階段 立面図(1/30)

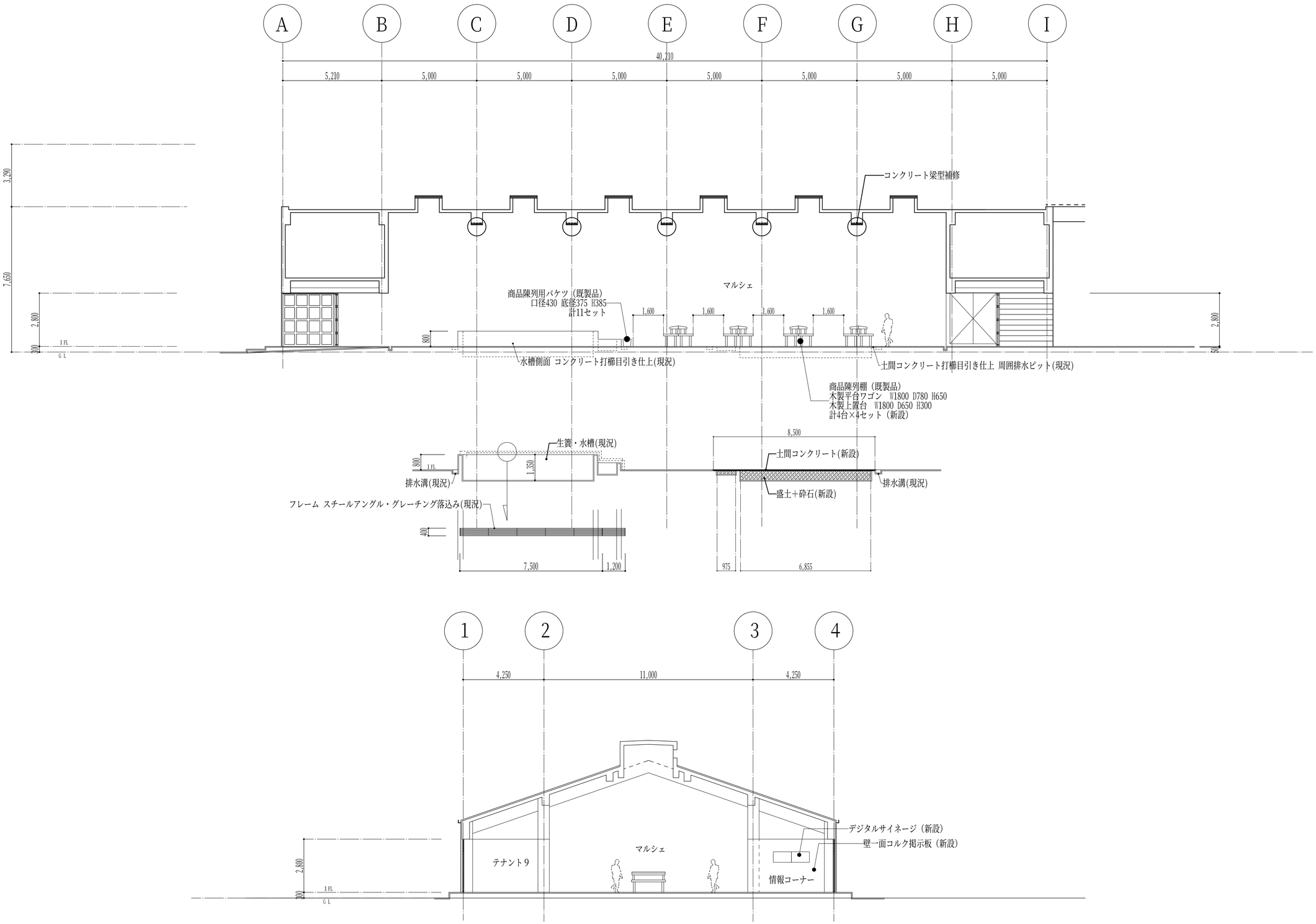


特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 TEL. 0470-22-3764 千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 外廊下階段詳細図(改修)	DATE ■ SCALE ■ A1：S=1/30 A3：1/60	NO■ A－031

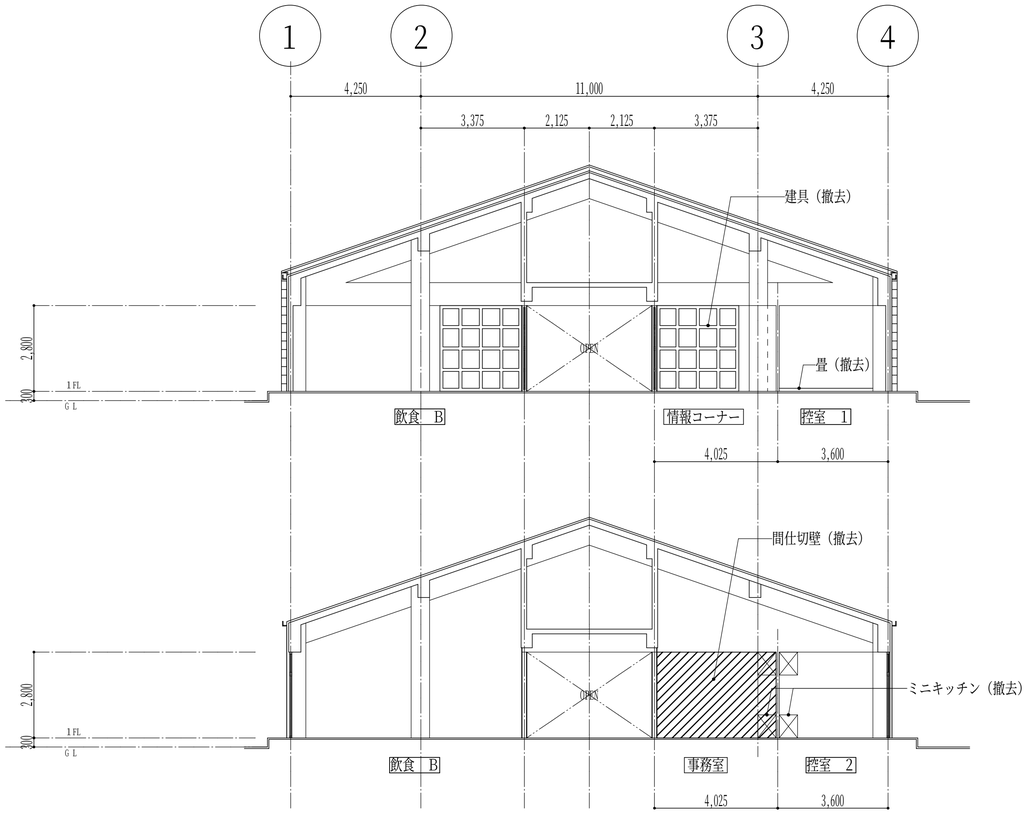


階段詳細図　1／30

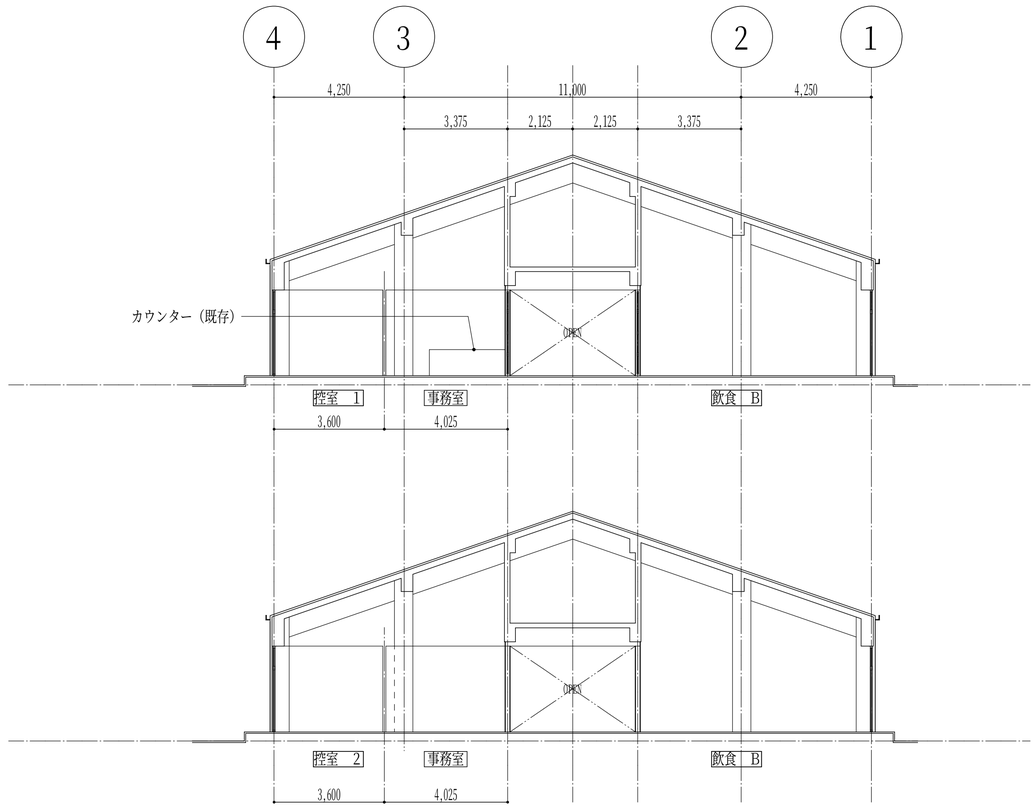
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗 展開図（現況）	DATE ■ SCALE■ A1：1／100, A3：1／200	NO■ A－032



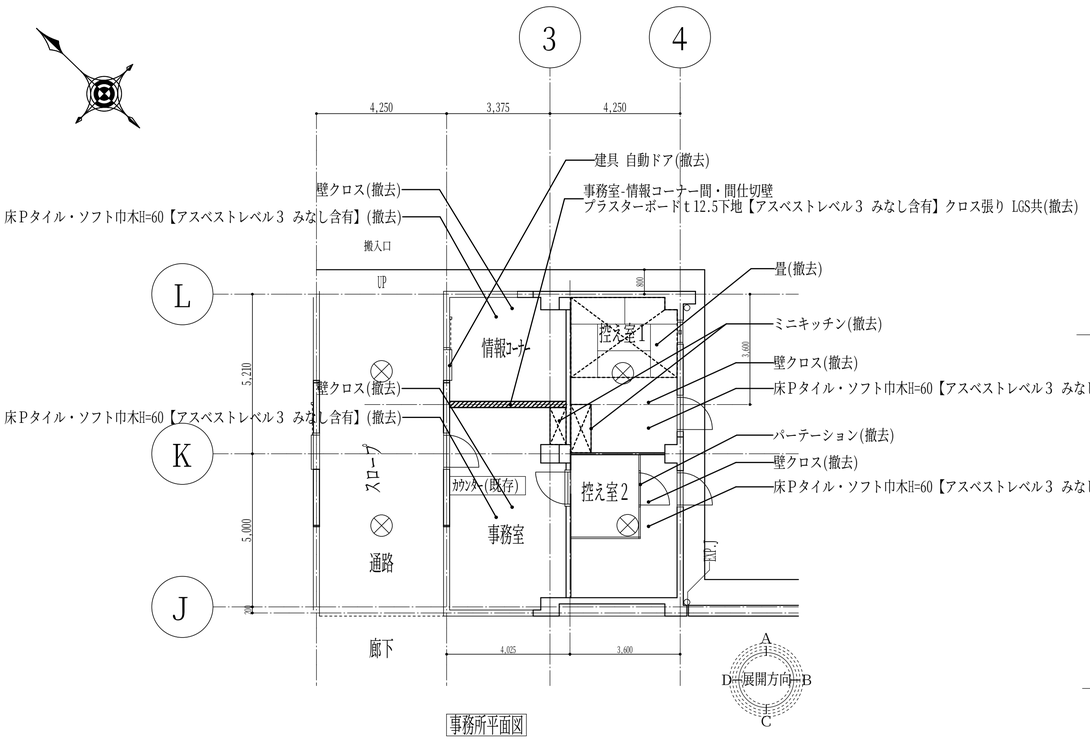
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗 展開図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1／100, A3：1／200	NO ■ A－033



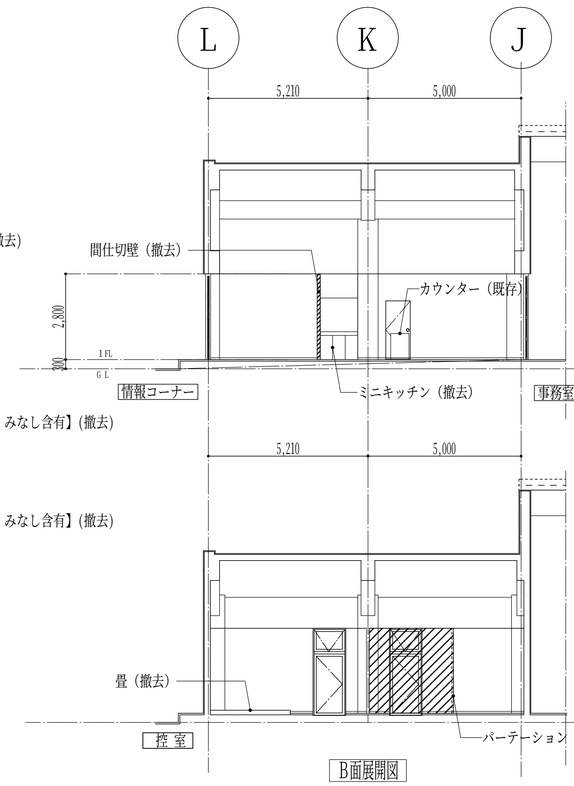
A面展開図



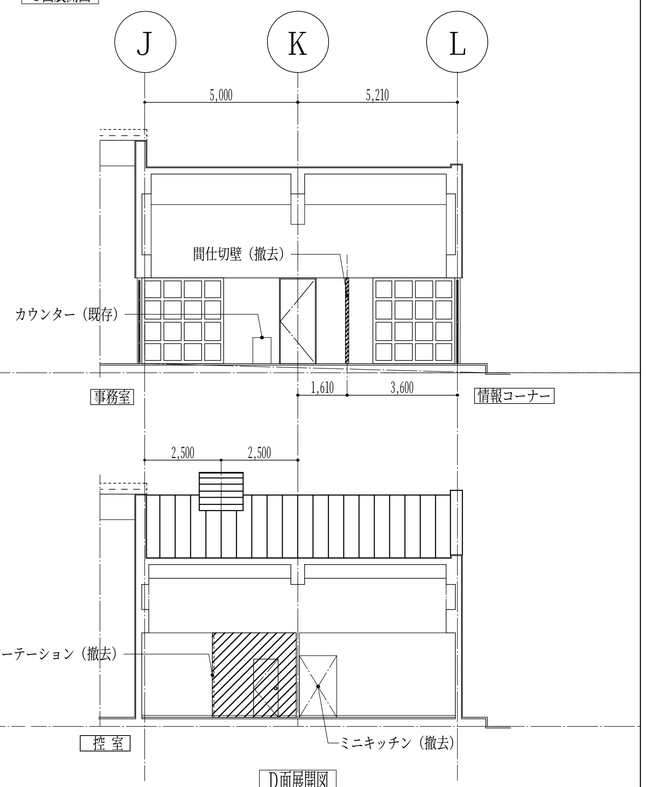
C面展開図



事務所平面図

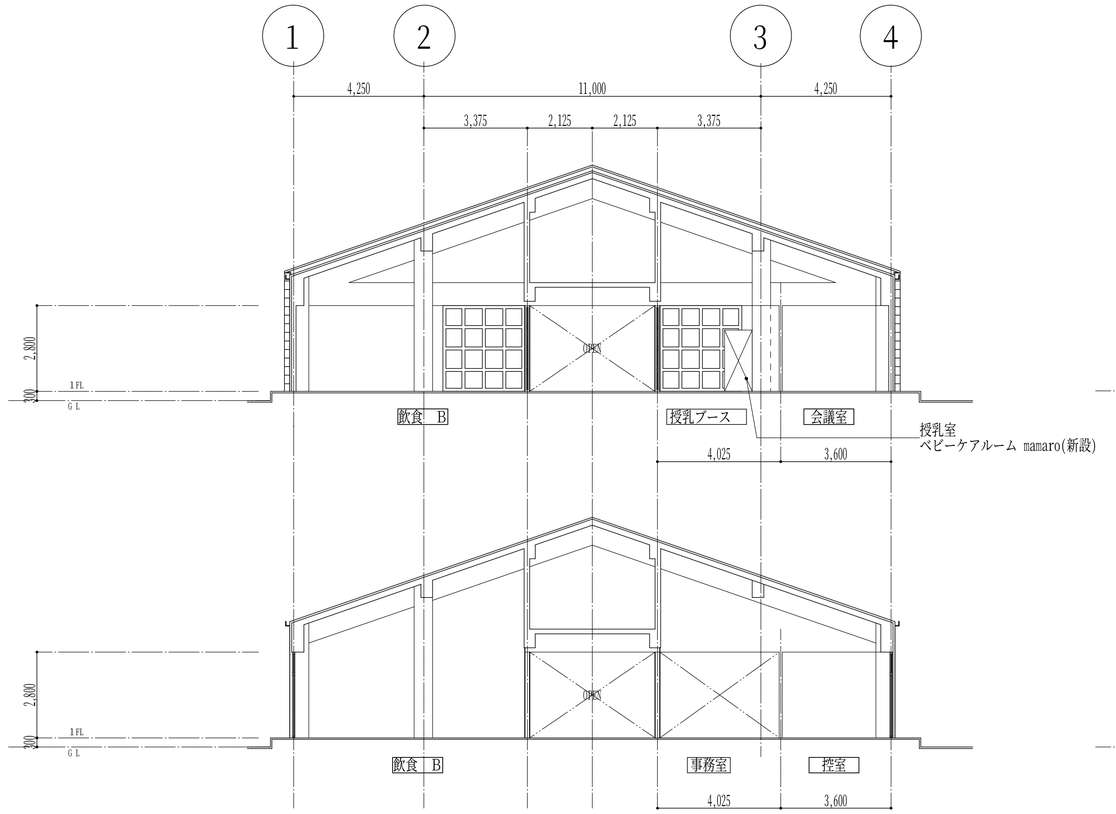


B面展開図

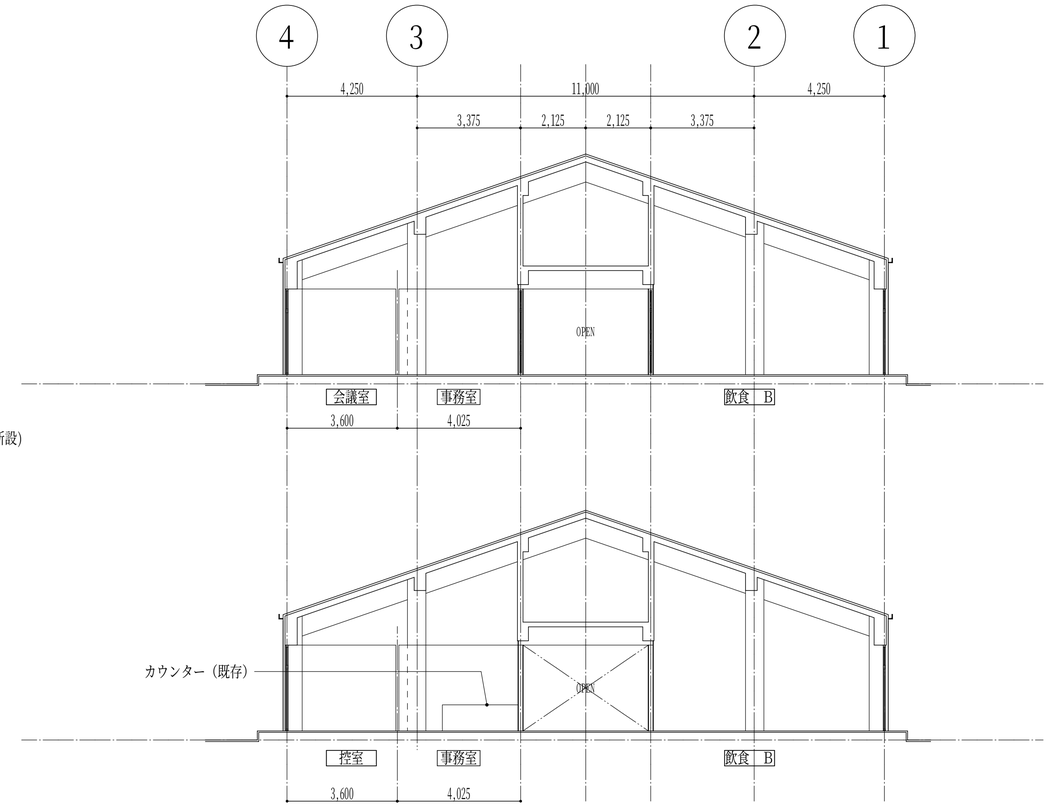


D面展開図

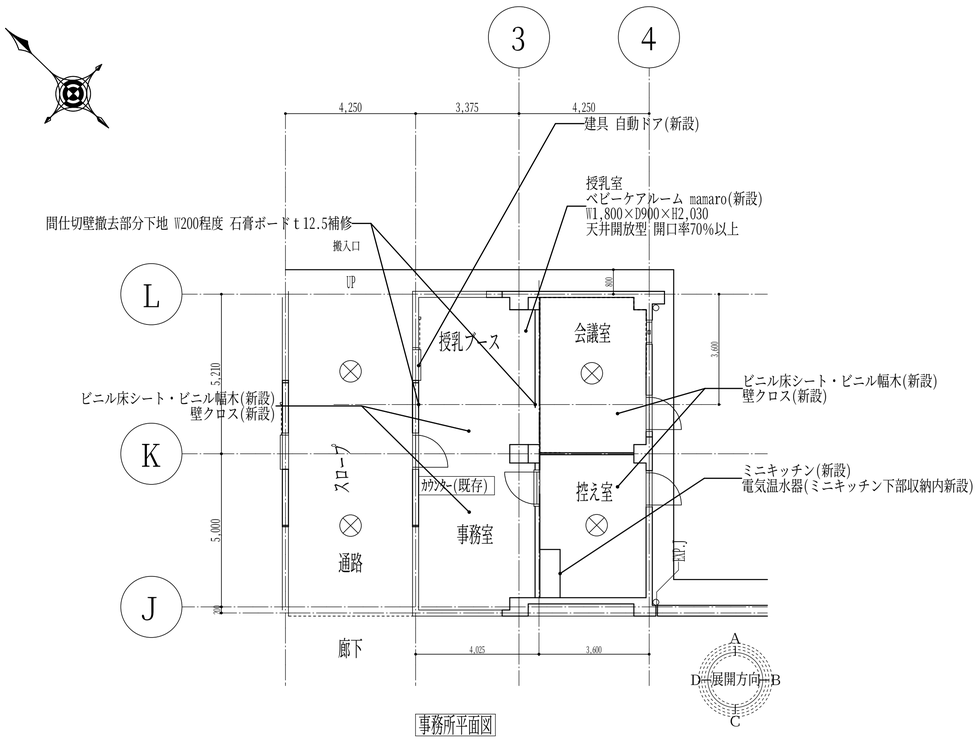
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 事務所 展開図（現況）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/100, A3：1/200	NO ■ A－034



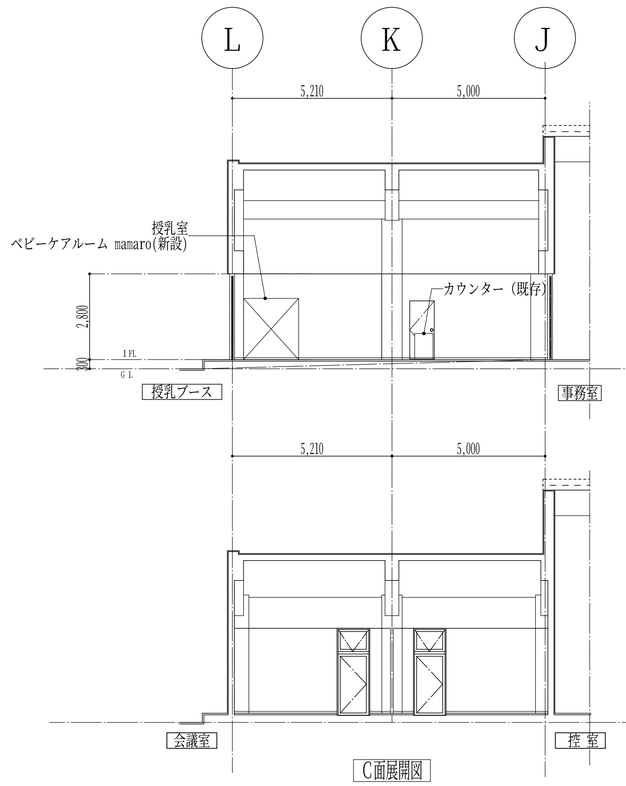
A面展開図



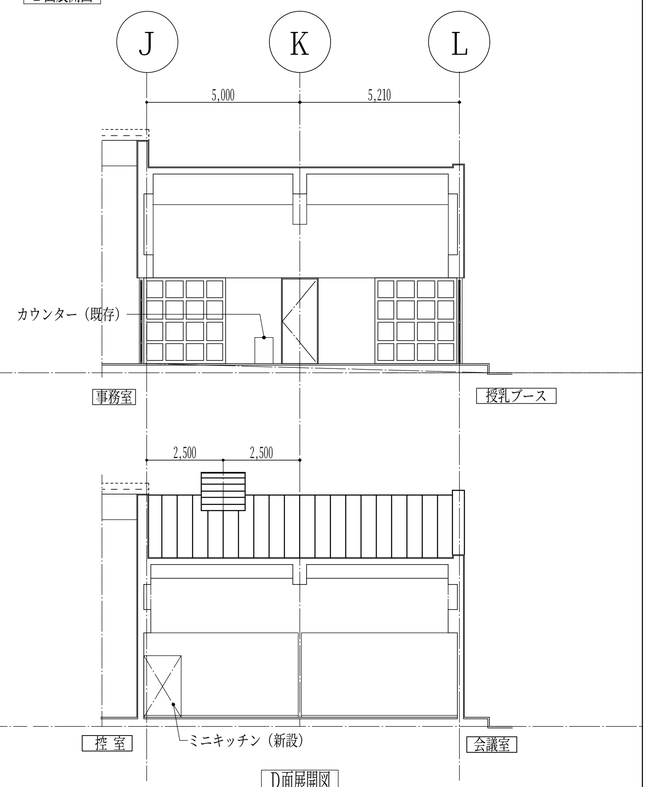
B面展開図



事務所平面図



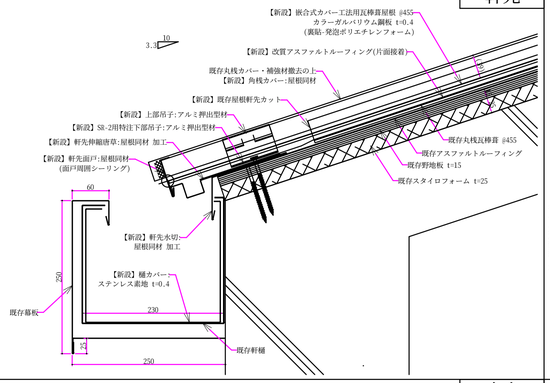
C面展開図



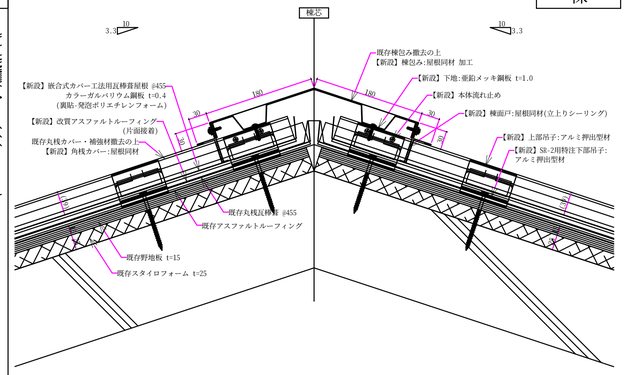
D面展開図

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 事務所 展開図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/100, A3：1/200	NO ■ A－035

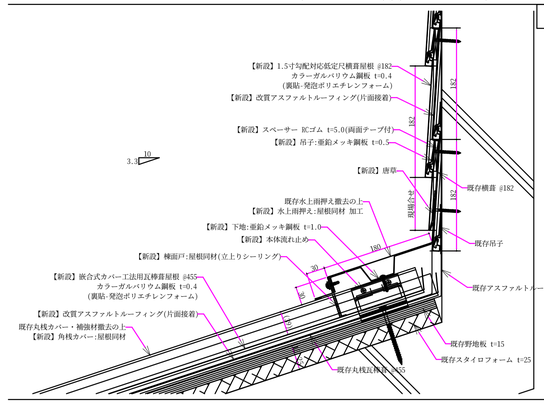
軒先



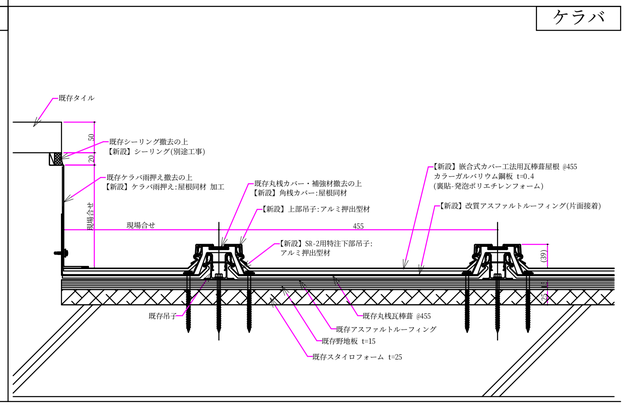
棟



水上

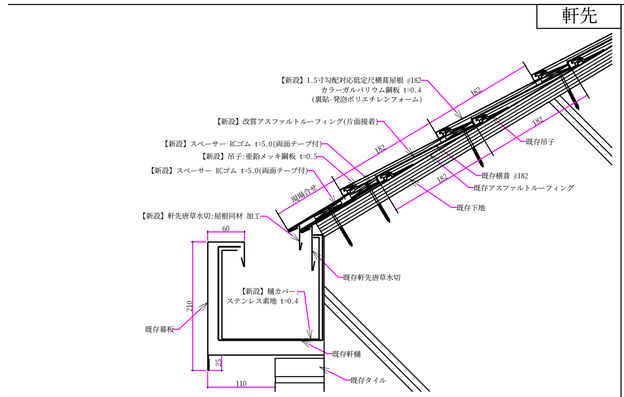


ケラバ

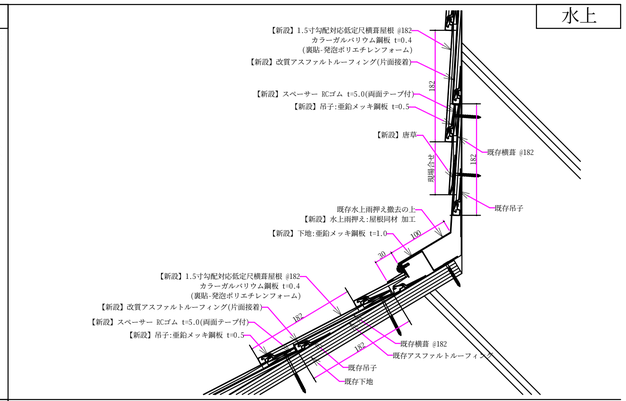


店舗 屋根改修詳細図

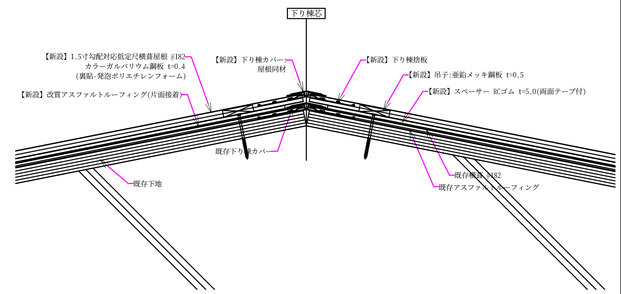
軒先



水上

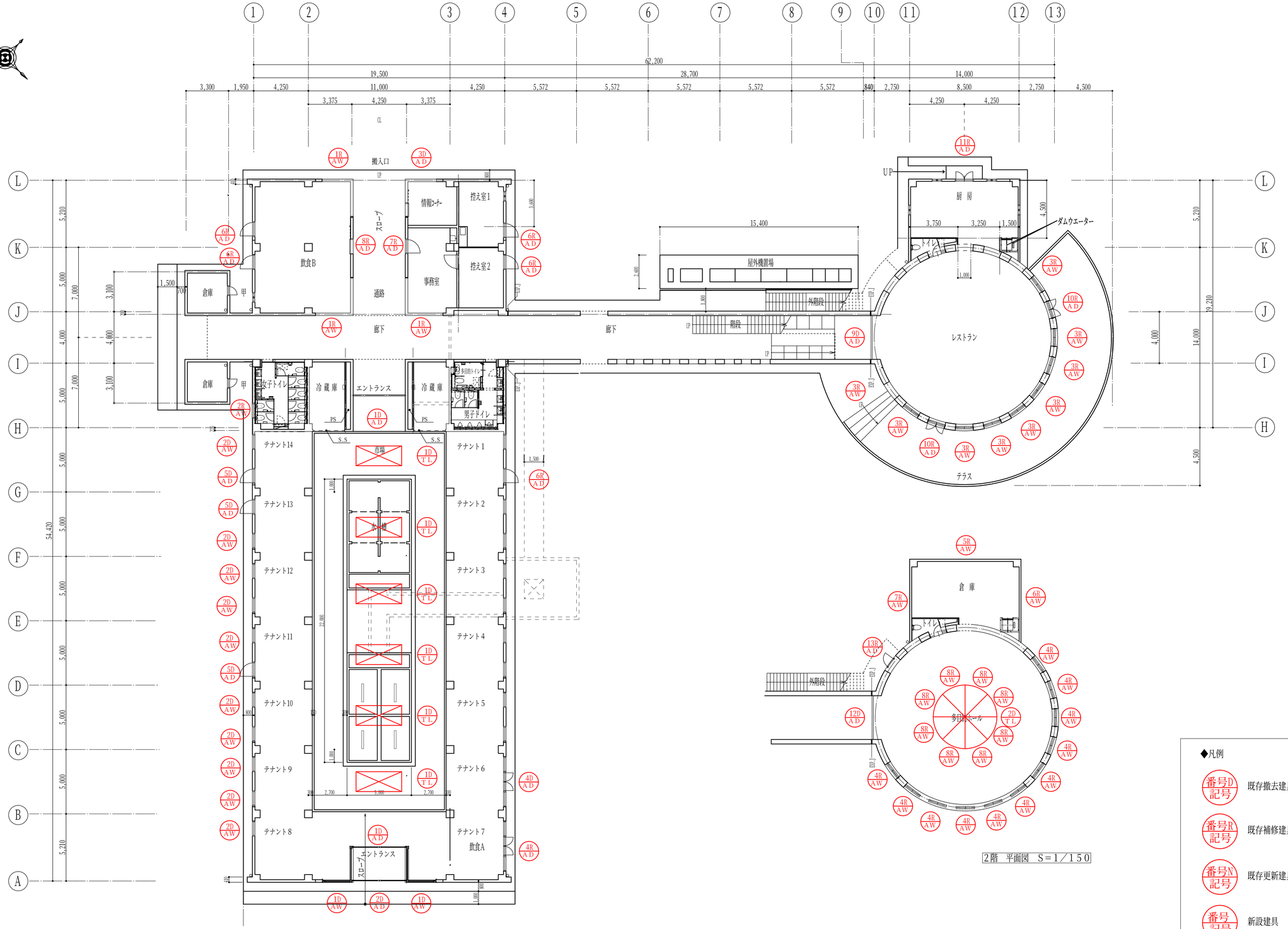


下り棟



レストラン棟 屋根改修詳細図

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗・レストラン棟 屋根改修詳細図（カバー工法）	DATE ■ SCALE■ A1:1/5, A3:1/10	NO■ A－036



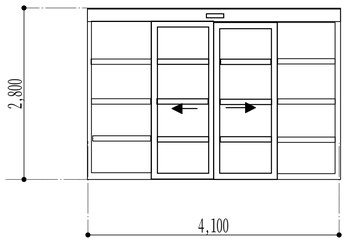
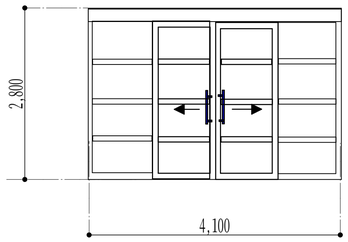
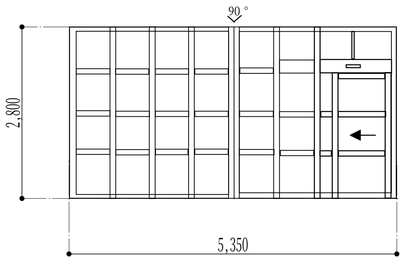
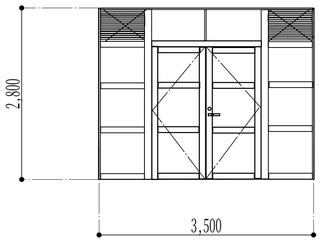
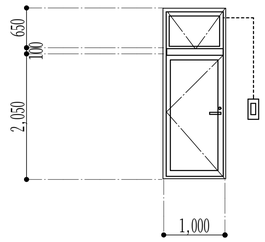
1階　平面図　S=1／150

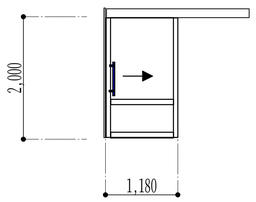
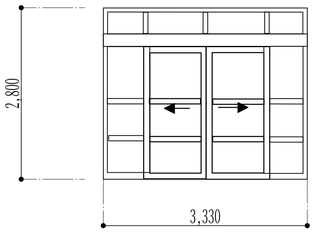
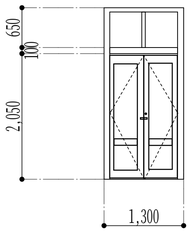
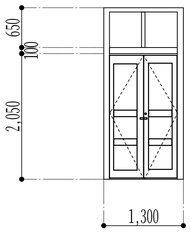
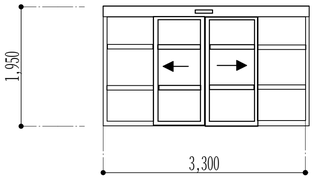
2階　平面図　S=1／150

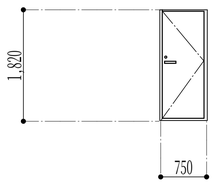
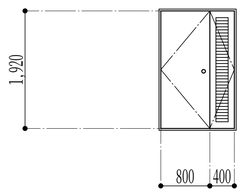
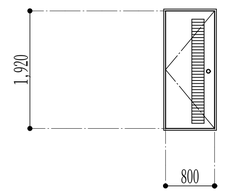
◆凡例

- 番号D 記号　既存撤去建具
- 番号R 記号　既存補修建具
- 番号N 記号　既存更新建具
- 番号 記号　新設建具

特記事項		株式会社 美建設計 BIKEN	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED ■ DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) / ITEMS ■ 建具案内図（既存） / DATE ■ / SCALE ■ A1:1/150, A3:1/300 / NO ■ A－037

符号・数量	1D AD 撤去 2	2D AD 撤去 1	3D AD 撤去 1	4D AD 1 撤去 4R AD 1	5D AD 3 撤去 6R AD 5 7R AD 1
姿図					
取付場所	1階テナントエントランス	1階テナントエントランス	1階オフィス	1階　テナント6・7	1階テナント・控室・オフィス
型式	両引き分框自動ドア	両引き分框ハンガードア	ＦＩＸスクリーン・片引框自動ドア	欄間両袖FIX・欄間固定ガラリ付両開き框ドア	欄間排煙外倒し付片開き框ドア
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装
見込	１００	１００	１００	１００	１００
ガラス	PWHt６．８mm	PWHt６．８mm	PWHt６．８mm	FLt５．０mm	PWHt６．８mm
金物	エンジン装置・エンジンドア用錠	引き手・引き戸錠	エンジン装置・エンジンドア用錠	ドアクローザー・レバーハンドル錠	ドアクローザー・レバーハンドル錠
備考					排煙オペレーター装置

符号・数量	8R AD 1	9D AD 撤去 1	10R AD 2	11R AD 1	12D AD 撤去 1
姿図					
取付場所	１階　飲食店Ｂ	１階レストラン	1階レストラン	1階レストラン厨房	２階多目的ホール
型式	片引き面付ハンガー框戸（手動開閉）	欄間ＦＩＸ付引分け框自動ドア	欄間ＦＩＸ付両開き框ドア	欄間ＦＩＸ付両開き框ドア	引分け框自動ドア
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装
見込	１００	１００	１００	１００	１００
ガラス	FLt５．０mm	PWHt６．８mm	FLt５．０mm	FLt５．０mm	PWHt６．８mm
金物	引き手・引き戸錠	エンジン装置・エンジンドア用錠	ドアクローザー・レバーハンドル錠	ドアクローザー・レバーハンドル錠	エンジン装置・エンジンドア用錠
備考					

符号・数量	13D AD 1	⊖	⊖	1D SD 1D SD 1D'は開き勝手が逆 撤去 2	2D SD 2D SD 2D'は開き勝手が逆 撤去 2
姿図					
取付場所	２階多目的ホール			別棟　海水汲み上げ施設	別棟　海水汲み上げ施設
型式	片開きドア			両開きガラリ付き親子ドア	片開きガラリ付きドア
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装			スチール製	スチール製
見込	１００			１００	１００
ガラス					
金物	ドアクローザー・レバーハンドル錠			ドアクローザー・握り玉・円筒錠	ドアクローザー・握り玉・円筒錠
備考					

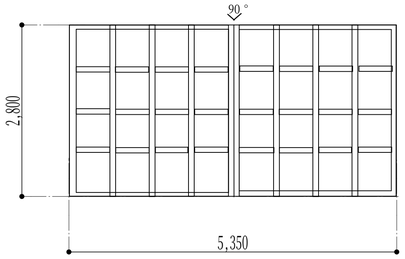
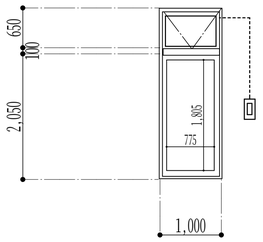
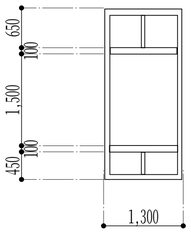
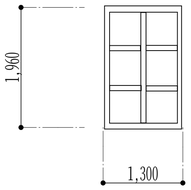
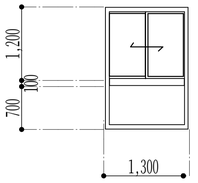
略号	
WD	木製扉
WW	木製窓
WG	木製ガラリ
WF	木製枠
SD	鋼製扉
SW	鋼製窓
SG	鋼製ガラリ
SS	鋼製シャッター
SF	鋼製枠
SP	鋼製パーティション
AD	アルミ製扉
AW	アルミ製窓
AG	アルミ製ガラリ
AS	アルミ製シャッター
AF	アルミ製枠
PD	ペット専用ドア
GAD	車庫　アルミ製扉
GAW	車庫　アルミ製窓
GSS	車庫　鋼製シャッター
SSD	ステンレス製扉
SSW	ステンレス製窓
SSG	ステンレス製ガラリ
SSF	ステンレス製枠
GD	ガラス戸
TD	強化ガラス扉
LSD	軽量鋼製扉
F	襖
FD	戸襖
SJ	障子
PG	合成樹脂製ガラリ
BT	防煙垂壁
TB	トイレブース
SWD	自由扉
TP	トップライト
P	磨ガラス
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
FWH	網入型板ガラス
FWL	線入型板ガラス
PWH	網入磨ガラス
PWL	線入磨ガラス
熱吸	熱線吸収ガラス
熱反	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
HT	住宅用強化ガラス
GB	ガラスブロック
ST	ステンレス丁番
PH	ピボットヒンジ
FH	フロアヒンジ
FO	フランス落とし
DC	ドアチェック
LH	レバーハンドル
DH	ドアハンドル
CH	ケースハンドル
PP	引手押板
OP	オペレーター

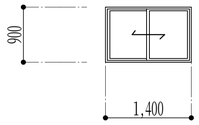
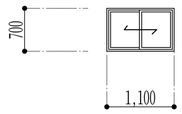
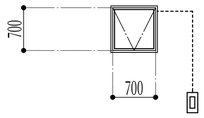
特記事項
※ アルミ額縁取付アングル、アルミ付枠、アルミ水切りを必要に応じて設置。

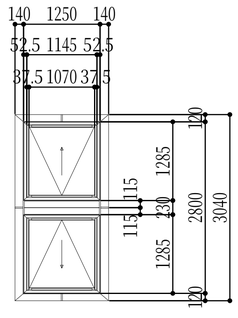
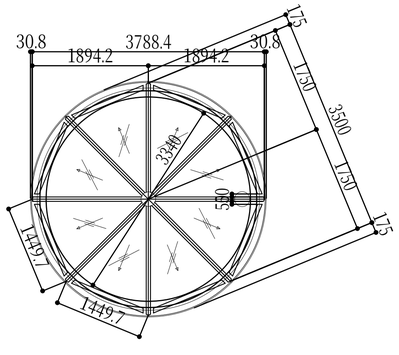
特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
千葉県館山市北条1355−45　FAX. 0470−22−3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1−2310−9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 建具表（AD・SD）（既存）
DATE ■
SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100
NO ■ A−038

符号・数量	1D AW 2	1R AW 3	2D AW 10	2R AW 1	3R AW 9	4R AW 11	5R AW 1
姿図							
取付場所	1階テナントエントランス・飲食店B・オフィス		1階テナント		1階レストラン	2階　多目的ホール	2階倉庫
型式	FIXスクリーン		欄間排煙外倒し付FIX		FIX3段窓	FIX窓	引違い・FIX段窓
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装		アルミ　アクリル焼付塗装		アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装
見込	100		100		100	100	100
ガラス	PWHt6．8mm		PWHt6．8mm		FLt5．0mm	FLt5．0mm	FLt5．0mm
金物			排煙ハンドルオペレーター装置				稼働網戸
備考							

符号・数量	6R AW 1	7R AW 1	8R AW 8	⊖	⊖
姿図					
取付場所	2階　倉庫	2階　倉庫	2階　多目的ホール		
型式	引違い窓	引違い窓	排煙外倒し窓		
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装		
見込	100	100	100		
ガラス	PWHt6．8mm	PWHt6．8mm	PWHt6．8mm		
金物	可動網戸	可動網戸	排煙ハンドルオペレーター装置		
備考					

符号・数量	1D FIX 6	2D FIX 1	⊖	⊖	⊖
姿図					
取付場所	1階　中央上部屋根	2階　多目的ホール			
型式	排煙突出窓付両流れトップライト	八角錐FIXトップライト			
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装			
見込	100	100			
ガラス	複層ガラスFL6+A6+PWHt6．8mm	複層ガラスFL6+A6+PWHt6．8mm			
金物	排煙オペレーター装置	排煙オペレーター装置			
備考					

略号	
WD	木製扉
WW	木製窓
WG	木製ガラリ
WF	木製枠
SD	鋼製扉
SW	鋼製窓
SG	鋼製ガラリ
SS	鋼製シャッター
SF	鋼製枠
SP	鋼製パーティション
AD	アルミ製扉
AW	アルミ製窓
AG	アルミ製ガラリ
AS	アルミ製シャッター
AF	アルミ製枠
PD	ペット専用ドア
GAD	車庫　アルミ製扉
GAW	車庫　アルミ製窓
GSS	車庫　鋼製シャッター
SSD	ステンレス製扉
SSW	ステンレス製窓
SSG	ステンレス製ガラリ
SSF	ステンレス製枠
GD	ガラス戸
TD	強化ガラス扉
LSD	軽量鋼製扉
F	襖
FD	戸襖
SJ	障子
PG	合成樹脂製ガラリ
BT	防煙垂壁
TB	トイレブース
SWD	自由扉
TP	トップライト
P	磨ガラス
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
FWH	網入型板ガラス
FWL	線入型板ガラス
PWH	網入磨ガラス
PWL	線入磨ガラス
熱吸	熱線吸収ガラス
熱反	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
HT	住宅用強化ガラス
GB	ガラスブロック
ST	ステンレス丁番
PH	ピボットヒンジ
FH	フロアヒンジ
FO	フランス落とし
DC	ドアチェック
LH	レバーハンドル
DH	ドアハンドル
CH	ケースハンドル
PP	引手押板
OP	オペレーター

特記事項

※ アルミ額縁取付アングル、アルミ付枠、アルミ水切りを必要に応じて設置。

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
千葉県館山市北条1355−45　FAX. 0470−22−3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1−2310−9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

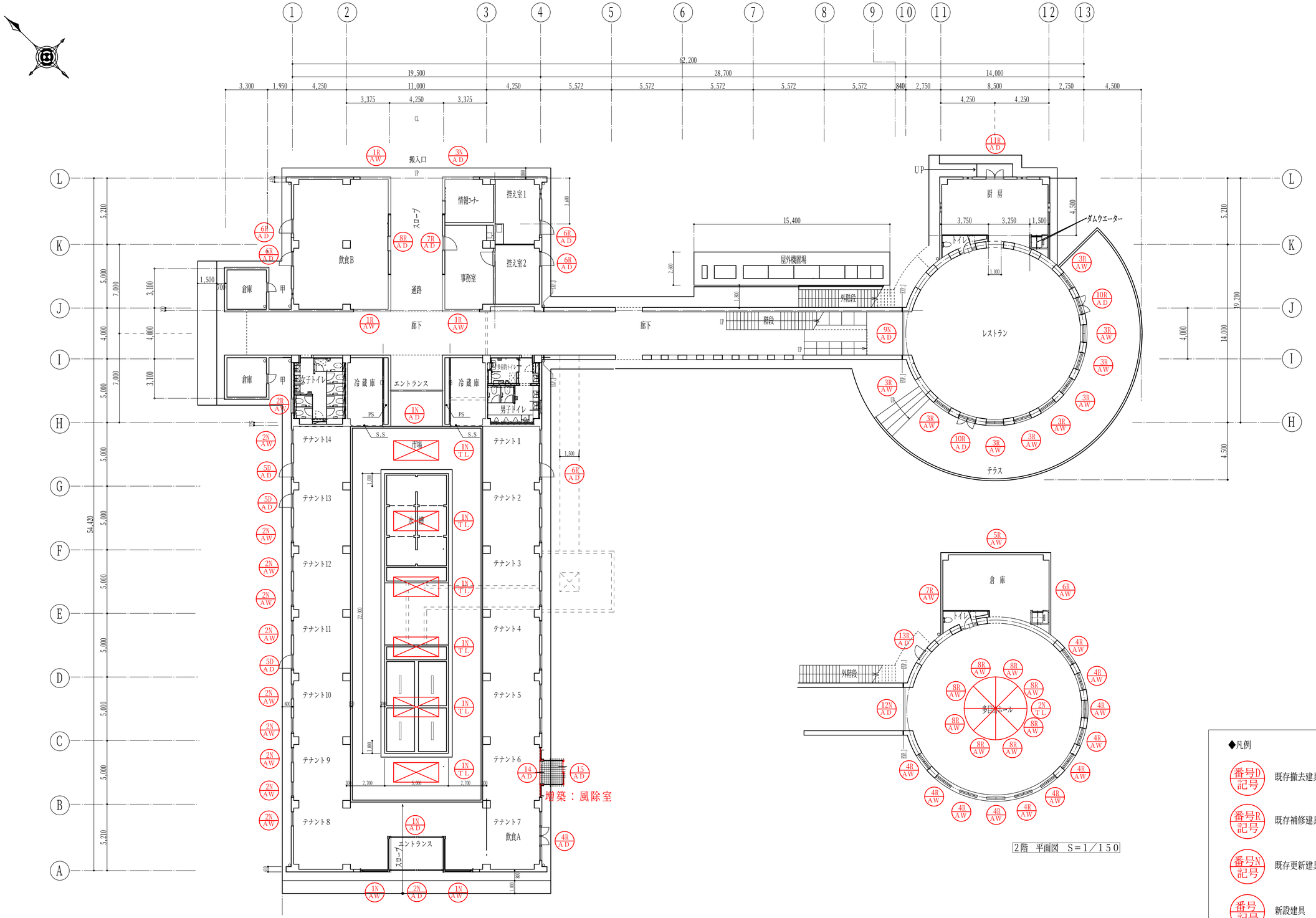
PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)

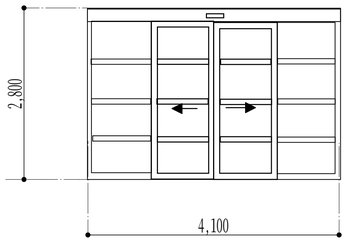
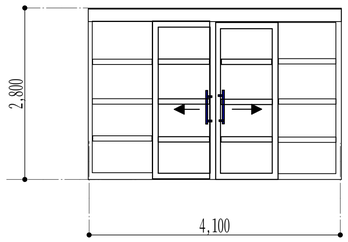
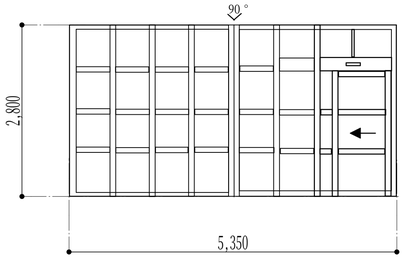
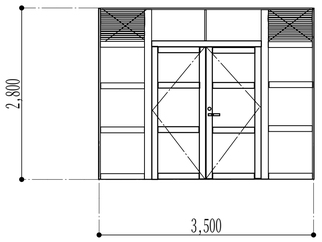
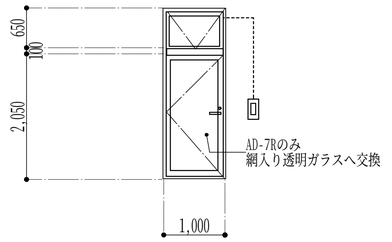
ITEMS ■ 建具表（AW）（既存）

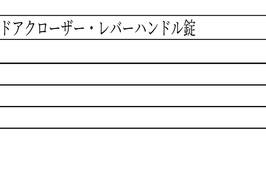
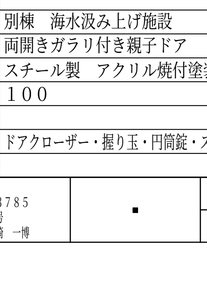
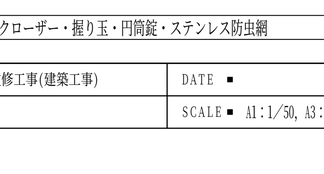
DATE ■

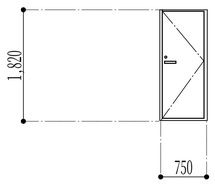
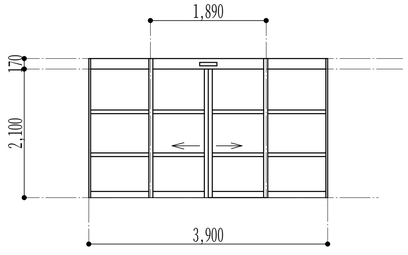
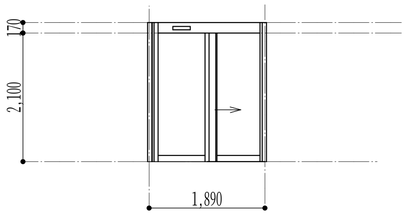
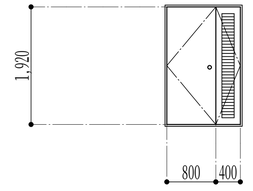
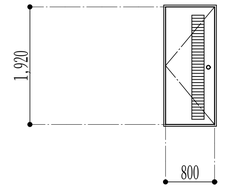
SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100

NO■ A−039


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
62,200
19,500
28,700
14,000
3,300
1,950
4,250
11,000
4,250
5,572
5,572
5,572
5,572
5,572
840
2,750
8,500
2,750
4,500
3,375
4,250
3,375
4,250
4,250
搬入口
UP
情報ｺｰﾅｰ
控え室1
控え室2
飲食B
スロープ
事務室
通路
倉庫
甲
廊下
廊下
屋外機置場
15,400
1,800
外階段
階段
厨 房
ダムウエーター
トイレ
レストラン
テラス
女子トイレ
冷 蔵 庫
エントランス
冷 蔵 庫
多目的トイレ
男子トイレ
PS
S.S
市場
テナント14
テナント13
テナント12
テナント11
テナント10
テナント9
テナント8
テナント1
テナント2
テナント3
テナント4
テナント5
テナント6
テナント7
飲食A
スロープ
エントランス
増築：風除室
L
K
J
I
H
G
F
E
D
C
B
A
5,210
5,000
7,000
3,100
4,000
4,800
54,420
22,000
2,700
5,000
2,700
1R AW
3N AD
6R AD
8R AD
7R AD
6R AD
6R AD
1R AW
1R AW
2R AW
1N AD
2N AW
5D AD
1N TL
6R AD
2N AW
1N TL
2N AW
1N TL
2N AW
1N TL
2N AW
1N TL
2N AW
1N TL
14 AD
15 AD
1N AD
4R AD
1N AW
2N AD
1N AW
11R AD
9N AD
3R AW
10R AD
10R AD
3R AW
3R AW
3R AW

符号・数量	1N AD 更新 2	2N AD 更新 1	3N AD 更新 1	4R AD 1	5N AD 3 更新	6R AD 5	7R AD 1
姿図				両面サッシ・ガラスシール打ち替え 	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 		
取付場所	1階テナントエントランス	1階テナントエントランス	1階オフィス	1階　テナント6・7	1階テナント・控室・オフィス		
型式	両引き分框自動ドア	両引き分框ハンガードア	ＦＩＸスクリーン・片引框自動ドア	欄間両袖FIX・欄間固定ガラリ付両開き框ドア	欄間排煙外倒し付片開き框ドア		
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装		
見込	１００	１００	１００	１００	１００		
ガラス	ＰＷＨｔ６．８mm	ＰＷＨｔ６．８mm	ＰＷＨｔ６．８mm	ＦＬｔ５．０mm	ＰＷＨｔ６．８mm		
金物	エンジン装置・エンジンドア用錠	引き手・引き戸錠	エンジン装置・エンジンドア用錠	ドアクローザー・レバーハンドル錠	ドアクローザー・レバーハンドル錠		
備考					排煙オペレーター装置		

符号・数量	8R AD 1	9N AD 更新 1	10R AD 2	11R AD 1	12N AD 更新 1
姿図	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 		両面サッシ・ガラスシール打ち替え 	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 	
取付場所	1階　飲食店Ｂ	1階レストラン	1階レストラン	1階レストラン厨房	２階多目的ホール
型式	片引き面付ハンガー框戸（手動開閉）	欄間ＦＩＸ付引分け框自動ドア	欄間ＦＩＸ付両開き框ドア	欄間ＦＩＸ付両開き框ドア	引分け框自動ドア
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装
見込	１００	１００	１００	１００	１００
ガラス	ＦＬｔ５．０mm	ＰＷＨｔ６．８mm	ＦＬｔ５．０mm	ＦＬｔ５．０mm	ＰＷＨｔ６．８mm
金物	引き手・引き戸錠	エンジン装置・エンジンドア用錠	ドアクローザー・レバーハンドル錠	ドアクローザー・レバーハンドル錠	エンジン装置・エンジンドア用錠
備考					

符号・数量	13N AD 1	14 AD 新設 1	15 AD 新設 1	1N SD 1N' 1N'は開き勝手が逆 更新 2	2N SD 2N' 2N'は開き勝手が逆 更新 2
姿図	両面サッシシール打ち替え 建具調整（取手・鍵） 				
取付場所	２階多目的ホール	新設風除室	新設風除室	別棟　海水汲み上げ施設	別棟　海水汲み上げ施設
型式	片開きドア	両引分け自動ドア	片引き自動ドア	両開きガラリ付き親子ドア	片開きガラリ付きドア
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	スチール製　アクリル焼付塗装	スチール製　アクリル焼付塗装
見込	１００	１００	７０	１００	１００
ガラス		ＰＷＨｔ６．８mm	ＰＷＨｔ６．８mm		
金物	ドアクローザー・レバーハンドル錠	エンジン装置・エンジンドア用錠	エンジン装置・エンジンドア用錠	ドアクローザー・握り玉・円筒錠・ステンレス防虫網	ドアクローザー・握り玉・円筒錠・ステンレス防虫網
備考					

略号	
WD	木製扉
WW	木製窓
WG	木製ガラリ
WF	木製枠
SD	鋼製扉
SW	鋼製窓
SG	鋼製ガラリ
SS	鋼製シャッター
SF	鋼製枠
SP	鋼製パーティション
AD	アルミ製扉
AW	アルミ製窓
AG	アルミ製ガラリ
AS	アルミ製シャッター
AF	アルミ製枠
PD	ペット専用ドア
GAD	車庫　アルミ製扉
GAW	車庫　アルミ製窓
GSS	車庫　鋼製シャッター
SSD	ステンレス製扉
SSW	ステンレス製窓
SSG	ステンレス製ガラリ
SSF	ステンレス製枠
GD	ガラス戸
TD	強化ガラス扉
LSD	軽量鋼製扉
F	襖
FD	戸襖
SJ	障子
PG	合成樹脂製ガラリ
BT	防煙垂壁
TB	トイレブース
SWD	自由扉
TP	トップライト
P	磨ガラス
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
FWH	網入型板ガラス
FWL	線入型板ガラス
PWH	網入磨ガラス
PWL	線入磨ガラス
熱吸	熱線吸収ガラス
熱反	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
HT	住宅用強化ガラス
GB	ガラスブロック
ST	ステンレス丁番
PH	ピボットヒンジ
FH	フロアヒンジ
FO	フランス落とし
DC	ドアチェック
LH	レバーハンドル
DH	ドアハンドル
CH	ケースハンドル
PP	引手押板
OP	オペレーター

特記事項
※ アルミ額縁取付アングル、アルミ付枠、アルミ水切りを必要に応じて設置。

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
千葉県館山市北条1355−45　FAX. 0470−22−3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1−2310−9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

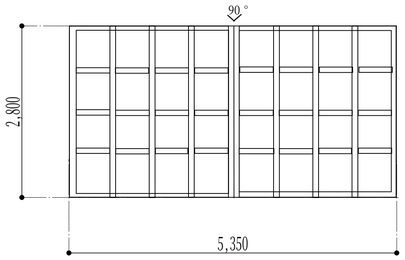
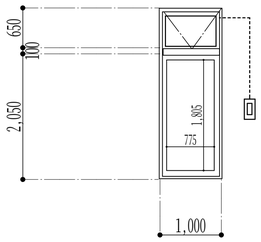
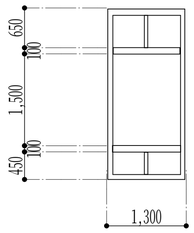
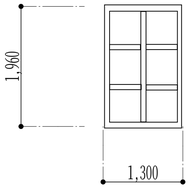
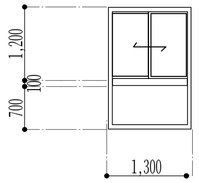
PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)

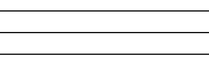
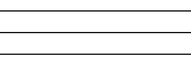
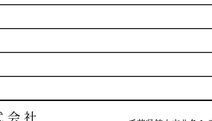
ITEMS ■ 建具表（AD・SD）（改修）

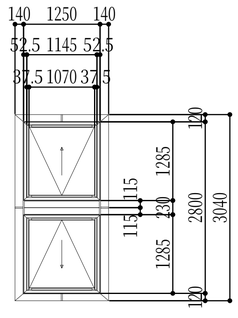
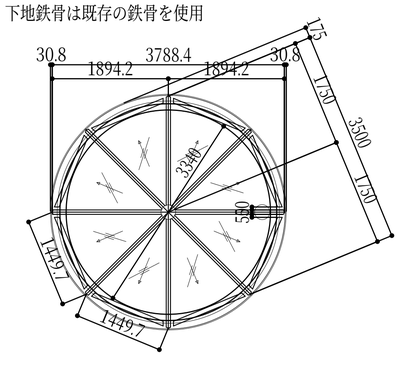
DATE ■

SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100

NO■ A−041

符号・数量	1N AW 2 更新	1R AW 3	2N AW 10 更新	2R AW 1	3R AW 9	4R AW 11	5R AW 1
姿図	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 		両面サッシ・ガラスシール打ち替え 		両面サッシ・ガラスシール打ち替え 	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 
取付場所	1階テナントエントランス・飲食店B・オフィス		1階テナント		1階レストラン	2階　多目的ホール	2階倉庫
型式	FIXスクリーン		欄間排煙外倒し付FIX		FIX3段窓	FIX窓	引違い・FIX段窓
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装		アルミ　アクリル焼付塗装		アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装
見込	100		100		100	100	100
ガラス	PWHt6．8mm		PWHt6．8mm		FLt5．0mm	FLt5．0mm	FLt5．0mm
金物			排煙ハンドルオペレーター装置				稼働網戸
備考							

符号・数量	6R AW 1	7R AW 1	8R AW 8	⊖	⊖
姿図	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 	両面サッシ・ガラスシール打ち替え 		
取付場所	2階　倉庫	2階　倉庫	2階　多目的ホール		
型式	引違い窓	引違い窓	排煙外倒し窓		
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装		
見込	100	100	100		
ガラス	PWHt6．8mm	PWHt6．8mm	PWHt6．8mm		
金物	可動網戸	可動網戸	排煙ハンドルオペレーター装置		
備考					

符号・数量	1N AW 更新 6	2N AW 更新 1	⊖	⊖	⊖
姿図		下地鉄骨は既存の鉄骨を使用 			
取付場所	1階　中央上部屋根	2階　多目的ホール			
型式	排煙突出窓付両流れトップライト	八角錐FIXトップライト			
材質・仕上	アルミ　アクリル焼付塗装	アルミ　アクリル焼付塗装			
見込	100	100			
ガラス	複層ガラスFL6+A6+PWHt6．8mm	複層ガラスFL6+A6+PWHt6．8mm			
金物	排煙オペレーター装置	排煙オペレーター装置			
備考					

略号	
WD	木製扉
WW	木製窓
WG	木製ガラリ
WF	木製枠
SD	鋼製扉
SW	鋼製窓
SG	鋼製ガラリ
SS	鋼製シャッター
SF	鋼製枠
SP	鋼製パーティション
AD	アルミ製扉
AW	アルミ製窓
AG	アルミ製ガラリ
AS	アルミ製シャッター
AF	アルミ製枠
PD	ペット専用ドア
GAD	車庫　アルミ製扉
GAW	車庫　アルミ製窓
GSS	車庫　鋼製シャッター
SSD	ステンレス製扉
SSW	ステンレス製窓
SSG	ステンレス製ガラリ
SSF	ステンレス製枠
GD	ガラス戸
TD	強化ガラス扉
LSD	軽量鋼製扉
F	襖
FD	戸襖
SJ	障子
PG	合成樹脂製ガラリ
BT	防煙垂壁
TB	トイレブース
SWD	自由扉
TP	トップライト
P	磨ガラス
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
FWH	網入型板ガラス
FWL	線入型板ガラス
PWH	網入磨ガラス
PWL	線入磨ガラス
熱吸	熱線吸収ガラス
熱反	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
HT	住宅用強化ガラス
GB	ガラスブロック
ST	ステンレス丁番
PH	ピボットヒンジ
FH	フロアヒンジ
FO	フランス落とし
DC	ドアチェック
LH	レバーハンドル
DH	ドアハンドル
CH	ケースハンドル
PP	引手押板
OP	オペレーター

特記事項

※ アルミ額縁取付アングル、アルミ付枠、アルミ水切りを必要に応じて設置。

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
千葉県館山市北条1355−45　FAX. 0470−22−3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1−2310−9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)

ITEMS ■ 建具表（AW）（改修）

DATE ■

SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100

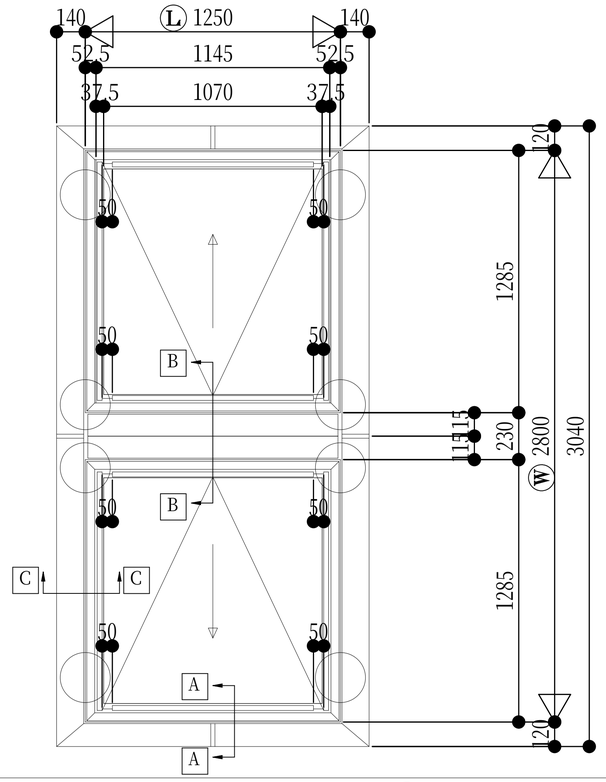
NO ■ A−042

姿 図 S＝1／15

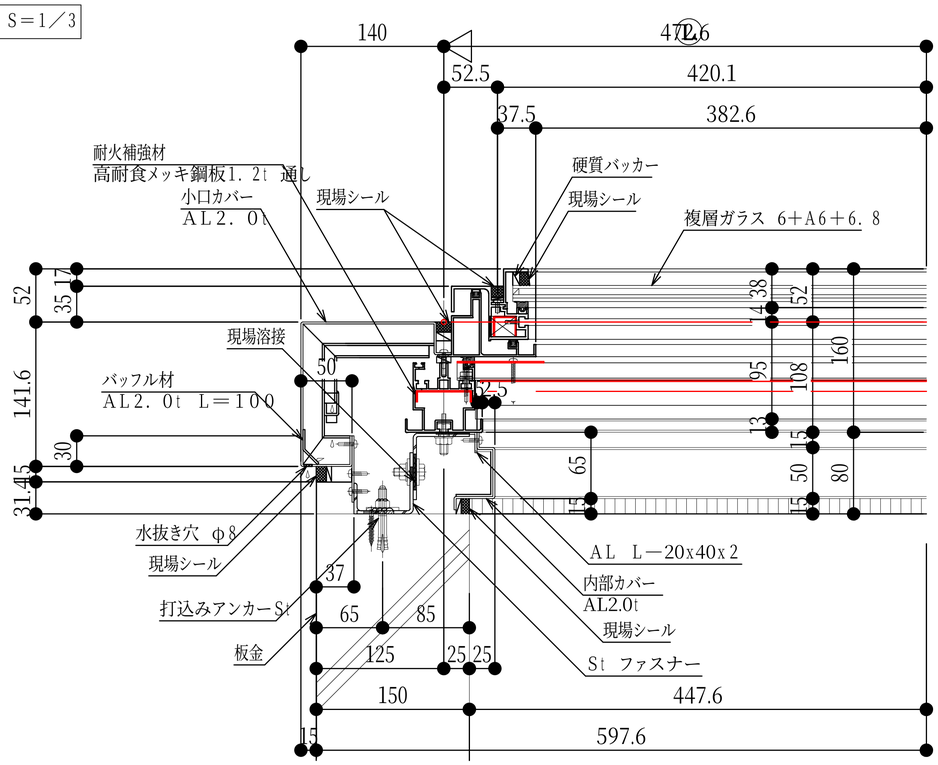
ファスナー取付位置

障子重量（ガラス含む）：63kg／窓

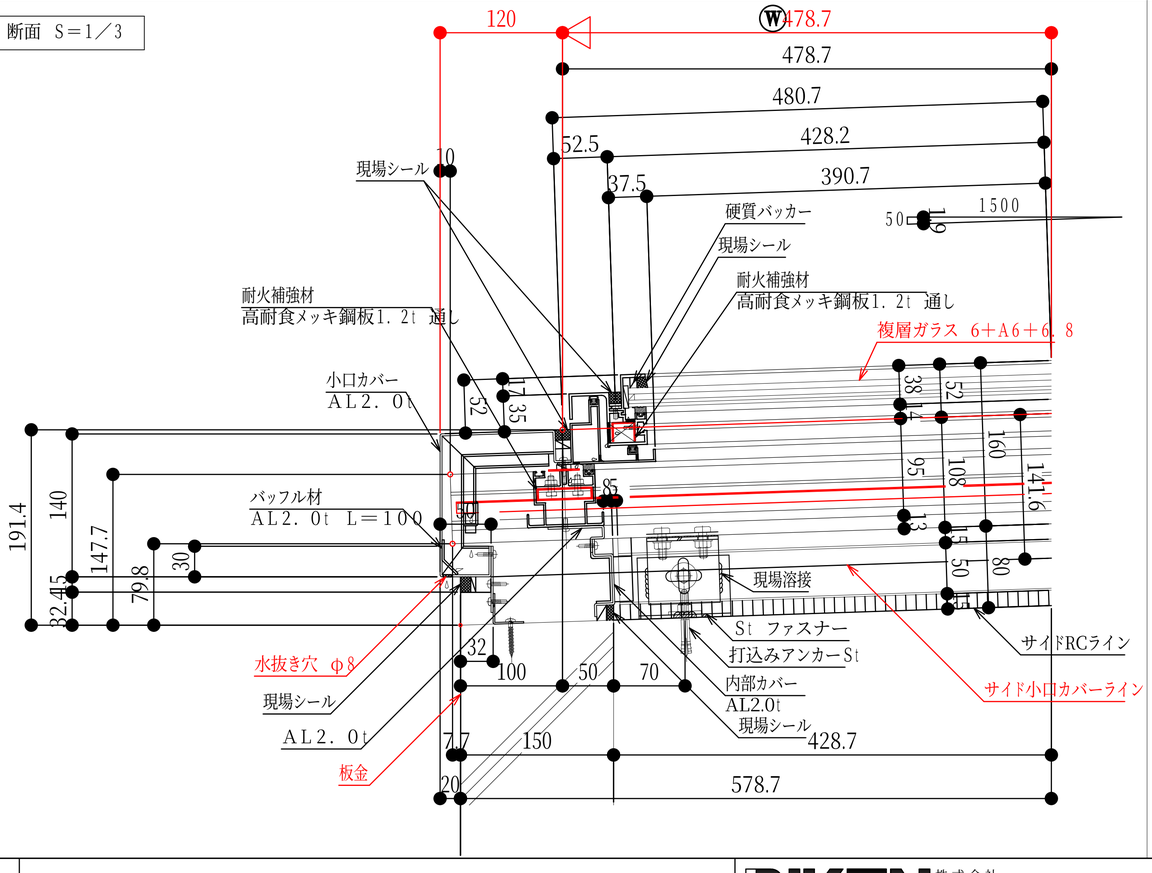
有効排煙面積：{1.07x1.1057}x2=2.366m²



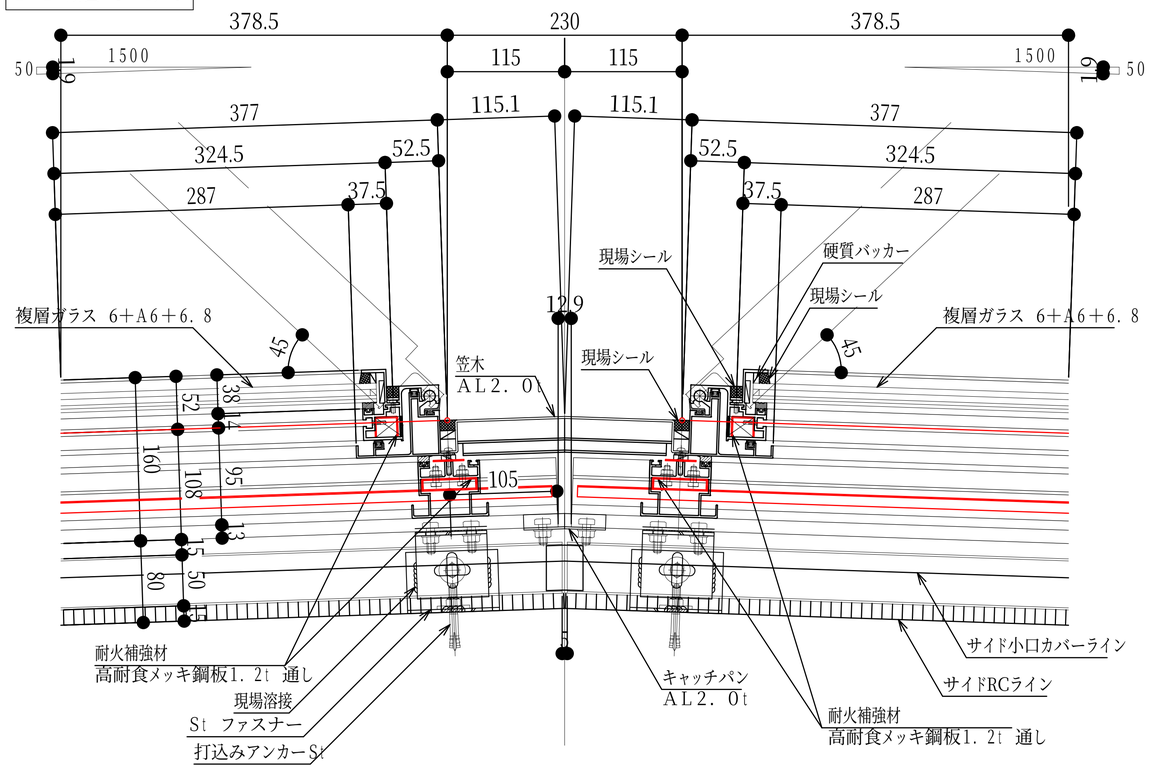
C～C 断面 S＝1／3



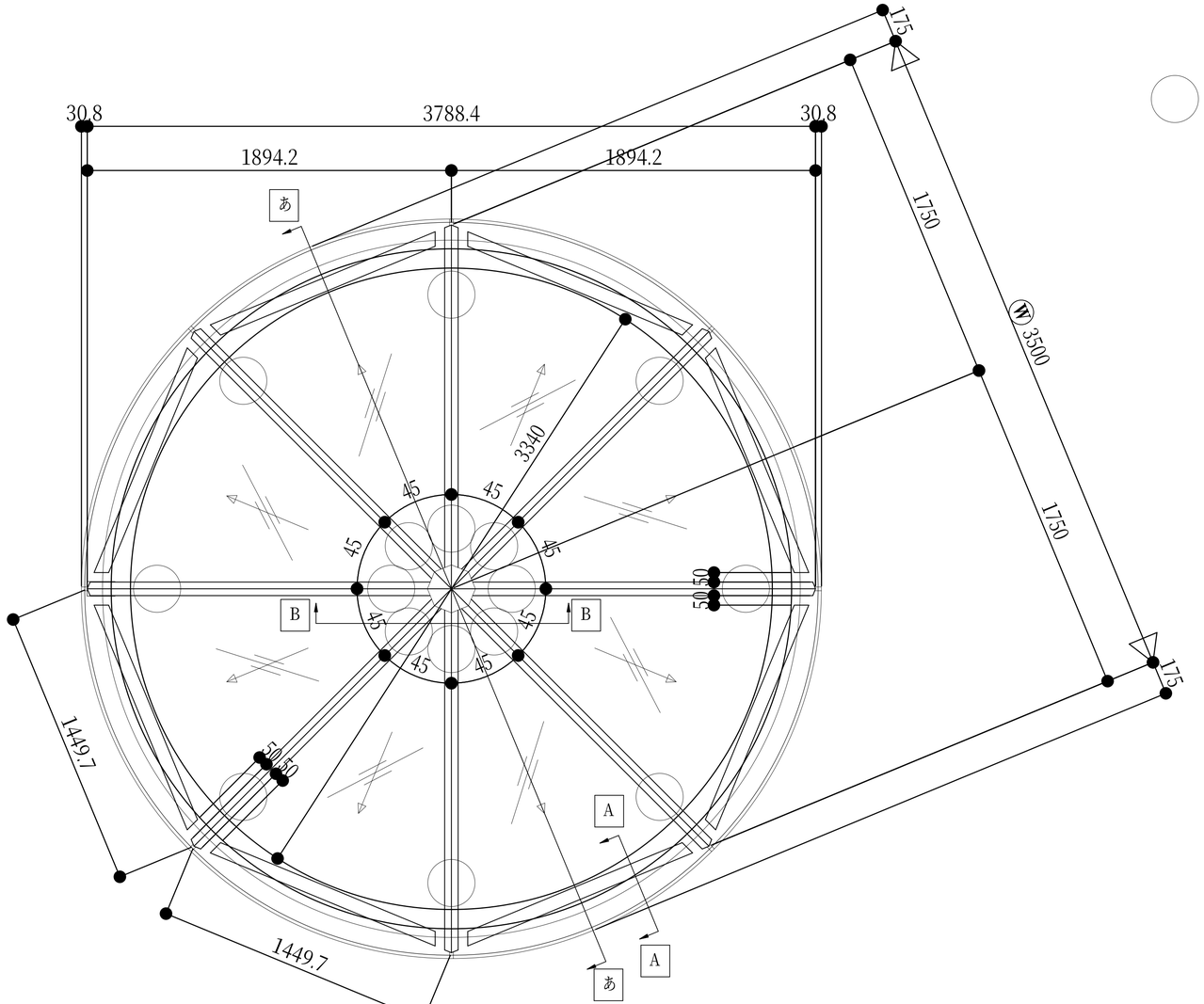
A～A 断面 S＝1／3



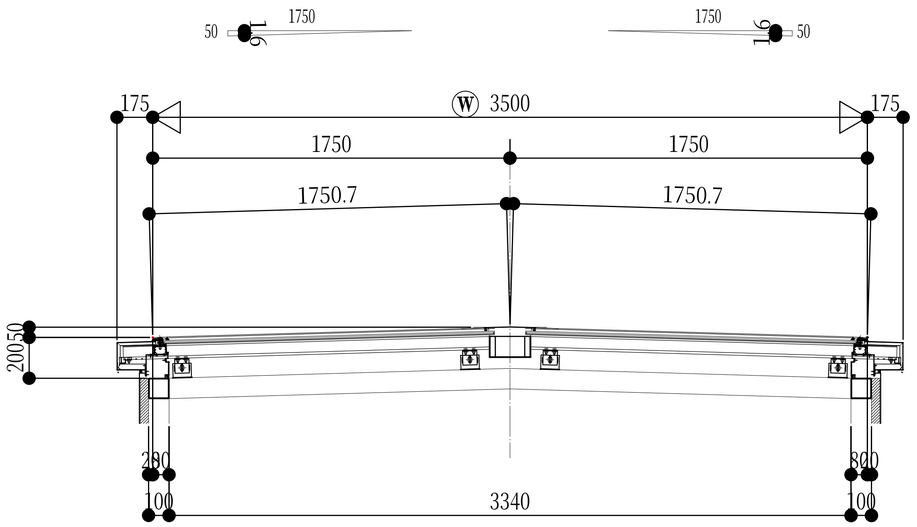
B～B 断面 S＝1／3



特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	千葉県館山市北条1355－45 FAX. 0470－22－3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ トップライト詳細図（TL1）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/15, A3：1/30	NO■ A－043



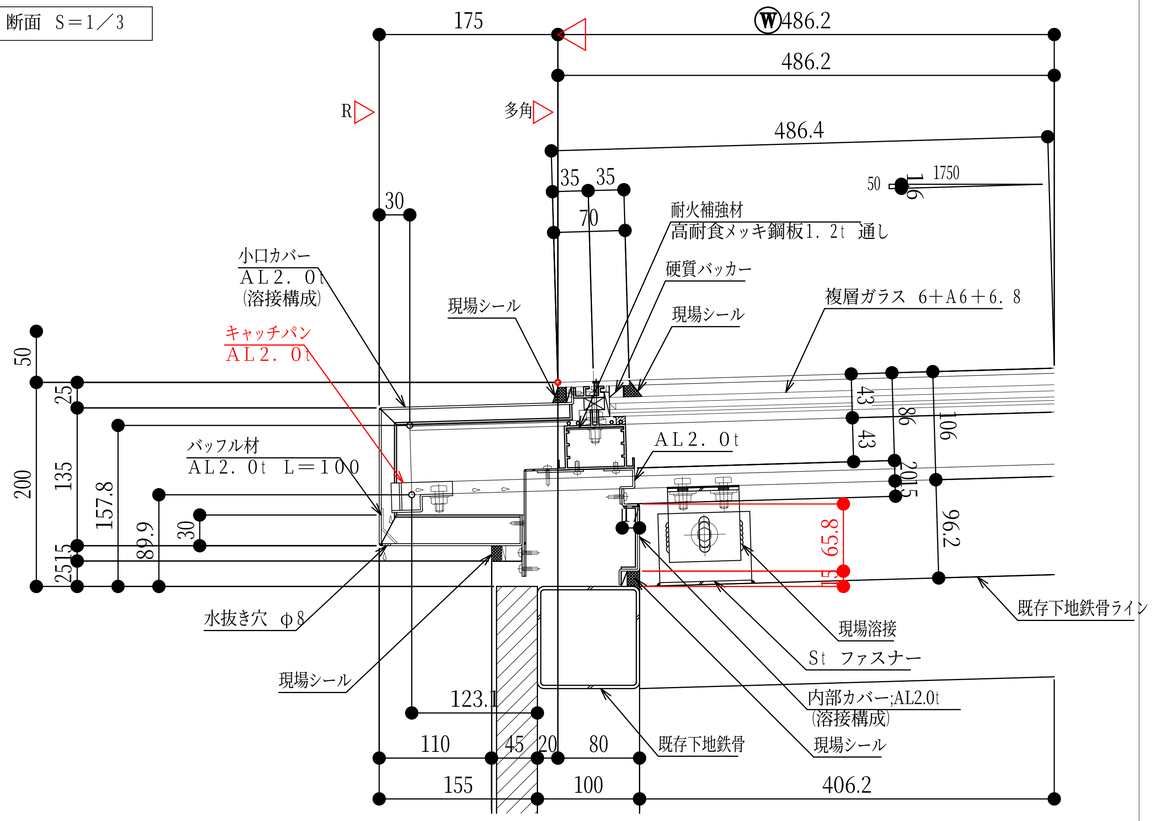
ファスナー取付位置



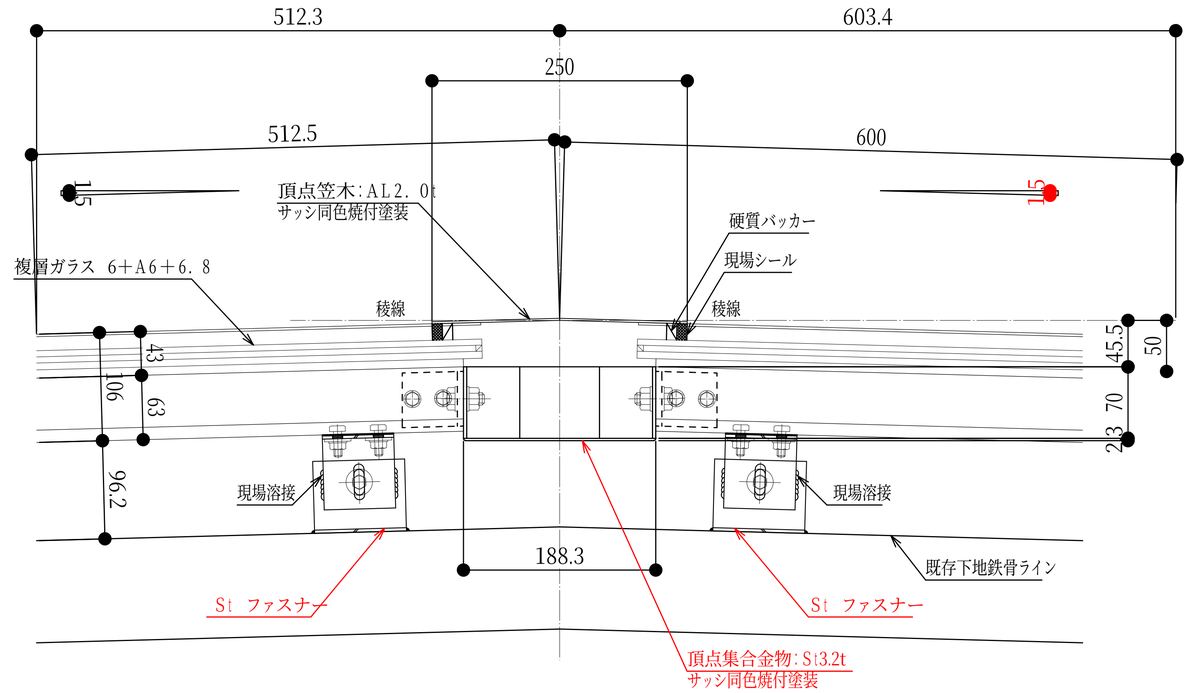
あーあ断面

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 一級建築士事務所	千葉県館山市北条1355−45 FAX. 0470−22−3785 千葉県知事登録 第1−2310−9001号 第246699号 岩崎 一博	■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ トップライト詳細図（TL2）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/15, A3：1/30	NO ■ A−044

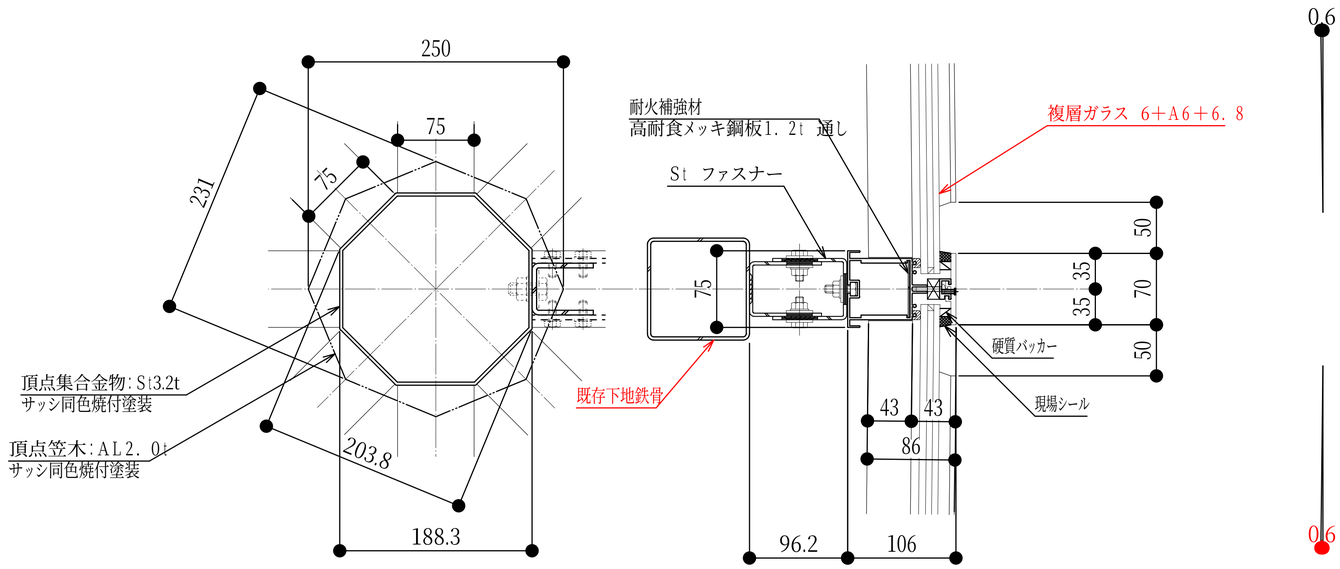
A～A 断面 S＝1／3



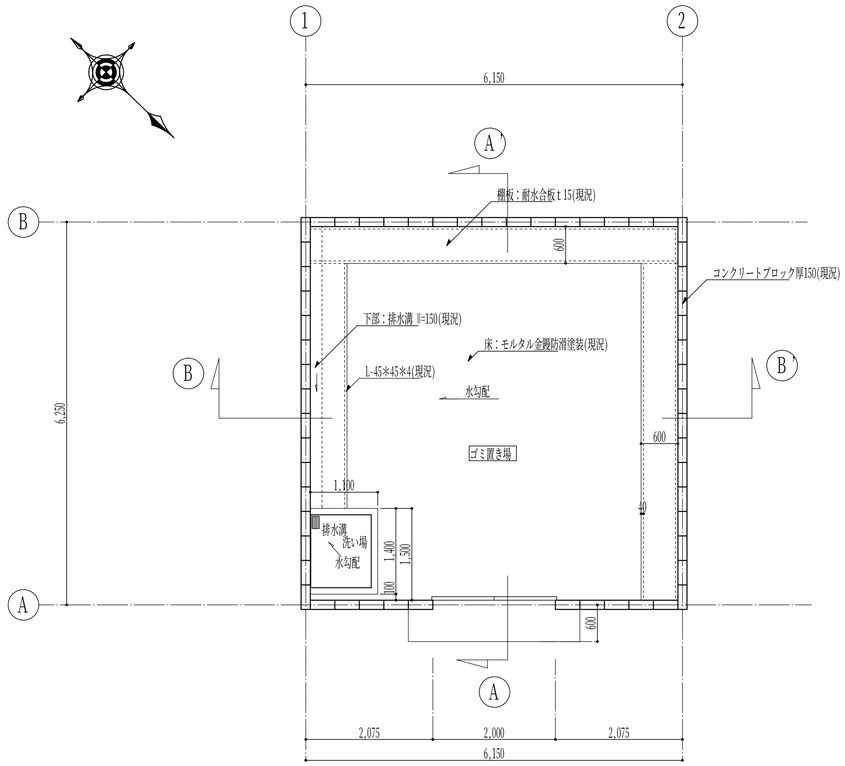
B～B 断面 S＝1／3



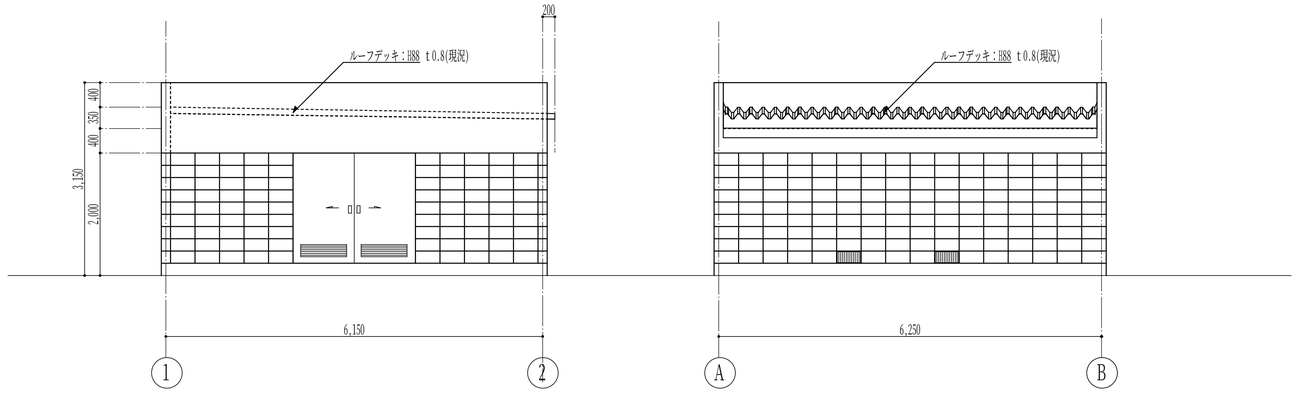
C～C 断面 S＝1／3



特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 千葉県館山市北条1355－45 FAX. 0470－22－3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ トップライト詳細図（TL1・2）	DATE ■ SCALE ■ A1:1/3, A3:1/6	NO■ A－045

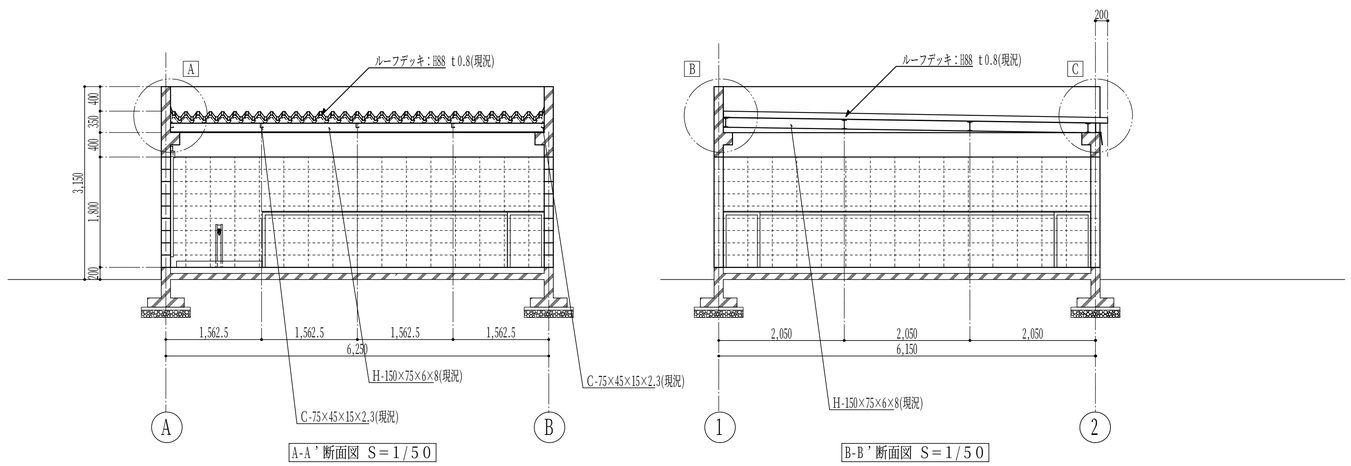


平面図　S＝1／50



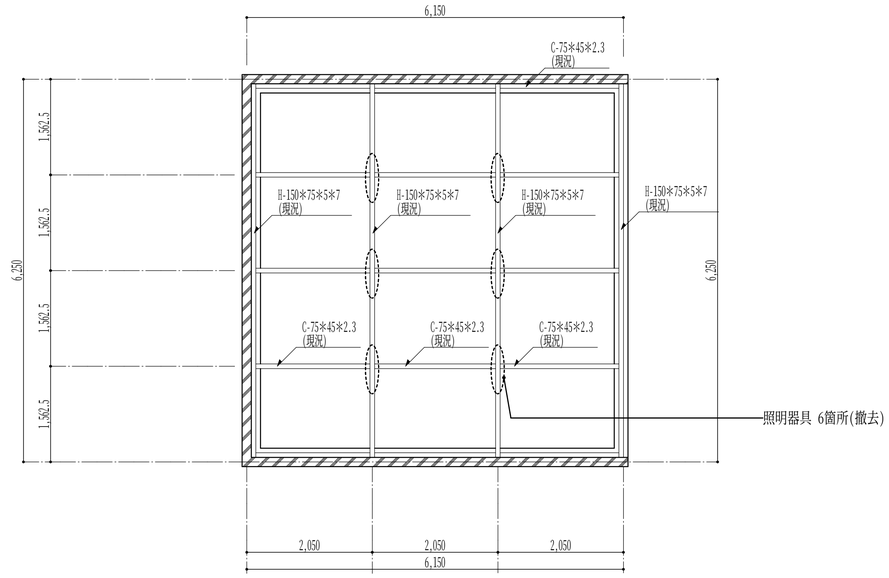
北立面図　S＝1／50

西立面図　S＝1／50

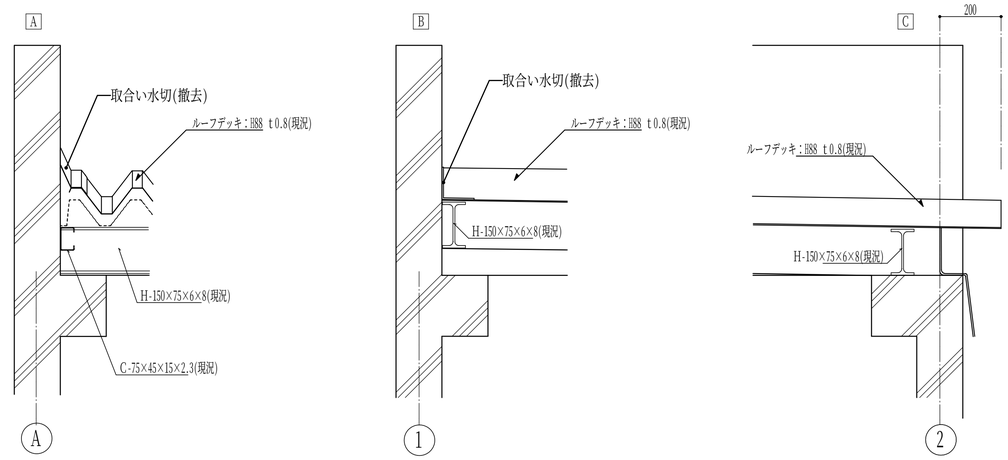


A-A'断面図　S＝1／50

B-B'断面図　S＝1／50

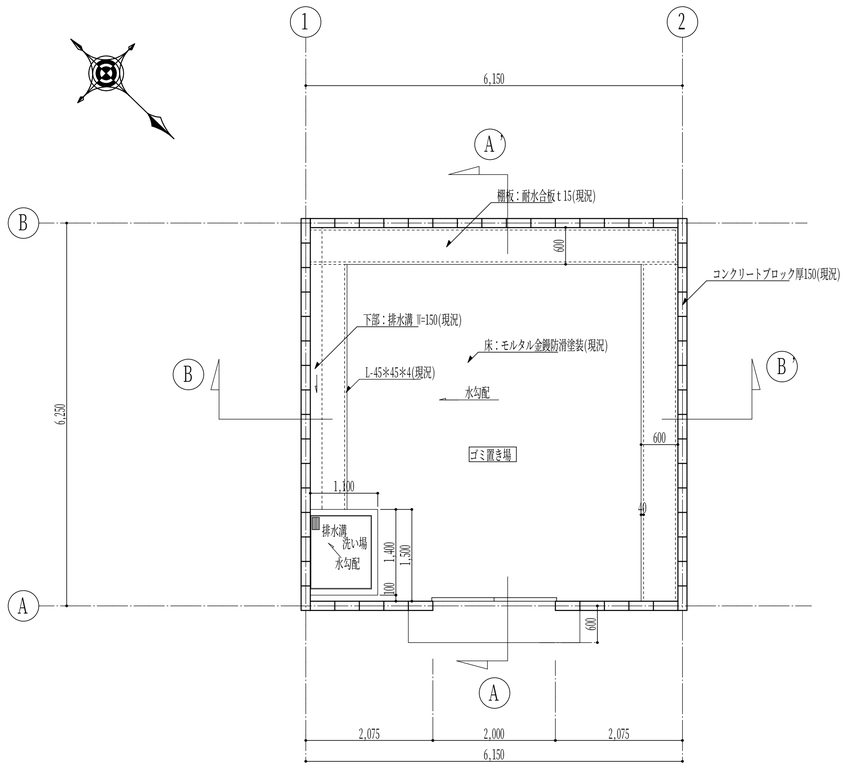


小屋伏図S＝1／50

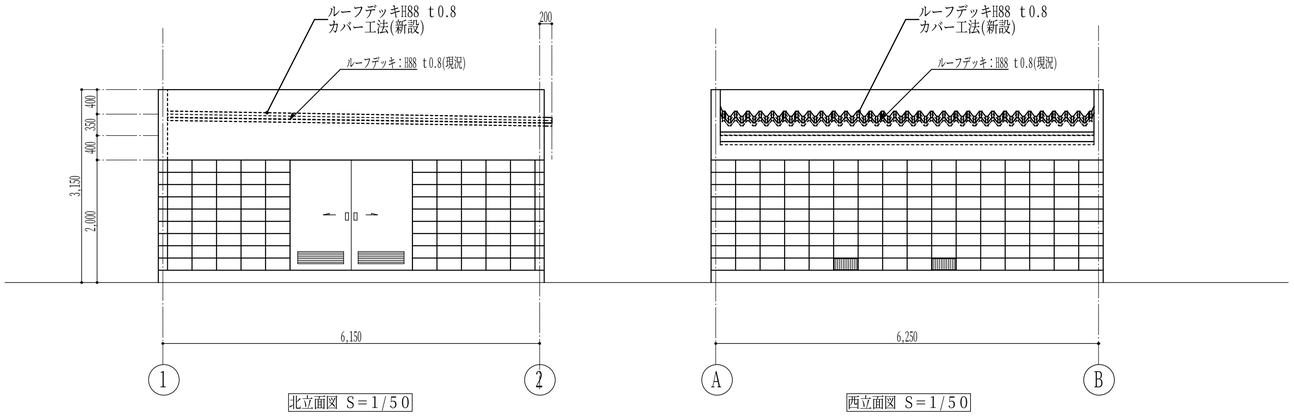


屋根部分詳細図　S＝1／10

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294−0045 千葉県館山市北条1355−45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1−2310−9001号 一級建築士大臣登録 第246699号	TEL. 0470−22−3764 FAX. 0470−22−3785 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ ゴミ置場　平面図・立面図・断面図・小屋伏図・詳細図（現況）	DATE ■ SCALE■ A1：1/50, A3：1/100 1/10, 1/20	NO■ A −046

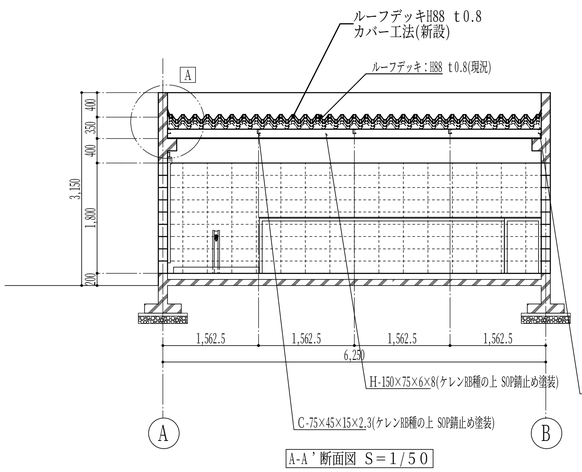


平面図 S＝1／50

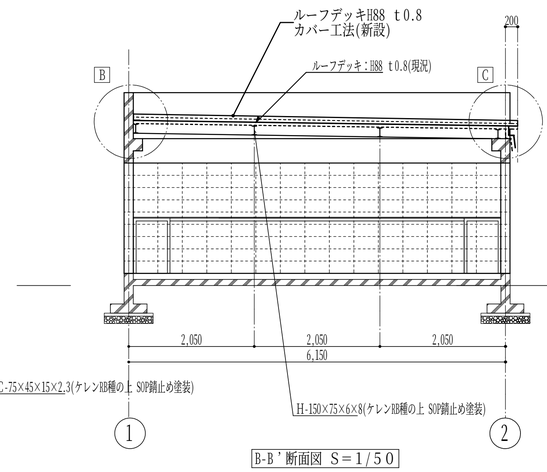


北立面図 S＝1/50

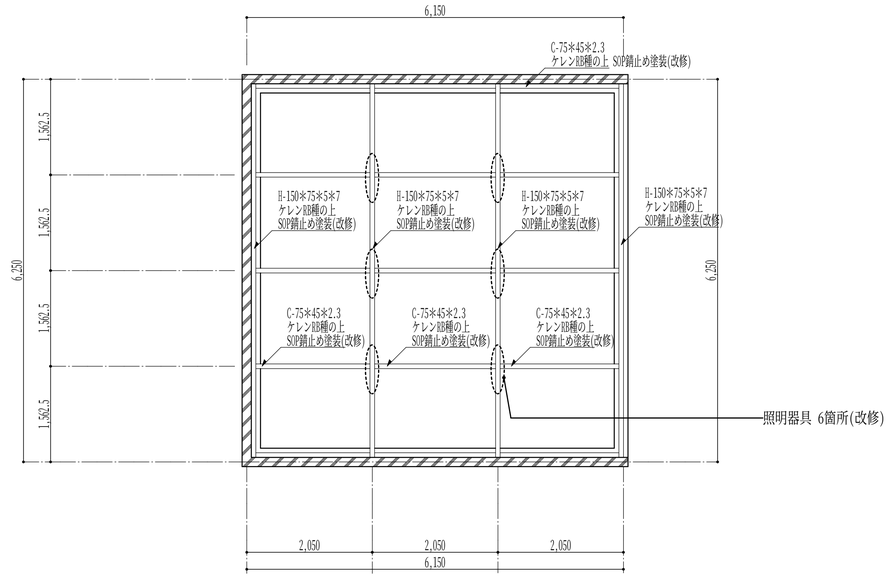
西立面図 S＝1/50



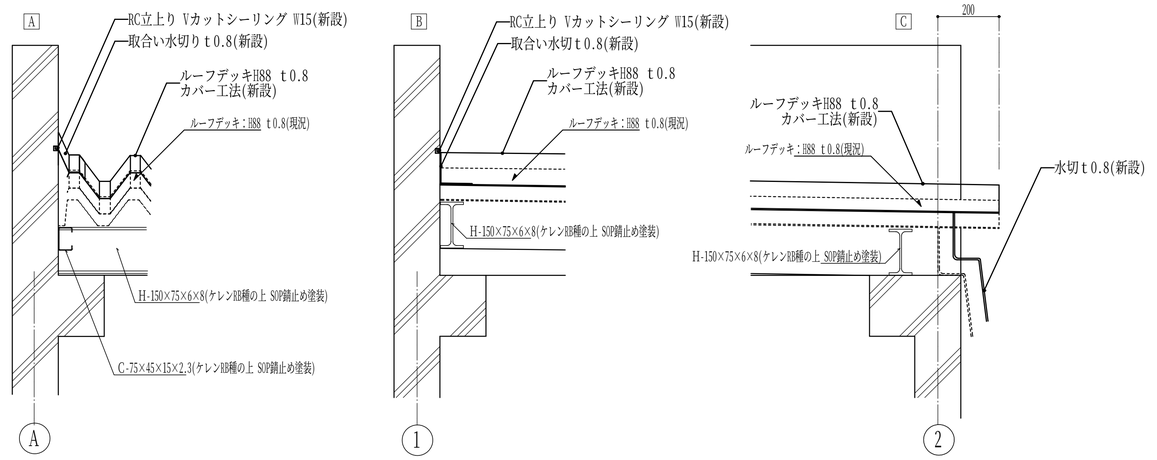
A-A'断面図 S＝1/50



B-B'断面図 S＝1/50

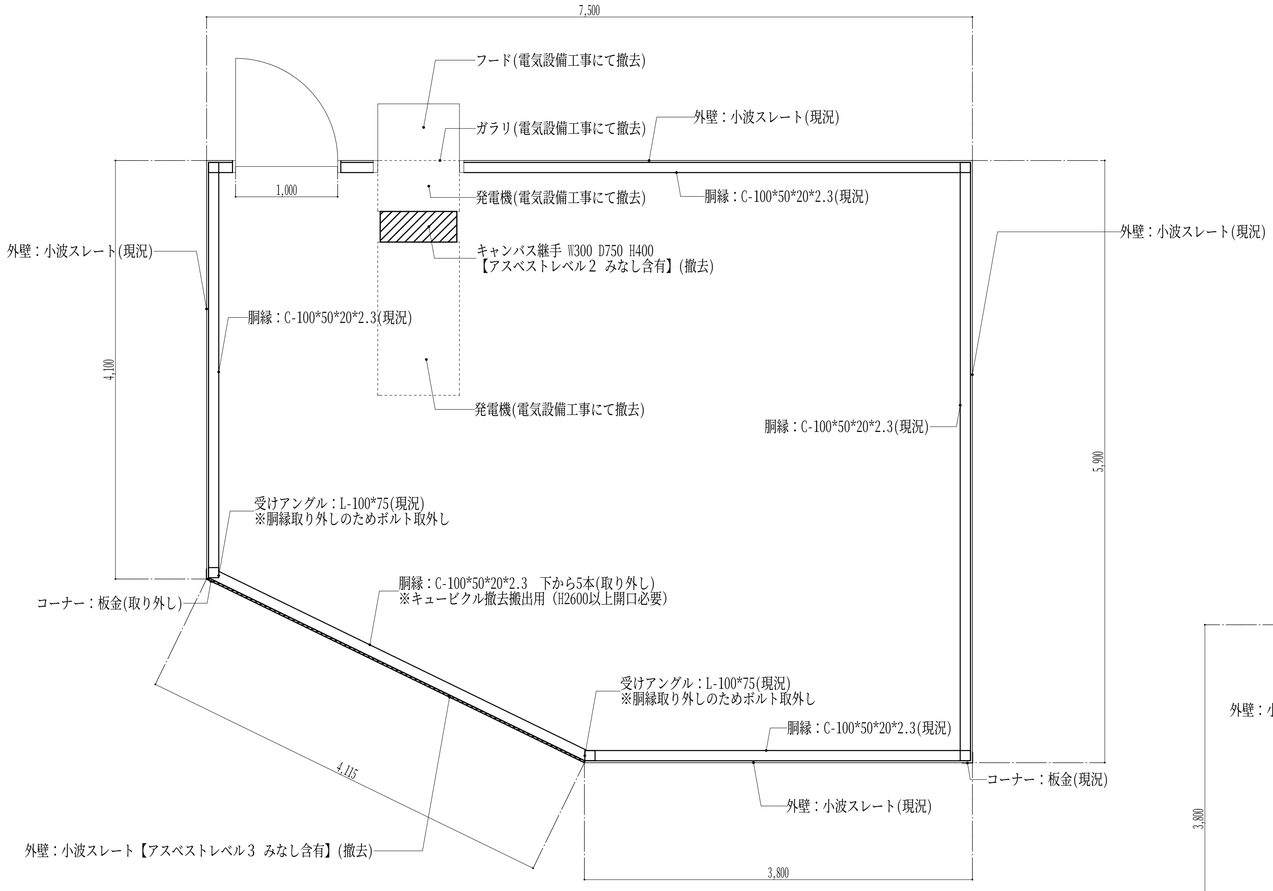


小屋伏図S＝1／50

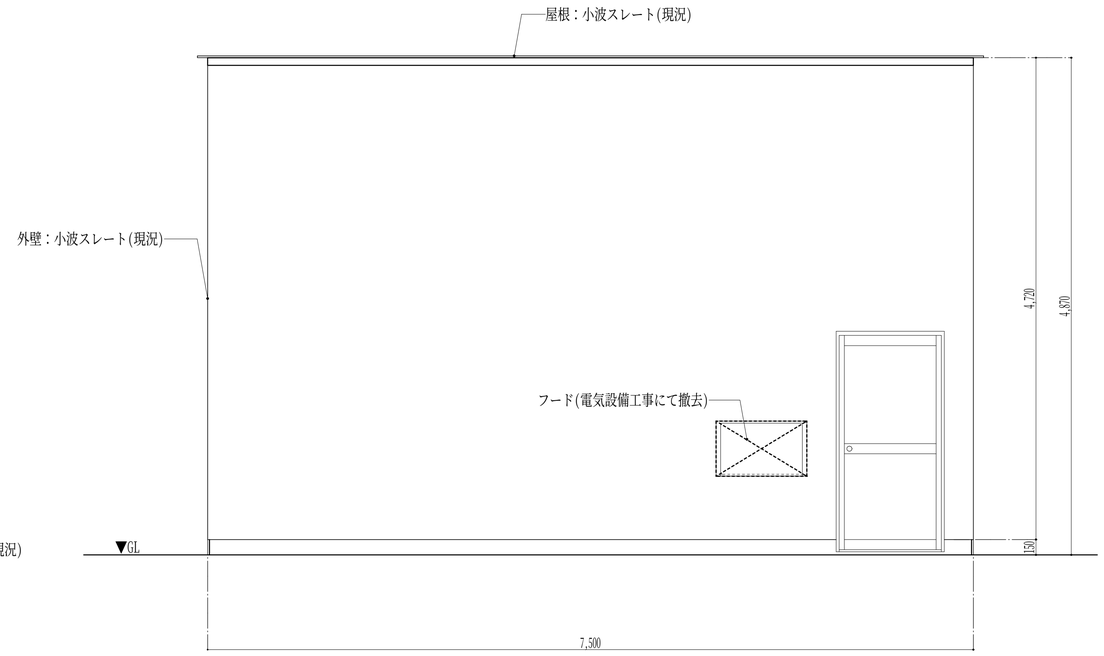


屋根部分詳細図 S＝1/10

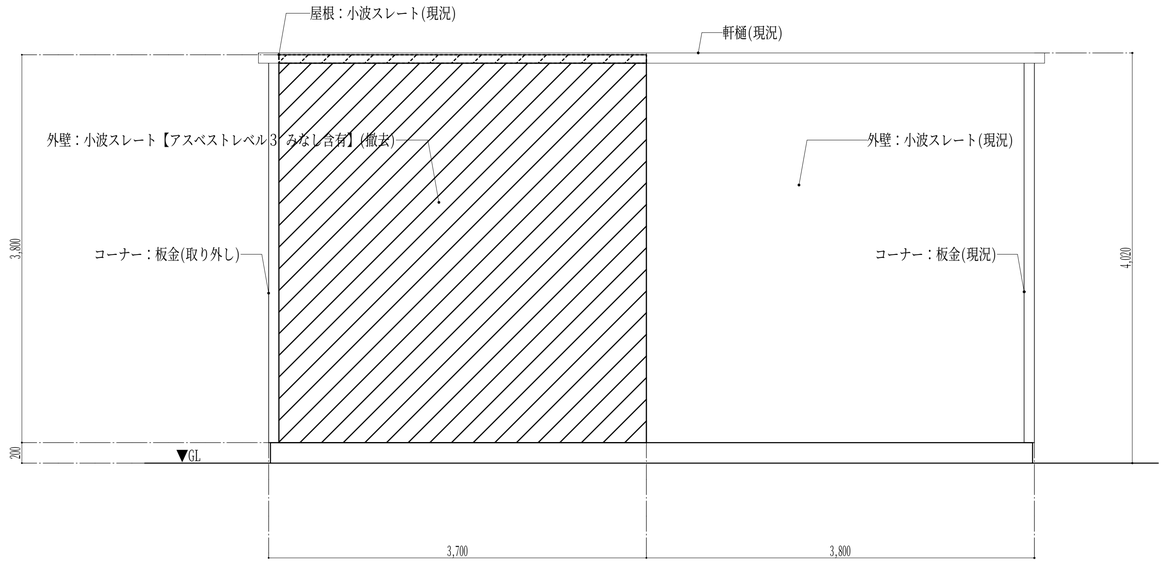
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ ゴミ置場 平面図・立面図・断面図・小屋伏図・詳細図（改修）
					DATE ■ SCALE■ A1：1/50, A3：1/100 1/10, 1/20
					NO■ A－047



平面図

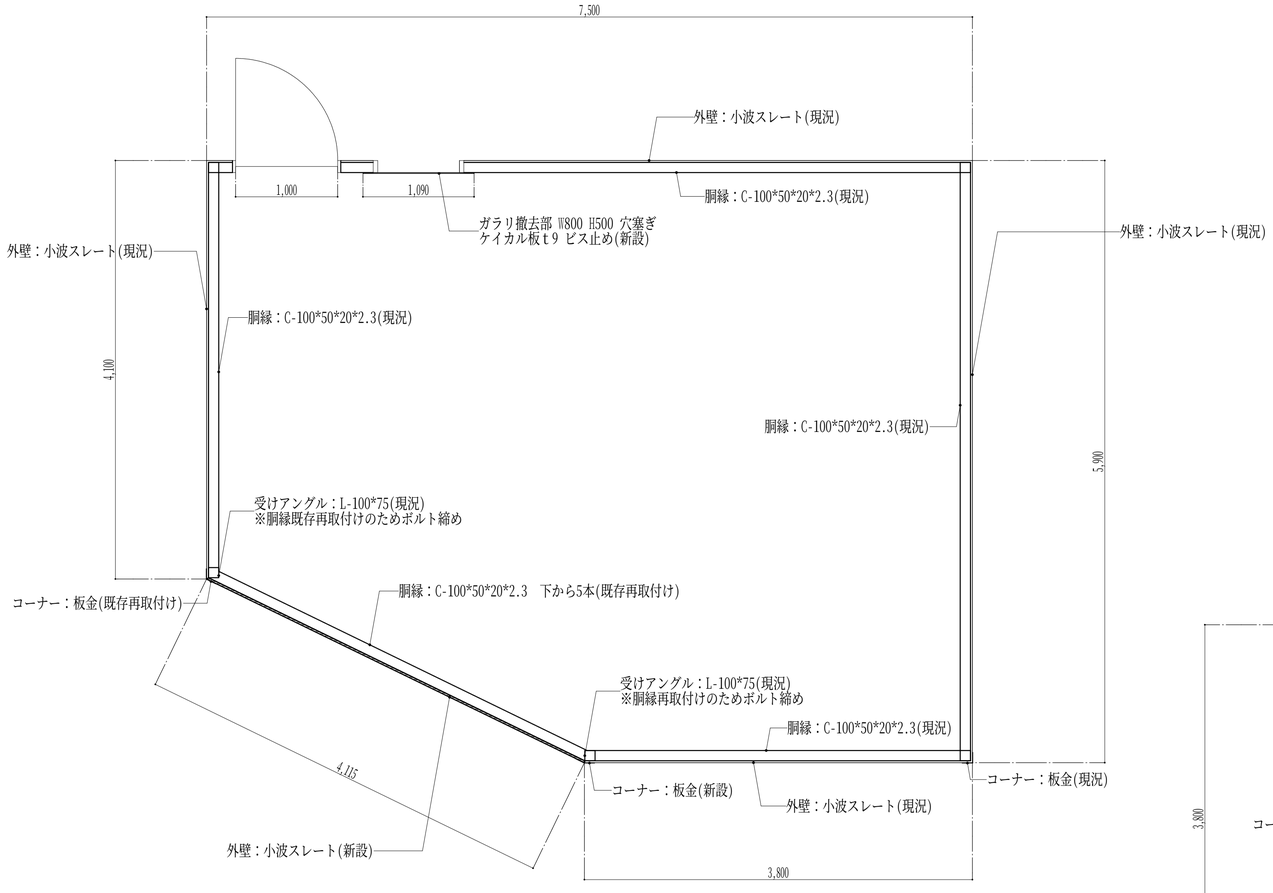


北側立面図

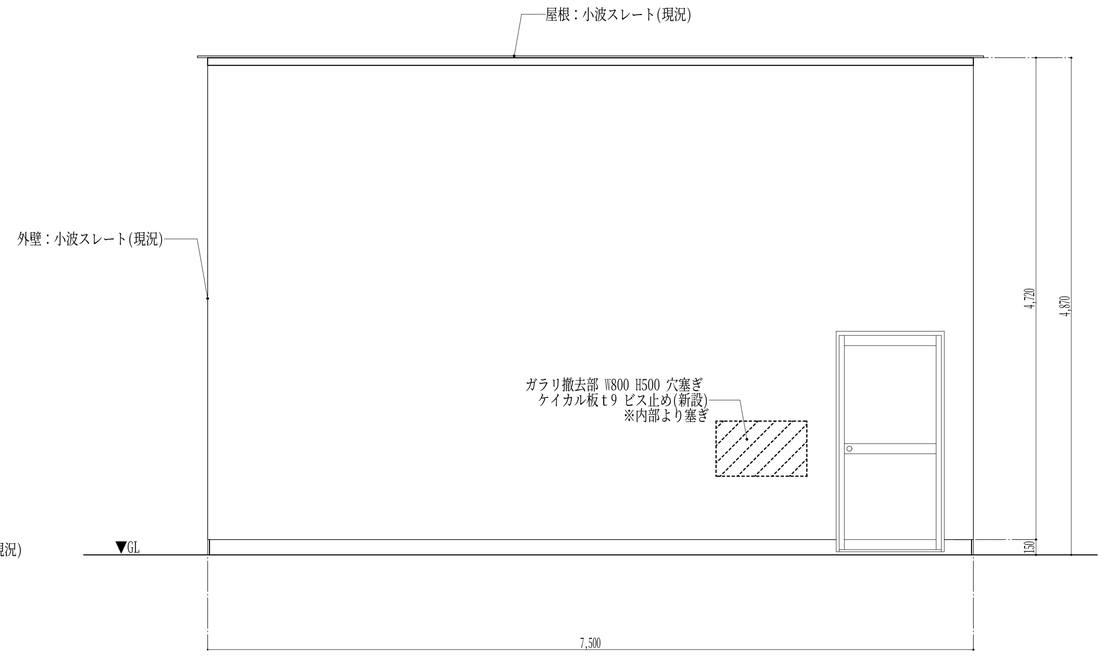


南側立面図

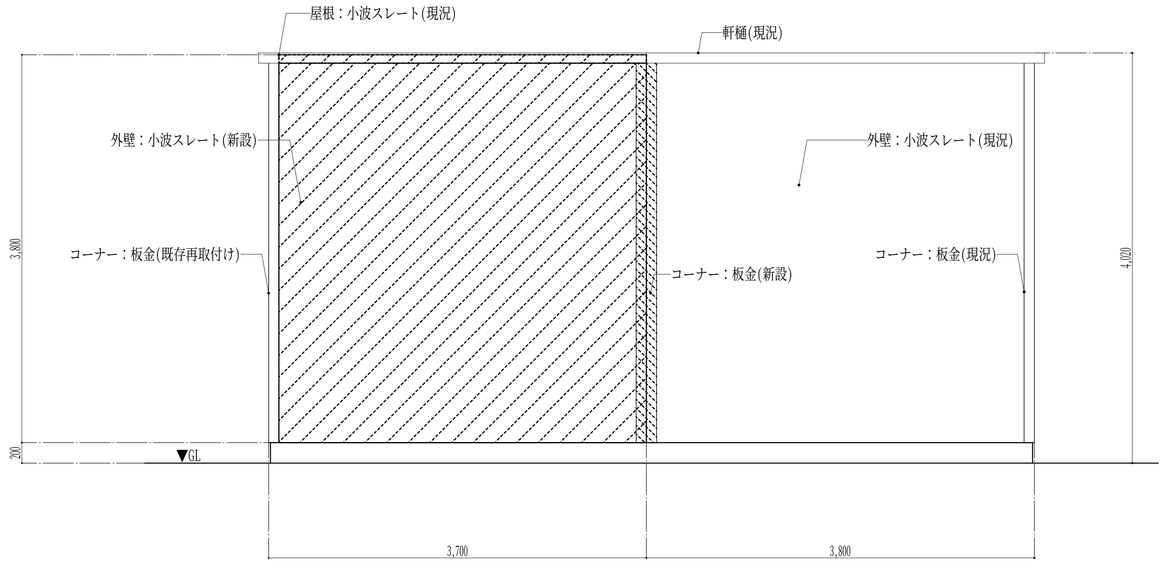
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ キュービクル庫 平面図・立面図(現況)	DATE ■ SCALE ■ A1：1/30, A3：1/60	NO ■ A－048



平面図

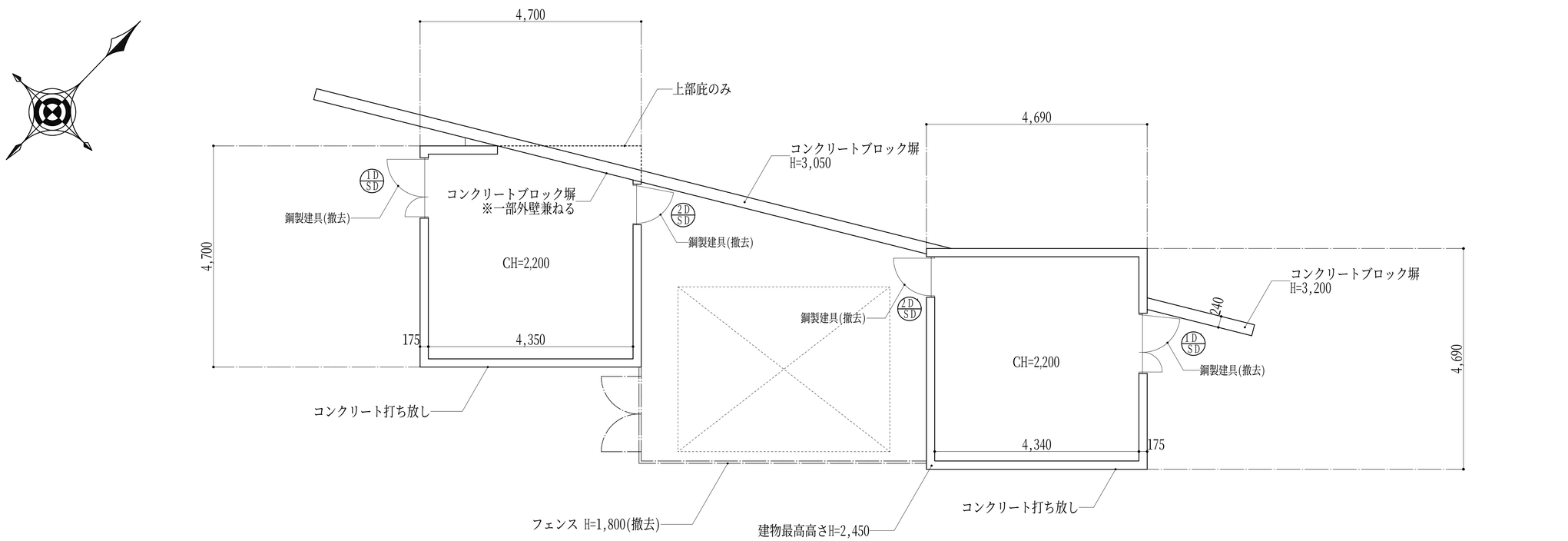


北側立面図

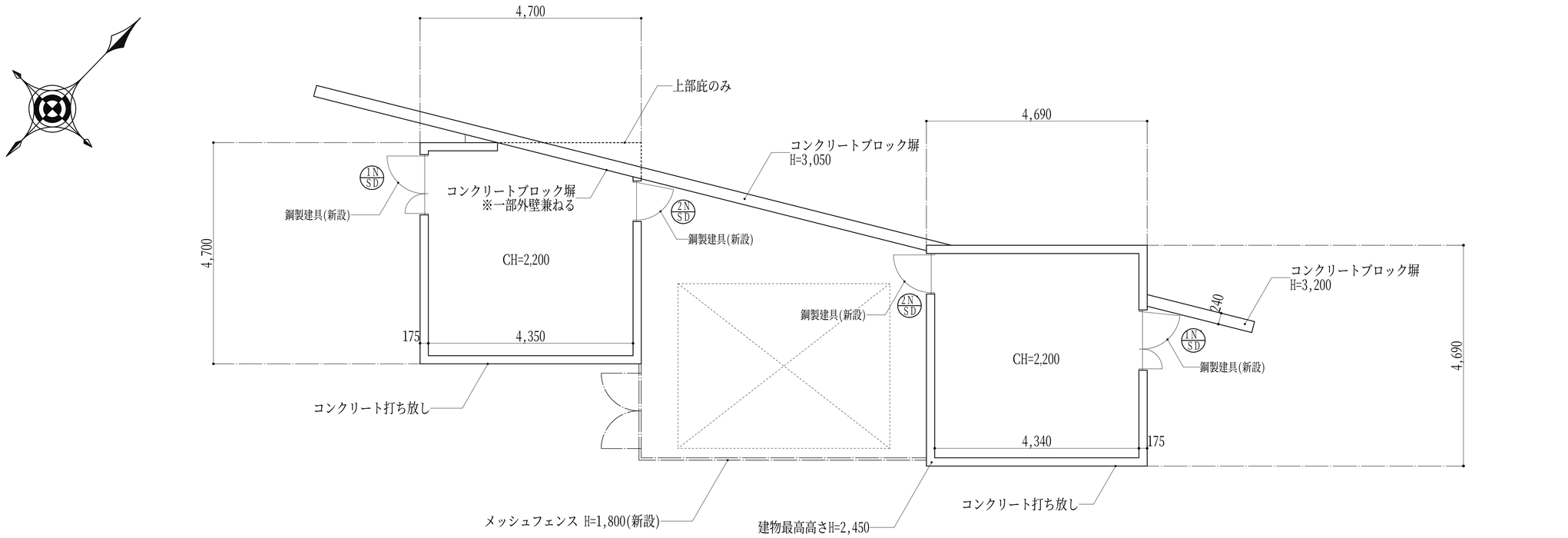


南側立面図

特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ キュービクル庫 平面図・立面図(改修)	DATE ■ SCALE ■ A1：1/30, A3：1/60	NO ■ A－049

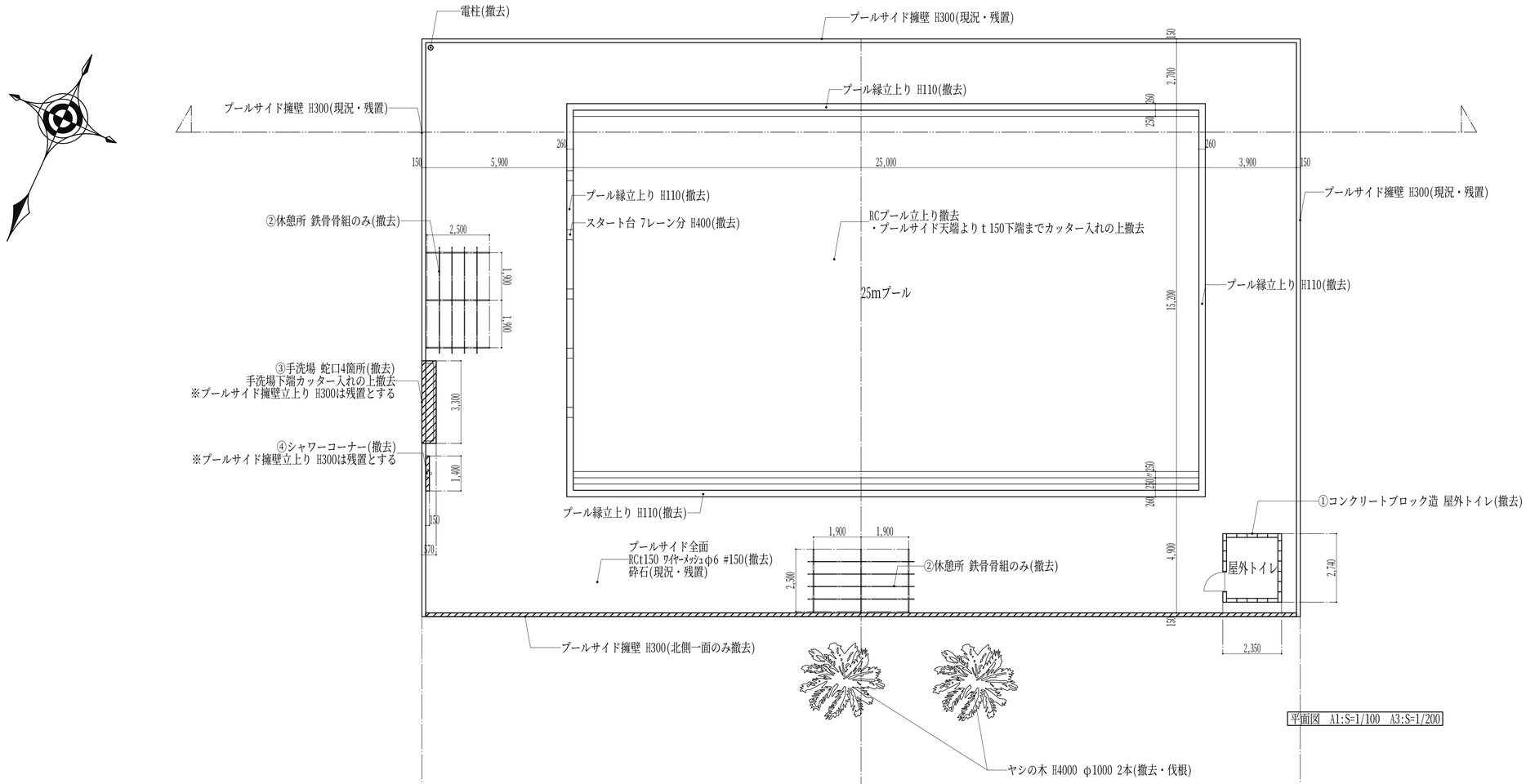


平面図（現況）

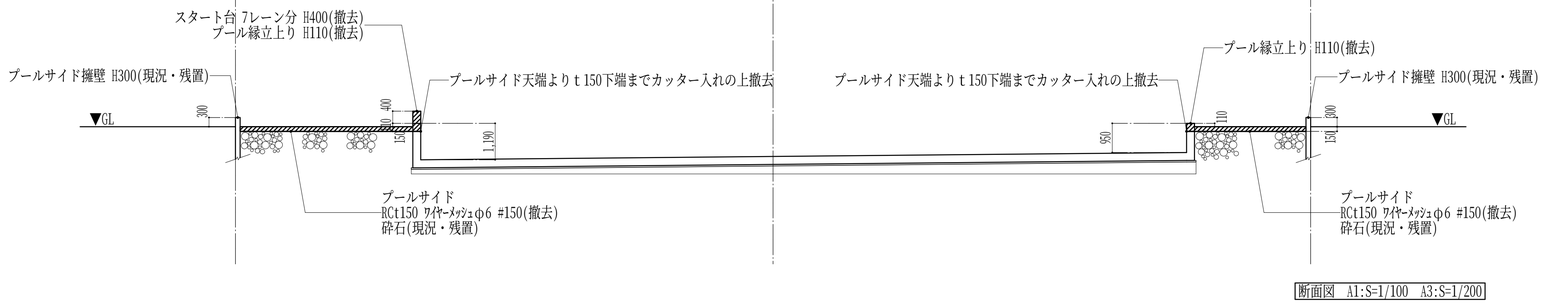


平面図（改修）

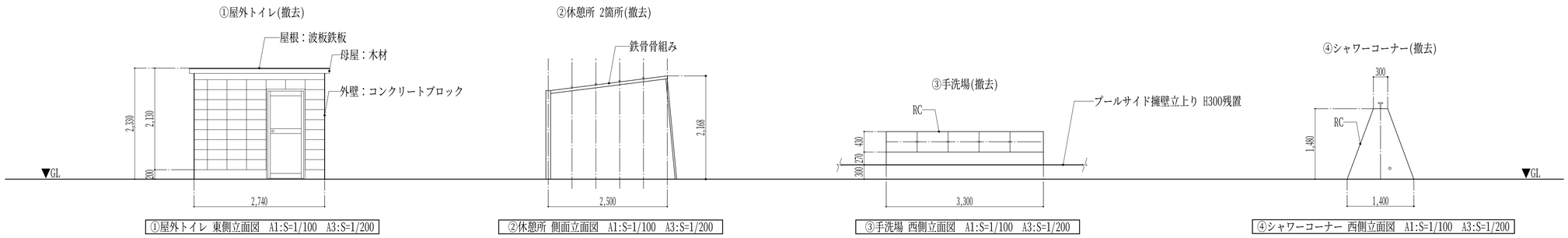
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 海水汲み上げ施設 平面図（現況・改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100	NO■ A－050



平面図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



断面図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



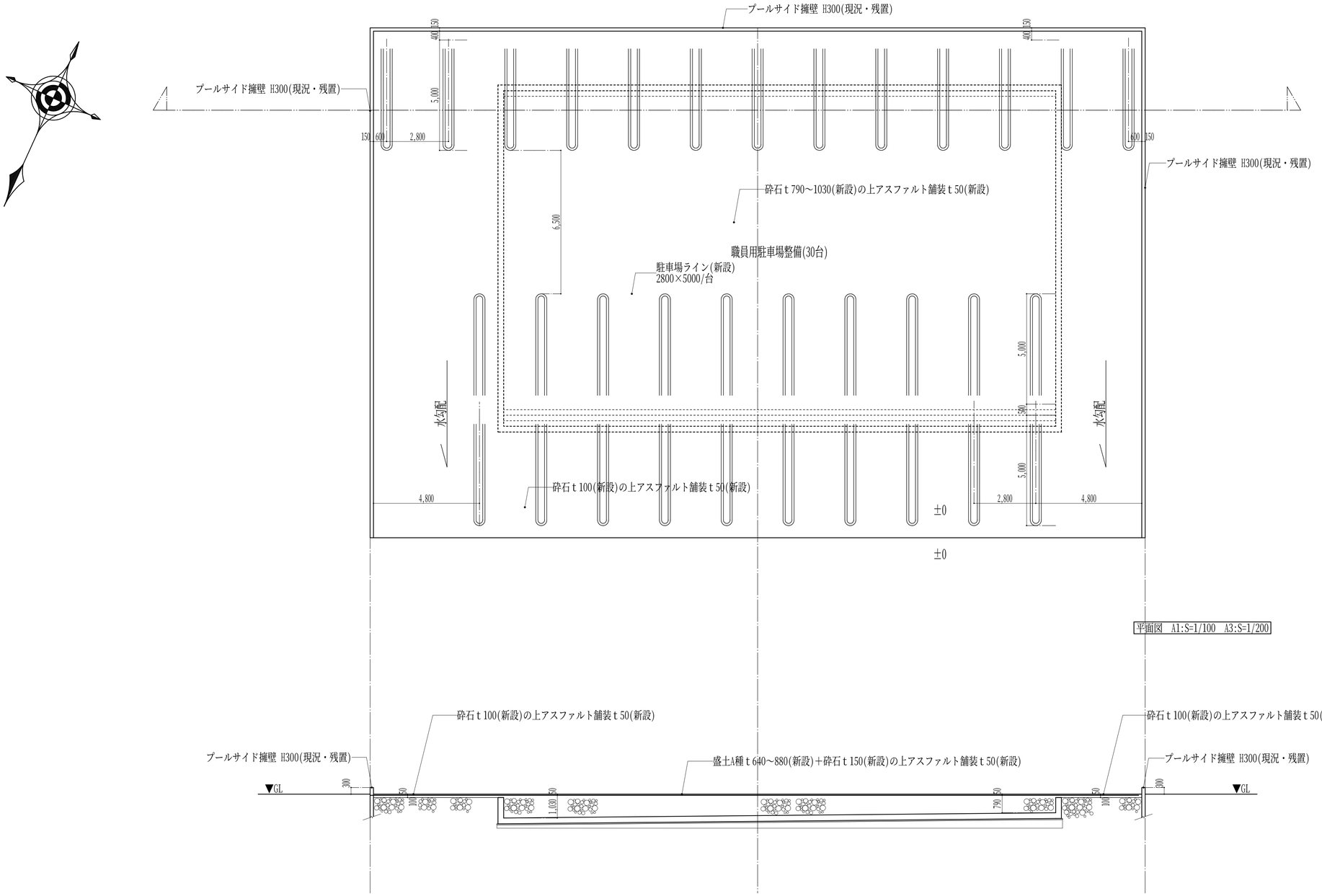
①屋外トイレ 東側立面図 A1:S=1/100 A3:S=1/200

②休憩所 側面立面図 A1:S=1/100 A3:S=1/200

③手洗場 西側立面図 A1:S=1/100 A3:S=1/200

④シャワーコーナー 西側立面図 A1:S=1/100 A3:S=1/200

特記事項		株式会社 美建設計 BIKEN 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ プール・屋外トイレ他 平面図・立面図・断面図（現況）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100 A1：1/100, A3：1/200	NO ■ A－051



特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ プール跡地 職員用駐車場 平面図・断面図 (改修)	DATE ■ SCALE ■ A1：1/100, A3：1/200	NO■ A－052

3,860
5,190
既存植栽撤去及び既存駐車ラインはつりの上
普通車駐車ライン（新設）
10台分(2.8m×6.0m/台)
駐車禁止ライン（新設）
既存駐車ラインはつりの上
大型バス駐車場ライン引き直し（新設）
6台分
9,740
28,000
9,100
2,500
屋外キュービクル・発電機置場
メッシュフェンス H2.0m L39.4m（新設）
3,000
既存インターロッキング・アスファルト舗装・縁石撤去の上
バイク駐輪場（新設）
16台分(1.2m×2.6m/台)想定
コンクリート舗装
10,610
6,000
縁石（新設）
6,120
2,000
9,540
7,540
縁石（新設）
既存駐車場ラインはつりの上
普通車駐車場ライン引き直し（新設）
20台分(2.5m×5.0m/台)
6,000
潮風王国駐車場サイン（新設）
※仕様・設置場所要協議
8,080
A部
18,500
9,750
22,250
9,740
32,900
2,500

A部

18,500
身障者用駐車場サイン・白線引き（新設）
+220
+150
2,500
1,050
身障者用駐車場サイン（新設）
※仕様・設置場所要協議
段差解消スロープ1/15（新設）
7,500

スロープ S=1:30

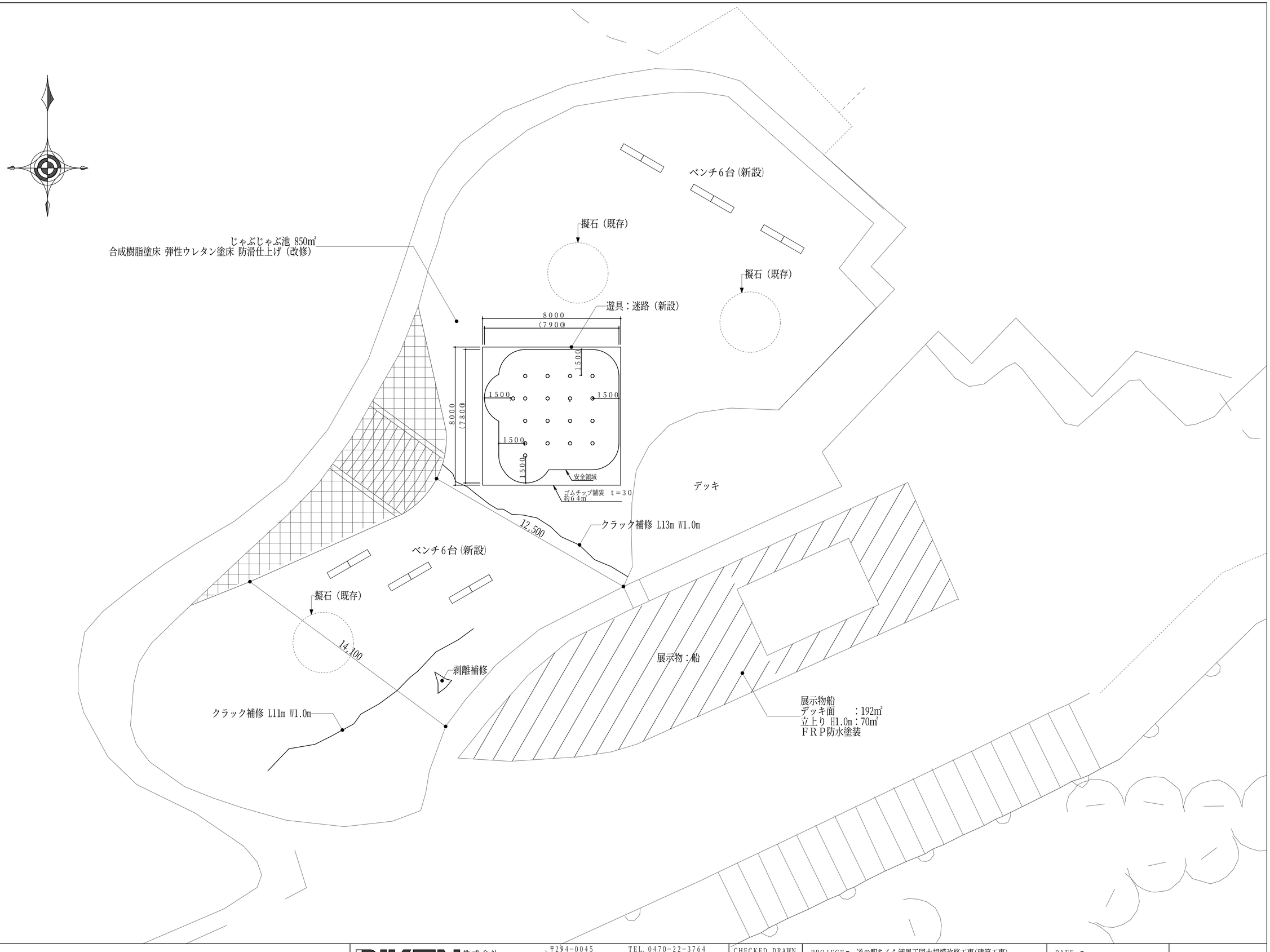
縁石（既存）
スロープ（新設）
アスファルト舗装
+150
±0
2,250

2,250
段差解消スロープ1/15（新設）
+150
±0
6,000

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号
TEL. 0470-22-3764
FAX. 0470-22-3785
岩崎 一博

CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ A－053
■	ITEMS ■ 駐車場（改修）	SCALE ■ A1：1／100, A3：1／200	



特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ じゃぶじゃぶ池・展示物船（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1／100, A3：1／200	NO ■ A－054

※敷地内外灯塗装
① H=4.6m φ200:15本
② H=4.6m φ200: 7本

敷地境界より５m以上離した位置に設置すること
※設置位置は要協議

5,945

ベンチ２台（新設）

メッシュフェンス H2.0m

メッシュフェンス H2.0m

2,000

メッシュフェンス片開き門扉 H2.0m

2,000

ドッグラン サイン新設
※仕様・設置位置は要協議

メッシュフェンス片開き門扉 H2.0m

10,660

22,000

メッシュフェンス H2.0m

メッシュフェンス H2.0m

メッシュフェンス H2.0m

22,000

大型犬用ドッグラン（新設）

ベンチ２台（新設）

メッシュフェンス
片開き門扉 H1.5m

メッシュフェンス H1.5m

2,000

メッシュフェンス
片開き門扉 H1.5m

2,000

メッシュフェンス H1.5m

メッシュフェンス H1.5m

10,000

10,000

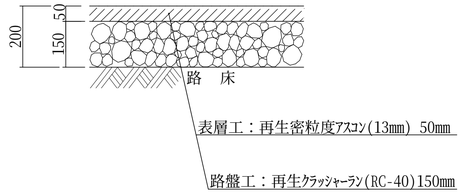
小型犬用ドッグラン（新設）

既存木製ベンチ W2700 D420 2台
座面補修・塗装

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ ドッグラン（新設）	DATE ■ SCALE ■ A1：1／100, A3：1／200	NO ■ A－055

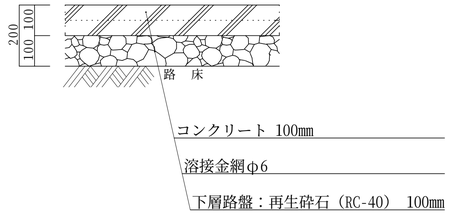
01 アスファルト舗装　詳細図（駐車場）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



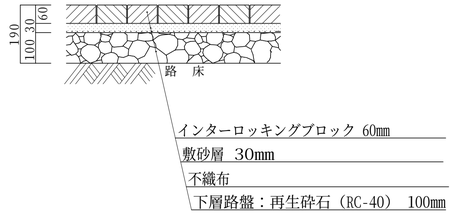
02 コンクリート舗装　詳細図（バイク置場）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



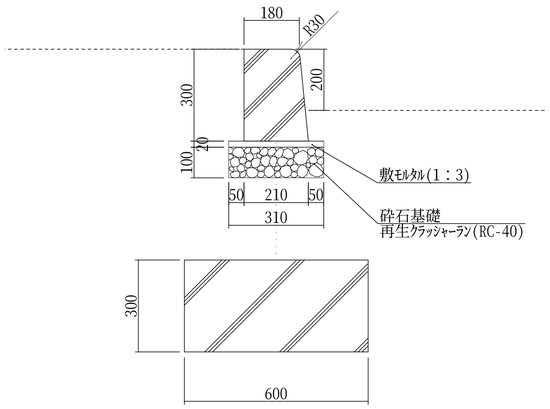
03 インターロッキングブロック舗装　詳細図

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



04 歩車道境界ブロック　詳細図

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

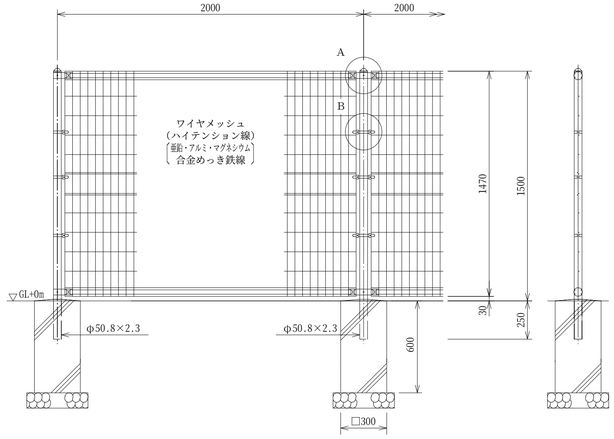


05 メッシュフェンスH=1500　詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

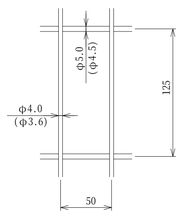
UN－A1500S－50　S=1:20

建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る
基準風速３８m／ｓｅｃ　地表面粗度区分Ⅱ　GL＋0m



ワイヤメッシュ図

（ ）内は芯径を示す。



パネル断面図



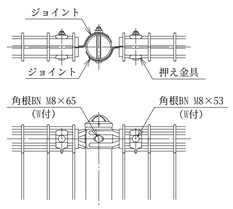
設計条件

設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３８m／ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・Ⅱ
基礎条件・・・長期許容地耐力　１００kN／㎡

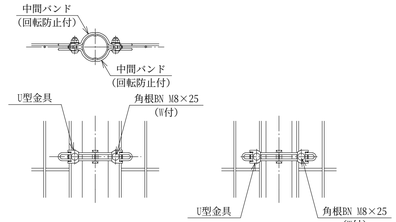
備考

1．外装について
- 主柱、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- パ　ン　ド ・・・ 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- U　型　金　具 ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
- ボルト、ナット ・・・ 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

A部取付図　S=1:6



B部取付図　S=1:6



標準的な取付図

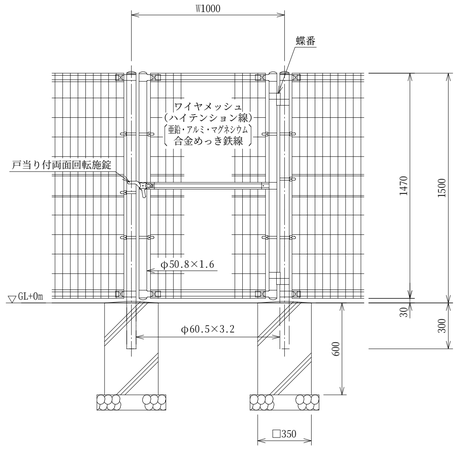
パネルと柱のすきまがせまい場合の取付図

06 片開き門扉H=1500　詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

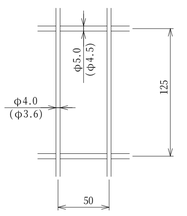
UN片開き門扉
H1500－50×W1000　S=1:20

建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る
基準風速３８m／ｓｅｃ　地表面粗度区分Ⅱ　GL＋0m

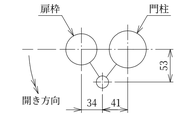


ワイヤメッシュ図

（ ）内は芯径を示す。



門柱・扉枠位置関係図



設計条件

設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３８m／ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・Ⅱ
基礎条件・・・長期許容地耐力　１００kN／㎡

備考

1．外装について
- 門　柱、枠　体、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- パ　ン　ド ・・・ 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- U　型　金　具 ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
- ボルト、ナット ・・・ 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
- 戸当り付両面回転施錠・・・ 溶融亜鉛めっきのみ

2．本図門扉は片側１８０° 開きとする。

⚠ 注意
・施錠門柱の扉開き側に障害物（兼用フェンス、壁など）を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要である。

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045
千葉県館山市北条1355－45
一級建築士事務所千葉県知事登録
一級建築士大臣登録
TEL. 0470－22－3764
FAX. 0470－22－3785
第1－2310－9001号
第246699号　岩崎　一博

CHECKED　DRAWN
■

PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 構造物詳細図1

DATE ■
SCALE■ A1：図示，A3：図示

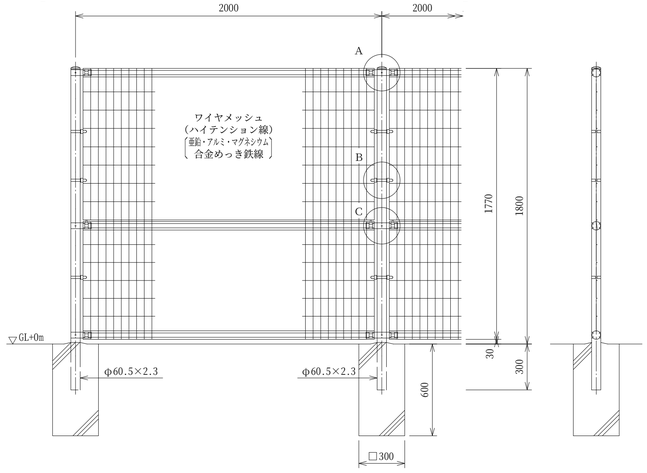
NO■ A－056

07 メッシュフェンスH=1800 詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

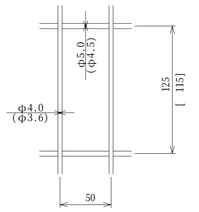
UN－H1800－50　S=1:20

［建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る
基準風速３８m／ｓｅｃ　地表面粗度区分Ⅱ　GL＋0m］



ワイヤメッシュ図

（ ）内は芯径を示す。
［ ］内は下部パネルを示す。



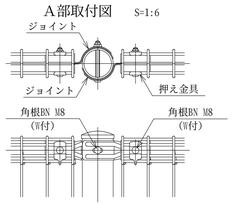
パネル断面図



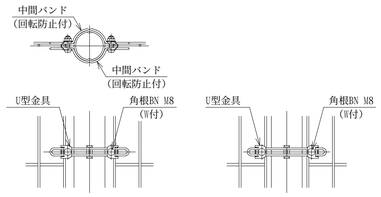
設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３８m／ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・Ⅱ
基礎条件・・・長期許容地耐力　１００kN／㎡

備考
1．外装について
・主柱、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・バ　ン　ド　・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・Ｕ　型　金　具　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット　・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

A部取付図　S=1:6

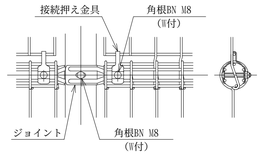


B部取付図　S=1:6



標準的な取付図　　パネルと柱のすきまがせまい場合の取付図

C部取付図　S=1:6

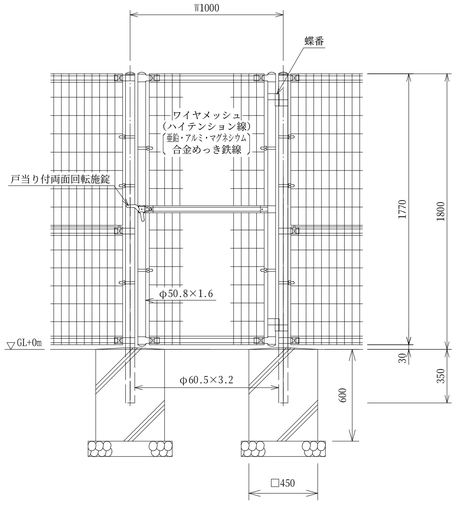


08 片開き門扉H=1800 詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

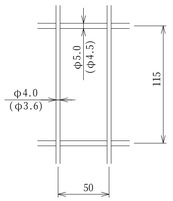
UN片開き門扉
H1800－50×W1000　S=1:20

［建築基準法・同施行令（平成１２年6月）に基づく風圧力に依る
基準風速３８m／ｓｅｃ　地表面粗度区分Ⅱ　GL＋0m］

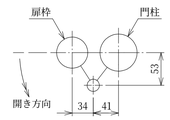


ワイヤメッシュ図

（ ）内は芯径を示す。



門柱・扉枠位置関係図



設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３８m／ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・Ⅱ
基礎条件・・・長期許容地耐力　１００kN／㎡

備考
1．外装について
・門　柱、枠　体、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・バ　ン　ド　・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・Ｕ　型　金　具　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット　・・・溶融亜鉛めっきのみ
・戸当り付両面回転施錠・・・溶融亜鉛めっきのみ
2．本図門扉は片側１８０°開きとする。

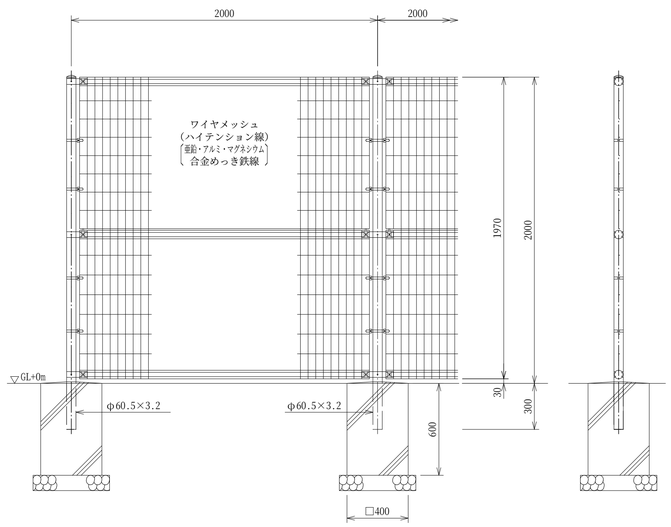
⚠1 注意
・施錠門柱の扉開き側に障害物（兼用フェンス、壁など）を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要である。

09 メッシュフェンスH=2000 詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

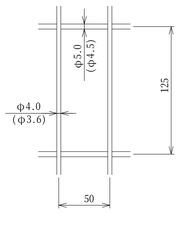
UN－H2000－50　S=1:20

［建築基準法・同施行令（平成１２年6月）に基づく風圧力に依る
基準風速３８m／ｓｅｃ　地表面粗度区分Ⅱ　GL＋0m］



ワイヤメッシュ図

（ ）内は芯径を示す。



パネル断面図



設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３８m／ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・Ⅱ
基礎条件・・・長期許容地耐力　１００kN／㎡

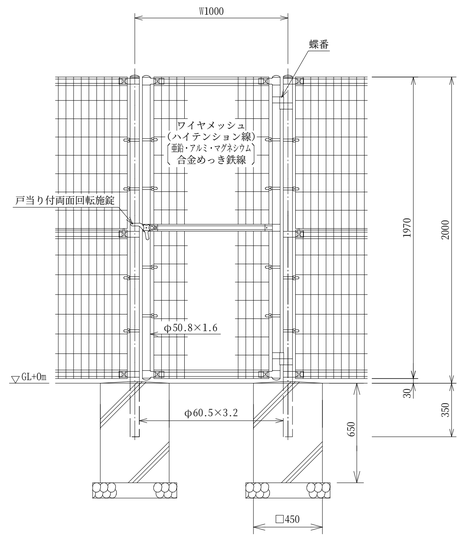
備考
1．外装について
・主柱、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・バ　ン　ド　・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・Ｕ　型　金　具　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット　・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

10 片開き門扉H=2000 詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

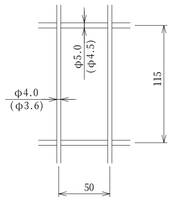
UN片開き門扉
H2000－50×W1000　S=1:20

［建築基準法・同施行令（平成１２年6月）に基づく風圧力に依る
基準風速３８m／ｓｅｃ　地表面粗度区分Ⅱ　GL＋0m］

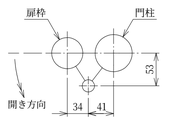


ワイヤメッシュ図

（ ）内は芯径を示す。



門柱・扉枠位置関係図

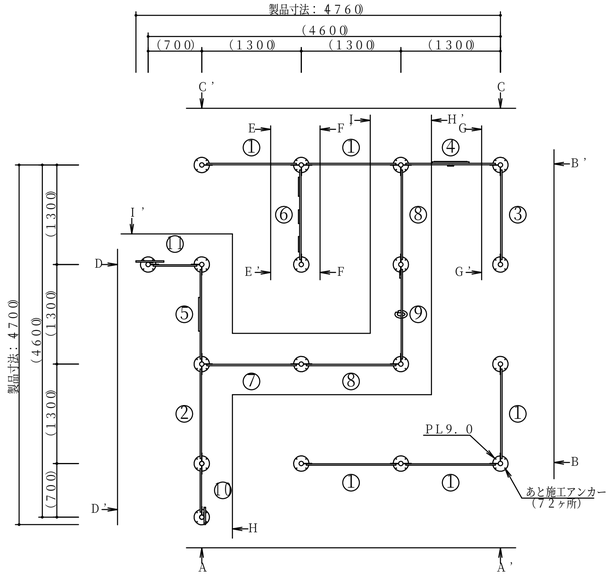


設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３８m／ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・Ⅱ
基礎条件・・・長期許容地耐力　１００kN／㎡

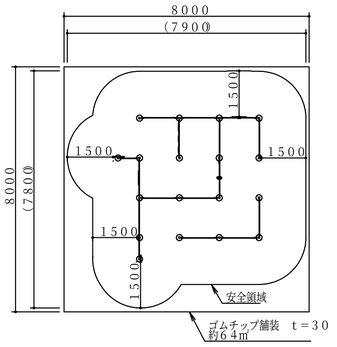
備考
1．外装について
・門　柱、枠　体、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・バ　ン　ド　・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・Ｕ　型　金　具　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット　・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
・戸当り付両面回転施錠・・・溶融亜鉛めっきのみ
2．本図門扉は片側１８０°開きとする。

⚠1 注意
・施錠門柱の扉開き側に障害物（兼用フェンス、壁など）を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要である。

特記事項		株式会社 BIKEN美建設計	〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785 第1－2310－9001号 第246699号　岩崎　一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) / ITEMS ■ 構造図－2	DATE ■ / SCALE■ A1：図示、A3：図示	NO■ A－057

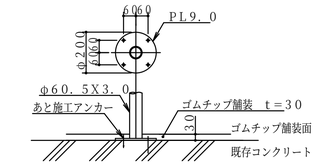


平面図



※製品外形からの寸法を示す

安全領域　Ｓ＝１／１００

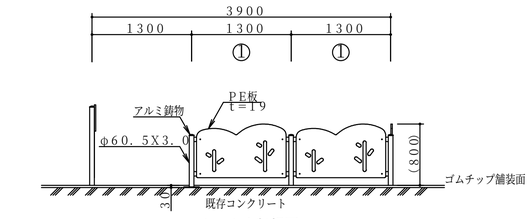


支柱詳細図及びゴムチップ舗装断面図　Ｓ＝１／１５

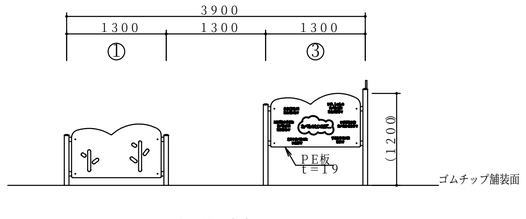
アイテム一覧		
記号	名称	数量
①	フェンスパネル	５枚
②	フェンスパネル足跡付き	１枚
③	質問パネル	１枚
④	歯車パネル	１枚
⑤	メロディーパネル	１枚
⑥	くるくるあみだくじパネル	１枚
⑦	どうぶつパネル	１枚
⑧	くぐりパネル	２枚
⑨	わっか通しパネル	１枚
⑩	スタートパネル	１枚
⑪	ゴールパネル	１枚

※ゴムチップ舗装時はアンカーが露出しないよう適宜調整を行うこととする。

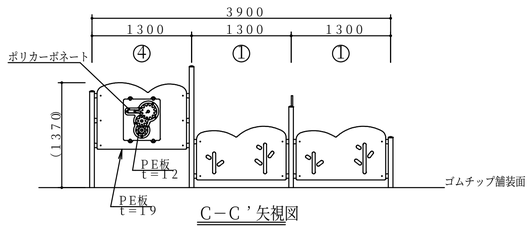
製品仕様	
	鋼材及びボルト・ナットは、ステンレス鋼とする。 鋳物は、合成樹脂焼付塗装とする。 利用対象年齢は、幼児（３才～６才）・児童（６才～１２才）とする。 ＩＳＯ９００１・ＩＳＯ１４００１の認証取得企業で品質管理された製品とし、（一社）日本公園施設業協会の賠償責任保険付とする。本製品は、遊具の安全に関する規準ＪＰＦＡ－ＳＰ－Ｓ：２０２４に準拠した製品とする。



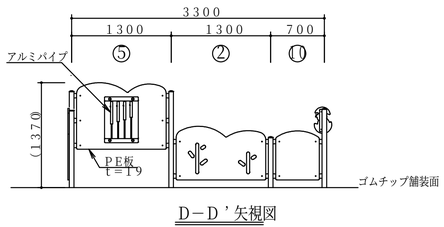
A－A’矢視図



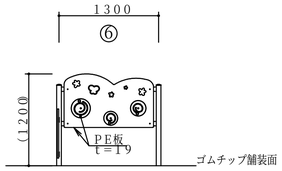
B－B’矢視図



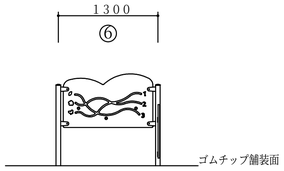
C－C’矢視図



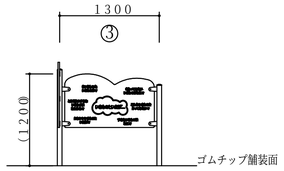
D－D’矢視図



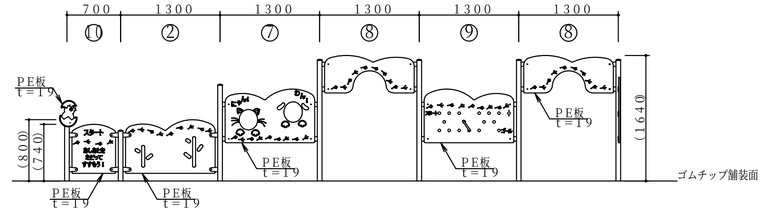
E－E’矢視図



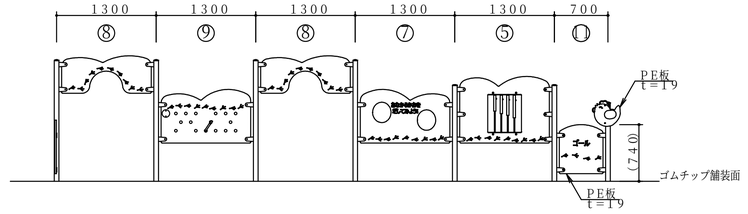
F－F’矢視図



G－G’矢視図



H－H’展開図



I－I’展開図

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 遊具詳細図・迷路	DATE ■ SCALE ■ A1：1/40, A3：1/80 A1：1/100, A3：1/200	NO ■ A－058

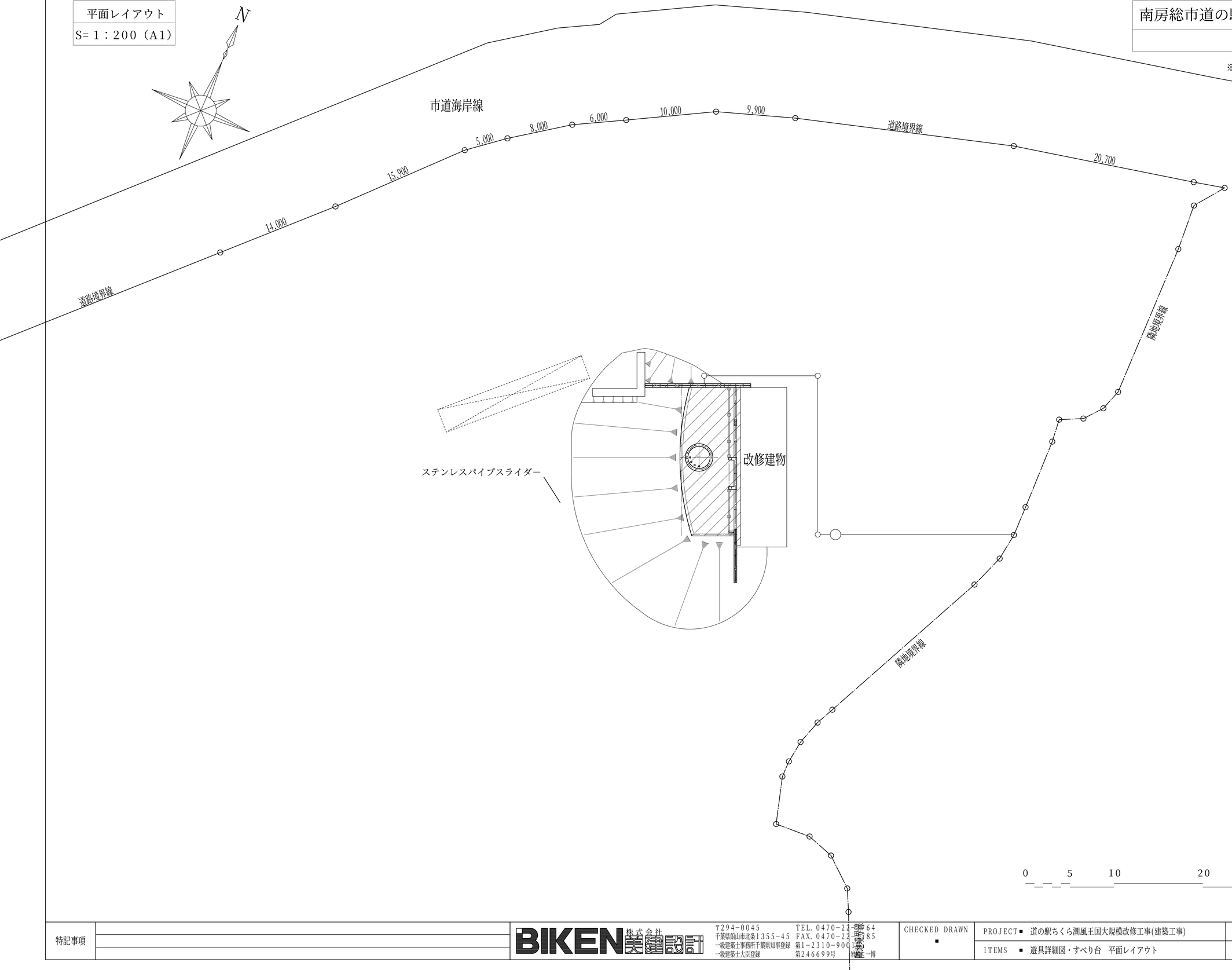
PG-26000501-1

南房総市道の駅　ちくら・潮風大国公園

S=図示　(E)

※ ———— は、安全領域範囲を示す。

平面レイアウト
S= 1：200（A1）



特記事項		株式会社 BIKEN 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-900 一級建築士大臣登録 第246699号 TEL. 0470-22-[illegible]64 FAX. 0470-22-[illegible]85	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 遊具詳細図・すべり台　平面レイアウト	DATE ■ SCALE ■ A1：1/200, A3：1/400	NO ■ A－059

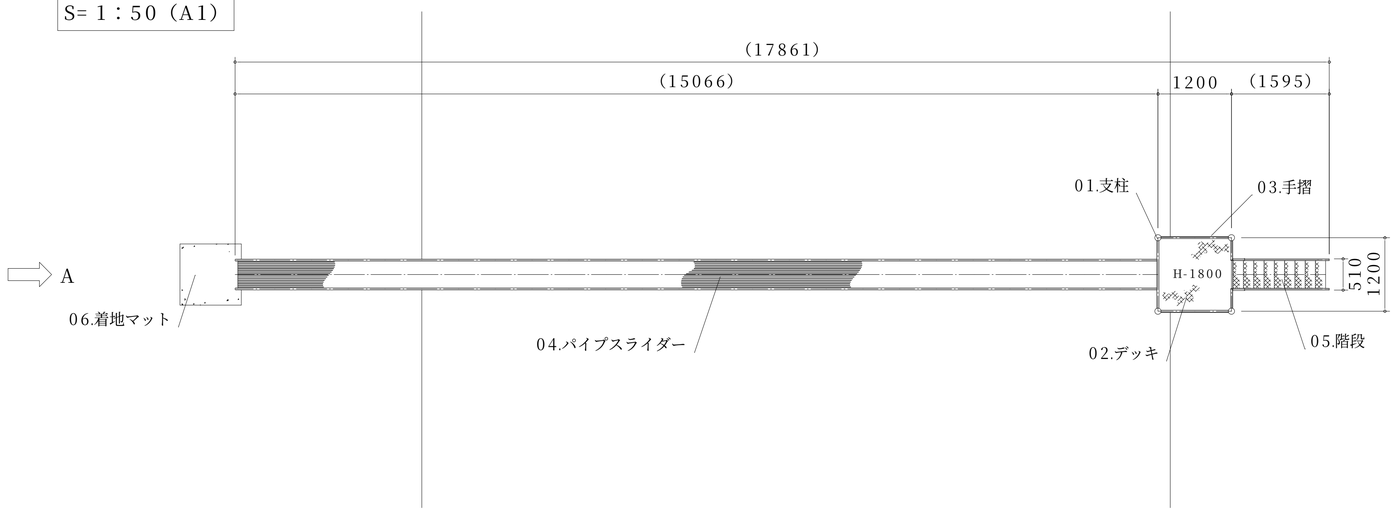
PG-26000501-1

ステンレスパイプスライダー

S=図示　(E)

特記事項（0）
塗装　下塗：特殊エポキシ樹脂系プライマー塗装
　　仕上：合成樹脂高温焼付塗装
ボルト・ナットはステンレスとする。（アンカーボルトは除く）
製品は、ISO9001・ISO14001両規格認証取得企業で製造された製品とする。
製品は、SP表示認定企業で製造された製品とする。
製品は、（一社）日本公園施設業協会・団体賠償責任保険に加入した製品とする。
製品は、（一社）日本公園施設業協会が策定した「遊具の安全に関する規準（JPFA-SP-S：2024）」に適合した製品とする。
製品の対象年齢は、6～12歳とする。

平面図
S= 1：50（A1）

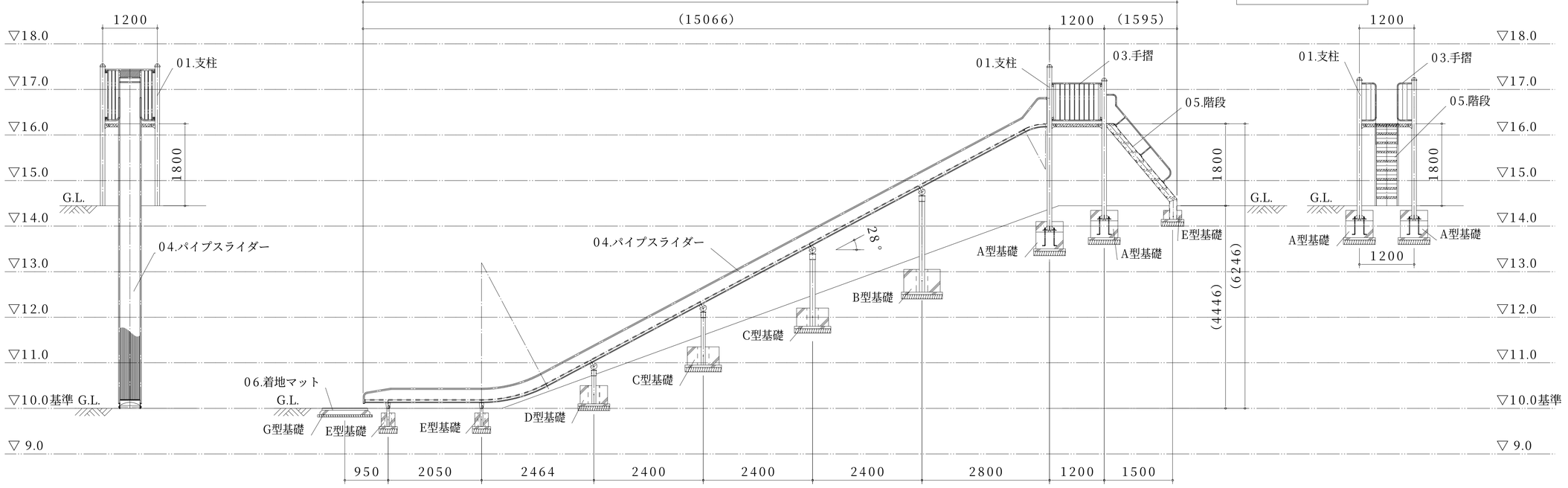


アイテムリスト

No	アイテム名	主要部材	数量	
01	支柱	ステンレス鋼管	-	基
02	デッキ	ステンレス縞鋼板	-	基
03	手摺	ステンレス 27.2φ	-	基
04	パイプスライダー	滑り面：ステンレス 22φ（無塗装）	1	基
05	階段	手　摺：ステンレス 27.2φ ささら：ステンレス鋼板 曲げ加工品 踏　板：縞鋼板 曲げ加工品 （溶融亜鉛メッキ仕上・無塗装）	1	基
06	着地マット	弾性ゴム製（M004・GR）t=45mm	1	枚

A方向立面図
S= 1：50（A1）

立面図
S= 1：50（A1）



立面図
S= 1：50（A1）

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ A —060
		〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	■	ITEMS ■ 遊具詳細図・すべり台　平面図・立面図	SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100	

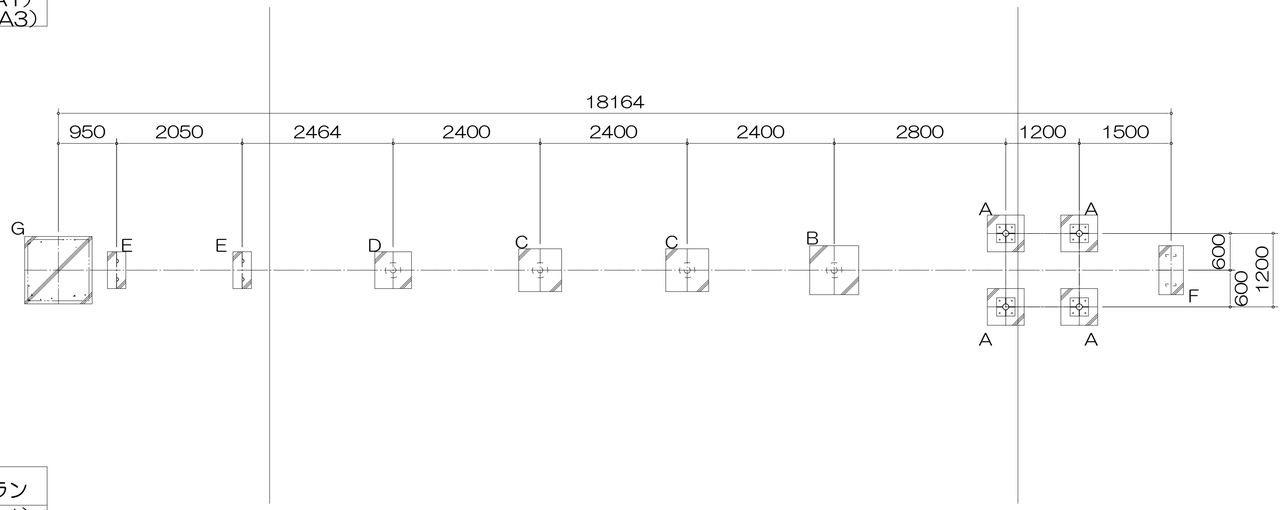
PG-26000501-1

ステンレスパイプスライダー

S=図示　(E)

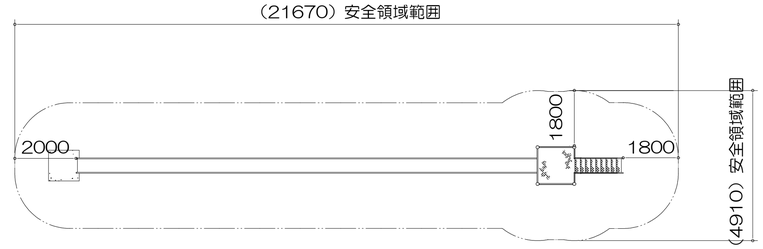
基礎平面図

S= 1 : 50 (A1)
S= 1 : 100 (A3)



安全領域

S= 1 : 100 (A1)
S= 1 : 200 (A3)

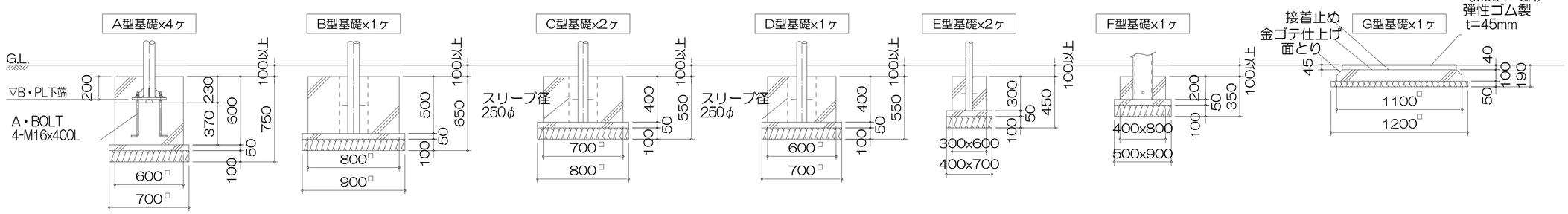


アンカープラン

S= 1 : 10 (A1)
S= 1 : 20 (A3)

基礎リスト

S= 1 : 20 (A1)
S= 1 : 40 (A3)



特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ A—061
		〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	■	ITEMS ■ 遊具詳細図・すべり台 基礎図	SCALE ■ 図示	

設計概要

道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事）

申請者　千葉県南房総市富浦町青木２８番地

南房総市　南房総市長　渡辺　秀和

敷地概要

地名地番	千葉県南房総市千倉町千田１０５１番地
用途地域	指定なし
防火地域	指定なし
その他地区	自然公園第２種特別地域
建ぺい率	－
容積率	－

面積表

敷地面積		15,879.76 ㎡
倉庫	建築面積	105.00 ㎡
	延床面積	210.00 ㎡
飲食テラス	建築面積	100.32 ㎡
	延床面積	100.32 ㎡

外部仕上表

倉庫	根巾木	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ補修	
	外壁	カラーガルバｔ０．５角波鋼板	
	屋根	折板カラーガルバｔ０．８嵌合式（ビューティールーフ同等品※不燃NM8697・無機質ｶﾞﾗｽ繊維ｼｰﾄt４※不燃NM2922裏張り）	
	軒裏	屋根折板現し	
	建具	アルミサッシ（アルマイト処理）・アルミ戸・軽量シャッター	
	竪樋	塩ビ製丸樋既製品　φ75	
	軒樋	塩ビ製ｶﾗｰ角樋既製品(折板大型ﾀｲﾌﾟ)	
飲食テラス	床	磁器タイル300角張り	
	屋根	カラ-ガルバリウム鋼板　ｔ＝0.8　※カービング加工(三晃式嵌合式折板 F-80 @500 H=80　同等品)	
	竪樋	塩ビ製丸樋既製品　φ75	
	軒樋	塩ビ製ｶﾗｰ角樋既製品(折板大型ﾀｲﾌﾟ)	
回廊	床	インターロッキングブロック t60敷 及び 磁器タイル150角張り	
	基礎	化粧型枠コンクリート打放し　撥水材塗	
	屋根	アルミ亜鉛合金メッキ鋼板ｔ0.4 たてハゼ葺き（改質ルーフィング下地）	
	軒天	杉羽目板 t12 オスモカラー塗	

内部仕上表

	室名	床 下地 / 仕上	巾木 下地 / 仕上	腰 下地 / 仕上	壁 下地 / 仕上	天井 下地 / 仕上	天井高	建具、家具	設備機器、その他
	倉庫 1階	コンクリート	コンクリート		角波鋼板カラーガルバ現し	-	3,000		
		金コテ直押え	補修		鉄骨部分：錆止め塗装（グレイ系）	ＱＬデッキ現し		ﾌﾙｽｻｯｼ・アルミ戸・軽量シャッター	
	倉庫 2階	コンクリート			角波鋼板カラーガルバ現し	折板カラーｶﾞﾙﾊﾞｔ０．８	2,936		
		金コテ直押え	木巾木 H150		鉄骨部分：錆止め塗装（グレイ系）	無機質ｶﾞﾗｽ繊維ｼｰﾄt5現し※不燃NM2922		木製棚（製作図示）	
	飲食テラス	コンクリート・水勾配（カッター目地3m内外）					-		
		磁器タイル300角張り				折板カラーガルバｔ０．８現し			
	回廊	(スロープ)コンクリート+磁器タイル150角張り					-		
		(平場)インターロッキングブロック t60				杉羽目板 t12 オスモカラー塗			泥落としマット

□ 認定番号

1. 屋根 折板カラーガルバｔ０．８嵌合式は不燃ＮＭ－８６９７認定品とする
2. 無機質ｶﾞﾗｽ繊維ｼｰﾄは不燃ＮＭ－２９２２認定品とする
3. 内装に用いる接着剤・面材・塗料はシックハウス規格Ｆ☆☆☆認定品とする

特記事項

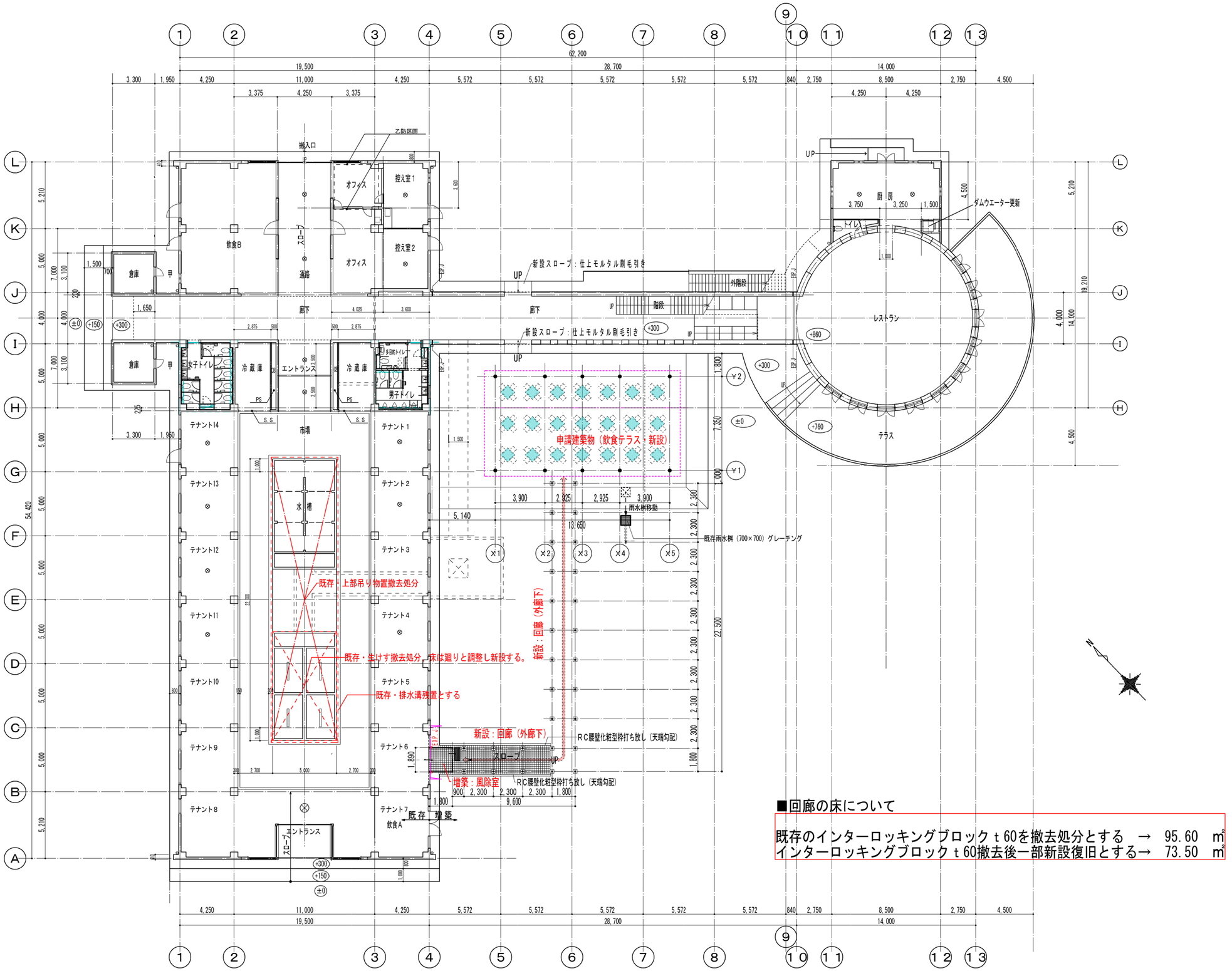
BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎 一博

CHECKED　DRAWN
■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 仕上表

DATE ■
SCALE ■ －

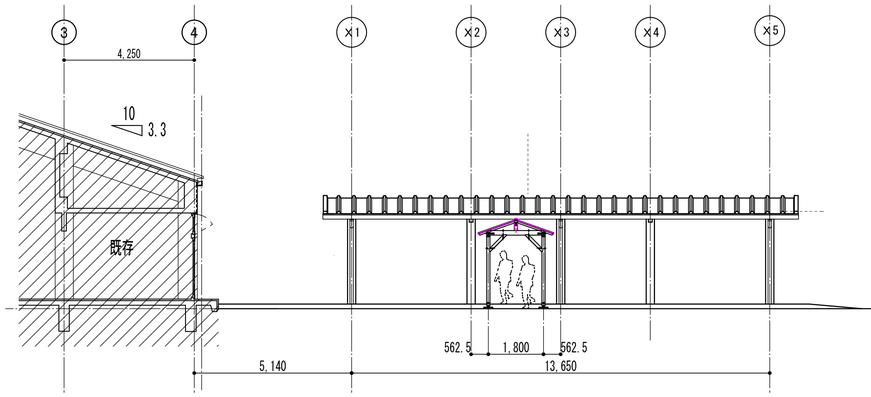
NO■ A－101



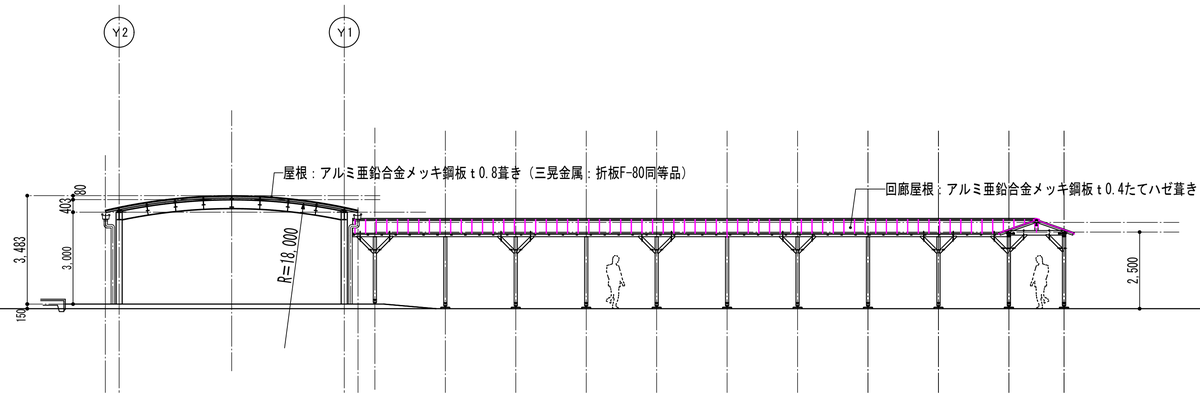
特記事項		〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED ■ DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 飲食テラス、回廊平面図	DATE ■ SCALE ■ A1：1／150, A3：1／300

BIKEN 株式会社 美建設計

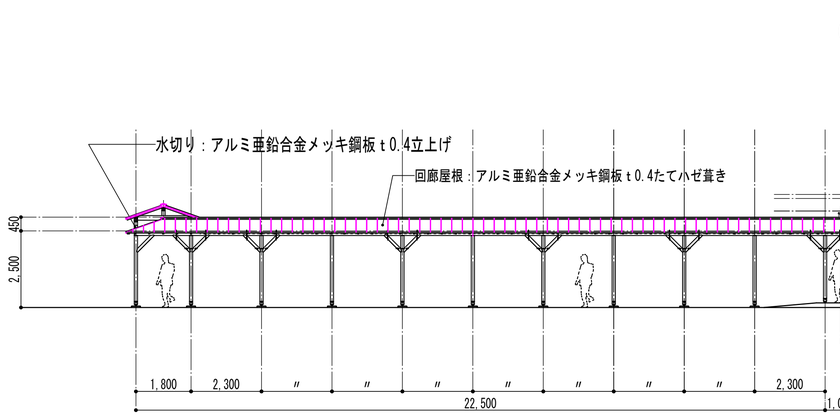
NO■ A－102



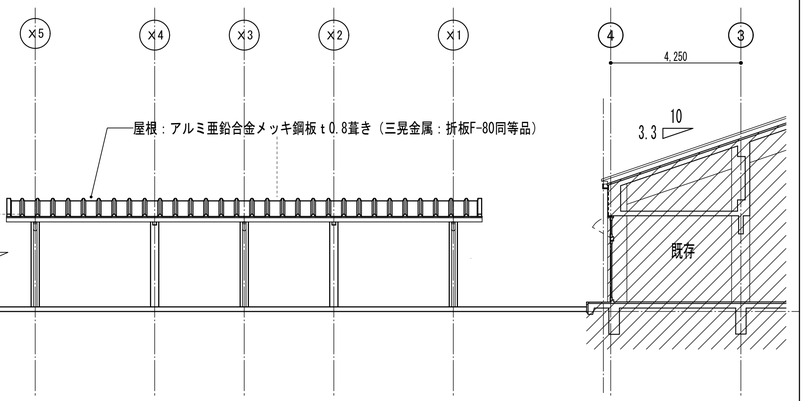
南西　断面　立面図　S＝1／100



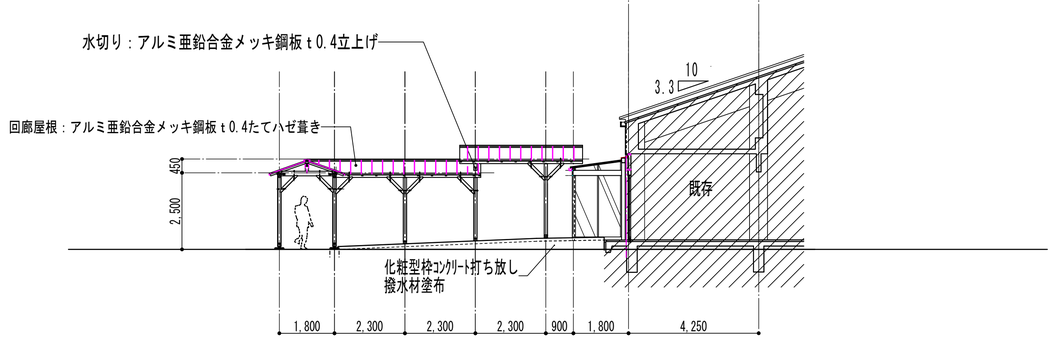
西北　断面　立面図　S＝1／100



東南　断面図、立面図　S＝1／100

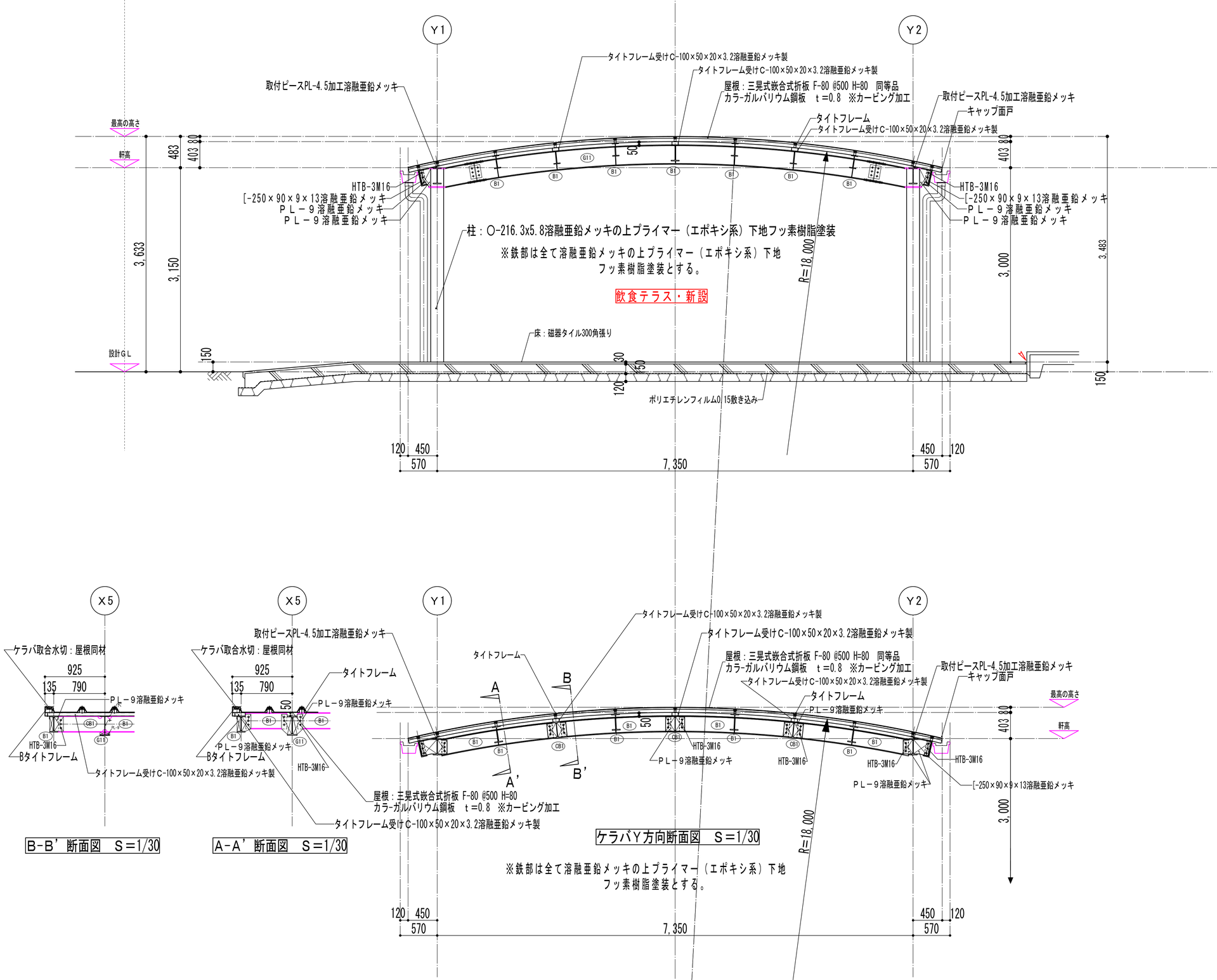


南西　立面図　S＝1／100



北東　断面図、立面図　S＝1／100

特記事項		株式会社 美建設計 BIKEN	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 飲食テラス、回廊立面図
						DATE ■ SCALE ■ A1：1／100, A3：1／200
						NO■ A－103



B-B'断面図 S=1/30

A-A'断面図 S=1/30

ケラバY方向断面図 S=1/30

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 飲食テラス矩計図	DATE ■ SCALE ■ A1：1/30, A3：1/60	NO■ A－104

既存EXP.J

新設スロープ：仕上モルタル刷毛引き
既存土間コンクリート斫り撤去処分

UP

+270
+150
溜桝300型：亜鉛メッキグレーチング
竪樋：カラー硬質塩ビφ75
柱：O-216.3x5.8溶融亜鉛メッキの上プライマー下地フッ素樹脂塗装
軒先
ケラバ先端
床：磁器タイル300角張り
誘発目地（3.0m内外）
飲食テラス・新設
1,500（地下ピット）
+100
±0
新設：回廊（外廊下）
雨水桝移動
既存雨水桝（700×700）グレーチング
床面積　100.32㎡（30.31坪）・建築面積100.32㎡

Y 2
Y 1
X 1
X 2
X 3
X 4
X 5

1,800
7,350
1,000
2,300
2,300
5,140
3,900
2,925
2,925
3,900
13,650
562.5
1,800
562.5

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

CHECKED　DRAWN
■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 飲食テラス廻り平面詳細図

DATE ■
SCALE ■ A1：1／30, A3：1／60

NO■ A－105

C
B
A
3
4
5
6
テナント６
テナント７
飲食Ａ
既存
増築
新設：回廊（外廊下）
増築：風除室
両引き分け自動ドアー
片引き自動ドアー
EXP.J
EXP.Jアルミ金物（両面）
泥落としマット450×1050（SUS枠、SUSマットﾊﾟｰ）
ＲＣ腰壁化粧型枠打ち放し（天端勾配）撥水材塗布
スロープ
UP
5,000
5,210
300
1,890
2,300
1,800
900
2,250
150
15
900
2,300
2,300
2,300
1,800
1,800
9,600
800
1,000
4,250
2,500
設計GL
回廊屋根：アルミ亜鉛合金メッキ鋼板ｔ0.4たてハゼ葺き
ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ23kg
垂木：杉KD材45×54　@455オスモカラー塗り
※全てタルキック止め
棟木：杉KD材120×120オスモカラー塗り
束：杉KD材105×105オスモカラー塗り
羽子板ボルトSUS製M12
通しボルト：SUS製M12
梁：105×150　オスモカラー塗り
野地板：杉羽目板ｔ12オスモカラー塗り
柱：杉KD材105×105　オスモカラー塗り
方杖：杉KD材90×90オスモカラー塗り
既存ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ部分基礎廻り更新
RC立上りCON打ち放し撥水材塗布
床：磁器タイル150×150貼り
D10-@200
F1
F2
F3
F4
ケミカルアンカー
風除室屋根：ポリカーボネート板ｔ６
水切り：カラーアルミｔ0.6加工
テラス用雨樋
片引き自動ドアー取付
泥落としマット450×1050（SUS枠、SUSマットﾊﾟｰ）
床：磁器タイル150×150貼り
増築：風除室
FIX
強化ガラスｔ5
既存天井一部補修
既存サッシ撤去の上
ＬＧＳ下地防水PB12.5下地ビニルクロス貼り
既存サッシ撤去の上
両引き分け自動ドアー取付
既存
アルミフロント材加工
EXP.Jアルミ金物（両面
3.3
10
336
30
450
170
540
2,100
2,120
2,500
1,800
4,250

特記事項	BIKEN 株式会社 建建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED ■	DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■
				ITEMS ■ 風除室、回廊・平面図、断面立面図	SCALE ■ A1：1／30, A3：1／60
					NO■ A－106

申請建築物（飲食テラス・新設）

新設：回廊（外廊下）

増築：風除室

雨水桝移動
既存雨水桝（700×700）グレーチング

スロープ

基礎ブロック300×300×300H

化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し
撥水材塗布

FW1

■凡例

土間コンクリート

D10-@200
ポリエチレンフィルムｔ0.15敷

F5配筋図

SUS装飾柱脚金物100角ＪＩＳG4305SUS304
フープD10-100@
無収縮モルタル t 30
化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し
撥水材塗布
4-D10
設計GL
アンカーボルト2-M12、L=400
ポリエチレンフィルムｔ0.15敷
D10-150@

FW1配筋図

1-D13
D10-@200
3-D13
ポリエチレンフィルムｔ0.15敷

F2・F3・F4配筋図

F1配筋図

基礎、スロープの部分は既存ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ撤去処分の上新設ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞブロック敷とする

スロープ仕上天端
FW1天端

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事） ITEMS ■ 回廊・基礎伏図	DATE ■ SCALE■ A1：1/60、1/20、A3：1/120、1/40	NO■ A－107

申請建築物（飲食テラス・新設）

新設：回廊（外廊下）

火打ち梁：杉KD材90×90

増築：風除室

EXP J

105×150【+50】

105×150【+450】

105×150

720

1,000

3,900　2,925　2,925　3,900

5,140

13,650

2,300

1,800

22,500

5,000

1,500

300　900　2,300　2,300　2,300　1,800

1,800　9,600

5,572　5,572

G　F　E　D　C　B

Y1

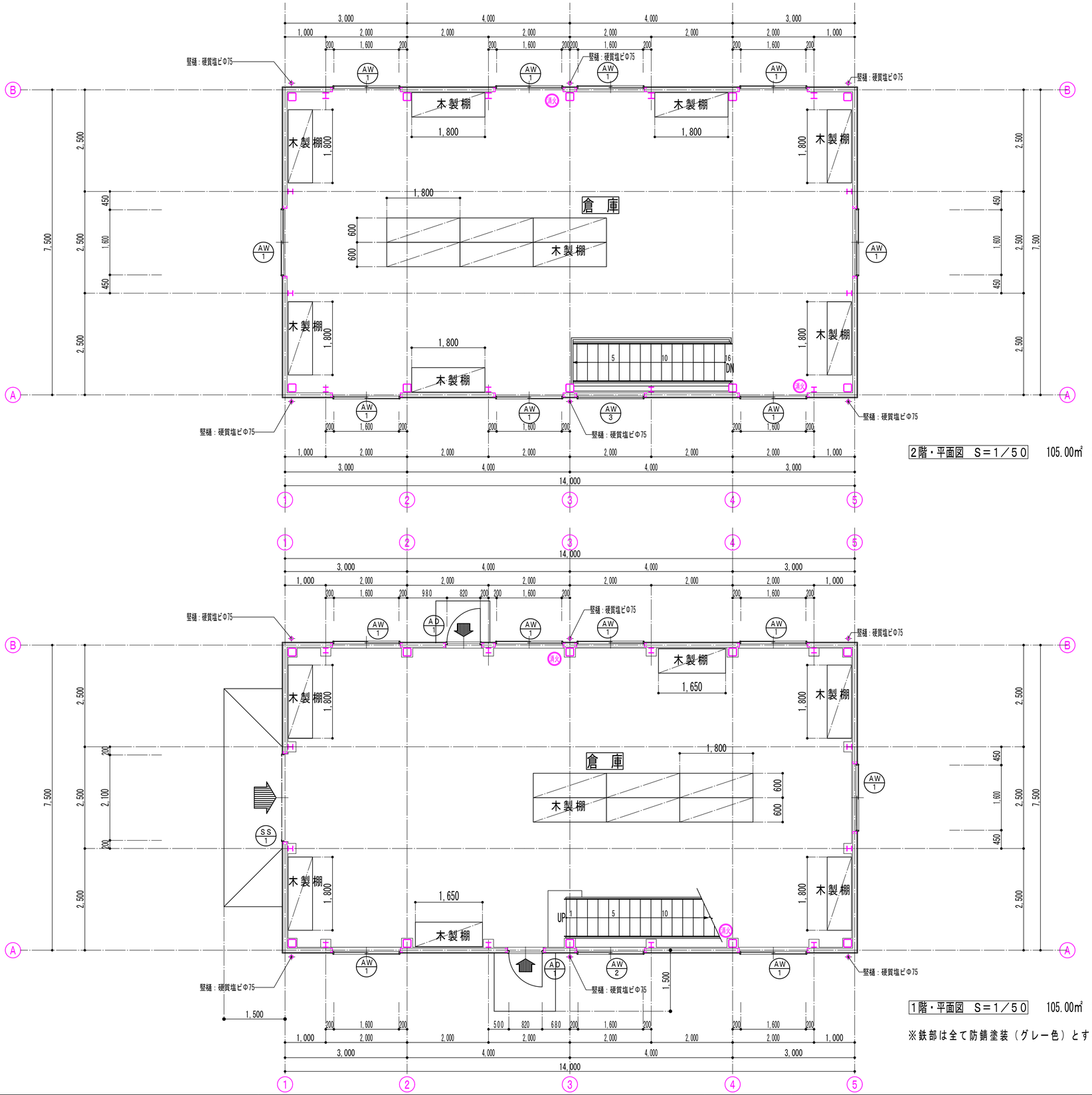
X1　X2　X3　X4　X5

4　5　6

凡例　※全てKD材とする

- 下部柱　105×105（杉一等品）
- 梁・桁　特記なきは巾105×せい105（せい）
- 棟木　120×120
- 垂木　45×54　@455以内
- 小屋化粧束　105×105
- ケラバ軒先
- 化粧火打ち梁　90×90
- 火打ち梁　90×90

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED ■ DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事） ITEMS ■ 回廊・梁伏図	DATE ■ SCALE■ A1：1/60、1/20、A3：1/120、1/40	NO■ A－108



2階・平面図　S＝1／50　　105.00㎡　31.72坪

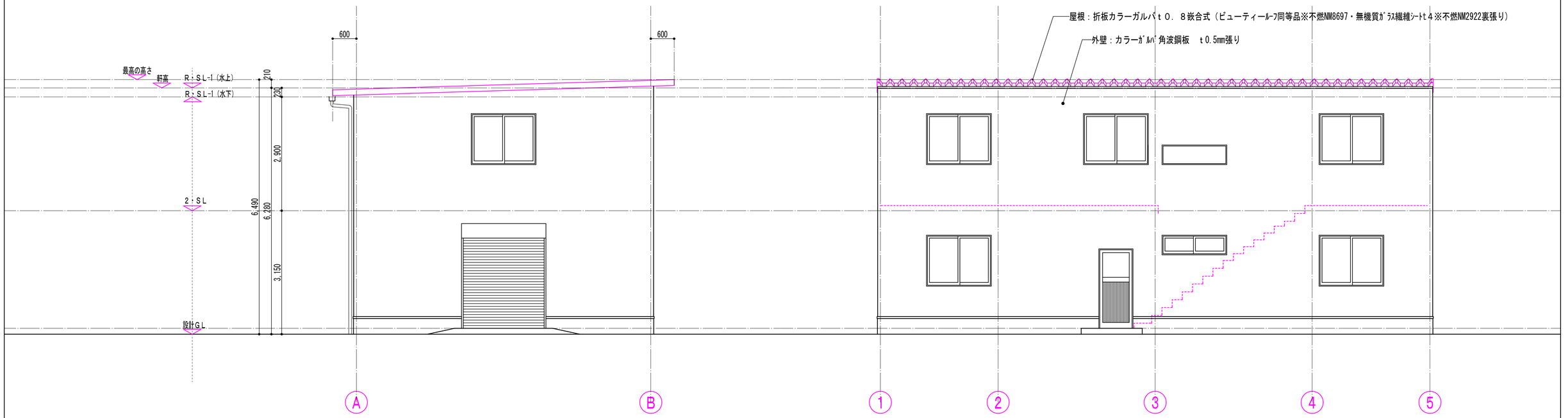
1階・平面図　S＝1／50　　105.00㎡　31.72坪

※鉄部は全て防錆塗装（グレー色）とする。

■凡例

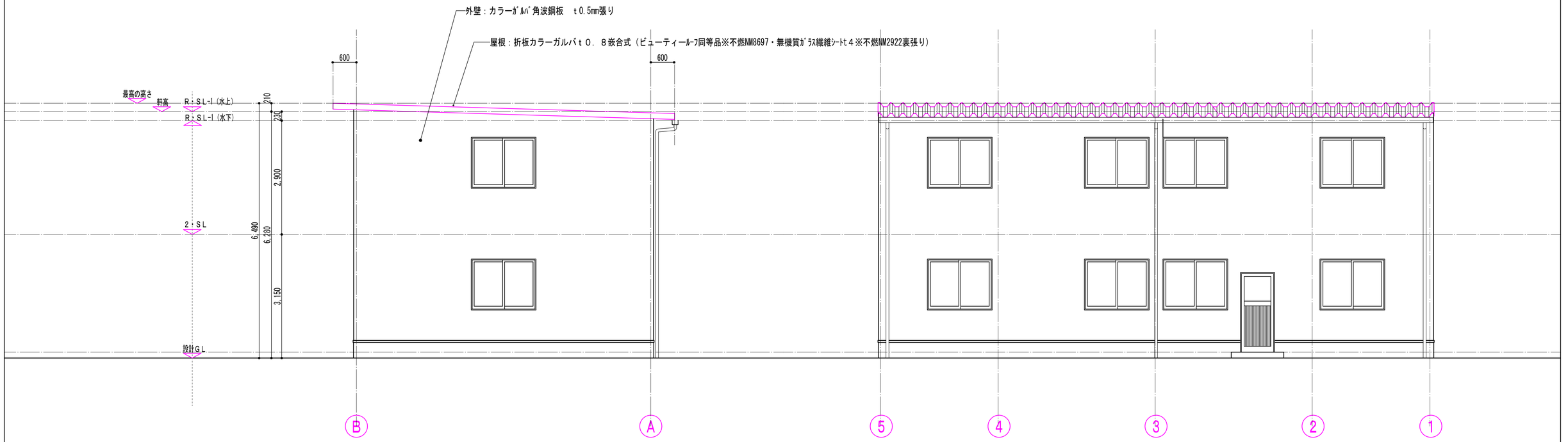
消火 消火器ＡＢＣ10型

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785	CHECKED ■ DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事） ITEMS ■ 倉庫1階・2階平面図	DATE ■ SCALE ■ A1：1／50, A3：1／100	NO■ A－109



西北・立面図　S＝1／50

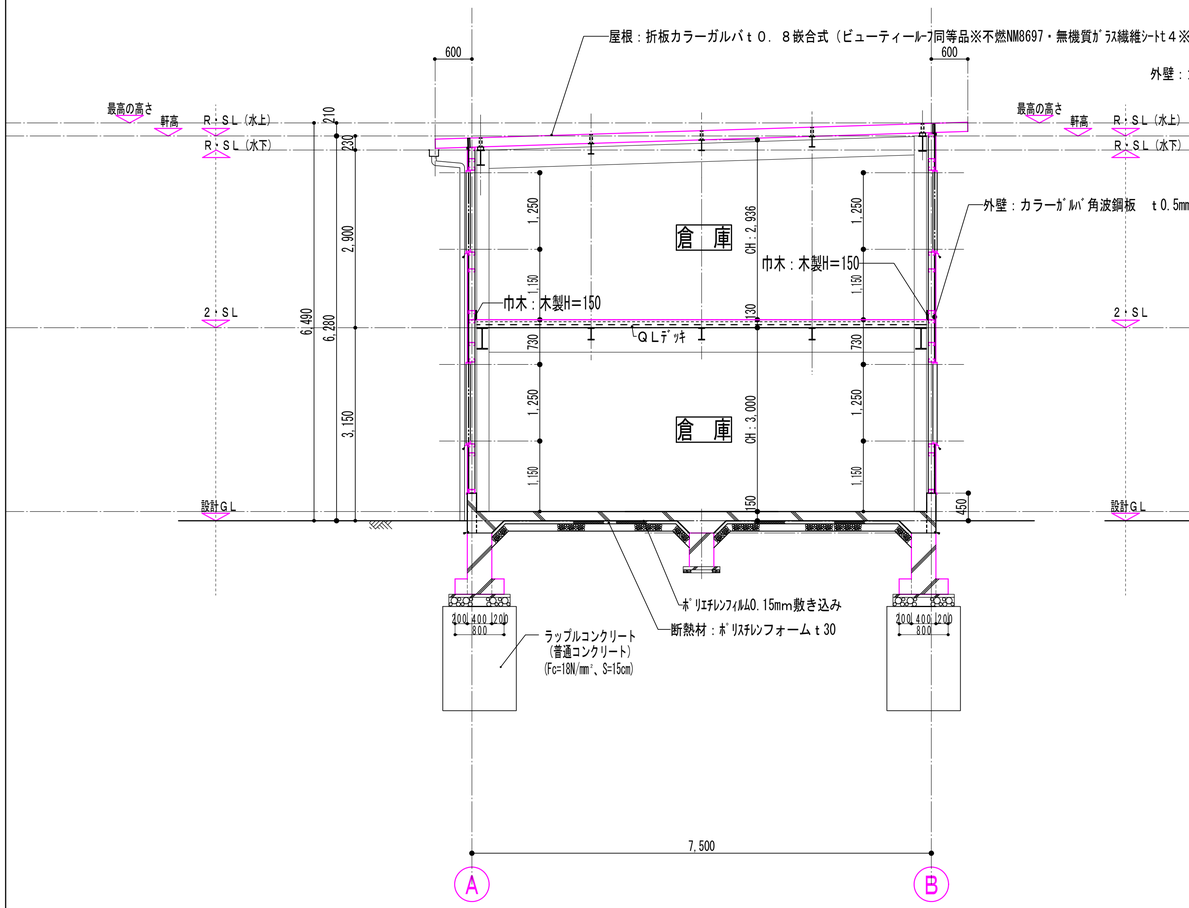
南西・立面図　S＝1／50



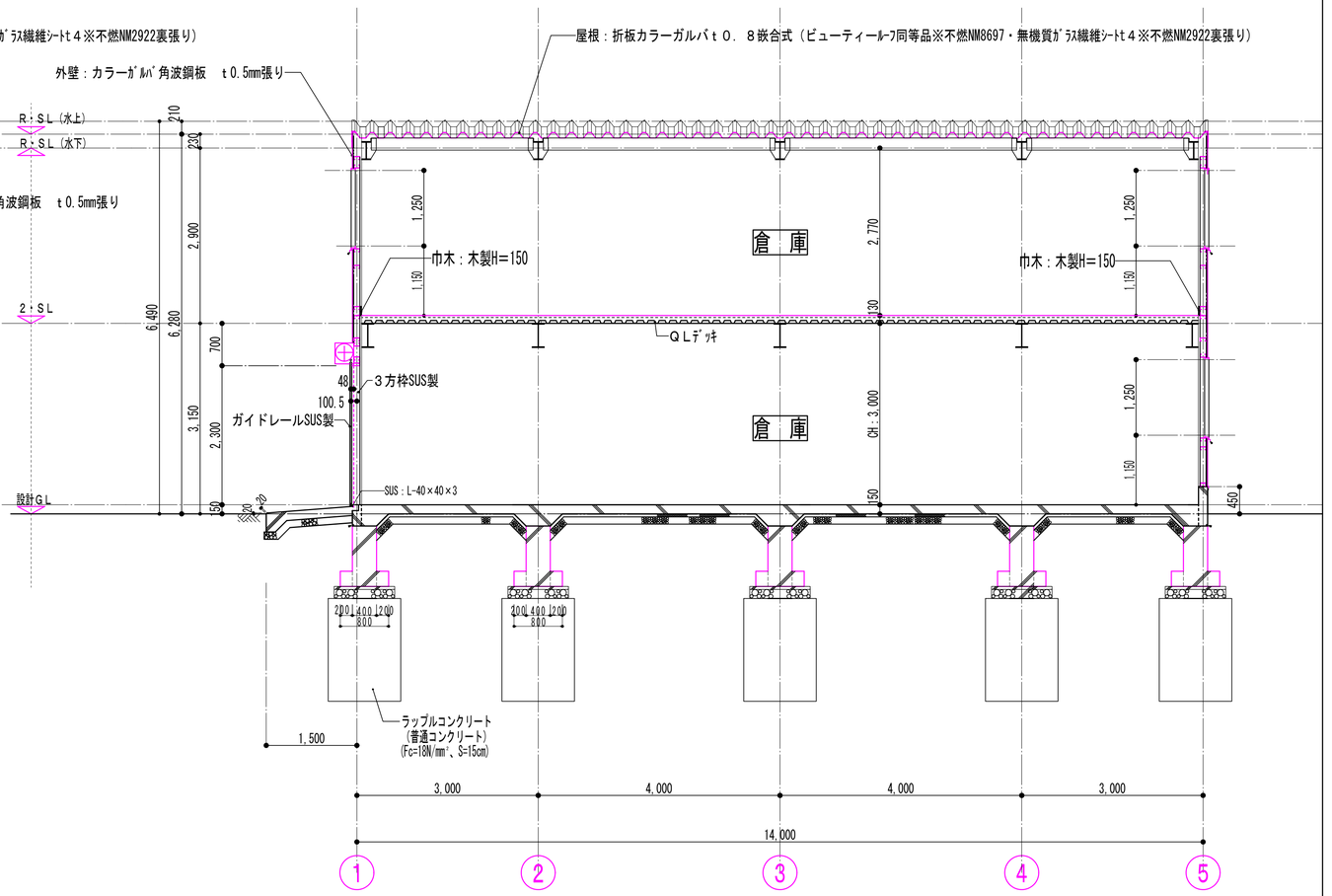
東南・立面図　S＝1／50

北東・立面図　S＝1／50

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 TEL. 0470-22-3764 千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 倉庫・立面図	DATE ■ SCALE ■ A1：1／50, A3：1／100	NO■ A－110

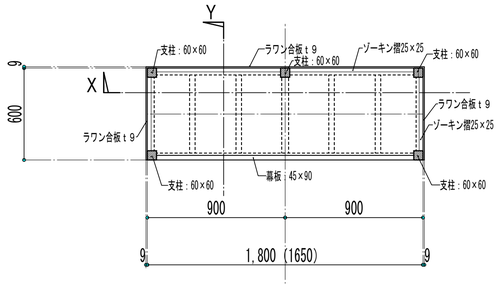


Y方向断面図　S＝1／50

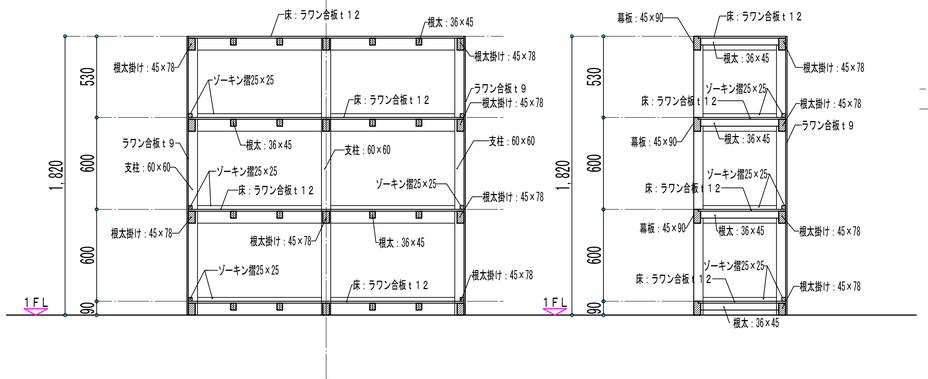


X方向断面図　S＝1／50

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎　一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事） ITEMS ■ 倉庫・断面図	DATE ■ SCALE ■ A1：1／50, A3：1／100	NO■ A－111

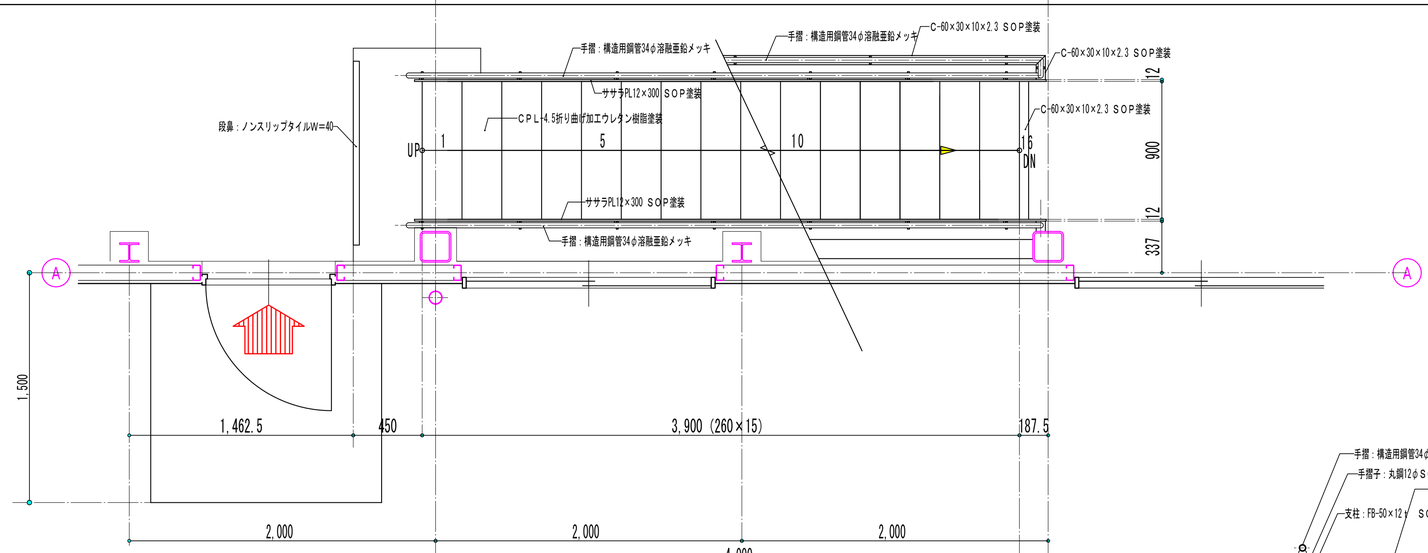


木製収納棚　平面詳細図　Ｓ＝１／２０

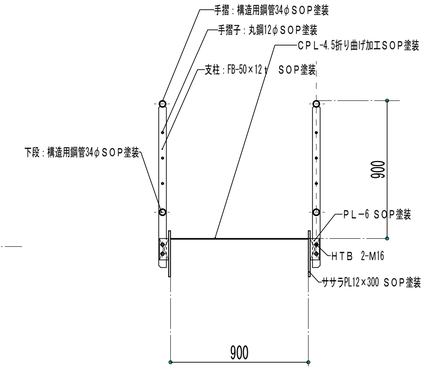


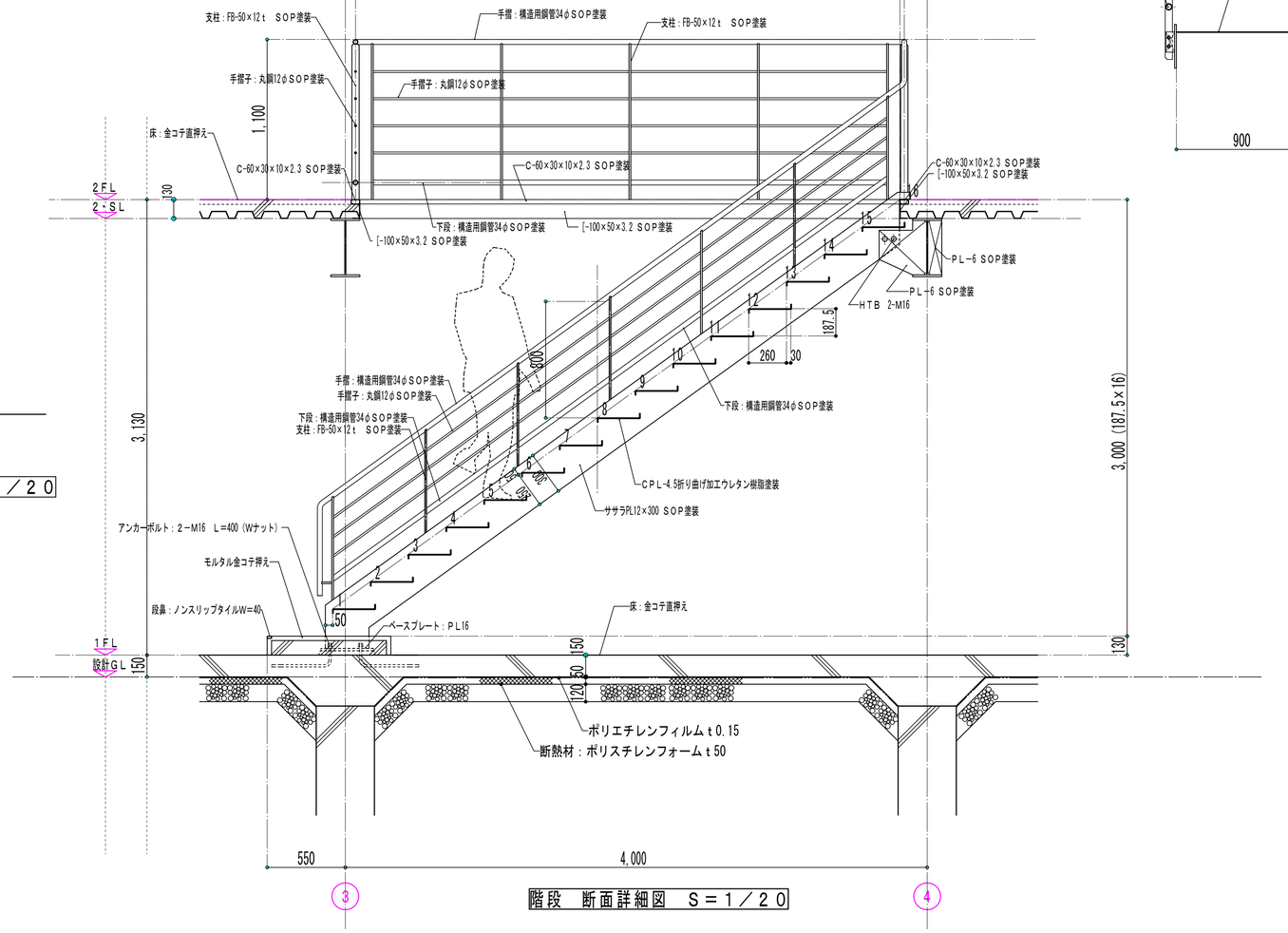
木製収納棚　Ｘ断面図　Ｓ＝１／２０

木製収納棚　Ｙ断面図　Ｓ＝１／２０



階段　平面詳細図　Ｓ＝１／２０

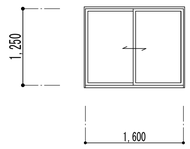
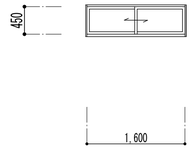
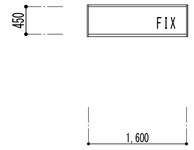


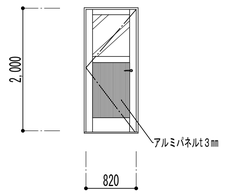


階段　断面詳細図　Ｓ＝１／２０

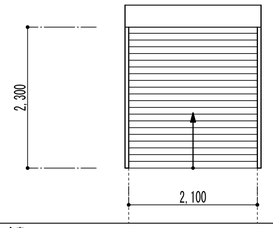
特記事項		〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事） ITEMS ■ 倉庫・階段詳細図、木製棚詳細図	DATE ■ SCALE ■ A1：1／20、A3：1／40	NO■ A－112

BIKEN 株式会社 美建設計

符号・数量	AW 1	16	AW 2	1	AW 3	1						3
姿図												
取付場所	1階、2階　倉庫		1階　倉庫		2階　倉庫							
型式	アルミ製鉄骨外付け引違い窓		アルミ製鉄骨外付け引違い窓		アルミ製鉄骨外付け引違い窓							
材質・仕上	アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理							
見込	７０		７０		７０							
ガラス	ＦＷＨｔ６．８㎜		ＰＷＨｔ６．８㎜		ＦＷＨｔ６．８㎜							
金物	標準金物一式、クレセント、網戸（サラン）		標準金物一式、クレセント、網戸（サラン）		標準金物一式							
備考												

符号・数量	AD 1	2	—
姿図			
取付場所	1階　倉庫		
型式	アルミ製鉄骨外付け片開きフロント框ドア		
材質・仕上	アルマイト処理		
見込	７０		
ガラス	ＦＷＨｔ６．８㎜		
金物	標準金物一式、丁番、シリンダー錠（内部ｻﾑﾀｰﾝ）		
備考	アルミパネルt３㎜		

符号・数量						
姿図						
取付場所						
型式						
材質・仕上						
見込						
ガラス						
金物						
備考						

符号・数量		SS 1	1	
姿図				
取付場所		1階　倉庫		
型式		軽量スチールシャッター		
材質・仕上		カラー塩ビ被覆鋼板		
見込		メーカー仕様		
ガラス				
金物		標準品一式、マグサ（SUS製）、ガイドレール（SUS製）、		
備考		耐風圧性能800Ｐａ		

略号	
ＷＤ	木製扉
ＷＷ	木製窓
ＷＧ	木製ガラリ
ＷＦ	木製枠
ＳＤ	鋼製扉
ＳＷ	鋼製窓
ＳＧ	鋼製ガラリ
ＳＳ	鋼製シャッター
ＳＦ	鋼製枠
ＳＰ	鋼製パーティション
ＡＤ	アルミ製扉
ＡＷ	アルミ製窓
ＡＧ	アルミ製ガラリ
ＡＳ	アルミ製シャッター
ＡＦ	アルミ製枠
ＳＳＤ	ステンレス製扉
ＳＳＷ	ステンレス製窓
ＳＳＧ	ステンレス製ガラリ
ＳＳＦ	ステンレス製枠
ＧＤ	ガラス戸
ＴＤ	強化ガラス扉
ＬＳＤ	軽量鋼製扉
Ｆ	襖
ＦＤ	戸襖
ＳＪ	障子
ＰＧ	合成樹脂製ガラリ
ＢＴ	防煙垂壁
ＴＢ	トイレブース
ＳＷＤ	自由扉
ＴＰ	トップライト
Ｐ	磨ガラス
ＦＬ	フロート板ガラス
Ｆ	型板ガラス
ＦＷＨ	網入型板ガラス
ＦＷＬ	線入型板ガラス
ＰＷＨ	網入磨ガラス
ＰＷＬ	線入磨ガラス
熱吸	熱線吸収ガラス
熱反	熱線反射ガラス
Ｔ	強化ガラス
ＨＴ	住宅用強化ガラス
ＧＢ	ガラスブロック
ＳＴ	ステンレス丁番
ＰＨ	ピボットヒンジ
ＦＨ	フロアヒンジ
ＦＯ	フランス落とし
ＤＣ	ドアチェック
ＬＨ	レバーハンドル
ＤＨ	ドアハンドル
ＣＨ	ケースハンドル
ＰＰ	引手押板
ＯＰ	オペレーター

特記事項

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045　TEL. 0470－22－3764
千葉県館山市北条1355－45　FAX. 0470－22－3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1－2310－9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

CHECKED　DRAWN
■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)

ITEMS ■ 倉庫・建具表

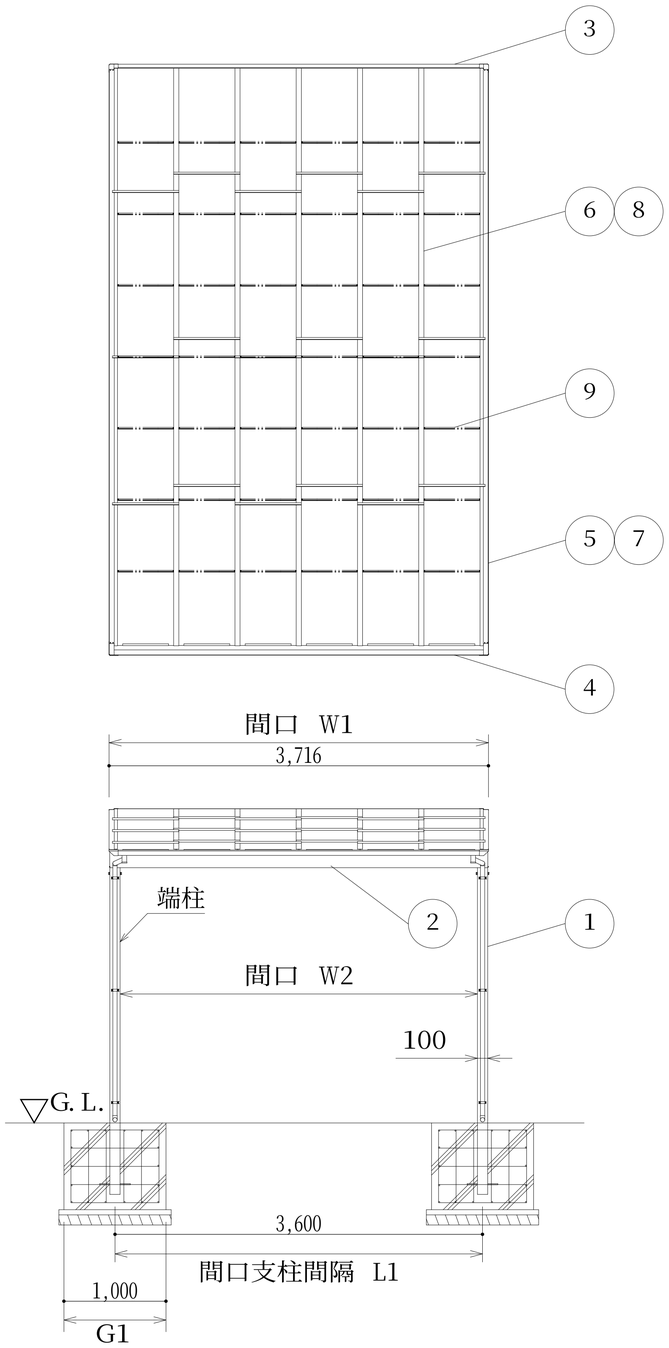
DATE ■

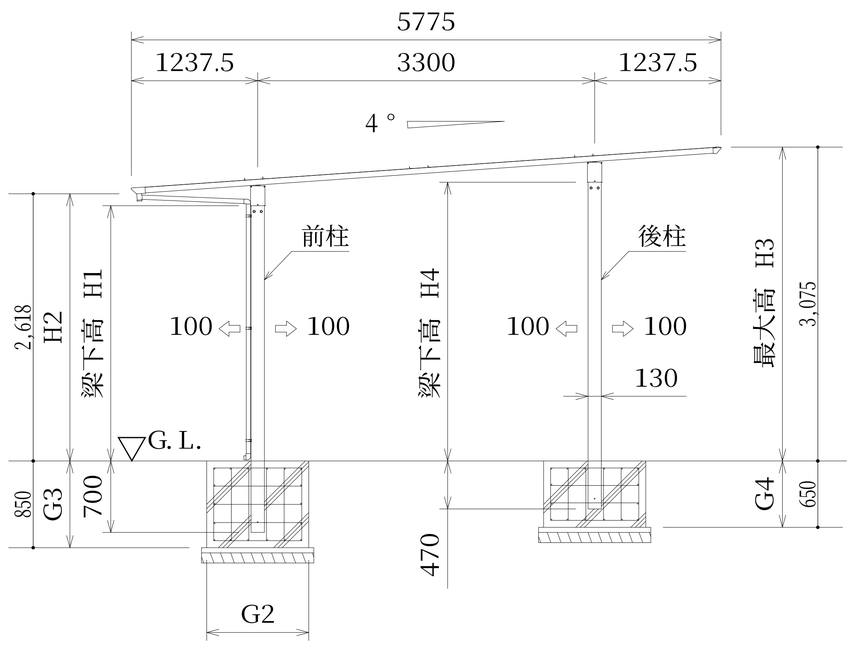
SCALE ■ A1：1／50, A3：1／100

NO■ A－113

据 付 図(S＝1/30)

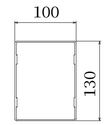
※図はUNF-3758



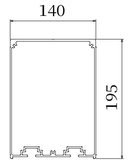


主要部材断面図(S＝1/10)

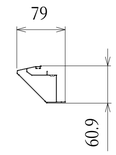
① 支柱



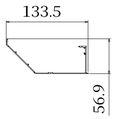
② 梁



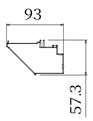
③ 水上枠



④ 水下枠



⑤ 端部垂木



⑥ 垂木



⑦ 端部屋根押え (S＝1/5)



⑧ 屋根押え (S＝1/5)



⑨ 中骨(S＝1/5)



※告示第408･409･410(750)号対応品

ボルト類	ステンレス
屋根材	アルミ板
⑨ 中骨	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
⑧ 屋根押え	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
⑦ 端部屋根押え	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
⑥ 垂木	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
⑤ 端部垂木	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
④ 水下枠	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
③ 水上枠	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
② 梁	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
① 支柱	陽極酸化･塗装複合皮膜アルミ押出形材
主要部材	仕様(材質･塗装)
型式コード	UNF-(P･K) □ UNFE－(P･K) □
商品名	ユニルーフF 基本セット(ポリカ屋根仕様)

型式コード	間口 W1 (mm)	間口 W2 (mm)	間口支柱間隔 L1 (mm)	梁下高 H1 (mm)	H2 (mm)	最大高 H3 (mm)	梁下高 H4 (mm)	基礎寸法(mm)			
								G1	G2	G3	G4
UNF-(P･K)3758	3716	3500	3600	2500	2618	3075	2734	1000	1000	850	650
UNFE-(P･K) □	上記寸法	上記寸法	上記寸法	上記寸法＋300	上記寸法＋300	上記寸法＋300	上記寸法＋300	上記寸法	上記寸法	上記寸法	上記寸法

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録
TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785 第1－2310－9001号 第246699号 岩崎 一博

CHECKED DRAWN ■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)

ITEMS ■ 身障者用駐車場上屋 詳細図

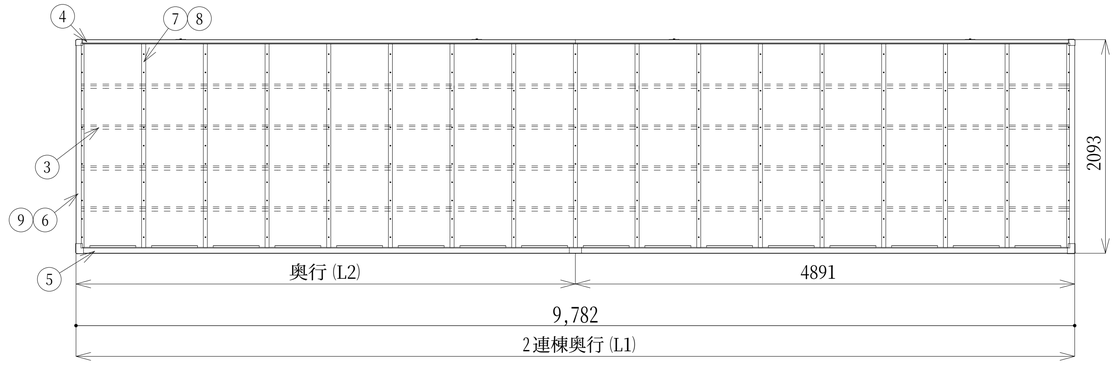
DATE ■

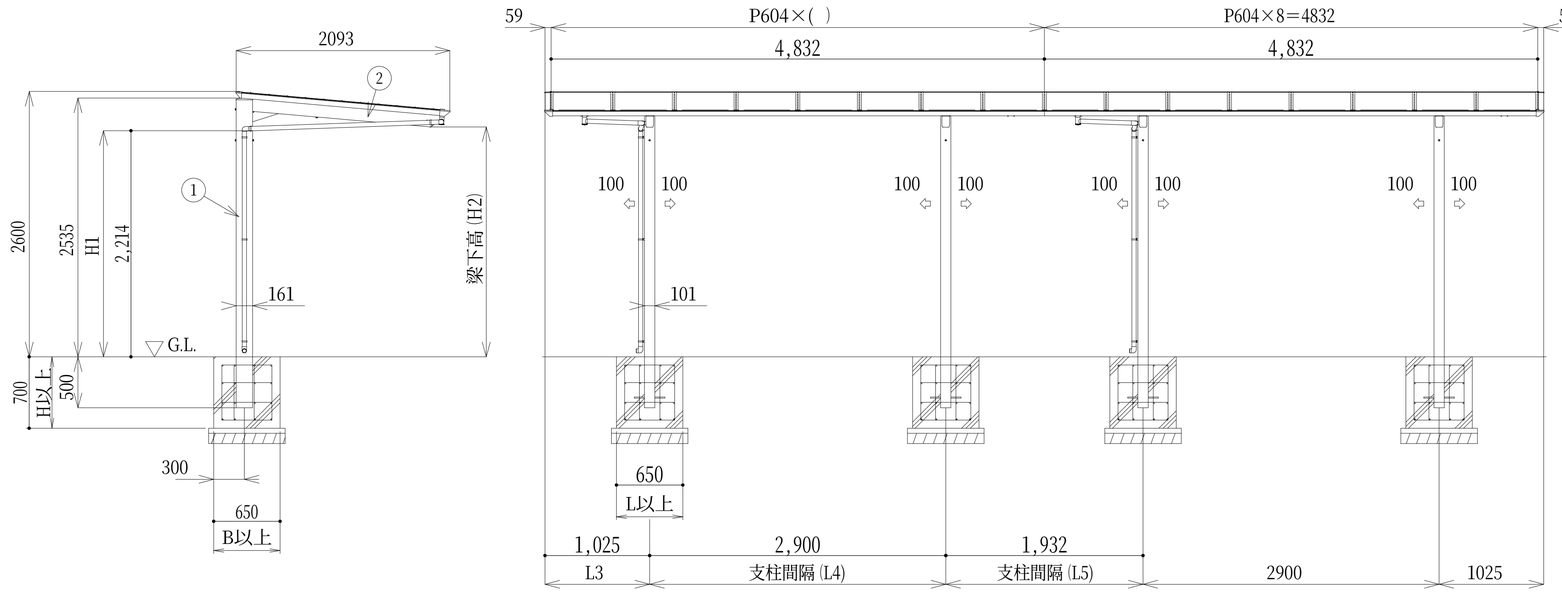
SCALE ■ A1：1／10, A3：1／20 A1：1／30, A3：1／60

NO■ A－114

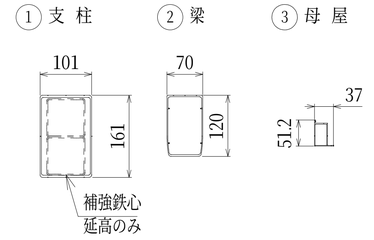
据 付 図(S＝1／30)

※図はSHGKS－2150＋LSHGKS－2150





主要部材断面図(S＝1／10)



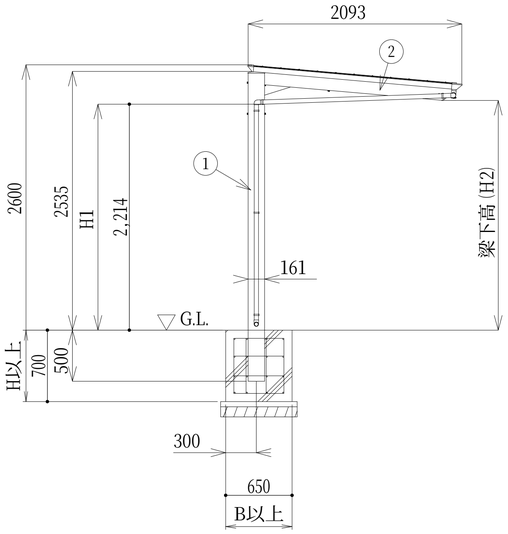
※告示第408・409・410(750)号対応品

ボルト類	ステンレス
屋根材	アルミ板 NM-8597
⑨ 端部屋根押え	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑧ 屋根押え	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑦ 小 梁	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑥ 側 枠	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑤ 後 枠	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
④ 前 枠	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
③ 母 屋	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
② 梁	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
① 支 柱	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
主 要 部 材	仕 様(材 質・塗 装)
型 式 コ ー ド	SHGKS(E)－ □ LSHGKS(E)－ □
スマートポートHG 片側支持タイプ ミニ 同等品 1500N/m²(基本セット+連棟ユニット)	

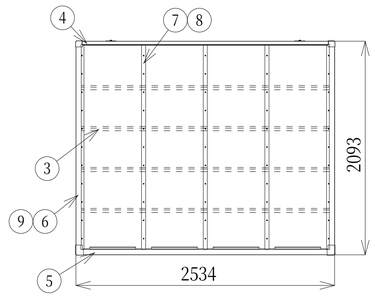
型式コード	2連棟奥行	奥 行		支柱間隔	支柱間隔		梁下高	側圧:地耐力×0.5 長期地耐力50kN/m² B	L	H	長期地耐力100kN/m² B	L	H	側圧:考慮なし 長期地耐力50kN/m² B	L	H	長期地耐力100kN/m² B	L	H
	L1(mm)	L2(mm)	L3(mm)	L4(mm)	L5(mm)	H1(mm)	H2(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
SHGKS -2150+LSHGKS -2150	9782	4891	1025	2900	1932	2215	2251	1050	600	700	650	650	700	1150	800	700	1100	800	700

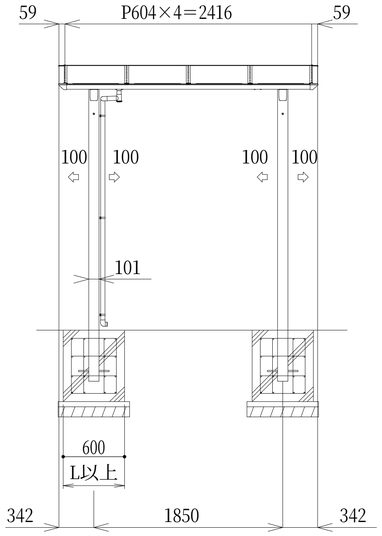
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 回廊2 詳細図	DATE ■ SCALE ■ A1：1／10, A3：1／20 A1：1／30, A3：1／60	NO ■ A－115

据 付 図(S＝1／30)



※図はSHGKS－2125

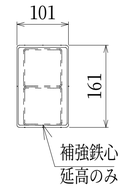




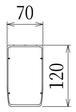
型式コード	H1(mm)	梁下高 H2(mm)	側圧:地耐力×0.5 長期地耐力50kN/m² B (mm)	L (mm)	H (mm)	長期地耐力100kN/m² B (mm)	L (mm)	H (mm)	側圧:考慮なし 長期地耐力50kN/m² B (mm)	L (mm)	H (mm)	長期地耐力100kN/m² B (mm)	L (mm)	H (mm)
SHGKS -2125	2215	2251	700	600	700	600	500	700	950	800	700	850	800	700

主要部材断面図(S＝1／10)

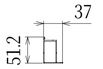
① 支 柱



② 梁



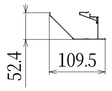
③ 母 屋



④ 前 枠



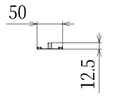
⑤ 後 枠



⑥ 側 枠



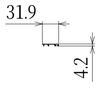
⑦ 小 梁



⑧ 屋根押え



⑨ 端部屋根押え



※告示第408・409・410(750)号対応品

ボルト類	ステンレス
屋根材	アルミ板 NM-8597
⑨ 端部屋根押え	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑧ 屋根押え	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑦ 小 梁	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑥ 側 枠	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑤ 後 枠	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
④ 前 枠	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
③ 母 屋	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
② 梁	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
① 支 柱	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
主要部材	仕 様(材 質・塗 装)
型式コード	SHGKS(E)－
商 品 名	スマートポートHG 片側支持タイプ ミニ 1500N/m²(基本セット)

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470-22-3764
FAX. 0470-22-3785

CHECKED DRAWN ■

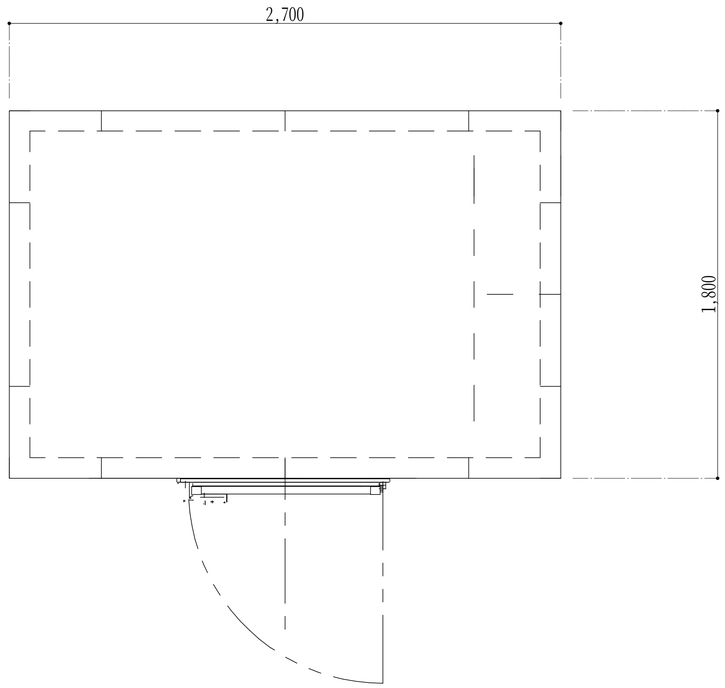
PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)

ITEMS ■ 喫煙所 詳細図

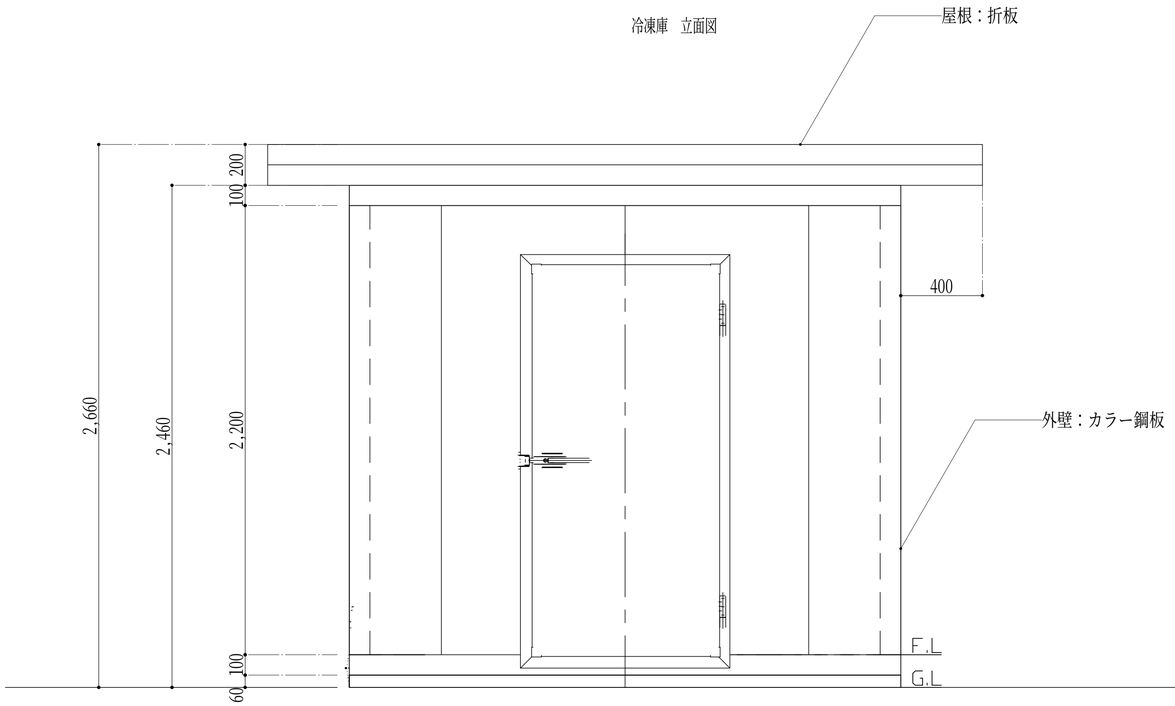
DATE ■

SCALE ■ A1：1／10, A3：1／20
A1：1／30, A3：1／60

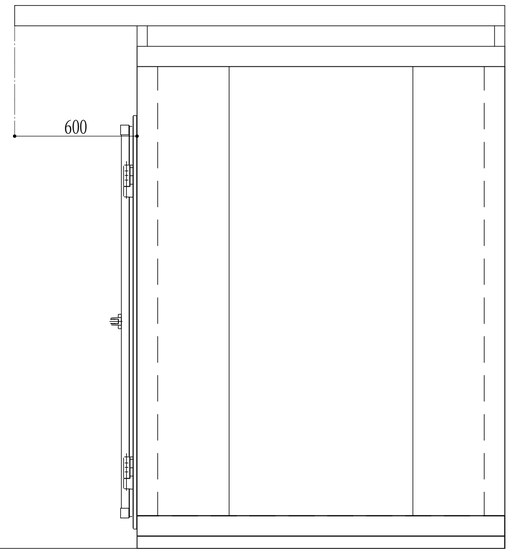
NO ■ A－116



冷凍庫　立面図



冷凍庫　立面図



冷凍庫　立面図

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 一級建築士事務所	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 冷凍庫　平面図・立面図	DATE ■ SCALE ■ A1：1/15, A3：1/30	NO ■ A－117

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ◉ 印を記入する。

1．建築物の構造内容

（1）建築場所　*****
（2）工事種別　◉新築　□増築　□増改築　□改築
（3）構造設計一級建築士の関与　□必要　◉必要としない
□ 法第２０条第一号（高さ 60m 超）
□ 法第２０条第二号（□RC造の高さ20m超　□S造4階建以上　□ 木造高さ16m超　□ その他）
（4）構造種別
□木造(W)　□補強コンクリートブロック造(CB)　◉鉄骨造(S)
□鉄筋コンクリート造(RC)　□壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
□鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)
□プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC)　□
（5）階 数
1 棟　地下 0 階　地上 1 階　塔屋 0 階
（6）主要用途　飲食テラス
（7）屋上付属物
□高架水槽　kN　□キュービクル　kN　□広告塔　□煙 突
（8）特別な荷重
□エレベータ　人乗(ﾏｼﾝﾙｰﾑﾚｽ ﾛｰﾌﾟ式 油圧式)　□リフト　kN　□ホイスト　kN
□倉庫積載床用　N/m²　□受水槽　kN　□
（9）付帯工事
□門塀　□擁壁　□駐輪場　□機械式駐車場　□　□
（10）増築計画　□有（　）　◉無
（11）構造計算ルート　X方向ルート 1 －(2)　Y方向ルート 1 －(2)

2．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（1）コンクリート(レディーミクストコンクリート JIS Q 1001,JIS Q 1011,JIS A 5308)

適用箇所	種 類	設計基準強度 Fc=N/mm²	品質基準強度 Fq=N/mm²	スランプ cm	備 考
□	合成デッキ床	□普通□軽量	21	24	15	
□	デッキ床(ﾚﾍﾞﾃﾞｯｷ等)	□普通□軽量	24	24	18	
□	1階床(構造ｽﾗﾌﾞ)	□普通	24	24	15	
◉	基礎・基礎梁	◎普通	24	24	18	
□	杭	□普通	30	30	18	
◉	土間コンクリート	◎普通	21	——	18	
□	押えコンクリート	□普通□軽量	18	——	15	
◉	捨てコンクリート	◎普通	18	——	15	
□			18	——	18	

混和材料の種類(JIS　)　◎ＡＥ減水剤　□高性能ＡＥ減水剤　□　□
呼び強度を保証する材齢、養生　◎材齢（◎ 28日　□ 56日　□　□ ）　◎養生（□ 現場封かん　□ 現場水中　◎ 標準　□ ）

◉単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

（2）コンクリートブロック(□ JIS A 5406)
□A種　□B種　□C種　厚　□100　□120　□150　□190　（使用箇所□　□ ）

（3）鉄 筋

種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	◎SD295	D10 ～ D16	壁・スラブ筋等	◎重ね継手(D10 ～ D16) ◎ガス圧接継手(D19以上)
	□			
	◎SD345	D19 ～ D25	柱・梁主筋等	□溶接継手
	□SD390			□機械式継手
	□			（ ）
高強度せん断補強筋	□ 材種			各継手の使用詳細については本仕様5.(2)鉄筋の項の鉄筋継手等の◎にて表示すること。
	□ 大臣認定番号MSRB-			
丸 鋼(JIS G 3112)	□SR235			
溶接金網(JIS G 3551)	□			

（4）鉄 骨

種 類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
◎SS400 □SM400 □SN400 A,B,C	梁・プレート等	□有 ◎無	
□SS400 □SM400 ◎SN400 A,B,C	内ダイヤフラム等	□有 ◎無	
◎STKR400 □STKR490 □	柱	□有 ◎無	
□BCR295 □BCP235 □BCP325		□有 □無	
□SM490 A □SN490 B ◎SN490 C	通しダイヤフラム	□有 ◎無	
□SSC400 □		□有 □無	
溶接材料 □JIS Z			

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

（5）ボルト
◉高力ボルト
□F10T(JIS B1186) ◉S10T認定番号( )　□F8T認定番号( )(◉M16 ◉M20 □M22 □M24)
◉ボルト(JIS B1180) M 12　M　□4.8(4T)　□
□アンカーボルト
□SS400　M　L=　mm　ナット（□シングル、□ ダブル）
□　M　L=　mm　ナット（□シングル、□ ダブル）
□頭付スタッドボルト
φ=　M　L=　mm　使用箇所（□柱　□大梁　□小梁）
φ=　M　L=　mm　使用箇所（□柱　□大梁　□小梁）

（6）屋根、床、壁

材 種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ＡＬＣ (JIS A 5416)	厚	□壁 □床版	□スライド □ボルト止め □ロッキング □
折 版	H= 80 厚 0.8	◉屋根 □	□
特殊デッキプレート(JIS G 3352)	型式	□床版 □	□
デッキプレート (JIS G 3352)	型式 厚	□床版 □	□
キーストンプレート(JIS G 3352)	型式 厚	□床版 □	□

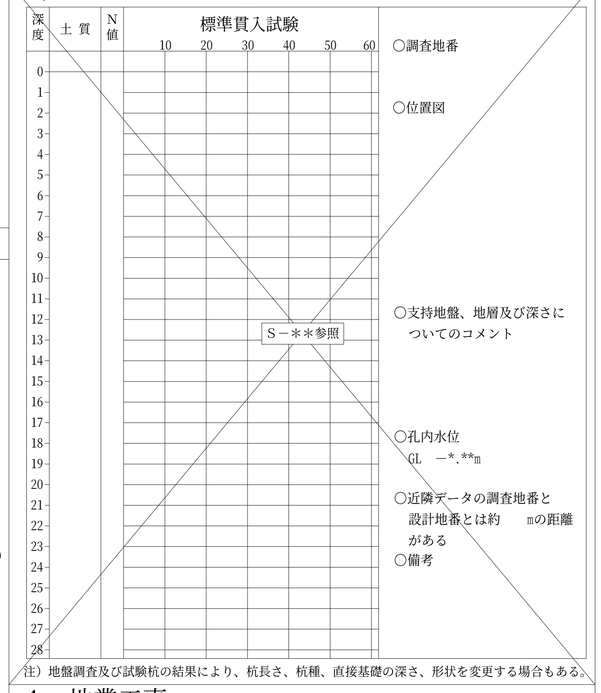
3．地 盤

（1）地盤調査資料と調査計画
◉有（ ◉敷地内 □近隣）　□無（調査計画 □有 □無）

調 査 項 目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定		
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			PS検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（2）ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎、杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

（1）直接基礎　□ベタ基礎　□布基礎　□独立基礎　試験堀 □有 □無
深さGL- m 、支持層－ 、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 □有 □無
（2）地盤改良　□浅層混合処理工法　□深層混合処理工法　□
深さGL- m 、支持層－ 載荷試験 □有 □無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2018」を参考とする
（3）杭基礎　支持層－

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
□RC □PRC	PRC（□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種）	□打ち込み	
□PHC □Ⅱ鋼	PHC（□A種 □B種 □C種）	□埋込み（セメントミルク工法）	
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 □STK400 □STK490	□工法名（ ）	認定第 号
□SC杭 □	□JIS	□	年 月 日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc N/mm² Fq N/mm²	□オールケーシング □拡底杭 □リバースサーキュレーション	
	スランプ cm以下	□アースドリル □ミニアース	認定
	セメント量 kg/m³	□BH □深礎 □手掘	第 号
	単位水量 kg/m³	□機械掘	年 月 日
	鉄 筋 主筋 SD HOOP SD		

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□ 有 □無）（□打ち込み □載 荷 □孔壁測定 □支持層確認）　本

杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)	本数	特記事項
＊＊＊	＊＊＊	GL-＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

5．鉄筋コンクリート工事（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度(Fc)が36N/mm²以下に適用し、鉄筋の材種はSD390以下に適用する。

（1）コンクリート
◉ コンクリートはJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5(2022)による。
◉ 耐久設計基準強度Fd　□ 短期　◉ 標準　□ 長期　□ 超長期
◉ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごと撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
◉ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T-603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打込み量が150m³を超える場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。尚、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
◉ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分以内、25℃以上の場合は120分以内とする。
◉ コンクリート打込み中及び打込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにする。
◉ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

（2）鉄 筋
◉ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5による。
◉ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定される1種1号適合品とする。
◉ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
◉ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1)引張力最小部位	(2)(1)以外の部位(注) A級	B級	SA級	鉄筋の径	使用箇所
◎重ね継手	標準図による				◎D(16)以下	壁・スラブ筋等
◎圧接継手	◎告示1463号第2項各号	□			◎D(19)以上	柱・梁主筋等
□溶接継手	□告示1463号第3項各号	□	□		□D( )以上	
□機械式継手	□告示1463号第4項各号	□	□	□	□D( )以上	

注）(1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手仕様基準（建築物の構造関係技術基準解説書2020）』によって検討した部材の条件・仕様によること。
◉ D19未満は、すべて重ね継手ととする。
◉ 継手部分の施工要領は 社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法：・外観検査 ◉有 □無
・超音波探傷試験 ※有 □無（1検査ロット30箇所とする）
・引張試験 ※有 □無（引張試験有の場合、1検査ロット3本とする。建設地東京の場合、1検査ロット5本とする。）
注）1 ※ の検査のいずれかを行う。検査の種類は監理者の承認を得て決定すること。
注）2 建設地が東京都でありガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。
注）3 1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする。
◉ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、□H型(タガ型) □W型(溶接型) □S型(スパイラル型)とする。
□ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第４条の試験機関で行うこと。
試験・検査機関名　（都知事登録　号）
代行業者名
代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

（3）型 枠
◉ 材料　合板厚 12mm を標準とする。　◉ 施工 JASS5 による。
◉ 型枠存置期間

種類 部位	せき板 基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		支 柱 スラブ下		はり下	
セメントの種類 / 平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
コンクリートの材令(日) 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm²		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%	

注）1 片持ばり、庇、スパン 9.0m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
注）7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事（施工方法等計画書）

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
◉ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
（2）工事監理者の承認を必要とするもの
◉ 製作工場　◉ 製作要領書　◉ 工作図　◉ 施工計画書
◉ 認定または登録工場（大臣認定 S H ㊊ R J グレード　都登録 T1 T2 T3 ランク）
◉ 材料規格証明書※、または試験成績書
◉ 鋼材　◉ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ 頭付スタッド
※社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
◉ 社内検査表　□　□
（3）工事監理者が行う検査項目
（■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 現寸検査　□ 組立・開先検査　◉ 製品検査　◉ 建方検査　□
（4）接合部の溶接は下記によること
◉ 平成12年建設省告示第1464号 第二号 イ、ロ
◉ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」
（5）接合部の検査
◉ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検 査 箇 所	検 査 方 法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備 考
◎完全溶込み溶接部（突合せ溶接）□	外観検査（※）	100 %	30 %	結果承認	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）（注）東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する
	超音波探傷検査	100 %	30 %	結果承認	
	内質検査(注) □硬さ試験	%個	%個		
	内質検査(注) □示温塗料塗布	%個	%個		
	マクロ試験・その他	個	個		
◎隅肉溶接部	外観検査（※）	100 %	30 %	結果承認	
□スタッド溶接	曲げ打撃試験 1本/100本につき				
第三者検査機関名	（都知事登録 号）				

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注１）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
◉ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□ 要　◉ 否　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　◉ 否
◉ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
◉ トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

（6）防錆塗装
◉ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めのペイントは、◉JIS K 5674　□　□　□　を使用して4つ星 2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
◉ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。
◉ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めは、溶融亜鉛メッキA種(HDZ55)とする。
◉ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行う。
（7）耐火被覆の材料
□

7．設備関係 (令第１２９条の２の３の事項)

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
◉ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部および緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
◉ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するもの(以下「屋上水槽等」という。)は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備＊を除く。）は、
◉ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
◉ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
◉ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
◉ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
◉ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあっては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
◉ 給湯設備＊は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kg を超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
＊「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの
◉ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
◉ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8．その他

◉ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

飲食テラス

一級建築士登録　第296599号 秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録
TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785 第1－2310－9001号 第246699号 岩崎 一博

CHECKED DRAWN ■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 構造設計標準仕様

DATE ■ 2026.02.12
SCALE ■ NO SCALE

NO ■ S－01

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

（１）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
（２）記号
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値(径)　　D…部材の成、又は鉄筋内法直径
@…間隔　r…半径　℄…中心線　do…部材間の内法距離　ho…部材間の内法高さ
ST…あばら筋　　HOOP…帯筋　　S.HOOP…補強帯筋

2. 鉄筋加工

（１）鉄筋の折り曲げ加工

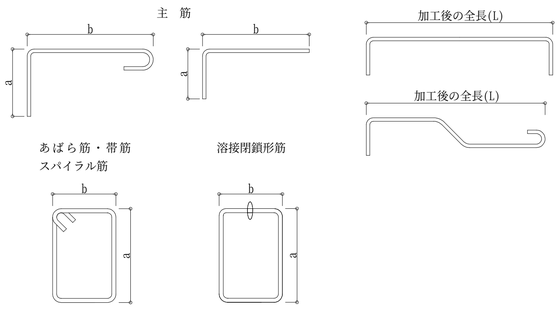
図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
180°：余長4d以上	180° 135° 90°	SD295 SD345	D16以下	3d以上
			D19～D41	4d以上
135°：余長6d以上		SD390	D41以下	5d以上
90°：余長8d以上	90°	SD490	D25以下	
			D29～D41	6d以上

[注] (1) dは呼び名に用いた数値とする。
(2) スパイラル筋の重ね継手部に90°フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
(3) 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
(4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
(5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
(6) SD490の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

（２）加工寸法の許容差　(mm)

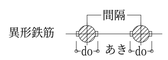
項目			符号	許容差
各加工寸法(1)	主筋	D25以下	a,b	±15
		D29以上D41以下	a,b	±20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋		a,b	± 5
加工後の全長			L	±20

[注] (1) 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



（３）鉄筋のあき

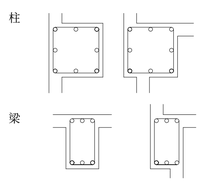
異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。



（４）鉄筋のフック

a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
a．あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
b．煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
c．柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分
　および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)
d．単純梁の下端筋
e．その他、本配筋標準に記載する箇所

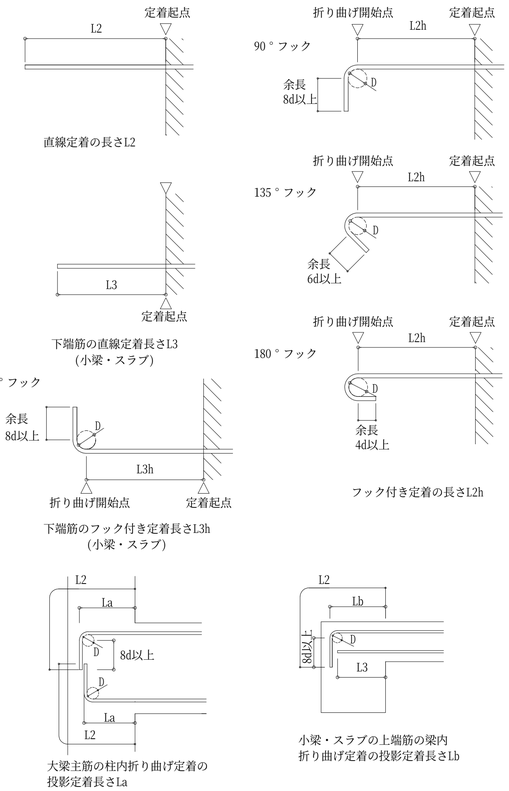
図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



（５）定着長さ　(軽量コンクリートでは5dを加算する。)

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	定着の長さ 一般 L2 (フックなし)	一般 L2h (フックあり)	一般 La(3) (3/4・D以上)	一般 Lb	小梁下端筋 L3 (フックなし)	小梁下端筋 L3h (フックあり)	スラブ下端筋 L3 (フックなし)
SD295	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	15d	15d			
	24～27	30d	20d	15d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	25d	15d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d			
	21	35d	25d	20d	20d			
	24～27	35d	25d	20d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	30d	20d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d			
	24～27	40d	30d	20d	20d			
	30～36	35d	25d	20d	15d			
	39～45	35d	25d	15d	15d			
	48～60	30d	20d	15d	15d			
SD490	24～27	45d	35d	25d	-	-	-	-
	30～36	40d	30d	25d	-			
	39～45	40d	30d	20d	-			
	48～60	35d	25d	20d	-			

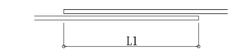
[注] (1) フック付き鉄筋の定着長さはL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
(2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
(3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さはL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするとともに、水平投影長さはLa以上とし、余長を8d以上とする。
尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
(4) 耐圧スラブの下端筋の定着長さは一般定着L2とする。



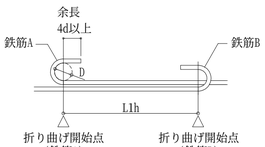
（６）継手

■重ね継手　（軽量コンクリートでは5dを加算する。）

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	重ね継手長さ L1 (フックなし)	重ね継手長さ L1h (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24～27	35d	25d
	30～36	35d	25d
	39～45	30d	20d
	48～60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24～27	40d	30d
	30～36	35d	25d
	39～45	35d	25d
	48～60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24～27	45d	35d
	30～36	40d	30d
	39～45	40d	30d
	48～60	35d	25d
SD490	24～27	55d	40d
	30～36	50d	35d
	39～45	45d	35d
	48～60	40d	30d



直線重ね継手の長さL1

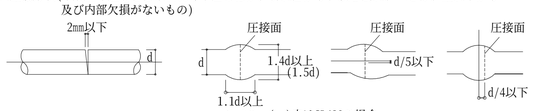


フック付き重ね継手の長さL1h

[注] (1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
(2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
(3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

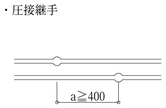
■継手に関する注意点
1．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
2．D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
3．鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
4．ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

・ガス圧接形状(平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの)

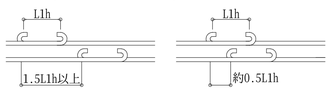


( )内はSD490の場合

・圧接継手



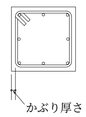
・重ね継手(下図のいずれかとする)フックなしの場合はL1hはL1



5．溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定等を受けたA級継手工法とする。
6．非破壊検査は工事監理者が承諾した信頼できる検査機関で行うこと。

（７）かぶり厚さ(単位：mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



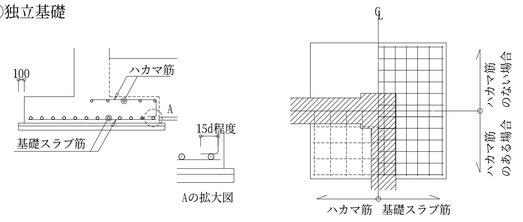
部位			設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ・床スラブ・非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40(1)	30 (20)
	柱・はり・耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50(2)	40(1)(30)
	擁壁		50	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40
	基礎・擁壁		70	60

[注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、構造設計者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、構造設計者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) ( ) 内は仕上げがある場合。

3. 杭・基礎　(配筋については地震力等の水平力を考慮して別途検討すること)

（１）直接基礎

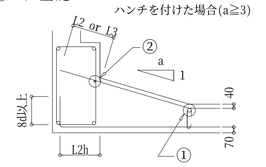
①独立基礎



（１）直接基礎（続）

②ベタ基礎

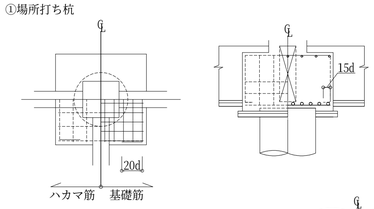
ハンチを付けた場合(a≧3)



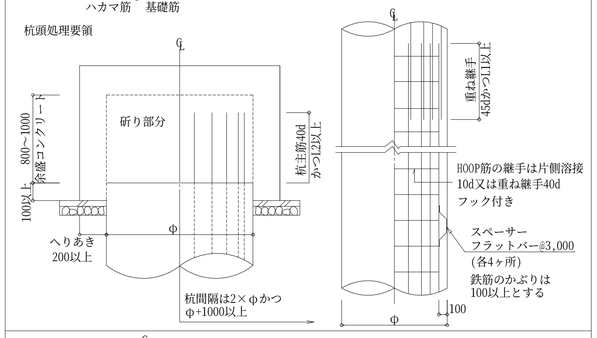
1．耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
　但し上筋と下筋を読みかえる
2．①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3．②の鉄筋はD13以上
4．埋戻し土のある場合は40を70とする

（２）杭基礎

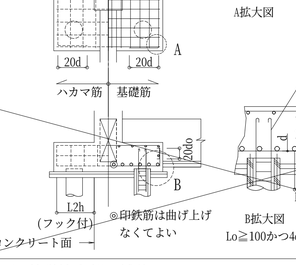
①場所打ち杭



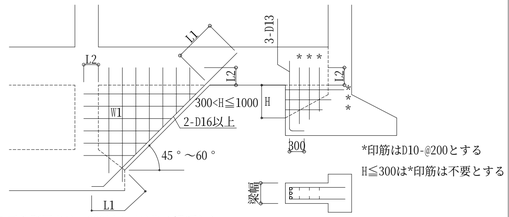
杭頭処理要領



② 既成杭



（３）基礎接合部の補強



W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう

飲食テラス

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

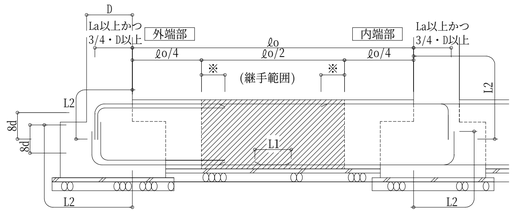
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.02.06	NO ■ S－02
				ITEMS ■ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	SCALE ■ NO SCALE	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

4. 地中梁

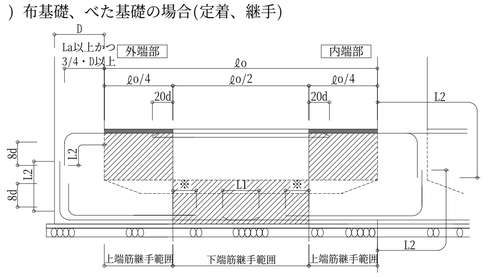
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)

(長期荷重が支配的な場合の継手は6.(2)大梁継手位置とする。)



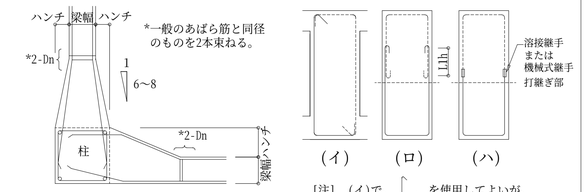
※主筋のカットオフ長さは ℓo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



※主筋のカットオフ長さは ℓo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (4) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

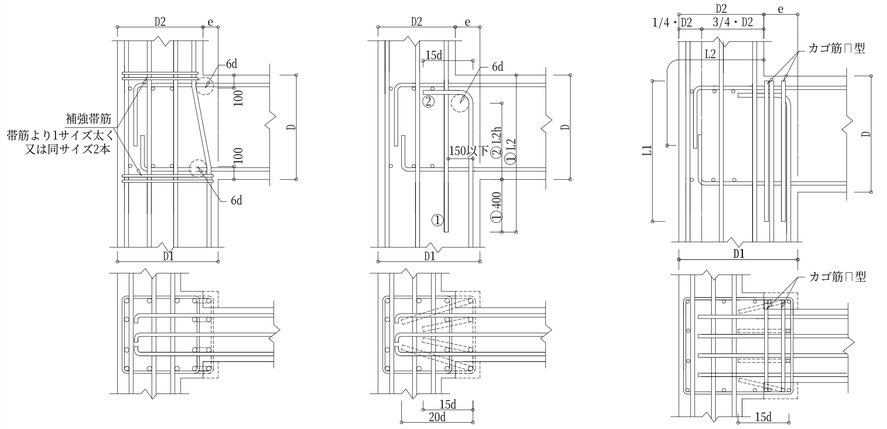


*一般のあばら筋と同径のものを2本束ねる。

[注] (イ)で、 を使用してよいが、
は使用してはいけない。

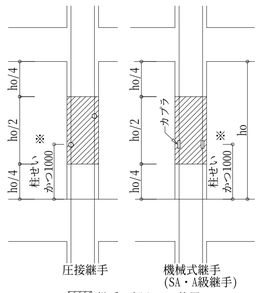
(ロ)では、あばら筋の継手は
180°フック付きとする。

(6) 絞り



5. 柱

(1) 柱主筋の継手位置

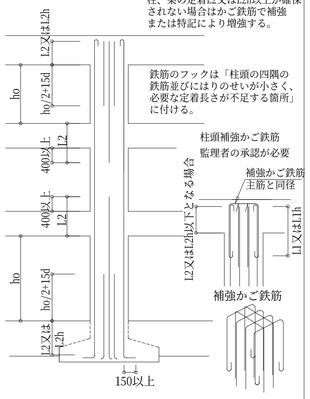


継手の好ましい位置

※柱せいが1.0mを超える場合の1階の継手位置は特記による。

(2) 柱主筋の定着

柱、梁の定着L2又はL2h以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強または特記により増強する。

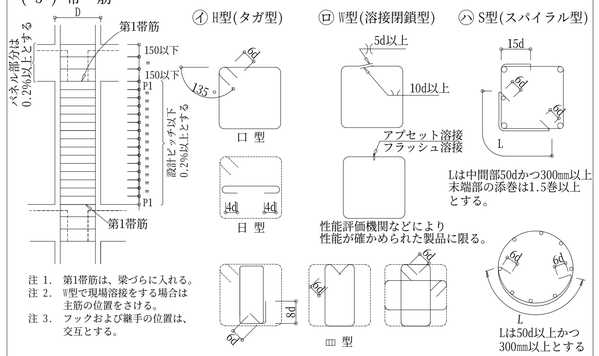


鉄筋のフックは「柱頭の四隅の鉄筋並びにはりのせいが小さく、必要な定着長さが不足する箇所」に付ける。

柱頭補強かご鉄筋
監理者の承認が必要

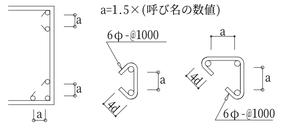
補強かご鉄筋
主筋と同径

(3) 帯筋

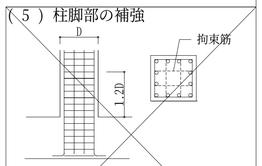


注 1. 第1帯筋は、梁づらに入れる。
注 2. W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける。
注 3. フックおよび継手の位置は、交互とする。

(4) 寄せ筋の保持



(5) 柱脚部の補強



1階柱脚の主筋は梁上から柱せいの1.2倍の範囲を拘束筋で拘束する。

拘束筋は以下による。

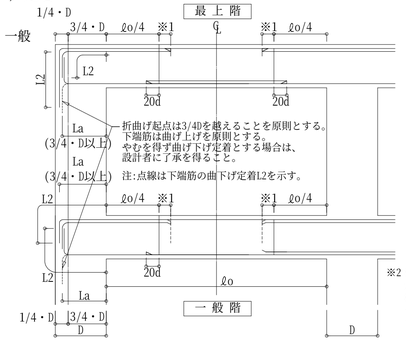
□帯筋と同径・同ピッチ、X・Y 2巻づつ

□図示による

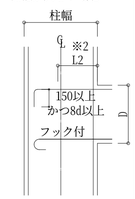
6. 大梁

(1) 定着

ⓐ 一般



柱幅が大きい場合



※2 柱幅が大きくて、直線部だけでL2がとれる場合でも柱中心線を超えて中間折曲げテール長150以上又は180°フック付とする。

※1 主筋のカットオフ長さは ℓo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は表6-1による。

ⓑ ハンチがある場合

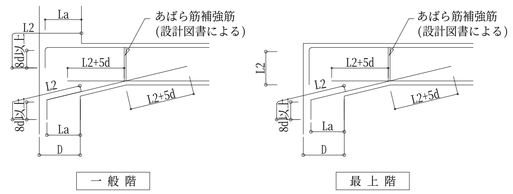
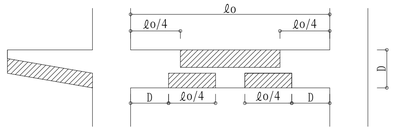


表6-1 特別なカットオフ長さを要する部材 (mm)

部材名	ℓo/4に加える長さ	部材名	ℓo/4に加える長さ

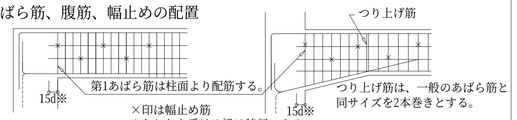
(2) 大梁主筋の継手 (SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。)



は継手の好ましい位置

※ D = 大梁成

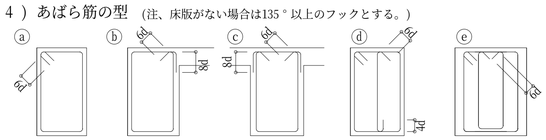
(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



×印は幅止め筋
※ねじれを受ける梁は特記による。

つり上げ筋は、一般のあばら筋と同サイズを2本巻きとする。

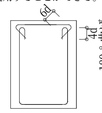
(4) あばら筋の型 (注、床版がない場合は135°以上のフックとする。)



(イ)原則として ⓐ のフック先曲とする。片側床版付(L型)梁で ⓑ 、両側床版付(T型)梁で ⓒ 又は ⓑ とすることができる。

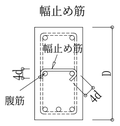
(ロ)フックの位置は ⓐ にあっては交互、ⓑ にあってはスラブ付側とする。

ⓕ 梁成の大きい場合(基礎梁)やSRC造のあばら筋の納まりに使用することができる。

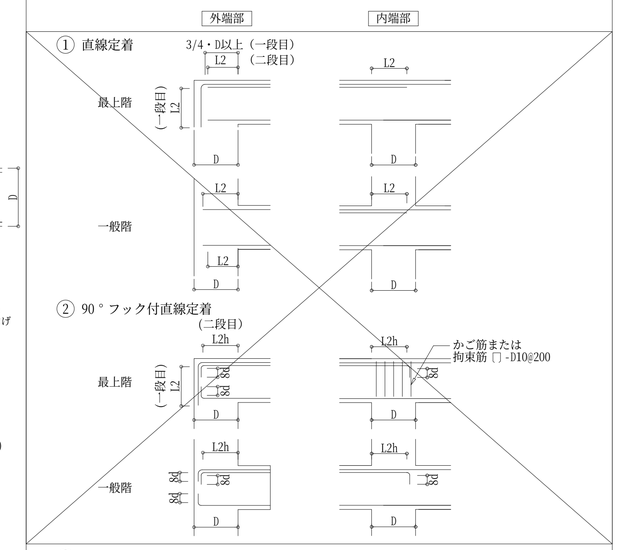


(5) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D<600	不要
	600≦D<900	2-D10 1段
	900≦D<1200	4-D10 2段
	1200≦D	D10@300以内
	1200以上	D13@300以内
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける	



(6) 梁主筋の定着



※最上階 L型接合部における上端筋の一段目の定着にプレート定着を用いてはならない。

※プレート定着には性能証明等を取得した材料を用い、その工法の適用範囲と仕様を確認し、設計者に了承を得ること。

飲食テラス

一級建築士登録　第296599号 秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.02.06	NO ■ S−03
			ITEMS ■ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	SCALE ■ NO SCALE	

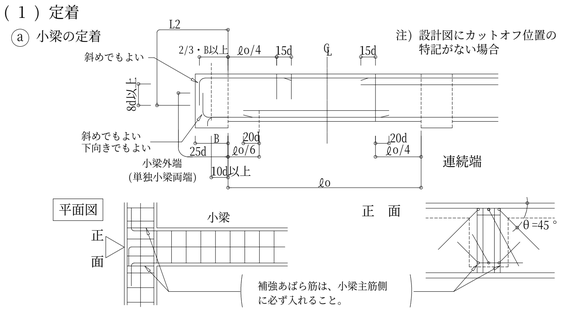
BIKEN 株式会社 美建設計
〒294−0045 TEL. 0470−22−3764
千葉県館山市北条1355−45 FAX. 0470−22−3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1−2310−9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)

7. 小梁、片持梁

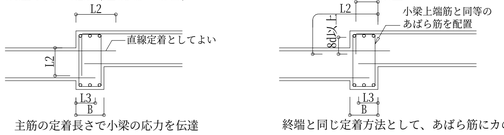
(1) 定着

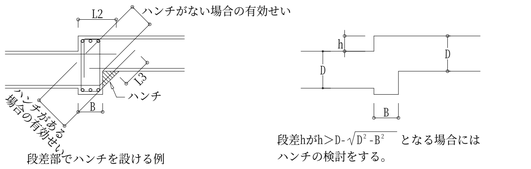
ⓐ 小梁の定着



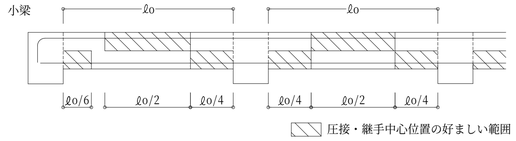
注) 設計図にカットオフ位置の特記がない場合

ⓑ 段差小梁の配筋(連続端の場合)

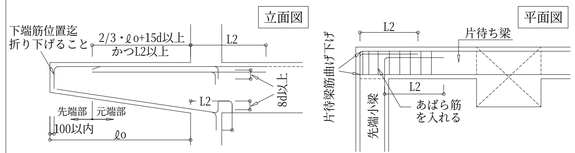




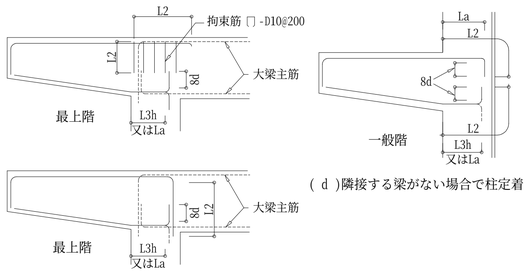
ⓒ 小梁筋の継手位置



ⓓ 片持梁の定着　注) 上端筋の柱内への定着は3/4・D以上とすること。



(a) 先端部の範囲とカットオフ位置　(b) 先端小梁の定着



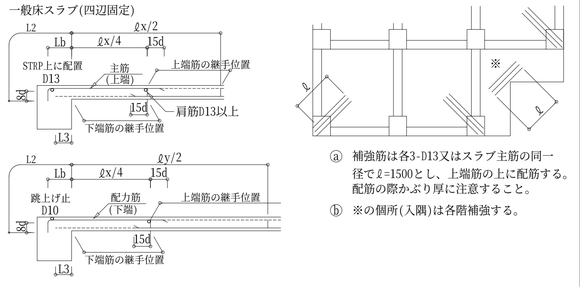
(d) 隣接する梁がない場合で柱定着

(c) 隣接する梁がある場合で柱定着
又は、隣接する梁へ定着する場合

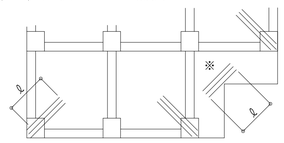
8. 床 版

(1) 定着および継手

一般床スラブ(四辺固定)



(2) 屋根スラブの補強

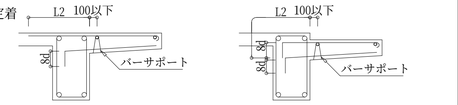


ⓐ 補強筋は各3-D13又はスラブ主筋の同一径でℓ=1500とし、上端筋の上に配筋する。配筋の際かぶり厚に注意すること。

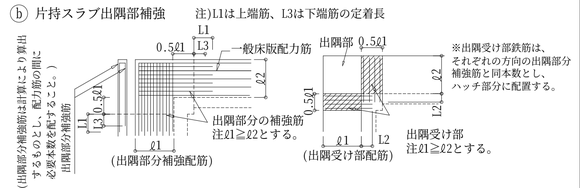
ⓑ ※の個所(入隅)は各階補強する。

(3) 片持床スラブ定着及び出隅部補強

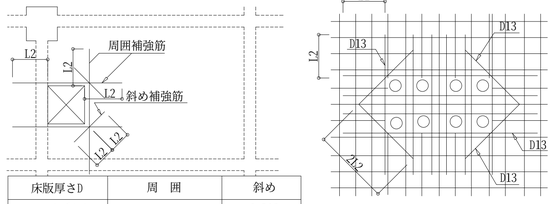
ⓐ 片持床スラブ定着



ⓑ 片持スラブ出隅部補強　注)L1は上端筋、L3は下端筋の定着長



(4) 床版開口部の補強 (開口の径600以下程度の場合)

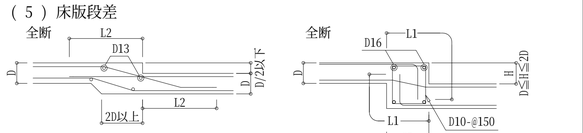


床版厚さD	周　囲	斜め
D≦150	斜め補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同径、同本数の鉄筋を開口横に配筋する。	1-D13
150<D≦300		1-D13
300<D≦500		1-D16

(小開口が連続する場合)

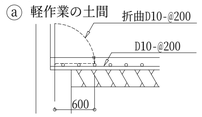
注) 設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜め補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。
孔と孔のへりあき100以上

(5) 床版段差

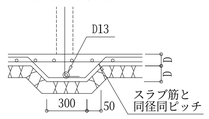


(6) 土間コンクリート

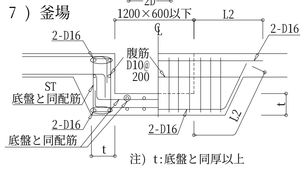
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交差部



(7) 釜場

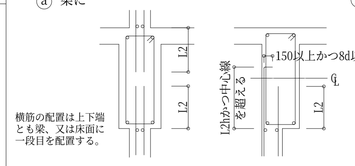


注) t:底盤と同厚以上

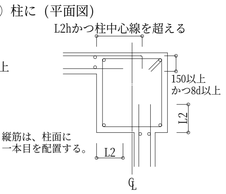
9. 壁

(1) 定着

ⓐ 梁に



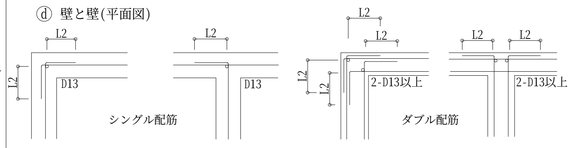
ⓑ 柱に (平面図)



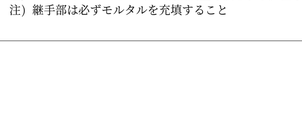
ⓒ 床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)



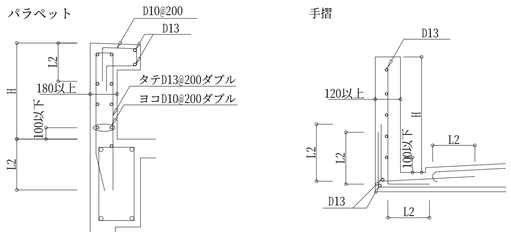
ⓓ 壁と壁(平面図)



(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

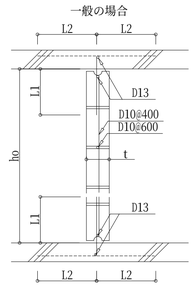


(3) 手摺、パラペット



(但し、H>800以上の場合、設計図による)

(4) コンクリートブロック帳壁

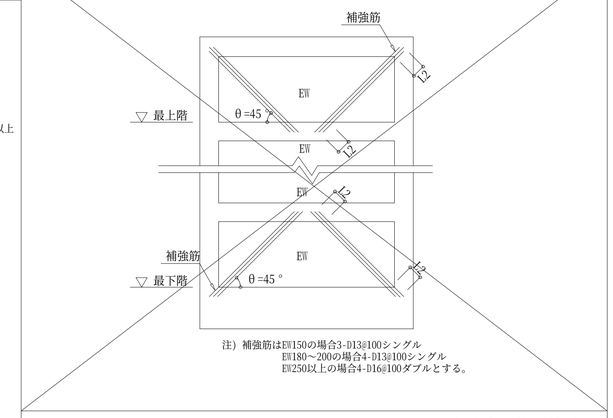


(5) 耐震壁端部の納まり



注) ho≦25t かつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注) hはコンクリートブロック段数調整寸法とする。但し、200≦h≦400
注) 継手部は必ずモルタルを充填すること

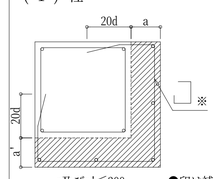
(6) 連層耐震壁乾燥収縮の補強筋



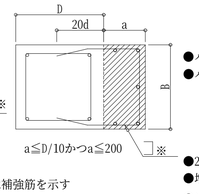
注) 補強筋はEW150の場合3-D13@100シングル
EW180～200の場合4-D13@100シングル
EW250以上の場合4-D16@100ダブルとする。

10. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと)

(1) 柱



●印は補強筋を示す

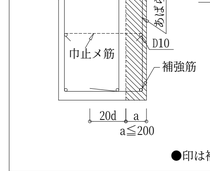


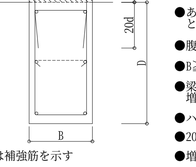
●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
●ハッチ部分の面積 A cm²

補強タテ筋	
A<500	500≦A<1000
3-D16	4-D16

●200以上の増打ちは図示による。
●増打ち70以下は補強なし。
●※柱H00Pと同径、同ピッチとする。

(2) 梁





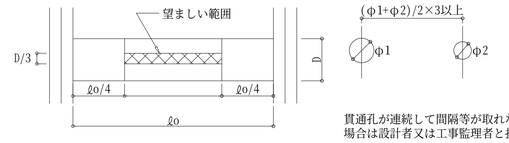
●印は補強筋を示す

●補強筋は、梁主筋の1段落し径(D16以上)とする。
●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
●腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
●B≧400の場合は補強筋を3本とする。
●梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
●200以上の増打ちは図示による。
●増打ち70以下は補強なし。

11. 梁貫通孔補強 (開口補強筋については計算により確認し、設計者に承認を得ること)

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパンℓ/10以内かつ2D以内)は原則として避ける



貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

(2) 既製品 (指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□製品名

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

設計時に使用する評価取得品については計算書を設計者に提出する事。

注) 梁せいD/10以下かつ100㎜未満の梁貫通孔φは、補強不要とする。

飲食テラス

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.02.06	NO ■ S－04
				ITEMS ■ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	SCALE ■ NO SCALE	

〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785

鉄骨構造標準図（1）

1．一般事項

（1） 材料及び検査

（a）構造設計標準仕様による。
（b）本標準図はベースプレートを除き鋼材の厚さが40㎜以下の工事に適用する。
（c）社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の検査結果を添付する。

（2） 工作一般

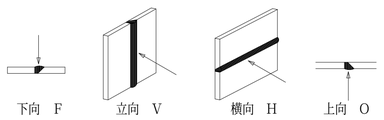
（a）鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。
（b）鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
（c）高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。

（3） 高力ボルト接合

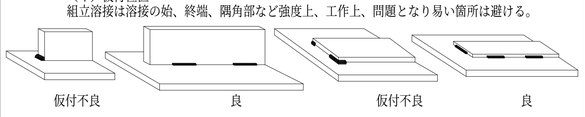
（a）本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
（b）高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、一様にさびを発生させた状態とする。
　　但しショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、５０μmＲｚ以上である場合は、さびの発生は要しない。
（c）高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。

（4） 溶接接合

（a）平成１２年建設省告示第１４６４号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
（b）溶接技能者
　　溶接技能者は施工する溶接に適応するＪISZ3801(手溶接）又はＪISZ3841(半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
（c）溶接機器
　　（イ）交流アーク溶接機 300A～500A　　（ニ）炭酸ガスアーク半自動溶接機
　　（ロ）アークエアーガウジング機（直流）　（ホ）溶接電流を測定する電流計
　　（ハ）セルフシールドアーク溶接機　　（ヘ）溶接棒乾燥器
（d）溶接方法
　　被覆アーク溶接（アーク手溶接,MC、MP）　　ガスシールドアーク溶接（半自動溶接,GC、GP）
　　セルフシールドアーク溶接（半自動溶接,NGC）　アークエアーガウジング（AAG）
（e）溶接姿勢



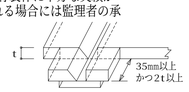
（f）組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う。
　（イ）仮付位置
　組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。



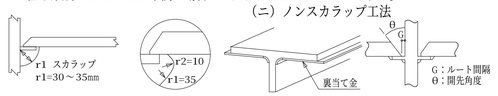
　（ロ）完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



（g）溶接施工
　（イ）エンドタブ
　・完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
　・エンドタブの材質は、母材と同質とする。但し、鉄骨製作に十分な実績があり、かつ溶接部の品質が十分確保できると判断される場合には監理者の承認を受けて他の方法とすることができる。
　・エンドタブの長さは、MC：35㎜以上
　NGC、GC：40㎜以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10㎜程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
　・プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る。



　（ロ）裏当て金
　材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6㎜、半自動溶接で 9㎜以上、巾は25㎜以上を原則とする。
　但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる。
（ハ）スカラップ半径は　r1=30～35㎜とr2=10㎜のダブルアールとする。
　但し梁成が D=150㎜ 未満の場合のスカラップは r1=20㎜ とする。
　（ニ）ノンスカラップ工法



　（ホ）裏はつり
　規準図の溶接においてＡＡＧのある部分は全て、アークエアガウジングを行った上で、部材に確認マークを付ける。
（へ）現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に養生を行う。

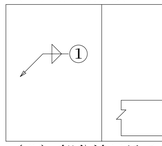
（5） 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2．溶接規準図

（注）f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長　（単位 mm）

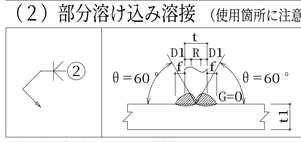
（1）隅肉溶接



t ≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合はS＝tとする。
・tはｔ１、ｔ２の小なる方とする。
　余盛は（１＋０．１S）mm以下とする。
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい。

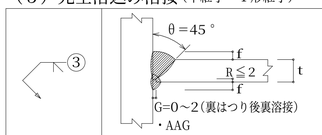
（2）部分溶け込み溶接　（使用箇所に注意）



R≦2
t/4≦f≦10
t≦t1
D1≦(t-R)/2

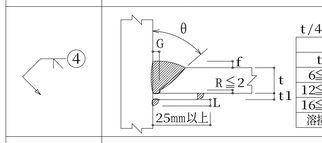
t	16＜t≦40
溶接姿勢	F.V

（3）完全溶込み溶接（平継手　T形継手）



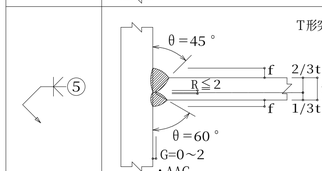
t/4≦f≦10

t	6≦t≦40
溶接姿勢	F.V



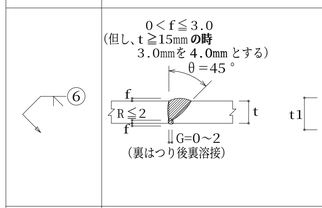
t/4≦f≦10

	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t<16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦t≦40	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

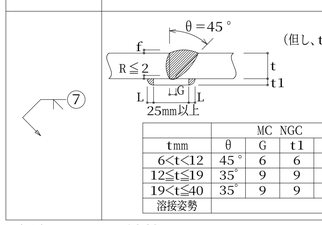


T形突合せ継手余盛 t/4≦f≦10

のど厚t mm	余盛りの高さmm
t≦4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
19＜t≦40	4
溶接姿勢	F.V



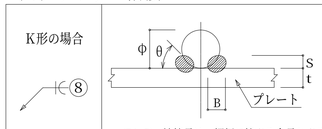
t	6＜t≦40
溶接姿勢	F.V



	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19<t≦40	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

（4）フレアー溶接

K形の場合

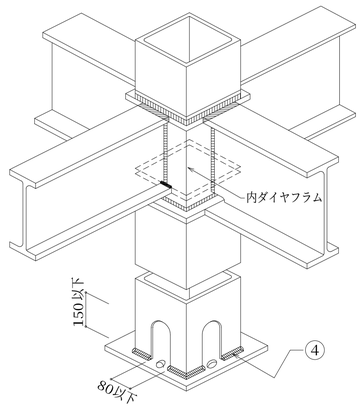


寸法（mm）		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

・フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする。
・9mm～16mmは１パス以上、19mm以上は２パス以上とする。
　溶接棒角度θは 30°～ 40°とする。

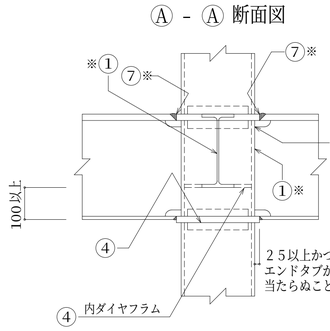
○ 溶接記号番号を○中に記入のこと

● BOX型(通しダイヤフラムの場合)

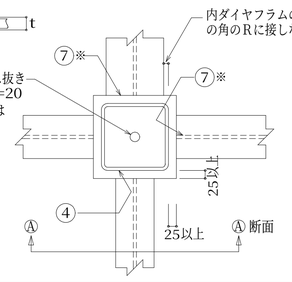


⑦※ はりフランジは、通しダイヤフラムの厚み（ｔ）の内部で溶接すること。

Ⓐ - Ⓐ 断面図



平面詳細図



①※ ｔ＞16㎜の場合の溶接は、②又は③～⑤とする。

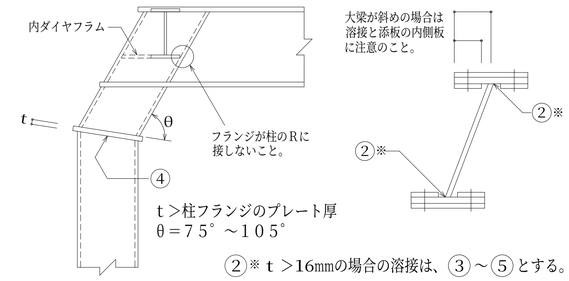
ダイヤフラム厚は、接合する梁の最大厚の２サイズアップ以上とする。
＜柱材料：BCR295，BCP325を使用する場合＞
　通しダイヤフラムは、SN490C を使用する。
　内ダイヤフラムは、　SN400B を使用する。

● 鋼材種別による溶接条件　溶接材料と入熱量・パス間温度

鋼材の種類		規格	溶接材料	入熱(kJ/cm)	パス間温度(℃)
一般鋼材	400N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW11,YGW15	40 以下	350 以下
			YGW18,YGW19	30 〃	450 〃
		JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40 〃	350 〃
			T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30 〃	450 〃
		JIS Z 3211	E43xx,E49xx	40 〃	350 〃
	490N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW11,YGW15	30 〃	250 〃
			YGW18,YGW19	40 〃	350 〃
		JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30 〃	250 〃
			T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40 〃	350 〃
		JIS Z 3211	E49xx	40 〃	350 〃
冷間成形角形鋼管	400N級炭素鋼 BCR295,BCP235 STKR400	JIS Z 3312	YGW11,YGW15	30 〃	250 〃
			YGW18,YGW19	40 〃	350 〃
		JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40 〃	350 〃
	490N級炭素鋼 BCP325 STKR490	JIS Z 3312	YGW18,YGW19	30 〃	250 〃
		JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

注）ロボット溶接の場合(一社)日本ロボット工業会による建築ロボットの型式認証条件に従うこと。
　490N/㎟ を超える部材は適合する溶着金属を使用すること。
　ガスシールドアーク溶接法による完全溶け込み溶接部に適用する。

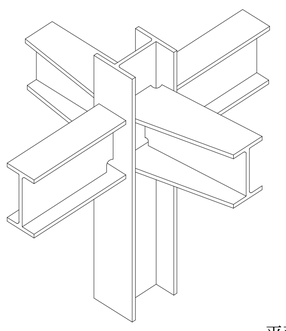
● 柱が途中で折れる場合、及び梁成が異なる場合



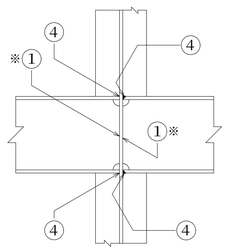
ｔ＞柱フランジのプレート厚
θ＝７５°～１０５°

②※ ｔ＞16㎜の場合の溶接は、③～⑤とする。

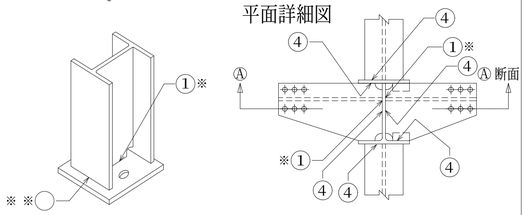
● B．H方式



Ⓐ - Ⓐ 断面図

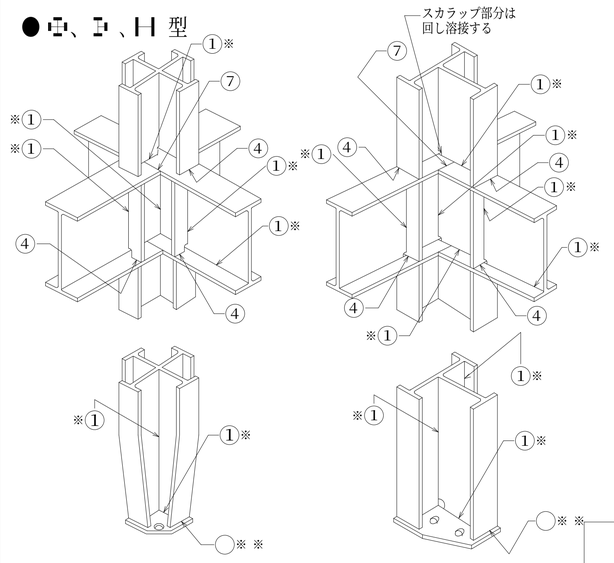


平面詳細図



①※ｔ＞16㎜の場合の溶接は、③～⑤とする。

●□、□、H型



①※ｔ＞16㎜の場合の溶接は、②又は③～⑤とする。
◯※※ 印は設計者が記入すること。

飲食テラス

一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.02.06	NO■ S－05
			ITEMS ■ 鉄骨構造標準図(1)	SCALE■ NO SCALE	

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045　TEL. 0470－22－3764
千葉県館山市北条1355－45　FAX. 0470－22－3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1－2310－9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

鉄骨構造標準図（2）

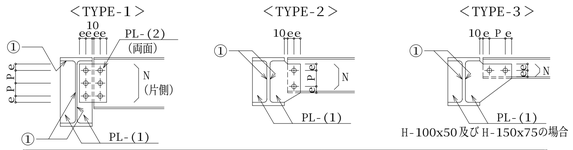
3．継手規準図、その他

（1）高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ(P)　ボルト穴径・最小縁端距離(mm)

呼び径 d		ボルト穴径	最小縁端距離(e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ(P) 最小	標準
高力ボルト	M16	18	40	28	22	40	40	60
	M20	22	50	34	26	40	50	60
	M22	24	55	38	28	40	55	60
	M24	26	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト・ボルト（）内はボルトを示す	M16	21(16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
	M20	25(20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
	M22	27(22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
	M24	29(24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
	M30を超える	呼び径＋5		9d/5	4d/3			

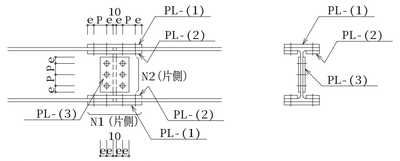
[注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離。
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離。
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離。

（2）ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
	3	H−125・60・6・8	6		2-M16
	3	H−150・75・5・7	6		2-M16
	2	H−175・90・5・8	6		2-M16
	2	H−200・100・5．5・8	6		2-M16
	2	H−250・125・6・9	6		3-M16
	2	H−300・150・6．5・9	9		3-M20
	2	H−350・175・7・11	9		4-M20
	1	H−350・175・7・11	9	6	4-M20
	2	H−400・200・8・13	9		5-M20
	1	H−400・200・8・13	9	9	4-M20

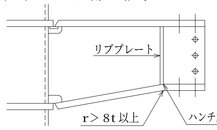
（3）剛接合梁継手リスト　（SCSS−H97による）



[注] 端部をBHとする場合の部材は設計図による。

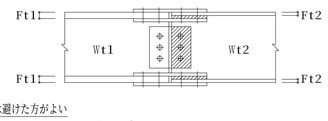
符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

（4）ハンチ部の継手



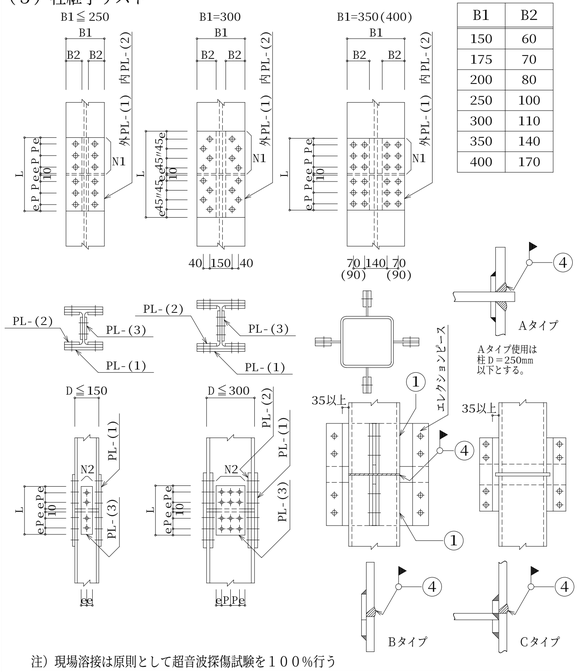
ハンチ勾配は普通１：４程度であるが構造図による
r：半径　t：板厚

フランジ及ウエブ厚の差のある場合



Ft1-Ft2
Wt1-Wt2 ≧1mm フィラプレート併用の事

（5）柱継手リスト



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注）現場溶接は原則として超音波探傷試験を１００％行う

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

（6）ターンバックルブレース（JIS規格とするJIS A 5540　2008/5541　2008）

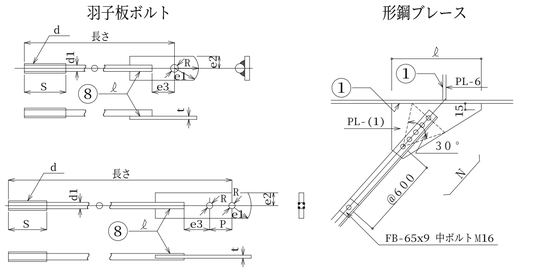
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び(d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最大		10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33	22.00
	最小		10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07	21.69
調節ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +0．-0．5mm		R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）	(2)	e1	40	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）	(1) e2	28	28	28	34	34	38	38
	板厚	t	6	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）	(1) e2	25.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚	t	6	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき（最小）		e3	52	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）		W	40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト	(2) 種類		JIS B 1186 2種高力ボルト(F10T) (3)						
	ねじの呼び		M16	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数		1	1	1	1	1	1	2

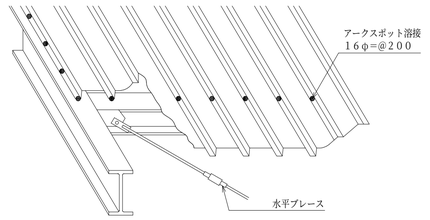
[注](1) e1、e2が確保されてれば形状は自由でよい。
(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする。
(3) 溶融亜鉛めっき製品では、JIS B 1186に規定する1種 F8TAに準ずるものを使用する。

(b) 形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N-径	ℓ

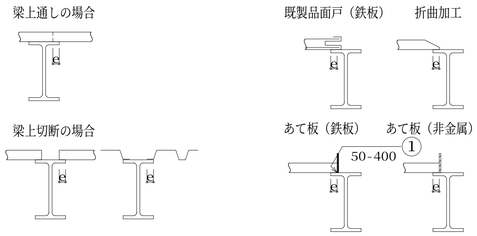


（7）デッキプレート（床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照）



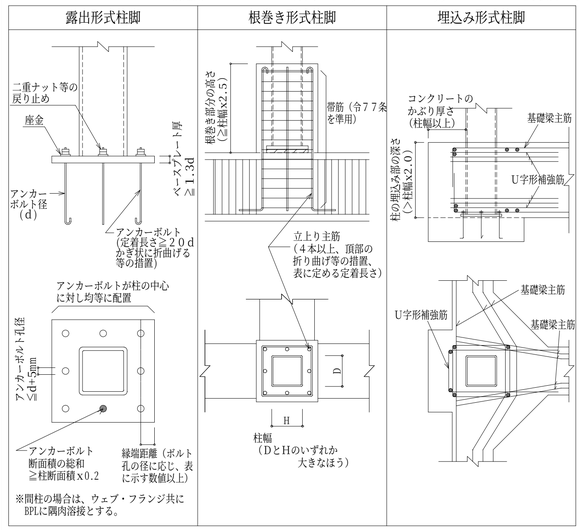
受梁へのかかり寸法及端部処理

e：長手方向で５０mm以上、幅方向で３０mm以上とする。
且つ、各メーカの仕様による。



（8）柱脚

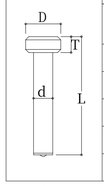
注）許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式
※構造用アンカーボルトは原則としてJIS B 1220,JIS B 1221を使用する。



※間柱の場合は、ウェブ・フランジ共にBPLに隅肉溶接とする。

（9）頭付きスタッド（JIS B 1198-2011）

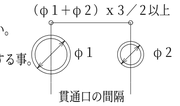
スタッド材の標準形状・寸法

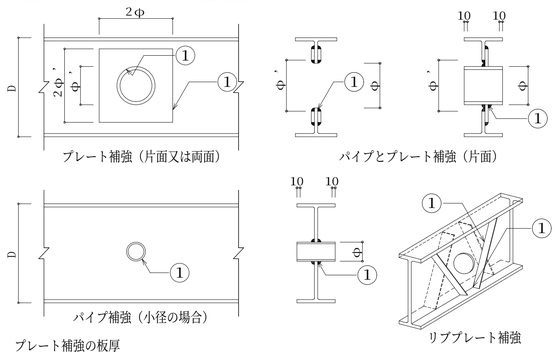


呼び名	軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm	呼び長さL mm
φ13mm	13	25	8	□80 □100 □120 □
φ16mm	16	29	8	□80 □100 □120 □
φ19mm	19	32	10	□80 □100 □120 □150 □
φ22mm	22	35	10	□80 □100 □120 □150 □
φ25mm	25	41	12	□120 □150 □170 □

（10）梁貫通補強

・計算で確認された場合は下図の位置、寸法及び補強方法によらなくて良い。
・梁端部（内法スパンℓ_0の１／１０以内かつ、２D以内）は避ける。
・原則、梁せい方向の配置は梁芯とすること。ずれる場合は設計者に確認する事。
・φ≦０．４D
・φ'は補強板の穴径を示す。
・既製品を使用する場合は、施工前に計算書を提出し、承認を得ること。
設計時に使用する評価取得品については計算書を設計者に提出する事。
指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せる事。





プレート補強の板厚

スリーブ径	補強板
φ≦０．１５D	補強板不要、ただし設計者に確認すること
φ≦D／４	Ｗｅｂ板厚以上（片面）
φ≦D／３	Ｗｅｂ板厚ｘ１．２倍以上（片面）
φ≦０．４D	Ｗｅｂ板厚以上（両面）

飲食テラス

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.02.06	NO ■ S−06
		■	ITEMS ■ 鉄骨構造標準図(2)	SCALE ■ NO SCALE	

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294−0045 千葉県館山市北条1355−45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1−2310−9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470−22−3764 FAX. 0470−22−3785

円形鋼管用
ベースパック

円形鋼管

F値235N/mm² φ190～φ812 用
F値325N/mm²以下 φ190～φ812 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-19」（令和6年6月21日付）

ベースパック柱脚工法設計施工 標準図1/2

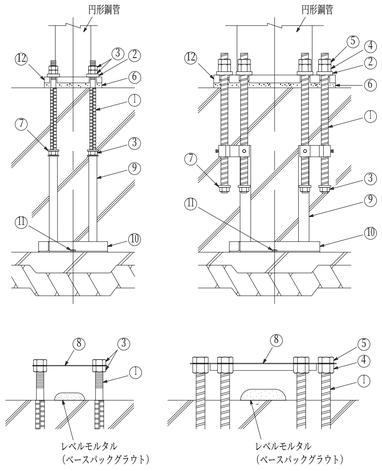
●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。
●本標準図に記載のベースパック記号の末尾にTがつく仕様は、旧仕様と一部材質・寸法が異なるが、構造計算上は同じ回転剛性値、柱脚耐力を用いることができる。（例：406-25V2Tの旧仕様→406-25V2）
●本標準図は1/2～2/2で構成されている。

岡部株式会社 TEL03（3624）5336
旭化成建材株式会社 TEL03（3296）3515

2025年11月作成

1．工法概要

1．1 構成部材

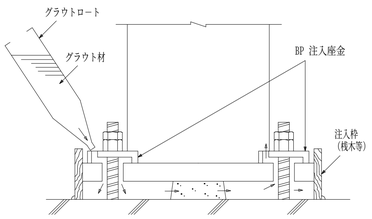


（BP異形Ⅵアンカー） （BP異形Dアンカー）

①アンカーボルト
②BP 注入座金
③BP Mナット
④BP Dナット
⑤BP Dナット(S)
⑥ベースパックグラウト(グラウト材)
⑦BP 定着板
⑧テンプレート
⑨フレームポスト
⑩フレームベース
⑪ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑫ベースプレート

(注)上記①～⑫の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑧～⑪は現場状況により仕様が異なる場合がある。
(注)アンカーボルト12本の場合はつなぎプレートが取り付く。

1．2 柱脚の定着方法概要



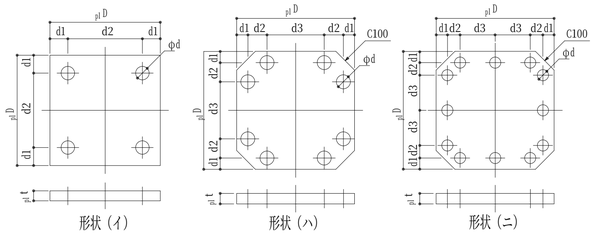
2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	STK400	
	STKN400	
	STKR400	○
325	STK490	
	STKN490	

3．構成部材・寸法

3．1 ベースプレート

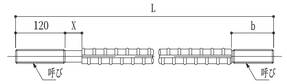
●材質
SN490B 【JIS G 3136】
TMCP325B 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】(建築構造用TMCP鋼板)
TMCP385B 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】(建築構造用TMCP鋼板)



3．2 アンカーボルト 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

●BP異形Ⅵアンカー

i) アンカーフレーム Aタイプ の場合

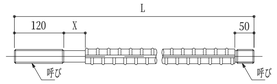


単位 mm

呼び	異形部呼び	L 注1)	X	b 注1)	基準強度(N/mm²)
MD30	D32	695	45	133	490
MD33	D35	690,735	45	95,140	490

注1)据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

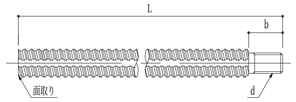


単位 mm

呼び	異形部呼び	L	X	基準強度(N/mm²)
MD30	D32	695	45	490
MD33	D35	720	45	490

●BP異形Dアンカー

iii) アンカーフレーム Cタイプ・Dタイプ の場合

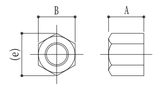


単位 mm

呼び	L	b	端部ねじd	基準強度(N/mm²)
D38L	850	46	M33	390
D41L	900	49	M36	390
D41H	995	49	M36	490
D51L	1110	57	M45	390
D51H	1215	57	M45	490

3．3 BP Mナット・BP Dナット

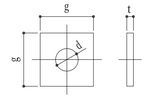
【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】



単位 mm

	呼び	A	B	(e)
BP Mナット	M30	24	46	53
	M33	26	50	58
	M36	29	55	64
	M45	36	70	81
BP Dナット	D38	45	65	75
	D41	48	70	80
	D51	60	80	92
BP Dナット(S)	D38	30	65	75
	D41	32	70	80
	D51	40	80	92

3．4 BP 定着板



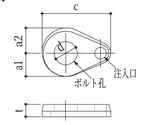
単位 mm

適用アンカーボルト	g	t	d	材質
MD30	55	9	31	SS400
MD33	60	9	34	
D38L	65	12	37	
D41L,D41H	70	12	37	SS490
D51L,D51H	85	12	46	

3．5 BP 注入座金

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料,SS490】

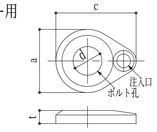
i) BP異形Ⅵアンカー用



単位 mm

記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM30	MD30	32	42	101	18	31
PM33	MD33	35	45	110	18	34

ii) BP異形Dアンカー用

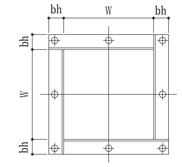


単位 mm

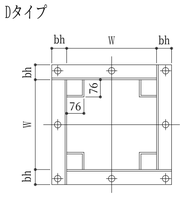
記号	適用アンカーボルト	a	c	t	d
PD38	D38L	96	122	20	43
PD41	D41L,D41H	100	127	20	46
PD51	D51L,D51H	110	140	20	58

3．6 フレームベース

i) Aタイプ・Cタイプ

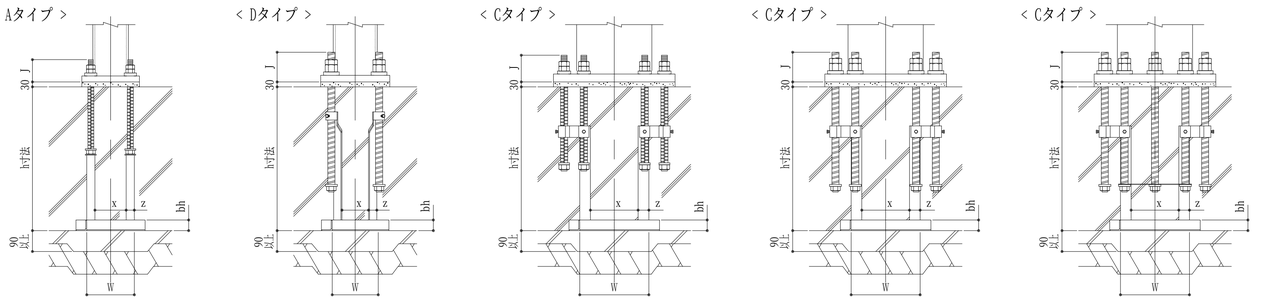


ii) Dタイプ



3．7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は「円形鋼管用ベースパック柱脚工法設計施工標準図2/2」(以下「標準図2/2」と記す)の表に記載の値とする。



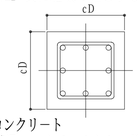
（BP異形Ⅵアンカー4本仕様） （BP異形Dアンカー4本仕様） （BP異形Ⅵアンカー8本仕様） （BP異形Dアンカー8本仕様） （BP異形Dアンカー12本仕様）

単位 mm

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質

●形状
形状は正方形とし、寸法は「標準図2/2」表に記載の値とする。

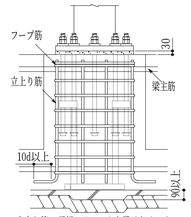


●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は「標準図2/2」表に記載の値とする。

●鉄筋
SD295(D13,D16)
SD345(D19,D22,D25)

4．2 配筋

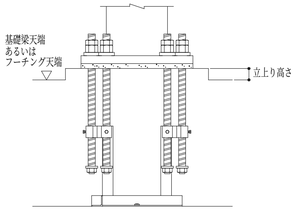
配筋仕様は「標準図2/2」の表による。



※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4．3 基礎立上り

●立上り高さは50㎜以下とする。



4．4 特記事項 上記内容によらない場合は下記による。

採用
□ 「標準図2/2」表標準柱型寸法からの変更あり （「柱型寸法最大・最小値一覧」による）
□ 「標準図2/2」表標準配筋仕様からの変更あり
□ 立上り筋に頂部フックが必要

5．工場製作（溶接）

■組立
●ベースプレートの中心線（ｹﾞｶﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）
●完全溶込み溶接とする。（JASS 6 鉄骨工事による）
完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2018年版より ）

図	溶接方法	適用板厚T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	ルート間隔G(mm) 許容差	ルート面R(mm) 標準値	ルート面R(mm) 許容差	開先角度α1(°) 標準値	開先角度α1(°) 許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			9	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接	6～	6	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：35		

ベースプレート

許容差 ・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱
●気温(鋼材表面温度)が5℃以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) 32≦t＜40	40≦t≦50	50＜t≦80
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	50 ℃	50 ℃	
	TMCP325B		25 ℃	
	TMCP385B※2		50 ℃	50 ℃
CO2ガスシールドアーク溶接※1	SN490B	予熱なし	予熱なし	
	TMCP325B		予熱なし	
	TMCP385B※2		予熱なし	予熱なし

※1 フラックス入りワイヤによるCO2ガスシールドアーク溶接の予熱温度は、低水素系被覆アーク溶接に準じる。
※2 「建築構造用TMCP鋼材溶接施工指針(2021)」に準拠し、TMCP385Bは上記予熱温度の適用に当たり、各メーカーのy形溶接割れ試験(JIS Z 3158による)の実績または溶接施工指針を確認している。

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理：7．本工法の施工及び施工管理参照。

飲食テラス

一級建築士登録 第296599号 秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録
TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博

CHECKED DRAWN ■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ ベースパック柱脚工法設計・施工標準図(1)
DATE ■ 2026.06.05
SCALE ■ NO SCALE
NO ■ S－07

円形鋼管用
ベースパック

円形鋼管

F値235N/mm² φ190～φ812 用
F値325N/mm²以下 φ190～φ812 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-19」（令和6年6月21日付）

ベースパック柱脚工法設計施工 標準図2/2

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。
●本標準図に記載のベースパック記号の末尾にTがつく仕様は、旧仕様と一部材質・寸法が異なるが、構造計算上は同じ回転剛性値、柱脚耐力を用いることができる。（例：406-25V2Tの旧仕様→406-25V2）
●本標準図は1/2～2/2で構成されている。

岡部株式会社 TEL03（3624）5336
旭化成建材株式会社 TEL03（3296）3515

2025年11月作成

6．工事場施工

6．1 基礎工事

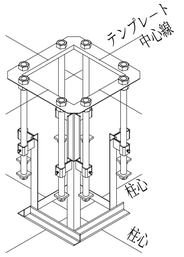
●柱脚部の捨コンの厚さは90㎜以上とし、表面は平滑に仕上げる。

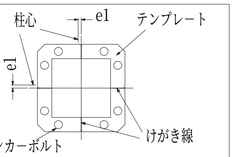
6．2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。





e1 :柱心とテンプレートのけがき線との許容差

標準許容差

-2≦e1≦2

基準高さより誤差は

-3≦e≦10

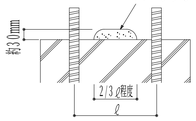
6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6．4 建方

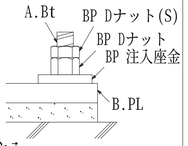
●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



6．5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

●BP Dナット(S)による弛み止めは右図による。



6．6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6．2アンカーボルト据付け及び6．6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

種別	採用	ベースパック記号	柱 外径(㎜)	柱 板厚(㎜)	ベースプレート 材質	ベースプレート 形状	ベースプレート 寸法(㎜) p1D	p1t	d1	d2	d3	φd	アンカーボルト 本数-呼び	アンカーボルト 基準強度 (N/mm²)	コンクリート柱型 寸法(㎜) cD	コンクリート柱型 配筋 立上り筋	コンクリート柱型 配筋 フープ筋	コンクリート柱型 設計基準強度 (N/mm²)	ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑ ﾀｲﾌﾟ	ﾌﾚｰﾑﾍﾞｰｽ 寸法(㎜) W	ﾌﾚｰﾑﾍﾞｰｽ 寸法(㎜) bh	ﾌﾚｰﾑﾎﾟｽﾄ筒 寸法(㎜) x	ﾌﾚｰﾑﾎﾟｽﾄ筒 寸法(㎜) z	最低ln寸法 (㎜)	J寸法 (㎜)
V2 V2T 柱材F値235用	○	216-13V2	φ190.7,φ216.3	t≦12.7	SN490B	(ｲ)	350	36	55	240	-	φ45	4-MD30	490	540	12-D16	D13@100	21以上	A	290	50	190	50	600	135
		216-16V2	φ190.7,φ216.3	t≦16.0	SN490B	(ｲ)	350	36	55	240	-	φ50	4-MD33	490	540	12-D19	D13@100	21以上	A	290	50	190	50	600	135
		267-13V2	φ267.4	t≦12.7	SN490B	(ｲ)	400	36	55	290	-	φ50	4-MD33	490	590	12-D19	D13@100	21以上	A	340	50	240	50	600	135
		267-16V2	φ267.4	t≦16.0	SN490B	(ｲ)	420	40	65	290	-	φ60	4-D38L	390	580	12-D19	D13@100	21以上	D	324	50	184	50	800	180
		318-13V2	φ300.0,φ318.5	t≦12.7	SN490B	(ｲ)	460	40	65	330	-	φ60	4-D38L	390	610	12-D19	D13@100	21以上	D	364	50	224	50	800	180
		318-16V2	φ300.0,φ318.5	t≦16.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ｲ)	460	50	65	330	-	φ65	4-D41L	390	610	12-D19	D13@100	21以上	D	364	50	224	50	800	190
		318-25V2	φ300.0,φ318.5	t≦25.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	530	50	65	85	230	φ60	8-D38L	390	690	12-D22	D13@100	21以上	C	280	65	150	65	800	180
		355-13V2	φ350.0,φ355.6	t≦12.7	SN490B	(ﾊ)	540	36	55	85	260	φ45	8-MD30	490	700	16-D19	D13@100	21以上	C	310	50	210	50	600	135
		355-16V2	φ350.0,φ355.6	t≦16.0	SN490B	(ﾊ)	540	40	55	85	260	φ50	8-MD33	490	710	16-D19	D13@100	21以上	C	310	50	210	50	650	135
		355-22V2	φ350.0,φ355.6	t≦22.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	560	50	65	85	260	φ60	8-D38L	390	720	20-D19	D13@100	21以上	C	310	65	180	65	800	180
		406-13V2	φ400.0,φ406.4	t≦12.7	SN490B	(ﾊ)	600	40	65	85	300	φ45	8-MD30	490	750	16-D19	D13@100	21以上	C	350	50	250	50	600	135
		406-19V2	φ400.0,φ406.4	t≦19.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	600	50	65	85	300	φ60	8-D38	390	760	16-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	800	180
		406-22V2	φ400.0,φ406.4	t≦22.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	600	50	65	85	300	φ65	8-D41L	390	760	20-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	800	190
		406-25V2T	φ400.0,φ406.4	t≦25.0	TMCP385B	(ﾊ)	610	50	70	85	300	φ65	8-D41H	490	800	20-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	850	200
		457-13V2	φ450.0,φ457.2	t≦12.7	SN490B	(ﾊ)	610	40	55	85	330	φ50	8-MD33	490	790	20-D19	D13@100	21以上	C	380	50	280	50	650	135
		457-19V2	φ450.0,φ457.2	t≦19.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	630	50	65	85	330	φ65	8-D41L	390	800	20-D22	D13@100	21以上	C	380	65	250	65	800	190
		457-25V2T	φ450.0,φ457.2	t≦25.0	TMCP385B	(ﾆ)	740	55	65	120	185	φ60	12-D38L	390	930	20-D22	D13@100	21以上	C	420	65	290	65	800	180
		457-36V2T	φ450.0,φ457.2	t≦36.0	TMCP385B	(ﾆ)	740	65	65	120	185	φ65	12-D41H	490	980	24-D22	D13@100	21以上	C	420	65	290	65	850	200
		508-14V2	φ500.0,φ508.0	t≦14.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	700	50	65	85	400	φ60	8-D38L	390	860	20-D19	D13@100	21以上	C	450	65	320	65	800	180
		508-22V2T	φ500.0,φ508.0	t≦22.0	TMCP385B	(ﾊ)	700	60	65	85	400	φ65	8-D41H	490	920	24-D22	D13@100	21以上	C	450	65	320	65	850	200
		508-32V2T	φ500.0,φ508.0	t≦32.0	TMCP385B	(ﾆ)	810	65	65	135	205	φ65	12-D41H	490	1000	24-D22	D13@100	21以上	C	460	65	330	65	850	200
		508-40V2T	φ500.0,φ508.0	t≦40.0	TMCP385B	(ﾆ)	830	75	75	135	205	φ75	12-D51L	390	1050	28-D22	D16@100	24以上	C	470	65	340	65	950	230
		558-16V2T	φ550.0,φ558.8	t≦16.0	TMCP385B	(ﾊ)	710	55	65	85	410	φ65	8-D41H	490	900	20-D22	D13@100	24以上	C	460	65	330	65	850	200
		558-28V2T	φ550.0,φ558.8	t≦28.0	TMCP385B	(ﾆ)	850	70	65	135	225	φ65	12-D41H	490	1050	24-D22	D16@100	24以上	C	500	65	370	65	850	200
		558-36V2T	φ550.0,φ558.8	t≦36.0	TMCP385B	(ﾆ)	870	75	75	135	225	φ75	12-D51L	390	1100	28-D22	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		609-22V2T	φ600.0,φ609.6	t≦22.0	TMCP385B	(ﾊ)	820	60	80	110	440	φ75	8-D51L	390	1000	24-D22	D16@100	24以上	C	500	65	370	65	950	230
		609-28V2T	φ600.0,φ609.6	t≦28.0	TMCP385B	(ﾆ)	910	70	75	155	225	φ75	12-D51L	390	1100	28-D22	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		609-36V2T	φ600.0,φ609.6	t≦36.0	TMCP385B	(ﾆ)	910	75	75	155	225	φ75	12-D51L	390	1150	24-D25	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		660-28V2T	φ650.0,φ660.4	t≦28.0	TMCP385B	(ﾆ)	970	75	75	160	250	φ75	12-D51L	390	1150	28-D22	D16@100	24以上	C	560	65	430	65	950	230
		660-36V2T	φ650.0,φ660.4	t≦36.0	TMCP385B	(ﾆ)	970	80	75	160	250	φ75	12-D51H	490	1200	28-D25	D16@100	24以上	C	560	65	430	65	1050	235
		711-28V2T	φ700.0,φ711.2	t≦28.0	TMCP385B	(ﾆ)	1030	75	75	175	265	φ75	12-D51L	390	1250	28-D25	D16@100	24以上	C	590	65	460	65	950	230
		711-32V2T	φ700.0,φ711.2	t≦32.0	TMCP385B	(ﾆ)	1030	80	75	175	265	φ75	12-D51H	490	1300	28-D25	D16@100	24以上	C	590	65	460	65	1050	235
		762-25V2T	φ750.0,φ762.0	t≦25.0	TMCP385B	(ﾆ)	1070	75	75	185	275	φ75	12-D51L	390	1270	28-D25	D16@100	24以上	C	610	65	480	65	950	230
		762-28V2T	φ750.0,φ762.0	t≦28.0	TMCP385B	(ﾆ)	1070	80	75	185	275	φ75	12-D51H	490	1300	28-D25	D16@100	24以上	C	610	65	480	65	1050	235
		812-22V2T	φ800.0,φ812.8	t≦22.0	TMCP385B	(ﾆ)	1150	75	75	200	300	φ75	12-D51L	390	1350	32-D25	D16@100	24以上	C	660	65	530	65	950	230
		812-28V2T	φ800.0,φ812.8	t≦28.0	TMCP385B	(ﾆ)	1150	80	75	200	300	φ75	12-D51H	490	1400	32-D25	D16@100	24以上	C	660	65	530	65	1050	235
V3 V3T 柱材F値325以下用		216-10V3	φ190.7 φ216.3	t≦12.7 t≦9.5	SN490B	(ｲ)	350	36	55	240	-	φ45	4-MD30	490	540	12-D16	D13@100	21以上	A	290	50	190	50	600	135
		216-13V3	φ216.3	t≦12.7	SN490B	(ｲ)	350	36	55	240	-	φ50	4-MD33	490	540	12-D19	D13@100	21以上	A	290	50	190	50	600	135
		267-09V3	φ267.4	t≦9.3	SN490B	(ｲ)	400	36	55	290	-	φ50	4-MD33	490	590	12-D19	D13@100	21以上	A	340	50	240	50	600	135
		267-13V3	φ267.4	t≦12.7	SN490B	(ｲ)	420	40	65	290	-	φ60	4-D38L	390	580	12-D19	D13@100	21以上	D	324	50	184	50	800	180
		318-09V3	φ300.0,φ318.5	t≦9.0	SN490B	(ｲ)	460	40	65	330	-	φ60	4-D38L	390	610	12-D19	D13@100	21以上	D	364	50	224	50	800	180
		318-13V3	φ300.0,φ318.5	t≦12.7	TMCP325B,TMCP385B	(ｲ)	460	50	65	330	-	φ65	4-D41L	390	610	12-D19	D13@100	21以上	D	364	50	224	50	800	190
		318-19V3	φ300.0,φ318.5	t≦19.0	TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	530	50	65	85	230	φ60	8-D38L	390	690	12-D22	D13@100	21以上	C	280	65	150	65	800	180
		355-10V3	φ350.0,φ355.6	t≦9.5	SN490B	(ﾊ)	540	36	55	85	260	φ45	8-MD30	490	700	16-D19	D13@100	21以上	C	310	50	210	50	600	135
		355-13V3	φ350.0,φ355.6	t≦12.7	SN490B	(ﾊ)	540	40	55	85	260	φ50	8-MD33	490	710	16-D19	D13@100	21以上	C	310	50	210	50	650	135
		355-16V3	φ350.0,φ355.6	t≦16.0	TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	560	50	65	85	260	φ60	8-D38L	390	720	20-D19	D13@100	21以上	C	310	65	180	65	800	180
		406-10V3	φ400.0,φ406.4	t≦9.5	SN490B	(ﾊ)	600	40	65	85	300	φ45	8-MD30	490	750	16-D19	D13@100	21以上	C	350	50	250	50	600	135
		406-13V3	φ400.0,φ406.4	t≦12.7	TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	600	50	65	85	300	φ60	8-D38L	390	760	16-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	800	180
		406-16V3	φ400.0,φ406.4	t≦16.0	TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	600	50	65	85	300	φ65	8-D41L	390	760	20-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	800	190
		406-19V3T	φ400.0,φ406.4	t≦19.0	TMCP385B	(ﾊ)	610	50	70	85	300	φ65	8-D41H	490	800	20-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	850	200
		457-10V3	φ450.0,φ457.2	t≦9.5	SN490B	(ﾊ)	610	40	55	85	330	φ50	8-MD33	490	790	20-D19	D13@100	21以上	C	380	50	280	50	650	135
		457-13V3	φ450.0,φ457.2	t≦12.7	TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	630	50	65	85	330	φ65	8-D41L	390	800	20-D22	D13@100	21以上	C	380	65	250	65	800	190
		457-19V3T	φ450.0,φ457.2	t≦19.0	TMCP385B	(ﾆ)	740	55	65	120	185	φ60	12-D38L	390	930	20-D22	D13@100	21以上	C	420	65	290	65	800	180
		457-28V3T	φ450.0,φ457.2	t≦28.0	TMCP385B	(ﾆ)	740	65	65	120	185	φ65	12-D41H	490	980	24-D22	D13@100	21以上	C	420	65	290	65	850	200
		508-10V3	φ500.0,φ508.0	t≦9.5	TMCP325B,TMCP385B	(ﾊ)	700	50	65	85	400	φ60	8-D38L	390	860	20-D19	D13@100	21以上	C	450	65	320	65	800	180
		508-16V3T	φ500.0,φ508.0	t≦16.0	TMCP385B	(ﾊ)	700	60	65	85	400	φ65	8-D41H	490	920	24-D22	D13@100	21以上	C	450	65	320	65	850	200
		508-22V3T	φ500.0,φ508.0	t≦22.0	TMCP385B	(ﾆ)	810	65	65	135	205	φ65	12-D41H	490	1000	24-D22	D13@100	21以上	C	460	65	330	65	850	200
		508-32V3T	φ500.0,φ508.0	t≦32.0	TMCP385B	(ﾆ)	830	75	75	135	205	φ75	12-D51L	390	1050	28-D22	D16@100	24以上	C	470	65	340	65	950	230
		558-13V3T	φ550.0,φ558.8	t≦12.7	TMCP385B	(ﾊ)	710	55	65	85	410	φ65	8-D41H	490	900	20-D22	D13@100	24以上	C	460	65	330	65	850	200
		558-22V3T	φ550.0,φ558.8	t≦22.0	TMCP385B	(ﾆ)	850	70	65	135	225	φ65	12-D41H	490	1050	24-D22	D16@100	24以上	C	500	65	370	65	850	200
		558-28V3T	φ550.0,φ558.8	t≦28.0	TMCP385B	(ﾆ)	870	75	75	135	225	φ75	12-D51L	390	1100	28-D22	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		609-16V3T	φ600.0,φ609.6	t≦16.0	TMCP385B	(ﾊ)	820	60	80	110	440	φ75	8-D51L	390	1000	24-D22	D16@100	24以上	C	500	65	370	65	950	230
		609-22V3T	φ600.0,φ609.6	t≦22.0	TMCP385B	(ﾆ)	910	70	75	155	225	φ75	12-D51L	390	1100	28-D22	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		609-25V3T	φ600.0,φ609.6	t≦25.0	TMCP385B	(ﾆ)	910	75	75	155	225	φ75	12-D51L	390	1150	24-D25	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		660-22V3T	φ650.0,φ660.4	t≦22.0	TMCP385B	(ﾆ)	970	75	75	160	250	φ75	12-D51L	390	1150	28-D22	D16@100	24以上	C	560	65	430	65	950	230
		660-25V3T	φ650.0,φ660.4	t≦25.0	TMCP385B	(ﾆ)	970	80	75	160	250	φ75	12-D51H	490	1200	28-D25	D16@100	24以上	C	560	65	430	65	1050	235
		711-22V3T	φ700.0,φ711.2	t≦22.0	TMCP385B	(ﾆ)	1030	75	75	175	265	φ75	12-D51L	390	1250	28-D25	D16@100	24以上	C	590	65	460	65	950	230
		711-25V3T	φ700.0,φ711.2	t≦25.0	TMCP385B	(ﾆ)	1030	80	75	175	265	φ75	12-D51H	490	1300	28-D25	D16@100	24以上	C	590	65	460	65	1050	235
		762-19V3T	φ750.0,φ762.0	t≦19.0	TMCP385B	(ﾆ)	1070	75	75	185	275	φ75	12-D51L	390	1270	28-D25	D16@100	24以上	C	610	65	480	65	950	230
		762-22V3T	φ750.0,φ762.0	t≦22.0	TMCP385B	(ﾆ)	1070	80	75	185	275	φ75	12-D51H	490	1300	28-D25	D16@100	24以上	C	610	65	480	65	1050	235
		812-19V3T	φ800.0,φ812.8	t≦19.0	TMCP385B	(ﾆ)	1150	75	75	200	300	φ75	12-D51L	390	1350	32-D25	D16@100	24以上	C	660	65	530	65	950	230
		812-22V3T	φ800.0,φ812.8	t≦22.0	TMCP385B	(ﾆ)	1150	80	75	200	300	φ75	12-D51H	490	1400	32-D25	D16@100	24以上	C	660	65	530	65	1050	235

飲食テラス

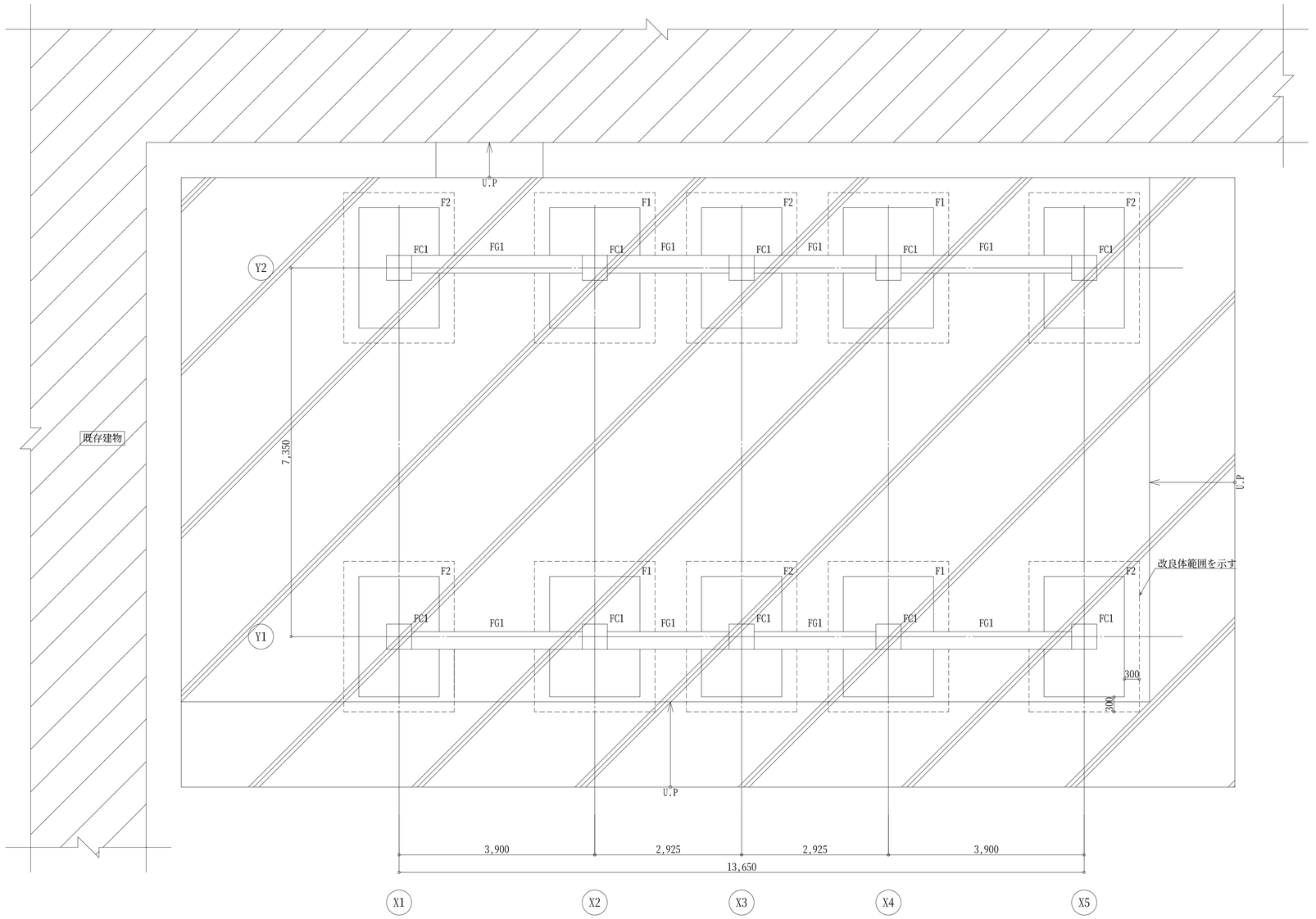
一級建築士登録 第296599号 秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 TEL.0470-22-3764 FAX.0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博

CHECKED DRAWN

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ ベースパック柱脚工法設計・施工標準図(2)
DATE ■ 2026.06.05
SCALE ■ NO SCALE
NO ■ S－08



基礎地中梁伏図

A1 1:50
A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。

1．⟋⟍ は、主筋方向を示す。
2．1SLは、GL+150とする。
3．床レベルは、SL±0とする。
4．地中梁天端は、GL-200とする。
5．（ ）内寸法は、SLとの高低差を示す。
6．▨ は、土間コンクリート(t=150)範囲を示す。
7．構造図は、見下げ図とする。

改良体仕様

工　法	：	ラップルコンクリート
改良範囲	：	図示
設計基準強度	：	Fc=18N/㎟
改良深さ	：	設計GL-1.10m～3.10m (空堀長1.10m　改良体長1.90m～2.90m)
支持層	：	固結シルト

飲食テラス

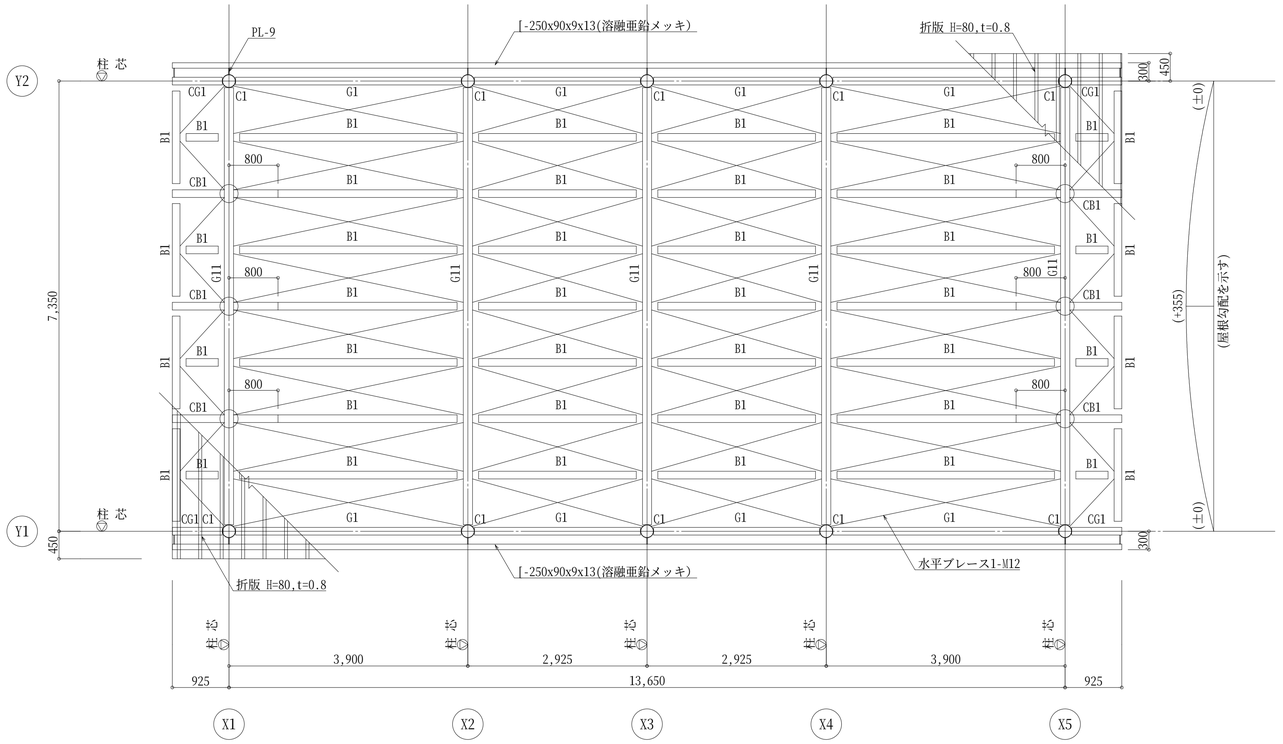
一級建築士登録　第296599号 秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785

CHECKED　DRAWN

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 基礎地中梁伏図
DATE ■ 2026.06.08
SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100
NO ■ S－09



R階梁伏図

A1 1:50
A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。

1．特記なき梁レベルは、STL±0とする。
2．折板を受ける大梁は、タイトフレーム受け(C-100x50x20x2.3)を設ける。
3．折板を受ける小梁は、接する梁レベル+50とする。
4．構造図は、見上げ図とする。

飲食テラス

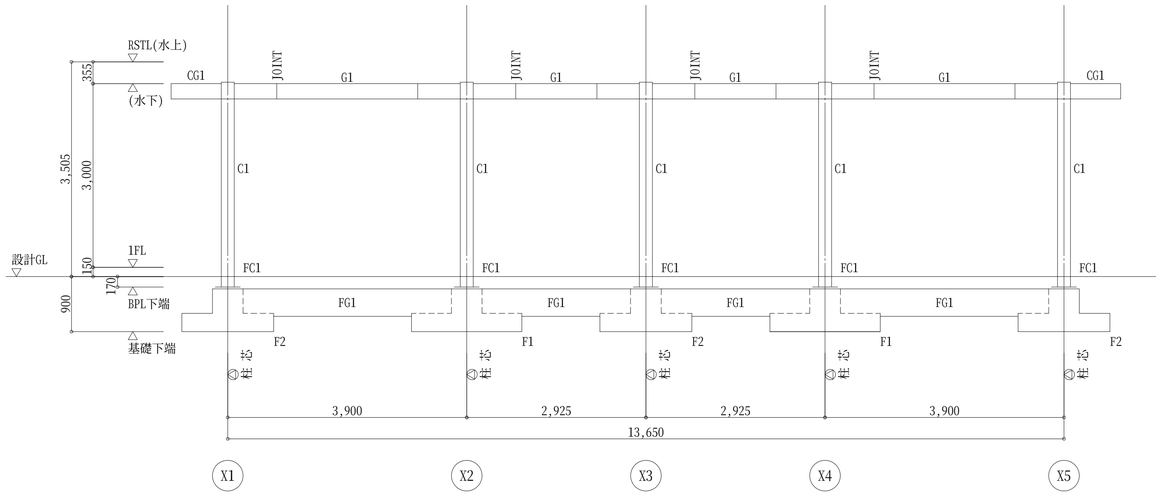
一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785

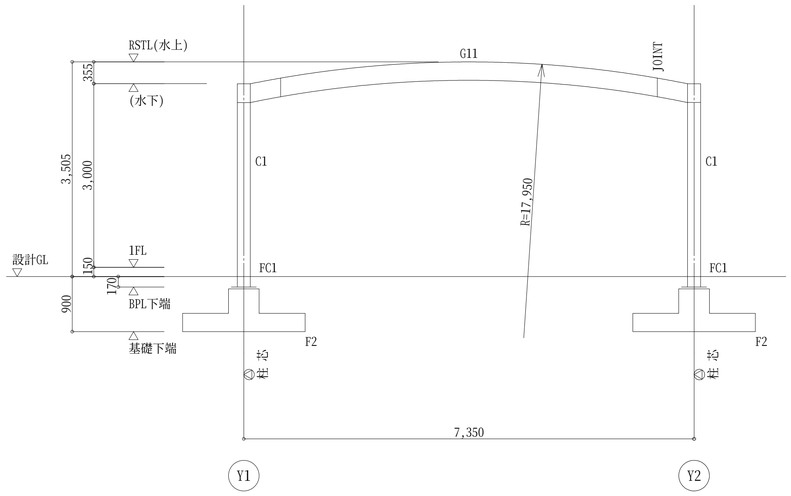
CHECKED DRAWN

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ R階伏図
DATE ■ 2026.06.08
SCALE ■ A1:1/50, A3:1/100
NO ■ S－10



Y1・Y2通り軸組図　A1 1:50　A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。
1．JOINTは、柱芯より800㎜とする。



X1～X5通り軸組図　A1 1:50　A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。
1．JOINTは、柱芯より600㎜とする。

飲食テラス

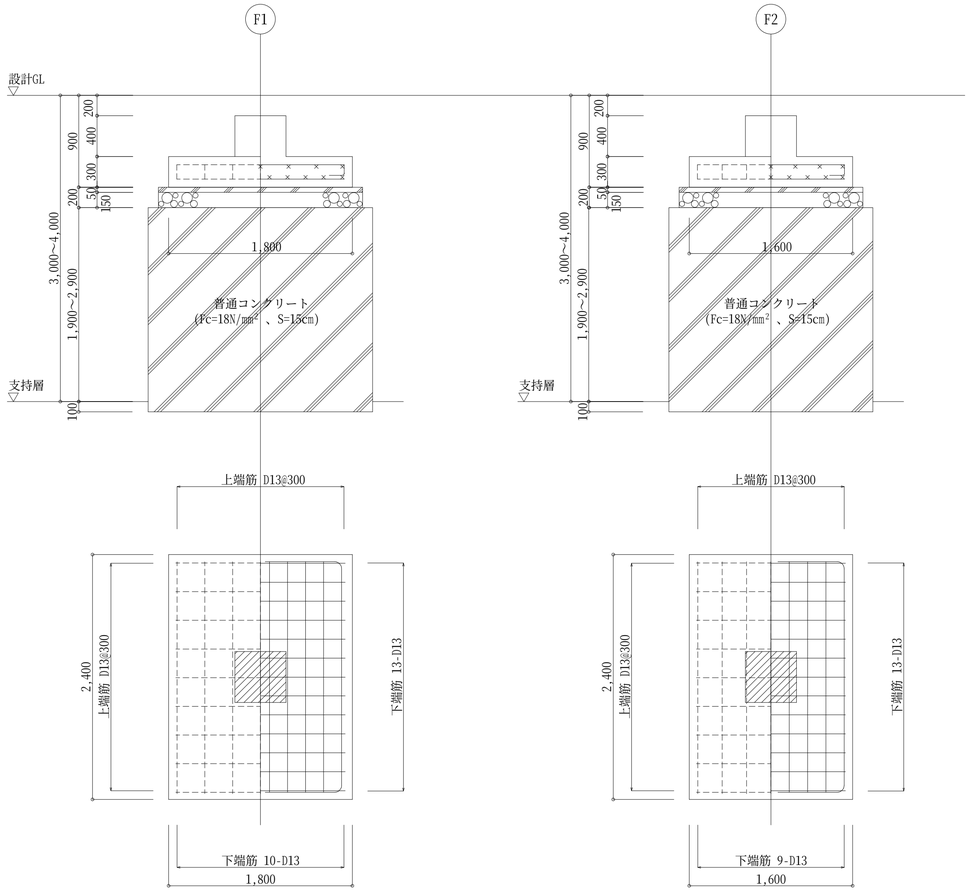
一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録
TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博

CHECKED DRAWN

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 軸組図
DATE ■ 2026.05.12
SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100
NO ■ S－11



基礎詳細図　A1 1:30 / A3 1:60

柱リスト　A1 1:30 / A3 1:60

1．材質は、STKR400とする。

階	符号	C1
1	断面	○
	鉄骨	○-216.3x5.8

※ダイヤフラム厚は、下記による
1．裏当て使用の場合、最大フランジ厚+6mm以上
2．裏ハツリ溶接及び内ダイヤフラムの場合、柱に集まる大梁の最大フランジ厚+2mm以上
3．通しダイヤフラムはSN490Cとする
4．内ダイヤフラムはSN400Bとする

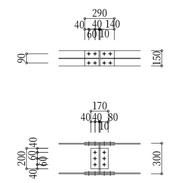
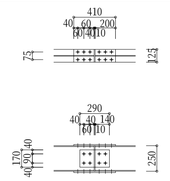
大梁リスト　A1 1:30 / A3 1:60

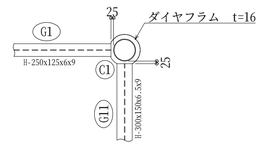
1．材質は、SS400とする。

階	符号	G1,CG1	G11
R	位置	全断面	全断面
	断面	I	I
	鉄骨	H-250x125x6x9	H-300x150x6.5x9

継手リスト　A1 1:30 / A3 1:60

1．材質はSS400とする
2．特記なきボルトは、HTB(S10T)とする

主材		H-300x150x6.5x9	H-250x125x6x9
断面			
材質		SS400	SS400
フランジ	SPL	2PL-9x150x290	2PL-12x125x410
		4PL-9x60x290	―
	HTB	16-M16	24-M16
ウェブ	SPL	2PL-6x200x170	2PL-6x170x290
	HTB	6-M16	8-M16



柱梁接合部詳細図　A1 1:30 / A3 1:60

部材リスト

1．材質はSS400とする
2．特記なきボルトは、HTB(S10T)とする

記号	形状寸法	仕口	備考
B1	H-250x125x6x9	PL- 9, 3-M16	
CB1	H-250x125x6x9	剛接合とする	
屋根	折版 H=80,t=0.8		
水平ブレース	1-M12		(JIS A5540-5542)

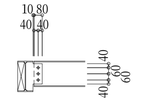


羽子板 FB-6x50x130
HTB 1-M16(S10T)
G.PL PL-6x60以上

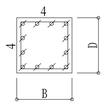
ブレース取付要領図　A1 1:20 / A3 1:40

小梁取付図　A1 1:30 / A3 1:60

1．材質はSS400とする
2．特記なきボルトは、HTB(S10T)とする

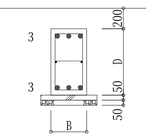
符号		-	B1
主材		―	H-250x125x6x9
断面		凡例 ボルト群芯 ボルト群の芯は、小梁の中心と合わせる。	
ウェブ	GPL	―	PL-9
	HTB	―	3-M16

柱型リスト　A1 1:30 / A3 1:60

符号	FC1
断面	
B x D	540x540
主筋	12-D16
HOOP	□-D13 @100
柱脚	ベースパック 216-13V2

地中梁リスト　A1 1:30 / A3 1:60

1．巾止め筋は、D10@1000とする。

符号	FG1
位置	全断面
設計GL ▽	
断面	
B x D	350x650
上端筋	3-D19
下端筋	3-D19
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	□-D13 @200
腹筋	8-D10

飲食テラス

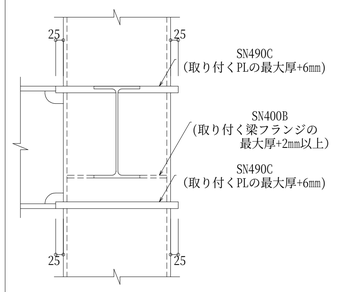
一級建築士登録　第296599号 秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項			CHECKED	DRAWN	PROJECT	道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE	2026.06.05	NO	S－12
					ITEMS	リスト	SCALE	A1:1/30, A3:1/60		

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博

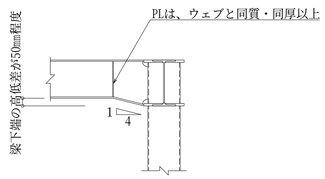
ダイアフラム詳細図

A1 1:10
A3 1:20



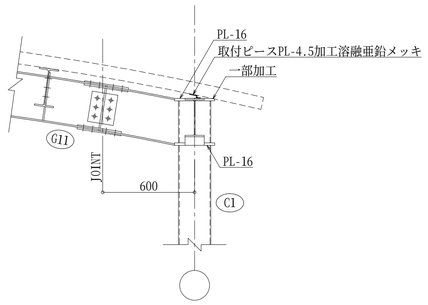
段差部仕口詳細図

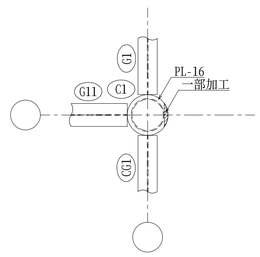
A1 1:20
A3 1:40



仕口部詳細図

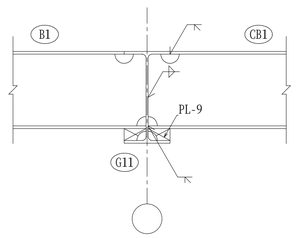
A1 1:20
A3 1:40





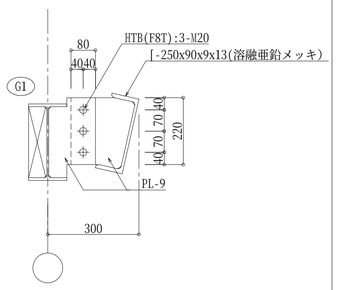
剛接部詳細図

A1 1:10
A3 1:20



折版受梁接合部詳細図

A1 1:10
A3 1:20



飲食テラス

一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 雑詳細図	DATE ■ 2026.06.08 SCALE ■ 図示	NO ■ S－13

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ◉ 印を記入する。

1．建築物の構造内容

（1）建築場所　千葉県南房総市千倉町千田1051
（2）工事種別　◉新築　□増築　□増改築　□改築
（3）構造設計一級建築士の関与　□必要　◉必要としない
□ 法第２０条第一号（高さ 60m 超）
□ 法第２０条第二号（□RC造の高さ20m超　□S造4階建以上　□木造高さ16m超　□その他）
（4）構造種別
□木造(W)　□補強コンクリートブロック造(CB)　◉鉄骨造(S)
□鉄筋コンクリート造(RC)　□壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
□鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)
□プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC)　□
（5）階 数
1 棟　地下 0 階　地上 2 階　塔屋 0 階
（6）主要用途　倉庫
（7）屋上付属物
□高架水槽　kN　□キュービクル　kN　□広告塔　□煙 突
（8）特別な荷重
□エレベータ　人乗(ﾏｼﾝﾙｰﾑﾚｽ ﾛｰﾌﾟ式 油圧式)　□リフト　kN　□ホイスト　kN
□倉庫積載床用　N/m²　□受水槽　kN　□
（9）付帯工事
□門塀　□擁壁　□駐輪場　□機械式駐車場　□　□
（10）増築計画　□有（　）　◉無
（11）構造計算ルート　X方向ルート 1 －（ 2 ）　Y方向ルート 1 －（ 2 ）

2．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（1）コンクリート(レディーミクストコンクリート JIS Q 1001,JIS Q 1011,JIS A 5308)

適用箇所	種 類	設計基準強度 Fc=N/mm²	品質基準強度 Fq=N/mm²	スランプ cm	備 考
◉	合成デッキ床	◎普通□軽量	21	24	15	
	デッキ床(ﾚﾍﾞﾃｯｷ等)	□普通□軽量	24	24	18	
◉	1階床(構造ｽﾗﾌﾞ)	◎普通	24	24	15	
◉	基礎・基礎梁	◎普通	24	24	18	
	杭	□普通	30	30	18	
◉	土間コンクリート	◎普通	21	——	18	
	押えコンクリート	□普通□軽量	18	——	15	
◉	捨てコンクリート	◎普通	18	——	15	
			18	——	18	
混和材料の種類(JIS　)		◎ＡＥ減水剤 □高性能ＡＥ減水剤 □			□	
呼び強度を保証する材齢、養生		◎材齢（◎ 28日　□ 56日　□　□　）				
		◎養生（□ 現場封かん □ 現場水中 ◎ 標準　□　）				

◉単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

（2）コンクリートブロック(□ JIS A 5406)
□A種 □B種 □C種 厚 □100 □120 □150 □190 （使用箇所□ □ ）

（3）鉄 筋

種 類	径	使用箇所	継手工法
◎ SD295	D10 ～ D16	壁・スラブ筋等	◎重ね継手(D10 ～ D16)
□			◎ガス圧接継手(D19以上)
◎ SD345	D19 ～ D25	柱・梁主筋等	□溶接継手
□ SD390			□機械式継手
□			（　）
□ 材種			各継手の使用詳細については本仕様5.(2)鉄筋の項の鉄筋継手等の◎にて表示すること。
□ 大臣認定番号 MSRB-			
□ SR235			
□			

異形鉄筋(JIS G 3112)
高強度せん断補強筋
丸 鋼(JIS G 3112)
溶接金網(JIS G 3551)

（4）鉄 骨

種 類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
◎ SS400 □ SM400 □ SN400 A,B,C	梁・プレート等	□有 ◎無	
□ SS400 □ SM400 ◎ SN400 A,B,C	内ダイヤフラム等	□有 ◎無	
□ STKR400 □ STKR490 □		□有 ◎無	
◎ BCR295 □ BCP235 □ BCP325	柱	□有 ◎無	
□ SM490 A □ SN490 B ◎ SN490 C	通しダイヤフラム	□有 ◎無	
□ SSC400 □		□有 □無	
溶接材料 □ JIS Z			

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

（5）ボルト
◉高力ボルト
□ F10T(JIS B1186) ◉ S10T認定番号(　) □ F8T認定番号(　) (◉M16 ◉M20 □M22 □M24)
◉ボルト(JIS B1180) M 12 M □4.8(4T) □
◉アンカーボルト
◎SS400 M16 L= 400 mm ナット（□シングル、◉ダブル）
□ M L= mm ナット（□シングル、□ダブル）
□頭付スタッドボルト
φ= M L= mm 使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）
φ= M L= mm 使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

（6）屋根、床、壁

材 種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ＡＬＣ (JIS A 5416)	厚	◎壁 □床版	□スライド □ボルト止め ◎ロッキング □
折 版	H= 200 厚 0.8	◎屋根 □	□
特殊デッキプレート(JIS G 3352)	型式 QL-99-50-12	◎床版 □	□
デッキプレート (JIS G 3352)	型式 厚	□床版 □	□
キーストンプレート(JIS G 3352)	型式 厚	□床版 □	□

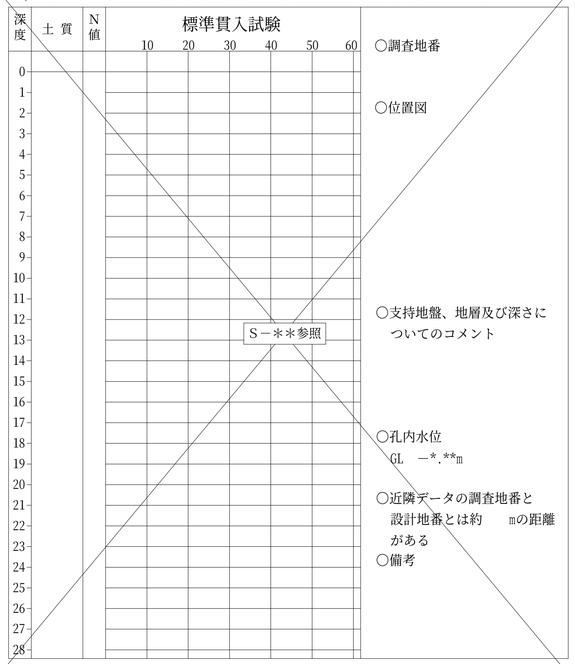
3．地 盤

（1）地盤調査資料と調査計画
◉有（ ◉敷地内 □近隣）　□無（調査計画 □有 □無）

調 査 項 目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定		
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			PS検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（2）ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎、杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

（1）直接基礎　□ベタ基礎 ◉布基礎 □独立基礎　試験堀 □有 ◉無
深さGL- m 、支持層－ 、長期許容支持力度 kN/m²　載荷試験 □有 □無
（2）地盤改良　□浅層混合処理工法 □深層混合処理工法 ◉ラップルコンクリート
深さGL- m 、支持層－ 盛土層　載荷試験 □有 □無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2018」を参考とする
（3）杭基礎　支持層－

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
□RC □PRC	PRC（□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種）	□打ち込み	
□PHC □Ｈ鋼	PHC（□A種 □B種 □C種）	□埋込み（セメントミルク工法）	
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 □STK400 □STK490	□工法名（　）認定第 号	
□SC杭 □	□JIS	□ 年 月 日	
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc N/mm²	□オールケーシング □拡底杭	
	Fq N/mm³	□リバースサーキュレーション	
	スランプ cm以下	□アースドリル □ミニアース 認定	
	セメント量 kg/m³	□BH □深礎 □手掘 第 号	
	単位水量 kg/m³	□機械掘 年 月 日	
	鉄 筋 主筋 SD		
	HOOP SD		

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□ 有 □無）（□打ち込み □載 荷 □孔壁測定 □支持層確認）　本

杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)	本数	特記事項
＊＊＊	＊＊＊	GL-＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

5．鉄筋コンクリート工事（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度(Fc)が36N/mm²以下に適用し、鉄筋の材種はSD390以下に適用する。

（1）コンクリート
◉ コンクリートはJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5(2022)による。
◉ 耐久設計基準強度Fd □ 短期 ◉ 標準 □ 長期 □ 超長期
◉ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごと撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
◉ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T-603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打込み量が150m³を超える場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。尚、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
◉ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分以内、25℃以上の場合は120分以内とする。
◉ コンクリート打込み中及び打込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにする。
◉ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

（2）鉄 筋
◉ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5による。
◉ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定される1種1号適合品とする。
◉ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
◉ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1)引張力最小部位	(2)(1)以外の部位(注) A級	B級	SA級	鉄筋の径	使用箇所
◎重ね継手	標準図による				◎D(16)以下	壁・スラブ筋等
◎圧接継手	◎告示1463号第2項各号	□			◎D(19)以上	柱・梁主筋等
□溶接継手	□告示1463号第3項各号	□	□		□D( )以上	
□機械式継手	□告示1463号第4項各号	□	□	□	□D( )以上	

注）(1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手仕様基準（建築物の構造関係技術基準解説書2020）』によって検討した部材の条件・仕様によること。
◉ D19未満は、すべて重ね継手ととする。
◉ 継手部分の施工要領は 社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法：・外観検査 ◉有 □無
・超音波探傷試験 ※有 □無（1検査ロット30箇所とする）
・引張試験 ※有 □無（引張試験有の場合、1検査ロット3本とする。建設地東京の場合、1検査ロット5本とする。）
注）1 ※ の検査のいずれかを行う。検査の種類は監理者の承認を得て決定すること。
注）2 建設地が東京都でありガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。
注）3 1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする。
◉ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、□H型(タガ型) □W型(溶接型) □S型(スパイラル型)とする。
□ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第４条の試験機関で行うこと。
試験・検査機関名　（都知事登録　号）
代行業者名
代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

（3）型 枠
◉ 材料 合板厚 12mm を標準とする。　◉ 施工 JASS5 による。
◉ 型枠存置期間

種類 部位	せき板 基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		支 柱 スラブ下		はり下	
セメントの種類 / 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	
コンクリートの材令(日) 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm²		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%	

注）1 片持ばり、庇、スパン 9.0m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
注）7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事（施工方法等計画書）

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
◉ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
（2）工事監理者の承認を必要とするもの
◉ 製作工場 ◉ 製作要領書 ◉ 工作図 ◉ 施工計画書
◉ 認定または登録工場（大臣認定 S H Ⓜ R J グレード 都登録 T1 T2 T3 ランク）
◉ 材料規格証明書※、または試験成績書
◉ 鋼材 ◉ 高力ボルト □ 特殊ボルト □ 頭付スタッド
※社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
◉ 社内検査表 □ □
（3）工事監理者が行う検査項目
（■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 現寸検査 □ 組立・開先検査 ◉ 製品検査 ◉ 建方検査 □
（4）接合部の溶接は下記によること
◉ 平成12年建設省告示第1464号 第二号 イ、ロ
◉ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」
（5）接合部の検査
◉ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検 査 箇 所	検 査 方 法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備 考
◎完全溶込み溶接部（突合せ溶接）□	外観検査（※）	100 %	30 %	結果承認	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）（注）東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する
	超音波探傷検査	100 %	30 %	結果承認	
	内質検査(注) □硬さ試験	%個	%個		
	内質検査(注) □示温塗料塗布	%個	%個		
	マクロ試験・その他	個	個		
◎隅肉溶接部	外観検査（※）	100 %	30 %	結果承認	
□スタッド溶接	曲げ打撃試験 1本/100本につき				
第三者検査機関名	（都知事登録 号）				

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。
注１）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
◉ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験 □ 要 ◉ 否　高力ボルトすべり係数試験 □ 要 ◉ 否
◉ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
◉ トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。
（6）防錆塗装
◉ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めのペイントは、◉JIS K 5674 □ □ □ を使用して4つ星 2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
◉ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。
◉ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めは、溶融亜鉛メッキA種(HDZ55)とする。
◉ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行う。
（7）耐火被覆の材料
□

7．設備関係（令第１２９条の２の３の事項）

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
◉ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部および緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
◉ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するもの(以下「屋上水槽等」という。)は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備※を除く。）は、
◉ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
◉ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
◉ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
◉ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
◉ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあっては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
◉ 給湯設備※は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kg を超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
＊「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの
◉ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
◉ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8．その他

◉ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

倉庫

一級建築士登録 第296599号 秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録
TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785 第1－2310－9001号 第246699号 岩崎 一博

CHECKED DRAWN ■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 構造設計標準仕様

DATE ■ 2026.01.29
SCALE ■ NO SCALE

NO ■ S－01

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

（１）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
（２）記号
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値(径)　　D…部材の成、又は鉄筋内法直径
@…間隔　r…半径　℄…中心線　do…部材間の内法距離　ho…部材間の内法高さ
ST…あばら筋　　HOOP…帯筋　　S.HOOP…補強帯筋

2. 鉄筋加工

（１）鉄筋の折り曲げ加工

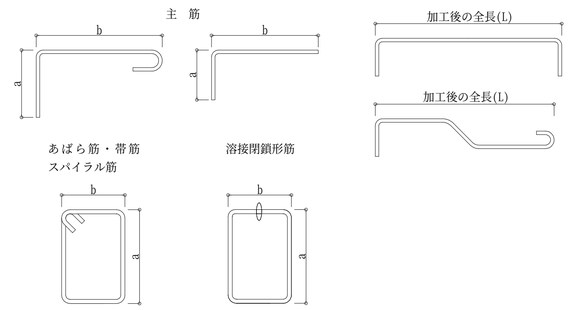
図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
180°：余長4d以上	180° 135° 90°	SD295 SD345	D16以下	3d以上
			D19～D41	4d以上
135°：余長6d以上		SD390	D41以下	5d以上
90°：余長8d以上	90°	SD490	D25以下	
			D29～D41	6d以上

[注]　(1) dは呼び名に用いた数値とする。
(2) スパイラル筋の重ね継手部に90°フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
(3) 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
(4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
(5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
(6) SD490の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

（２）加工寸法の許容差　(mm)

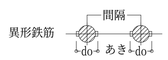
項目			符号	許容差
各加工寸法(1)	主筋	D25以下	a,b	±15
		D29以上D41以下	a,b	±20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋		a,b	± 5
加工後の全長			L	±20

[注]　(1) 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



（３）鉄筋のあき

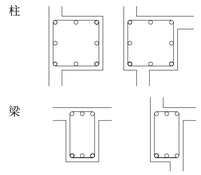
異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。



（４）鉄筋のフック

a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
a．あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
b．煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
c．柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分
　および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)
d．単純梁の下端筋
e．その他、本配筋標準に記載する箇所

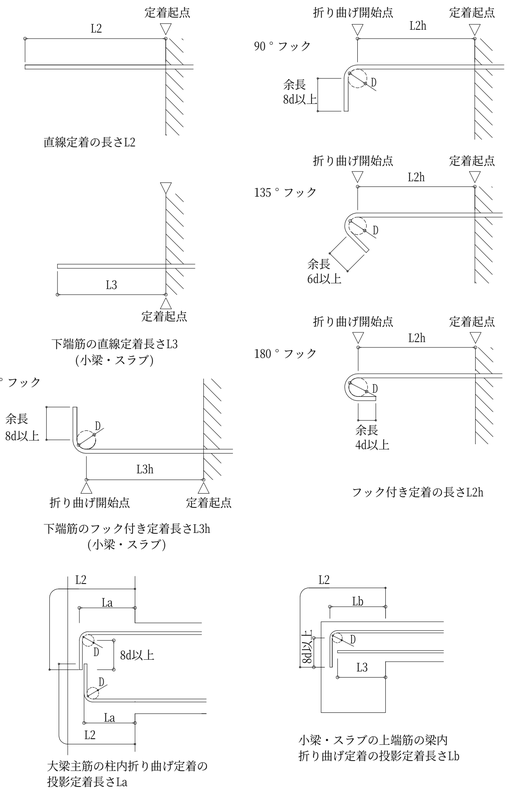
図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



（５）定着長さ　(軽量コンクリートでは5dを加算する。)

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	定着の長さ 一般 L2 (フックなし)	一般 L2h (フックあり)	一般 La(3) (3/4・D以上)	一般 Lb	小梁下端筋 L3 (フックなし)	小梁下端筋 L3h (フックあり)	スラブ下端筋 L3 (フックなし)
SD295	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	15d	15d			
	24～27	30d	20d	15d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	25d	15d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d			
	21	35d	25d	20d	20d			
	24～27	35d	25d	20d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	30d	20d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d			
	24～27	40d	30d	20d	20d			
	30～36	35d	25d	20d	15d			
	39～45	35d	25d	15d	15d			
	48～60	30d	20d	15d	15d			
SD490	24～27	45d	35d	25d	-	-	-	-
	30～36	40d	30d	25d	-			
	39～45	40d	30d	20d	-			
	48～60	35d	25d	20d	-			

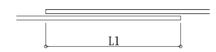
[注]　(1) フック付き鉄筋の定着長さはL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
(2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
(3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さはL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするとともに、水平投影長さはLa以上とし、余長を8d以上とする。
尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
(4) 耐圧スラブの下端筋の定着長さは一般定着L2とする。

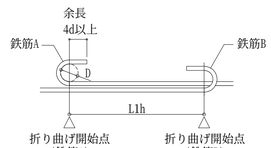


（６）継手

■重ね継手　　(軽量コンクリートでは5dを加算する。)

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	重ね継手長さ L1 (フックなし)	重ね継手長さ L1h (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24～27	35d	25d
	30～36	35d	25d
	39～45	30d	20d
	48～60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24～27	40d	30d
	30～36	35d	25d
	39～45	35d	25d
	48～60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24～27	45d	35d
	30～36	40d	30d
	39～45	40d	30d
	48～60	35d	25d
SD490	24～27	55d	40d
	30～36	50d	35d
	39～45	45d	35d
	48～60	40d	30d



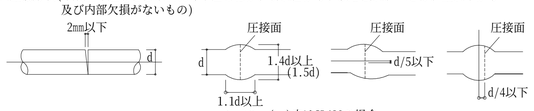


フック付き重ね継手の長さL1h

[注]　(1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
(2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
(3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

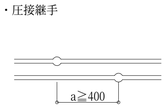
■継手に関する注意点
1．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
2．D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
3．鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
4．ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

・ガス圧接形状(平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの)

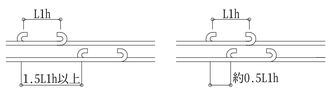


( )内はSD490の場合

・圧接継手



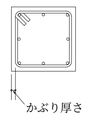
・重ね継手(下図のいずれかとする)フックなしの場合はL1hはL1



5．溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定等を受けたA級継手工法とする。
6．非破壊検査は工事監理者が承諾した信頼できる検査機関で行うこと。

（７）かぶり厚さ(単位：mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



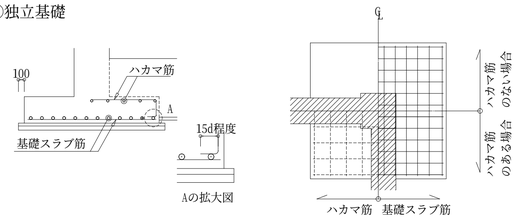
部位			設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ・床スラブ・非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40(1)	30 (20)
	柱・はり・耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50(2)	40(1)(30)
	擁壁		50	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40
	基礎・擁壁		70	60

[注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、構造設計者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、構造設計者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) ( ) 内は仕上げがある場合。

3. 杭・基礎　(配筋については地震力等の水平力を考慮して別途検討すること)

（１）直接基礎

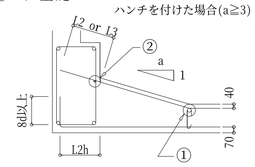
①独立基礎



（１）直接基礎（続）

②ベタ基礎

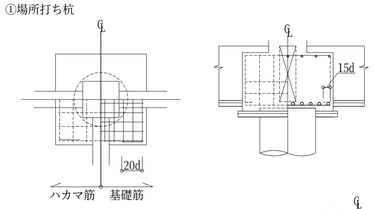
ハンチを付けた場合(a≧3)



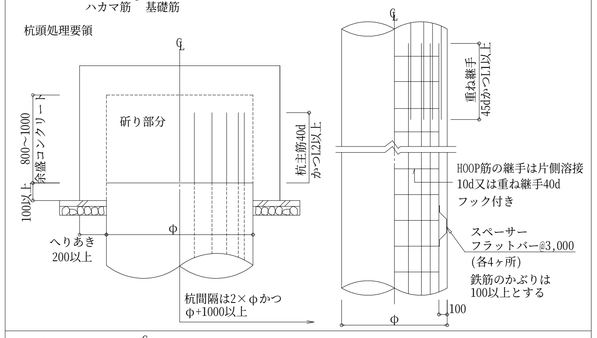
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
　但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする

（２）杭基礎

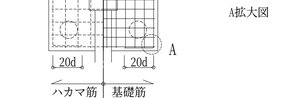
①場所打ち杭

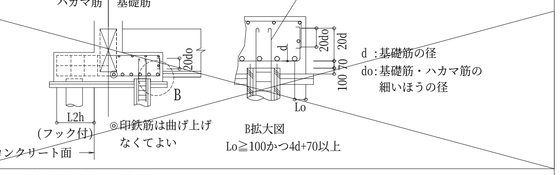


杭頭処理要領

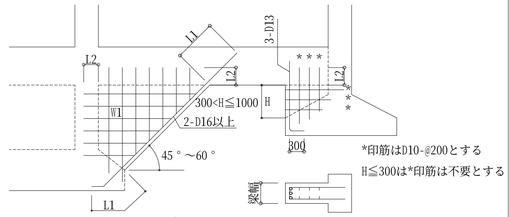


② 既成杭





（３）基礎接合部の補強



W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		株式会社 美建設計	CHECKED ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.01.29	NO ■ S－02
			DRAWN ■	ITEMS ■ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	SCALE ■ NO SCALE	

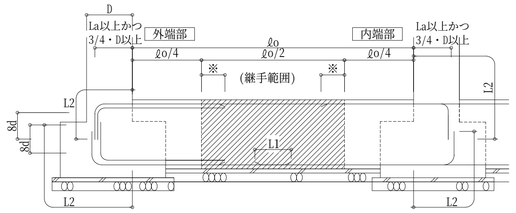
〒294－0045　千葉県館山市北条1355－45　一級建築士事務所千葉県知事登録　一級建築士大臣登録
TEL. 0470－22－3764　FAX. 0470－22－3785　第1－2310－9001号　第246699号　岩崎　一博

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

4. 地中梁

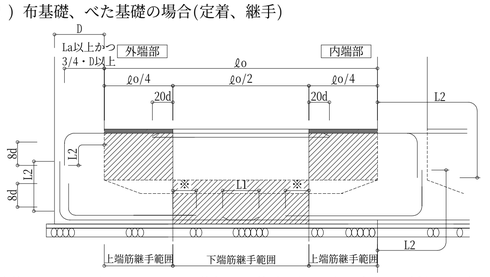
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)

(長期荷重が支配的な場合の継手は6.(2)大梁継手位置とする。)



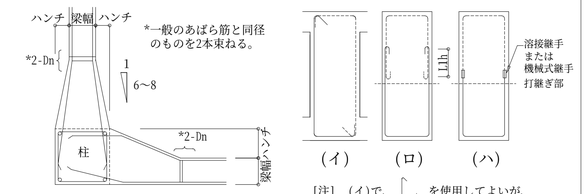
※主筋のカットオフ長さは ℓo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



※主筋のカットオフ長さは ℓo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

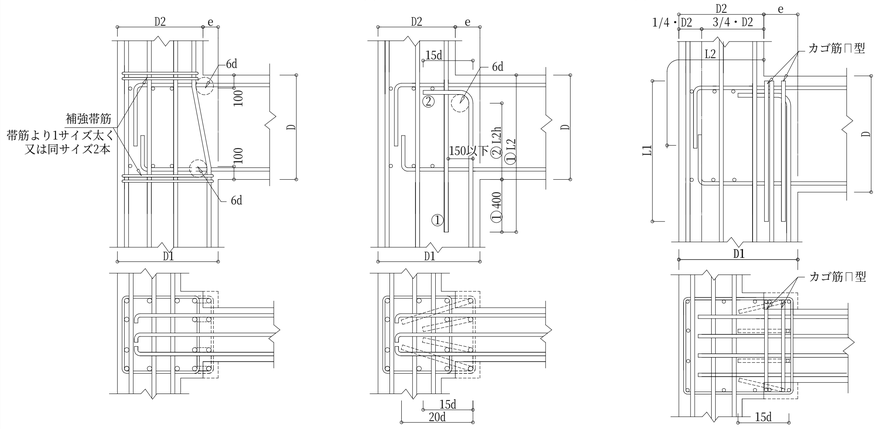
(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (4) せいの高い梁のあばら筋加工要領図



[注] (イ)で、 を使用してよいが、
は使用してはいけない。

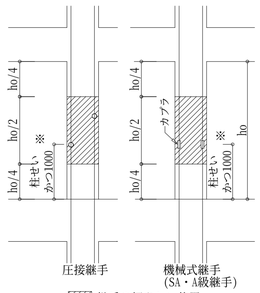
(ロ)では、あばら筋の継手は
180°フック付きとする。

(6) 絞り



5. 柱

(1) 柱主筋の継手位置

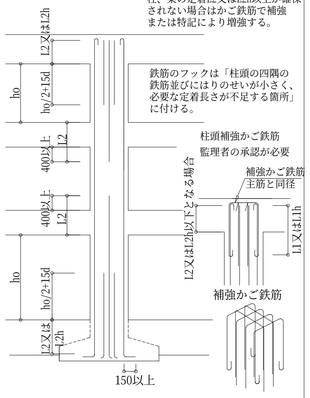


継手の好ましい位置

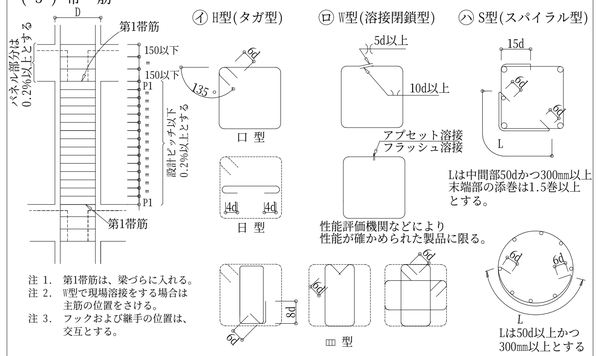
※柱せいが1.0mを超える場合の1階の継手位置は特記による。

(2) 柱主筋の定着

柱、梁の定着L2又はL2h以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強または特記により増強する。

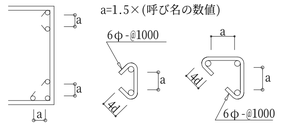


(3) 帯 筋

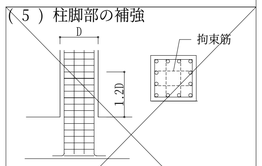


注 1. 第1帯筋は、梁づらに入れる。
注 2. Ⅱ型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける。
注 3. フックおよび継手の位置は、交互とする。

(4) 寄せ筋の保持



(5) 柱脚部の補強



1階柱脚の主筋は梁上から柱せいの1.2倍の範囲を拘束筋で拘束する。

拘束筋は以下による。

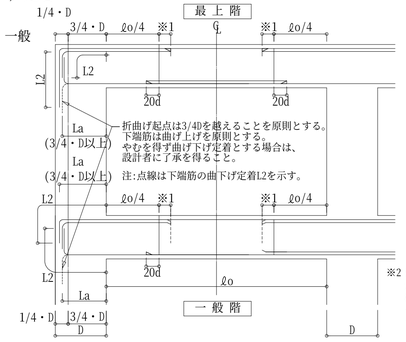
□帯筋と同径・同ピッチ、X・Y 2巻づつ

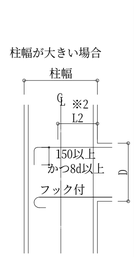
□図示による

6. 大梁

(1) 定着

ⓐ 一般





※2 柱幅が大きくて、直線部だけでL2がとれる場合でも柱中心線を超えて中間折曲げテール長150以上又は180°フック付とする。

※1 主筋のカットオフ長さは ℓo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は表6-1による。

ⓑ ハンチがある場合

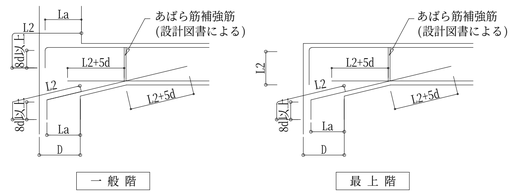
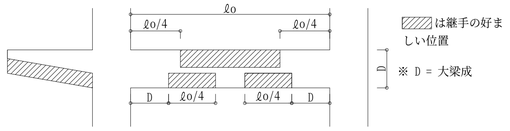


表6-1 特別なカットオフ長さを要する部材 (mm)

部材名	ℓo/4に加える長さ	部材名	ℓo/4に加える長さ

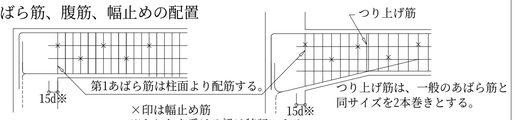
(2) 大梁主筋の継手 (SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。)



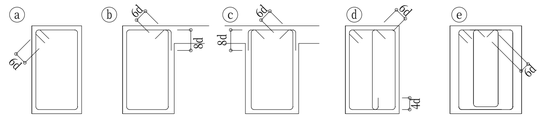
は継手の好ましい位置

※ D = 大梁成

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



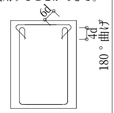
(4) あばら筋の型 (注、床版がない場合は135°以上のフックとする。)



(イ)原則として ⓐ のフック先曲とする。片側床版付(L型)梁で ⓑ 、両側床版付(T型)梁で ⓒ 又は ⓑ とすることができる。

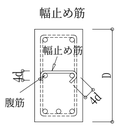
(ロ)フックの位置は ⓐ にあっては交互、ⓑ にあってはスラブ付側とする。

ⓕ 梁成の大きい場合(基礎梁)やSRC造のあばら筋の納まりに使用することができる。

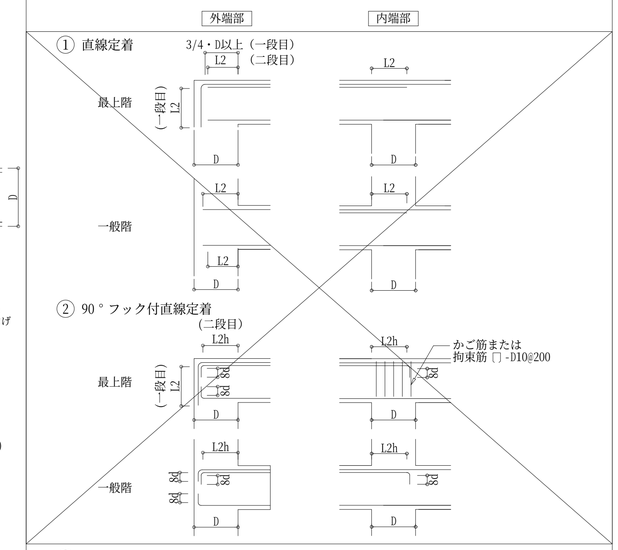


(5) 幅止め筋の本数、加工

腹 筋	D<600	不要
	600≦D<900	2-D10 1段
	900≦D<1200	4-D10 2段
	1200≦D	D10@300以内
	1200以上	D13@300以内
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける	



(6) 梁主筋の定着



※最上階 L型接合部における上端筋の一段目の定着にプレート定着を用いてはならない。

※プレート定着には性能証明等を取得した材料を用い、その工法の適用範囲と仕様を確認し、設計者に了承を得ること。

倉庫

一級建築士登録 第296599号 秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.01.29	NO ■ S−03
			ITEMS ■ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	SCALE ■ NO SCALE	

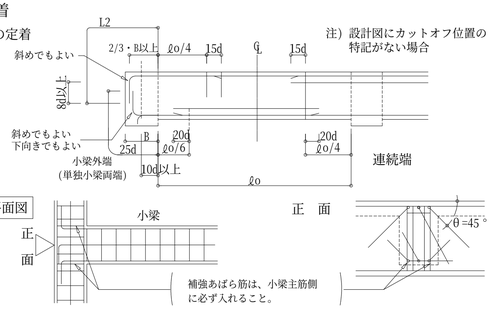
BIKEN 株式会社 美建設計
〒294−0045 TEL. 0470−22−3764
千葉県館山市北条1355−45 FAX. 0470−22−3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1−2310−9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)

7. 小梁、片持梁

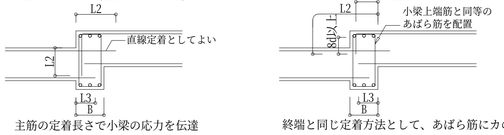
(1) 定着

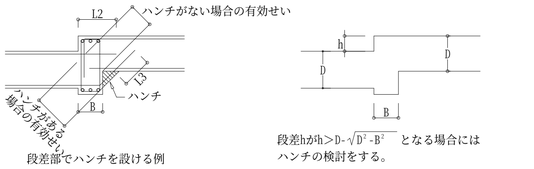
ⓐ 小梁の定着



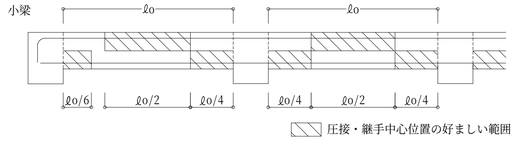
注) 設計図にカットオフ位置の特記がない場合

ⓑ 段差小梁の配筋(連続端の場合)

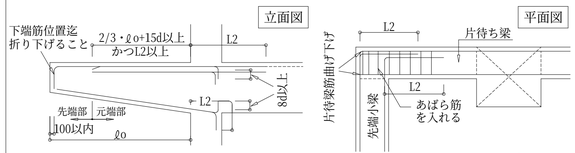




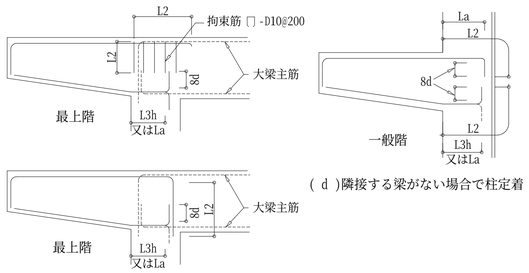
ⓒ 小梁筋の継手位置



ⓓ 片持梁の定着　注) 上端筋の柱内への定着は3/4・D以上とすること。



(a) 先端部の範囲とカットオフ位置　(b) 先端小梁の定着



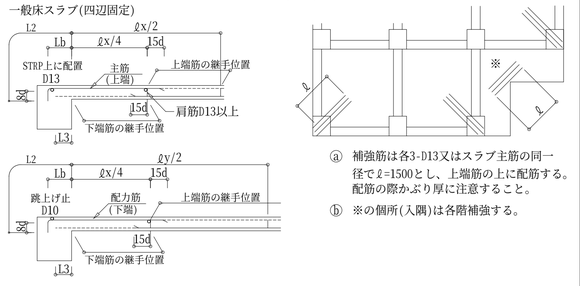
(d) 隣接する梁がない場合で柱定着

(c) 隣接する梁がある場合で柱定着
又は、隣接する梁へ定着する場合

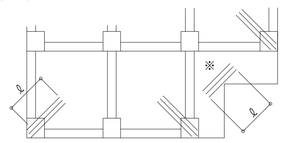
8. 床 版

(1) 定着および継手

一般床スラブ(四辺固定)



(2) 屋根スラブの補強

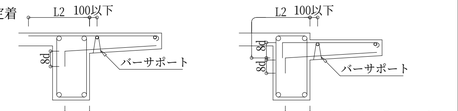


ⓐ 補強筋は各3-D13又はスラブ主筋の同一径でℓ=1500とし、上端筋の上に配筋する。配筋の際かぶり厚に注意すること。

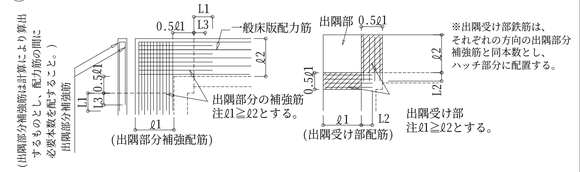
ⓑ ※の個所(入隅)は各階補強する。

(3) 片持床スラブ定着及び出隅部補強

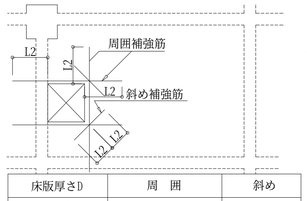
ⓐ 片持床スラブ定着



ⓑ 片持スラブ出隅部補強　注)L1は上端筋、L3は下端筋の定着長

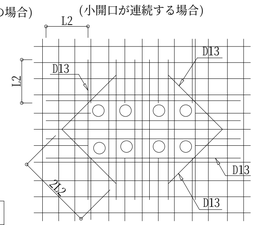


(4) 床版開口部の補強 (開口の径600以下程度の場合)



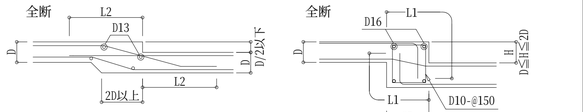
床版厚さD	周　囲	斜め
D≦150	斜め補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同径、同本数の鉄筋を開口横に配筋する。	1-D13
150<D≦300		1-D13
300<D≦500		1-D16

(小開口が連続する場合)



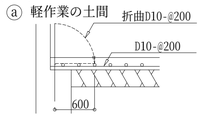
注) 設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜め補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。
孔と孔のへりあき100以上

(5) 床版段差

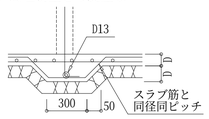


(6) 土間コンクリート

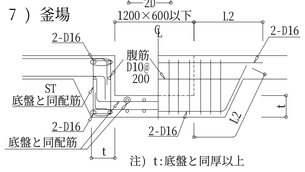
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交差部



(7) 釜場

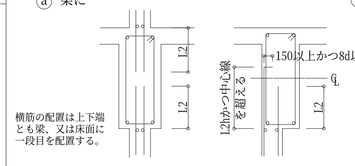


注) t:底盤と同厚以上

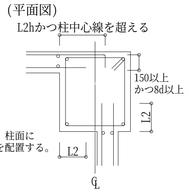
9. 壁

(1) 定着

ⓐ 梁に



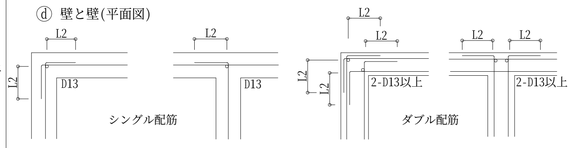
ⓑ 柱に (平面図)



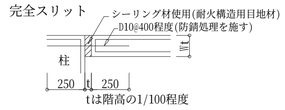
ⓒ 床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)



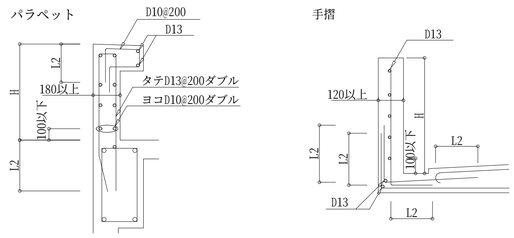
ⓓ 壁と壁(平面図)



(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

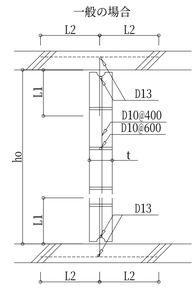


(3) 手摺、パラペット



(但し、H>800以上の場合、設計図による)

(4) コンクリートブロック帳壁

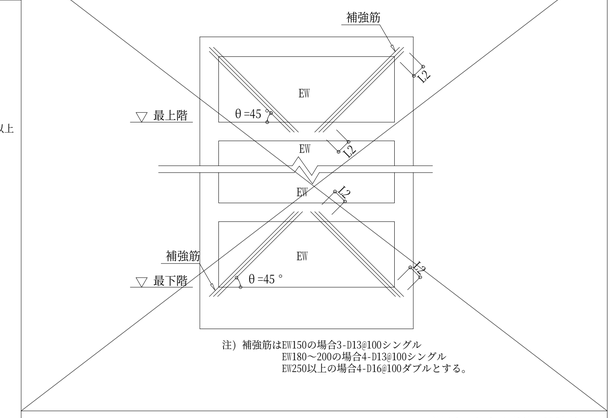


(5) 耐震壁端部の納まり



注) ho≦25t かつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注) hはコンクリートブロック段数調整寸法とする。但し、200≦h≦400
注) 継手部は必ずモルタルを充填すること

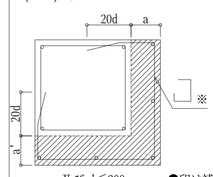
(6) 連層耐震壁乾燥収縮の補強筋

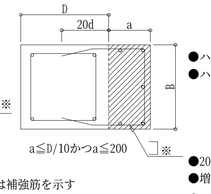


注) 補強筋はEW150の場合3-D13@100シングル
EW180～200の場合4-D13@100シングル
EW250以上の場合4-D16@100ダブルとする。

10. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと)

(1) 柱



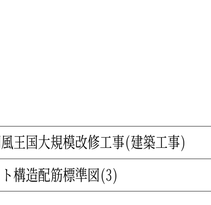


- ●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
- ●ハッチ部分の面積 A ㎝²

補強タテ筋	
A<500	500≦A<1000
3-D16	4-D16

- ●200以上の増打ちは図示による。
- ●増打ち70以下は補強なし。
- ※柱H00Pと同径、同ピッチとする。

(2) 梁



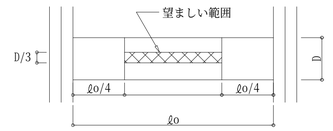


- ●補強筋は、梁主筋の1段落し径(D16以上)とする。
- ●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- ●腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- ●B≧400の場合は補強筋を3本とする。
- ●梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
- ●200以上の増打ちは図示による。
- ●増打ち70以下は補強なし。

11. 梁貫通孔補強 (開口補強筋については計算により確認し、設計者に承認を得ること)

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパンℓ/10以内かつ2D以内)は原則として避ける



貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

(2) 既製品 (指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□製品名

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

設計時に使用する評価取得品については計算書を設計者に提出する事。

注) 梁せいD/10以下かつ100㎜未満の梁貫通孔φは、補強不要とする。

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.01.29	NO ■ S－04
				ITEMS ■ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	SCALE ■ NO SCALE	

〒294－0045　TEL. 0470－22－3764
千葉県館山市北条1355－45　FAX. 0470－22－3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1－2310－9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎 一博

鉄 骨 構 造 標 準 図 (1)

1．一般事項

(1) 材料及び検査

(a) 構造設計標準仕様による。
(b) 本標準図はベースプレートを除き鋼材の厚さが40㎜以下の工事に適用する。
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の検査結果を添付する。

(2) 工作一般

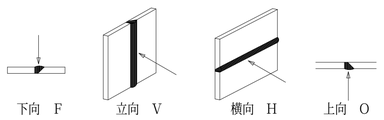
(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。
(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
(c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。

(3) 高力ボルト接合

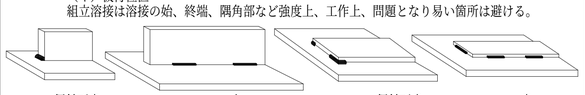
(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
(b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、一様にさびを発生させた状態とする。
但しショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、５０μmRｚ以上である場合は、さびの発生は要しない。
(c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。

(4) 溶接接合

(a) 平成１２年建設省告示第１４６４号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
(b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適応するＪISZ3801(手溶接) 又はＪISZ3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
(c) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A　(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアーガウジング機（直流）　(ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) セルフシールドアーク溶接機　(ヘ) 溶接棒乾燥器
(d) 溶接方法
被覆アーク溶接（アーク手溶接,MC、MP）　ガスシールドアーク溶接（半自動溶接,GC、GP）
セルフシールドアーク溶接（半自動溶接,NGC）　アークエアーガウジング（AAG）
(e) 溶接姿勢



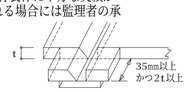
(f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う。
(イ) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。



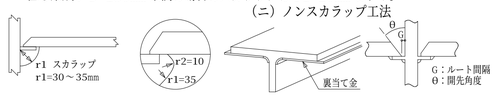
(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(g) 溶接施工
(イ) エンドタブ
・完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
・エンドタブの材質は、母材と同質とする。但し、鉄骨製作に十分な実績があり、かつ溶接部の品質が十分確保できると判断される場合には監理者の承認を受けて他の方法とすることができる。
・エンドタブの長さは、MC：35㎜以上
NGC､GC： 40㎜以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より 10㎜ 程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
・プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る。



(ロ) 裏当て金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6㎜ 、半自動溶接で 9㎜以上、巾は25㎜以上を原則とする。
但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる。
(ハ) スカラップ半径は　r1=30～35㎜とr2=10㎜のダブルアールとする。
但し梁成が D=150㎜ 未満の場合のスカラップは r1=20㎜ とする。
(ニ) ノンスカラップ工法



(ホ) 裏はつり
規準図の溶接においてＡＡＧのある部分は全て、アークエアガウジングを行った上で、部材に確認マークを付ける。
(ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又､開先部を傷めない様に養生を行う。

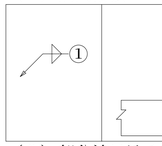
(5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2．溶接規準図

（注）f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長　（単位 mm）

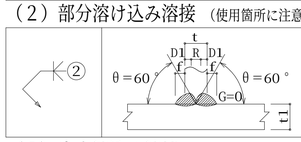
(1) 隅肉溶接



t ≦16㎜				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合はS＝tとする。
・tはｔ１、ｔ２の小なる方とする。
余盛は（１＋０．１S）mm以下とする。
・輪力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい。

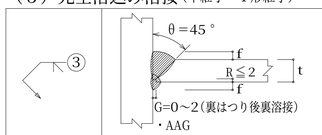
(2) 部分溶け込み溶接 （使用箇所に注意）



R≦2
t/4≦f≦10
t≦t1
D1≦(t-R)/2

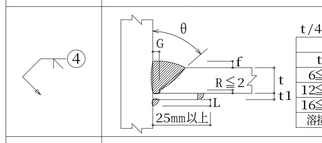
t	16＜t≦40
溶接姿勢	F.V

(3) 完全溶込み溶接（平継手　T形継手）



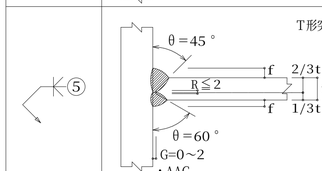
t/4≦f≦10

t	6≦t≦40
溶接姿勢	F.V



t/4≦f≦10

	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t<16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦t≦40	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

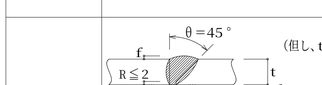


T形突合せ継手余盛 t/4≦f≦10

のど厚t mm	余盛りの高さmm
t≦4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
19＜t≦40	4
溶接姿勢	F.V



t	6＜t≦40
溶接姿勢	F.V

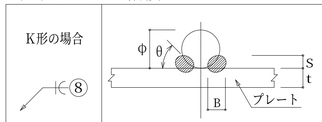


0＜f≦3.0
(但し、t≧15mmの時3.0mmを４.0mmとする)

	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19<t≦40	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フレアー溶接

K形の場合

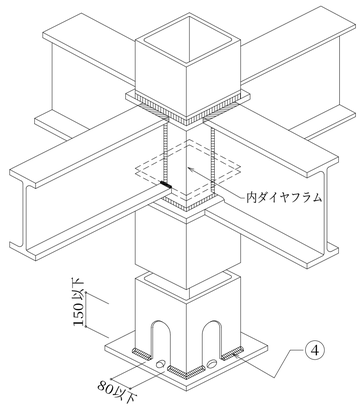


寸法 (mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

・フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする。
・9㎜～16㎜は１パス以上、19㎜以上は２パス以上とする。
溶接棒角度θは 30°～ 40°とする。

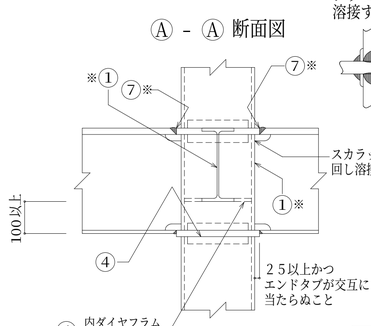
○ 溶接記号番号を○中に記入のこと

● BOX型(通しダイヤフラムの場合)

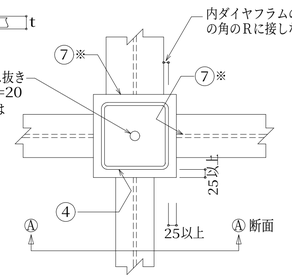


⑦※ はりフランジは、通しダイヤフラムの厚み（ｔ）の内部で溶接すること。

Ⓐ - Ⓐ 断面図



平面詳細図



①※ ｔ＞16㎜の場合の溶接は、②又は③～⑤とする。

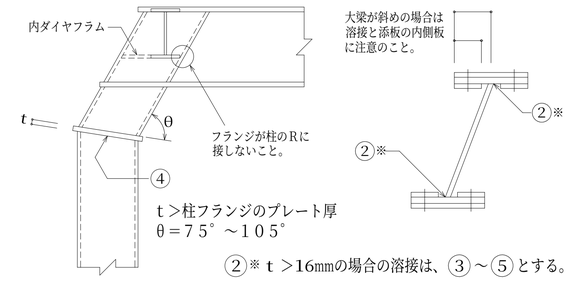
ダイヤフラム厚は、接合する梁の最大厚の２サイズアップ以上とする。
<柱材料：BCR295，BCP325を使用する場合>
通しダイヤフラムは、SN490C を使用する。
内ダイヤフラムは、　SN400B を使用する。

● 鋼材種別による溶接条件 溶接材料と入熱量・パス間温度

鋼材の種類		規格	溶接材料	入熱(kJ/cm)	パス間温度(℃)
一般鋼材	400N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW11,YGW15	40 以下	350 以下
			YGW18,YGW19	30 〃	450 〃
		JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40 〃	350 〃
			T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30 〃	450 〃
		JIS Z 3211	E43xx,E49xx	40 〃	350 〃
	490N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW11,YGW15	30 〃	250 〃
			YGW18,YGW19	40 〃	350 〃
		JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30 〃	250 〃
			T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40 〃	350 〃
		JIS Z 3211	E49xx	40 〃	350 〃
冷間成形角形鋼管	400N級炭素鋼 BCR295,BCP235 STKR400	JIS Z 3312	YGW11,YGW15	30 〃	250 〃
			YGW18,YGW19	40 〃	350 〃
		JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40 〃	350 〃
	490N級炭素鋼 BCP325 STKR490	JIS Z 3312	YGW18,YGW19	30 〃	250 〃
		JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

注）ロボット溶接の場合(一社)日本ロボット工業会による建築ロボットの型式認証条件に従うこと。
490N/㎟ を超える部材は適合する溶着金属を使用すること。
ガスシールドアーク溶接法による完全溶け込み溶接部に適用する。

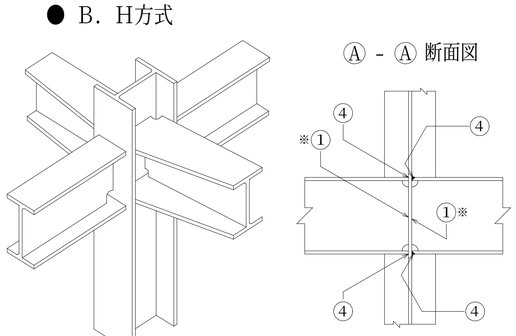
● 柱が途中で折れる場合、及び梁成が異なる場合



ｔ＞柱フランジのプレート厚
θ＝７５°～１０５°

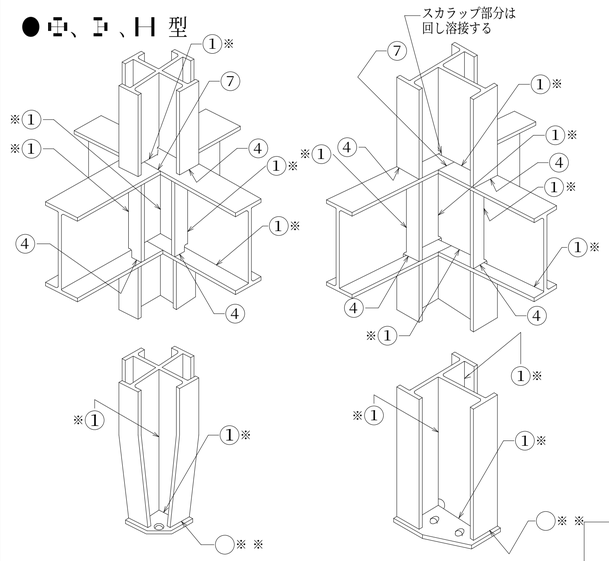
②※ ｔ＞16㎜の場合の溶接は、③～⑤とする。

● B．H方式



①※ｔ＞16㎜の場合の溶接は、③～⑤とする。

● ㊥、㊨、H 型



①※ｔ＞16㎜の場合の溶接は、②又は③～⑤とする。
◯※※ 印は設計者が記入すること。

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.01.29	NO■ S－05
		■	ITEMS ■ 鉄骨構造標準図(1)	SCALE■ NO SCALE	

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045　TEL. 0470－22－3764
千葉県館山市北条1355－45　FAX. 0470－22－3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1－2310－9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

鉄骨構造標準図（2）

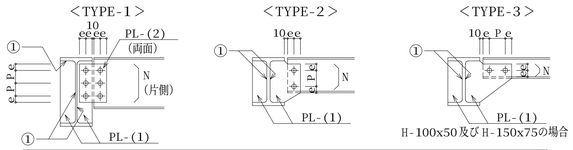
3．継手規準図、その他

（1）高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ(P)　ボルト穴径・最小縁端距離(mm)

呼び径 d		ボルト穴径	最小縁端距離(e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ(P) 最小	標準
高力ボルト	M16	18	40	28	22	40	40	60
	M20	22	50	34	26	40	50	60
	M22	24	55	38	28	40	55	60
	M24	26	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト・ボルト（ ）内は35ボルトを示す	M16	21(16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
	M20	25(20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
	M22	27(22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
	M24	29(24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
	M30を超える	呼び径＋5		9d/5	4d/3			

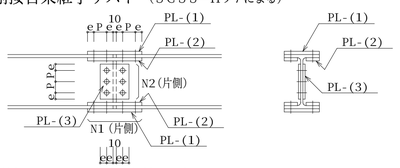
[注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離。
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離。
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離。

（2）ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
	3	H−125・60・6・8	6		2-M16
	3	H−150・75・5・7	6		2-M16
	2	H−175・90・5・8	6		2-M16
	2	H−200・100・5.5・8	6		2-M16
	2	H−250・125・6・9	6		3-M16
	2	H−300・150・6.5・9	9		3-M20
	2	H−350・175・7・11	9		4-M20
	1	H−350・175・7・11	9	6	4-M20
	2	H−400・200・8・13	9		5-M20
	1	H−400・200・8・13	9	9	4-M20

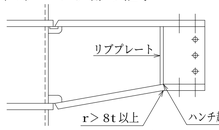
（3）剛接合梁継手リスト　（SCSS−H97による）



[注] 端部をBHとする場合の部材は設計図による。

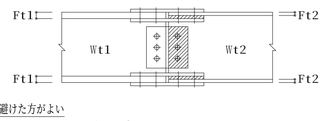
符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

（4）ハンチ部の継手



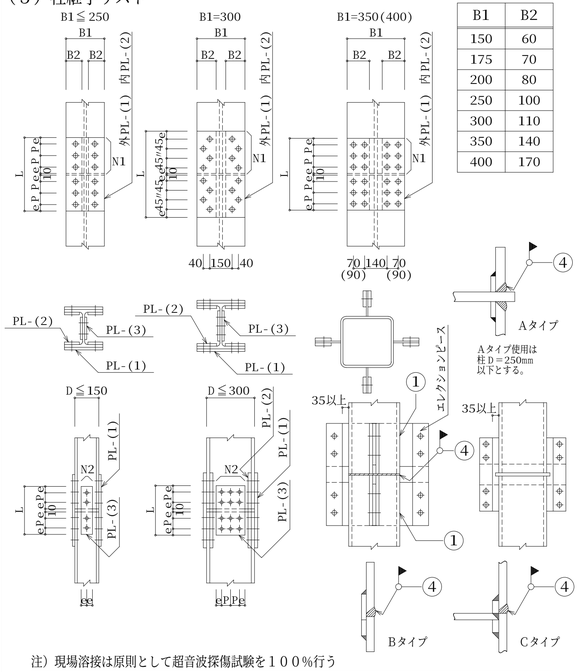
ハンチ勾配は普通１：４程度であるが構造図による
r：半径　t：板厚

フランジ及ウエブ厚の差のある場合



Ft1-Ft2
Wt1-Wt2 ≧1mm フィラプレート併用の事

（5）柱継手リスト



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注）現場溶接は原則として超音波探傷試験を１００％行う

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

（6）ターンバックルブレース（JIS規格とするJIS A 5540　2008/5541　2008）

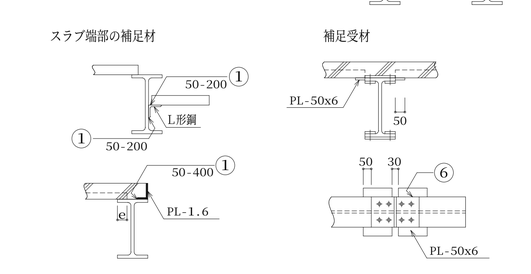
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び(d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最大		10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33	22.00
	最小		10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07	21.69
調節ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +0.-0.5mm		R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）	(2)	e1	40	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）	(1) e2	28	28	28	34	34	38	38
	板厚	t	6	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）	(1) e2	25.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚	t	6	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき（最小）		e3	52	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）		W	40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト	(2) 種類		JIS B 1186 2種高力ボルト(F10T) (3)						
	ねじの呼び		M16	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数		1	1	1	1	1	1	2

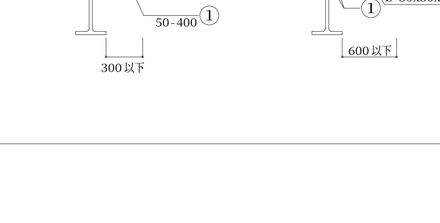
[注](1) e1、e2が確保されてれば形状は自由でよい。
(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする。
(3) 溶融亜鉛めっき製品では、JIS B 1186に規定する1種 F8TAに準ずるものを使用する。

(b) 形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N-径	ℓ



（7）デッキプレート（床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照）梁との溶接およびコネクター

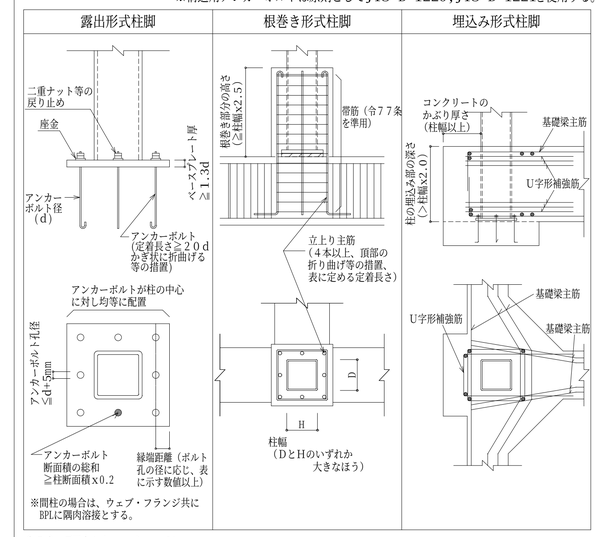


受梁へのかかり寸法及端部処理

e：長手方向で５０mm以上、幅方向で３０mm以上とする。
且つ、各メーカの仕様による。

（8）柱脚

注）許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式
※構造用アンカーボルトは原則としてJIS B 1220,JIS B 1221を使用する。



※間柱の場合は、ウェブ・フランジ共にBPLに隅肉溶接とする。

（9）頭付きスタッド（JIS B 1198-2011）

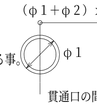
スタッド材の標準形状・寸法



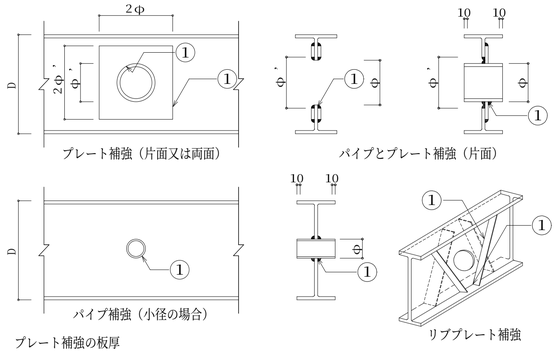
形状	スタッド材 呼び名	軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm	呼び長さL mm
	φ13mm	13	25	8	□80 □100 □120 □
	φ16mm	16	29	8	□80 □100 □120 □
	φ19mm	19	32	10	□80 □100 □120 □150 □
	φ22mm	22	35	10	□80 □100 □120 □150 □
	φ25mm	25	41	12	□120 □150 □170 □

（10）梁貫通補強

（φ1＋φ2）x３／２以上



・計算で確認された場合は下図の位置、寸法及び補強方法によらなくて良い。
・梁端部（内法スパンℓ0の１／１０以内かつ、２D以内）は避ける。
・原則、梁せい方向の配置は梁芯とすること。ずれる場合は設計者に確認する事。
・φ≦０．４D
・φ'は補強板の穴径を示す。
・既製品を使用する場合は、施工前に計算書を提出し、承認を得ること。
設計時に使用する評価取得品については計算書を設計者に提出する事。
指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せる事。



プレート補強の板厚

スリーブ径	補強板
φ≦０．１５D	補強板不要、ただし設計者に確認すること
φ≦D／４	Ｗｅｂ板厚以上（片面）
φ≦D／３	Ｗｅｂ板厚ｘ１．２倍以上（片面）
φ≦０．４D	Ｗｅｂ板厚以上（両面）

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.01.29	NO ■ S−06
		■	ITEMS ■ 鉄骨構造標準図(1)	SCALE ■ NO SCALE	

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294−0045 千葉県館山市北条1355−45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1−2310−9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL. 0470−22−3764 FAX. 0470−22−3785

ベースパック

角形鋼管

□-150×150 ～ □-800×800 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0335-01」（2024年1月26日付）

ベースパック柱脚工法　設計施工標準図

1／3

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

●本標準図は1／3～3／3で構成されている。

岡部株式会社　TEL:03（3624）5336

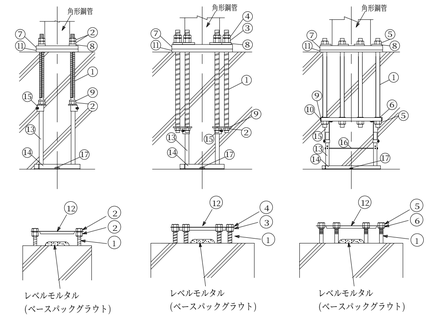
旭化成建材株式会社　TEL:03（3296）3515

改訂:2026.3.26

1．工法概要

1．1 構成部材

BP 異形 M アンカータイプ　BP 異形 D アンカータイプ　BP 丸鋼アンカータイプ

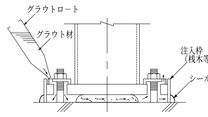


①アンカーボルト
②BP M ナット
③BP D ナット
④BP D ナット(S)
⑤BP 丸鋼ナット
⑥BP 位置決めナット
⑦ベースプレート
⑧BP 注入座金
⑨BP 定着板/BP 連結定着板
⑩BP 定着ベルト
⑪ベースパックグラウト
⑫テンプレート
⑬フレームポスト
⑭フレームベース
⑮BP 受け金物
⑯振れ止め金物
⑰ステコンアンカー

(注)上記①～⑪ の構成部材はベースパック構成部品として供給される。

(注)上記⑫ ～ ⑰ は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1．2 柱脚の定着方法概要



2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
	SHC400	
295	BCR295	
	JBCR295	
	TSC295	
	BCP325	
325	STKR490	
	SHC490	
	BSH325	
365	UBCR365	
385	JBCR385	
	BCP385	

3．構成部材・寸法

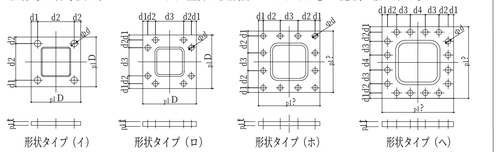
3．1 ベースプレート

●材質

SN490B【JIS G 3136】、TMCP385B【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

●形状寸法

仕様毎の各寸法は、「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」に記載の値とする。

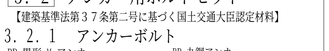


3．2 アンカー用ボルトセット

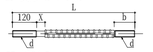
【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

3．2．1 アンカーボルト

BP 異形 M アンカー　BP 丸鋼アンカー



BP 異形 D アンカー



BP 異形 M アンカー　単位 mm

呼び	異形筋呼び	基準強度(N/mm²)	アンカーボルト本数	L	X	b
MD27	D29	490	4	650	45	128
MD30	D32	490	4	695	45	133
			8	665		50
MD33	D35	490	4	690,735	45	95,140
			8	700		50
MD36	D38	490	4	770	60	130
			8	830		50
MD39	D41	490	4	770,810	60	98,135

BP 異形 D アンカー　単位 mm

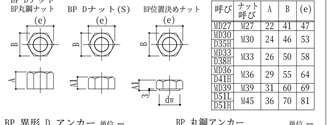
呼び	基準強度(N/mm²)	L	b	端部ねじ d
D35H	490	875	55	M30
D38H	490	1030	60	M33
D41H	490	1085	60	M36
D51L	390	1110	70	M45
D51H	490	1220		

BP 丸鋼アンカー　単位 mm

呼び	基準強度(N/mm²)	L	b
M48	600	1100	140
M52	600	1195	155
M56	600	1275,1395	160
M60	600	1350,1475	170
M64	600	1430,1495	175

3．2．2 ナット

BP M ナット
端部ナット
BP D ナット
BP丸鋼ナット



BP 異形 M アンカー(BP Mナット)
BP 異形 D アンカー(端部ナット)

呼び	ナット呼び	A	B	(e)
MD27	M27	22	41	47
MD30	M30	24	46	53
D35H				
MD33	M33	26	50	58
D38H				
MD36	M36	29	55	64
D41H				
MD39	M39	31	60	69
D51L	M45	36	70	81
D51H				

BP 異形 D アンカー　単位 mm

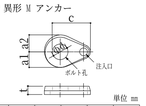
呼び	BP ナット寸法 A	BP ナット寸法 A1	B	(e)
D35H	42	28	60	69
D38H	45	30	65	73
D41H	48	32	70	80
D51L	60	40	80	92
D51H				

BP 丸鋼アンカー　単位 mm

呼び	BP丸鋼ナット	BP位置決めナット	B	(e)	dw
M48	58	29	75	87	59
M52	62	31	80	92	59
M56	65	34	85	98	74
M60	68	36	90	104	74
M64	51	38	95	110	74

3．2．3 BP 注入座金

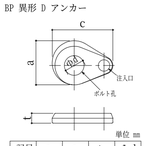
BP 異形 M アンカー



単位 mm

記号	a1	a2	c	t	Φ d
PM27	32	42	101	18	28
PM30	32	42	101	18	31
PM33	35	45	110	18	34
PM36	35	45	110	18	37
PM39	38	48	118	18	40

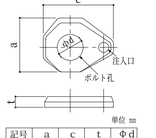
BP 異形 D アンカー



単位 mm

記号	a	c	t	Φ d
PD35	86	118	18	40
PD38	90	125	22	43
PD41	96	128	22	46
PD51	116	147	22	58

BP 丸鋼アンカー



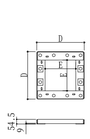
単位 mm

記号	a	c	t	Φ d
PA48	102	133	22	49
PA52	110	140	22	53
PA56	116	147	22	58
PA60	122	153	22	61
PA64	128	159	22	65

3．3 定着部材

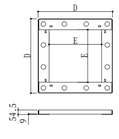
3．3．1 BP 定着ベルト

BP 異形 D アンカー12本仕様　単位 mm



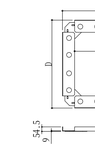
ベースパック記号	D	E
35-25F3	565	365
35-19F4,35-22F4	575	375
40-22F3,40-16F4	625	425
40-25F3,40-19F4,40-22F4	630	430
45-19F3,45-16F4	675	475
45-22F3,45-19F4	680	480
45-25F3	700	500
45-28F3,45-22F4,45-25F4	714	514
50-19F3	730	530
50-22F3	750	550
50-25F3,50-28F3,50-32F3	774	574
50-36F3,50-19F4,50-22F4,50-25F4,50-28F4		
55-19F3	790	590
55-22F3,55-25F3,55-28F3,55-19F4,55-22F4	814	614

BP 丸鋼アンカー12本仕様　単位 mm



ベースパック記号	D	E
55-32F3,55-25F4	885	625
55-36F3,55-40F3,55-28F4,55-32F4	899	639
60-19F3	895	695
60-22F3,60-19F4	905	645
60-25F3	915	655
60-28F3,60-22F4	925	665
60-32F3,60-25F4	939	679
60-36F3,60-40F3,60-28F4,60-32F4	953	663
65-22F3	935	675
65-25F3	975	715
65-28F3,65-22F4,65-25F4	989	729
65-32F3,65-36F3,65-28F4	1003	713
70-22F3	1015	755
70-25F3,70-22F4	1029	769
70-28F3	1049	789
70-32F3,70-25F4	1063	773
75-22F3,75-25F3	1089	829
75-28F3,75-22F4	1103	813

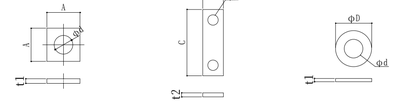
BP 丸鋼アンカー16本仕様　単位 mm



ベースパック記号	D	E
63-40F3,65-32F4	1047	757
70-36F3,70-28F4	1097	807
70-40F3,70-32F4	1105	795
75-32F3,75-25F4	1177	887
75-36F3,75-40F3,75-28F4,75-32F4	1215	905
80-25F3	1178	918
80-28F3	1197	907
80-32F3,80-36F3,80-25F4,80-28F4	1265	955

3．3．2 BP 定着板

アンカーボルト4本タイプ BP定着板　アンカーボルト8本タイプ BP連結定着板　アンカーボルト 12、16本タイプ BP定着板



BP 異形 Mアンカー　単位 mm

呼び	BP定着板(4本タイプ) A	Φ d	t 1	BP連結定着板 B	C	Φ d	t 2
MD27	55	28	9	-	-	-	-
MD30	55	31	9	50	163	31	6
MD33	60	34	9	61	174	34	6
MD36	65	37	12	67	180	37	6
MD39	80	40	12	-	-	-	-

BP 異形 Dアンカー　単位 mm

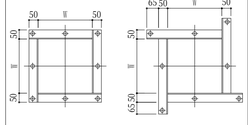
呼び	BP連結定着板			BP定着板(12本タイプ)		
	B	C	Φ d	t 2	Φ D	Φ d	t 1
D35H	61	195	31	12	-	-	-
D38H	65	199	34	12	65	34	6
D41H	72	206	37	12	70	37	6
D51L,D51H	-	-	-	-	84	46	9

BP 丸鋼アンカー　単位 mm

呼び	BP定着板(12本タイプ) Φ D	Φ d	t 1	BP定着板(16本タイプ) Φ D	Φ d	t 1
M48	85	60	6	-	-	-
M52	95	60	9	-	-	-
M56	105	75	12	118	75	12
M60	119	75	16	137	75	16
M64	133	75	16	145	75	22

3．4 フレームベース

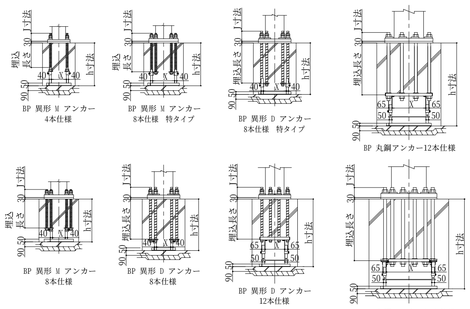
wは3.5に記載のフレームベース内法寸法とする。



3．5 アンカーフレーム形状および据付け時躯寸法

●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。

据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は「ベースパック柱脚工法設計施工標準図2／3、3／3」に記載の値とする。

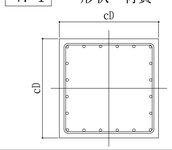


単位 mm

ベースパック記号	フレームベース内法寸法W 標準	特タイプ	フレームボス下端寸法X 標準	特タイプ
15-12F2	250	-	170	-
17-12F2	280	-	200	-
20-09F2	310	-	230	-
20-12F2	310	-	230	-
25-09F2	360	-	280	-
25-12F2	370	-	290	-
25-16F2	222	385	142	305
30-09F2	420	-	340	-
30-12F2	300	447	220	367
30-16F2	288	459	208	379
30-19F2	318	489	238	409
35-12F2	337	500	257	420
35-16F2	367	530	287	450
35-19F2	344	513	264	433
35-22F3	339	518	259	438
35-25F3	476	-	367	-
40-16F3	414	583	334	503
40-19F3	409	588	329	508
40-22F3	536	-	427	-
40-25F3	541	-	432	-
45-16F3	459	638	379	558
45-19F3	586	-	477	-
45-22F3	591	-	482	-
45-25F3	611	-	502	-
45-28F3	608	-	499	-
50-19F3	641	-	532	-
50-22F3	661	-	552	-
50-25F3	668	-	559	-
50-28F3	668	-	559	-
50-32F3	668	-	559	-
50-36F3	668	-	559	-
55-19F3	701	-	592	-
55-22F3	708	-	599	-
55-25F3	708	-	599	-
55-28F3	708	-	599	-
55-32F3	737	-	628	-
55-36F3	737	-	628	-
55-40F3	737	-	628	-
60-19F3	785	-	676	-
60-22F3	757	-	648	-
60-25F3	767	-	658	-
60-28F3	777	-	668	-
60-32F3	777	-	668	-
60-36F3	771	-	662	-
60-40F3	771	-	662	-
65-22F3	787	-	678	-
65-25F3	827	-	718	-
65-28F3	827	-	718	-
65-32F3	821	-	712	-
65-36F3	821	-	712	-
65-40F3	955	-	846	-
70-22F3	867	-	758	-
70-25F3	867	-	758	-
70-28F3	887	-	778	-
70-32F3	881	-	772	-
70-36F3	1005	-	896	-
70-40F3	1005	-	896	-
75-22F3	927	-	818	-
75-25F3	927	-	818	-
75-28F3	921	-	812	-
75-32F3	1085	-	976	-
75-36F3	1115	-	1006	-
75-40F3	1115	-	1006	-
80-25F3	1105	-	996	-
80-28F3	1105	-	996	-
80-32F3	1165	-	1056	-
80-36F3	1165	-	1056	-
35-16F4	339	518	259	438
35-19F4	486	-	377	-
35-22F4	486	-	377	-
40-16F4	536	-	427	-
40-19F4	541	-	432	-
40-22F4	541	-	432	-
45-16F4	586	-	477	-
45-19F4	591	-	482	-
45-22F4	608	-	499	-
45-25F4	608	-	499	-
50-19F4	668	-	559	-
50-22F4	668	-	559	-
50-25F4	668	-	559	-
50-28F4	668	-	559	-
55-19F4	708	-	599	-
55-22F4	708	-	599	-
55-25F4	737	-	628	-
55-28F4	737	-	628	-
55-32F4	737	-	628	-
60-19F4	757	-	648	-
60-22F4	777	-	668	-
60-25F4	777	-	668	-
60-28F4	771	-	662	-
60-32F4	771	-	662	-
60-22F4	827	-	718	-
65-25F4	827	-	718	-
65-28F4	821	-	712	-
65-32F4	955	-	846	-
70-22F4	867	-	758	-
70-25F4	867	-	758	-
70-28F4	1005	-	896	-
70-32F4	1005	-	896	-
75-25F4	1085	-	**976**	-
75-28F4	1115	-	1006	-
75-32F4	1115	-	1006	-
80-25F4	1165	-	1056	-
80-28F4	1165	-	1056	-

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質



●コンクリート

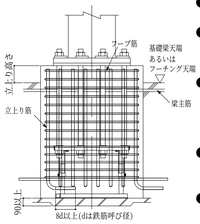
普通コンクリートとし、設計基準強度は36N/㎟を上限とする。設計基準強度の下限は「ベースパック柱脚工法設計施工標準図2／3、3／3」に記載の値とする。

●鉄筋

立上り筋：SD295(D16)、SD345(D19,D22,D25)、SD390(D29)

フープ筋：SD295

4．2 配筋・基礎立上り



●立上り筋の下部折り曲げは8d以上とする。

●立上り筋の下部折り曲げは梁下端筋より下方に配筋する。

● 立上り高さは、50㎜以下とする。ただし、BP丸鋼アンカータイプは200㎜以下とする。

●立上り筋の頂部にはフックをもうけなくてよい。

●柱型頂部のフープ筋（トップフープ）は、基礎梁主筋より上方へ配置する。

4．3 特記事項

4.1及び4.2によらない場合は下記による。

採用

□ 鉄筋コンクリート柱として設計

□ 立上り筋に頂部フックが必要

□ 立上り筋の下部折り曲げ不要

5．工場製作（溶接）

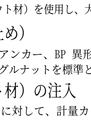
■組立

●ベースプレートの中心に柱材軸心を合わせる。

●溶接方法（完全溶込み溶接）

●完全溶込み溶接とする。
（JASS6 鉄骨工事による）

完全溶込み溶接の開先標準（JASS6 鉄骨工事 2018年版より）

図	溶接方法	適用板厚 T(㎜)	ルート間隔G(㎜) 標準値	許容差	ルート面R(㎜) 標準値	許容差	開先角度α(°) 標準値	許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2,+∞(-3,+∞)	2	-2,+1(-2,+2)	α：45	-2.5,+∞(-3,+∞)	下向き
			9	-2,+∞(-3,+∞)	2	-2,+1(-2,+2)	α：35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6～	6	-2,+∞(-3,+∞)	2	-2,+1(-2,+2)	α：45	-2.5,+∞(-3,+∞)	下向き
			7	-2,+∞(-3,+∞)	2	-2,+1(-2,+2)	α：35		

許容差・記号+∞は制限無しを示す。

・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

●ベースプレートの予熱

●気温（鋼材表面温度）が５℃以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。

その他必要に応じて適切な予熱をする。

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

探傷は柱側から行う。

■不良溶接部の補正：有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。

■施工管理：7.本工法の施工及び施工管理参照。

溶接方法	鋼種	板厚（㎜） t＜32	32≦t≦50	50＜t≦85
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50℃	－
CO_2ガスシールドアーク溶接※1	SN490B	予熱なし	予熱なし	－
低水素系被覆アーク溶接	TMCP385B※2	－	50℃	50℃
CO_2ガスシールドアーク溶接※1	TMCP385B※2	－	予熱なし	予熱なし

※1 フラックス入りワイヤによる炭酸ガスシールドアーク溶接の予熱温度は、被覆アーク溶接（低水素）に準じる。

※2 「建築構造用TMCP鋼材溶接施工指針(2021)に準拠し、TMCP385Bは上記予熱温度の適用に当たり、各メーカーのγ形溶接割れ試験(JIS Z 3158による)の実績または溶接施工指針を確認している。

6．工事場施工

6．1 基礎工事

●柱脚部の捨てコンの厚さは90㎜以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6．2 アンカーボルトの据付け

●4本及び8本タイプのアンカーボルトの据付けは、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立を行う。
12本及び16タイプのアンカーボルトの据付けは、予め捨てコン上にセットされたフレーム上に、定着部材・アンカーボルト・テンプレート等でアンカーユニットを組立て、フレームに固定する。

●フレームベースは、ステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心位置と地墨等の柱心を合致させることにより行う。標準許容差は下図による。

6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーフレームもしくはアンカーユニットおよびフレームとの取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6．4 建方

●レベルモルタル施工は、ベースパックグラウト（グラウト材）を使用し、大きさは下図による。

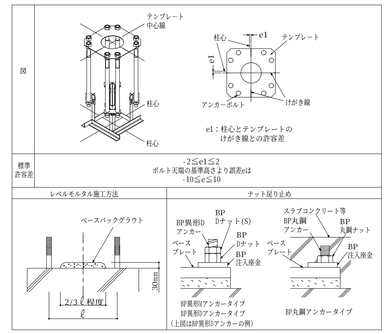
6．5 アンカーボルトの本締め（戻り止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、BP 異形 M アンカー、BP 異形 D アンカータイプはダブルナットを標準とする。
BP 丸鋼アンカータイプはBP 丸鋼ナットによるシングルナットを標準とし、コンクリートに埋込む等の戻り止め処置を行う。

6．6 ベースパックグラウト（グラウト材）の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋（25kg）に対して、計量カップで4.0～4.6ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。



7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち６．２アンカーボルトの据付けおよび６．６ベースパックグラウト（グラウト材）の注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作作業者に属する鉄骨制作管理技術者等による。

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博
TEL.0470-22-3764 FAX.0470-22-3785

CHECKED ■　DRAWN ■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)

ITEMS ■ ベースパック柱脚工法設計・施工標準図(1)

DATE ■ 2026.05.01

SCALE ■ NO SCALE

NO■ S－07

ベースパック

角形鋼管
□-150×150 ～ □-800×800 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0335-01」（2024年1月26日付）

ベースパック柱脚工法　設計施工標準図

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。
●本標準図は1／3～3／3で構成されている。

岡部株式会社　TEL:03（3624）5336
旭化成建材株式会社　TEL:03（3296）3515

改訂:2026.3.26

採用		RC柱として設計※1	ベースパック記号	柱		ベースプレート								アンカーボルト			コンクリート柱型（側・隅柱、中柱用）※2																	最低h寸法	J寸法
柱符号	数量			外径	板厚	材質	形状タイプ	寸法						本数	呼び	埋長さ	Fc	標準断面	柱型拡幅上限※3		フープ筋	立上り筋本数																							
																						側・隅柱用※4					中柱用※5																				
								pl D	pl t	d1	d2	d3	d4	φd				下限値	寸法cD	断面寸法	片側拡幅量		D16	D19	D22	D25	D29	D16	D19	D22	D25	D29															
				mm	mm			mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm		mm		N/mm²	mm	mm	mm	(SD295)	(SD295)	(SD345)	(SD345)	(SD345)	(SD390)	(SD295)	(SD345)	(SD345)	(SD345)	(SD390)															
		□	15-12F2	□150	≦12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	-	45	4	MD27	357	21	500	-	-	D13@100	12	-	-	-	-	12	-	-	-	-	21	500	-	-	D13@100	12	-	-	-	-	550	135
		□	17-12F2	□175	≦12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	-	45	4	MD30	397	21	530	-	-	D13@100	12	-	-	-	-	12	-	-	-	-	21	530	-	-	D13@100	12	-	-	-	-	600	135
		□	20-09F2	□200	≦9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	-	45	4	MD30	397	21	560	-	-	D13@100	16	12	-	-	-	16	12	-	-	-	21	560	-	-	D13@100	16	12	-	-	-	600	135
		□	20-12F2	□200	≦12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	-	50	4	MD33	430	21	560	-	-	D13@100	16	12	-	-	-	16	12	-	-	-	21	560	-	-	D13@100	16	12	-	-	-	600	135
C1	10	□	25-09F2	□250	≦9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	-	55	4	MD36	460	21	610	-	-	D13@100	-	16	12	12	-	-	12	12	12	-	21	610	-	-	D13@100	-	16	12	12	-	650	150
		□	25-12F2	□250	≦12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	-	55	4	MD39	495	21	630	-	-	D13@100	-	16	12	12	-	-	12	12	12	-	21	630	-	-	D13@100	-	20	12	12	-	650	150
		□	25-16F2	□250	≦16	SN490B	(ロ)	450	32	50	80	190	-	50	8	MD33	485	21	650	-	-	D13@100	-	-	-	20	-	-	20	16	12	-	21	730	-	-	D13@100	-	-	-	24	16	610	135
		□	30-09F2	□300	≦9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	-	55	4	MD39	495	21	680	-	-	D13@100	-	16	12	12	-	-	16	12	12	-	21	680	-	-	D13@100	-	-	-	12	12	650	150
		□	30-12F2	□300	≦12	SN490B	(ロ)	520	32	50	80	260	-	50	8	MD30	450	21	700	720	10	D13@100	-	-	16	16	-	-	16	12	12	-	21	710	720	5	D13@100	-	-	24	16	-	570	135
		□	30-16F2	□300	≦16	SN490B	(ロ)	520	40	50	80	260	-	55	8	MD36	600	21	730	-	-	D13@100	-	-	-	20	-	-	24	16	16	-	21	770	-	-	D13@100	-	-	-	24	-	720	150
		□	30-19F2	□300	≦19	SN490B	(ロ)	550	50	50	80	290	-	55	8	MD36	600	21	760	-	-	D13@100	-	-	-	20	-	-	24	16	16	-	21	790	-	-	D13@100	-	-	-	24	-	720	150
		□	35-12F2	□350	≦12	SN490B	(ロ)	580	36	50	95	290	-	55	8	D35H	620	21	810	-	-	D13@100	-	-	-	20	-	-	-	20	16	-	21	840	-	-	D13@100	-	-	-	28	-	750	170
		□	35-16F2	□350	≦16	SN490B	(ロ)	610	45	50	95	320	-	55	8	D35H	620	21	830	-	-	D13@100	-	-	-	20	-	-	-	20	16	-	21	870	-	-	D13@100	-	-	-	28	-	750	170
		□	35-19F2	□350	≦19	SN490B	(ロ)	610	45	60	95	300	-	60	8	D38H	750	21	820	1090	135	D13@100	-	-	24	20	-	-	-	20	16	-	21	880	1090	105	D13@100	-	-	-	20	-	880	190
		□	35-22F3	□350	≦22	TMCP385B	(ロ)	610	45	60	95	300	-	65	8	D41H	800	21	850	1090	120	D13@100	-	-	24	20	-	-	-	24	20	-	21	910	1090	90	D13@100	-	-	24	20	-	930	195
		□	35-25F3	□350	≦25	TMCP385B	(ホ)	600	50	60	160	160	-	60	12	D38H	750	21	850	1080	115	D16@100	-	-	24	20	-	-	-	24	20	-	21	910	1080	85	D16@100	-	-	28	20	-	1090	190
		□	40-16F3	□400	≦16	TMCP385B	(ロ)	670	45	55	95	370	-	60	8	D38H	750	21	870	1160	145	D13@100	-	-	24	20	-	-	-	24	20	-	21	910	1160	125	D13@100	-	-	24	20	-	880	190
		□	40-19F3	□400	≦19	TMCP385B	(ロ)	680	50	60	95	370	-	65	8	D41H	800	21	900	1160	130	D13@100	-	-	28	20	-	-	-	28	20	-	21	950	1160	105	D13@100	-	-	28	20	-	930	195
		□	40-22F3	□400	≦22	TMCP385B	(ホ)	650	55	55	160	220	-	60	12	D38H	750	21	920	1140	110	D16@100	-	-	28	20	-	-	-	28	20	-	21	970	1140	85	D16@100	-	-	28	24	-	1090	190
		□	40-25F3	□400	≦25	TMCP385B	(ホ)	670	55	65	160	220	-	65	12	D41H	800	21	970	1140	85	D16@100	-	-	32	24	-	-	-	32	24	-	21	1000	1140	70	D16@100	-	-	32	24	-	1140	195
		□	45-16F3	□450	≦16	TMCP385B	(ロ)	740	45	65	95	420	-	65	8	D41H	800	21	950	1210	130	D16@100	-	-	24	20	-	-	-	24	20	-	21	950	1210	130	D16@100	-	-	28	20	-	930	195
		□	45-19F3	□450	≦19	TMCP385B	(ホ)	710	45	60	160	270	-	60	12	D38H	750	21	1000	1190	95	D16@100	-	-	28	24	-	-	-	28	20	-	21	1020	1190	85	D16@100	-	-	28	24	-	1090	190
		□	45-22F3	□450	≦22	TMCP385B	(ホ)	710	50	60	160	270	-	65	12	D41H	800	21	1010	1190	90	D16@100	-	-	32	24	-	-	-	32	24	-	21	1080	1190	55	D16@100	-	-	32	28	-	1140	195
		□	45-25F3	□450	≦25	TMCP385B	(ホ)	750	55	70	160	290	-	65	12	D41H	800	24	1020	1210	95	D16@100	-	-	32	28	-	-	-	32	28	-	24	1080	1210	65	D16@100	-	-	36	28	-	1140	195
		□	45-28F3	□450	≦28	TMCP385B	(ホ)	750	55	70	200	210	-	75	12	D51L	790	24	1020	1210	95	▦D16@100	-	-	36	28	-	-	-	36	28	-	24	1080	1210	65	▦D16@100	-	-	36	28	-	1130	220
		□	50-19F3	□500	≦19	TMCP385B	(ホ)	760	50	60	160	320	-	65	12	D41H	800	24	1040	1240	100	D16@100	-	-	36	28	-	-	-	36	28	20	24	1090	1240	75	D16@100	-	-	36	28	-	1140	195
		□	50-22F3	□500	≦22	TMCP385B	(ホ)	810	55	75	160	340	-	65	12	D41H	800	24	1060	1260	100	D16@100	-	-	36	28	-	-	-	36	28	20	24	1100	1260	80	D16@100	-	-	36	28	-	1140	195
		□	50-25F3	□500	≦25	TMCP385B	(ホ)	810	55	70	200	270	-	75	12	D51L	790	24	1070	1270	100	▦D16@100	-	-	40	28	-	-	-	40	28	20	24	1100	1270	85	▦D16@100	-	-	40	32	-	1130	220
		□	50-28F3	□500	≦28	TMCP385B	(ホ)	810	60	70	200	270	-	75	12	D51H	890	24	1180	1270	45	▦D16@100	-	-	48	36	24	-	-	48	36	24	24	1180	1270	45	▦D16@100	-	-	48	36	-	1230	230
		□	50-32F3	□500	≦32	TMCP385B	(ホ)	810	60	70	200	270	-	75	12	D51H	890	24	1180	1270	45	▦D16@100	-	-	48	36	24	-	-	48	36	24	24	1180	1270	45	▦D16@100	-	-	48	36	28	1230	230
		□	50-36F3	□500	≦36	TMCP385B	(ホ)	840	65	85	200	270	-	75	12	D51H	890	24	1200	1270	35	▦D16@100	-	-	48	36	24	-	-	48	36	24	24	1200	1270	35	▦D16@100	-	-	48	36	28	1230	230
		□	55-19F3	□550	≦19	TMCP385B	(ホ)	850	50	75	160	380	-	65	12	D41H	800	24	1100	1300	100	D16@100	-	-	36	28	-	-	-	36	28	20	24	1140	1300	80	D16@100	-	-	36	28	-	1140	195
		□	55-22F3	□550	≦22	TMCP385B	(ホ)	850	55	70	200	310	-	75	12	D51L	790	24	1100	1310	105	▦D16@100	-	-	40	32	-	-	-	40	32	24	24	1140	1310	85	▦D16@100	-	-	40	32	-	1130	220
		□	55-25F3	□550	≦25	TMCP385B	(ホ)	850	60	70	200	310	-	75	12	D51H	890	24	1180	1310	65	▦D16@100	-	-	48	40	-	-	-	48	40	28	24	1250	1310	30	▦D16@100	-	-	48	40	28	1230	230
		□	55-28F3	□550	≦28	TMCP385B	(ホ)	850	60	70	200	310	-	75	12	D51H	890	24	1200	1310	55	▦D16@100	-	-	48	40	28	-	-	48	40	28	24	1250	1310	30	▦D16@100	-	-	48	40	28	1230	230
		□	55-32F3	□550	≦32	TMCP385B	(ホ)	900	65	70	250	260	-	75	12	M56	970	24	1200	1360	80	▦D16@100	-	-	-	40	28	-	-	-	40	28	24	1250	1360	55	▦D16@100	-	-	-	40	28	1360	170
		□	55-36F3	□550	≦36	TMCP385B	(ホ)	900	70	70	250	260	-	80	12	M60	1030	24	1280	1360	40	▦D16@100	-	-	-	48	36	-	-	-	48	36	24	1320	1360	20	▦D16@100	-	-	-	48	36	1430	180
		□	55-40F3	□550	≦40	TMCP385B	(ホ)	900	70	70	250	260	-	80	12	M60	1030	24	1300	1360	30	▦D16@100	-	-	-	48	36	-	-	-	48	36	24	1320	1360	20	▦D16@100	-	-	-	48	36	1430	180
		□	60-19F3	□600	≦19	TMCP385B	(ホ)	920	55	65	210	370	-	70	12	M48	830	24	1200	1390	95	▦D16@100	-	-	-	32	24	-	-	-	32	24	24	1200	1390	95	▦D16@100	-	-	-	36	28	1220	150
		□	60-22F3	□600	≦22	TMCP385B	(ホ)	920	60	65	210	370	-	75	12	M52	900	24	1200	1390	95	▦D16@100	-	-	-	40	28	-	-	-	40	28	24	1230	1390	80	▦D16@100	-	-	-	40	28	1290	165
		□	60-25F3	□600	≦25	TMCP385B	(ホ)	940	65	70	250	300	-	75	12	M52	900	24	1250	1400	75	▦D16@100	-	-	-	40	28	-	-	-	40	28	24	1250	1400	75	▦D16@100	-	-	-	40	28	1290	165
		□	60-28F3	□600	≦28	TMCP385B	(ホ)	940	65	70	250	300	-	75	12	M56	970	24	1250	1400	75	▦D16@100	-	-	-	44	32	-	-	-	44	32	24	1250	1400	75	▦D16@100	-	-	-	44	32	1360	170
		□	60-32F3	□600	≦32	TMCP385B	(ホ)	940	70	70	250	300	-	80	12	M60	1030	24	1320	1400	40	▦D16@100	-	-	-	52	36	-	-	-	52	36	24	1340	1400	30	▦D16@100	-	-	-	52	36	1430	180
		□	60-36F3	□600	≦36	TMCP385B	(ホ)	950	75	75	250	300	-	85	12	M64	1100	24	1380	1400	10	▦D16@100	-	-	-	56	40	-	-	-	56	40	24	1400	-	-	▦D16@100	-	-	-	56	40	1500	185
		□	60-40F3	□600	≦40	TMCP385B	(ホ)	980	75	90	250	300	-	85	12	M64	1100	24	1400	-	-	▦D16@100	-	-	-	56	40	-	-	-	56	40	24	1400	-	-	▦D16@100	-	-	-	56	40	1500	185
		□	65-22F3	□650	≦22	TMCP385B	(ホ)	960	60	70	210	400	-	75	12	M52	900	24	1350	1420	35	▦D16@100	-	-	-	36	24	-	-	-	36	24	24	1350	1420	35	▦D16@100	-	-	-	36	28	1290	165
		□	65-25F3	□650	≦25	TMCP385B	(ホ)	1000	65	75	250	350	-	75	12	M56	970	24	1350	1450	50	▦D16@100	-	-	-	44	32	-	-	-	44	32	24	1350	1450	50	▦D16@100	-	-	-	44	32	1360	170
		□	65-28F3	□650	≦28	TMCP385B	(ホ)	1000	70	75	250	350	-	80	12	M60	1030	24	1350	1450	50	▦D16@100	-	-	-	52	36	-	-	-	52	36	24	1400	1450	25	▦D16@100	-	-	-	52	36	1430	180
		□	65-32F3	□650	≦32	TMCP385B	(ホ)	1000	75	75	250	350	-	85	12	M64	1100	24	1400	1450	25	▦D16@100	-	-	-	60	40	-	-	-	60	40	24	1440	1450	5	▦D16@100	-	-	-	60	40	1500	185
		□	65-36F3	□650	≦36	TMCP385B	(ホ)	1050	80	100	250	350	-	85	12	M64	1100	24	1450	-	-	▦D16@100	-	-	-	60	40	-	-	-	60	40	24	1450	-	-	▦D16@100	-	-	-	60	40	1500	185
		□	65-40F3	□650	≦40	TMCP385B	(ヘ)	1050	75	80	135	200	220	80	16	M60	1150	24	1490	-	-	▦D16@100	-	-	-	64	44	-	-	-	64	44	24	1500	-	-	▦D16@100	-	-	-	64	44	1500	185
		□	70-22F3	□700	≦22	TMCP385B	(ホ)	1030	65	70	250	390	-	75	12	M56	970	24	1350	1490	70	▦D16@100	-	-	-	44	32	-	-	-	44	32	24	1350	1490	70	▦D16@100	-	-	-	48	32	1360	170
		□	70-25F3	□700	≦25	TMCP385B	(ホ)	1050	70	80	250	390	-	80	12	M60	1030	24	1430	1490	30	▦D16@100	-	-	-	52	36	-	-	-	52	36	24	1480	1490	5	▦D16@100	-	-	-	52	36	1430	180
		□	70-28F3	□700	≦28	TMCP385B	(ホ)	1090	75	90	250	410	-	80	12	M60	1030	24	1450	1510	30	▦D16@100	-	-	-	52	36	-	-	-	52	36	24	1510	-	-	▦D16@100	-	-	-	52	36	1430	180
		□	70-32F3	□700	≦32	TMCP385B	(ホ)	1090	75	90	250	410	-	85	12	M64	1100	24	1500	1510	5	▦D16@100	-	-	-	60	40	-	-	-	60	40	24	1560	-	-	▦D16@100	-	-	-	60	40	1500	185
		□	70-36F3	□700	≦36	TMCP385B	(ヘ)	1100	75	80	135	210	250	80	16	M60	1150	24	1550	-	-	▦D16@100	-	-	-	64	44	-	-	-	64	44	24	1610	-	-	▦D16@100	-	-	-	64	44	1500	185
		□	70-40F3	□700	≦40	TMCP385B	(ヘ)	1100	80	80	135	210	250	85	16	M64	1150	27	1740	-	-	▦D16@100	-	-	-	68	48	-	-	-	68	48	27	1840	-	-	▦D16@100	-	-	-	68	48	1500	200
		□	75-22F3	□750	≦22	TMCP385B	(ホ)	1100	70	75	250	450	-	80	12	M60	1030	24	1500	1550	25	▦D16@100	-	-	-	56	40	-	-	-	56	40	24	1510	1550	20	▦D16@100	-	-	-	56	40	1430	180
		□	75-25F3	□750	≦25	TMCP385B	(ホ)	1100	70	75	250	450	-	80	12	M60	1030	24	1500	1550	25	▦D16@100	-	-	-	56	40	-	-	-	56	40	24	1510	1550	20	▦D16@100	-	-	-	56	40	1430	180
		□	75-28F3	□750	≦28	TMCP385B	(ホ)	1100	75	75	250	450	-	85	12	M64	1100	24	1550	-	-	▦D16@100	-	-	-	60	44	-	-	-	60	44	24	1580	-	-	▦D16@100	-	-	-	60	44	1500	185
		□	75-32F3	□750	≦32	TMCP385B	(ヘ)	1200	75	90	135	250	250	80	16	M60	1150	24	1600	1620	10	▦D16@100	-	-	-	68	48	-	-	-	68	48	24	1670	-	-	▦D16@100	-	-	-	68	48	1500	185
		□	75-36F3	□750	≦36	TMCP385B	(ヘ)	1250	85	100	135	260	260	85	16	M64	1150	27	1840	-	-	▦D16@100	-	-	-	72	48	-	-	-	72	48	27	1890	-	-	▦D16@100	-	-	-	72	48	1500	200
		□	75-40F3	□750	≦40	TMCP385B	(ヘ)	1250	85	100	135	260	260	85	16	M64	1150	27	1840	-	-	▦D16@100	-	-	-	72	48	-	-	-	72	48	27	1890	-	-	▦D16@100	-	-	-	72	48	1500	200
		□	80-25F3	□800	≦25	TMCP385B	(ヘ)	1220	70	90	135	250	270	75	16	M56	1080	24	1550	1640	45	▦D16@100	-	-	-	60	40	-	-	-	60	40	24	1560	1640	40	▦D16@100	-	-	-	60	44	1420	180
		□	80-28F3	□800	≦28	TMCP385B	(ヘ)	1220	70	90	135	250	270	80	16	M60	1150	24	1630	1640	5	▦D16@100	-	-	-	68	48	-	-	-	68	48	24	1700	-	-	▦D16@100	-	-	-	68	48	1500	185
		□	80-32F3	□800	≦32	TMCP385B	(ヘ)	1300	85	100	135	270	290	85	16	M64	1150	27	1920	-	-	▦D16@100	-	-	-	72	52	-	-	-	72	52	27	1940	-	-	▦D16@100	-	-	-	72	52	1500	200
		□	80-36F3	□800	≦36	TMCP385B	(ヘ)	1300	85	100	135	270	290	85	16	M64	1150	27	1920	-	-	▦D16@100	-	-	-	72	52	-	-	-	72	52	27	1940	-	-	▦D16@100	-	-	-	72	52	1500	200

※1 コンクリート柱型をRC柱として設計する場合は、独立柱用の仕様を下回らないこと。
※2 立上り高さが50mm以下（BP丸鋼アンカータイプの場合は200mm以下）の場合に適用できる。
　ただし、いずれの場合でも、プレースが接合する方向の立上り高さが50mmを超える場合には適用できない。
※3 柱型は、補強鉄筋(鉄筋径、本数、ピッチ及び強度)が上表の通りであることを条件に、柱型拡幅上限まで拡幅することができる。
　なお、断面寸法は柱心と柱型心が一致する場合の最大値であり、方向別の拡幅上限は片側拡幅量以内とする。
※4 基礎梁が直交する2方向から取り付き、かつ立上げ部段差が50mm以下（BP丸鋼アンカータイプの場合は200mm以下）の場合は側・隅柱用を選択できる。
　ただし、□350以上においては側・隅柱であっても、取り付く基礎梁内のスタラップ筋の径がD13より小さくなる場合は、独立柱用による。
※5 基礎梁が4方向から取り付き、かつ立上げ部段差が50mm以下（BP丸鋼アンカータイプの場合は200mm以下）の場合は中柱用を選択できる。
　ただし、中柱であっても、取り付く基礎梁内のスタラップ筋がD13より小さくなる場合、もしくはピッチが200mmを超える場合は、独立柱用による。

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士　第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録
TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博

CHECKED　DRAWN

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ ベースパック柱脚工法設計・施工標準図(2)
DATE ■ 2026.05.01
SCALE ■ NO SCALE
NO ■ S－08

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準　耐火仕様②
耐火補強筋不要仕様　[耐火認定FP060FL-0099,0100,0101,0102,0126,FP120FL-0127用]

JFE 建材 株式会社

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準　2018」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　　計

材料／デッキプレート　［ISO 9001認証取得］

デッキプレート種類		板厚(㎜)	表　面　処　理
◉ＱＬ99-50 □ＱＬ99-75	端部加工 □エンクロ有り □無し	□1.0 ◉1.2 □1.6	◉亜鉛めっき　[◉Z12　□Z27] □JFEエコガル(高耐食溶融めっき鋼板)　[□Y18　□Y27] □その他(　　)
材　質	ＪＩＳ Ｇ 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G		

材料／コンクリート

種　　類	◉普通コンクリート
設計基準強度	□18　◉21　□24　□(　　)N/mm²
厚さ(QLデッキ山上)	□60　□70　◉80　□85　□90　□95　□100　□(　　)mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

◉溶接金網	ＪＩＳ Ｇ 3551	□φ6-75×75　◉φ6-150×150 □φ6-100×100　□(　　)*1
□異形鉄筋	ＪＩＳ Ｇ 3112、3117	□D10-150×150 □D10-200×200　□(　　)

*1 線径6㎜以上を用いたもの

接　　合

梁との接合	□頭付きスタッド	ＪＩＳ Ｂ 1198　□φ13　□φ16　□φ19　□φ22 (各長さ・ピッチは特記による*2)
	◉焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
	□打込み鉄	接合箇所は特記による
	□その他	

*2 最小長さはデッキ高さ＋30㎜以上とする

耐　　火

ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	耐火区分	支持条件	ｺﾝｸﾘｰﾄ種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50	床1時間	単純/連続	普通	不要	□FP060FL-0126
					◉FP060FL-0100
					□FP060FL-0101
QL99-75					□FP060FL-0102
					□FP060FL-0099
	床2時間				□FP120FL-0127
その他	□指定なし　□(　　)　□(　　)				

注）床2時間は床1時間耐火を含む

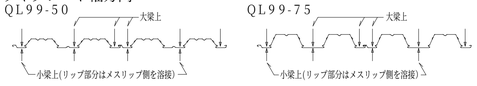
特　　記

支保工有無	その他：
◉無　□有	

上欄内の採用項目に[1]を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



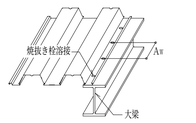
デッキプレートスパン方向

「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$Aw = \frac{1.5Qa}{Qb} \times 1000\text{mm}\ \text{かつ}\ 600\text{mm}\ \text{以下}$$

Aw：焼抜き栓溶接ピッチ
Qb：設計最大せん断力(N/m)
Qa：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力 (N)

板厚	1.0	1.2	1.6
Qa (N)	4,000	4,900	7,350(SPW) 6,860(APW)



Aw ＝（ 600 ）㎜　(注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要です。

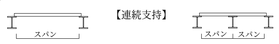
■施工時許容スパン表（デッキプレートの検討）　単位（m）

コンクリート厚(㎜)		80			85			90			95			100		
板厚(㎜)		1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6
QL50	単純(内装)	2.28	2.42	2.64	2.26	2.39	2.61	2.24	2.37	2.59	2.22	2.35	2.57	2.20	2.33	2.54
	2連続	3.06	3.24	3.54	3.03	3.21	3.51	3.01	3.18	3.47	2.98	3.15	3.44	2.95	3.12	3.41
	3連続	2.82	2.99	3.26	2.80	2.96	3.23	2.77	2.93	3.20	2.75	2.91	3.17	2.72	2.88	3.15
QL75	単純(内装)	3.01	3.18	3.48	2.98	3.15	3.45	2.96	3.13	3.42	2.93	3.10	3.39	2.91	3.07	3.37
	2連続	3.58	3.91	4.18	3.54	3.88	4.15	3.49	3.83	4.13	3.44	3.78	4.10	3.40	3.73	4.07
	3連続	3.50	3.68	3.93	3.47	3.65	3.91	3.44	3.63	3.88	3.41	3.60	3.86	3.38	3.58	3.83

支持条件

注1：普通コンクリート(単位重量24.0kN/m3)、表面処理が亜鉛めっきの場合
注2：上表を超える場合、別途支保工が必要です。

S造・施工時のスパンの取り方



耐　火　仕　様

○共通事項　支持梁：鉄骨梁、コンクリート：設計基準強度18～36 N/mm² の普通コンクリート
溶接金網[ＪＩＳ Ｇ 3551]又は異形鉄筋[ＪＩＳ Ｇ 3112、Ｇ 3117]　寸法は下表参照
耐火補強筋：不要

【ＱＬ９９－５０】

◉認定番号[ＦＰ０６０ＦＬ－０１００（床1時間耐火）]

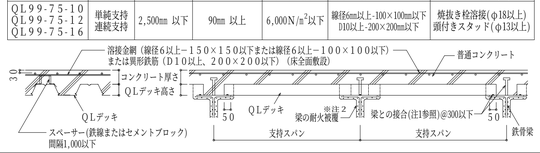
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
QL99-50-10 QL99-50-12 QL99-50-16	単純支持 連続支持	2,700㎜ 以下	80㎜ 以上	5,400N/m²以下	線径6㎜以上-150×150㎜以下 D10以上-200×200㎜以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)

□認定番号[ＦＰ０６０ＦＬ－０１０１（床1時間耐火）]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
QL99-50-10 QL99-50-12 QL99-50-16	単純支持 連続支持	3,000㎜ 以下	80㎜ 以上	3,500N/m²以下	線径6㎜以上-150×150㎜以下 D10以上-200×200㎜以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)

□認定番号[ＦＰ０６０ＦＬ－０１２６（床1時間耐火）]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
QL99-50-10 QL99-50-12 QL99-50-16	単純支持 連続支持	2,700㎜ 以下	80㎜ 以上	7,000N/m²以下	線径6㎜以上-150×150㎜以下 D10以上-200×200㎜以下	頭付きスタッド(φ16以上)



【ＱＬ９９－７５】

□認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－０１０２（床1時間耐火）］

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
QL99-75-10 QL99-75-12 QL99-75-16	単純支持 連続支持	3,000㎜ 以下	80㎜ 以上	5,400N/m²以下	線径6㎜以上-150×150㎜以下 D10以上-200×200㎜以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 頭付きスタッド(φ13以上)

□認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－０９９９（床1時間耐火）］

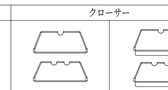
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
QL99-75-10 QL99-75-12 QL99-75-16	単純支持 連続支持	3,400㎜ 以下	80～100㎜	3,500N/m²以下	線径6㎜以上-150×150㎜以下 D10以上-200×200㎜以下	頭付きスタッド (φ16以上)

□認定番号［ＦＰ１２０ＦＬ－０１２７（床2時間耐火）］

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
QL99-75-10 QL99-75-12 QL99-75-16	単純支持 連続支持	2,500㎜ 以下	90㎜ 以上	6,000N/m²以下	線径6㎜以上-100×100㎜以下 D10以上-200×200㎜以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 頭付きスタッド(φ13以上)

注1）梁との接合間隔は、焼抜き栓溶接・打込み鉄・頭付きスタッド共に、デッキ溝と直交する場合300㎜以下、平行方向は600㎜以下とする。
注2）梁の耐火被覆　梁に所定の耐火性能を要求される場合は、それらに応じて適切な耐火被覆を施す。（本認定仕様外）
注3）許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上げ荷重も含む)から床荷重(デッキプレート+コンクリート+鉄筋)を差し引いた値を示す。

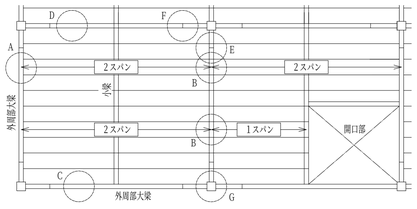
アクセサリー

フラッシング	クローザー	ハンガー金具
		
W(100～250)　25　13.5 ＱＬデッキ割付の幅調整に用いる。 定尺2.4m、t＝1.2mmまたは1.6mm	ＱＬデッキの小口ふさぎ用	4.0　2.8　185 天井インサート用金具 （ＱＬデッキ下溝を利用して取付）

標　　準　　納　　ま　　り

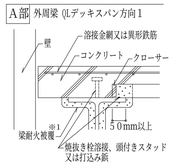
支持梁：鉄骨梁

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。　※2 溶接方法等は別途検討が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)
※3 床の水平力伝達については別途検討が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)

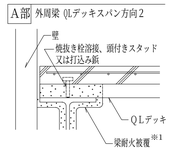


A：外周梁（デッキスパン方向）
B：内部梁（　〃　）
C：外周梁（デッキ幅方向）
D：内部梁（　〃　）
E：梁継手（デッキスパン方向）
F：　〃　（デッキ幅方向）
G：柱廻り

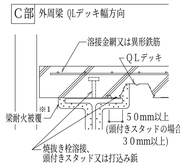
A部 外周梁 ＱＬデッキスパン方向１



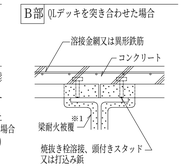
A部 外周梁 ＱＬデッキスパン方向２



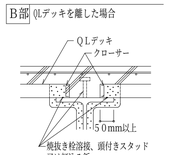
C部 外周梁 ＱＬデッキ幅方向



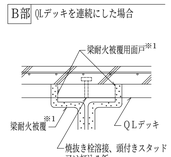
B部 ＱＬデッキを突き合わせた場合



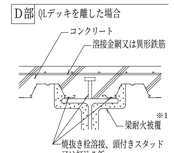
B部 ＱＬデッキを離した場合



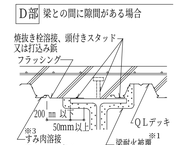
B部 ＱＬデッキを連続にした場合



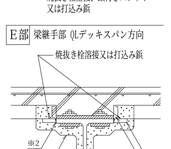
D部 ＱＬデッキを離した場合



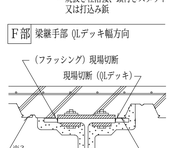
D部 梁との間に隙間がある場合



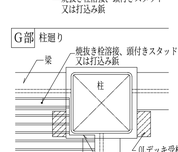
E部 梁継手部 ＱＬデッキスパン方向



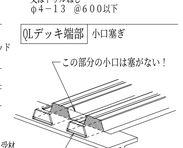
F部 梁継手部 ＱＬデッキ幅方向



G部 柱廻り



ＱＬデッキ端部 小口塞ぎ



(参考)ひび割れ拡大防止のための留意事項

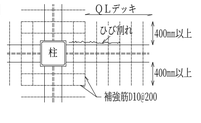
[1]設計上の留意点

1)小梁の剛性を大きくする。
2)ひび割れ拡大防止のため補強筋を設ける。(右図補強例参照)
3)スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。
(コンクリート厚さをＱＬデッキ山上から 80～90㎜と厚くする。)
4)デッキプレートは各溝で梁に接合すること。
頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをアークスポット溶接するのが望ましい。

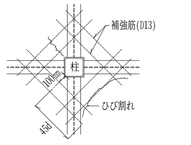
[2]施工上の留意点

1)水セメント比を小さくする。
[例] 単位水量　175リットル/m³以下
ベースコンクリートスランプ　10㎝　スランプ 15㎝
高性能ＡＥ減水剤
2)溶接金網の位置－かぶり厚さ3㎜－を確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋する)
3)コンクリート打込み後１週間は載荷作業を行わない。歩行程度は可。
4)打込み後初期には散水や養生シート等で湿潤養生を行う。
直射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。
5)打込み後４～７日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。

大梁上の補強例



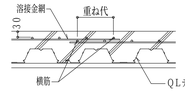
柱廻りの補強例



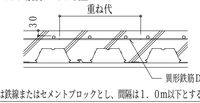
スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０㎜になるようレベル保持し、全面に配筋する。

溶接金網の重ね代Ｌ1：１メッシュと５０㎜以上、且つ１５０㎜以上
（線径6-１５０×１５０の場合２００㎜以上、線径6-１００×１００の場合１５０㎜以上）



異形鉄筋の重ね代Ｌ2：ＪＡＳＳ 5による
例）Fc18 SD295の場合、４５D以上

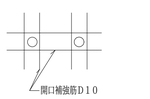


※配筋のスペーサーは鉄線またはセメントブロックとし、間隔は1．0m以下とする。

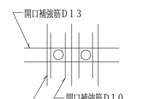
開口部補強案

１）開口がφ150㎜程度の場合

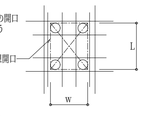
A)開口間隔≧３×開口径



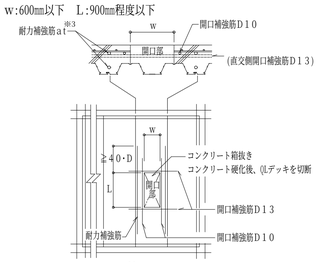
B)開口間隔＜３×開口径

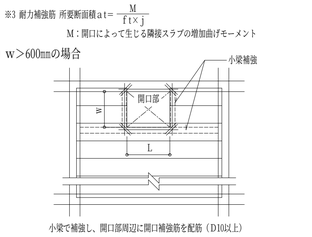


C)開口が連続している場合
連続する開口の開口群(仮想開口)とみなし、その開口部の大きさにより、2)又は3)に準じて補強を行う



２）w:600㎜以下　L:900㎜程度以下

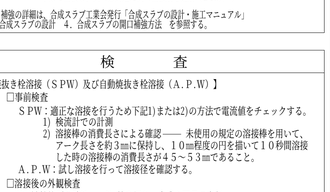




※3 耐力補強筋 所要断面積 $at = \frac{M}{f_t \times j}$

M：開口によって生じる隣接スラブの増加曲げモーメント

３）w＞600㎜の場合



※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」
（1）合成スラブの設計　4．合成スラブの開口補強方法　を参照下さい。

施工

施工順序

墨出し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
ＱＬデッキと梁との接合
1）頭付きスタッド
2）打込み鉄
3）焼抜き栓溶接
↓
ひび割れ防止筋敷込み
↓
検　　査
↓
コンクリート打設

敷　込　み

鉄骨梁の場合
1）墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数(５～１０枚)ごとに仮止め溶接する。
2）各大梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。



デッキプレート幅方向のかかり代は、５０㎜以上あることを確認する。
(頭付きスタッドの場合は３０㎜以上)
3）デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、５０㎜以上あることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

1）頭付きスタッド
施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

2）打込み鉄
施工は打込み鉄製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)

3）焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第６０６号(平成19年6月20日改正)の第２接合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づくて下記仕様による。(梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般錆止め塗装)
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］— アーク手溶接 —

(1) 溶接機
交流アーク溶接機 ＡＷ２５０Ａ以上　エンジン溶接機 ２３０Ａ以上
(2) 溶接棒
ＪＩＳ Ｚ 3211の E4316、E4916 に定める低水素系被覆アーク溶接棒で
棒径４㎜φのもの
(3) 標準溶接条件
梁フランジ板厚：６㎜以上
溶 接 電 流　：１９０～２３０Ａ(標準２１０Ａ)
(4) 溶接工の資格
ＪＩＳ Ｚ 3801、JIS Z 3841 における基本級の有資格者
(5) 手順・要領
右の１～４の順に行う。

	工　程	手　順　・　要　領
1	アーク発生	ＱＬデッキを梁になじませ(隙間２㎜以下)溶接棒を ＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	ＱＬデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、 径10㎜弱で"の"の字を描いて(ＱＬデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側を なぞるように円中央へ２～３回転しながら溶棒。
4	整　　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き 上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安：電流値２１０Ａ(標準)の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［Ａ.Ｐ.Ｗ］— ＣＯ2アークスポット溶接 —

(1) 一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
発電機の場合　３５ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
(2) ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ1.2㎜
(3) 標準溶接条件：下表

ＱＬデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流（Ａ）	電圧（Ｖ）	アークタイム（秒）
1.2㎜	6～9㎜未満	３００～３２０	３３～３５	３.０～４.０×１度打ち
	9㎜以上	３００～３２０	３３～３５	３.０～４.０×２度打ち
1.6㎜	6～9㎜未満	３００～３２０	３４～３６	３.５～４.５×１度打ち
	9㎜以上	３００～３２０	３４～３６	４.０～４.５×２度打ち

注1．デッキプレート　板厚1.0㎜　表面条件：Ｚ12、Ｚ27
2．CO2ガス流量：２０ﾘｯﾄﾙ/分以上

検　　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ.Ｐ.Ｗ）】
□事前検査
ＳＰＷ：適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。
1) 検流計での計測
2) 溶接棒の消費長さによる確認―― 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約３㎜に保持し、１０㎜程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４５～５３㎜であること。
Ａ.Ｐ.Ｗ：試し溶接を行って溶接径を確認する。
□溶接後の外観検査
1) 溶接箇所の確認　2) 焼き切れ、余盛り不足の有無
3) 標準余盛り径　SPW：18㎜以上　A.P.W：25㎜±3
□不良部の補修
ＳＰＷ　の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
不良合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
Ａ.Ｐ.Ｗの場合：重ね溶接して補修する。

【そ　の　他】
(1)ＱＬデッキ粗互の嵌合状況　(2)ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況　(3)開口部の補強状況

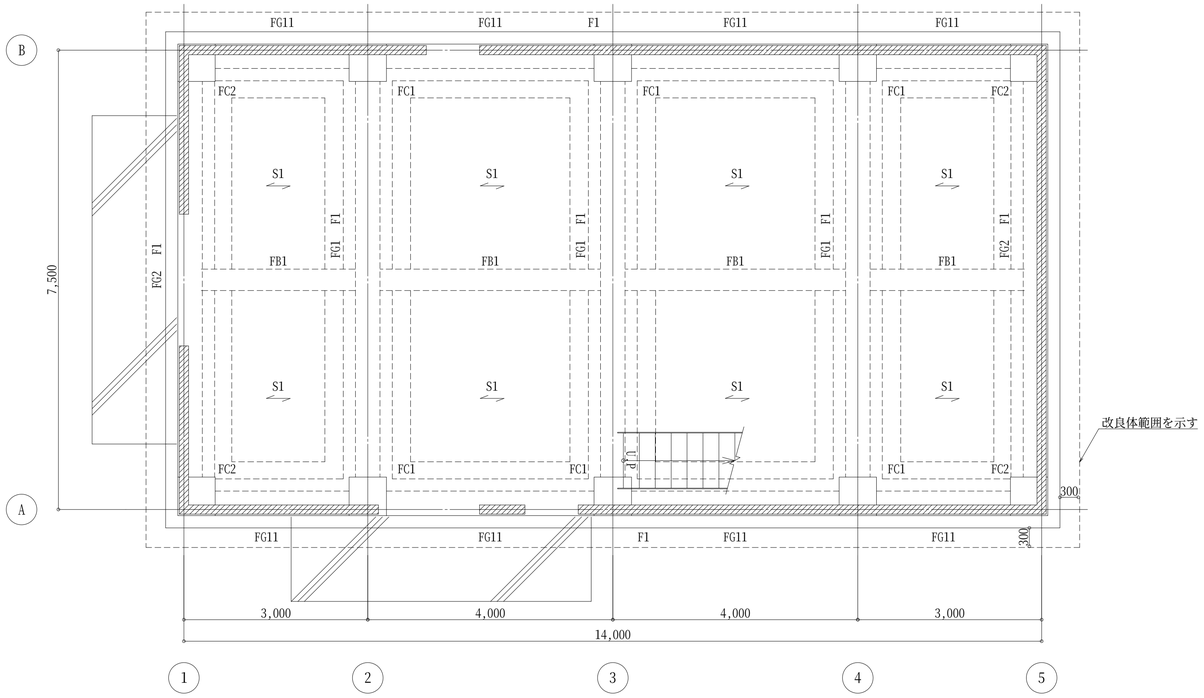
その他の納まり・参考例等については、ＱＬデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

2026/03/17

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		株式会社 美建設計 BIKEN	CHECKED　DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.05.01	NO■ S－09
		〒294－0045　TEL.0470－22－3764 千葉県館山市北条1355－45　FAX.0470－22－3785 一級建築士事務所千葉県知事登録　第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博	■	ITEMS ■ ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	SCALE■ NO SCALE	



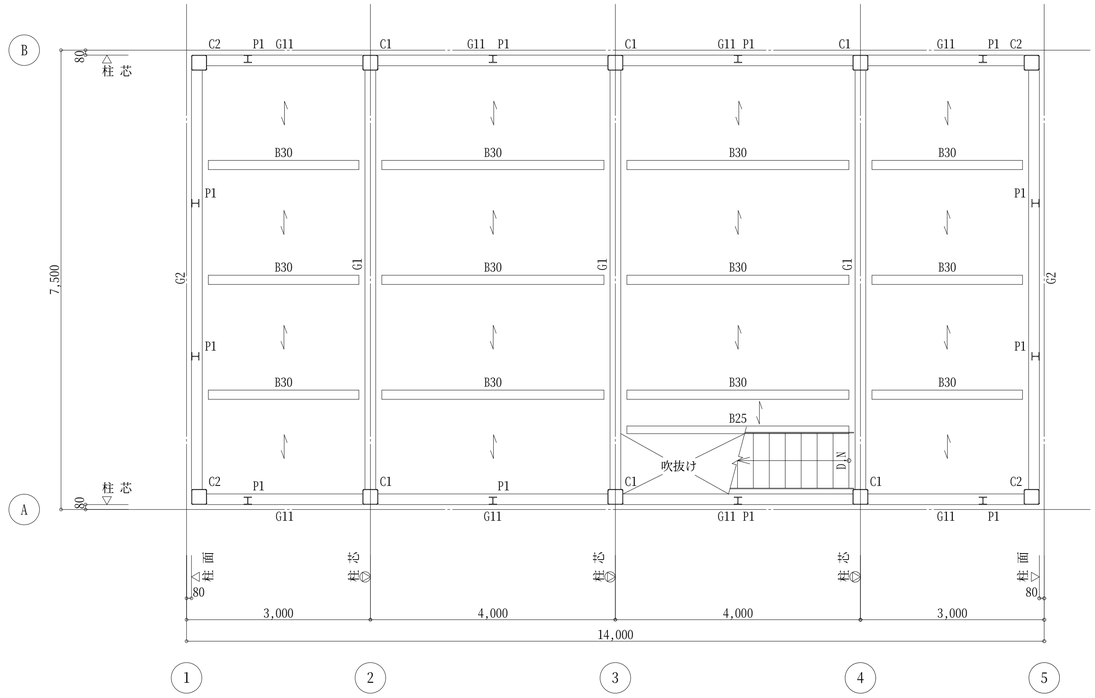
基礎地中梁伏図

A1 1:50
A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。
1．⌒ は、主筋方向を示す。
2．ISLは、GL+150とする。
3．床レベルは、SL±0とする。
4．地中梁天端は、GL-200とする。
5．▨ は、土間コンクリート(t=150)範囲を示す。
6．構造図は、見下げ図とする。
7．▨ は、立上がり位置を示す。

改良体仕様

工　法　：ラップルコンクリート
改良範囲　：図示
設計基準強度：Fc=18N/㎟
改良深さ　：設計GL-1.40m～4.00m
(空堀長1.40m、改良体長1.70m～2.70m)
支持層　：固結シルト



2階梁伏図

A1 1:50
A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。
1．⌒ はデッキ(QL-99-50-12)方向を示す。
2．構造図は、見上げ図とする。

倉庫

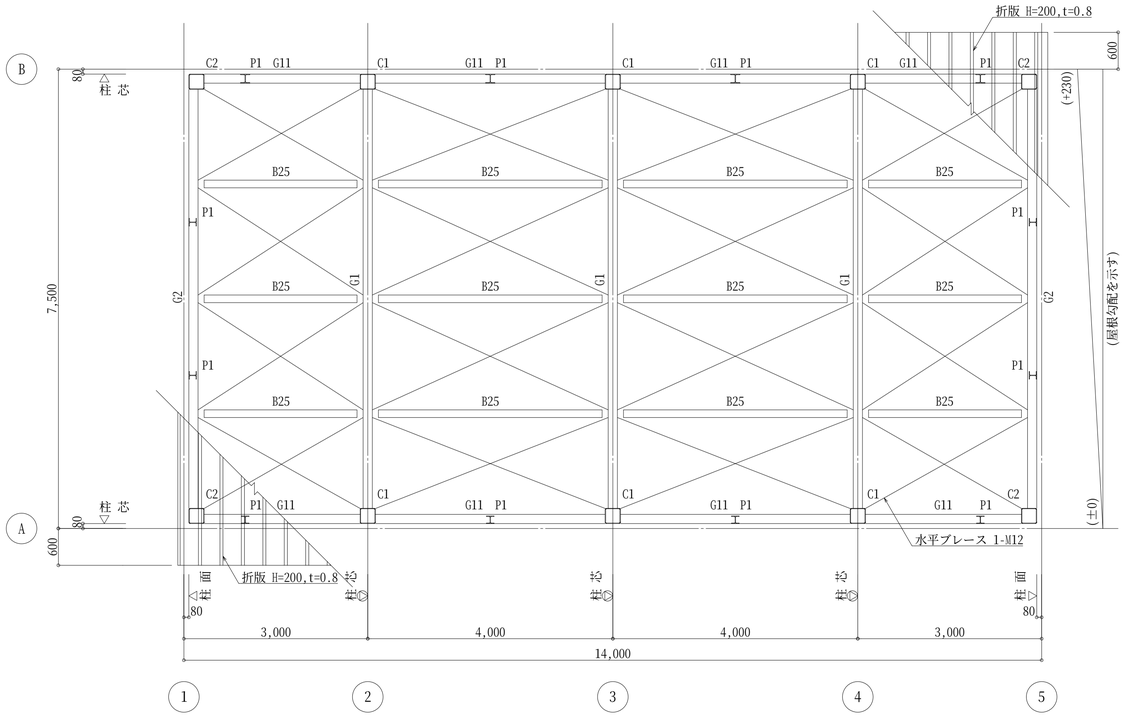
一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博

CHECKED DRAWN

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 地中梁伏図・2階梁伏図
DATE ■ 2026.05.01
SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100
NO ■ S－10



R階梁伏図　A1 1:50　A3 1:100

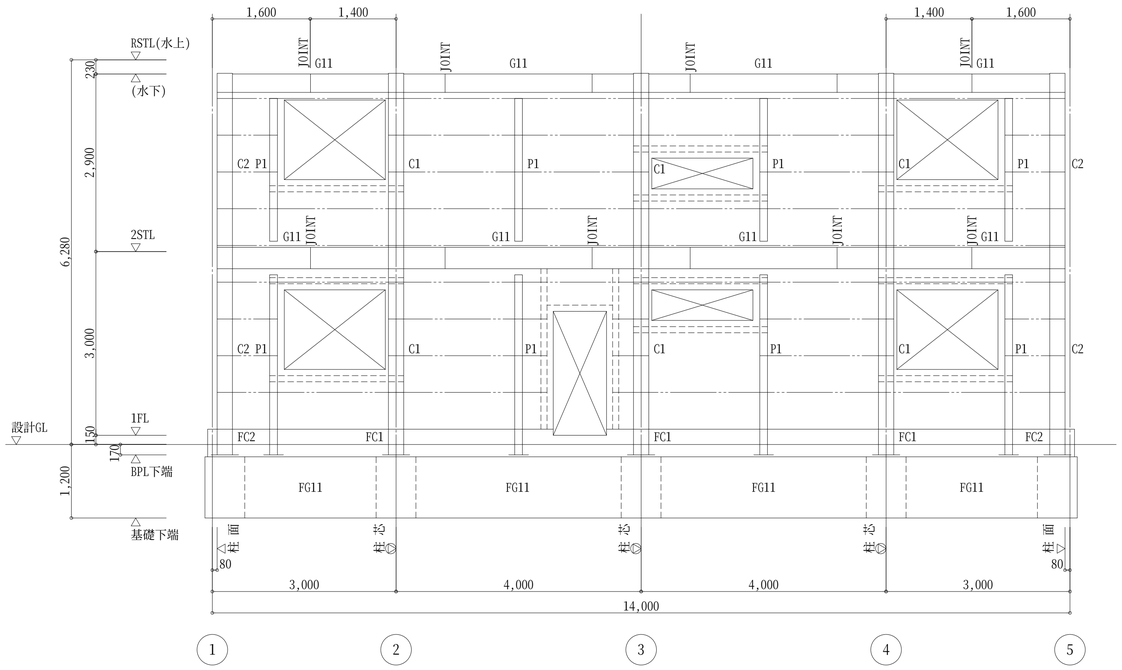
[注記]特記なき限り下記による。
1．特記なき梁レベルは、STL±0とする。
2．（　）内寸法は、STLとの高低差を示す。
3．折板を受ける大梁は、タイトフレーム受け(C-100x50x20x2.3)を設ける。
4．折板を受ける小梁は、接する梁レベル+50とする。
5．構造図は、見上げ図とする。

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

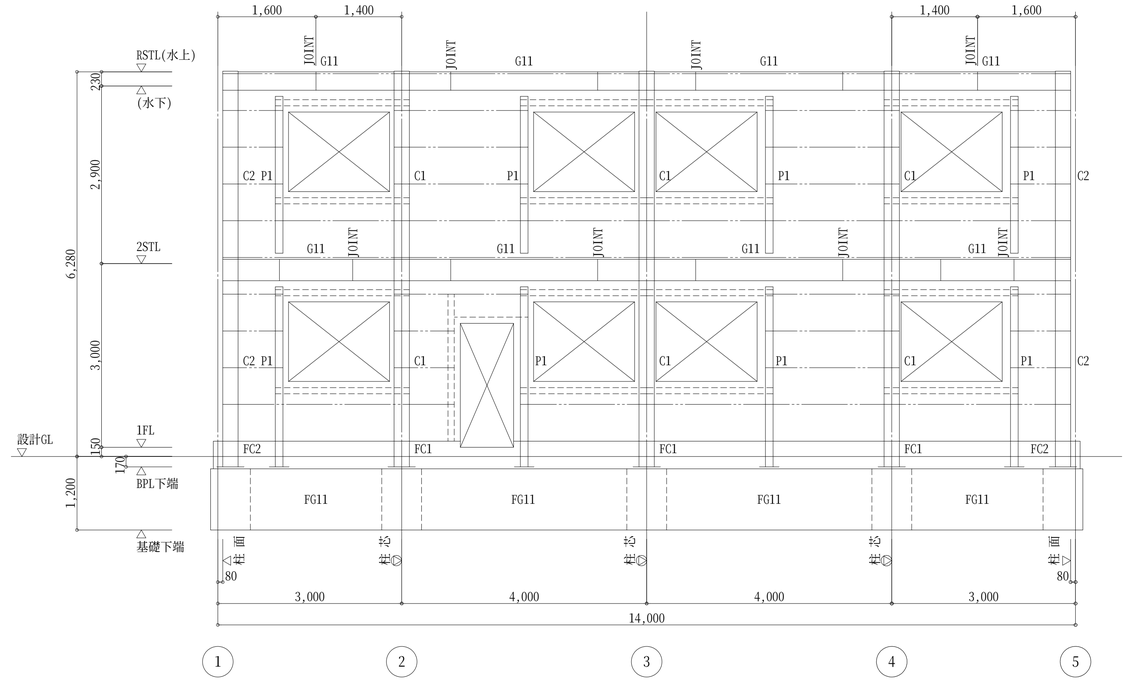
特記事項			CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.05.01	NO ■ S－11
			■	ITEMS ■ R階梁伏図	SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100	

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎 一博



A通り軸組図　A1 1:50　A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。
1．JOINTは、柱芯より800mmとする。
2．（ ）内寸法は、STLとの高低差を示す。
3．――― は、胴縁(C-100x50x20x2.3@450)を示す。
4．＝＝＝＝ は、開口補強(2C-100x50x20x2.3)を示す。
5．－－－－ は、開口補強(C-100x50x20x2.3)を示す。



B通り軸組図　A1 1:50　A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。
1．JOINTは、柱芯より800mmとする。
2．（ ）内寸法は、STLとの高低差を示す。
3．――― は、胴縁(C-100x50x20x2.3@450)を示す。
4．＝＝＝＝ は、開口補強(2C-100x50x20x2.3)を示す。
5．－－－－ は、開口補強(C-100x50x20x2.3)を示す。

倉庫

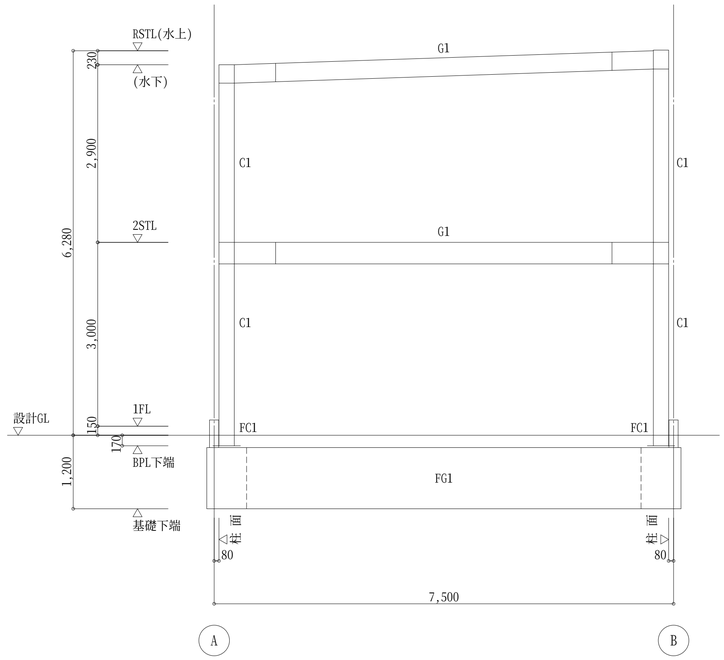
一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎 一博

CHECKED　DRAWN

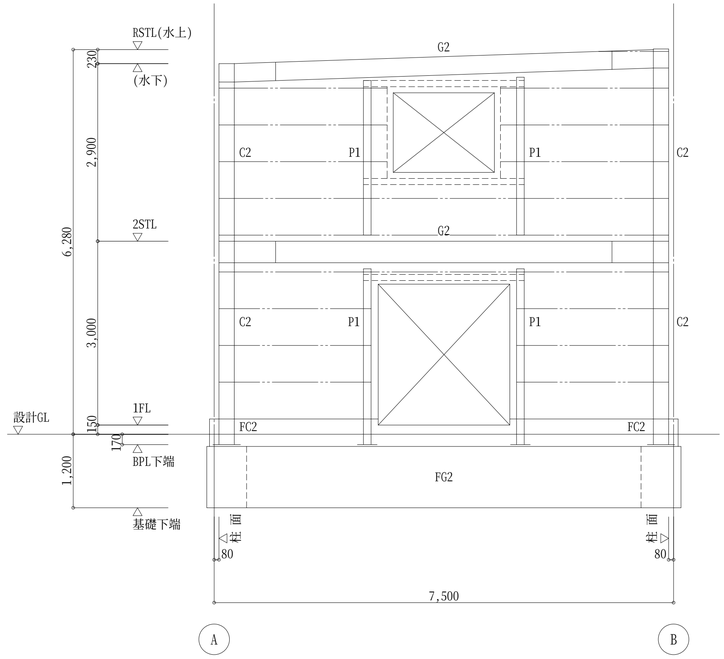
PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ A・B通り軸組図
DATE ■ 2026.06.09
SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100
NO ■ S－12



2～4通り軸組図

A1 1:50
A3 1:100

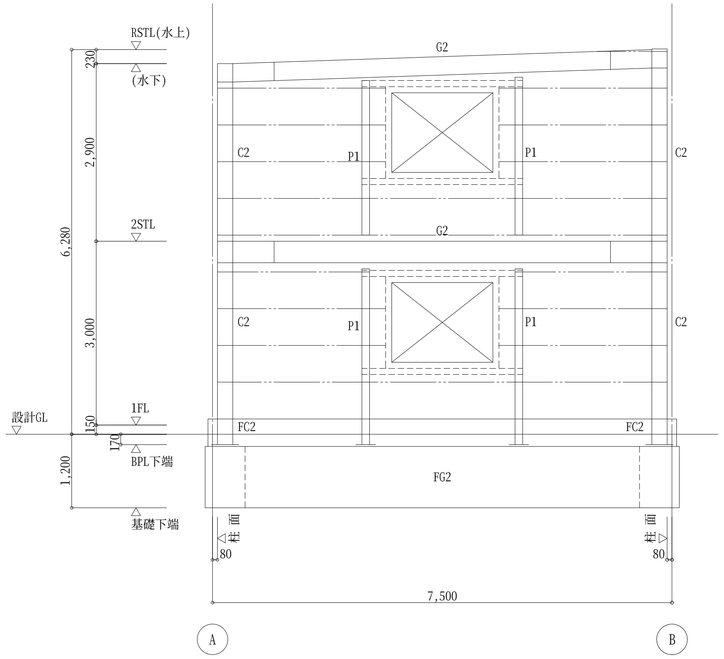
[注記]特記なき限り下記による。
1．JOINTは、柱芯より800㎜とする。
2．（ ）内寸法は、STLとの高低差を示す。



1通り軸組図

A1 1:50
A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。
1．JOINTは、柱芯より800㎜とする。
2．（ ）内寸法は、STLとの高低差を示す。
3．――― は、胴縁(C-100x50x20x2.3@450)を示す。
4．＝＝＝＝ は、開口補強(2C-100x50x20x2.3)を示す。
5．－－－－ は、開口補強(C-100x50x20x2.3)を示す。



5通り軸組図

A1 1:50
A3 1:100

[注記]特記なき限り下記による。
1．JOINTは、柱芯より800㎜とする。
2．（ ）内寸法は、STLとの高低差を示す。
3．――― は、胴縁(C-100x50x20x2.3@600)を示す。
4．＝＝＝＝ は、開口補強(2C-100x50x20x2.3)を示す。
5．－－－－ は、開口補強(C-100x50x20x2.3)を示す。

倉庫

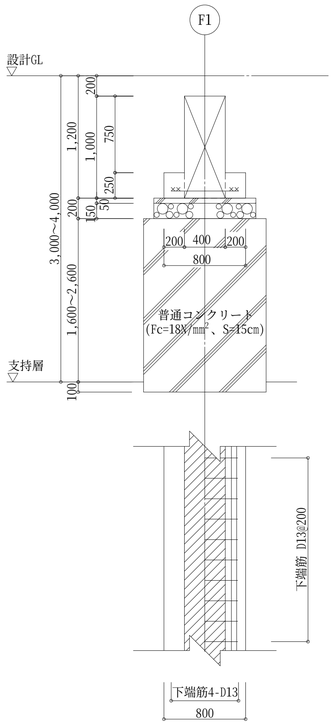
一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博

CHECKED DRAWN

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 1～5通り軸組図
DATE ■ 2026.06.09
SCALE ■ A1:1/50, A3:1/100
NO ■ S－13

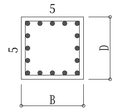


基礎詳細図

A1 1:30
A3 1:60

柱型リスト

A1 1:30
A3 1:60

符　号	FC1
断　面	
B x D	610x610
主　筋	16-D19
HOOP	□-D13 @100
柱　脚	ベースパック 25-09F2

柱リスト

A1 1:30
A3 1:60

1．材質は、BCR295とする。

階	符号	C1	C2
2	断面	□	□
	鉄骨	□-250x250x9	□-250x250x9
1	断面	□	□
	鉄骨	□-250x250x9	□-250x250x9

※ダイヤフラム厚は、下記による
1．裏当て使用の場合、最大フランジ厚+6mm以上
2．裏ハツリ溶接及び内ダイヤフラムの場合、柱に集まる大梁の最大フランジ厚+2mm以上
3．通しダイヤフラムはSN490Cとする
4．内ダイヤフラムはSN400Bとする

大梁リスト

A1 1:30
A3 1:60

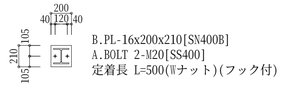
1．材質は、SS400とする。

階	符号	G1	G2	G11
R	位置	全断面	全断面	全断面
	断面	I	I	I
	鉄骨	H-300x150x6.5x9	H-300x150x6.5x9	H-300x150x6.5x9
2	位置	全断面	全断面	全断面
	断面	I	I	I
	鉄骨	H-350x175x7x11	H-350x175x7x11	H-350x175x7x11

部材リスト

1．材質はSS400とする
2．特記なきボルトは、HTB(S10T)とする

記　号	形状寸法	仕　口	備　考
B30	H-300x150x6.5x9	PL- 9, 3-M20	
B25	H-250x125x6x9	PL- 9, 3-M16	
WB1	H-150x75x5x7	PL- 6, 2-M16	
P1	H-150x150x7x10	PL- 9, 2-M20	柱脚は詳細図参照
床	QL99-50-12		普通 山上80
屋根	折版 H=200,t=0.8		
水平ブレース	1-M12		(JIS A5540-5542)
ササラ桁	PL-250×9	PL-9.3-M16	
開口補強	C-100x50x20x2.3	PL-6,2-M12	[SSC400](中ボルト)
開口補強	2C-100x50x20x2.3	PL-6,2-M12	[SSC400](中ボルト)
横胴縁	C-100x50x20x2.3	PL-6,1-M12	[SSC400](中ボルト) @600



B.PL-16x200x210[SN400B]
A.BOLT 2-M20[SS400]
定着長 L=500(Wナット)(フック付)

P1柱脚詳細図

A1 1:30
A3 1:60



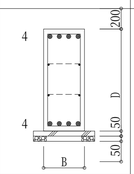
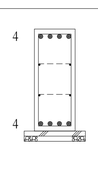
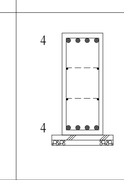
羽子板 FB-6x50x130
HTB 1-M16(S10T)
G.PL PL-6x60以上

ブレース取付要領図

A1 1:30
A3 1:60

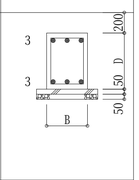
地中梁リスト

A1 1:30
A3 1:60

符号	FG1	FG2	FG11
位置	全断面	全断面	全断面
設計GL			
断面			
B x D	400x1000	400x1000	400x1000
上端筋	4-D19	4-D19	4-D19
下端筋	4-D19	4-D19	4-D19
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200
腹筋	4-D10	4-D10	4-D10

地中小梁リスト

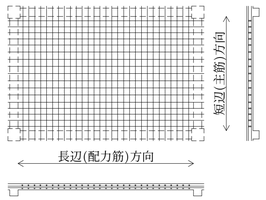
A1 1:30
A3 1:60

符号	FB1
位置	全断面
設計GL	
断面	
B x D	350x550
上端筋	3-D19
下端筋	3-D19
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	□-D10 @200
腹筋	-

床リスト

符　号	厚　さ	位置	短辺(主筋)方向配筋	長辺方向配筋	備　考
S1	180	上	D10,D13@200	D10,D13@200	
		下	D10@200	D10@200	

基準配筋図

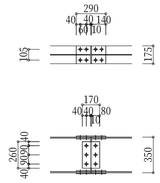
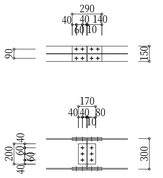


※短辺(主筋)方向を外側に配筋すること

継手リスト

A1 1:30
A3 1:60

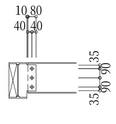
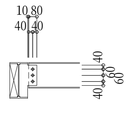
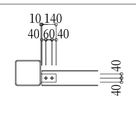
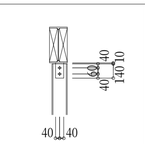
1．材質はSS400とする
2．特記なきボルトは、HTB(S10T)とする

主　材		H-350x175x7x11	H-300x150x6.5x9
断　面			
材　質		SS400	SS400
フランジ	SPL	2PL-9x175x290	2PL-9x150x290
		4PL-9x70x290	4PL-9x60x290
	HTB	16-M20	16-M16
ウェブ	SPL	2PL-6x260x170	2PL-6x200x170
	HTB	6-M20	6-M16

小梁取付図

A1 1:30
A3 1:60

1．材質はSS400とする
2．特記なきボルトは、HTB(S10T)とする

符　号		-	B30	B25
主　材		―	H-300x150x6.5x9	H-250x125x6x9
断　面		凡例 ボルト群芯 ボルト群の芯は、小梁の中心と合わせる。		
ウェブ	GPL	―	PL-9	PL-9
	HTB	―	3-M20	3-M16
		WB1	P1	
		H-150x75x5x7	H-150x150x7x10	
				
		PL-6	PL-9	
		2-M16	2-M20	

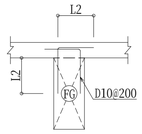
倉庫

一級建築士登録　第296599号 秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.05.01	NO ■ S－14
		〒294－0045 千葉県館山市北条1355－45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1－2310－9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470－22－3764 FAX. 0470－22－3785	■	ITEMS ■ RCリスト・鉄骨リスト	SCALE ■ A1：1/20,30, A3：1/40,60	

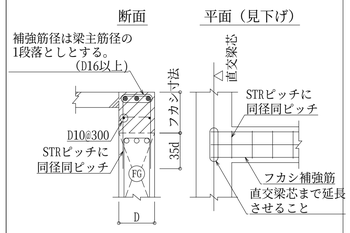
置きスラブ配筋詳細図

A1 1:30
A3 1:60



梁上（下）フカシ配筋詳細図

A1 1:30
A3 1:60

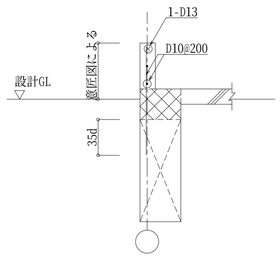


補強筋本数
D＜350　2本
D≧350　3本

※ 梁下も同様とする。

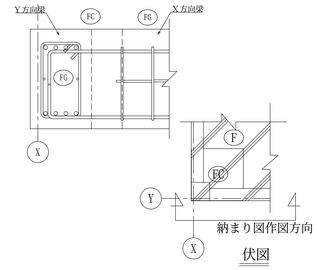
立上り詳細図

A1 1:30
A3 1:60



地中梁配筋納まり図

A1 1:30
A3 1:60

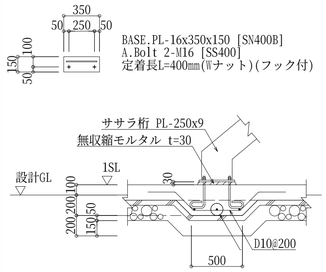


伏図

・梁主筋は、A～B通り梁を先に、
1～5通りを後に組み立てを行うこと

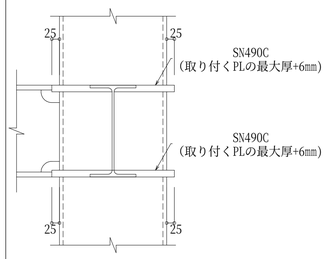
階段柱脚詳細図

A1 1:30
A3 1:60



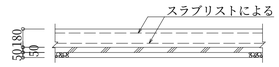
ダイヤフラム詳細図

A1 1:10
A3 1:20



１階スラブ要領図

A1 1:30
A3 1:60



構造スラブ配筋詳細図

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項

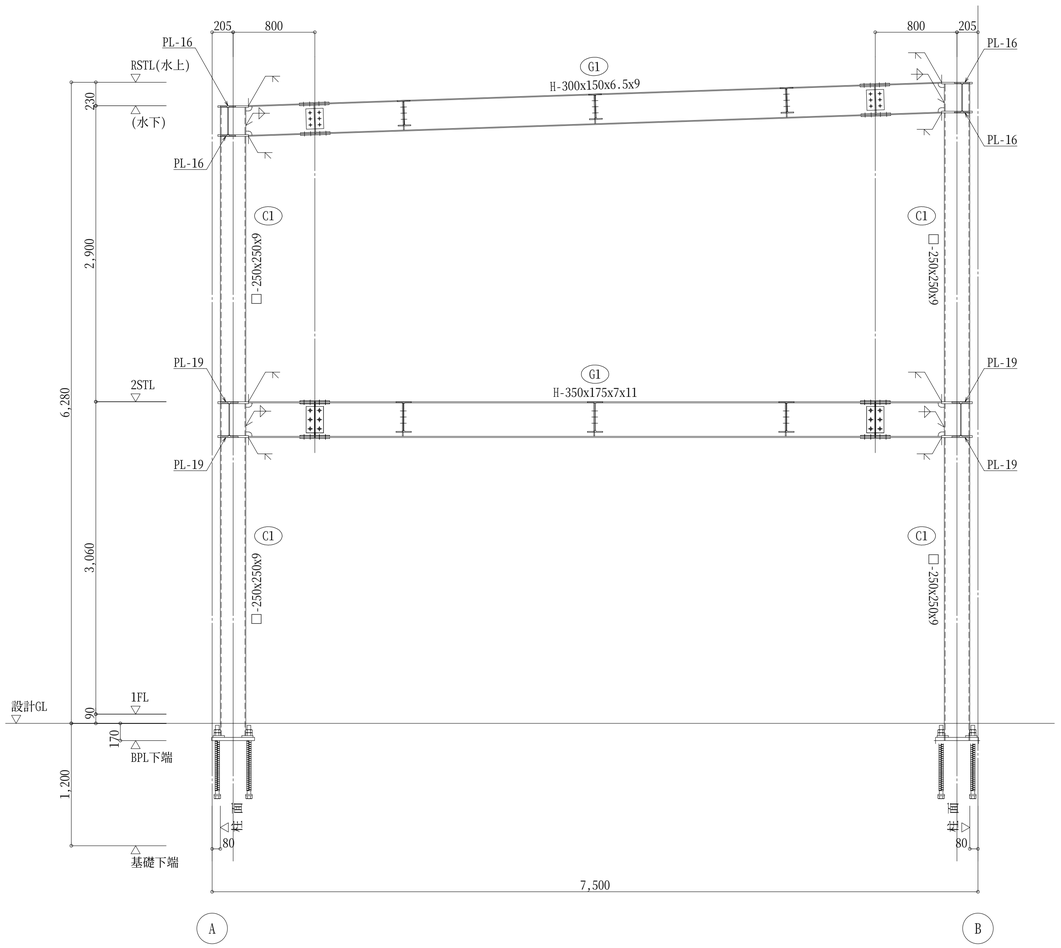
BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

CHECKED　DRAWN
■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 雑詳細図

DATE ■ 2026.05.01
SCALE ■ 図示

NO■ S－15



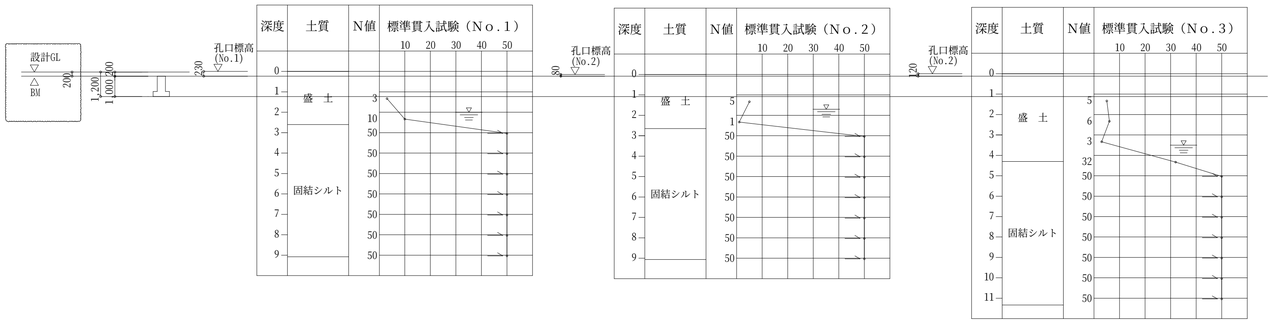
２通り架構詳細図

A1:1/30
A3:1/60

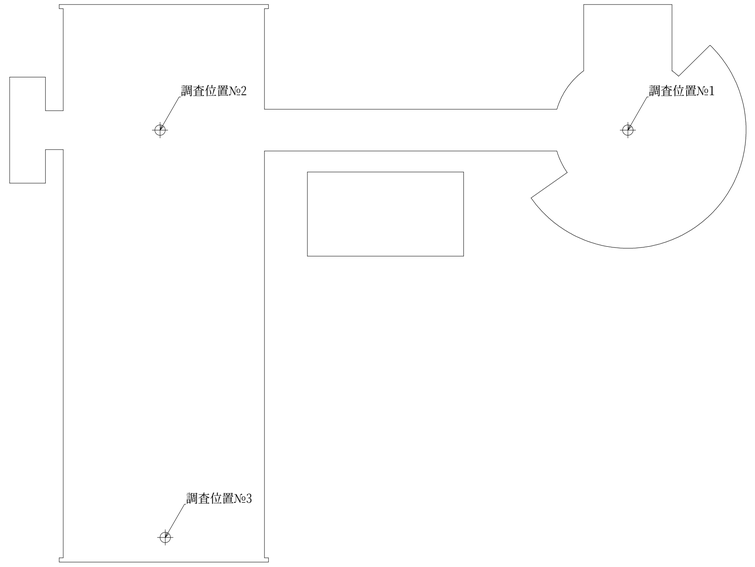
倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋山秀之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		株式会社 美建設計 BIKEN 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 架構詳細図	DATE ■ 2026.05.01 SCALE ■ A1:1/30, A3:1/60	NO ■ S－16



地盤断面図　A1 1:150　A3 1:300

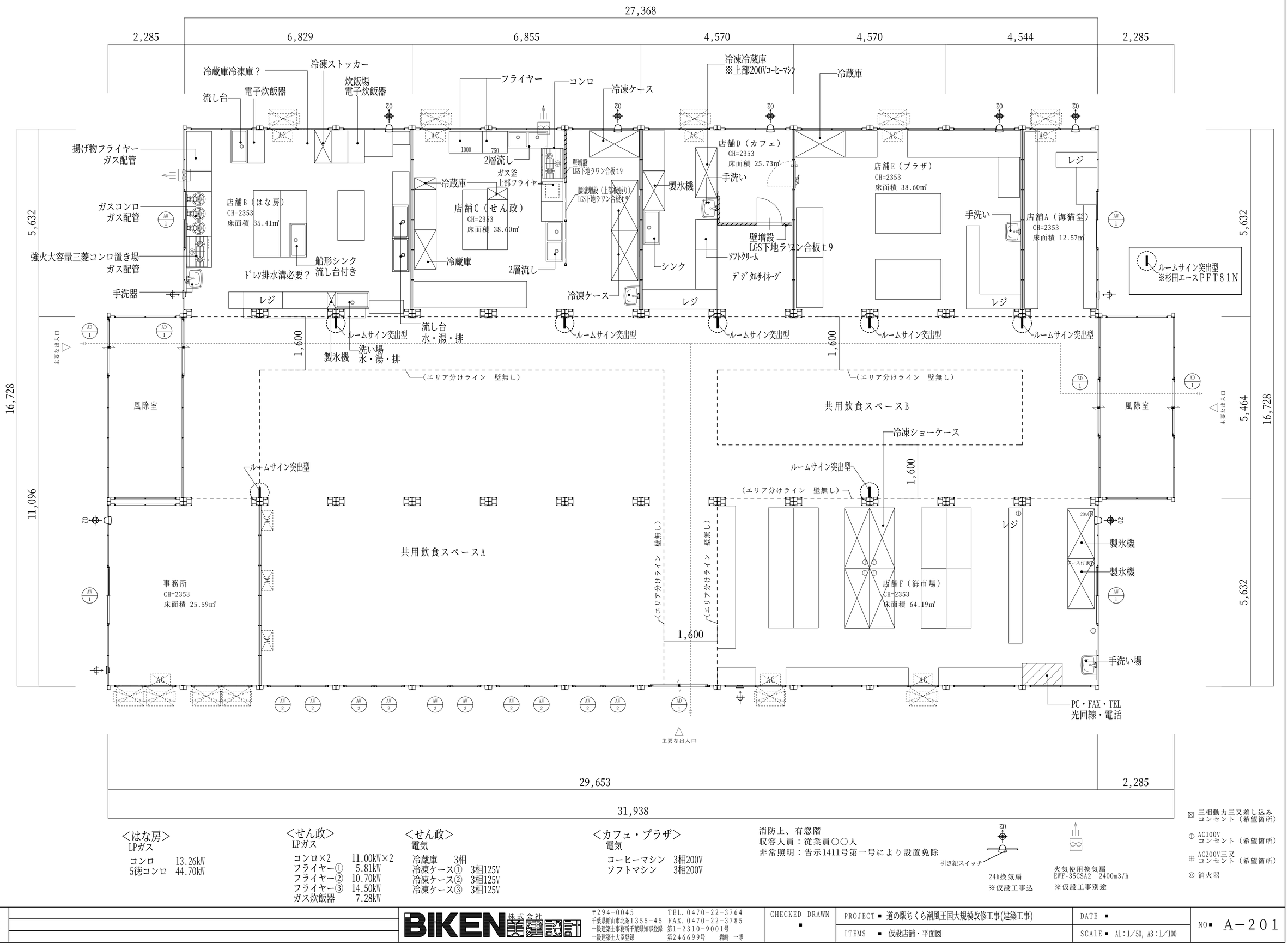


調査位置図　NO SCALE

倉庫

一級建築士登録　第296599号　秋 山 秀 之
構造設計一級建築士 第5333号

特記事項		株式会社美建設計 BIKEN	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■ 2026.01.29	NO ■ S－17
						ITEMS ■ 地盤断面図・調査位置図	SCALE ■ A1：1/150, A3：1/300	



＜はな房＞
LPガス

コンロ	13.26kW
5徳コンロ	44.70kW

＜せん政＞
LPガス

コンロ×2	11.00kW×2
フライヤー①	5.81kW
フライヤー②	10.70kW
フライヤー③	14.50kW
ガス炊飯器	7.28kW

＜せん政＞
電気

冷蔵庫	3相
冷凍ケース①	3相125V
冷凍ケース②	3相125V
冷凍ケース③	3相125V

＜カフェ・プラザ＞
電気

コーヒーマシン	3相200V
ソフトマシン	3相200V

消防上、有窓階
収容人員：従業員○○人
非常照明：告示1411号第一号により設置免除

引き紐スイッチ
24h換気扇
※仮設工事込
火気使用換気扇
EWF-35CSA2　2400m3/h
※仮設工事別途

⊠ 三相動力三又差し込みコンセント（希望箇所）
ⓛ AC100Vコンセント（希望箇所）
⊕ AC200V三又コンセント（希望箇所）
◎ 消火器

特記事項

BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎　一博

CHECKED　DRAWN
■

PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)
ITEMS ■ 仮設店舗・平面図

DATE ■
SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100

NO■ A－201

27,368

2,285 | 6,829 | 6,855 | 4,570 | 4,570 | 4,544 | 2,285

冷蔵庫冷凍庫？
冷凍ストッカー
炊飯場
電子炊飯器
流し台
電子炊飯器
フライヤー
コンロ
冷凍ケース
冷凍冷蔵庫
※上部200Vｺｰﾋｰﾏｼﾝ
冷蔵庫
店舗Ｄ（カフェ）
CH=2353
床面積 25.73㎡
店舗Ｅ（プラザ）
CH=2353
床面積 38.60㎡
レジ
揚げ物フライヤー
ガス配管
ガスコンロ
ガス配管
強火大容量三菱コンロ置き場
ガス配管
手洗器
店舗Ｂ（はな房）
CH=2353
床面積 35.41㎡
船形シンク
流し台付き
ﾄﾞﾚﾝ排水溝必要？
2層流し
1000
750
壁増設
LGS下地ラワン合板ｔ9
腰壁増設（上部板張り）
LGS下地ラワン合板ｔ9
LGS50角柱
冷蔵庫
店舗Ｃ（せん政）
CH=2353
床面積 38.60㎡
冷蔵庫
2層流し
LGS50角柱
製氷機
手洗い
シンク
手洗い
レジ
壁増設
LGS下地ラワン合板ｔ9
ｿﾌﾄｸﾘｰﾑ
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ
手洗い
店舗Ａ（海猫堂）
CH=2353
床面積 12.57㎡
レジ
レジ
流し台
水・湯・排
冷凍ケース
製氷機
洗い場
水・湯・排
1,600
1,600
（エリア分けライン　壁無し）
（エリア分けライン　壁無し）
主要な出入口
風除室
風除室
共用飲食スペースＢ
冷凍ショーケース
1,600
（エリア分けライン　壁無し）
共用飲食スペースＡ
事務所
CH=2353
床面積 25.59㎡
（エリア分けライン　壁無し）
（エリア分けライン　壁無し）
1,600
店舗Ｆ（海市場）
CH=2353
床面積 64.19㎡
レジ
製氷機
製氷機
手洗い場
PC・FAX・TEL
光回線・電話
20m
25m
主要な出入口
5,632
11,096
16,728
5,464
5,632
16,728

■凡例
BOP 非常警報装置
消 消火器(ABC10型)
避難口誘導灯Ｃ級

29,653 | 2,285

31,938

＜はな房＞
LPガス
コンロ　13.26kW
5徳コンロ　44.70kW

＜せん政＞
LPガス
コンロ×2　11.00kW×2
フライヤー①　5.81kW
フライヤー②　10.70kW
フライヤー③　14.50kW
ガス炊飯器　7.28kW

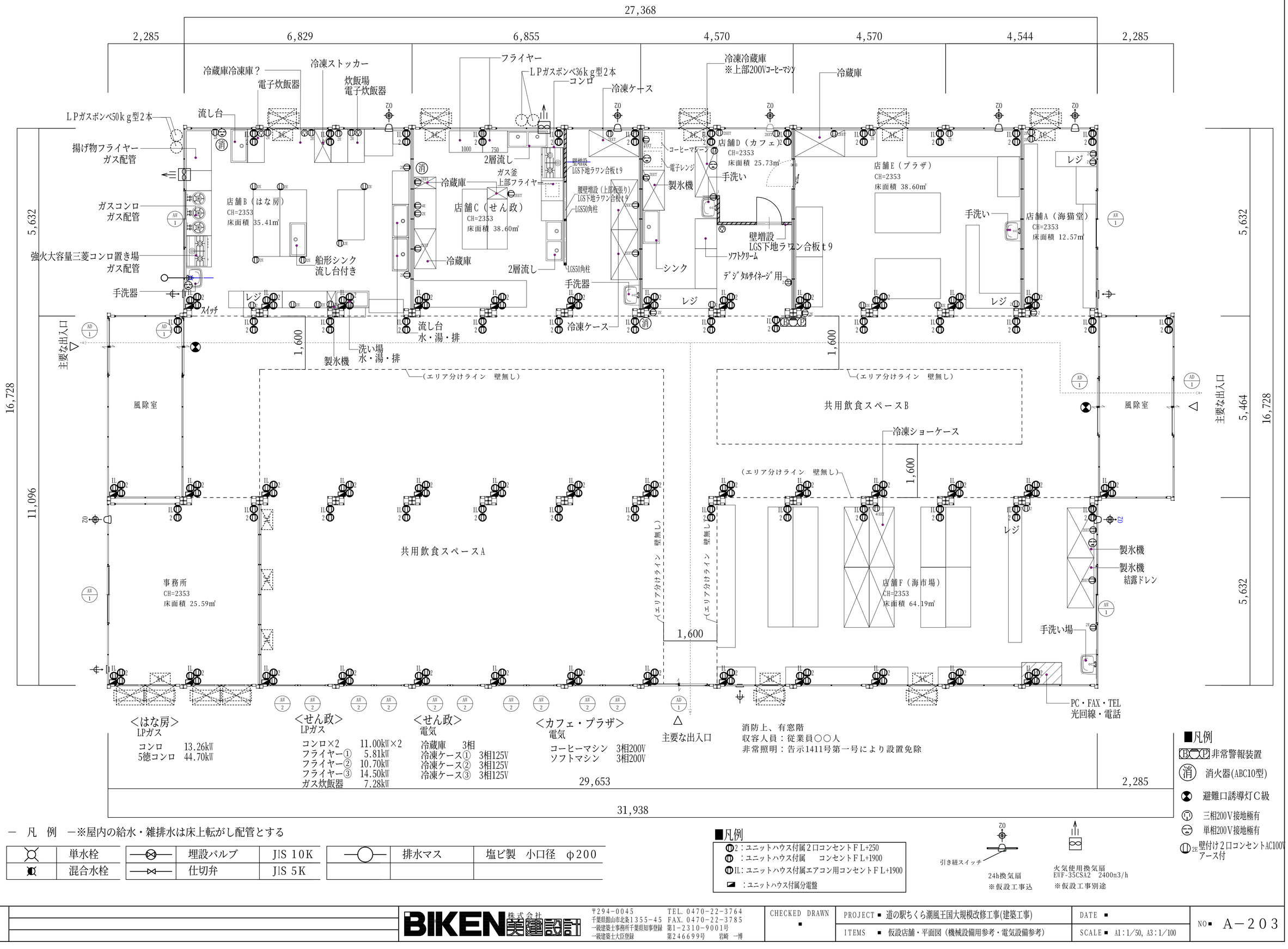
＜せん政＞
電気
冷蔵庫　3相
冷凍ケース①　3相125V
冷凍ケース②　3相125V
冷凍ケース③　3相125V

＜カフェ・プラザ＞
電気
コーヒーマシン　3相200V
ソフトマシン　3相200V

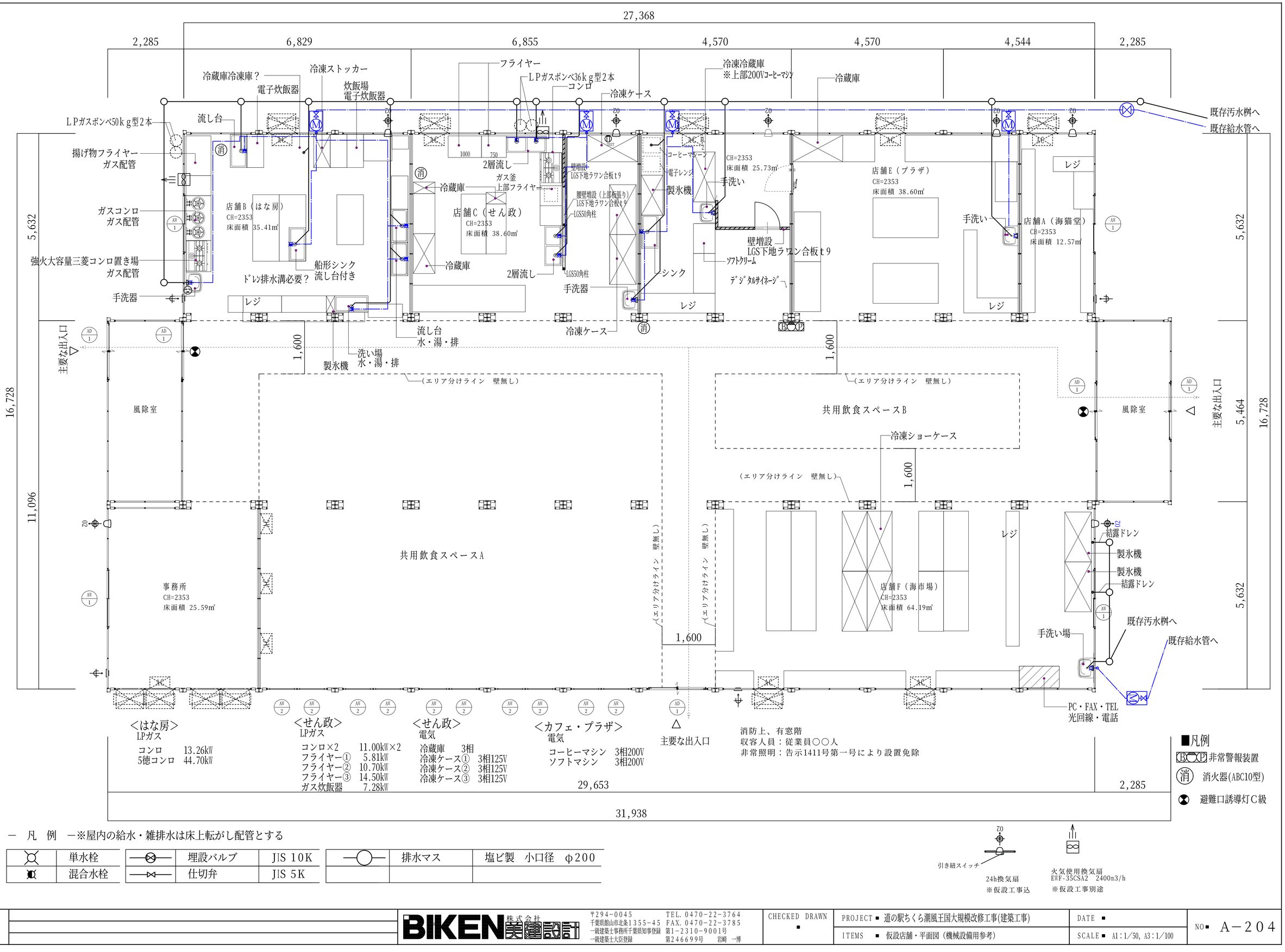
消防上、有窓階
収容人員：従業員○○人
非常照明：告示1411号第一号により設置免除

引き紐スイッチ
24h換気扇
※仮設工事込
火気使用換気扇
EWF-35CSA2　2400m3/h
※仮設工事別途

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED ■ DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■
		〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 岩崎　一博	ITEMS ■ 仮設店舗・平面図（消防設備）	SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100
					NO■ A－202



特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED ■ DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ A－203
		〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785		ITEMS ■ 仮設店舗・平面図（機械設備用参考・電気設備参考）	SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100	



＜はな房＞
LPガス
コンロ 13.26kW
5徳コンロ 44.70kW

＜せん政＞
LPガス
コンロ×2 11.00kW×2
フライヤー① 5.81kW
フライヤー② 10.70kW
フライヤー③ 14.50kW
ガス炊飯器 7.28kW

＜せん政＞
電気
冷蔵庫 3相
冷凍ケース① 3相125V
冷凍ケース② 3相125V
冷凍ケース③ 3相125V

＜カフェ・プラザ＞
電気
コーヒーマシン 3相200V
ソフトマシン 3相200V

消防上、有窓階
収容人員：従業員○○人
非常照明：告示1411号第一号により設置免除

■凡例
- BP 非常警報装置
- 消 消火器(ABC10型)
- 避難口誘導灯C級

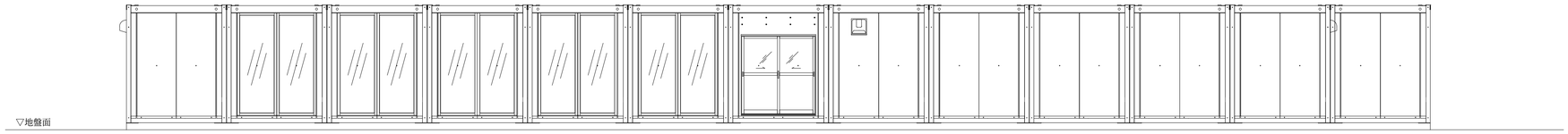
－ 凡 例 －※屋内の給水・雑排水は床上転がし配管とする

	単水栓		埋設バルブ	JIS 10K		排水マス	塩ビ製 小口径 φ200
	混合水栓		仕切弁	JIS 5K			

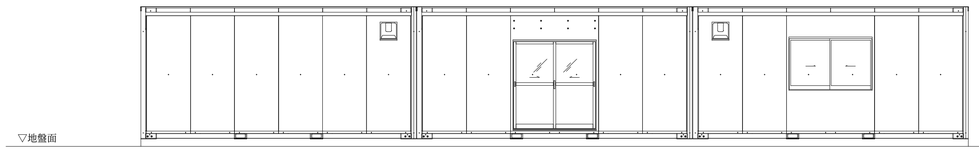
引き紐スイッチ
24h換気扇
※仮設工事込
火気使用換気扇
EWF-35CSA2 2400m3/h
※仮設工事別途

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO■ A－204
					ITEMS ■ 仮設店舗・平面図（機械設備用参考）	SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100	

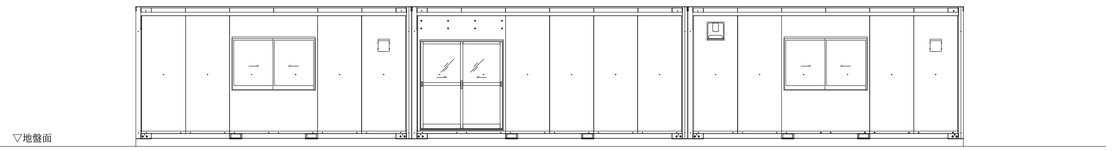
南立面図



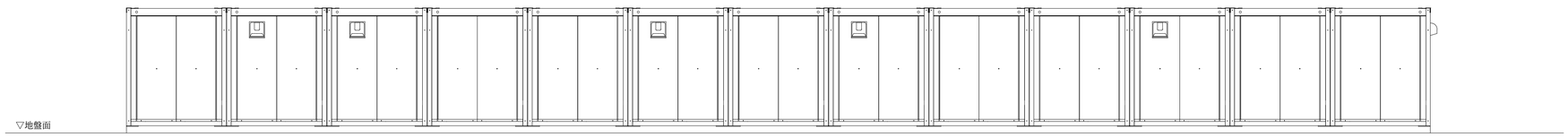
東立面図



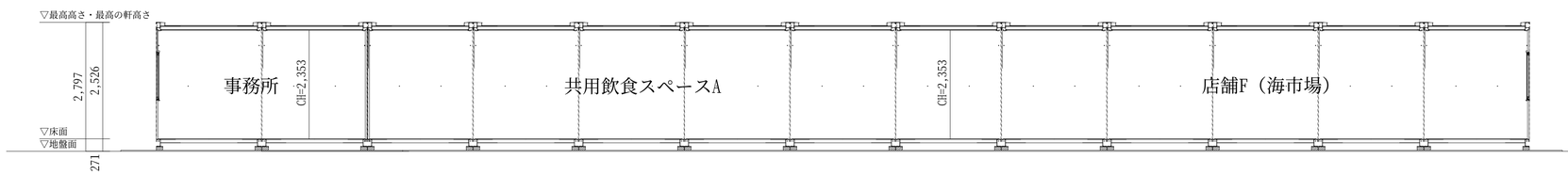
西立面図



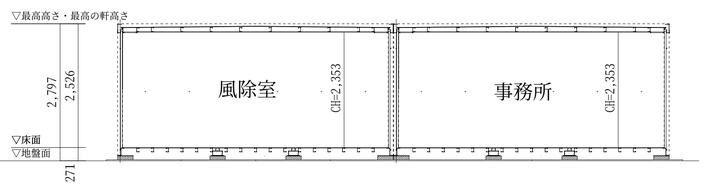
北立面図



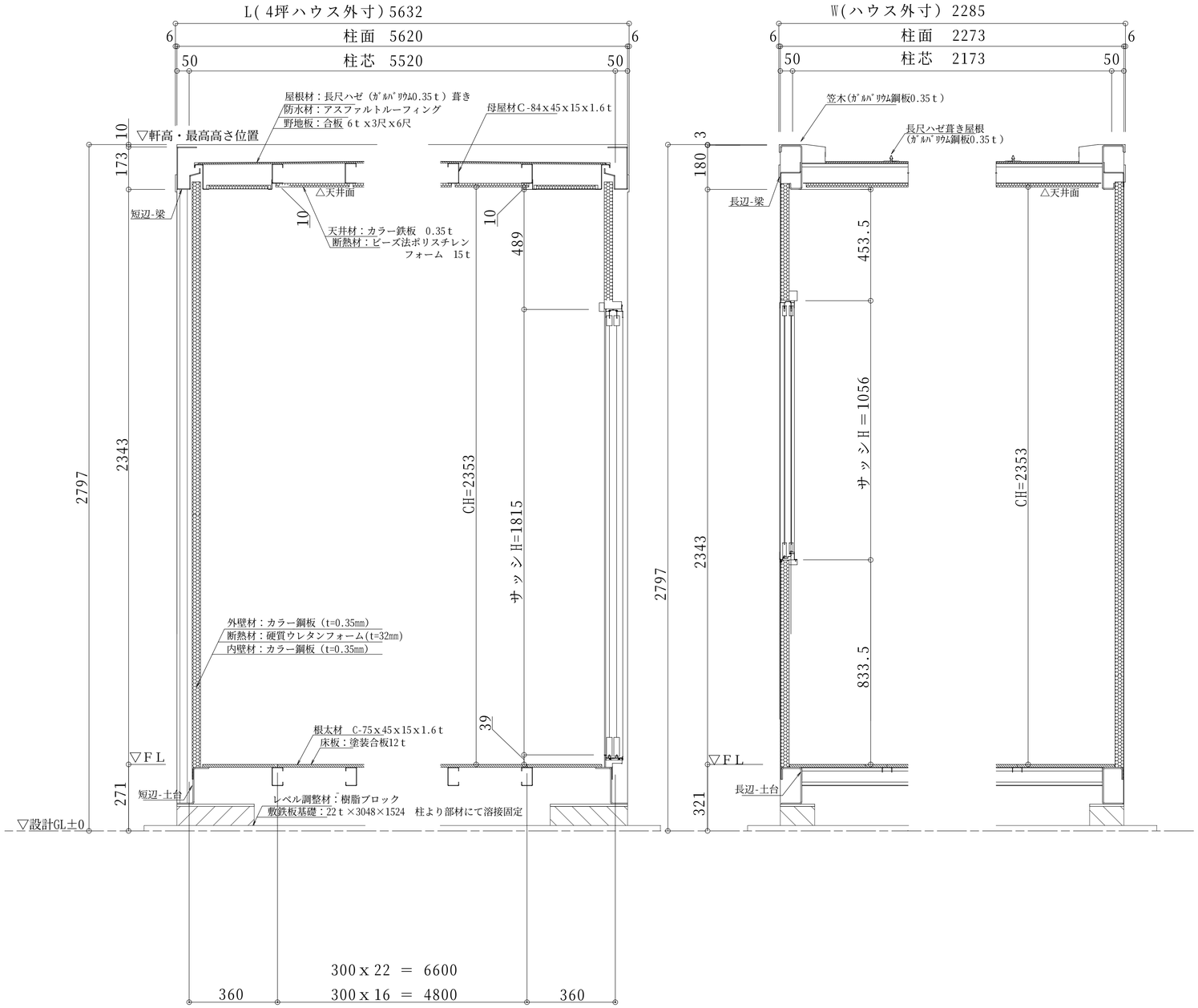
桁断面図



妻断面図



特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■
						ITEMS ■ 仮設店舗 立面図・断面図	SCALE ■ A1:1/62.5, A3:1/125
							NO ■ A−205

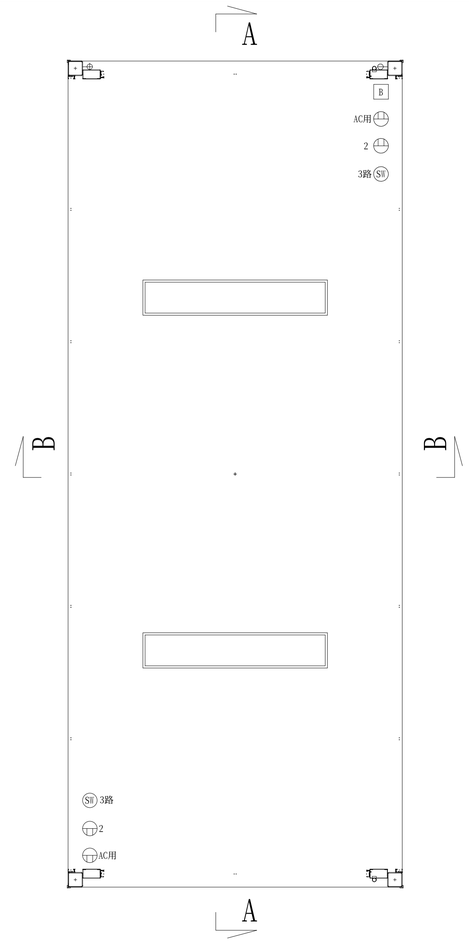


A-A断面図

B-B断面図

4 坪 2 連 棟 仕 様	
本体外形寸法	L 5,632㎜ W 4,570㎜ H 2,697㎜（2,771㎜ 吊金具含）
天井高	2,353㎜
床面積	24.68㎡
本体重量	2,260kg ※パネル、ユニット除く
構造	軽鋼構造ラーメン構造
屋根材	0.5㎜ ガルバリウム鋼板(NM-8697)
天井材	0.35㎜ カラー鋼板(NM-8697) （断熱材入り）
床材	12㎜ 構造用合板(F☆☆☆☆)
壁材	0.35㎜ カラー鋼板(NM-8697) （断熱材入り）
天井裏の仕上：規制対象外またはＦ☆☆☆☆。 石綿・クロルピリホスに関しては一切使用しません。	
電気設備	30A単相２線（1次電源 100V対応）
	分電盤 3回路（漏電ブレーカー×1,ノーヒューズブレーカー×3）×2
照明器具	40W埋込ＬＥＤ照明×4台 3路スイッチ×4ヶ所
コンセント	2口コンセント×4ヶ所 エアコン用1口コンセント×4ヶ所
換気設備	→02 換気扇20cm 風量:530/580m3/h(50/60Hz) HG-20K
	→20 換気扇20cm ~~風量:510/555m3/h(50/60Hz)~~ SV-20K
	給気口150φガラリ(防虫網付き) NASTA KS-860PRN

電 気 位 置 拡 大 図 (天 伏 図)



特記事項		株式会社 BIKEN 美建設計	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ A－206
				ITEMS ■ 仮設店舗 断面詳細図	SCALE ■ A1：1/10, A3：1/20	

〒294-0045 TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博

一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　　TEL(06)6763-8205　　ＦＡＸ（０６）６７６３－８２０６ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｋｓｅ-ｗｅｂ．ｃｏｍ／　　2014年2月1日作成　　（不許複製）

§ １　一般事項

選択項目は◉印を適用し、　◉印が無い場合は * 印を適用する。

○ 印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1　使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2　設計図書の優先順位は下記による。

1）本特記仕様書

2）設計図

3）標準図　◉ ~~鉄筋コンクリート構造配筋標準図~~　◉ 鉄骨工作標準図
- 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図 高強度せん断補強筋施工仕様書
- 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図

4）仕様書（◉ 公共建築協会 *日本建築家協会 ）

5）日本建築学会標準仕様書，~~JASS5~~，JASS6

1-3　各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。

1-4　構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。

第三者機関による検査・試験費用は工事費に　（ *含む　● 含まない ）

1-5　設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。

１－６　梁貫通位置、径、及び箇所数は（ 意匠図 *構造図 *設備図 ）による。

１－７　その他

§ ２　構造計算ルート 割愛

§ ３　仮設工事，土工事 割愛

§ ４　地業工事

４－１ 基礎及びスラブ下地業 割愛

４－２　設計地耐力　長期 20 30 ◉50 100 ｋＮ／m2 短期 40 60 100 ◉200 ｋＮ／m2 終局 ｋＮ／m2

地耐力載荷試験　● 行う （ 箇所，長期設計耐力の３倍を確認する）　◉ *行わない

４－３　地盤改良

- ● 無筋コンクリート地業　● 締固め工法　● ソイルセメント杭
- ● セメント系固化材撹拌　● 圧密排水工法　●

[載荷試験　● 一軸圧縮試験]　● 行う　（ 箇所）　* 行わない

[● 六価クロム溶出試験]　● 行う　* 行わない

4-4　4-4～4-6 杭関連 割愛

§ ５ 鉄筋工事 割愛

§ ６　コンクリート工事 割愛

§ ７　鉄骨工事

7-1　材種及び使用箇所　　△：SS400とする。

規格名称	鋼材名		柱	通しダイア	内ダイア	大梁	ブレース	小梁、他
溶融亜鉛めっき鋼板	◉ SS400	◉ SGH400				○		△
溶接構造用圧延鋼材	● SM400A	● SM490A						
建築構造用圧延鋼材	● SN400A	●						
	● SN400B	● SN490B						
	● SN400C	● SN490C						
一般構造用角形鋼管	◉ STKR400	● STKR490	○					
冷間成形角形鋼管	● BCR295	●						
	● BCP235	● BCP325						
熱間成形角形鋼管	● SHC400B	● SHC400C						
	● SHC490B	● SHC490C						
一般構造用鋼管	● STK400	● STK490						
一般構造用軽量形鋼	◉ SSC400	●						○
建築構造用圧延棒鋼 SNR490B		●						

7-2　高力ボルト

高力ボルトの種類		使用箇所
トルシア形高力ボルト	◉*S10T	全般
JIS形高力ボルト	● F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	● F8T	母材が亜鉛メッキされている部分
超高力ボルト	● S14T	屋内環境

7-3　普通ボルト，アンカーボルト

1）材質　◉ ＳＳ４００　● ＳＳ４９０（以上）Ｍ

● ＡＢＲ４００　● ＡＢＲ４９０　● ＡＢＭ４００　● ＡＢＭ４９０（ＡＢＭは 以上）M24

2）大臣認定柱脚（メーカー仕様による）　● 使用する　◉ 使用しない

7-4　頭付きスタッド ～ 溶接、検査、鉄骨製作工場に関する項目割愛

§ ８　コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板・ＰＣａ板工事割愛

※＜令第１２９条の２の４の事項について＞ 当建築物には、令第１２９条の２の４の事項に該当する建築設備は無い。

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO ■ SS－01
				ITEMS ■ 構造特記仕様書－01 一般事項(仮設)	SCALE ■ NON	

〒294-0045　TEL. 0470-22-3764
千葉県館山市北条1355-45　FAX. 0470-22-3785
一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号
一級建築士大臣登録 第246699号　岩崎 一博

§１ 一 般 事 項

１－１ 基本事項

１） 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。

２） 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また、本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書１－２－４，５に指定した共通仕様書および標準仕様書による。

３） 製作精度等に関しては、ＪＡＳＳ６の付則６「鉄骨精度検査基準」による。

４） 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

１－２ その他

§２ 共 通 事 項

２－１ 略号

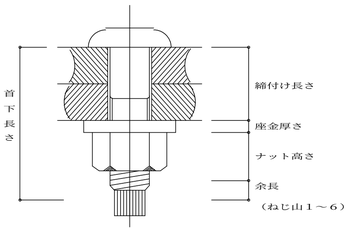
・ＡＢ	アンカーボルト	・ＳＰＬ	スプライスプレート	Ｌ・ＧＰ	ガセットプレート
・ＢＰＬ	ベースプレート	・ＷＰＬ	ウェブプレート	・ＲＰＬ	リブプレート
・ＤＦＰ	ダイヤフラム	・ＢＨ	組立てＨ形鋼	・ＴＢ	ターンバックル
・ＦＰＬ	フランジプレート	・ＣＨＰＬ	チェッカープレート	・$W_{1.5}$	溶接記号（§4参照）
・ＨＴＢ	高力ボルト	・ＦＢ	フラットバー		

§３ ボルト接合

３－１ 高力ボルト

ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	Ｆ８Ｔ,Ｆ１０Ｔ	Ｓ１０Ｔ
Ｍ１６	３０	２５
Ｍ２０	３５	３０
Ｍ２２	４０	３５
Ｍ２４	４５	４０



１，特記以外はすべて Ｓ10Ｔ（トルシア形高力ボルト、上図）又は Ｆ10Ｔ とする。

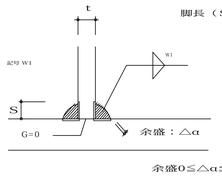
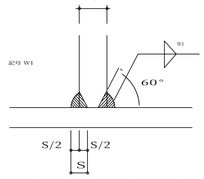
２，本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。

３，ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは１次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。

４，亜鉛メッキボルトの場合は、すべて Ｆ8Ｔ とする。

§ 溶 接 接 合４

４－１ 隅肉溶接

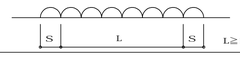
t ≦ 16	16 ＜ t ≦ 40
	

脚長（Ｓ） 0≦△S≦0.5S
かつ △S≦5
△S ＝S ’－S
Ｓ＝設計サイズ
Ｓ’＝実際サイズ

余盛0≦△α≦0.4S かつ △α≦4

t	６以下	9	12	14	16	19	22	25	28	32	36	40
S	t	7	9	10	12	11	13	15	17	19	21	24

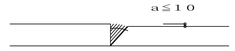
断続隅肉溶接の長さL

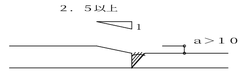


L≧10Sかつ40以上

４－２ 完全溶込溶接（突合せ溶接）

１）板厚の異なる場合（通しダイアフラムは除く）

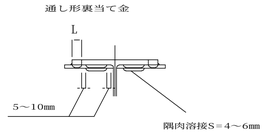




クレーンガーダーの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。

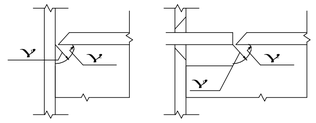
２）エンドタブ

両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さＬは35以上かつ薄い方の板厚の２倍以上とする。
エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5～10mm はなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
エンドタブ、裏当て金の組立て溶接は右図による。



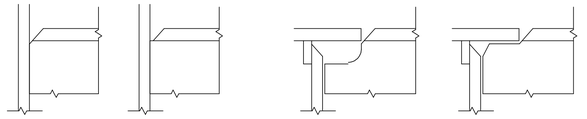
３）開先加工 （下図は参考とする。）

a）スカラップ工法

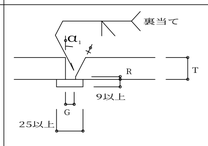
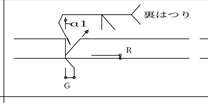
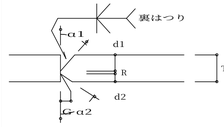
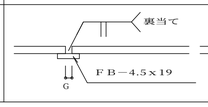


・スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。γ は35程度、γ は10以上とする。なお複合円は滑らかに仕上げること。
・完全溶込み溶接部以外のスカラップはγ=25程度とする。

b）ノンスカラップ工法

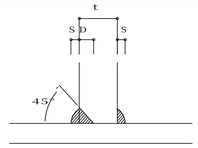
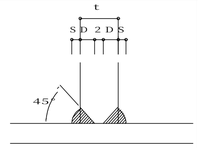


４）開先形状

記号	形状	適用板厚	寸法		
				アーク手溶接	ガスシールド及びセルフシールドアーク溶接
W2 MC-BL-B1 GC-BL-B1		6≦T	G	7 +2 -2	6 +2 -2
			R	2 +1 -2	2 +1 -2
			α1	45° -5°	45° -5°
			G	9 +2 -2	7 +2 -2
			R	2 +1 -2	2 +1 -2
			α1	35° -5°	35° -5°
W3 MC-BL-2 GC-BL-2		6≦T≦19	G	0 +4 -0	0 +3 -0
			R	2 +2 -2	2 +2 -2
			α1	45° -5°	45° -5°
W4 MC-BK-2 GC-BK-2		16<T	G	0 +4 -0	0 +3 -0
			d1	2/3 (T-R)	2/3 (T-R)
			R	2 +2 -2	2 +2 -2
			d2	1/3 (T-R)	1/3 (T-R)
			α1	45° -5°	45° -5°
			α2	60° -5°	60° -5°
W5 MC-BI-B1 GC-BI-B1		3～6	G	T -2	T -2
		6～9	G		6 -2

MC …はアーク手溶接　GC …はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

４－３ 部分溶込溶接

片面溶接 W6	両面溶接 W7
１２ ≦ t ≦ ４０	１６ ≦ t ≦ ４０
	

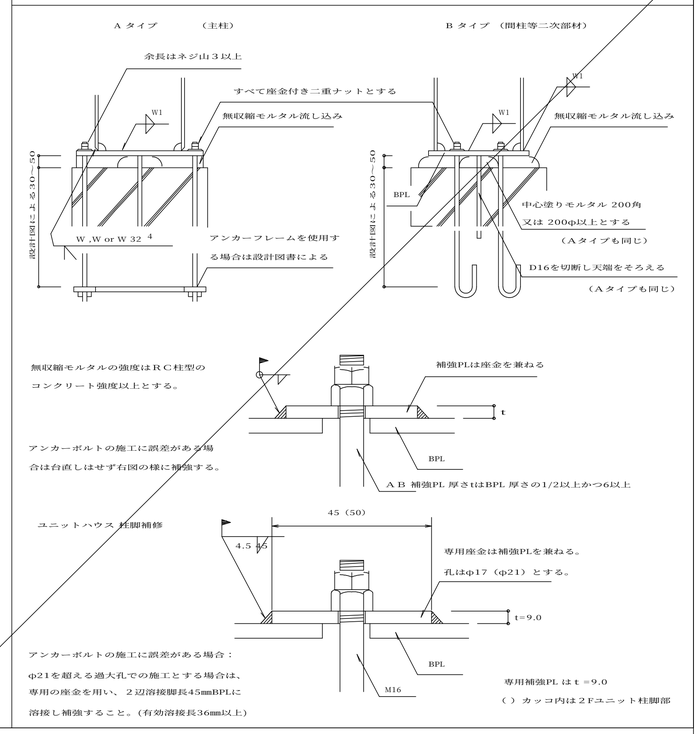
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D=（t-2）/2
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	

t/4 ≦ S ≦ １０

§５継 手、§６柱梁接合部及び継手 割愛

７－１ 一般柱脚

§ ７ 柱 脚



※構造材は亜鉛メッキ鋼板を用い、母屋、根太は錆止め塗料
根太及び母屋材は基本的にすみ肉溶接とし、Ｆ材のみＭ16中ボルト接合

※構造材はSTKR及びSGH,SSC等指定建築材料を用いる。

※特記なき場合「建築用薄板溶接接合部設計・施工マニュアル（日本建築センター）」による。

一般社団法人関西建築構造設計事務所協会 TEL（06）6763-8205　FAX（06）6763-8206　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｋｓｅ-ｗｅｂ.ｃｏｍ/

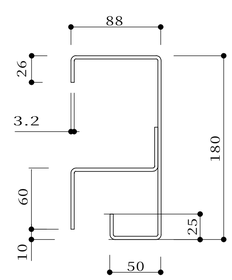
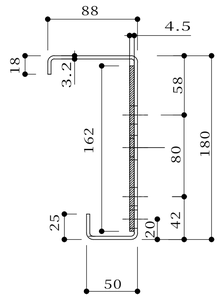
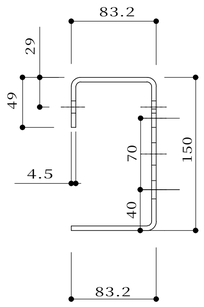
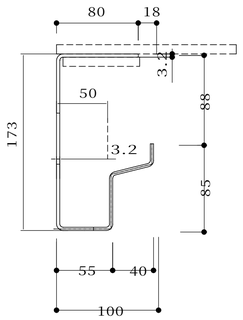
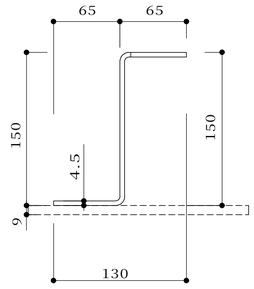
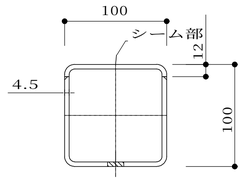
2014年2月1日作成 （不許複製）

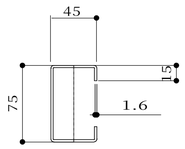
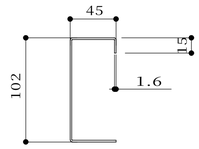
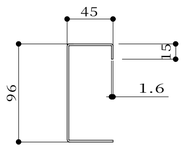
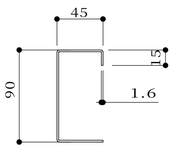
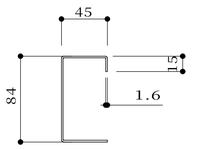
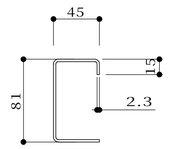
2014年10月20日 株式会社飯島建築事務所 加筆・修正

特記事項		CHECKED	DRAWN	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ■	NO■ SS－02
		■		ITEMS ■ 構造特記仕様書－02 鉄骨(仮設)	SCALE ■ NON	

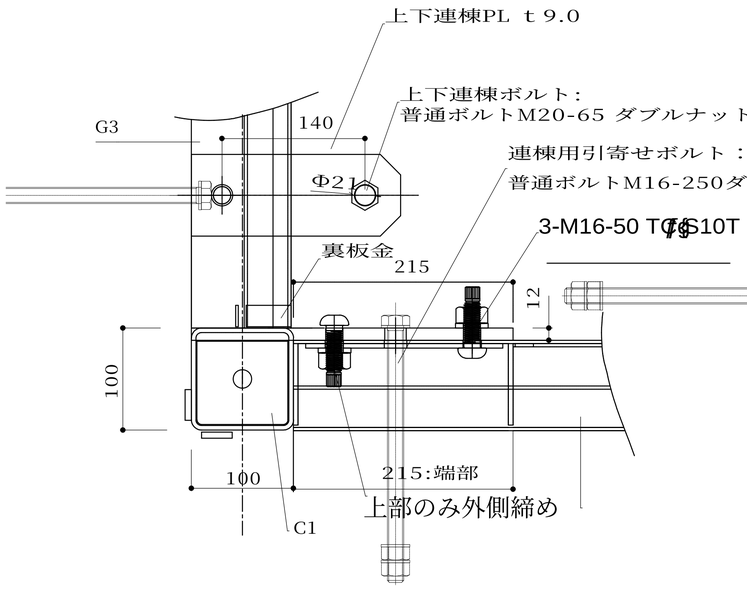
BIKEN 株式会社 美建設計
〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号
TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 岩崎 一博

フレーム 断面リスト

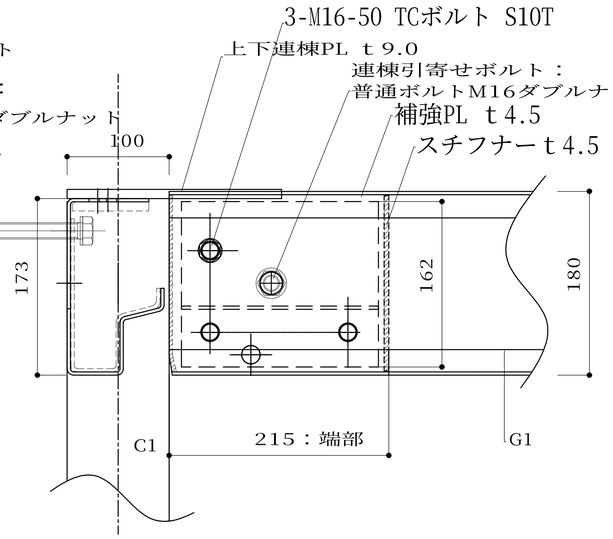
符 号	G1	G1	G2	G3	G4	C1
位 置	中央部	端部	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面						
材質	SGH400	SGH400	SGH400	SGH400	SGH400	STKR400
JIS	JISG3302	JISG3302	JISG3302	JISG3302	JISG3302	JIS G3466

符 号	B0	B4	B3	B2	B1	Bf
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面						
材質	SSC400	SGH400	SGH400	SGH400	SGH400	SGH400
JIS	JIS3350	JIS3302	JIS3302	JIS3302	JIS3302	JIS3302

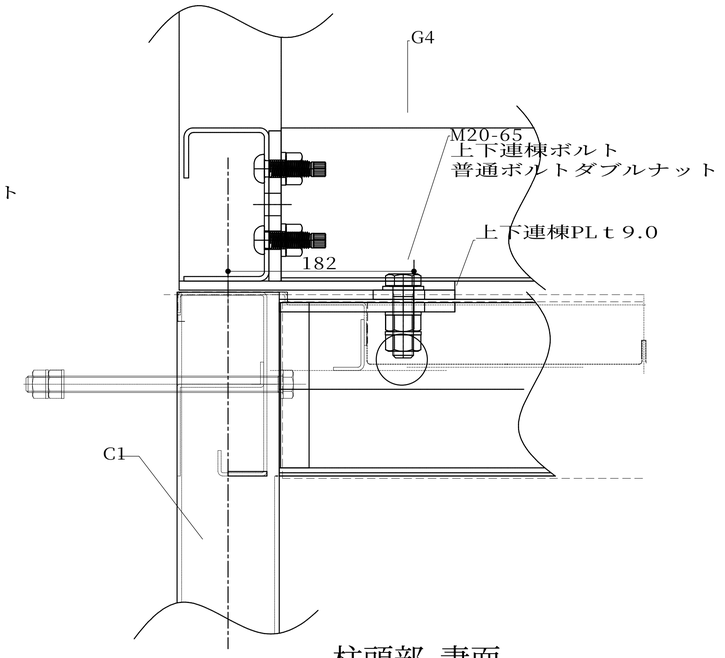
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ (仮設店舗) 断面リスト	DATE ■ SCALE ■ A1:1/3, A3:1/6	NO■ SS−03



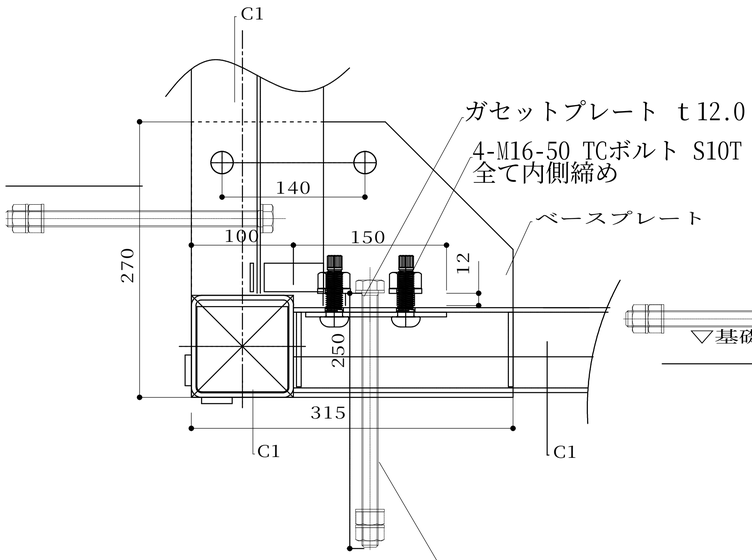
柱頭部 平面



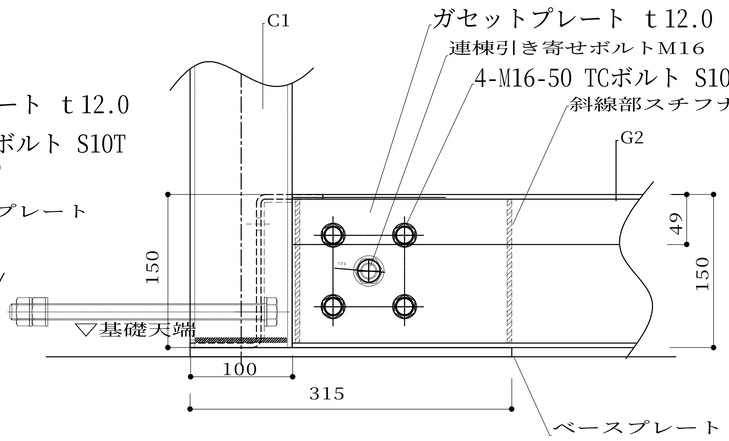
柱頭部 桁面



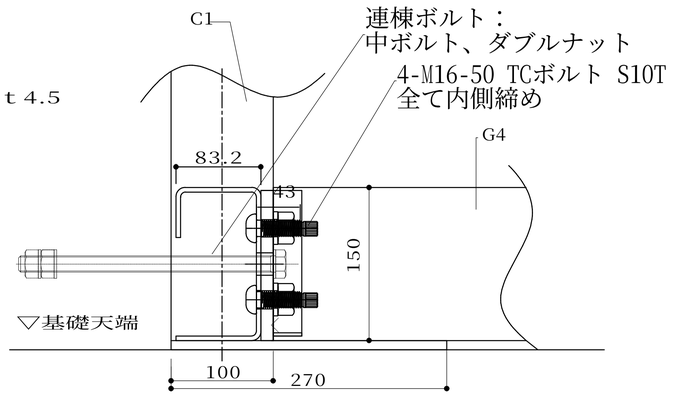
柱頭部 妻面



柱脚部 平面



柱脚部 桁面

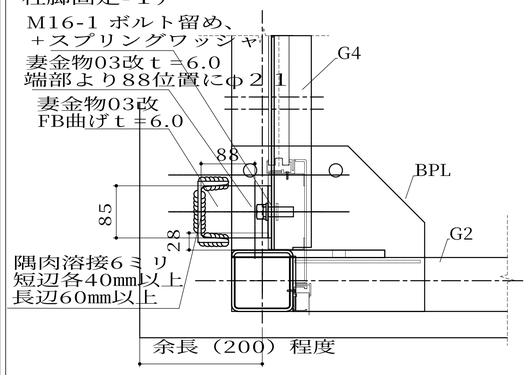


柱脚部 妻面

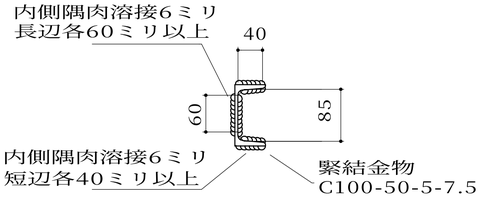
TCボルト S10T 梁：50mm,土台45mm
認定番号：「MBLT-0125」同等品とする。
日鉄住金ボルテン(株)

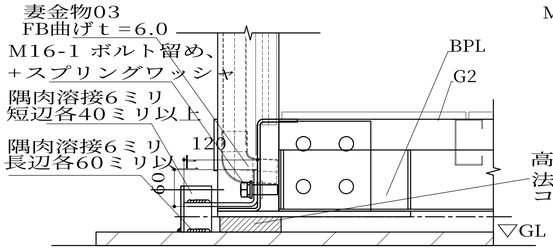
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED ■ DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ (仮設店舗) 断面リスト、接合部詳細図	DATE ■ SCALE ■ A1:1/3, A3:1/6	NO ■ SS−04

柱脚固定-１）

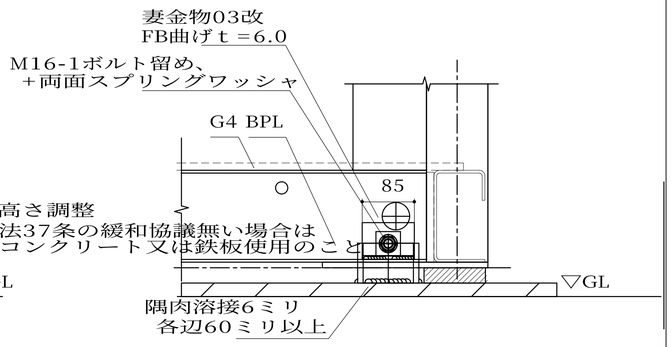


仮設柱脚詳細図 平面図
（妻金物）



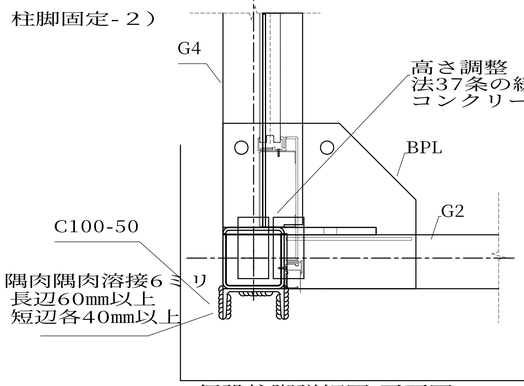


仮設柱脚詳細図 桁面図
（妻金物）

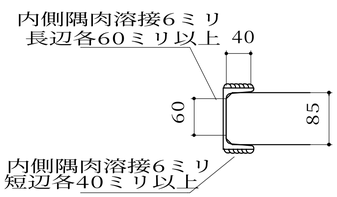


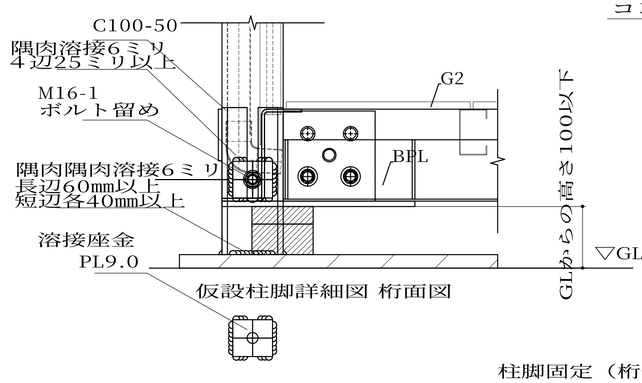
柱脚固定妻（金物03改）
（妻金物）

柱脚固定-２）

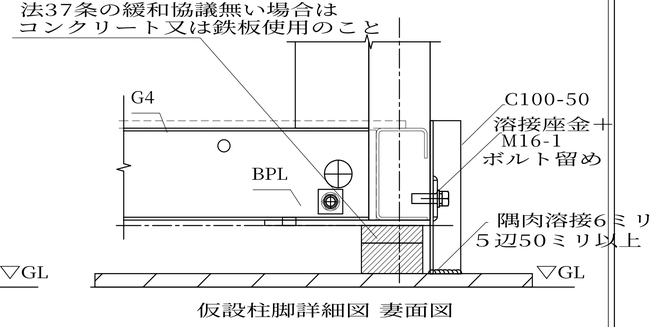


仮設柱脚詳細図 平面図





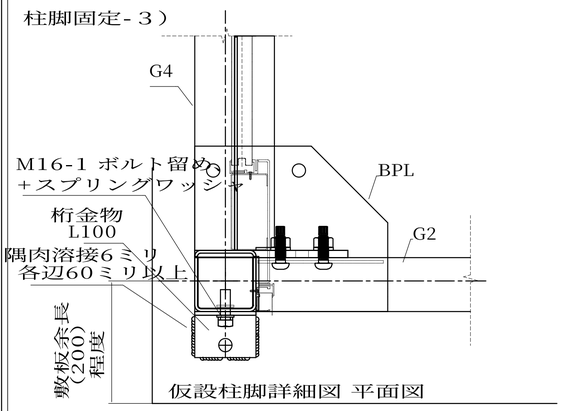
仮設柱脚詳細図 桁面図



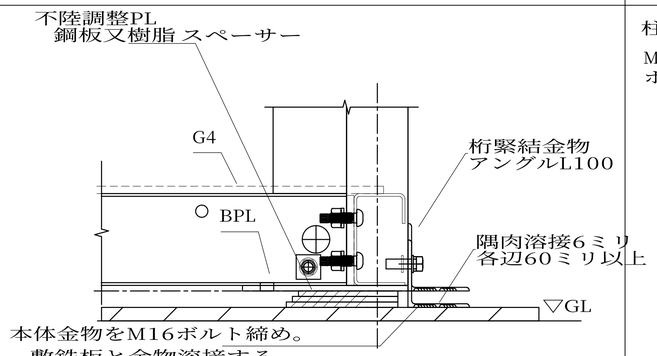
仮設柱脚詳細図 妻面図

柱脚固定（桁金物10）

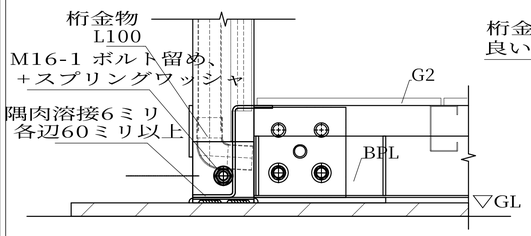
柱脚固定-３）



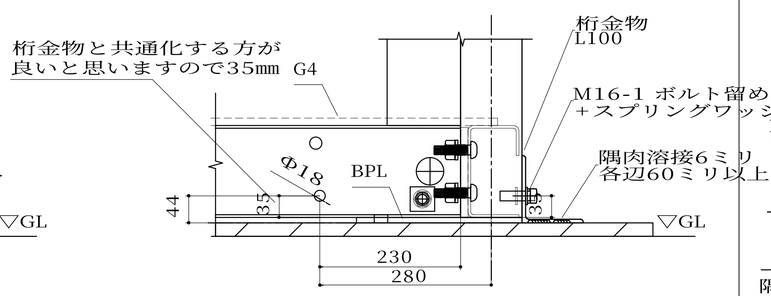
仮設柱脚詳細図 平面図



仮設柱脚詳細図＜不陸の調整＞ 妻面図



仮設柱脚詳細図 桁面図



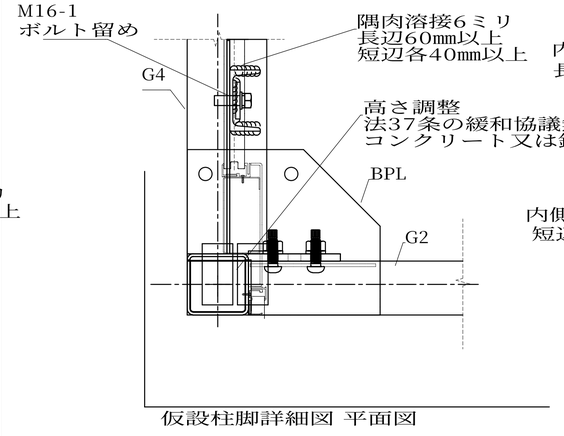
仮設柱脚詳細図 妻面図

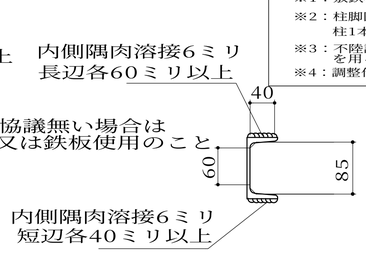
柱脚固定 （桁金物）

柱脚固定-４）

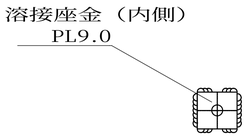
追加特記）

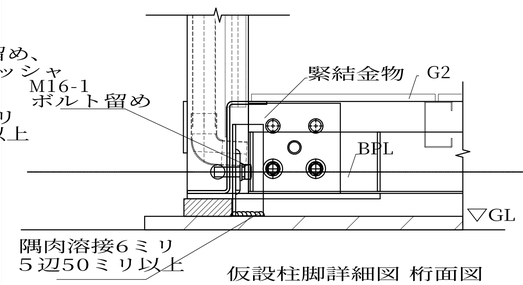
※1：敷鉄板の重ね枚数は構造計算書遵守のこと。
※2：柱脚固定1)～4）いずれかの柱脚固定金物にて
柱1本あたり1か所、敷板に溶接固定すること。
※3：不陸調整は指定建築材料（コンクリート又は鋼板）
を用る。
※4：調整代はGL＋200以下厳守のこと。



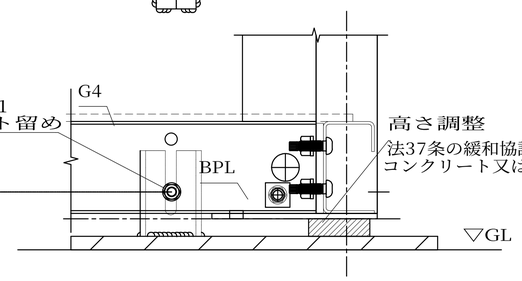


仮設柱脚詳細図 平面図





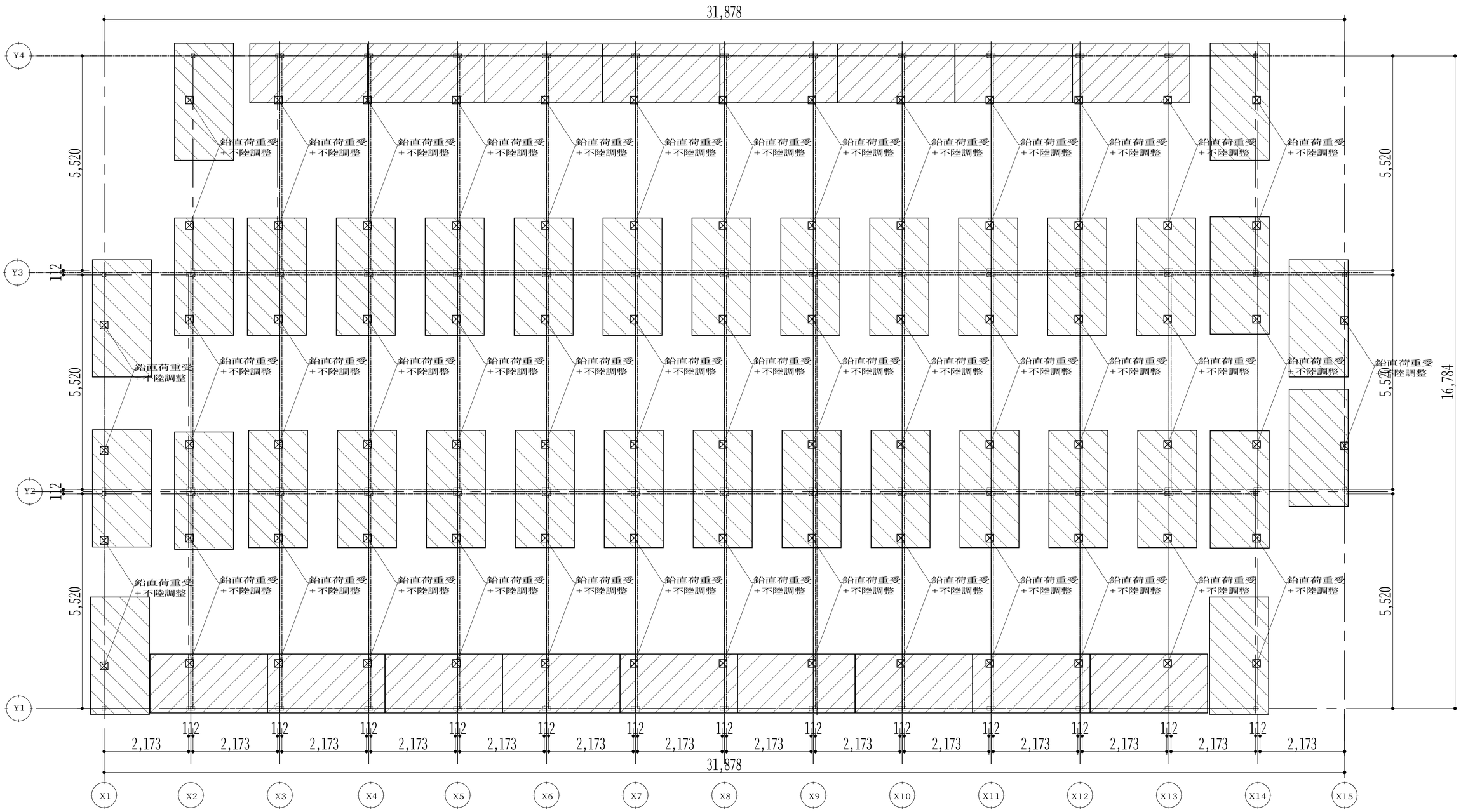
仮設柱脚詳細図 桁面図

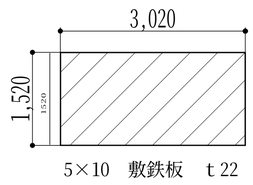


仮設柱脚詳細図 妻面図

柱脚固定妻（金物10）

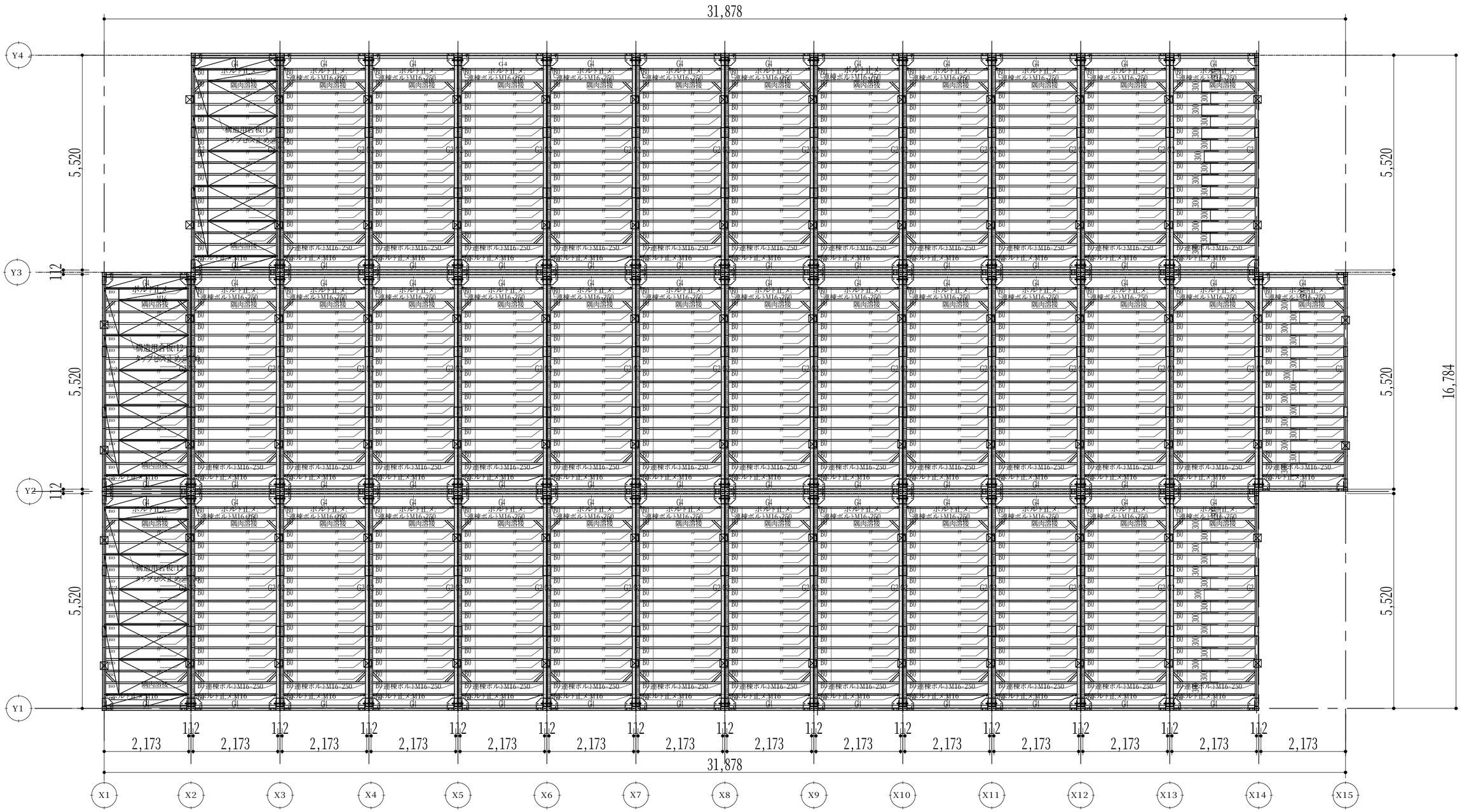
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ (仮設店舗) 仮設基礎・柱脚固定詳細図	DATE ■ SCALE ■ A1：1／5, A3：1／10	NO■ SS－05





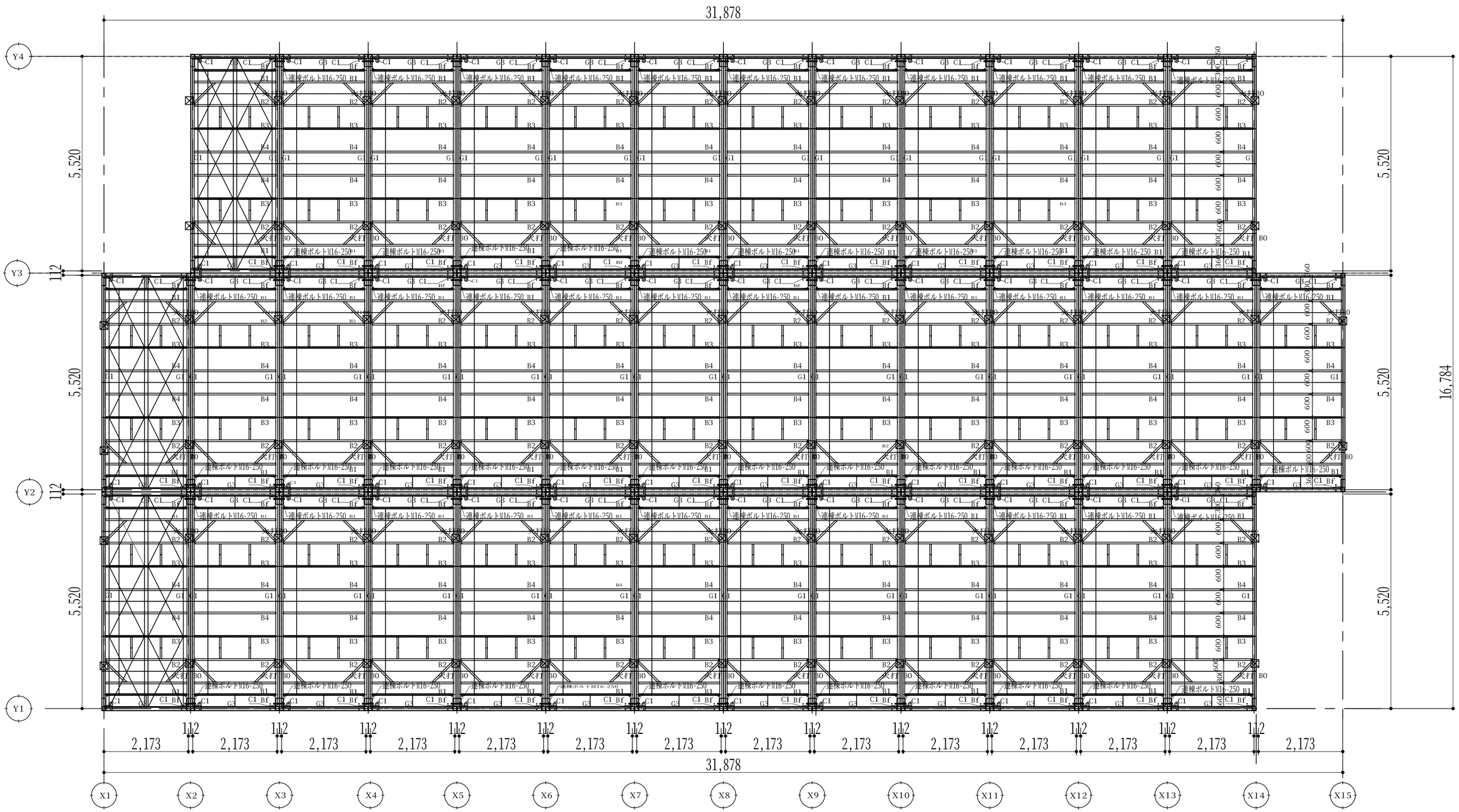
基礎伏図　S＝1/50

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ (仮設店舗)　基礎伏図	DATE ■ SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100	NO ■ S－01



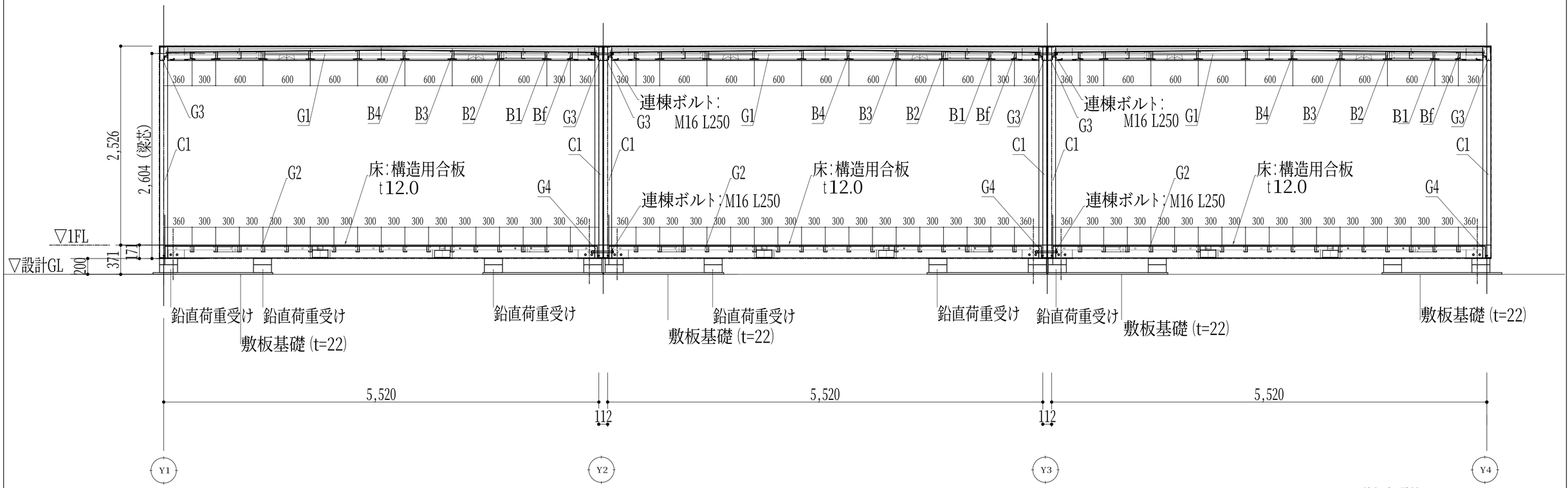
１Ｆ床伏図　Ｓ＝1/50

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 TEL. 0470-22-3764 千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ (仮設店舗) 床伏図	DATE ■ SCALE ■ A1：1/50, A3：1/100	NO ■ S－02



小屋伏図　S＝1/50

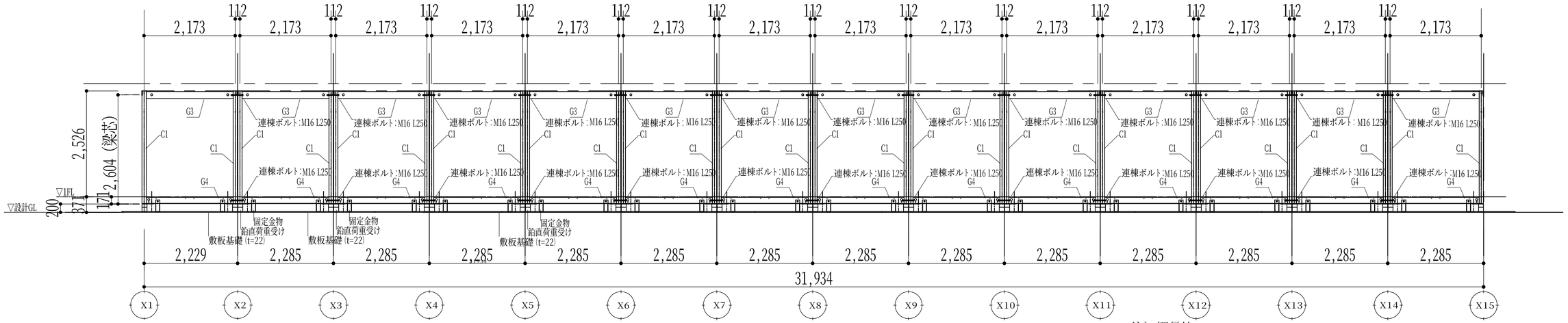
特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 TEL. 0470-22-3764 千葉県館山市北条1355-45 FAX. 0470-22-3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ (仮設店舗) 小屋伏図	DATE ■ SCALE ■ A1:1/50, A3:1/100	NO■ S－03



注) 細長比
C1 : λ=66

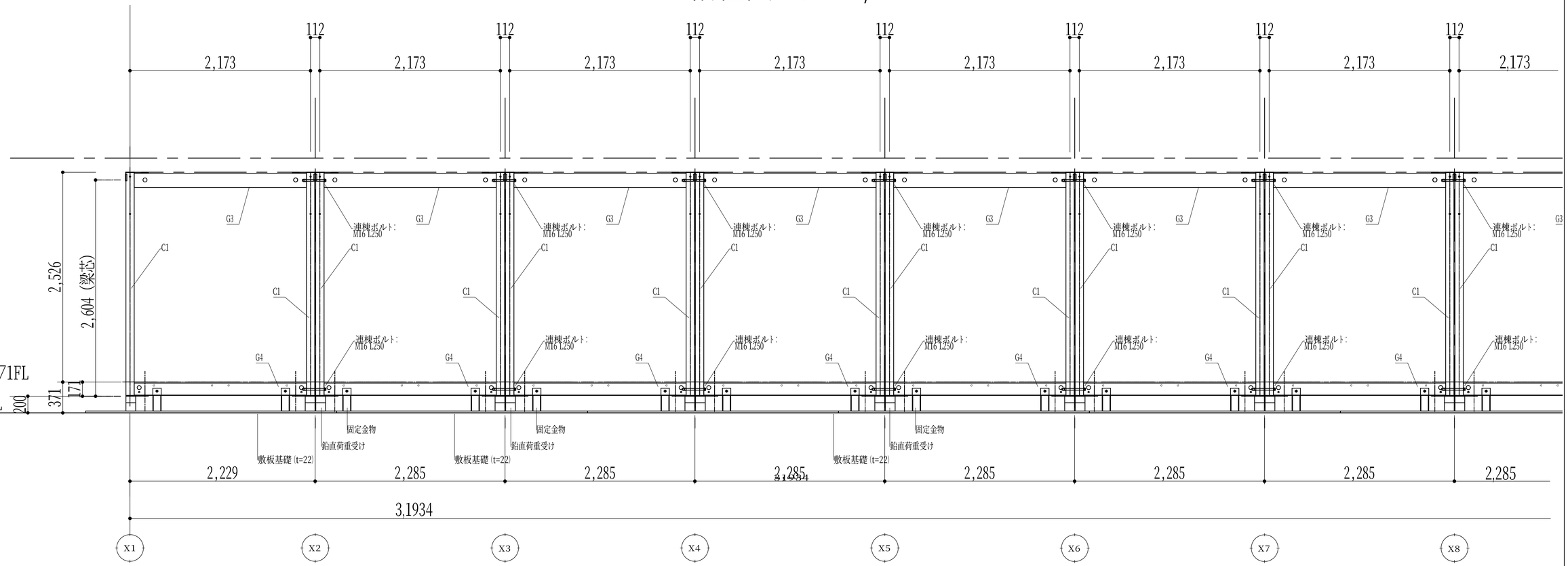
X軸組図 S=1/25

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計 〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ▪	PROJECT ▪ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ▪ (仮設店舗) X軸組図	DATE ▪ SCALE ▪ A1:1/25, A3:1/50	NO ▪ S-04



注）細長比
C1：λ=66
注2）ユニットハウスは、製品として高さが決まっているため、
地盤の不陸が建築の高さに反映されることになります。
そのため、構造上の安全を考慮して高さ200㎜プラスした条件の
図面とし、厳しい条件で構造計算を行っています。

Y軸組図　S＝1/50



Y軸組図　S＝1/25

特記事項		株式会社 美建設計 BIKEN	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 岩崎　一博	CHECKED DRAWN ▪	PROJECT ▪ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事)	DATE ▪
						ITEMS ▪ (仮設店舗)　Y軸組図	SCALE ▪A1：1/50,1/25 A3：1/100,1/50

NO▪ S－05

工事名称　道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事

○ フレックス工期契約制度
○ 適用する　工事の着手期限日　令和○年○月○日　　工事の終期日　令和○年○月○日　　● 適用しない
留意事項
・受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後７日以内に工事着手日通知書（第１号様式）を発注者に届け出なければならない。
・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設業法（昭和24年5月24日法律第100号）第26条に基づく主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第11条に基づく現場代理人の設置を要しない。
・工事着手までの間は、工事の施工（現場事務所の設置、資機材等の発注及び工場製作を含む）を行ってはならない。
・前金払は、工事着手日の10日前までは請求できない。
・工事実績情報システムへの登録に際しては、主任（監理）技術者及び現場代理人の従事期間は、工事着手日をもって登録するものとする。（工事契約日から工事着手日の前日までを除くこととする。）

● 猛暑による作業不能日数
● 本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。
ⅰ）作業不能日数：6日間（工期の始期は令和8年4月1日【着手期限】で算定）
ⅱ）上記ⅰ）は、環境省が公表する関東地方_千葉県_勝浦地点におけるWBGT値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去５年分（2020年～2024年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（３日）を除く。）において、８時から１７時の間にWBGT値が３１以上となった時間を算定し、日数に換算したもの５年分を平均したもの。
ⅲ）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する関東地方_千葉県_勝浦地点におけるWBGT値が３１以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））がⅰ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

Ⅰ.工事概要

1.工事場所

2.建物概要

建物名称	構　造	階　数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別 表 第 一	耐震安全性の分類	備　考
レストラン棟（既存）	RC造一部S造	地上 2 階 地下　階 塔屋　階	1635.71	7　項	特定の施設 一般の施設	既存
		地上　階 地下　階 塔屋　階		項	特定の施設 一般の施設	

3．工 事 種 目　　昇降機設備　　更新一式

4．指 定 部 分　　● 無　　○ 有　対象部分(　　)
指定部分工期　　令和　年　月　日

5．改修内容（改修工事のみ）

Ⅱ.工事仕様

1.共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。
● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 7 年版）（以下「標準仕様書」という。）
● 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 7 年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
● 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和 7 年版）（以下「標準図」という。）
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は(　/　)図、建築工事の特記仕様書は(　/　)図による。

2.提出様式
本工事で用いる提出書類の様式は、県発注・営繕工事関連提出書類一覧(下記URL)によるほか、監督職員の指示による。
https://www.pref.chiba.lg.jp/eizen/jigyousha/kenchiku/teishutsu.html

3.特記仕様
章、項目及び特記事項共に、● 印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	● 機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 (2) 別表－１に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定められある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
	● 環境への配慮	(1) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（<S8令和7年1月28日変更閣議決定<S2）」による。 (2) 環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材（材料および機材を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷軽減に配慮されていること。」）に留意すること。 (3) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (4) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	● 電気保安技術者	本工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者(　千葉県　)の任命する監督職員の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行うものとする。
	● 監督職員事務所	● 設けない　　○ 設ける
	● 工事用電力・水・その他	● 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用はすべて受注者の負担とする。 工事用水　　構内の施設　● 利用できない　○ 利用できる（ ○ 有償　○ 無償 ） 工事電力　　構内の施設　● 利用できない　○ 利用できる（ ○ 有償　○ 無償 ）
	● 工事用仮設物	構内につくることが　○ できる　● できない
	● 足場その他	● 別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 （ ● 建築工事　○ 電気設備工事　で設置する。） ○ 本工事で設置とする。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における２の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 ○ 内部足場　（ ○　種 ○　種 ○　種 ○　種 ） ○ 外部足場　（ ○　種 ○　種 ○　種 ○　種 ）

章	項　目	特　記　事　項
	● 養　生	既存部分の養生は、改修標準仕様書第１編３章による。
	● 耐震設計用地域係数	耐震設計用地域係数は、１．０とする。
	● 耐震措置	エレベーター設備機器の固定等は、すべて「昇降機技術基準の解説 2016年版」による。 なお、耐震安全性分類による耐震クラスは、（　● A14　○ S14 ）とする。
	○ 施 工 調 査	事前調査　　○ 本工事　○ 別途 調査項目　○ 既存資料調査 調査範囲　○ 図示　○ 調査方法　○ 図示　○ ○ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。
	○ 建 設 副 産 物 の 処 理 等	1 共通事項 1)「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（<S8コブリス・プラス<S2）」により作成し、施工計画書に含め各１部提出すること。 また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各１部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。 ◎作成対象工事 「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額額 100 万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。 2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」 に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」 を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を１部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、１部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提示し確認を受けること。 3)建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票の Ｄ 票及び Ｅ 票の写しを提示すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を提示すること。 2 建設廃棄物 本工事により発生する 1)アスコン塊(　　t)は　　市　　町地先、片道運搬距離　　kmの （※ 中間処理場 ・ 最終処分場）　　に運搬し、処理するものとする。 2)コンクリート塊(　　t)は　　市　　町地先、片道運搬距離　　kmの （※ 中間処理場 ・ 最終処分場）　　に運搬し、処理するものとする。 3)建設発生木材(　　t)は　　市　　町地先、片道運搬距離　　kmの （※ 中間処理場 ・ 最終処分場）　　に運搬し、処理するものとする。 4)建設汚泥(　　t)は　　市　　町地先、片道運搬距離　　kmの （※ 中間処理場 ・ 最終処分場）　　に運搬し、処理するものとする。 5)ガラスくず及び陶器くず(　　m3)は　　市　　町地先、片道運搬距離　　kmの （※ 中間処理場 ・ 最終処分場）　　に運搬し、処理するものとする。 6)金属くず(　　m3)は　　市　　町地先、片道運搬距離　　kmの （※ 中間処理場 ・ 最終処分場）　　に運搬し、処理するものとする。 7)廃プラスチック(　　m3)は　　市　　町地先、片道運搬距離　　kmの （※ 中間処理場 ・ 最終処分場）　　に運搬し、処理するものとする。 8)混合廃棄物(　　m3)は　　市　　町地先、片道運搬距離　　kmの （※ 中間処理場 ・ 最終処分場）　　に運搬し、処理するものとする。 なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。 工事発注後、事情により上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。
	● 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領（令和 5 年版）」による。
	● デジタル工事写真の小黒板情報電子化	デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以降、「対象工事」と称する）とすることができる。対象工事では、以下の（１）から（４）の全てを実施することとする。 （１）対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降「使用機器」と称する）については、営繕工事写真撮影要領2.(3)に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に本工事での使用機器について提示するものとする。 なお、使用機器の事例として、URL「http://www.cals.jacic.or.jp/CIW/sharing/index.html」記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 （２）デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入 受注者は、（１）の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、営繕工事撮影要領2．(3)撮影方法」による。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。 （３）小黒板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事写真撮影要領に準ずるが、(２)に示す小黒板情報の電子的記入については、同要領４．で規定されている写真編集には該当しない。 （４）小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、（２）に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者はURL（http://www.cals.jacic.or.jp/CIW/sharing/index.html）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ「工事打合せ簿」等により提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。
	● 設計図CADデータ	・設計図CADデータ　：　● 貸与する　○ 貸与しない 貸与する設計図CADデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。
	● 電子納品	1 本工事は、電子納品の対象工事である。 電子納品は、「千葉県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】令和４年１月」（以下、「ガイドライン」という。）に基づいて行う。 ~~2 工事完成検査時には、（公財）千葉県建設技術センター（以下、センターという。）から発行される「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」を、携行すること。~~ ~~3 工事完成検査後は、速やかに電子媒体の１部と「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」をセンターに送付すること。その後、センターから発行される「千葉県電子媒体（副本）受領書」を監督職員に提出すること。なお、電子成果品は工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合は、受注者は修正作業を行わなければならない。~~ 4「ガイドライン」の解釈に疑義がある場合は、監督職員と協議の上で決定すること。

章	項　目	特　記　事　項
	● 完成時の提出図書等	工事完成時の提出図書等は以下のものとする。 提出図書等 / 仕様 / 部数 ● 完成図面　● 図面（A1版）折りたたみ製本　サイズ　● A4版　● 1 部 ○ 図面（A1版）見開き製本　○ 版　○ 部 ● 工事関係図書　本工事中に作成した工事関係書類等をまとめたもの　● 1 部 ○ 部 ● 完成写真　○ キャビネ版　撮影箇所　○ 箇所　● 1 部 ○　○ 箇所　○ 部 ● 保全に関する資料　○ 建築物等の利用に関する説明書　○ 機器取扱い説明書 ○ 機器性能試験成績書　○ 官公署届出書類　● 2 部 ○ 総合試運転調整報告書 建築物等の利用に関する説明書は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」に基づき作成すること。　○ 部 ● 電子成果品　電子納品による　● 2 部 ○ 部
	● 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集(令和 4 年版)によるほか、監督職員との協議による。
	● 電動機	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としておよい。
	● 容量等の表示	1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
	● は　つ　り	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターを用いる。
	● 既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
	● 電　線　類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編 1.5.1 表 4.1.11 による。 昇降路及びかごに敷設する電線及びエレベーター用ケーブルの規格は標準仕様書第９編表 9.2.11による。
	○ 天井仕上区分	(　　) 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	○ 吊り及び支持金物	(○ 昇降路内　○　　)の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。
	● 試　　験	試験は、標準仕様書第９編 2.2.13による。
	● 他工事との取り合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。
	● 環 境 対 策	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型の建設機械を使用すること。
	● 工事現場管理	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 (1) 不法・違反無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
	● 過積載による違法運行の防止	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 (1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (3) 過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5) 建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6) 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。
	● 安 全 対 策	受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 また、発注者で組織する安全対策委員会が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。
	● 保　　険	本工事については、工事目的物及び工事材料を次に示す内容で火災保険、組立保険その他の保険に附すること。 (1) 被保険者　　発注者、受注者及びその全下請負人 (2) 保険金額　　請負代金全額 (3) 保険期間　　工事着手のときから工事引渡しまでの期間 なお、保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを直ちに監督職員に提示すること。
	● 創意工夫等の実施	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
	● 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署などへの必要な手続等は受注者が代行し、遅滞なく行う。
	○ 中 間 検 査	1 通常工事時 中間検査を実施する　（ 回数　回 、 実施時期　） 中間検査の範囲　（　） 2 低入札価格調査制度調査対象工事時 千葉県建設工事検査要綱(検査の区分を規定)および中間検査実施細則(中間検査実施区分を規定)の定めに関わらず中間検査の指定対象工事として、中間検査を実施する。 (1) 調査対象工事の中間検査の実施は、「中間検査実施細則」に関わらず原則として2ヶ月に1回、隔月ごと、及び主要工種を考慮し施工上の変化点等で行うが、実施時期は監督職員が指定する。 なお、検査日及び検査監氏名は別途通知する。 (2) 中間検査は、通知日までに完了した出来形部分の出来形確認及び技術的確認等を行うが、給付の対象とはしない。
	○ 条件明示項目	○ 施工可能期間 　月　日～　月　日　(期間中も行事等により、短期の施工不能日あり) ○ 改修工事の部分使用 　月　日までに下記部分について、部分使用するので協力すること。 部分使用箇所　（　）
	● ワンデーレスポンス	本工事は、ワンデーレスポンス対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち（24時間以内）」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者に確認の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうちに」することとする。 1）受注者は、施工計画に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら施工すること。 2）受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じる恐れがある場合は、原因を究明するとともに速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

章	項　目	特　記　事　項
○ エレベーター設備	● エレベーター仕様	仕様は、「Ⅳ. エレベーター仕様」による。
	● エレベーター監視盤	仕様は、「Ⅴ. エレベーター監視盤等」による。
	● エレベーター警報盤	仕様は、「Ⅴ. エレベーター監視盤等」による。
	○ 動力計測用電力量計（無検定）	動力計測用外部出力端子付とし、エレベーター１台ごとに設置する。 なお、電力量の表示は不要とする。
	○ 自動診断仮復旧運転機能	保守契約後に自動診断仮復旧運転が可能なものとする。 （完成検査においては動作確認できるものとする。）
○ 撤去工事	○ 撤 去 内 容	○ 図示による。 ○
	○ 発生材の処理	○ 金属類　（　○ 機器類 ○ ダクト　○ 配管　○ その他金属類 ）の処理は （　○ 構外搬出適切処理　○　　）とする。 ○ 特別管理産業廃棄物　（　○　　○　　）の処理は （　○ 構外搬出適切処理　○ 別途　）とする。 ○ 上記以外のもの　（　○　　○　　）の処理は （　○ 構外搬出適切処理　○ 別途　）とする。 ○ 建設リサイクル法における再資源化等を行なう特定建設資材の構外搬出処理を本工事とする。

特記事項

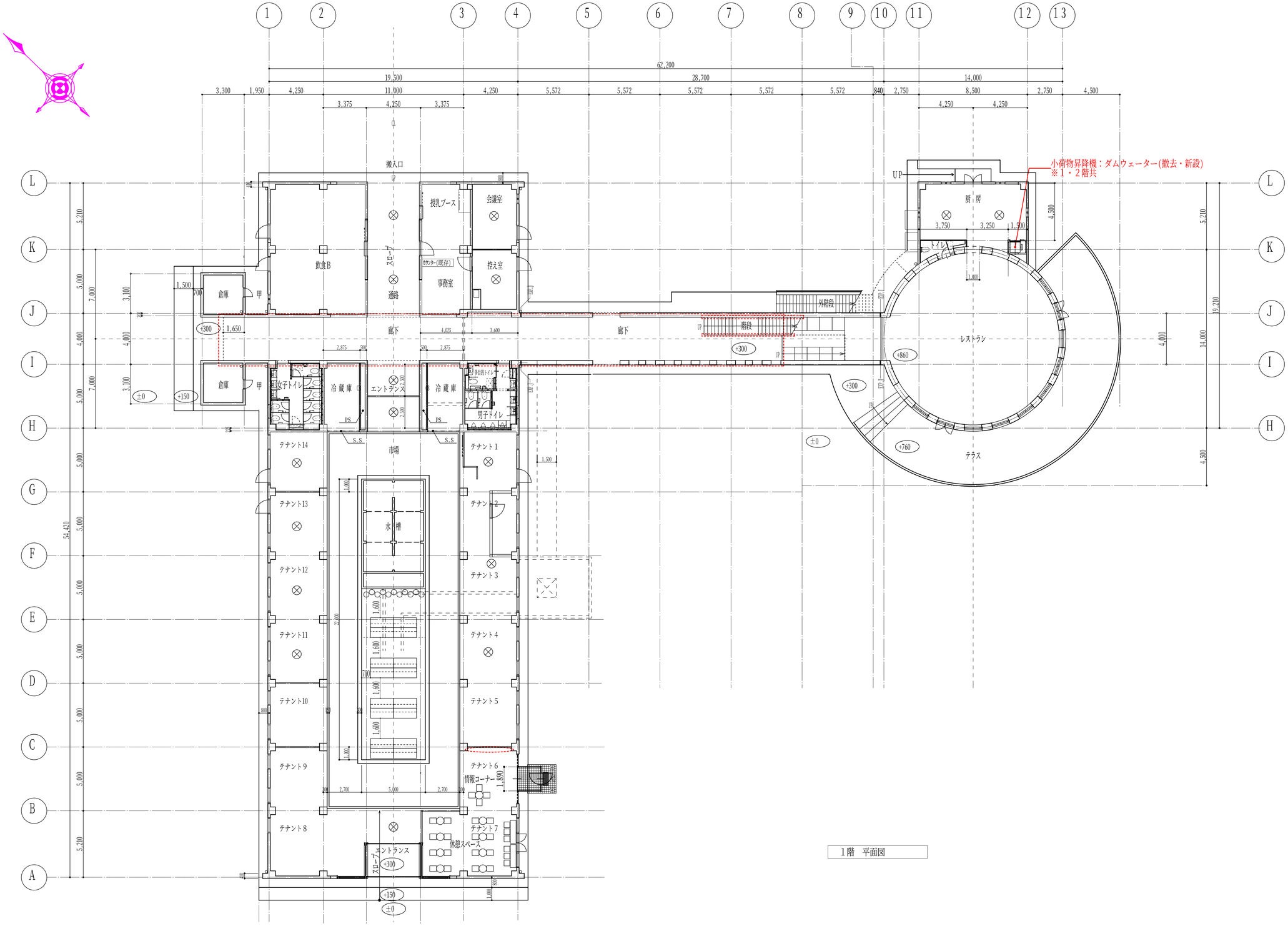
BIKEN 株式会社 美建設計
〒294－0045　TEL. 0470－22－3764
千葉県館山市北条1355－45　FAX. 0470－22－3785
一級建築士事務所千葉県知事登録　第1－2310－9001号
一級建築士大臣登録　第246699号　岩崎 一博

CHECKED　DRAWN

PROJECT■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事（建築工事）
ITEMS ■ 昇降機設備工事特記仕様書（1）

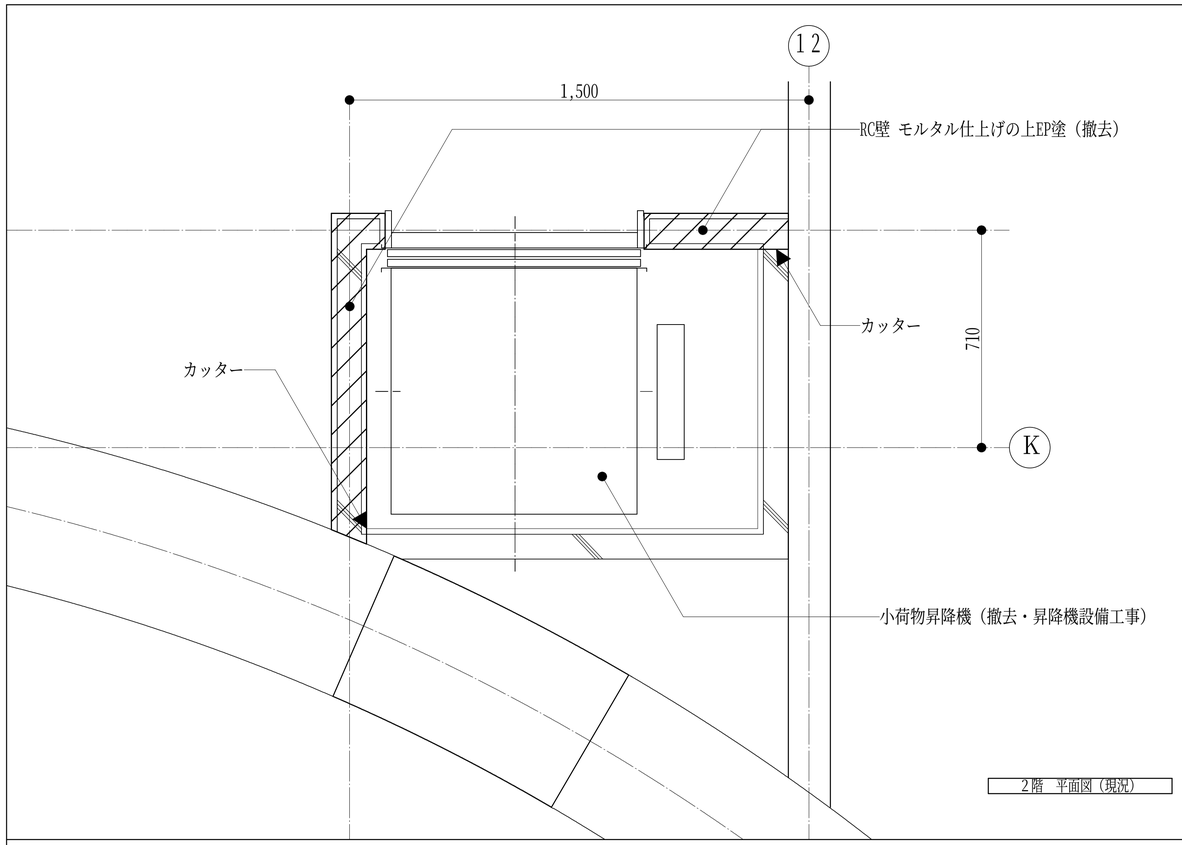
DATE ■
SCALE■ -

NO■ELV— 01

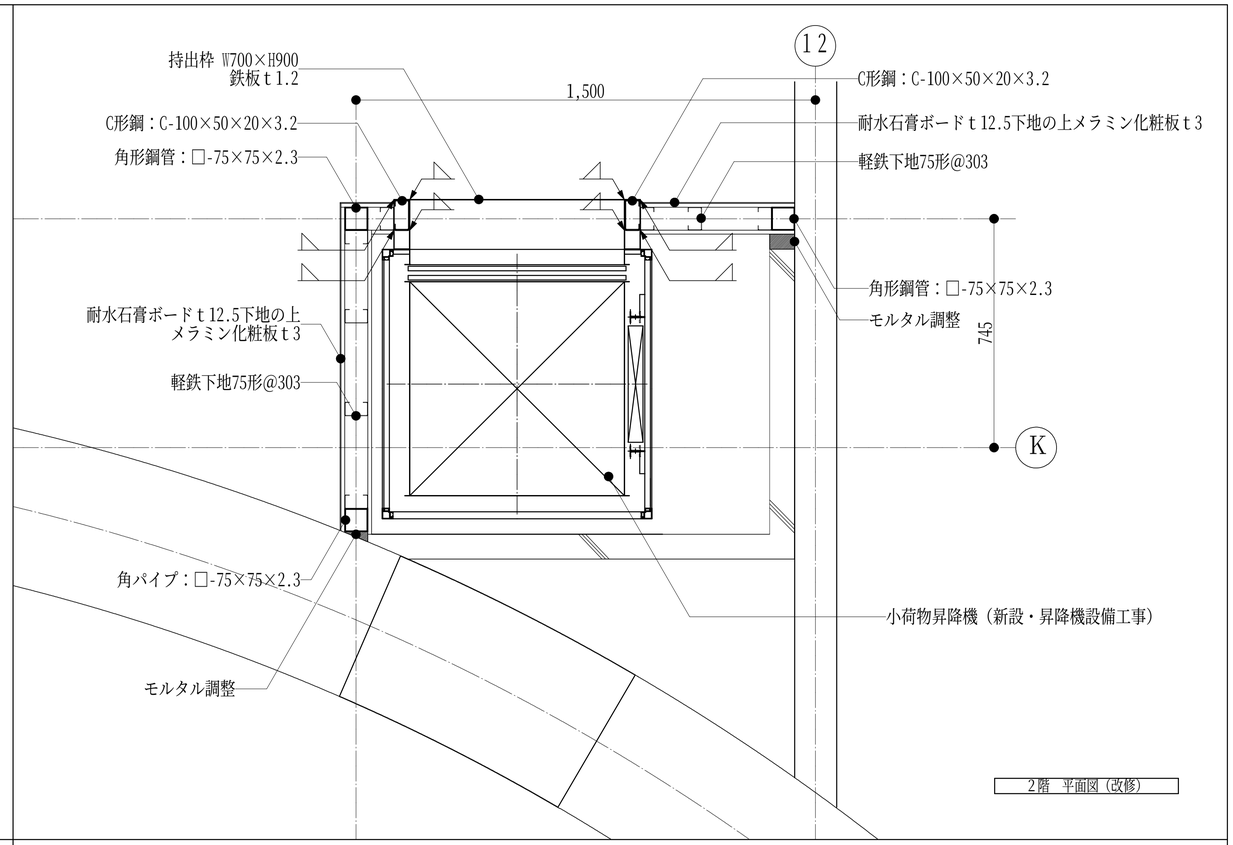


1階　平面図

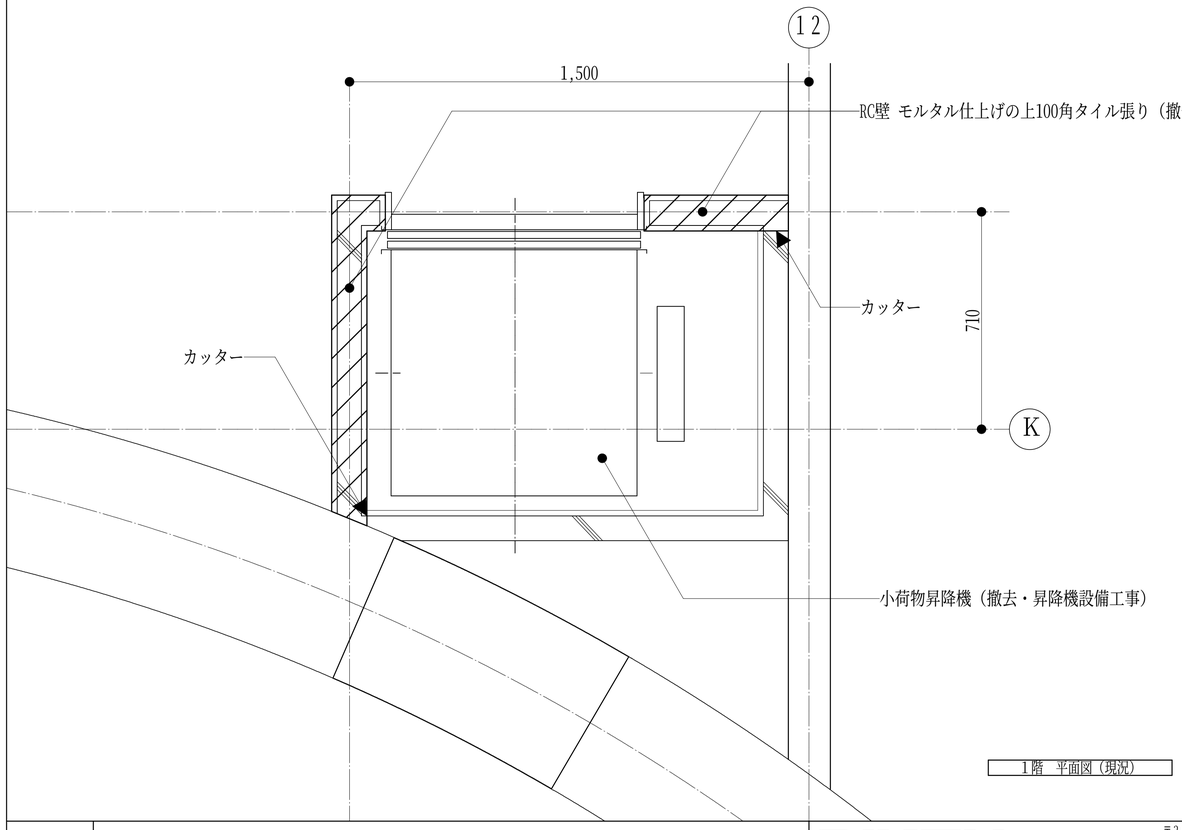
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	株式会社 美建設計 BIKEN	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 一級建築士大臣登録	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 第1-2310-9001号 第246699号 岩崎　一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 店舗　1階平面図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/150, A3：1/300	NO ■ ELV— 02



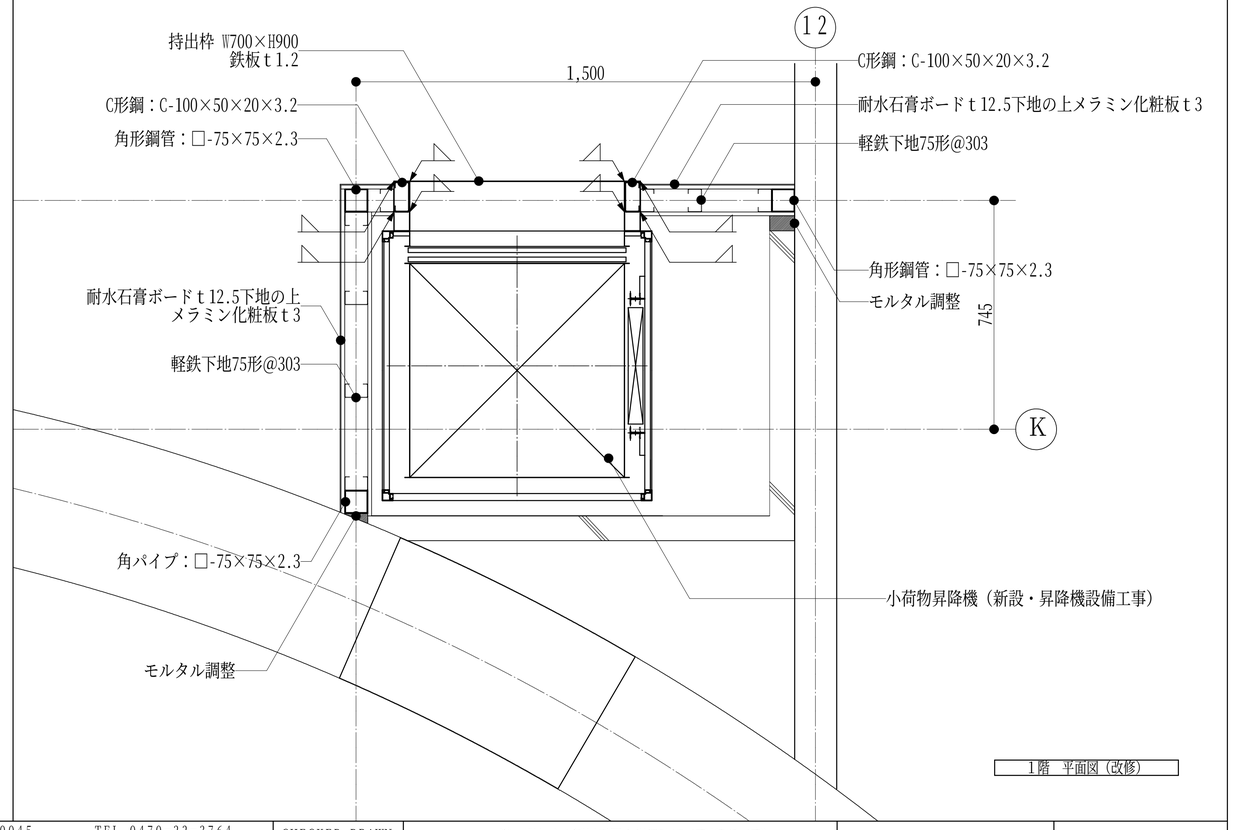
2階　平面図（現況）



2階　平面図（改修）

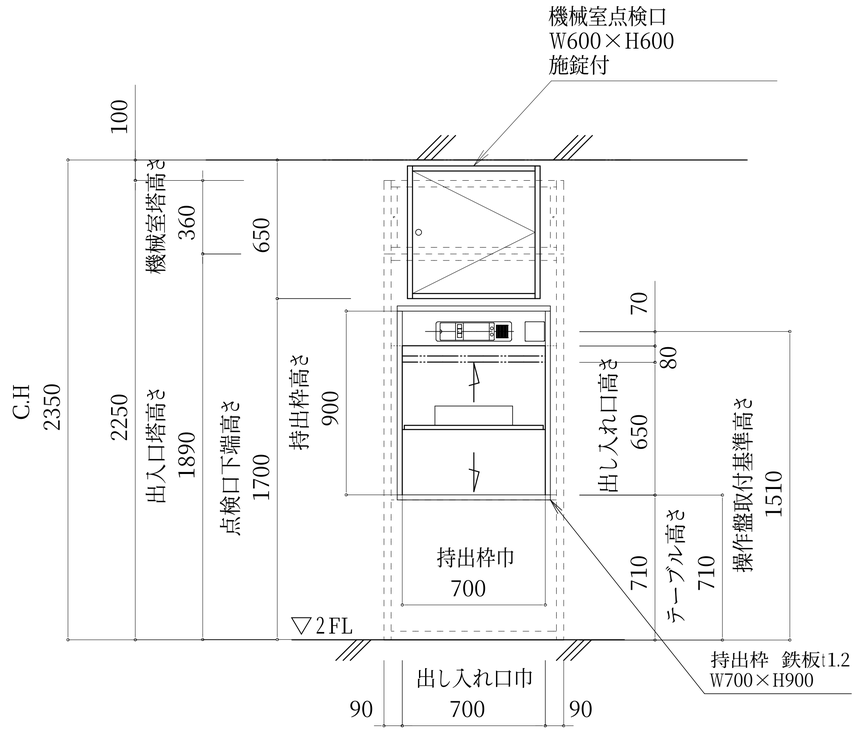


1階　平面図（現況）

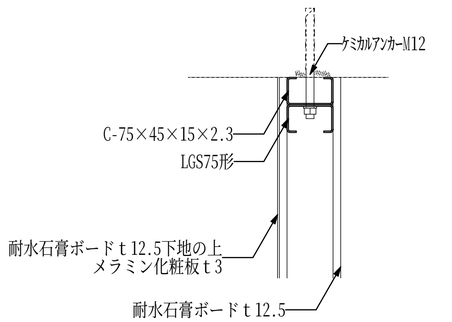


1階　平面図（改修）

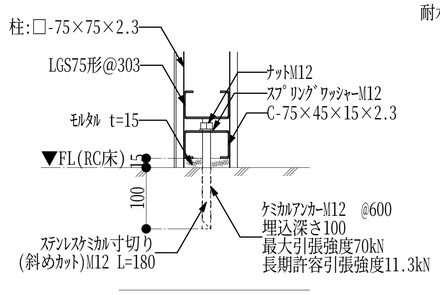
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号	TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785 岩崎　一博	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 小荷物昇降機設置部分　平面詳細図（現況・改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/10, A3：1/20	NO ■ ELV— 03



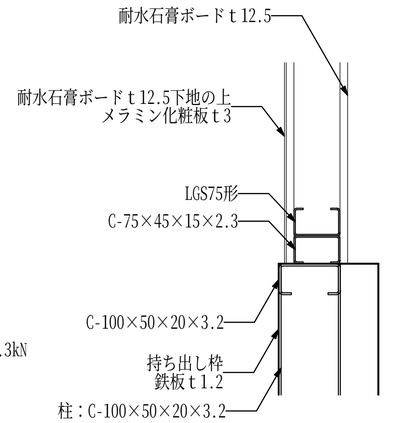
2階 出し入れ口正面図（改修）



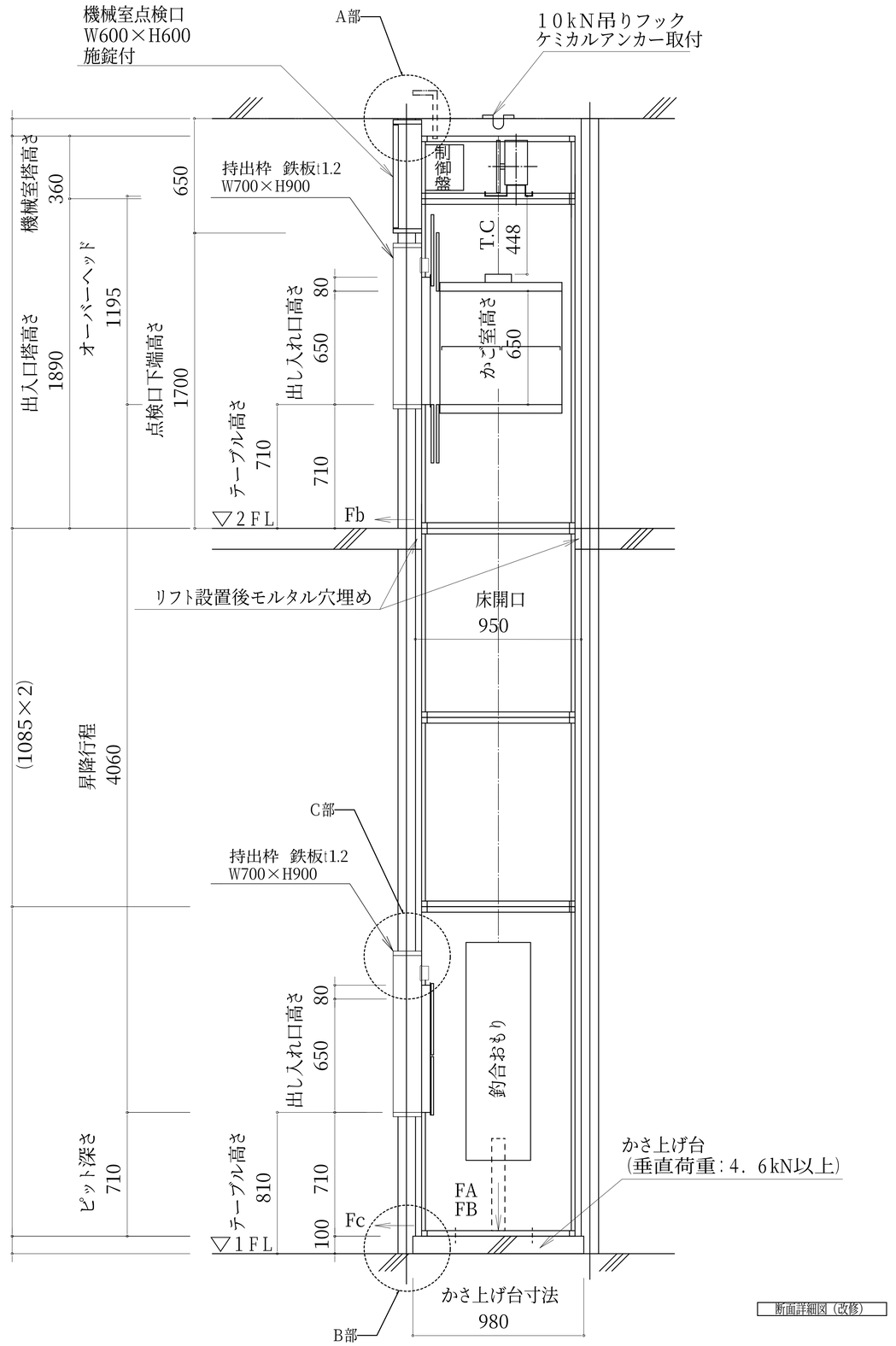
A部詳細図（改修）S=1/5



B部詳細図（改修）S=1/5

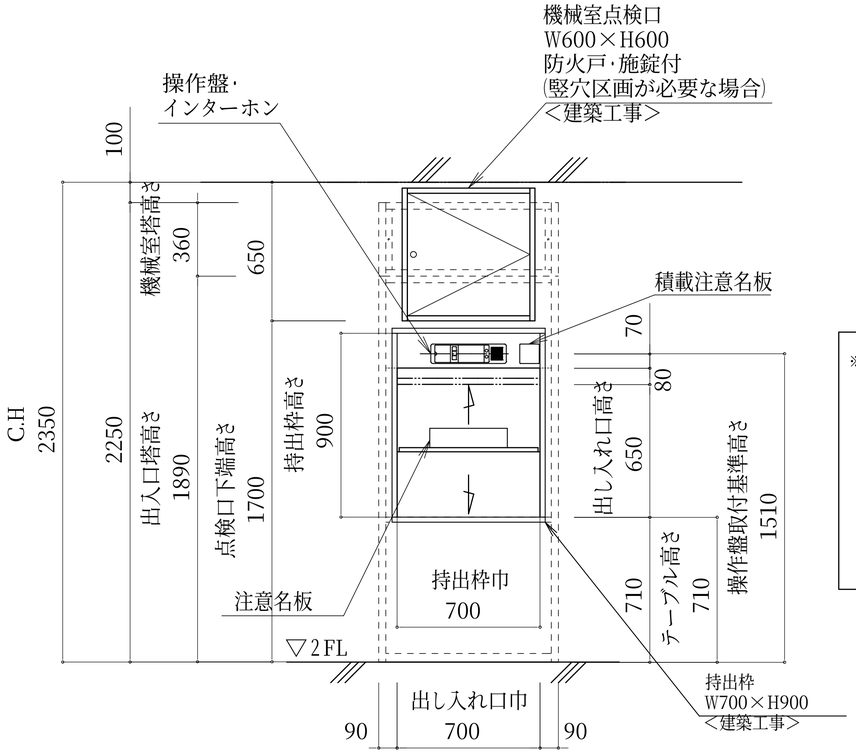


C部詳細図（改修）S=1/5

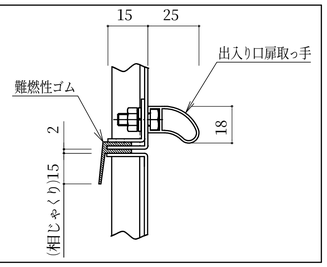


断面詳細図（改修）

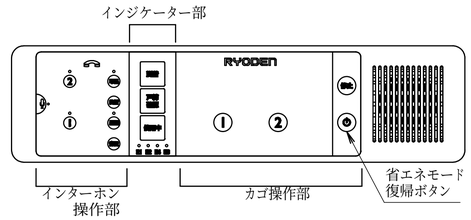
特記事項	本図は、新築時の図面等を元に加筆修正したものであり、現況と差異が生じる場合がある。	BIKEN 株式会社 美建設計	〒294-0045 千葉県館山市北条1355-45 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1-2310-9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博 TEL. 0470-22-3764 FAX. 0470-22-3785	CHECKED DRAWN ■	PROJECT ■ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ■ 小荷物昇降機設置部分 断面詳細図（改修）	DATE ■ SCALE ■ A1：1/15, A3：1/30 A1：1/5, A3：1/10	NO ■ ELV— 04



※小荷物専用昇降機出し入れ口扉は、JEAS－207A(標改10－02)に定める構造として0．8mm以上の鋼板製とし、戸当たり部分を難燃性ゴムを用いて相じゃくりとすれば、すき間のない構造として平12建告第1360号による遮炎・遮煙性能を有する防火設備、および1．5mm以上の鋼板で同様の構造とすれば、同告示第1369号による特定防火設備とみなされる。



戸当たり部詳細図



各階操作盤詳細図

小荷物専用昇降機仕様要項

機　　種	RU－75S－45－H
制御方式	インバータ速度制御方式
積載質量	75kg
速　　度	45m／min
電　　源	3相　200V
モートル	0．4kW　4P
停止個所	1・2FL　計2個所
巻上機	RMG－53(ロープ外れ止め付)
ツナ車	直径290mm
ソラセ車	直径150mm
ワイヤーロープ	6mmx2本　1：1ローピング
レール	かご・おもり共用： 型成形レール：3．0kg／m
かご内法	W700xD700xH650
おもり	50%　BALANCE
出し入れ口戸開方式	二枚戸上下開き式(手動式)
かご戸閉方式	二枚戸上下開き式(電動式)
操作方式	相互階制御方式

※操作盤電源釦(自動省エネモード)
※出し入れ口扉・かご扉の同時開閉付
※到着予告アナウンス付(到着チャイム)
※積み過ぎ警報装置付(オートアナウンス付)
※ハンズフリーインターホン
※エラー表示灯
※操作釦キータッチ音(インターホン釦除く)
※「到着」「戸閉確認」「使用中」灯
※アシストクローズ

小荷物専用昇降機意匠仕様

出し入れ口扉	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
かご室扉	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
かご室壁	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
かご室天井	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
かご室床	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
テーブル	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
昇降路外装板	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
棚　　板 1段(2枚)	ステンレスヘアライン仕上(SUS443) 可変式棚板(棚受5段階)
操作盤	プラスチックプレート　インターホン一体式 (カラーユニバーサルデザイン・オートアナウンス付)
インターホン	プラスチックプレート　操作盤一体式　相互階通話方式 (ハンズフリー・プレストーク　切り替え式)

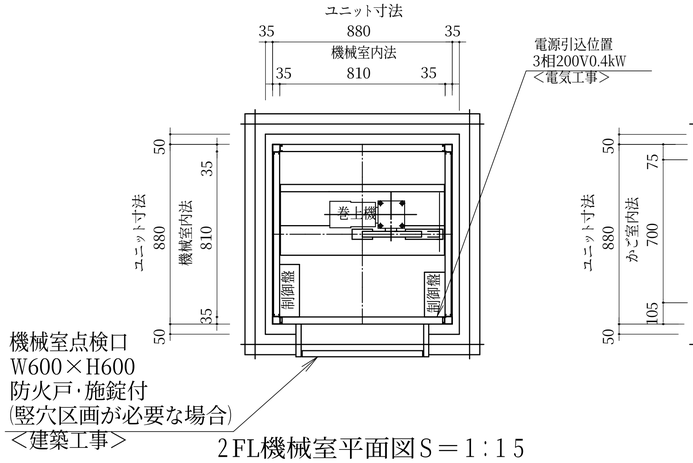
安全装置

強制開離機構付ドアスイッチ(出し入れ口の戸)	ロック装置(出し入れ口の戸)
ゲートスイッチ(かごの戸)	電磁ブレーキ(巻上機)
操作盤非常停止ボタン	終端スイッチ (かご行過ぎ制限スイッチ)
戸開放防止警報装置 (オートアナウンス付)	インバータ異常検知
かご昇降時間管制(AST)	インバータ緊急出力遮断
衝突受(かご・おもり)	巻上機ロープ外れ止め
積載注意名板	

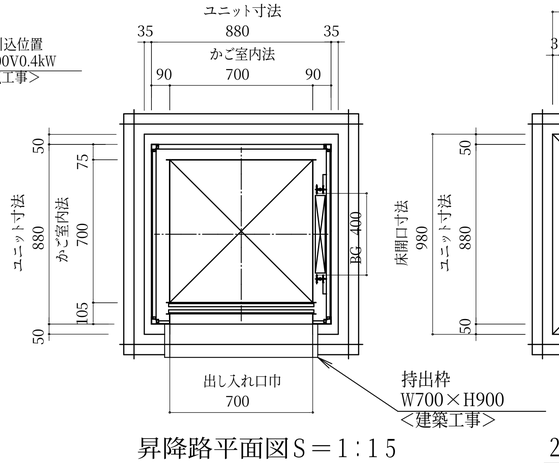
電源設備

電源トランス容量 KVA	電源側 NFB 定格A	動力電源線サイズ別最大引込長(m) 2．0mm²	3．5mm²	5．5mm²	接地線最小サイズ (mm²)	機械室発熱量 kJ／h
1．0	10	97	170	268	2．0	345

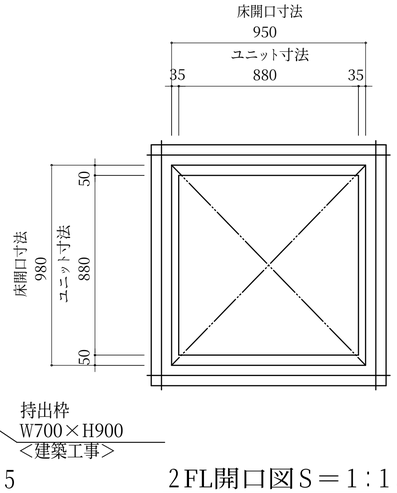
2FL出し入れ口正面図S＝1：15



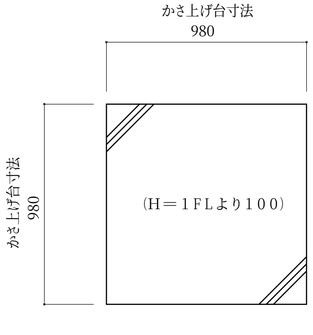
2FL機械室平面図S＝1：15



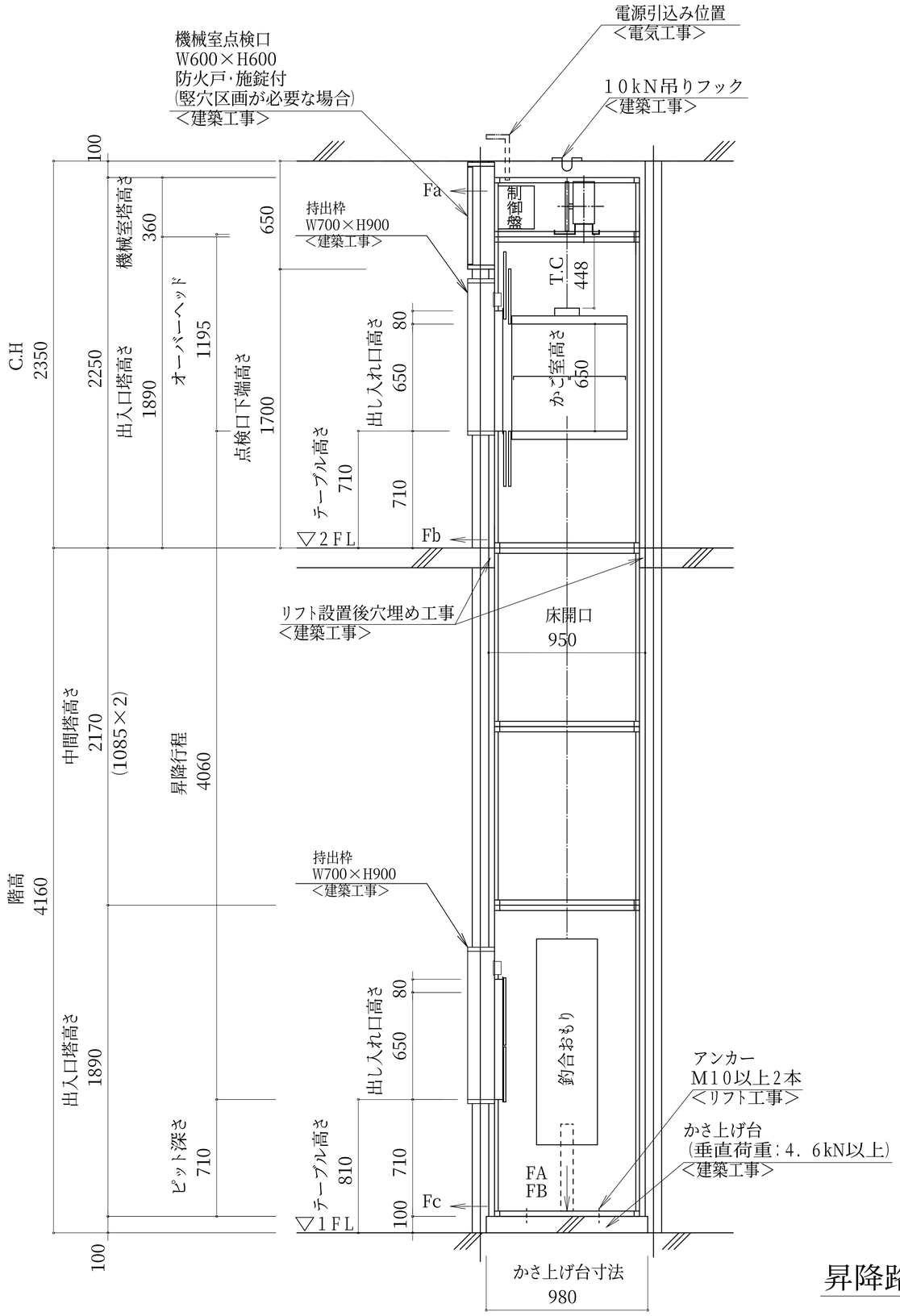
昇降路平面図S＝1：15



2FL開口図S＝1：15
※床開口工事＜建築工事＞



かさ上げ台平面図　S＝1：15
(H＝1FLより100)
＜建築工事＞



昇降路縦断面図Ｓ＝１：１５

1.建築工事関係

(1)最下階床土台築造と仕上げおよび上階床穴開けと埋め戻し工事。
→建物側シャフト最低開口寸法：W950×D950必要です。
(2)既存ユニット仕上げ壁撤去および再仕上げ工事。
(3)昇降路最上部に吊りフック（荷重10kN以上）又は揚重ビームの取付工事。
(4)機器搬入経路の確保。
(5)リフト昇降路に竪穴区画が要求される場合
①昇降路壁築造工事。
②機器取付後の壁仕上工事。
③持出枠（W700×H900）の取付
③機械室点検口（防火戸施錠付：600×600以上及び90度以上開閉可）の設置工事。
④昇降路内は外から人または物が昇降路内に入らないようピット内や天井裏も含め、隙間の無い構造としてください。
(6)撤去品の廃材処理。
(7)アスベスト含有調査およびアスベスト含有時の除去作業。
(8)通路養生および仮囲いの設置と撤去。（必要時）

2.電気工事関係

(1)機械室制御盤位置までのAC200V3相電源引込工事及び一次側端子への接続工事。
(2)機械室制御盤位置までのＤ種設置線挿入工事及び一次側端子への接続工事。
(3)機械室またはその付近に点検用照明設備及びコンセント設置工事。
(4)機械室天井部煙感知器設置工事。
(5)昇降路下部またはその付近に照明用コンセント設置工事。
(6)電源側電気設備ブレーカ設置工事。（必要時）
→AC200V15A対応のブレーカ設置お願い致します。

水平荷重（地震時）		
Fa	Fb	Fc
821N	1114N	447N

ピット衝突荷重	
FA(かご側)	FB(おもり側)
13.3kN	9.5kN

特記事項		BIKEN 株式会社 美建設計	千葉県館山市北条1355−45 FAX. 0470−22−3785 一級建築士事務所千葉県知事登録 第1−2310−9001号 一級建築士大臣登録 第246699号 岩崎 一博	▪	PROJECT ▪ 道の駅ちくら潮風王国大規模改修工事(建築工事) ITEMS ▪ 小荷物昇降機断面詳細図	DATE ▪ SCALE ▪ A1：1/15, A3：1/30	NO▪ELV— 06